（仮称）安岡沖洋上風力発電事業
環境影響評価準備書についての
意見の概要と事業者の見解

平成 29 年 2 月

前田建設工業株式会社

目　次

第 1 章 環境影響評価準備書の公告及び縦覧..... 1
1 環境影響評価準備書の公告及び縦覧..... 1
(1) 公告の日..... 1
(2) 公告の方法..... 1
(3) 縦覧場所..... 1
(4) 縦覧期間..... 2
(5) 縦覧者数..... 2

2 環境影響評価準備書についての説明会の開催..... 3
(1) 公告の日及び公告方法..... 3
(2) 開催日時、開催場所及び来場者数..... 3

3 環境影響評価準備書についての意見の把握..... 3
(1) 意見書の提出期間..... 3
(2) 意見書の提出方法..... 3
(2) 意見書の提出状況..... 3

第 2 章 環境影響評価準備書について提出された環境保全の見地からの意見と
事業者の見解..... 4

第1章　環境影響評価準備書の公告及び縦覧

１．環境影響評価準備書の公告及び縦覧

「環境影響評価法」第 16 条の規定に基づき、環境の保全の見地からの意見を求めるため、準備書を作成した旨及びその他事項を公告し、準備書を公告の日から起算して 1 ヶ月間縦覧に供した。

(1)　公告の日

平成 28 年 11 月 2 日（水）

(2)　公告の方法

① 日刊新聞による公告(別紙 1 参照)

下記日刊紙に「公告」を掲載した。

・山口新聞　　平成 28 年 11 月 2 日（水）付け　朝刊

・毎日新聞　　平成 28 年 11 月 2 日（水）付け　朝刊

※平成 28 年 11 月 13 日（日）、平成 28 年 11 月 19 日（土）に開催する説明会についての公告を含む

② インターネットによるお知らせ

平成 28 年 11 月 2 日（水）から、下記のウェブサイトに「お知らせ」を掲載した。

・山口県のウェブサイト（別紙 2 参照）

http://www.pref.yamaguchi.lg.jp

・下関市のウェブサイト（別紙 3-1、3-2 参照）

http://www.city.shimonoseki.lg.jp

・前田建設工業株式会社ウェブサイト（別紙 4-1、4-2 参照）

http://www.maeda.co.jp

(3)　縦覧場所

関係地域の自治体庁舎 6 箇所及びインターネットの利用による縦覧を実施した。

① 関係自治体庁舎での縦覧

・下関市役所　本庁舎新館

・下関市役所　環境部庁舎

・下関市役所　安岡支所

・下関市役所　川中支所

・下関市役所　吉見支所

・下関市役所　彦島支所

② インターネットの利用による縦覧

・前田建設工業株式会社ウェブサイト(別紙 4-3～4-5 参照)

http://www.maeda.co.jp

(4)　縦覧期間

平成 28 年 11 月 2 日（水）から 12 月 2 日（金）までとした。

自治体庁舎等においては、土曜日、日曜日、祝日を除く午前 8 時半から午後 5 時 15 分（ただし、下関市役所環境部庁舎は午前 8 時 15 分から午後 5 時）までとした。インターネットの利用による電子縦覧については、常時アクセス可能な状態とした。

(5)　縦覧者数（縦覧者名簿記載者数）

総数 1572 名

（内訳）	・下関市役所　本庁舎新館	12 名
	・下関市役所　環境部庁舎	1 名
	・下関市役所　安岡支所	40 名
	・下関市役所　川中支所	12 名
	・下関市役所　吉見支所	8 名
	・下関市役所　彦島支所	0 名
	・電子縦覧	1499 名

２．環境影響評価準備書についての説明会の開催

「環境影響評価法」第 17 条の規定に基づき、準備書の記載事項を周知するための説明会を開催した。

(1)　公告の日及び公告方法

説明会の開催公告は、環境影響評価準備書の縦覧等に関する公告と同時に行った。
（別紙 1 参照）

(2)　開催日時、開催場所及び来場者数

説明会の開催日時、開催場所及び来場者数は以下のとおりである。

・　開催日時：平成 28 年 11 月 13 日（日）　午前 10 時から 12 時
　開催場所：川中公民館　（下関市伊倉町 2-1-1）
　来場者数：128 名

・　開催日時　平成 28 年 11 月 19 日（土）　午後 2 時から 4 時
　開催場所：海峡メッセ下関 10 階 国際会議場（下関市豊前田町 3-3-1）
　来場者数：152 名

３．環境影響評価準備書についての意見の把握

「環境影響評価法」第 18 条の規定に基づき、環境の保全の見地からの意見を有する者の意見書の提出を受け付けた。

(1)　意見書の提出期間

平成 28 年 11 月 2 日（水）から平成 28 年 12 月 16 日（金）まで
（郵送の受付は当日消印まで有効とした。）

(2)　意見書の提出方法

環境保全の見地からの意見について、以下の方法により受け付けた（別紙 5 参照）。
①縦覧場所及び説明会に備え付けた意見書箱への投函
②事業者への書面の郵送・ファックスのいずれか
③電子メールによる提出

(3)　意見書の提出状況

提出された意見総数は、5712 件であった。

第2章　環境影響評価準備書について提出された環境保全の見地からの意見と事業者の見解

「環境影響評価法」第 18 条及び第 19 条に基づく、環境影響評価準備書についての環境保全の見地からの提出意見の概要並びにこれに対する当社の見解は、次のとおりである。

1.事業の目的及び内容

No.	意見の概要	事業者の見解
1から23	賛成です	平成27年7月発表の経済産業省の「長期エネルギー需給見通し」においては、「電力の需給構造については、安全性、安定供給、経済効率性及び環境適合を同時達成する中で、省エネ、再生可能エネルギーの最大限の導入、原発依存度の可能な限りの低減」が基本方針となっており、風力についてはコスト低減を図りつつ、国民負担の抑制の観点も踏まえた上で、大規模風力の活用等により最大限の導入拡大を図るとされています。また、平成26年4月改定の「山口県再生可能エネルギー推進指針」においては、再生可能エネルギーは地球温暖化策に有効であることなど「安全・安心の確保」の観点から貴重なエネルギー源とし、さらには「産業力・観光力の増強」の面からも導入促進は重要であると述べられております。 この様な背景を踏まえ、本事業では下関沖の恵まれた風力資源を活用し、下関市の充実した港湾設備を利用し、工事、運営については地元企業の協力を得て本事業を推進し、地域への貢献を果たすことを目的としております。 本事業においては、環境影響評価の対象となっており、環境について事業実施前の環境調査結果を踏まえて、予測、評価を行い、環境保全措置を講じることで、環境への影響を可能な限り回避・低減するよう努めております。引き続き、地域の皆様のご理解・ご協力を頂きながら、地域への貢献を目指してまいります。
24から44	賛成!!	
45から65	賛成します	
66から76	建設賛成	
77から88	風車は環境に悪い事がないと思うので作ってほしい。	
89から96	応援しています	
97から101	環境に悪影響はないものと確信しているので、風力発電事業を推進してほしい。	
102	賛成　楽しみにしている	
103	大賛成です。早く実現してほしいです。	
104	賛成です。反対の意見も出ている様ですが、洋上風力なので問題があるとは思えません。	
105	大賛成です。	
106	賛成ですよ。反対する理由はありません。	
107	大賛成です!!	
108	風力発電事業に賛成します。	
109	風力発電事業に賛成します。	
110	風力発電賛成	
111	大いに賛成です	
112	賛成。地元にとっては大きなチャンス！	
113	推進してほしい。	
114	説明会に3度ほど行かせていただきました。内容が十分に理解できたので賛成です。	
115	洋上風力発電に賛成です。	
116	説明会に3度ほど行かせていただきました。内容が十分に理解できたので賛成です。	
117	良いことだと思う	
118	・気象の変化によって被害など受けるかもしれませんが、それは陸上にあっても同じなのでそれじたいデメリットにはならないと思います。	
119	・島国だからこそそれを活かせると思います。	
120	・風力発電は山の上のあるイメージなので海上にできる風力発電にとても興味があります。	
121	・陸地だけじゃなくて海上に風車を設置することもできるので興味があります。	
122	・国土の狭い日本には適していると思うので賛成。	
123	・有害物質を出す訳ではないので賛成。	
124	どういった内容でもＯＫ	
125	どういった内容でもＯＫ	
126	どういった内容でもＯＫ	
127	どういった内容でもOK	
128	北九州は風力がどんどんふえる中、下関はなぜ時代の流れについていかれないのかふしぎでならない。	
129	②日本の先端技術上有効。	
130	特に反対意見はありません。	
131	ぼくたちがつかう電気なのでいいとおもいます。	
132	風力発電に関心があるので賛成です。	
133	風力発電に賛成します。	
134	安岡はだめで、他ならいいという考え方はおかしいと思う。	
135	環境や身体に影響がなければ良いかも	
136	環境問題を優先的に考慮している　この取り組みに私は賛同します	
137	環境問題を考えると風力発電はもっとも有効なエネルギーであり、積極的に取り組むべきと思います。また、地域の活性化のためにも是非、実現して欲しいです。	
138	環境問題を鑑ると今後必要な物となると感じる。大いに賛成	

139	環境を考えた風力発電は賛成。	同　　上
140	環境面・経済面からも効果があると思います。観光面からも期待できると思います。	
141	環境面（地球温暖化の傾向）でも他の発電システムより有効であると思う	
142	環境保全は重要なことであり、自然エネルギー開発は進めていくべきと考えます。	
143	環境保全の面においては、様々な配慮がなされており、特に問題は無いと考えられる。再生可能エネルギーの為イメージも良い。	
144	環境保全の見地から賛成。	
145	環境保全に問題がないと思いますので、賛成いたします。	
146	環境保全に対しては問題ないと考えられる。むしろ、原発や化石燃料を使用しての発電の方が多大な問題を抱えていると思う。	
147	環境保全が求められる現代において、風力発電のような安全な自然エネルギーを活用した事業を推進していく必要があると思います	
148	環境保全が確認されているのであれば、反対する理由はないと思います。	
149	環境への悪影響が少なく、その対策等がしっかり行われていれば自然にやさしくランニングコストも少ないと思われ、有用な施設と成ることを期待します。	
150	環境破壊が世界中で問題視される中、地球環境に極めて優しい発電方式であり、他の燃料を必要としない再生可能エネルギーだから。 国内での実用化は少ないので、これで下関が注目されるのも良いと思う。	
151	環境のために賛成です	
152	環境のため、発展になればまわりには大きく変化だと思います。	
153	環境には影響はないと思うのでいいと思う。	
154	環境に配慮した内容となっており良いと思う。	
155	環境に配慮された施設なら、大いに歓迎すべきだと思う。	
156	環境についてしっかり対応している。クリーンエネルギーの活用が必要だと思う。早期の着工を進めてください。	
157	環境並びに人に優しいエネルギー事業の発展に期待しています。	
158	環境との調和がとれるのならば良いと思う。	
159	環境との調和が第一優先と考える。問題なければ、国策なので推進すべき。	
160	環境調査をされ、影響が無ければ世界的に再生可能エネルギーにシフトしてるので、日本（山口県）も導入を進めるべきだと思う。	
161	環境対策になるのならば賛成です。	
162	設置に関しては反対しません。 環境対策に十分留意の上、設置下さい。	
163	風力発電は必要。	
164	環境保全の見地と問われますと私にはよくわかりませんが、四方を海で囲まれた日本国という事ではいいと思います。	
165	これからは必要と思います。	
166	風力発電は必要と思います。是非建設して下さい。	
167	風力発電は良い事だと思います。	
168	風力発電は良いと思います	
169	風力発電は良いと思います。	
170	風車発電は地球環境に良いと思うので作ってほしい。	
171	被害はないと思います。	
172	必要です	
173	風力発電に期待します。環境に良いといいです。	
174	風力発電に興味が有る。	
175	風力発電に賛成します。 必要なのは風の力だけなので燃料を他の国から輸入したりすることも必要なくコストが安定していると思います。	
176	洋上風力は、もう当たり前の時代です。	
177	現在の設置場所であれば、問題ないと思う	
178	現在の設置場所なら問題ないと思う。	
179	・海上にも設置できる。	
180	今からの電力は、風力発電が良いと思います	
181	より安全で豊かな生活に繋がればよいと思います。	
182	良くも悪くも話題になる。キレイ。	

183	島国で風を良く受ける海岸線の多い地形に適している事から賛成です。	同　　上
184	作ってほしい。	
185	洋上風力発電は海に囲まれた日本の環境に適した発電方式だと思います。	
186	安岡沖洋上風力発電事業については積極的に推進すべき。	
187	風力発電そのものは原子力発電より安全だと思うのでこれから電力を賄う上でも必要だと思います。	
188	風力発電進めて下さい。	
189	環境基準に適合していれば、良いと思います。	
190	環境基準に適合していれば、良いと思います。	
191	豊浦町には洋上風力発電の計画がすすめられているようなので、安岡も実施すればいいと思う。	
192	ヨーロッパではオフショアー型風力発電は多く採用されていて大きな問題はないようだ。下関洋上のキッカケとなるのではないか	
193	反対派も多くいるようだが、実際反対意見の内容もわかりづらい。個人的には賛成。	
194	山陰側は元々風か強いのと、24時間ずっと発電出来るので良いと思う。	
195	風力発電はある程度安定した発電効率が期待できる。	
196	風力発電は、非常に安定性の高い発電方法だと思う。	
197	風力発電は、電力の変換効率がよく、かなり優秀な発電設備だと思う。	
198	風車の建設は、時代の流れだと思います。	
199	風力発電、もっともっと増やして下さい。初期の設備投資は大変だと思いますが、長い目で見ると一番有効なエネルギー源だと思います。	
200	此からの子供達の為必要と思う	
201	下関市の発展につながるのであれば賛成です。 周囲にお住まいの方々や環境等に十分ご配慮の上、プロジェクトを進めてください。	
202	・島国で風を良く受ける海岸線の多い日本に適していると思う	
203	日本は風力発電に適していると言われていることから、これからの風力発電には期待している。	
204	長府の住人なので良くわからないが、下関市に役立つものであることを期待します。	
205	中国地方ではあまりなじみがないので、設置された様子を是非見てみたいです。	
206	大賛成です。下関が明るくなるように期待致しております。私も頑張ります。下関は風が強いのでピッタリだと思います。もっと住民の方達が目に付く看板等を設置してはいかがでしょう!!	
207	説明会の折に、その事業の素晴らしさに感動しました。是非、下関発展の為にも成功させていただきたいと存じます。	
208	最近では、東北大震災での事故等のニュースで原子力漏れ等が多々問題になっていますので洋上風力発電は非常に良いと思います。 環境影響評価を拝見させていただいて、調査等を十分に行っていて、周辺住民への影響等もしっかりと考えてましたので、このまま継続されて、事業に結びつけてほしいです。	
209	私は風車が好きで見に行ってますので楽しみにしてます。	
210	私はこの事業に賛成である。 近年、大気汚染、地球温暖化とさまざまな環境問題がある中、人、地球、環境に優しい自然エネルギーを利用したエネルギービジネスを増やしていくことでよりよい環境になると思うからです。このような対策をこれからも増やし、優しい良い環境を整えていってもらいたいと私は思います。	
211	私の知る限り下関市民の大部分は、安岡沖に風力発電の風車が立つ事を期待しています。下関に企業が来てくれる。この町にとって、こんなに喜ばしい事はありません。早期実現を願います。	
212	若松の風力発電を子供と見たことがありますが、子供は堂々とそびえ立つ発電機に興奮していた。日本の電力の現状、今後の課題などいろいろと勉強になったみたいです。	
213	陸地の風力発電はファンの落下リスクがあり、設置場所が限定されるが、洋上風力発電はそのリスクを考えなくてよく、設置場所が限定されない。原子力発電に代わる手法として注目されていることから、設置に期待したい。	
214	陸上に比べて、安定した風が得られるのでいいと思う。 民家から離れているので、騒音など被害が少ないと思う。 漁業など影響がなければいいと思う。	

215	洋上風力発電は日本の環境に最も適した発電システムだと思います。大いに賛成します。	同　　上
216	洋上風力発電事業において、海洋生物の環境保全に影響を及ぼさない様、対策を講じて限りあるエネルギー確保が必要と思います。	
217	洋上は、風の乱れが少なく風力発電に向いていると思います。早く完成した姿を見たいです。	
218	洋上での風力発電ならば風車が回り続ける為、電力が絶えないのではないかと少し心配。でも賛成します。	
219	豊かな社会を構築するためには、多少なりの自然への影響はあると思う。しかし、破壊するだけでなく新しい自然を作っていくことも大事だと思う。風力発電で環境への影響が少ないとは分かったが、少しでも周りの自然へ貢けんしてほしいと思う。	
220	安岡沖洋上風力発電事業については、賛成です。 陸上に設置するのには多くのデメリットが上っていましたが、それを少なくするためにも沖洋上風力発電は良いと思います。住宅から離れていれば音も大丈夫だし電力不足の為にも。それに、原子力発電が増えるか風力発電が増えるかの選択をした時、メリットが多いのは安岡沖洋上風力発電だと思います。	
221	安岡沖洋上風力環境影響評価準備書を拝見させて頂きました。 事業としては大変すばらしい事業だと思いますし、しっかりと環境調査等も実施していて非常にいいと思います。 今後も、しっかりとした調査を実施して頂いて、地域に影響がないような形で進んでいったらと思います。	
222	安岡沖風力発電事業については、陸上に設置の際、日本の気候に合っていない、広大な敷地にほどよくおいて設置する土地がない等反対の意見があったが、沖洋上風力発電は海上に設置するため、メリットの方が多いと思います。	
223	やがて撤去し、元通りにすることと、地元へのメリットを強調されると良いと思います。	
224	本当に常用的に発電量を維持できるなら別に良いと思う。	
225	風力発電による電力はかなり大きいと思うので良い事だと思う。	
226	風力発電にまで反対をしていたら何の電力を使って生活したらいいのかわからない。	
227	風力発電にすることにより、エネルギー活用ができるので良いと思う。	
228	風力発電所があることで子供達の環境ECO教育に活用できる。	
229	風力を安定して得られるのは、海沿いの海岸線だとお聞きしました。この度、安岡沖に設置計画の案は、正に最適な場所だと思います。安定して風を受けることができれば、風力発電による発電量も高いレベルで安定させることができるとお聞きしました。是非、風力発電所の設置を望みます。	
230	風力発電を行うことにより、環境への影響が少しでも減ることを期待している	
231	風力発電はヨーロッパでは広く普及している「実証済み」の発電方法。国内でもウインドパワーかすみ等、東日本では活発に開発が行われており、西日本にもこの様なプロジェクトが計画されるのは嬉しい限り。是非実現させてほしい。	
232	風力発電の施設が出来たら、体に悪影響があると町内会の人が言っているようですが、その様な事は全くないという事が、十分に理解できました。風力発電施設は作って頂いて結構です。	
233	風力発電の苦情の中で、最も遠い場所で1,020mとの報告書にもあり、安岡沖は1,500mは離れているので問題無いのではないかと考える。	
234	風力発電によって生活等に役立ち、電気代が安くなれば嬉しいです。	
235	風力発電については良く分かりませんが、環境に配慮した安心安全な生活がおくれるなら実現に向けて頑張っていただけたらと思います。	
236	風力発電に賛成です。環境に影響が少ないのが一番のメリットだと思います。環境に優しい発電は地球のためにも大事です。	
237	風力発電に賛成です。 安全なエネルギー供給をしてほしいです。風力発電は、今回の地震影響を受けなかったようです。 原子力は、安全という神話が崩れたような気がします。 もっと、風力発電を普及するには、どうしたらよいと思いますか。 ネットで調べたのですが、エコ（太陽光など）の中では、コスト的に安いようです。	

238	風力発電に賛成します大きな風車を風の力で回して発電する風力発電は、大型化すればするほどコストパフォーマンスに優れていると思います。	同　　上
239	風力発電で設置される海の魚や生物野鳥等の影響を充分調査されて将来の電力需要供給を担う風力発電の建設を期待したい。	
240	風力発電所がある事で子供達の環境エコ教育に活用	
241	発電所が増えて電力料金が少しでも安くなれば良いと思います。	
242	発電効率、費用対効果、環境調和、他住民との共生条件が整えば賛成したい。	
243	バイオマス発電や風力発電は増えるべきだと思います。 期待しています。	
244	燃料資源を持たない我が国には必要な発電方法だと思います。 問題点もありますが、利用・運用する中で解決・イノベーションを進め普及させるべき事業です。	
245	年間で約40,000世帯の電力量をまかなえるというのはすごいことだと思う。また、既に下関市、長門市、平生町で計55基の実績があるので、風力発電の分野で山口県にはさらにけん引していってほしいと思う。	
246	日本は土地が狭すぎる。海上を活用する風力発電はとてもいい考えだと思います。	
247	日本発を下関で実現できるなら大賛成。早く着工してほしい。	
248	日本中に誇れる下関の洋上風力発電として、早く実現して欲しい。	
249	日本海側は風が強く風力発電に適している。発電時に燃料を消費しない。事故が起きても人・環境への影響が小さく、復旧が容易。	
250	日本海側は風が強いので、どんどん作って下さい。	
251	どうせやるなら大々的に大花火を打ち上げて日本の名所100選くらいになるものにしてほしい。	
252	強い風が吹く安岡ならではで、エネルギー社会を支える側になるということは素晴らしい事ではないかと思う。	
253	近くで見たときに風車が大きくて感動しました。パパに風で電力を作っていると聞いてすごいと思いました。太陽や風を使って作るエネルギーはもっと増えてほしいです。	
254	多様なエネルギー技術は日本にとって重要な資産である。開発、活用を応援したい。	
255	他国に頼らない発電は推進して行くべきと思う。賛成である。	
256	たくさん作ればいいと思う。	
257	世界的にも風力発電所の設置数がどんどん増えている為、日本も多くの風力発電所を設置すべきだと思う。	
258	すばらしい考えだと思います。	
259	推進すべきと思います。	
260	資料を見て安心できる発電事業だと思った	
261	知らない事は不安が多いけど、つどつど説明会をしたり、広報活動をお願いします。	
262	将来の子供達に安全で豊かな地球を残してあげたい 風力発電に賛成です 電力供給は原子力発電より風力発電の方が安全で良い！	
263	将来的には太陽光発電と同様に世界的に普及されると言われているので賛成	
264	社会に貢献する事業だと思います。地方の人が言いたいほうだいには違和感があります。	
265	下関がダメなら長門に作って下さい。	
266	地元安岡で大きなプロジェクトが計画されることはうれしく思います。災害時に風力電力が役立てばいいと思います。	
267	地元は、いつまで反対するのかわからないが、早く落としどころを見つけて、計画を前に進めて欲しい。隣市から見ていて、いつまでやってんだという感じです。	
268	地元の発展、経済効果への期待もありますが、施設の工法、技術、エコ、景観との調和、すべてにおいてモデルケースになるようなプロジェクトであってほしいと思います。	
269	地元にも風車あるので下関でも頑張ってもらいたいです。下関のためになるのであればいいのでは…。反対してる人がよくわからない。	
270	視察に来るような取組・内容になるように充実させて欲しい。	
271	賛成 下関に大きなプロジェクトが出きるなら下関の為になると思う。	

272	昨今、大型プロジェクトの少ない地方都市にこのような計画が持ち上がり、とても素晴らしいことだと思う。同時にとても羨ましい。成功事例を作り、全国のモデルになって欲しい。海外からの来客者に、とてもインパクトが大きいと思う。	同　　上
273	国土の狭い日本では、太陽光発電には限界がある。ですが、海に囲まれている日本だからこそ向いてるであろう風力発電には関心がある。	
274	国は東日本大震後、原発の依存度を下げる為、再生可能エネルギーの割合を増そうとしています。 今回計画の風力発電どこに問題があるのでしょうか。何回か説明会に参加しましたが、ぜひ事業を推進していただきたい。近年PFI事業が衰退している中で前田建設様の提案に敬服いたします。	
275	具体的にどのように住民に影響があるかどうかわかりませんが日常生活に影響がなければ風力発電も有りかと思います。	
276	近隣住民の安全確保、不安解消さえ出来れば大変よい設備だと思う。	
277	今日の生活に電気は欠かせないので、建設には賛成です。電磁波等の悪影響とよく言われますが、携帯電話や他の電化製品からも出ています。	
278	ガソリンや軽油などの安定化に対して効果的	
279	海上で発電できるのは良いと思う。	
280	海岸線で風を良く受ける安岡沖は風力発電に適していると思うので賛成します。	
281	海岸線で風を良く受ける安岡沖は風力発電に適していると思うので賛成します。	
282	海に囲まれている日本に、最も適した発電だと思います。完成した姿を早く見たいです。	
283	海に囲まれた下関でこそ、風力発電の事業を進めるべきです。	
284	海がない地域の者から考えるとこのようなプロジェクトが組めるのはうらやましい。環境にもやさしいのではないか。	
285	今以上に風力発電の開発が進む事を願っています。 国土の狭い日本には適していると思います。 電力発電を考える時期にきている	
286	維持コストを上回る発電量が得られるのであれば賛成です。	
287	安心して住める環境を作っていくことが大切だと思っています。風力発電事業を推進していく事は今後の地球環境を保つ上でも必要だと感じています	
288	アジアからの玄関口の下関にとても良い事業だと思う。洋上風力発電所は他にあまり例を聞かないし、これをきっかけに国内に普及すると良いと思う。	
289	40,000世帯の1年間の電力量をまかなえる事で、原子力発電への負担を少しでも軽減できればと思います。	
290	地域住民への影響、漁場の保全、漁船航行の安全確保等に配慮したエネルギー導入の取組であるので賛成する。	
291	未来の子供達のためになるならいいと思う	
292	未来の為に	
293	未来のために。	
294	未来の為になると思われるので賛成です。	
295	未来の地球の為に建設してほしい。	
296	未来の地球の為に推進してほしい。	
297	将来の為に	
298	将来の為に大賛成！	
299	将来の為には必要	
300	今、世界的に地球温暖化が問題になっている中、風力発電事業により、未来のため、子供たちのために少しでも温暖化を防ぐ事が出来ればと思います。	
301	今からの子供たちの為にも、力を入れて頂きたい。又、下関の発展にも期待したい。	
302	Fight!	
303	Fight!	
304	楽しみにしています。	
305	楽しみにしてます。	
306	楽しみにしてます。	
307	早く完成するといいですね。	
308	早く完成するといいですね。	
309	早く建設して下さい。	
310	早く建設して下さい。	
311	早く着工してほしい。	

312	風車が完成を心より期待しています。	同　　上
313	風車の完成に大変期待しています。	
314	風車の完成を心より期待しています。	
315	風車の完成を楽しみにしている。	
316	風車の完成を楽しみにしている。	
317	風車の完成を見てみたい	
318	完成を楽しみにしています。	
319	完成を楽しみにしています。	
320	完成を楽しみにしています。	
321	完成を楽しみにしています。	
322	ガンバッテ下さい	
323	がんばって下さい	
324	頑張って下さい!!	
325	完成が楽しみ	
326	完成が楽しみです。	
327	完成が楽しみです。	
328	完成後が楽しみ。CO_2削減として有効だと思う。	
329	風車が好きだから。	
330	風車が大好きだから。	
331	風車ができてうれしい。	
332	風車がまわるのでさんせい	
333	前田建設ガンバレ	
334	前田建設の発展を祈ってます。ガンバって下さい。	
335	風力発電期待してます。	
336	下関での大型プロジェクトをぜひ成功させて欲しいです。再生エネルギーの開発等で経済効果をもたらす事は大変良いと思います。	
337	下関に行ってみたいです。	
338	下関に大型プロジェクトが計画されることは大変うれしく思い、地域への経済効果及びに、雇用の増大に期待したい。	
339	下関に活気が出るとうれしいですが、全体がそう思えるようになるのでしょうか？安全でよりよいものを作ってください。	
340	下関にこれほど大型のプロジェクトが計画されることは嬉しく思う。	
341	下関にこれほど大型のプロジェクトが計画されることは嬉しく思うので期待しています。	
342	下関にこれほど大型のプロジェクトが計画されることはうれしく思うので期待してます	
343	下関にこれほど大型プロジェクトが計画されることはすばらしいしうれしく思います	
344	下関にとって良いと思う事業は前進あるのみです。	
345	下関に幅広い分野で活性化が見込まれる事業だと考えております。賛成です	
346	大きいプロジェクトが下関で計画されうれしく思う。	
347	大型のプロジェクトが本当に実現するとうれしいです。	
348	子供の未来のためにも、期待しています。	
349	期待しています。	
350	下関に、こんな大きなプロジェクトができるのを楽しみにしています。	
351	是非早めに御願いします	
352	是非とも実施して欲しい。	
353	全国の先駆けとなる事業規模なので期待している 賛成です	
354	出来るなら、日本初をめざして下さい。下関の為にもお願いします。	
355	どんどん広まっていって欲しい。	
356	北九州にも計画があるようです。この地域を洋上風力発電の聖地にしましょう。	
357	環境に悪影響もなく、温暖化対策にも適した事業推進だと期待している。	
358	環境に悪影響がないと思うのでいいと思います。	
359	環境にいいかわかりませんが、自然エネルギーなんでいいと思います。	
360	環境に悪影響はないと思うので、事業推進を期待する。	
361	環境に悪影響はないと思うので、事業推進を期待する。	
362	環境に悪影響は無いと思うので、事業推進を期待する。	
363	環境に悪影響は無いと思うので、推進してもよいと思う。	

364	環境に悪影響はないと聞いているため、事業推進を期待する。	同　　上
365	環境に悪影響はないと聞いているので賛成です。	
366	環境に悪影響はないものと思うので、地球温暖化防止対策の方策の一つとして推進して欲しい。	
367	環境に悪影響がない事が判りましたので、この風力発電事業を進めて下さい。	
368	環境に悪影響がないのであれば、事業効果に期待します。	
369	環境に悪影響がないのであれば、事業推進を期待します。	
370	環境に悪影響がないのであれば、風力発電を行う施設を作ってもいいと思う。	
371	環境に悪影響がないものなら、地球環境に優しい発電方法であるならば、原子力発電より安心出来る。	
372	環境に悪影響なし。推進を期待する。	
373	環境に悪影響はないということでもあり、漁業振興対策にもなりそうなので事業推進をしてもらいたい。	
374	環境に悪影響はないと思い、事業推進をぜひしていただきたい。 又環境対策にも優れ、漁業振興対策にもなると聞いているので賛成。	
375	環境に悪影響はないと思うが、説明を聞かなければ良くわからない。	
376	環境に悪影響は無いと思うし、CO2を発生させず、環境にやさしい事業なので地球温暖化対策に有効だと思います。	
377	安岡沖洋上風力発電事業の環境影響も特に無いと思うので賛成です。	
378	洋上の話であり、特に環境を脅かす事項はないと考えられます。	
379	海上なので問題ない。	
380	海上に建設なので問題はないのでは…	
381	海上に設置するなら何も問題ないし、環境に影響も考えられないので推進していってほしい	
382	海上に設置するなら何も問題ないし、環境に影響も考えられないので推進していってほしい。	
383	・環境に悪影響はないと思うので事業推進する	
384	環境、人に影響なければ賛成	
385	安岡沖の風力発電においては、環境影響は特に無いと考えられる。	
386	風力発電に賛成です。エネルギーの利用ができるのであれば良いことだと思います。音も静かなので問題はないと思います。	
387	風力発電に賛成です。 エネルギーの利用ができるのであればよいことだと思います。 音も静かなので問題ないと思います。	
388	人が住んでいない洋上なので問題ないのでは?	
389	電気のコスト削減もでき、原子力発電のように広範囲にわたり悪い影響を与えるということがないので良いと思います。 また風をよくうける海岸線の日本には非常に適していると私は思っています。	
390	大変良く調査され、環境に影響されるであろう項目を工事着手から、完工、営業時まで想定してあり、良く説明できていると思います。	
391	資料からは反対する理由が一つもないと感じられた。地球環境のために賛成。	
392	準備書の要約書を確認させていただきました。 安岡に住んでいるわけではないので、実質的な影響は少ないわけですが、環境調査等の資料を確認したところ十分に計画されていると思います。 当初よりも安岡の住民のみなさんのことも考慮されているものと思いますので賛成ですが、継続的な調査をお願いしたく思います。	
393	施設の施工時には周囲の環境への影響を充分に配慮する必要はあるが、完成し稼働しはじめた後の周囲への影響が色々ととりざたされている。いずれも邪推の域を出ているとは思えず、想定されるメリットを考えても、反対する理由がない。	
394	環境に悪いとは思えず、再生エネルギーの利用は大いに必要と考えます。是非実現に向けた推進をお願いします。	
395	①環境に悪影響はないと思うので、事業推進を期待する。	
396	＊公害、環境破壊が少ない	
397	(1)環境に悪影響はないものと確信しているので風力発電事業を推進して欲しい	
398	地域の方々に全くデメリットがなければ、非常にいい事だと思います。	

399 から 406	反対	平成27年7月発表の経済産業省の「長期エネルギー需給見通し」においては、「電力の需給構造については、安全性、安定供給、経済効率性及び環境適合を同時達成する中で、省エネ、再生可能エネルギーの最大限の導入、原発依存度の可能な限りの低減」が基本方針となっており、風力についてはコスト低減を図りつつ、国民負担の抑制の観点も踏まえた上で、大規模風力の活用等により最大限の導入拡大を図るとされています。また、平成26年4月改定の「山口県再生可能エネルギー推進指針」においては、再生可能エネルギーは地球温暖化策に有効であることなど「安全・安心の確保」の観点から貴重なエネルギー源とし、さらには「産業力・観光力の増強」の面からも導入促進は重要であると述べられております。 この様な背景を踏まえ、本事業では下関沖の恵まれた風力資源を活用し、下関市の充実した港湾設備を利用し、工事、運営については地元企業の協力を得て本事業を推進し、地域への貢献を果たすことを目的としております。しかしながら、地域の皆様の反対があることも理解しております。方法書段階の当初計画では、風力発電機から最も近い民家までの距離は約760mであった事から健康影響への懸念や、景観的な圧迫感への懸念があったものと考えております。これらの懸念から方法書についての意見書や方法書についての説明会においては多くのご意見・ご指摘を頂きました。本事業では、方法書に記載した事業計画に対する環境保全の観点並びに住民等、国、関係自治体の意見を踏まえ、風力発電機の配置に当たっては、施設の供用に伴う騒音や低周波音、漁場、鳥類、景観等に対する環境負荷低減を図るとともに、漁船等の船舶航行安全に配慮した配置としました。方法書段階では、風力発電機から最も近い民家までの距離は約760mでしたが、準備書段階では約1,500mとなるように変更しました。最も近い民家までの距離を可能な限り離す事、及び候補の中で最も少ない基数とする事により、騒音や風車の影の影響の低減など、環境影響の程度を極力抑えることが出来る様、検討を行っております。今後も環境影響へのご懸念については、地域の皆様にも理解を頂けるよう正確な情報を発信してまいります。
407 から 412	風力発電絶対反対	
413 から 421	安岡沖洋上風力発電建設に反対します	
422 から 426	安岡沖洋上風力発電反対	
427 から 441	安岡沖風車反対	
442 から 449	安岡沖風力発電に反対します。	
450 から 454	安岡沖洋上風力発電事業反対	
455 から 460	風力発電反対	
461 から 475	安岡沖に計画している風力発電建設は反対します。	
476 から 478	安岡沖洋上風力発電に反対	
479 から 484	安岡沖洋上風力発電に反対します	
485 から 491	安岡沖洋上風力発電事業に反対	
492 から 531	安岡沖洋上風力発電事業に反対致します。	
532 から 536	反対します	
537 から 540	横野沖風力発電建設絶対反対	
541 から 543	横野沖風力発電に反対します	
544	絶対反対。建てる必要なし！！	
545	ぜったい反対します	
546	ぜったい反対します	
547	ぜったい反対します	
548	絶対反対します。友達の為。	
549	絶対に反対です。	
550	風力発電に反対します。	
551	風力発電に反対します	
552	風力発電絶対反対です 美しい海を守りたいです	
553	風力絶対反対	
554	風力絶対反対	
555	風力発電　絶対反対	
556	風力発電建設絶対反対	
557	風力発電建設反対	
558	安岡沖の風力発電建設に反対します。	
559	安岡沖の風力発電建設反対	
560	安岡沖風力発電建設反対	
561	安岡沖風力発電建設反対します。	
562	安岡沖風力発電工事反対	
563	安岡沖風力発電事業に反対します。	
564	安岡沖風力反対	
565	安岡沖風力反対	
566	安岡沖風力絶対反対	
567	風力発電反対風力反対	

568	安岡沖風力発電　反対　騒音・振動音	同　　上
569	安岡沖風力発電、絶対反対！！	
570	絶対　反対です。私達には、生活を守る権利があります。	
571	絶対反対　安岡（仮称）沖上風力発電建設反対　安岡沖洋上風力発電建設反対　未来の子供達の為に絶対反対！	
572	西安岡沖洋上風力発電建設に反対します	
573	西安岡沖洋上風力発電建設に反対する	
574	反対　設置により悪影響があるのではないかと心配です。	
575	反対　何のメリットもなさそうなので	
576	安岡沖洋上風力発電工事に反対	
577	安岡沖洋上風力発電工事に反対	
578	安岡沖洋上風力発電工事を反対します	
579	安岡沖洋上風力発電反対します	
580	安岡沖洋上風力発電反対です！	
581	安岡沖洋上風力発電事業　環境に不安あり　設置に反対致します。	
582	安岡沖洋上風力発電事業　環境に不安有り　設置に反対します。	
583	安岡沖洋力風力発電機建設に反対します	
584	反対致します！！	
585	反対運動に参加している人々は、只・只今の生活を壊されたくない為だけ　※利益10：0風力反対の人々	
586	下関市横野沖風力発電建設に反対します	
587	反対します　近くに出来将来に不安を持つ生活は出来ません。	
588	反対です！！これからもずっとこの場所で生活をする子供達が心配です	
589	風力発電反対。	
590	風力発電反対です	
591	風力反対	
592	風力を反対（安岡沖）	
593	風力を反対（安岡沖）	
594	風力を反対（安岡沖）	
595	安岡沖に風力絶対反対。	
596	安岡沖洋上風力発電事業に反対です	
597	安岡の（横野）沖　反対	
598	安岡風力発電建設反対	
599	洋上風力発電反対します	
600	横野沖風車反対	
601	横野沖風力発電反対	
602	横野沖風力発電反対	
603	反対です。 住民が反対するのに営利企業が無視して事業できるのですか。	
604	医者代をはらいますか。 ここからはでられません反対反対反対	
605	医者の反対する事にはじゅうぶん考えてやる事が正しいと思います。 ①これだけぐちゃ々になった話中止すべきだと思います。 海は広い反対のあわない場所へ行けばいいと思います。	
606	安岡沖洋上風力発電事業に反対します。 一企業の利益のために個人の日常生活がおびやかされるものができるのか理解できません。なぜ下関市でなければならないのでしょうか。	
607	建設反対です。 近くに娘、孫も住んでいます。静かな安全な環境で暮らさせてあげたい。「良い電気はとれない」と聞きました。利益だけを考えないで下さい。建てないで下さい。お願いします。	
608	子供達の為にも絶対反対します。 住み良い環境を作る為にも害のある物はいりません	
609	住民建設反対での、事業者自身が作成したアセスメントの自画自賛の欠陥アセスメントに位置づけられる内容であり納得できません。建設反対です	
610	◎安岡沖洋上風力発電の建設に反対します	
611	子供のために反対	
612	後世に残る物を作ってはならない、昔の人達は後世に残る物を作っていないし、作ってはならない。	
613	今のままでいいと思うので、とくに必要ないと思う	
614	・安心して日常生活が出来ない	

615	安岡の風力発電は絶対に反対します 外国でもテレビを見ればみんな悪いと言っているのに市長は何故知らん顔をするのでしょうか 市民の事は一つも考えていません。 毎月みんなが頑張っているのに気が付きませんか？	同　　上
616	風力発電に反対します 下関市民の事を考えない市長に腹が立ちます 自分の事ばかり考えずに皆の方に目を向ける様にして下さい 毎月始めに安岡の道筋に立っていらっしゃるのを見ると気の毒になります　よろしくお願いします	
617	科学的な根拠が明確でないのならば、大丈夫かもしれないが、もしかしたらと思うと、海に近い住民として賛成できません、作ってからでは遅いので反対します、	
618	少しでも不安要素があるならば安岡で生活をしている住民としてなっとくできません。一番は子供達の影響を考えると親としてマイナス要素を１つも受け入れる事はできないからです。 何かを作れば何かが変わる当たり前の事で環境について少ししか影響がないとか全くないとか私の考えですが信用できないです。少しの変化も不安も許しません、現状維持でお願いします。 前田建設様の営利のための事であっても安岡町下関市が良くなるなら私は嬉しいですがしかし誰かの犠牲があってのならそれが安岡住民も関係あるなら私たち家族（子供3人）を守るため夫婦供に反対させてもらいます。	
619	何だかの　悪影響が有ると思いますので～反対	
620	人間が生活している側に何んの検証もせずにデータのみで建設するという事は住民をモルモットにして過去のいろいろな環境汚染と同じ事を又繰り返そうとしています 机上のデータでの安全はありえません 建てるなら前田建設さんの本社に建ててみて下さい　問題が生じたら前田建設さんが保障して下さるのでしょうか？ 保障の有無も無く建設する事は企業の体質が問われます	
621	風力発電による様々な被害を考え、建設を反対します。	
622	無被害の何の保証もないのに 実験の様な、風力発電の建設に断固反対します。	
623	私はまだ若いです。人生長く生きたい。長く生きたいので風力発電人生が短くなる様のは断固作っていただきたくないです。絶対反対です。	
624	私は安岡まちづくり協議会というのがあって、下関市長が各地区に、例えば、いろいろな企画をしている人たちを集めて、その地域を盛り上げていってほしいという思いで安岡まちづくりにも所属しています。 　その中で、まず、住民の皆さまに何をしてほしいかということをアンケートしました。自治会なので、回覧板もあるし、ホームページもあるので、意見を集めたところ、まず第一に風車の建設を中止しないとそもそも安岡が発展しないという意見が、風車のことは何も聞いていないにもかかわらず毎回その意見が出ました。	
625	この地区に小中高、病院、医療機関、福祉機関がどれだけあるか。そちらがデータとして持っているものを教えてほしい。われわれは生活と命を懸けてやっている。そこにいる児童や生徒は何人か。その地区の高齢率はわかるか。安岡と綾羅木です。健康被害が必ずつながる。病院を中心に、患者さんと、それから利用者さんもいる。680名。それから職員が500名以上働いている。目の前の海上に、来留見瀬灯台が12メートルですから、その約10倍以上のものができる説明を受けた。病院の内情、どういった病棟が、どういった患者さんがいるのか、当然把握しているか。病院は278人がいる。その中でも緩和ケア病棟は1カ月半のがん末期の患者さんがいる。目の前に、一番いい景観が見えるように全部配置している。患者さんの命とか、健康被害で亡くなった、そんなことをされたら、社会的責任。皆さんのような上場企業の単なる数値を測りますというレベルではない。土地が下落する、健康被害が生じる、その後はどう対応するか。患者さんを抱えている以上、当然私も説明する義務がある。絶対に健康被害はないと社会的責任において言うならば、後で説明するように。国ではなく前田建設としての意見、考えが知りたい。モルモットではない。既に山口県病院協会、山口県保険医協会、下関市医師会北浦班が反対の署名を出している。最初から言っているのは健康被害。高齢者は、私たちよりも状態が悪い。既に病気を持っている方はもっと悪い。山口県宅建協会下関支部が試算した結果は既に1252億円の土地資産が下落と言っている。資産、運用の下落。どう責任を取るか。補償は。別に病院うんぬんの話ではない。地域の人、病院も反対しているのが9800、デモ3回、地域、地区の集会も8回、街頭活動53回の延べ6107名とここまで反対している。最初に下	

	関市議会が全員一致で、地元の同意を得ないと認めないと。裁判は今、三つ継続中。同意が得られると思うか。握手ができると思うか。この説明会の最後まで聞くので、聞いたという意味では理解する。ただ、それを経済産業省や環境省に話をしたときに、地元の人たちは皆理解したというニュアンスが入る。私としては本当に命が大切なので命を懸けて私も守っているので、絶対に引き下がらない。	同　　上
626から633	反対　10km以上はなして下さい	平成27年12月実施の地方公共団体における風車騒音に対処するための環境影響評価条例やガイドライン等の実態調査によれば、住宅地域からのセットバック距離の規制については、騒音及びシャドウフリッカー等の影響を考慮して設定されている国や地方があることが報告されております。法的に規制しているものと推奨値として定めているものとがあります。これらの値は概ね500m～1,000mの値となっており、スコットランドで2,000mという距離がありますが、数10kmという規定・推奨値を確認することは出来ませんでした。また、日本の地方公共団体においても条例でセットバック距離を定めているものがありますが、風車の高さを基準としているものが多く、距離にすると概ね500～600mとなっています（出典；風力発電施設から発生する騒音等の評価手法に関する検討会(平成28年5月24日、平成28年度第1回（第7回）、環境省）の資料２）。 平成22年の環境省が実施したアンケート調査結果（全国の風力発電事業者のうち186事業者、40都道府県から回答）によれば、継続している「苦情」は、風車から1,020mまでとなっています。その後の調査研究結果を考慮しても本事業の風力発電施設から最も近い民家まで1,500mという距離は騒音・低周波音の影響を低減するための十分な距離と考えております。
634から636	反対　横野沖洋上風力発電建設反対　10km以上離せ	
637から639	反対　横野沖洋上風力発電建設反対　10k以上離せ　絶対反対	
640から644	反対します。10km沖	
645から677	安岡沖に計画している風力発電建設は反対します。10km以上離して下さい。	
678から682	横野沖風車反対　10km以上離してくれ!!	
683	反対。沖合10km以上にする事。耳鳴りがする。	
684	反対。職場が圏内に入っている為　10km以上離してほしい。	
685	反対！10km以上はなせ！	
686	反対　近すぎるので10km離すこと。	
687	反対　安岡沖洋上風量発電建設反対　10k以上はなす事。	
688	反対します。10km沖お願いします。	
689	反対します。風力発電10km沖でないと困ります。	
690	反対です。お願いですから10km以上はなしてください	
691	反対 人が住む所から近すぎる 10kmはなして設置してほしい。	
692	反対 安岡（横野）沖洋上風力発電建設反対 10km以上建設	
693	反対 安岡（横野）沖洋上風力発電建設反対 10km以上離す事	
694	安岡沖洋上風力発電建設　反対します。10km以上離してください。	
695	風力発電10kmはなせ。（中止にせよ）	
696	風力発電に反対します。10km沖お願いします。	
697	風力発電は、10km沖でないと困る	
698	安岡沖に計画している風力発電建設は反対します。10km以上離して下さい。（作るとしても）	
699	安岡沖風力発電反対！！ 海に建てる前に前田の社長のハゲ頭に風車を建てろや！！ きちんと10km以上離せ！！その金がないんか？ ちゃんとせーよ、ゴラッー！！！ ワシはの一頭痛があるじゃ、もしひどくなったら健康被害として賠償請求するからの、しっかり考えて実行しろや！！	
700	安岡沖洋上風力発電建設に反対します。10km以上離してください。	
701	安岡沖洋上風力発電建設反対　10k	
702	安岡沖洋上風力発電に反対します。10km以上離して下さい。	
703	安岡沖洋上風力発電反対　人家に近すぎる　10km以上はなせ！！	
704	横野沖風車反対　10k以上はなしてください。おねがいします。 きれいな海、自然破壊はしないで下さい。	
705	横野沖風車反対　体によくないため10k離して下さい	
706	横野沖風車反対。10km以上はなせ　病気になりたくないから	
707	横野沖風車反対。10km以上はなせ　病気になりたくないから	
708	安岡沖洋上風力発電建設に反対します。健康被害の恐れがある1.5km以内での建設。10km離してはだめなのでしょうか。　1.5kmなんて論外です。絶対に反対です。	

709	健康障害のことを考えると、10km以上沖の設置をお願いしたいと思います	同　　上
710	1.5㌔は近いと思うので10㌔ははなしてほしいです。	
711	10km以上離す事は難しいですか？	
712	安岡沖洋上風力発電事業に反対します。建てるのであれば予定地から10km以上離して下さい。	
713	・とにかく沖合10km以上離せ！！	
714	③欧州は陸地まで10km離しております。（欧州では陸地が徐々に低くなっております。日本列島は急に陸地から海が深くなっているので、10km先は建設出来ません）	
715	4.民家からの距離が1500mで言い訳がありません。川中地区・綾羅木地区・福江地区に親戚・知人もいます。安寧な地に生活することができる基本的人権を有しており、将来不安に陥れることは止めていただきたい。せめて沖合に10km位離して下さい。お願いします。（自然エネルギーに反対では有りません）	
716	景観審議会の答申で、できるだけ距離を離すとなっている、100m、200mだと低周波の被害は解決しない。10km以上離すように。	
717	希望ですが、海外では10キロ以上離している所もあります。そのように海外が安全性にこだわって建設しているのをまず見習ってください。国内の基準ではなくて、海外で安全だと言われている10キロ以上を離してやってください。	
718	10キロというのが間違いであると言われましたけれども。その根拠というのを作っても、また違うと言われるから聞きませんけれども。そういうところ考慮が必要なのではないかと思います。	
719	・風車の位置　風車建設反対	
720から729	安岡沖洋上風力発電建設反対です 民家が近すぎです	
730から732	民家から近すぎます 目の前に大自然をぶちこわします 安岡沖洋上風力発電建設　反対です	
733	安岡沖洋上風力発電建設反対します。 民家からもっと離して下さい。	
734	安岡沖洋上風力発電建設反対です 民家からあまりにも近すぎです	
735	反対です。海岸近く、環境の良い村崎の鼻に住居しているので近距離に洋上発電建設は困ります。	
736	民家から近すぎる為　　建設反対	
737	もうちょっと沖の方へ建ててほしい。	
738	安岡沖風力発電建設は絶対反対です。 あまりにも民家に近すぎて、環境保全は出来ない。　それと生まれ育った美しい海にあんな物が出来る事はとても悲しいし、考えられない。反対！！	
739	安岡沖洋上風力発電建設絶対反対 民家に近すぎ環境保全は出来ません	
740	住居から近すぎます　　建設反対です	
741	家が近いから	
742	家にちかすぎて安心できません	
743	海外では人里離れた山奥等に建設されている風力発電が住居地からさほど離れていない所に作られるというのは、受け入れられません。 人体に及ぼす事が心配です。	
744	風力発電自体は反対ではありませんが、近距離にあれだけの数の風力発電を作るのは反対です。民家から近すぎると思うので反対です。	
745	環境アセス準備書は最初から作ることありきで書かれた文書であり信用できない。 風車からどのくらい離せば安全なのかという国の基準はないが海外では多くの国々が海岸から10km離れた場所で建設しているというのに安岡に建設される風車は住宅地から1.5km非常に近く問題だ 私の住んでいる所は2.3km、3km以内は死のエリアともいわれ大変不安です。住民が反対を訴えデモや署名、月一回朝・夕方街頭活動などし建設中止を訴えています。私も参加しています。どうか建設中止をおねがいやめて下さい。 安岡には風車は必要ありません。断固反対します。	
746	患者様の身体に影響がいくので困ります 私は1.5km以内の風力発電に反対します。	

747	原子力にくらべると、自然エネルギーである風力発電は大変良いと思いますが、場所が1.5kmと近く、地域住民の健康被害が考えられます 健康被害が否定できない以上クリーンエネルギーとはいわないのではないでしょうか	同　　上
748	原子力発電、火力発電と比べ風力は有効だが設置場所は羽根の大きさによって、人体に害を及ぼす人工物である。海上の場合、陸地から20km離す必要有り。	
749	建設場所が病院や人家に近すぎます 反対します	
750	建設反対です。 近くに高齢者施設、幼稚園があり、音、健康障害が有りうる　可能性があると思いますので。	
751	建設反対です。近くに高齢者施設、幼稚園があり、自然環境、健康障害がおこりうる可能性がある為	
752	建設予定地2km範囲内に住む、「新景勝地として観光客が呼べる」等と安易な事を！冗談では無い！！私には安岡を下関地域をゴーストタウンにしてしまう恐ろしい悪魔の興す妖風の様に感ずる。これ程の大規模な海洋風力発電は国内には無い。人体にどの様な影響が及ぶのか解明されていないまま「科学的に因果関係が認められない」から建設スル…では納得出来るものではない。現実的に風車発電症候群等被害者が出ているその方達の声を聞いて頂き、本気で10kmそれ以上を考えて頂きたい。現状の計画には断固反対する。	
753	建設予定地の近くに住んでいます。 孫、ひ孫もおりますので　健康被害がある可能性があるならば　反対です	
754	再生可能エネルギーは資源のない日本には絶対必要な物と思われますが今度の風力発電は余りにも民家から近すぎ 色々と取沙汰されて居ます。出来てから駄目と云っても始まりません。民家から影響のないずっと沖にしてほしいものです	
755	自然エネルギーは必要であると思いますが、あまりにも建設予定地が近くにあり、必ずしも人体などに全く影響がないとはいいきれません なので私は安岡沖1.5kmの風力発電に反対します	
756	どうしても仕方のない事なら私や周囲の方々も納得される事と思いますが、距離を遠くにしてもらえれば、影響も少なくなると聞いております。環境、人体への影響ははかりしれませんし、何かあってからでは対応しきれるものではありません。 もう一度再考していただいたらと思います。	
757	日本のエネルギー源としては洋上風力発電もありとは思いますが、健康被害等、絶対に無いとは言えない物をこんなに民家の近くに建設されるのは絶対に反対です！！ 子供・老人の住み安いこの土地を害する物、絶対に絶対に反対です	
758	風力発電そのものに反対するわけではありませんが 日本ではまだ海上での風力発電は実績がないのではないでしょうか。であるならば　先進の諸外国に見習い 陸地からの距離を考えていただきたいと思います。 出来てから問題がおこっても遅いと思うのです	
759	安岡沖洋上風力発電建設は絶対反対です。 民家にあまりにも近すぎ　環境保全は出来ません。	
760	安岡沖洋上風力発電建設は絶対反対です。 民家にあまりにも近すぎ　環境保全は出来ません。	
761	洋上風力建設が住宅街に近く、生活環境に良くない。	
762	沖あい1.5kmは近すぎる。もっと沖に設置できないのか。 病院もあるので音が心配。	
763	安岡沖風力発電反対　家に近すぎるので安心できません	
764	・距離が近すぎるのではないか。	
765	近海での風力発電には反対します。	
766	風力発電による健康被害が１件でも出れば市外からの観光や転居してくる人が居なくなり、下関市の衰退に繋がっていくと思われる　被害が０件で済むとは思えない	環境省においては、平成22年度から平成24年度にかけて、環境研究総合推進費の公募型研究「風力発電等による低周波音の人への影響評価に関する研究」において、国内の風車騒音の実測調査（全国29の風力発電施設の周辺の合計164測定点）が全国規模で行われています。これらの知見と「風力発電施設から発生する騒音等の評価手法に関する検討会」の成果として、平成28年11月に、「風力発電施設から発生する騒音等への対応について」（風力発電施設から発生する騒音等の評価手法に関する検討会）が公表さ
767	風力発電は反対です　安岡は、高齢の方、小さな子供が多く生活されており、風力発電により、生活に悪いと思います、できれば、安岡に風力発電をつくる事はやめて下さい。	

768	安岡沖洋上風力発電事業に反対します。 わたしのゆめは歌手になることです。学校に行くのに、風車が「ブンブン」うるさかったら、１人で行くのに、気がちります。わたしは、１年生の時から、育った場所が、ここの横野なので、そして、４年５年の時に立てられるのは、イヤです。しょうらい歌手になりたいのに、風車がたったら、びょうきになったりします。頭が、くるうて、なれなくなったり、もしかしたら、たぶん、耳が聞こえなくなったりするかもしれないので、立てられたら、こまります。 おねがいです。立てないでください。	れました。「風力発電施設から発生する騒音等への対応について」（平成28年11月版）によれば、「一般的に騒音による影響には、聴力損失への影響（聴力影響）、会話を妨害される影響（会話影響）、睡眠を妨げられる影響（睡眠影響）、不快感/わずらわしさ（アノイアンス）等がある。風車騒音による影響については、風車騒音のレベルとわずらわしさ（アノイアンス）を感じる程度の間には統計的に有意な関連が複数の論文で報告されている。また、睡眠影響については、風車騒音のレベルとの直接的な関係性、またはわずらわしさ（アノイアンス）の程度が上がる結果としての間接的な関係性がある可能性を示唆する知見が報告されている。ただし、睡眠影響との関連の科学的根拠は現段階ではわずらわしさ（アノイアンス）に関するものよりも限定的である。一方、聴力影響、頭痛、耳鳴り、糖尿病、高血圧、循環器疾患等の健康影響については、統計的に有意な根拠は認められていない。以上の知見により、風車騒音は、わずらわしさ（アノイアンス）に伴う睡眠影響を生じる可能性はあるものの、人の健康に直接的に影響を及ぼす可能性は低いと考えられる。」と報告されています。この様な知見も考慮して、「評価の目安となる値：残留騒音＋5dB」が提案されています。本事業では、環境省が提案している、「評価の目安となる値：残留騒音＋5dB」に収まっていることが確認されており、人の健康に直接的に影響を及ぼす可能性は低いと考えております。同資料では、風車騒音について、わずらわしさ（アノイアンス）に伴う睡眠影響に関する知見も考慮して、目安となる値を提案しています。本事業では、同資料の目安を基に評価も行っており、「評価の目安となる値：残留騒音＋5dB」に収まっていることが確認されています。したがって、わずらわしさ（アノイアンス）に伴う睡眠障害を考慮した上でも、影響は小さいと考えております。
769	海も山もありとは言えどもど田舎ではなくバランスのとれたちょうど良い環境の町安岡に近年若者世代が増えつつあります、その町にまだ疫学的な明確な結論も出ていない風車を設置した場合未来を担う子供達は“モルモット”ですか？　誰も健康でありたいと願っている以上一部の利益の為の建設は断固反対します	
770	住宅の中に通すのはもっての他です。断固反対です。 苦労してやっと手に入れた家・土地まさかこんな事になろうとは～！！ 影響はすくないとは言い張ってますが、あるという事にはまちがいないです。 断固反対します。 毎日の生活に絶対変化が起きるのはまちがいないです。 子供、孫達に絶対影響があります。	
771	風力発電事態は良いと思いますが、住宅が近いので害を受ける人達もいるので、場所を変えた方がいいと思います。	
772	原発より安全だけど場所が良くないのでは・・・。どんな害があるのかきちんと説明をしてほしい・・・。	
773から786	風力発電の反対意見は科学的な根拠がないので風車を作ってほしい。	環境影響評価法では、環境に大きな影響を及ぼすおそれがある一定規模の事業を実施する際に、あらかじめ事業が環境に与える影響を、調査、予測、評価し、その結果に基づき適正な環境配慮を行う事が定められております。環境影響評価における予測手法は、科学的知見や、生態的特性等の知見に基づいており現段階での最新の知見に基づいた予測手法を用いております。
787	風力発電事業に反対するものは、いい加減な意見ばかりである。 本事業の実現に向け、進めてほしい。	
788	風力発電事業に反対する者の話を聞くと、全く科学的根拠がない、いいかげんな反対意見ばかりである。このような無知蒙昧な輩の意見にまどわされず、本事業の実現に向けて邁進してほしい。	
789	風力発電事業に反対する人の話は、根拠がないいい加減な反対意見ばかりである。そのような意見に惑わされず、実現してほしい。	
790	・風力発電事業の反対意見には、科学的な根拠のないものが多いが、惑わされることなく、本事業を早期に実現して欲しい。	
791	風力発電事業に反対する者の話を聞くと、全く科学的根拠がないいい加減な反対意見ばかりである。この様な反対者の意見に惑わされず、本事業の実現に向けて邁進してください。	
792	自然エネルギーの活用は必要不可欠であるが洋上には基本的に反対。陸上（山の上）に設置はできないのか？（旧豊浦郡には「山の上」に風車がたくさんある）	本事業は、洋上風力発電事業（洋上着床式）といった事業の特性上、海域に設置される特徴を有しております。陸上における風車騒音・低周波音等の問題が低減できるものとして、国の政策においても推進されている方法であると理解しております。
793	安岡沖洋上風力発電事業に反対します。 響灘の気象条件は冬場は大変きびしく、強風+塩害はすさまじいものです、発電機を洋上に置くとメンテナンスはほぼ不可能と思いますので、20年を経ず故障・破損が苦しいかと思います。その場合の修理や撤去は困難でガレキとなる可能性高く、「原状に戻すこと」は原発の廃炉と同様、大変な費用・時間がかかることが心配されます。 洋上風力発電に反対します。	風力発電施設に対する安全性について、風に関しては、土木学会の風力発電施設支持物構造設計指針および建築基準法に従って設計いたします。洋上の風力発電は海外では既に多くの実績を有し、塩害フィルター、電気防食の採用、塗装技術の進歩等塩害対策も施されております。メンテナンスにおいては、計画に基づき実施しますが、万が一事故が発生した際には、速やかに原因の分析と復旧を行います。
794	・前田建設工業は歴史のある会社ですが、作ったあとの引きつぐ会社が異なる、という話も聞いています。そのあたりの情報も、もっとオープンにしていただきたいと思います。	事業者として、開発、建設、運営と一貫して責任をもって対応いたします。
795	科学的な根拠に基づいて安全性を強調されても住民感情として両手を挙げて賛成の意見を表明することにはややためらいがあります。エネルギー問題は我が国の喫緊の課題であると同時に死活問題でもありますが、設置には慎重で、十分な議論（熟議）がもっともっと積み重ねられるべきだと思います。	貴重な意見として承ります。今後も環境影響へのご懸念については、地域の皆様にも理解を頂けるよう正確な情報を発信してまいります。
796	仕事がら人口が減ると下関市場ではやっていけなくなります。そうならないよう検討して頂きたい。	平成22年の環境省が実施したアンケート調査結果（全国の風力発電事業者のうち186事業者、40都道府県から回答）によれば、継続している「苦情」は、風車から1,020mまでとなっています。本事業の風力発電施設から最も近い民家まで1,500mという距離は騒音の影響を低減するための十分な距離と考えております。また、景観については、配
797	地域の衰退を理由とし建設反対	
798	過疎の引き金になるおそれのあるものは必要ないと思われるため	

799	反対 １、騒音問題：私は風車建設予定地から2km圏内に生活している。近隣の風車を見に行ったことがあるが、実際にジェット機が飛ぶ様な騒音が発生していた。四六時中この様な騒音が生活圏内で発生することに不安を持つ。 ２、景観問題：毎日通勤で下関北バイパスを利用しているが、この地域の景観はとても美しい。この地域に15基もの巨大な風車が3kmほどしか離れていない場所に建設されれば美しい景観は損なわれ、非常な圧迫感も感じる。 ３、近隣住民へのメリット：風力発電を建設することです近隣住民へのメリットがなにも無い。健康被害に対する保証もなにも無い。	置は規則性に配慮し、色彩については周辺の景観との調和に配慮するなどの環境保全措置を講じることにより、実行可能な範囲で影響を低減するよう努めます。したがって、本事業が地域の資産価値を低下させる直接的な原因とは結びつかないものと考えております。一方で、本事業における経済的な効果、地域の活性化にも期待されている側面について、その一助となるよう事業を推進してまいります。
800	武器があれば使おうとし、発電すれば電力を消費しようと考えるものです。供給を増やすことを諦め需要を減らすことを目指さねばなりません。地表は病んでいます。化石燃料も核分裂手段も同罪です。電力消費を止めましょう。自販機、コンビニ・・・・・。	平成25年3月発表（平成26年4月一部改定）の山口県の「山口県再生可能エネルギー推進指針」におても再生可能エネルギーは地球温暖化対策に有効であることなど「安全・安心の確保」の観点から貴重なエネルギー源とし、さらには「産業力・観光力の増強」の面からも導入促進は重要と述べられております。本事業では、下関沖の恵まれた風力資源を活用した再生可能エネルギーを導入し、温室効果ガスを削減することで「安全・安心の確保」への貢献、また、事業を通じて地域経済の発展及び活性化に資することで「産業力・観光力の増強」の面でも貢献したいと考えております。
801	太陽（御天道様）は永遠不滅でありそれを使うべき。 原子力はいらない、電力会社は国営にし、電力送受じゅにかかわらせるべき、スマートグリッドもある、じ力の電線にすれば電気のもれもなくなる	現在の日本の主要なエネルギー源である石油・石炭などの化石燃料は、限りのある資源です。風力資源は枯渇しない為、化石燃料等に代わるクリーンなエネルギーとして、太陽光や太陽熱、水力、バイオマス、地熱とともに、導入・普及が促進されています。引き続き、地域の皆様のご理解・ご協力を頂きながら、社会的責任を果たしてまいります。
802	風力発電によるメリットが明確ではない 火力発電の稼働が抑えられるのであれば納得いきますが、そうではないと聞きます リスクのみ負って建設されることに反対です	地球温暖化防止のため、COP21等で日本も世界に、温室効果ガス排出量の削減を約束しております。また、山口県といたしましても、2020年までに22万キロワットまで風力発電事業を増やしたいと、公表をしています。この様な背景のもと、再生可能エネルギー事業の推進に貢献したいと考えております。一般的に、公共施設にはメリットとデメリットがありますが、デメリットに対しては影響を低減するとともに、メリットには付加価値をつけることによってより良い施設へと出来るものと考えております。 本事業については、事業主として安定した運営のために、一定の利益を得ることは必要ですが、その中から、魚礁設置による豊かな漁場の創出、漁場、操業への悪影響はない等、事業推進の要望が出ている漁業振興への貢献も考えております。事業を通じて地域経済の発展及び活性化に資することで「産業力・観光力の増強」の面で貢献出来るものと考えております。今後も地域の皆様からの信頼を得て理解をして頂けるよう、正確な情報を発信してまいります。
803	風力発電は、安定した電力供給が出来ず、 低発電時にカバーする為の火力発電等のバックアップ施設が必要となり、地域の全体コストのアップやCO2排出低減が出来ず、地球温暖化の原因となる為、反対です。	
804	風力発電を作ることにあたり電力が今現在足りていないからなのか、自然を壊してでも必要なのかそれを説明していただきたい。	
805	・そもそも電力は不足しているのでしょうか、これからの日本経済は縮小していくと思われるのに、新たに大規模な風力発電を建設する必要性はあるのでしょうか	
806	・電力の供給メリットが市民にあるのですか？	
807	地元の方が特に強く反対されているようなところで、なぜこれをまた強く推し進めているのか、目的が聞きたい。	
808	そもそもなぜこの様な計画が必要なのかわからない 半世紀先等考えた場合、自然を壊す様な事はよくない、自然の中で育ってまた経験を後世にも伝えたいものだ	
809	風車の騒音、低周波音の影響が懸念される中、それでも強硬に建設を進めることで、我々住民は、いったい何の恩恵を受けることが出来るというのであろうか？ 11月13日の説明会で、「建設によって、どのようなメリットがあるのか」との問いに、前田建設は、自社と建設に関わる会社の経済的恩恵の話をするばかりであった。 風車を建設する目的は、電力の供給ではないのか？中国電力は、この風車が建設出来なければ、安定した電力の供給が困難だとでも言っているのであろうか？ 住民に対して、恩恵はないが、環境被害は甘受しろとは、何とも身勝手な話である。	
810	・住民の反対意見を超える、魅力ある提案をして頂きたい。	
811	当初私自身風力発電は、これからの電源として、必要と考えていましたから反対の感情があまりありませんでした、しかしながら昨今の世界各国における健康障害等の記事を目にするにつけて、やはりあまりに近距離すぎると強く思うようになりました。人体に対する負の影響のみならず環境破壊の面でも反対の意見を表明すべきだと思います。 風力発電そのものが悪いわけではないのですから再度検討を加えて住民の賛同のもと、よろこばれながらの建設に取り組んでほしいと強く願います。	

812	1年ほど前に、私は前田建設さんに嘆願文といいますか、文章を送りました。それでお返事もいただきました。今、いろいろな方がおっしゃられたように、ここで生活をしている人間は、私は年寄りだからいいのですけれども、自分であったり、子どもであったり、孫であったり、横野町というと実は今、ご存じない方もおられますが、風車ができると一番近い地域の自治会なのです。今510世帯ぐらいあります。それにいろいろな病院やいろいろな事業所もあります。ですから私は、私たちがこれから先祖代々伝わってきた土地を、健康被害が起こることによって離れなければならないということが、もし起こる可能性があるということになりましたら、絶対に反対せざるを得ないのです。　私たちは、思います、であるとか、かもしれません、ということを信じることができないのです。絶対にそれはありません。もしそんなことが起これば、前田建設が将来を懸けて必ず補償します、であるとか、人間であればそれが当たり前のことです。そういう恐れがあるところに関しては関与いたしません。私たちは、私も商売人ですが、たかだか金もうけのためにやっているのです。そうしたら他の所に金もうけの場所を移しましょうというのが、何て言いますか、ここに生きている、あるいは人の上に立っている者の当たり前の態度であろうというふうに思っております。風車に関しては、政府の環境省の答申では、耳に聞こえる音に関して、限定して討議をいたします、考えていきますというような、ばかなことだけ言っていますね。私たちは自分たちが生きるに関して、生きられないじゃないかと。それで言っているのですよ。私たちは金もうけで言っているのではないですよ。生きられないから、周りの子どもために言っているのですよ。だから東京の人が安岡に来て、私は目の前が、自分の庭の前に、金もうけの塔ができてみたいな話なのですよ。冗談ではないよ。東京の真ん中に造ったらどうですか。安岡に造ることはないです。私たちは、身を賭しても阻止しますよ。冗談ではないです。金もうけのために、なぜ安岡に造るのですか。よそに行け。これは私が言っているのではないです。全員が言っているのです。当たり前ではないですか。なぜ私たちの美しい故郷にこんなものを造るのですか。私たちは生きているのですよ。これから、まだずっと生きていくのですよ。親から伝わった土地を離れていくという事態が、万が一起こったらどうしますか。エネルギーなどというのは、他で作れますよ。それでこの前から、松下なんかでも太陽電池に、それこそ立派な○○を作っているではないですか。とにかくよそでやってくれ。絶対に引き下がることはないですよ。やめてくれ。	同　　上
813	①公海上の一事業者の営利目的に反対	
814	安全性に問題がないのであれば良いと思う。	風力発電施設に対する安全性に関しては、東日本大震災クラスの地震も考慮し、最新の手法を使って行うよう指導されております。風に関しては、土木学会の風力発電施設支持物構造設計指針および建築基準法に従って設計いたします。風車の耐風性能は、10分平均で風速50m/ｓ、瞬間風速70m/ｓ～80m/ｓで、通常の日本に来る台風については十分耐えうるものとして設計いたします。波高については、最大波高10.4mに耐えられるよう設計いたします。 風車の故障・事故の要因としても主なものは落雷等の自然災害によるものですが、下関安岡沖では落雷が少ない地域であることに加え、レセプター（避雷針）の改善や、落雷時の対策等も図られており、事故の予防に努めております。メンテナンスにおいては、計画に基づき実施しますが、万が一事故が発生した際には、速やかに原因の分析と復旧を行います。風況に関しては、村崎の鼻にポールを設置して、1年間の観測を行っており、風力発電事業を行うにあたり十分な風力資源となることを確認しております。また、事業の継続性や撤去の保証については、各種許認可（各官庁、金融機関、保険会社等）の手続きの段階で十分に審査されることとなります。
815	自然エネルギーでいいと思いますが台風が来るのでだいじょうぶでしょうか？	
816	安全性をもっとアピールしてほしい。	
817	いろいろと安全面において確認がとれれば賛成ですが。	
818	台風や風が強すぎる場合は、大丈夫なのか。	
819	風が強い日でも大丈夫？	
820	油谷の風力発電の風車が何基か止まっていますが、今回の建設で建てる風車の稼働が停止することがあるのでしょうか？	
821	耐久性は大丈夫か。	
822	風が強い時、風車はこわれないのですか	
823	落雷時、近くの住宅にも影響はありますか	
824	風の影響を直接受けるため、台風などの強風でも耐えられるだけのものであるのか、かりに破損した場合、周辺への影響するものはないのか？	
825	・想定外の大規模災害発生時の安全対策を明確にしてほしい。	
826	風力発電の風車が１台だけ停止しているのを良く見ます。故障しているのか整備しているのかわかりませんが、故障しているような感じがして見た目に気になります。	
827	洋上発電は電機性能に疑問が有り。○○トラブルの発生に？	
828	故障して動かなくなることはありますか？	
829	1.景観上、羽が折れた・破損した時、すぐ修理依頼出来る様になっていますか。 2.不採算事業になった時でも、羽が折れた・破損した時、保険等ですぐ修理依頼出来る様になっていますか。 3.撤退するとき、不採算事業でも事業主不在になっても保険等で基礎から現状復旧するようになっていますか。	
830	②想定外の自然災害が発生した時の発電設備による二次被害の補償問題	

831	・立ててから問題が起こっても遅い　問題が起きた場合、誰が責任をとるのか	同　　上
832	海中の建設に何年持続出来るのか疑問、観光に対して景況に影響する。	洋上の風力発電は海外では既に多くの実績を有し、塩害フィルター、電気防食の採用、塗装技術の進歩等塩害対策も施されております。
833	私は大学生の頃、環境経済学を学び、様々な再生可能エネルギーについて知識を身につけてきました。確かに、石油燃料が後30年、20年で枯渇していくと言われている中、再生可能エネルギーに焦点を当てて考えることは急務であるかと思います。しかし今回、安岡沖洋上風力発電事業に対しては、なぜ“風力なのか”なぜ“その土地なのか”なぜ人の影響・健康について考えることができなかったのか、疑問が浮上する点が多々あります。再生可能エネルギーの中でも、風力発電はコストが高くその割には費用対効果が高くない印象があります。また風の強弱も安定していない為普遍的に供給できるのか、私は厳しいと思います。また台風などの影響もあり、メンテナンスにも費用が重みます。人々の健康では、もちろん低周波による影響もございます。問題点は短期的に見るのではなく、長期的に見ることが大切です。私は風力事業に現段階で行うことは正しいとは思いません。地域の人々と、メリット・デメリットを改めて考え直して頂ければと思います。	風況観測を1年間実施し、良好な結果が得られたこと、予定海域について着床式での建設が可能であること、また、港湾施設が充実しており、海洋工事の実施に適している事から、当該地域は事業の実施に適していると考えております。 風車の故障・事故の要因としても主なものは落雷等の自然災害によるものですが、下関安岡沖では落雷が少ない地域であることに加え、レセプター（避雷針）の改善や、落雷時の対策等も図られており、事故の予防に努めております。
834	・風力エネルギーの安定性に疑念がある	風況に関しては、村崎の鼻にポールを設置して、1年間の観測を行っており、風力発電事業を行うにあたり十分な風力資源となることを確認しております。
835	・風がなければ発電できないので安定した発電は望めない、大した発電量も見込めないことから必要ないと思う。	
836	・風力発電は日本の気候に合わない。	
837	風力発電は、その送電量を人為的にコントロールできない発電システムであるといわれている。水か地熱発電という発電量を常に維持できるものであれば、発電量が少ない場合でも役に立つものと考えられ、火力発電など発電量をコントロールすることのできるものであれば、電力の需要に応じて調整することができる、翻って風力発電の場合は、そういった調整が困難であるともいわれており、電力予測が行いにくいとされている 電力が比較的余っているといわれる夜間に風が吹いた場合、強制的に電力を買い取らせたり、電力の需要が極めて高い夏場の酷暑時間帯には風が止む傾向にあることから発電できないという、需要と供給が伴わない非効率なシステムであると考えている	
838	風力発電設備の基礎部分の建設・保護する際の労力がかかり、洋上で発電した電力を陸上まで運搬するケーブルの維持やコストもかかります。また海上にあるので陸地にある施設のように頻繁にメンテナンスするというのは困難です。海上に浮かべるという以上軽量化と小型化は不可欠です。小型の風車は大型の風車に比べて発電量が少ないため、その分「数」が必要となります。そうなると漁業への悪影響も懸念されることになります。	コストについては、風車本体の費用、建設費用に加え、20年間の運営中の運転、維持管理、撤去費用等を含めて事業性を検討しております。洋上の場合のメンテナスは、陸上と比較して荒天等によるアクセス性に課題はありますが、海外では多くの実績もあり、計画的に実施してまいります。メンテナス費用および撤去費用などは、発電により得られる収入で運営していきます。なお、撤去費用は優先して積立てる計画としています。本事業は、着床式の洋上風力発電機を計画しており、1基あたりの出力は4,000kWを予定しております。
839	・対費用効果の具体的数値が分からない	
840	コスト面維持費等を勘案するとことを考えると、決して効率的とは思いません。自然破壊にもつながると感じます。以上の理由により、洋上風力発電事業に反対であります。以上	
841	・メンテナンス等のランニングコストが明確にされていない	
842	・一度建てた風車は常にメンテナンスが必要となるので維持費がかかる。	
843	メンテナンスに多額の費用がかかりそう。	
844	海上になるので、メンテナンスが難しいのでは？	
845	採算は合うのか？	
846	風が吹かない時は、安定した電力が得られないのでしょうか？	
847	不安要素はないのか	
848	建設費はどれくらいかかるのか知りたい。	
849	意見を求められても、設置にあたってどれだけの費用とどこの負担があるのか、具体的な説明や計画書がないと書きようがありません。	
850	設備投資をして、採算は取れるのか疑問に思う。	
851	環境に影響の少ない発電が進められる中いいとは思いますが、維持費などがかかるし全国的に運転していない発電機もあると聞いたことがあります。 設置するのにかかる費用等含め、発電がまかなえるのかが疑問です。	

852	・風力発電建設への反対署名（意思表示）が97000筆以上あらわされています。 ・電力が足りないから、新たに風力発電を作ろうと考えているのであれば、いつ、どんな状況の時に電力が足りないのか、常に疑問を持っています。今年の夏はどうでしたか？ ・自然環境への影響　景観の破壊　人体への健康被害、次の世代へ何を残し、つないで行くのか もっともっと住民、市民の意見、希望に耳を傾ける姿勢が必要なのではないでしょう？ 「響灘に風力発電を作ろう」といつ、誰が言い出したのでしょうか？　　絶対反対！！	本事業においては、地域の皆様の反対があることも理解しております。方法書段階の当初計画では、風力発電機から最も近い民家までの距離は約760mであった事から健康影響への懸念や、景観的な圧迫感への懸念があったものと考えております。これらの懸念から方法書についての意見書や方法書についての説明会においては多くのご意見・ご指摘を頂きました。本事業では、方法書に記載した事業計画に対する環境保全の観点並びに住民等、国、関係自治体の意見を踏まえ、風力発電機の配置に当たっては、施設の供用に伴う騒音や低周波音、漁場、鳥類、景観等に対する環境負荷低減を図るとともに、漁船等の船舶航行安全に配慮した配置としました。方法書段階では、風力発電機から最も近い民家までの距離は約760mでしたが、準備書段階では約1,500mとなるように変更しました。最も近い民家までの距離を可能な限り離す事、及び候補の中で最も少ない基数とする事により、騒音や風車の影の影響の低減など、環境影響の程度を極力抑えることが出来る様、検討を行っております。 地球温暖化防止のため、COP21等で日本も世界に、温室効果ガス排出量の削減を約束しております。また、山口県といたしましても、2020年までに22万キロワットまで風力発電事業を増やしたいと、公表をしています。この様な背景のもと、再生可能エネルギー事業の推進に貢献したいと考えております。一般的に、公共施設にはメリットとデメリットがありますが、デメリットに対しては影響を低減するとともに、メリットには付加価値をつけることによってより良い施設へと出来るものと考えております。 本事業については、事業主として安定した運営のために、一定の利益を得ることは必要ですが、その中から、魚礁設置による豊かな漁場の創出、漁場、操業への悪影響はない等、事業推進の要望が出ている漁業振興への貢献も考えております。事業を通じて地域経済の発展及び活性化に資することで「産業力・観光力の増強」の面で貢献出来るものと考えております。
853	周近地域の景観、住民の不安に対し、風力発電による市民、地域住民への還元を考えると、景観の損失、住民の不安の方が大きいと思える。又　市の経済効果、電力量の絶対的不足等の事業性の考えについても見込みであって確実な物と考えにくい。 現在の節電意識状況を考えると、反対署名多数の今の状況をくつがえしてまで必要な設備と思えない。	地球温暖化防止のため、COP21等で日本も世界に、温室効果ガス排出量の削減を約束しております。また、山口県といたしましても、2020年までに22万キロワットまで風力発電事業を増やしたいと、公表をしています。この様な背景のもと、再生可能エネルギー事業の推進に貢献したいと考えております。一般的に、公共施設にはメリットとデメリットがありますが、デメリットに対しては影響を低減するとともに、メリットには付加価値をつけることによってより良い施設へと出来るものと考えております。 本事業については、事業主として安定した運営のために、一定の利益を得ることは必要ですが、その中から、魚礁設置による豊かな漁場の創出、漁場、操業への悪影響はない等、事業推進の要望が出ている漁業振興への貢献も考えております。事業を通じて地域経済の発展及び活性化に資することで「産業力・観光力の増強」の面で貢献出来るものと考えております。 景観について、配置は規則性に配慮し、色彩については周辺の景観との調和に配慮するなどの環境保全措置を講じることにより、実行可能な範囲で影響を低減するよう努めます。本事業における経済的な効果、地域の活性化にも期待されている面について、その一助となるよう事業を推進してまいります。
854	反対します。 環境被害があまりにも大きく、地元に対し経済効果が全くない。電気代は一般が負担することになり、地元の資産価値は下がってくる 一般企業とちがい雇用が全くない 地元住民にとって身体的、精神的に悪影響を及ぼすのみであり、一分のメリットもない。 夕方の一時の癒しである夕日のすばらしさを妨げられ 明日への希望も半減し、絶対反対です	
855	原子力発電が問題の中　火力、風力のエネルギーは必要になるのかな？	「地球温暖化対策計画」（閣議決定、平成28年5月）によると、温室効果ガスを排出しない再生可能エネルギーの導入の重要性が認められているとともに、風力発電については、「中長期的には、陸上風力の導入可能な適地が限定的な我が国において、洋上風力発電の導入拡大は不可欠であり、港湾区域等において着床式洋上風力の導入を促進するとともに、浮体式洋上風力発電についても、世界初の本格的な事業化に向けた実証研究などの取組を進める。」とされております。したがって、今後導入が増えるものと考えております。
856	今後増えてくる事業なのでしょうか？	
857	安岡沖に建設しようとしている風力発電の電力ですが、実際の運用についてあまりきこえてきません。 化石燃料の代用とするのか、原子力発電に成り変わる新しい電力とするのか、風力発電事体必要なものなのか知りたいところです。	
858	環境破壊や騒音等に問題がなければ賛成です。自然エネルギーで発電できることはとても良いことだとは思いますが、環境資源が破壊されては意味がないと思うからです。	環境影響評価法では、環境に大きな影響を及ぼすおそれがある一定規模の事業を実施する際に、あらかじめ事業が環境に与える影響を、調査、予測、評価し、その結果に基づき適正な環境配慮を行う事が定められております。本事業においても、環境影響評価の対象となっており、事業実施前の環境調査結果を踏まえて、予測、評価を行い、環境保全措置を講じることで、自然環境への影響を可能な限り回避・低減するよう努めております。なお、これらの結果は環境影響評価準備書としてまとめ、下関市、山口県、経済産業省の審査会や顧問会等において審査頂くことになっております。
859	風力発電は基本的に賛成です。施設の建設・製造において、環境破壊等には最大の配慮をお願いします。	
860	再生可能エネルギーの建設については前向きに検討していく課題であり下関においても風力発電。大きな発電風車を山陰側山ぞいに多く見ます。ただ周辺に住む方々の環境影響については、はなはだ不勉強であり、よくわかりません。この部分を無視しての建設をする事は、原発を地方への建設を推進する事と同じ様な気もします。	
861	環境と地域の方々に影響など問題が無ければ良いのかと思います。	

862	地元としては環境への影響が大変危惧するところはあるが、地震や津波による原発のリスク、今後の不安や地球規模での持続的発展などを考えると、推進しる意義は大きいと思う。まずは環境影響評価を十分に行いその上で事業を推進して欲しい。	同　　上
863	環境に問題がなければ、プロジェクトに賛成します。	
864	環境にどのように影響するのかわからないが？原子力より良いかと！	
865	環境破壊や風きり音による騒音や低周波による健康被害等もとりざたされている中、無理な風力発電事業には疑問をもっていますが、原子力発電事業よりは良いのではないかと思います。	
866	海洋環境への影響がどれくらいあるのか知りたい。今後の地域活性につながると思う	
867	洋上風力発電の環境への影響はどうなのでしょうか。悪い影響がなければクリーンなエネルギーでとても良いと思います。	
868	先ずは事業に依り絡む地域弊害が及ぼす影響が最小限に果たせるのならば良い事だと思います。	
869	健康被害、騒音、魚場、いろんな問題があると思いますが、今後のエネルギー源のことを考えると100%反対とはいえない。	
870	風力発電事業には賛成ですが、健康被害や、漁業えの被害が心配です。	
871	原発は反対です。代わりの風力発電は応援したいと思います。でも、自然をこわしたり、健康被害など内容によく考慮してほしいと思います。	
872	風力発電は、他の原発や火力等に比べて、環境への様々な問題が少なくてすむと思います。反対意見が出ているのは、目に耳にしますが良い解決策を見つけて進められたらと思います。	
873	原発不安の中、風力発電は必要と認識しているので地元に経済効果もあり有効な事業と思う。但し環境アセスメントの面では確実に実施願いたい。	
874	日置や、若松の方に風車がならんているのを見るが、目を引く景観に見入ってしまう事がある。見目もよくエネルギーの源力ろもなるならあって良いと思う。だが洋上の汚染など、害のなるものまで産んでしまったら意味がないので十分精査し、、最も地球に優しいエネルギーとして建てて欲しい。	
875	反対の気持ちもある漁師が市のほうに陳情されたり、逆に賛成の考えを持っている漁師が市に要望書を出したりしていますが、当該地域の漁業権が実際にどのようになっているのか。	漁業権は山口県漁業協同組合（以下、山口県漁協）が保有しています。このため、前田建設工業は山口県漁協と協議を行い、漁業補償契約を締結しております。山口県漁協はもちろん、漁協組合員の大多数の方も本事業に賛成しているものと理解しており、事業の推進要望書の提出がされております。一部に反対している方がいるとの理解ですが、引き続き説明し、理解を求めたいと考えております。
876	具体的な設置場所が不明ですが、設置後の航泊はどうなるのか。周辺での魚釣りは出来るのか気がかりです。	航路標識法等の関係法令の規定に従うほか、関係機関の指導に従うものとしておりますが、立ち入り禁止になることは想定しておりません。
877	完成後、近くに行けるのか。	
878	計画して実用化されるまで、どの位の日にちがかかるのでしょうか？	平成32年春頃の運転開始を予定しております。
879	施工は地場業者で行うのか	工事計画の詳細は今後の検討となりますが、本事業では下関市の充実した港湾設備を利用し、工事、運営については地元企業の協力を得て本事業を推進し、地域への貢献を果たすことを目的としております。
880	施工中の近隣問題が気になる	工事を実施する場合には、安全対策を関係機関と協議し、確実に実施いたします。
881	計画が実行されることになり、風力発電事業として成立し、発電の恩恵を受けた後、この安岡地域の事を思い浮かべると２０年前と同じに戻ることが出来ないと思う。 全てが撤去されれば、景観も人の流れ変わるはずで、有期事業であっても事業の終了から事業期間と同じ程は地域のために窓口を設けておくことや、事業で発生した問題点を追跡調査、改善させるしくみを徹底して重要視してほしい。	事業者として、開発、建設、運営と一貫して責任をもって対応いたします。風力発電施設が原因で各種問題が発生し、損害との合理的な因果関係が明確となった場合には、必要に応じて専門家の指導・助言を踏まえて適切な対応を講じます。
882	計画の事を詳しく知りたい	環境影響評価の途中経過、事業計画について、下関市環境審議会（公開型）や説明会で説明を行い、ホームページで情報公開してきた他、タウン誌への折り込み広告（市内全域約10万3千世帯）等で事業に関する情報をお届けしました。広報の方法については、今後も検討し情報発信を継続したいと考えております。
883	風力発電事業について、賛成は、反対派があるようですが、一度も詳しい事業計画・詳細を聞いた事がなく、新聞等で少し記事を拝見しただけですから、下関市民全体にまで広まっているとは思えない面もあります。	

884	反対派の体調不良の意見はあるが医師の診断書の提示が有る訳でもなく、一方的に反対のみに聞こえる、もう少し下関市の活性化を考えたのがいいのでは？ 若い人が就職できるように、下関がこれ以上衰退するのは悲しい。前田建設さんは説明に対して準備不足だと思う。反対派の方々を少し甘く見ていたのでは？（先日の説明会の時に感じました。）又、行政はどうなんでしょうか。 前田建設さんと反対派だけの問題のように見える。	同　　上
885	地域内だけでも、新聞報道だけでなくテレビやラジオなどのメディアをつかってわかりやすい説明をしてもらえば、住民同士話しができるのではないか。	
886	漁協や病院関係者より反対の署名が回って来た事があるがどのように対応されるのでしょうか	
887	建設推進について、地域住民の理解については賛否両論あると思いますが、まずはメリット、デメリットを明確にすべきです。その上で時間をかけえて住民の判断に委ねるべきでしょう。ただ時間がかかる様であれば、多数決？を取り少数派に対しては納得のいく案を分かり易く掲示すべき	
888	住吉工業が説明会を行った時参加させていただきましたが、今一度説明会を開かれてはどうでしょうか？	
889	沢山の意見交換をして、対話による解決をはかってほしい	
890	もう少し、本プロジェクトの内容を広報活動等で多くの人に周知してほしい。	
891	地元住民の意見をしっかり聞いて計画してほしい。	
892	下関に住んでいるわけではないので、よく分かりません。 ただ、反対意見が多くメディアで見かけます。 もっと建設するメリットを伝えた方がいいと思います。	
893	建設に反対する方も多いようなので、地元住民へきちんと説明を行い、同意を得ることが必要だと思います。	
894	潮流発電等はないのでしょうか	本事業の対象事業実施区域内での予定はありません。
895	風力発電の電気のできるしくみが知りたいです	一例として、「風力発電導入ガイドブック2008」（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構、2008年）などに記載されております。
896	海外で先行している好事例を詳しく知りたい。	
897	・洋上の風車から、地上への引込方法は？	引込み方法等の工事計画の詳細については、関係者と協議の上、今後の検討と考えております。
898	風力発電のデメリットがどの様な事なのか分かりませんが原子力発電に比べると良いような気がします。	地域の皆様のメリットとしては、税収の増加や工事等による雇用の創出等が考えられ、事業を通じて地域経済の発展及び活性化が期待されております。一方で、漁場が狭くなる、風景が悪くなるとの意見も頂いております。漁場の面では、それを補うために魚礁の設置等プラス面を創出していきます。また、景観については、洋上での風力発電機は国内でも事例が少なく、新たな景勝地としての期待や自然景観と調和した新たな風景構築の可能性があるとの意見もあります。デメリットに対しては影響を低減するとともに、プラス面を創出できるよう努めてまいります。
899	景観や騒音は100人いたら100通りの感じ方があるものというのは、私はよく分からないです。そのような曖昧な話ではなくて、具体的に下関にとってこのようなメリットがあるといったことはないのですか。	
900	風力発電によるメリットのほうはぼやっと聞いたのですが、デメリットを聞いてないので、前田建設工業の説明をお願いします。	
901	デメリットを教えて下さい。	
902	具体的にどういうメリットがあるのか気になる	
903	近隣住民とってもどんなメリットがあるのか明確にしてほしい。	
904	下関市にとってメリット・デメリット、住民にとってのメリット・デメリットを考えていくべきだと思う。特に人的な影響については重要視していくべき	
905	良い点（経済効果）と悪い点（健康被害）を総て出し来った上で住民の選択をさせて欲しいです。	
906	この用紙をもらうまで、下関産まれ下関で育ってきましたが知りませんでした。原発は怖いイメージですが、風力発電に関しては何がメリットで、何がデメリットなのかも分かりません。 下関市内でも、住んでいる場所が安岡から遠いので正直ぴんときません。	
907	日本全国において、原発がその分減るのなら、風力は必要だと思うが、自身が地元住民だった場合反対すると思う。光熱費が安くなることや、助成金などのメリットがない限りは地元住民は納得しないのではなかろうか。	
908	風力発電の設置場所について なぜその場所が良いのか、設置場所についてのメリ・デメ等を示していただけるとわかり易いのではないでしょうか？	
909	実際に建設される場合のメリット・デメリットを詳しく教えてほしい。健康被害や安全上の問題・騒音などが心配。観光スポットになったり雇用が増えたとしても、個人的に受けれる利益は少なそう。光熱費を安くしてもらえたり何かもらえる物等があれば賛成の人も増えると感じる。	
910	大型のプロジェクトとのことですが、市民の税金に影響はないですか？	公共事業とは異なりますので、公的資金が使われることはありません。
911	・風力発電より発電した電力はどのように運用するんですか、電力会社に売るんですか？	本事業の様な再生可能エネルギーで発電した電気は、電力会社が一定価格で買い取ることとなります。現段階では本事業により、電気代が安くなることはありません。
912	電気料金が安くなるのですか？	

913	電気代を安くしてください	同　　上
914	電気代を安くして下さい。	
915	電気代が安くなると良い。	
916	電気料が安くなるのであれば良いです。	
917	風力発電によって作られた電気は、どこに供給されるのでしょうか。また、風力発電で家庭での使用電力代金は下がったりするのでしょうか。	
918	・本プロジェクトが日本のエネルギー自給率向上にどのくらい寄与するのかその具体的数字を知りたい。	本事業では、6万ｋｗの発電を行いますが、エネルギー自給率の向上としてはほとんど寄与しない数字となります。しかし、年間で約40,000世帯の電力消費量に相当する発電を行います。
919	風力発電の見える道の駅の建築がいい。	平成25年3月発表（平成26年4月一部改定）の山口県の「山口県再生可能エネルギー推進指針」におても再生可能エネルギーは地球温暖化対策に有効であることなど「安全・安心の確保」の観点から貴重なエネルギー源とし、さらには「産業力・観光力の増強」の面からも導入促進は重要と述べられております。本事業では、この指針に沿って地域経済の発展及び活性化に資することで「産業力・観光力の増強」の面でも貢献したいと考えております。地域への貢献として関係者と協議したいと考えております。
920	道の駅をみてみたい	
921	道の駅を見てみたい。	
922	道の駅が出来れば新しい観光名所ができ、山陰地方の活性化に繋がりそう	
923	道の駅など併設する事で観光客が増えて地元の経済に大きなメリットがあると思うので賛成です。	
924	説明会にも参加しましたが、道の駅が出来ることで山陰方面の活性化に期待できそう。	
925	騒音や低周波音は1.5km離れているので小さいと考えられる。道の駅を作れば、人も集まり、美観に関しても問題なし。	
926	・風力発電が出来る事により、観光客が見込める。 ・先日の説明会にて、道の駅が出来る事で観光客が見込める。	
927	資料館、道の駅のような施設を合わせて建設してもらいたい。 地域の活性化に向けた取組として、風力発電所完成後、下関市に多くの人が来訪されるよう、行政機関とも十分な協議を行っていただきたい。	
928	観光地になると思うので、道の駅をつくってほしい。	
929	風力発電が見える道の駅の建築がいいと思う。	
930	近くに道の駅が出来るとのことで、観光スポットになり活気が出ると思う。	
931	風車と道の駅が併設されることで、新たな観光スポットなり地域活性化につながると考え賛成です。 また、クリーンエネルギーとして、どの発電施設よりも安全であると考えます。	
932	主人からパンフレットを見せて頂きましたが、正直な話、環境影響の事はどうか判りませんが、現在の日本の技術であれば工事を行うに際しても環境影響を極力少なくしての工事は可能で有るんじゃないかと思います。安岡の海上に風車の景観は想像がつきました。下関市と協同にての海の駅案には大賛成であります。	
933	安岡には商店も少ないので、買い物難民のためにも地元の野さいや?等が買える施設をへいせつしてほしい。	
934	下関市に仕事が生まれ、地域が活性化の可能性があるので良いと思います。道の駅も同時にできたら尚良いと思います。	
935	安岡沖洋上風力発電所ができることにより、地元の建設業者や資材等の受注も増え、建設業者にとっては良いことだと思います。 また、道の駅も建設するという話も聞いたので、地域の活性化のためには良いと思います。	
936	洋上風力発電所ができることにより、地域の建設業者や、観光目的として来る人も増えるので、地域の活性化になると思います。 また、道の駅等を建設するという話もあったので、賛成です。	
937	温室効果ガスの発生が無く環境への配慮がされた発電方法なので賛成 景観の変化をうまく活かし周辺に商業施設の建設等をすれば周辺地域の活成化に繋がると思う。	
938	下関市が発展するなら良いと思います。 道の駅も同時に出来たら観光客が立ち寄り下関市の発展につながると思います。	
939	環境対策等にも十分配慮されているので賛成です。 また景観もよくなるということなので観光地として活気も溢れ、地域性を存分に表現できると思います。 是非ともこの事業を実現させて欲しいです。	
940	新たな産業の誘致、観光地としての効果が期待できるのではないかと思います。	
941	海の上に風車があるのは、面白い光景だと思う。 今後の観光地として活かせるようにするのもいいのでは。	

942	北九州の岸部の風力発電は風を受けても音がしません。景観も大変良くセミ観光地になっており周辺の歩道もトイレもキレイに整備されています。風力発電の風車が立並ぶ姿を想像すると安岡の一つの名所になるのではと思います。	同　　上
943	景観や低周波公害などにも配慮した上で、経済効果もあり、新たな観光地としても期待できると思います。	
944	事業に賛成します。風車が完成した際には、市とタイアップして観光地としての整備をしたら、地域の活性化にもなるのではないでしょうか。	
945	事業に賛成します。風車の完成した際は、市とタイアップして観光地としての整備したら、地域の活性化にもなるのではないでしょうか。	
946	実家が豊北町にありますが、山中に何本も風力発電が稼働し、観光地の一つとなっています。 準備書を拝読したところ、環境に十分配慮して海に建てるとのことですが、新しい観光地となり、下関市の活性化になるなら問題ないと思います。	
947	周辺地にも観光地になるようなものがあればいいと思う。	
948	大規模プロジェクトでの綿密な環境影響調査を行い、景観や低周波公害などにも配慮した発電事業を計画しており、新たな産業の誘致、観光地としての効果も期待できるので賛成です。	
949	長州出島と風車を利用して観光地の一つとし下関市が活性化出来れば良い	
950	風力発電によるCO2削減になり地球温暖化防止につながると思う。是非実現して頂きたい。又、国道191号線沿いに道の駅を作り、風力発電と合わせて観光都市としての下関市の発展に寄与して頂きたい。	
951	道が整備されるので良い。	
952	道が整備されるので良いと思う。	
953	風車の周辺も整備して散歩したりできるようになれば良いと思います。	
954	風車を利用したイベントをひらいてほしい。	
955	風車の景色を楽しむための公園を作ってほしい	
956	風車が観光スポットになるので、公園など整備したらいいと思う。	
957	周辺地域にも展望施設等の建設や楽しめる施設ができれば、魅力的だと思う。	
958	子連れでも行けるような(公園とか) 場所にしてほしい。	
959	将来のエネルギー源として、自然エネルギーの役割は大きいと考えますが、風力発電については、下記の問題があげられる。 ①環境への影響が大きく、その調査が困難 ②大型風車の落下等の事故が多い ③他の自然エネルギーと比較してコストが高く探算性が疑問視される 上記の問題点を解決する必要がある。	環境影響評価法では、環境に大きな影響を及ぼすおそれがある一定規模の事業を実施する際に、あらかじめ事業が環境に与える影響を、調査、予測、評価し、その結果に基づき適正な環境配慮を行う事が定められております。風車の故障・事故の要因としても主なものは落雷等の自然災害によるものですが、下関安岡沖では落雷が少ない地域であることに加え、レセプター（避雷針）の改善や、落雷時の対策等も図られており、事故の予防に努めております。風力発電についてはご意見の通りの課題は有りますが、大規模に開発できれば経済性を確保できる可能性があり、発電施設の高効率化・低コスト化などの技術開発が進められております。
960	災害時に安岡病院と済生会などへ優先して送電するシステムを作ってほしい	再生可能エネルギーは、災害に強い自立・分散型のエネルギーとしても期待されております。引き続き、地域の皆様のご理解・ご協力を頂きながら、社会的責任を果たしてまいります。
961	災害時に安岡病院と済生会等へ優先的に数電するシステムを作って欲しい。	
962	災害時の電力に期待。	
963	災害時の電力に期待する。	
964	大規模停電時の非常電源として期待。	
965	大規模停電時の非常電源として期待	
966	・下関市の災害時の予備電力としても利用できるので再生可能エネルギーは賛成です。	
967	電力不足の今、是非実現してほしい。	日本は、平成28年に地球温暖化対策の新枠組み「パリ協定」を批准しております。今後、日本国内の温室効果ガスの削減目標達成にむけての努力が必要となります。そこで、再生可能エネルギーが注目されていますが、風力発電の導入目標として、総発電電力量の割合で、2030年までに現在の3倍超を目標とする基本方針を掲げており、山口県では2020年までに約10万kW増で現在の約2倍とする目標を掲げています。 本事業では、風の力を利用したクリーンなエネルギーを導入する事で、温室効果ガスを削減することで「安全・安心の確保」への貢献、また、事業を通じて地域経済の発展及び活性化に資することで「産業力・観光力の増強」の面でも貢献したいと考えております。
968	電力不足のため	
969	電力不足のため	
970	電力不足のため	
971	電力不足の為	
972	電力不足をおぎなう必要があると思ったから。	
973	電力保持に付き賛成です。	
974	電力が不足している今　風力実現してほしい。	
975	電力の需要増加が今後も予測される中、自然を活用し、なお且つ環境影響のできるだけ少ない道をもさくしていかなければならないと思います。太陽光・潮力・バイオマス等、それぞれ一長一短あると思いますが、風力にも期待したいです。	

976	電力需要はますます高まっていく中、地震国の日本では電子力発電に頼っているのは危険すぎる事です。なんらかのエネルギー源を得る為には、風力発電も重要な一つではない思うので賛成	同　　上
977	電力の安定供給には不可欠ではないか。他国から石油を買うのと違って燃料代がいらないので電気料金が下がるのではないかと期待ありです。	
978	電力はこれからも必要不可欠なので対策しなければならない。洋上風力ならば技術可能な限りのコスト削減で電力供給できるのではないか。	

No.	意見の概要	事業者の見解
979から988	再生可能エネルギー大いに賛成	日本は、平成28年に地球温暖化対策の新枠組み「パリ協定」を批准しております。今後、日本国内の温室効果ガスの削減目標達成にむけての努力が必要となります。そこで、再生可能エネルギーが注目されていますが、風力発電の導入目標として、総発電電力量の割合で、2030年までに現在の3倍超を目標とする基本方針を掲げており、山口県では2020年までに約10万kW増で現在の約2倍とする目標を掲げています。 現在の日本の主要なエネルギー源である石油・石炭などの化石燃料は、限りのある資源です。風力資源は枯渇しない為、化石燃料等に代わるクリーンなエネルギーとして、太陽光や太陽熱、水力、バイオマス、地熱とともに、導入・普及が促進されています。 本事業では、風の力を利用したクリーンなエネルギーを導入する事で、温室効果ガスを削減することで「安全・安心の確保」への貢献、また、事業を通じて地域経済の発展及び活性化に資することで「産業力・観光力の増強」の面でも貢献したいと考えております。環境への影響については、事業実施前の環境調査結果を踏まえて、予測、評価を行い、環境保全措置を講じることで、自然環境への影響を可能な限り回避・低減するよう努めております。
989から996	再生可能エネルギー賛成	
997から1047	再生可能エネルギーの利用に賛成	
1048から1102	再生可能エネルギー利用大いに賛成	
1103	クリーンエネルギーに賛成します。	
1104	クリーンエネルギーに賛成します。	
1105	クリーンエネルギーに賛成します。	
1106	脱原発観点からクリーンエネルギーの活用に賛成です。	
1107	脱原発観点からクリーンエネルギーの活用に賛成です。	
1108	地熱や風力などのクリーンエネルギーの活用は大事なことだと思う。	
1109	クリーンエネルギーに期待する	
1110	クリーンエネルギーの技術向上に役立ててほしい。	
1111	原発反対クリーンエネルギー賛成。	
1112	再生可能エネルギー利用として、大いに賛成。クリーンエネルギーだと思う。	
1113	風車はクリーンエネルギーとして必要だと思います。	
1114	住民に迷惑がかからずもてあましてる場所があるのであれば賛成!! とてもクリーンなイメージがあるため。	
1115	クリーンエネルギーなので賛成	
1116	原子力発電等にかわる新たなエネルギーでクリーンかつ再生可能エネルギーなので賛成	
1117	風という他国から燃料の輸入の必要が無い純国産のエネルギーで尚且つクリーンなエネルギーなので賛成 洋上なので陸地に比べて安定的に発電が期待できると思う。	
1118	火力発電よりはクリーンだと思う。	
1119	クリーンエネルギーの有効活用により経済発展が出来ると思う。	
1120	クリーンなエネルギーとして、期待したい	
1121	クリーンな風力発電がより日本に普及する事を期待してる	
1122	風力はクリーンエネルギーであり、海上に設置するため、騒音も気になりにくいと思う。積極的に推進してもらいたい。	
1123	日本はクリーンエネルギー開発に力を入れその技術を輸出できるようにすべきで積極的に推進すべきと考える。	
1124	島国日本として、ものづくり大国日本として、クリーンエネルギーの代表となり得る洋上風力発電は是非とも推進して頂きたいと思います。	
1125	クリーンエネルギーの拡大はＣＯ2の削減につながるので、推進を期待します。	
1126	風力はクリーンな電力であり、危険な事故が生じる可能性が低い。海上設置なので騒音もかなり低くなるので期待のエネルギーと考える。	
1127	クリーンなエネルギーであり環境的な視点からみた結果全面的に賛成です。	
1128	クリーンエネルギーであれば、今後の発展においても良い効果が期待される。	
1129	有害物質を出さないクリーンエネルギーが良い。	
1130	化石燃料による発電より安価でクリーンエネルギーとして温暖化ガスを排出されず、今後増加していくことが望ましいと思う。	
1131	クリーンなエネルギーとして期待しています。	
1132	我国のエネルギー事情を考慮すると、再生可能エネルギー、クリーンエネルギーが増える事は良い事だと考えます。	
1133	「原発」と聞くとちょっと怖い感じもするが、「風力発電」と聞くとクリーンな感じがする。	
1134	自然エネルギーを利用した風力発電はとてもクリーンなイメージがあります。地球温暖化の原因となる温室効果ガスを排出せず電気を作れるからいいと思います。	

1135	燃料を必要としないことで排気ガスやCO_2や使用済み燃料が出ないという地球環境にやさしいクリーンエネルギーとして期待できると思います。あと安全面、強風や台風、風が弱い時など電力の供給について少し懸念があるくらいです。	同　　上
1136	クリーンエネルギーとして太陽光に続く発電方法として認識しているなかで、島国である日本において、洋上に発電所が出来ることは世界的にも注目されると思います。是非とも下関に実現した際は見に行きたいと思います。	
1137	風力発電のクリーンな印象による、産業などの誘致はとても良いと思います。懸念されるところも多々あるとは思いますが、これを機に安岡のあたりの発展に繋がっていけばと感じます。	
1138	クリーンエネルギーに賛成します。	
1139	脱原発視点からクリーンエネルギーの活用に賛成です。	
1140	クリーンエネルギーの一つとして必要な手段として考えます。	
1141	賛成します。クリーンなエネルギーの確保は重要と思います。	
1142	クリーンエネルギー期待。	
1143	原発反対、クリーンエネルギー賛成。	
1144	クリーンエネルギーの技術向上に役立ててほしい。	
1145	風力発電に賛成です。自然エネルギーを利用しとてもクリーンなイメージがあるから、そして原子力発電に比べれば安全だと思う。	
1146	クリーンエネルギー発電。早く着工！！	
1147	これからの日本に必要なことだと思います。クリーンなエネルギーを得られることはとてもよいことだと思います。	
1148	クリーンエネルギーを普及させるため必要だと思う。	
1149	火力発電のように燃料を必要としない点は、環境に対して影響が少ないのではないかと思います。日本のエネルギー需要を担うクリーンな発電に期待しています。	
1150	自然エネルギーを利用しての発電なので、クリーンで安全であると思う。	
1151	風力発電はクリーンなエネルギーを使っているため、後世へよりよい状態の環境を残すことができると思います。また、地域の活性化にも寄与することになると信じています。下関市が環境を意識したエネルギー政策を推進していることを嬉しく思います。	
1152	環境についてしっかり対応になっていると思う。クリーンエネルギーの活用が必要なので早期の着工を進めて頂きたいです。	
1153	風力発電はクリーンエネルギーで有り、原発よりも安全。 現在、屋根に太陽光発電を取り付けていますが、 個人用の風力発電があれば導入を検討したい。 是非、安岡沖風力発電事業を実現してほしい！	
1154	風力発電というクリーンな発電によってえ環境保全に役立つことを願う	
1155	東日本大震災で原発のおそろしさが証明された。クリーンなエネルギーを生みだす風力発電や水力発電などが原発にとって代わる日本になってほしい。今回のプロジェクトが成功すれば、約40,000世帯1年分の電力がまかなえることを知り、驚いた。近隣住民の方に配慮しながら、下関市の発展の為、是非成功させていただきたい。	
1156	クリーンエネルギーの風車の建設は環境の観点からも良いことだと考えます。	
1157	風力発電は、クリーンなエネルギーであり、再生可能エネルギーとして期待している。	
1158	風力発電は環境上、非常にクリーンな発電方法であるので推進して欲しい。洋上は風力も安定しており、陸地面積の少ない日本では理想的な設置場所と考えます。騒音も洋上の方が陸上より良い。	
1159	クリーンエネルギーとしての風力発電に期待する。	
1160	環境に優しいクリーンなエネルギーの供給をすすめる事は、地球温暖化抑制の見地からも重要な事だと思いますので、是非進めてください。	
1161	下関市の約1/3の電力供給が可能な点にメリットを感じる。クリーンエネルギーである風力で1/3の電力を確保できれば、その分環境負荷軽減が期待できると考える。	
1162	クリーンエネルギーは良いと思います。	
1163	原子力発電に関しては、危険な事故が起こる可能性や使用ずみ核燃料の処分等、問題が多く、風力発電はとてもクリーンなイメージがある。	
1164	クリーンエネルギーとしての選択肢の一つなので、推進を期待します。	

1165	CO2を排出しないクリーンなエネルギーは電力中心の社会にはなくてはならないもの。設置場所は漁礁にもなると聞いている。漁業振興、地域振興の為にも必要なものと考える。	同　　上
1166	福島原発事故による今だに続く放射能汚染や、化石燃料使用でCO2発生による地球温暖化等が問題になっている時、クリーンエネルギーの風力で発電と言う事は必要と思います。放射能やCO2の様な汚染もなく環境にやさしい発電方法なので期待します。	
1167	風力発電はクリーンなエネルギーを生み出すことから事業には賛成です。	
1168	自分の子供たちの将来の為にはクリーンなエネルギーでの発電を望みます。	
1169	賛成です。原子力等の規制や反対が根強い中、クリーンで比較的安定して電力を供給できるからです。	
1170	CO2が発生しないクリーンなエネルギーと聞いているので地球温暖化対策にも効果的だと思う。	
1171	賛成 ぜひクリーンエネルギーで将来の為に実行実施をお願い致します。	
1172	風力発電事業に大いに賛成しております。また、私ごとでありますが、生まれ育った山口に風力発電事業をなさると聞き、嬉しく思います。出力電力の不安定、不確実性というデメリットはあるものの、再生可能エネルギーとして、何より自然環境の保全やエネルギーセキュリティの確保可能なエネルギー源として今や多くの地で風力発電装置が建設されているので、ぜひ推進していただけたらと思います。化石燃料の代替としての風力は、大量で再生可能であり、１番はクリーンで稼働時に温暖化ガスを出さない。デンマークではすでに３分の１以上風力でまかなわれているという。それでなくても車の排気ガス等で自然に悪影響をおよぼしてきました。あまりにも人間のエゴで自然を破壊してきた。今度は自然に恩返しを人間はすべきであると感じます。	
1173	クリーンエネルギーでCO2削減にピッタリで良いと思います。	
1174	風力発電は自然の力を利用したクリーンなエネルギーなので、これからの時代には必要不可欠です。海上沖に設置されるという事で、とても興味深いです。早期に完成される事を心待ちにしております。	
1175	風力発電はクリーンなエネルギーだから、建設に問題ないと思います。	
1176	自然エネルギーを利用した風力発電はクリーンなイメージがあるので、賛成です。ただ実際、近場に建設されるとなると、人体への害がないのかは一抹の不安を覚えます。	
1177	風力発電はクリーンなエネルギーであり、環境的な視点から見た結果、賛成です。 風力発電は化石燃料に変わる再生可能なエネルギーとして大変注目されています。原子力発電の安全面に対して問題がありましたが、風力発電はそういった面でも安全だと思うので賛成です。	
1178	風力発電はクリーンエネルギーとして環境にとても優しいと思います。 天然ガスや石炭など、化石燃料を燃やす必要が無い為、二酸化炭素を排出する事なく自然の力で発電できることがすばらしいと思います。 地球温暖化に悪影響を与えない風力発電所を早く設置してほしいです。	
1179	有害物質を出すこともなく、環境にやさしいクリーンエネルギーだと思う。	
1180	自然エネルギーを利用した風力発電はとてもクリーンなイメージがある。	
1181	国策での温暖化対策として風力発電＝クリーンエネルギーは再生可能エネルギーのひとつとして必要不可欠、原子力発電と比べても安全性が高いと思います。	
1182	地球環境の低減になるため、風力発電はクリーンなエネルギーなので。	
1183	自然エネルギーの有効活用が出来て良い 風さえあれば発電が可能なので賛成 風力発電はとてもクリーンと思う	
1184	電力を産む、クリーンな方法でとても良いと思う。地域の活性化になると思う。	
1185	クリーンエネルギーに賛成です。	
1186	未来の人たちのためにもより安全でクリーンな発電ができる風力発電は有用だと思う	
1187	クリーンな発電方法なので賛成。	
1188	クリーンなエネルギーであり、環境的な視点から見た結果、全面的に賛成です。	

1189	クリーンエネルギーはどんどん増やすべき。 長門にも、作って下さい	同　　上
1190	とてもクリーンなイメージがある為賛成	
1191	化石燃料に変わるクリーンなエネルギーとして期待します。 風力発電施設が出来た後、出来て良かったと言われる施設造りをして下さい。	
1192	C02削減及び、原発の代替エネルギーとして、クリーンな風力発電は賛成である。	
1193	安全なエネルギー資源だと思います	
1194	安全なエネルギー資源だと思います	
1195	安全なエネルギー資源だと思います。	
1196	安全なエネルギー資源だと思います。	
1197	風力発電に設置のより、漁礁となる効果も期待出来、且つ今後の安定したクリーンエネルギー戦略へ向けた重要な試みであると理解している。	
1198	クリーンエネルギーは必要あり、洋上風力発電は賛成である すでに洋上発電を設置したケースで、観光客の増加、雇用の増加といったモデルケースの事例を提供してほしい。 健康被害について、当事者の主張ではなく、世界的な権威のある方に根拠を明示し、立証してほしいと思います。	
1199	・自然の風を利用することで環境に優しい、クリーンなイメージがある。	
1200	・風力発電は、とてもクリーンなイメージがあるので賛成。	
1201	風力発電は環境にやさしい。	
1202	風力発電は環境にやさしいエネルギーだと思う。	
1203	風力発電は環境にやさしいエネルギーなので推進して頂きたい。	
1204	風力発電は環境にやさしい事業だと思う。又、漁業振興対策もきちんと計画されており、本事業推進を期待します。	
1205	風力発電は環境に優しく、陸と海を問わず建設でき、電力の変換効率が良いと思います。	
1206	風力発電は環境に優しく公害なし。作って欲しいですね。	
1207	風力発電は環境に良いのではないかと思います。	
1208	環境に優しい設備と思います	
1209	環境に優しいという所がとても良いと思います。 洋上風力発電は大賛成です。	
1210	環境に優しい所が良いと思います。もっと増やしてほしい	
1211	環境に優しい発電システムと思うのでいいと思う。	
1212	環境に優しい発電方法なので良いなと思います。	
1213	環境にやさしい発電方法なので賛成	
1214	環境に優しいプロジェクトはどんどん推進してほしい。	
1215	環境にやさしい街のアピールに繋がり、新たな観光の目玉ともなり大きな経済効果が期待できそう。	
1216	環境に優しく、害もないため、また安全面でも賛成します。	
1217	環境に優しく、事故が起こりにくく、リスクが少ない発電方法として有効だと思う。風力発電賛成です。	
1218	環境にやさしく、私たちが生活していくなかで必ず使う電気なので、風力発電はいいと思います。	
1219	環境に優しく事故が起こりにくい発電方法は風の強い地域下関には合っている感じがします。	
1220	環境にやさしくて、原発に頼らなくていいように風力発電をすることは有効と思う	
1221	環境によい	
1222	環境に良いから	
1223	環境に良いから	
1224	環境に良い国にするためには必要なものなので賛成します。	
1225	環境に良いと思います	
1226	環境に良いと思います。	
1227	環境に良いのであれば賛成	
1228	環境に良いのなら	
1229	環境によくこれからの将来に影響を与えると思うので、 作った方がいいと思う。	
1230	環境には全く問題がない事が分かりました。風力発電施設建設に賛成します。	
1231	環境にもやさしいと思います。原発は事故が恐いのでいらない。	
1232	環境にもよいと思うので問題ない。実現してほしいです。	

1233	環境にも良いとのこと。電気料金が安くなれば魅力がある。	同　　上
1234	環境に問題がなければ、自然エネルギーの利用は今後活用されるべきではないでしょうか。	
1235	環境にやさしい	
1236	環境にやさしい 昼、夜を問わず働いてくれる 陸と海を問わず建設できる 電力の変換効率が良い 発電のかかるコストが安い エネルギー源が無限にある	
1237	環境にやさしい 昼夜を問わず働いてくれる 陸と海を問わず建設できる 電力にかかるコストが安い エネルギー源が無尽蔵にある 設備建設の工事が短い	
1238	環境に優しいイメージがあります。	
1239	環境にやさしいエネルギーは必要だと思います。	
1240	地球が自然に発するエネルギーを利用するのは合理的と思います。	
1241	地球環境に極めて優しい発電方式であり他の燃料を必要としない、再生可能エネルギーであり風力発電事業はすばらしい。日本は海に囲まれた国であり、資源としては無尽蔵である	
1242	地球環境にやさしい次世代のためのプロジェクトだと思う。電力エネルギー創出にむけCO2削減効果は高いと思われます。	
1243	地球環境に優しいのであれば問題ないと思う。	
1244	地球環境にやさしい風力発電は基本的に賛成です。 それが洋上での事業とは、壮大で見てみたいです。	
1245	地球環境のためにもよいことだと思う	
1246	地球環境の調和が図れると思います。今の時代変化に合った事業だと思います。	
1247	環境に影響なければ賛成。	
1248	環境に良い風力発電は良いと思います。	
1249	環境にいい発電なので賛成 原子力に比較したら安全な発電 原子力廃止には最善案	
1250	環境にいいと思います。	
1251	環境にいいと思います	
1252	下関市の為に、環境と人間に優しい洋上風力発電事業と思います。実現を心待ちにしています。	
1253	洋上風力発電は環境にやさしいので賛成します	
1254	風力発電は地球にエコなのでいいと思います 絶対いいと思う。	
1255	風力発電は地球環境にやさしく、再生可能エネルギーとして有効なエネルギーと思います。	
1256	最も環境に優しい発電が風力発電だと思う。	
1257	風力発電は、環境に優しいエネルギーだと思う。	
1258	風力発電は、環境にも良いと思うし、温室効果ガスも排出しないし、良いと思います。	
1259	風力発電は、環境に悪影響はないものと確信していますので、地球温暖化対策の為にも推進して欲しいです。	
1260	風力発電事業推進して欲しい。（再生可能で環境に優しいという大きなメリットがあると思います。）	
1261	安岡沖洋上風力発電事業については、環境に優しい上、事故が起こりにくく、何かとリスクの少ない発電方法だと思います。	
1262	風力発電は、他の発電に比べて環境に優しい事業だと思います。	
1263	風力発電事業は環境にやさしく、地球温暖化対策にも有効だと思われるので、進めていくべきだと考えます。	
1264	風力は枯渇の心配がないので安心です	
1265	風力なので環境にはいいと思う。	
1266	風力等、自然エネルギーの活用はサスティナブルな社会の実現のために重要。	
1267	風量発電は環境に優しくていいと思う。	
1268	燃料を使わないので環境によい 安全面でも安心できる	
1269	当事業の環境影響評価準備書の説明を受けて、人にも自然にも優しい発電事業と思います。自信を持って、早期実現を推進して下さい。	

1270	電気のない生活は考えられなくなっています。安定した供給が当たり前ののようになっていますが、とてもありがたいことだと思います。安全で環境に配慮された発電のため、様々な工夫をされ、これからの私達の暮らしを守って下さるようにお願いいたします。	同　　上
1271	大気汚染の原因となる物を排出しないので環境に優しいと思います	
1272	この事業に関しては賛成です。 理由は、騒音等の影響があると言われつつも、建設費や地球にやさしいという面で考えれば他の発電方法よりもコストパフォーマンスに優れていると思ったからです。 なのでこの事業はやるべきだと思います。	
1273	現代社会で電気の需要が多い中、発電方法は色々ありますが、自然への影響が大きいと未来に不安を感じます。風力発電は環境に優しいデメリットの少ない発電方法だと思います。	
1274	・太陽光発電と並んで環境に優しいといわれているので事業推進に期待する。	
1275	・環境に優しい発電は地球の為にも大切だと思います。	
1276	地球に優しいエネルギーなので増えて行ってほしい発電システムだと思う。最近地震が多いので、事故につながらないように十分考慮して建てて欲しい。	
1277	地球にやさしいので賛成です。	
1278	地球を汚さない発電方法はいいと思う	
1279	風力発電事業について意見をする前にまずは風力発電について簡単にまとめたい。メリットとデメリットを挙げていきたい。環境に良いということが最大のメリットではないだろうか。さらに風の力を利用するため金の問題はない。しかし、反対の意見もあるだろう。風力発電所設置の際のお金の問題、設置による環境破壊などがあるだろう。しかし、化石燃料には限りがある。さらには原発の問題もあるだろう。これらの面から考慮した場合、賛成の二文字か出てくるのではないだろうか。	
1280	風力発電は、火力発電のように大量の二酸化炭素を発生しないし、原子力発電のように事故が起きても甚大な影響を及ぼすことが無い。また、風さえあれば発電が可能で燃料を必要としないため、燃料の製造や運搬時に発生する環境汚染が無く、環境に非常に優しい発電です。 　風力発電は、障害物の無い洋上に設置するのは理にかなっているし、落雷等で事故が起きた場合でも、地上に設置するより近隣住民に与える影響ははるかに小さいと思います。 　以上のことから、風力発電の推進して頂きたい。	
1281	エコ推進しているため。自然エネルギーを利用して環境問題が少しでも解決していけばいいと思います。	
1282	エコで良いと思います。楽しみです。	
1283	エコで良いと思います。楽しみです。	
1284	エコな取組みだと思う	
1285	エコなので賛成です。	
1286	エコなのでさんせいです。	
1287	エコなので賛成です。	
1288	エコに期待しています。	
1289	エコに協力します。	
1290	・エコの視点観点から再生可能エネルギー利用できる為、賛成。	
1291	空気が汚れない発電で、とても良いと思います。	
1292	再生エネルギー、風力発電に期待します。 また環境保全に有効だと思う。	
1293	再生エネルギーなので賛成です。	
1294	再生エネルギーに大いに賛成	
1295	再生エネルギーに賛成	
1296	再生エネルギーの活用として風車は有効と思う。	
1297	再生エネルギーの活用に有効と思う。	
1298	再生エネルギーの有効利用に賛成。	
1299	再生エネルギーの利用が今後は必要と思う。	
1300	再生エネルギーの利用事体は良い事だと思う。 地元民等への丁寧な説明と合意が必要。	
1301	再生エネルギーは、どんどん推進すべきだと思います	
1302	再生エネルギーは現状、太陽光エネルギーにばかり注目が集まっているので、地熱や風力を利用したエネルギー回収を積極的にやっていただきたい。	
1303	再生エネルギーは現状、太陽光エネルギーにばかり注目が集まっているので、地熱や風力を利用したエネルギー回収を積極的にやっていただきたいと思います。	

1304	再生エネルギー利用が必要 大いに賛成	同　　上
1305	再生エネルギー利用に賛成 原発事故後の電力不足の改善になるのではないか。 低周波騒音と良く耳にするが県内においても湯谷、平生等に建設稼働中なので賛成します。	
1306	再生エネルギー利用に賛成。	
1307	再生エネルギー利用に賛成。	
1308	再生エネルギー利用に賛成です。後、風車がまわる景色を見てみたいです。	
1309	再生エネルギーを使用することはC02の減す事にもつながりいいことだと思います	
1310	再生エネルギーを利用していくことがこれから大切になってくると思います。また、風力発電事業を通じて下関の活性化になると思いますので賛成です。	
1311	再生可能エネルギーが世界で注目されている中、下関で計画されていることを楽しみに感じております。	
1312	再生可能エネルギー活用に賛成です。 子供の時代まで環境を大切にして欲しい。	
1313	再生可能エネルギーが必要です	
1314	再生可能エネルギー源の代表格である風力発電、特に洋上は今後さらに進めるべきである。	
1315	再生可能エネルギーで日本中がまかなえるようになると良いと思う	
1316	再生可能エネルギーとして、風力発電は有効なエネルギーだと思う。	
1317	再生可能エネルギーとして必要と思う。	
1318	再生可能エネルギーとして風力発電は有効なエネルギーと思う。	
1319	再生可能エネルギーとして有効なエネルギーと思います。 近隣住民の心配する騒音問題がどの程度なのかが詳しく分からないので何とも判断が難しいです。	
1320	再生可能エネルギーに大いに賛成大いに賛成	
1321	再生可能エネルギーに大きく役立つと思う	
1322	再生可能エネルギーに期待しています。	
1323	再生可能エネルギーに期待している。	
1324	再生可能エネルギーに期待しており、日本のエネルギー自給率向上のために大いに賛成します。	
1325	再生可能エネルギーによる発電は地球温暖化防止には重要なものです。	
1326	再生可能エネルギーによる発電を増やし原子力発電を縮小する	
1327	再生可能エネルギーの1つである風力発電の普及が日本の電源構成の多様化につながると考えております。	
1328	再生可能エネルギーの活用は、今後の日本経済の発展にとって不可欠なものと考える。下関に建設することは、全国的に下関をアピールする絶好の機会であり、観光スポットとしての役割も期待できる。	
1329	再生可能エネルギーの活用は推進してほしいと思います。 原子力に頼ることの無いことが必要では。	
1330	再生可能エネルギーの活用を推す声が高まる今般、風力発電は二酸化炭素削減に貢献、環境にやさしい事業であると考えられる。	
1331	再生可能エネルギーのこれまで以上の普及に期待しています。	
1332	再生可能エネルギーの最大限の導入の為にも、風力発電は必要であるから。	
1333	再生可能エネルギーの推進をしたい	
1334	再生可能エネルギーの促進は、これからの時代に必要だと思います。 今の検討している洋上風力発電は、陸地から離隔がおよそ１キロはなれているので低周波等の健康被害は、考えられない事が十分理解できるので賛成です。	
1335	再生可能エネルギーの取り組みは、原子力発電の危険性が再認識された今積極的に推進していく必要がある課題だと思います。 今後は設置するにあたり、事業者は安心・安全であることを丁寧に説明し地元の住民の方々の理解と協力を得て、円滑に取組んでいかれることを切に願っております。	
1336	再生可能エネルギーの有効活用の観点から賛成です。	
1337	再生可能エネルギーの利用、エコでもあり大いに賛成です。	
1338	再生可能エネルギーの利用促進	
1339	再生可能エネルギーの利用で、火力発電や原子力発電に頼らなくてよくなりそう	
1340	再生可能エネルギーの利用として賛成です。	

1341	再生可能エネルギーの利用に大いに賛成します	同　　上
1342	再生可能エネルギーの利用に賛成。陸上風力発電施設が現状これだけの数連った状況において、健康被害が出ているという事が無いので、沖上での設置でも人体に影響は無いと思います。但し、沖上への設置によって海流の変化が起こることによって海底資源への影響が心配	
1343	再生可能エネルギーの利用には大いに賛成。	
1344	再生可能エネルギーの利用には賛成ですが、工事にあたっての海への影響はどうでしょうか？	
1345	再生可能エネルギーの利用によって地域の活性化になればいいと思います	
1346	再生可能エネルギーの利用により地球環境の保全につながると思いますので賛成です	
1347	再生可能エネルギーの利用のため。	
1348	再生可能エネルギーの利用は、地域のイメージアップやCO2削減効果が見込めると思うので賛成です。	
1349	再生可能エネルギーの利用は賛成です。 今後も利用が増えれば、資源の少ない日本にとっては有効なエネルギーになると思います。	
1350	再生可能エネルギーの利用は推進するべきだと思う	
1351	再生可能エネルギーは、地球温暖化対策に有効だと思う。	
1352	再生可能エネルギーはこれから大事だと思うから賛成です。	
1353	再生可能エネルギーは今後必要になると思うから賛成します。	
1354	再生可能エネルギーへの投資は次世代のために必要だと思います。	
1355	再生可能エネルギー利用	
1356	再生可能エネルギー利用、又観光資源としても大いに賛成です。	
1357	再生可能エネルギー利用する事に賛成。	
1358	再生可能エネルギー利用大変良いと思いますので賛成です。	
1359	再生可能エネルギー利用として、賛成します。	
1360	再生可能エネルギー利用と下関市の活性化となるかもしれないので賛成	
1361	再生可能エネルギー利用なので賛成	
1362	再生可能エネルギー利用に大いに期待しています	
1363	再生可能エネルギー利用に大いに賛成 下関の活性化となるかも知れないので賛成 原発をなくすには複合して再生可能エネルギーを利用する事が大事なので賛成	
1364	再生可能エネルギー利用に大に期待する	
1365	再生可能エネルギー利用に期待したい	
1366	再生可能エネルギー利用に期待したい。	
1367	再生可能エネルギー利用に賛成。下関の活性化になるので	
1368	再生可能エネルギー利用に大賛成	
1369	再生可能エネルギー利用に対して大いに賛成しております。 今後の下関の活性化となるかもしれないので賛同致します。	
1370	再生可能エネルギーの有効活用の観点から賛成です。	
1371	再生可能エネルギーの利用として賛成です。	
1372	再生可能エネルギーの利用のため。	
1373	再生可能エネルギー利用に賛成。原発と併合しながら利用し、最終的に原発がなくなるエネルギーとして大いに期待できる。	
1374	風力発電は再生可能エネルギーとして大変有効と思う。	
1375	風力発電は再生可能エネルギーとして有効なエネルギーと思う。	
1376	風力発電は再生可能エネルギーの増加につながることから賛成と考える	
1377	再生可能エネルギー利用によい	
1378	再生可能エネルギー利用の拡大促進に賛成の為。	
1379	再生可能エネルギー利用は、賛成します。	
1380	再生可能エネルギー利用は安全なエネルギーとして大事だと思います。賛成いたします	
1381	再生可能エネルギー利用はいいこどたと思います。	
1382	再生可能エネルギー利用はとても良い事だと思います。	
1383	再生可能エネルギーを使い原発のない日本に出来たらより良い国になると思います。	
1384	再生可能エネルギーを増やして、原発を減らしていかなければならないと思う。	

1385	再生可能エネルギーを利用したい	同　　上
1386	再生可能エネルギーを利用して、地球温暖化防止とエコの観点からもこういった取組は賛成。	
1387	再生可能エネルギーを利用していく事がこれから大切になってくると思います。また風力発電事業を通じて下関の活性化となると思いますので賛成です。	
1388	再生可能エネルギーを利用していて、風が吹けばいつでも発電でき、環境に優しいと思う。	
1389	再生可能エネルギーを利用しているので外部からの影響を受けにくい	
1390	再生可能エネルギーを利用しているので環境に優しい。	
1391	再生可能エネルギーを利用する。	
1392	再生可能エネルギーを利用する事に大いに賛成。	
1393	再生可能エネルギーを利用する事は大切と思うから	
1394	再生利用可能エネルギーに大いに賛成。	
1395	再生可能エネルギーとして24時間発電できるメリットは大きい。	
1396	再生可能エネルギーに期待しており、日本のエネルギー自給率向上の為に大いに賛成です。	
1397	再生可能エネルギーの次代の主役となるであろう洋上風力発電ですが、遠浅や台風が少ない自然環境など、特に西日本では適した場所が少ない。安岡沖がこれらの条件を満たす適地ということであれば事業の推進に賛成したい。	
1398	再生可能エネルギー利用に賛成します。 資源国ではない日本には、風力、地熱等の資源を有効に活用すべきだと考えます。	
1399	再生可能エネルギー利用に賛成します。原発の代わりとして必要だと思います。	
1400	再生可能エネルギー利用に賛成であり、下関、又は周辺地域の活性化となることを期待しています。	
1401	洋上風力は再生可能エネルギーとして有望な可能性がある。	
1402	もっと再生可能エネルギーを利用するべきだと思う	
1403	再生可能エネルギー利用に大いに賛成。 CO2削減(地球温暖化対策)として有効だと思う。	
1404	再生可能エネルギー利用に大いに賛成。 CO2削減（地球温暖化対策）として有効だと思う。	
1405	再生可能エネルギー利用に大いに賛成。 CO2削減として有効だと思う。	
1406	再生可能エネルギー利用に大いに賛成。 CO2削減として有効だと思う。	
1407	再生可能エネルギー利用に大いに賛成。 CO2削減に寄与していて、自然環境保護にも有効だと思う。	
1408	再生可能エネルギー利用に賛成 CO2削減（地球温暖化対策）として有効だと思う	
1409	再生可能エネルギー利用に賛成。 CO2削減（地球温暖化対策）として有効だと思います。	
1410	再生可能エネルギー利用に賛成します。 CO2削減として有効だと思います。	
1411	再生可能エネルギー利用には大賛成です。 人体に害が無く、CO2削減に有効なので賛成です。	
1412	再生可能エネルギー利用は賛成（条件付き）。コストパフォーマンスに優れていることと、環境に優しい。しかし電力の安定供給が出来ないのでは？太陽光発電などと併用し、電力の安定を考えて行ければ良いのでは？	
1413	再生可能エネルギーを利用して、地球温暖化防止とエコの観点からもこういった取り組みは賛成。	
1414	再生可能エネルギーを利用しているので外部からの影響を受けない。	
1415	環境に優しい再生可能エネルギーであり、将来的には欠かせないものと思われます。（低周波騒音のデメリットは他の発電方法に比べれば、そこまで問題にするものではない。）	
1416	環境に優しい再生可能エネルギーなので賛成致します。	
1417	環境にやさしい再生可能エネルギーなので風力発電に賛成	
1418	環境に優しい再生可能エネルギーを自然の風を利用して作る事ができるので風力発電事業に賛成です。	
1419	環境に優しい再生可能エネルギーなので、今後も広く普及していくのではないかと思います。	
1420	環境に優しいし、事故が起きても原子力発電のように広範囲に甚大な影響を与えることがない。	
1421	環境にやさしい事業と聞いています。いろいろな事業効果に期待する。	
1422	次世代に残せる再生可能エネルギー利用に大いに賛成。	

1423	次世代の日本を担う再生可能エネルギーで地元に近い下関が大きな役割を果たすことになるので、とても誇らしく思います。	同　　上
1424	・再生可能エネルギーを利用する事は大切な事なので賛成	
1425	・再生可能エネルギーを利用しているので外部からの影響を受けにくい。	
1426	・再生可能エネルギー利用が今後必要と考えます。	
1427	・再生エネルギー利用は良いこと	
1428	地球温暖化に歯止めをかけるべく、CO_2削減が叫ばれている昨今、化石エネルギーから再生可能エネルギーへの変換は止められぬ世界の流れである。そんな中で安岡に洋上風力発電が出来れば、下関市も先進都市の仲間入りができ、知名度アップにもつながる。また、新たな観光資源ができ、市が推進する。交流人口の拡大への貢献も期待される。尚、周辺住民様、漁業関係者様が建設によっておこる弊害を懸念されている事は耳に入っているが、どちらも「問題なし」と調査結果が出たようにも聞いている。ならば進めるべきかと…。	
1429	複合して再生可能エネルギーを利用する事が大事	
1430	今後再生可能エネルギーの重要性が高くなりそうなので。	
1431	このような規模の大きな再生可能エネルギーの利用により原子力発電かなくなれば良いと思う。	
1432	再生可能エネルギー利用に大いに賛成です。 下関の活性化になればと思います。	
1433	再生可能エネルギー利用に大いに賛成します。原発をなくすには、複合して再生可能エネルギーを利用する事が大事なので賛成します。	
1434	再生可能エネルギー利用に大いにさんせい。 下関の活性化になるかもしれない	
1435	山陰側の強風を再生可能エネルギーとして利用でき、地元活性化にもつながると考え、賛成します。	
1436	再生可能なエネルギー資源に興味がある。	
1437	原発をなくすには再生可能エネルギーを利用する事が大事なので賛成	
1438	再生可能エネルギーとして、風力発電は、なくてはならない事業である。	
1439	風力発電などの再生エネルギーへの転換は、環境保全の大切な事業だと理解しています。早急に風力発電事業の推進を希望します。	
1440	風力発電等の再生可能エネルギーを利用する事が将来的には必要なので賛成です。	
1441	環境の為にも今後は再生エネルギーを利用することが必要になると思う。	
1442	環境の為、再生可能エネルギー利用に賛成します。	
1443	賛成です。◎原子力にかわるエネルギーとして必要なことだと思う。◎地球温暖化防止で良いことだと考えます。	
1444	賛成です。 東日本大震災があり、エネルギー問題に目を向けるようになり、風力は日本の風土にあっていると思います。	
1445	賛成です。 下関の為になり、自然エネルギー活用で良いと思う。	
1446	CO_2削減の為に今後必ず必要であり、再生可能エネルギーとして大いに賛成します。	
1447	とても環境に優しい再生可能エネルギーなので、賛成。	
1448	東北の震災を思うと、原発に頼らず、再生可能エネルギーにしていくことを考えて行く必要があると思います。	
1449	次の理由から再生可能エネルギーの拡大が必要。陸地で適地が限られる日本では洋上風力（や潮力発電）を推進していくべき。（理由）長期的には原子力の比率を下げていく。外国から原油・ガスの輸入の比率を下げ、自前でエネルギー源を持つべき。	
1450	洋上風力発電を推進し、脱原発、再発可能エネルギーを地域より発信してください。	
1451	友人に広島原爆体験者がいます。 辛い経験。次の世代には残せない。 再生可能エネルギー風力発電　大賛成！！	
1452	賛成　再生可能エネルギー利用	
1453	２．再生可能エネルギーの利用拡大のための技術革新に寄与できる。	
1454	・エネルギー再生利用できるのであれば活用していくのがよい	
1455	・原発をなくすには、再生可能エネルギーを利用する事が大事なので賛成です。	
1456	・これを機に再生可能エネルギーがもっと増加すれば良いと思う。	
1457	・環境に優しい再生可能エネルギーの利用は、とても良いと思う。	

1458	洋上風力発電事業については、原子力発電は環境に悪くデメリットが多いが、洋上風力発電は環境に良く大気汚染の心配もない。 自然エネルギーを使っている上、海上に設置するため事故のリスクも少なくメリットの方が多いと思います。	同　　上
1459	安岡の住民が現在の日本の方針である再生エネルギーの促進を止める事は絶対に駄目である。全国各所に計画のある当事業を下関が一番に実現して欲しい。	
1460	風力発電は環境破壊問題の解決策のひとつとして注目されているものと認識している。再生可能エネルギーとして有効な発電システムとして考えている。	
1461	風力発電は色々ある再生可能エネルギーの中でももっとも実用化が進んでるエネルギーであります。ですから賛成です。	
1462	風力発電は色々ある再生可能エネルギーの中でも、一番実用化が進んでいるエネルギーだと思います。他国では、大規模な実用化が進んでいることもあり、実績もあるので日本でもこの事業を進めていけばいいと思います。	
1463	風力発電事業賛成です。 再生可能なエネルギーだと思うので、外部からの影響を受けにくいのがいいと思います。	
1464	原発をなくす為に再生可能エネルギーを利用 大いに賛成します。	
1465	純国産エネルギーで再生エネルギーでもある風力発電事業は、将来への希望であり、重要なエネルギー確保の手段と考えます。	
1466	周囲の住民に迷惑がかからない限り、再生可能エネルギーを利用することは、将来的に必要なことだと思います。	
1467	自社も太陽光発電に取組んでおり、再生利用エネルギー利用は温暖化防止に貢献できる為、賛同します。	
1468	事故や公害問題等をクリア出来るならば再生可能エネルギー発生事業は大いに賛成です	
1469	この度風力発電事業の反対する意見もあるようですが、それを貴重な意見として取捨選択し事業を進めてほしいです。再生可能エネルギー事業は大賛成です	
1470	24時間風力で発電する　再生可能エネルギーである 燃料コストがかからず環境に影響が少ない	
1471	エネルギー自給率の低い日本にとって非常に価値ある取り組みと思います。再生可能エネルギーの中でも太陽光発電に次ぐ、風力発電は大変魅力があり、安岡沖は安定的な風力が得られるため、効果的と思います。建設することにより、新たな観光スポットになるため設置に賛同します。	
1472	次の世代の為にも自然エネルギーの活用は必要だと思う	
1473	自然エネルギー活用は良い事だと思う。	
1474	自然エネルギー活用は良いことだと思う	
1475	自然エネルギーが必要と思います。	
1476	自然エネルギーが必要と思うので期待しています	
1477	自然エネルギー賛成	
1478	自然エネルギーだから	
1479	自然エネルギーで安全が一番だと思います。	
1480	自然エネルギーでエコになる C02削減で地球にやさしい	
1481	自然エネルギーでの発電なので地球温暖化対策としても有効だと思う。 再生可能エネルギーを活用すべきだと思います。	
1482	自然エネルギーという観点からも賛成です。	
1483	自然エネルギーとして、洋上風力発電の活用が増えることを期待します。	
1484	自然エネルギーなので賛成。	
1485	自然エネルギーなので地球にやさしいと思う。	
1486	自然エネルギーなので燃料の心配がないのでいいと思う。	
1487	自然エネルギーに賛成します。	
1488	自然エネルギーに賛成します。	
1489	自然エネルギーにとり組む町としての下関を、子供たちにほこりにしてほしい。	
1490	自然エネルギーの活用で少しでも環境にいいと思うので進めてほしい。	
1491	自然エネルギーの活用に期待します。	
1492	自然エネルギーの活用に賛成します	
1493	自然エネルギーの活用には賛成。	
1494	自然エネルギーの活用は将来的に必須。	
1495	自然エネルギーの活用は地球温暖化対策になるし、海に対しても良い。	

1496	自然エネルギーの活用は必要であり経済効果を含め期待する	同　　上
1497	自然エネルギーの勉強をするためのしせつを作ってほしい。	
1498	自然エネルギーの有効活用。	
1499	自然エネルギーの有効活用及び地元活性化にもつながり、すばらしい事業だと思います。 環境影響に対して反対意見もあり、その同意を取るのも大変な事と思いますが、是非実現に向けて頑張っていただきたいと存じます。	
1500	自然エネルギーの有効活用ができていいと思う。	
1501	自然エネルギーの有効利用として	
1502	自然エネルギーの有効利用はいいと思う。	
1503	自然エネルギーの利用・活用に賛成です。	
1504	自然エネルギーは地球温暖化対策になるから	
1505	自然エネルギーは必要です。	
1506	自然エネルギーは必要です。	
1507	自然エネルギーは必要と思います。	
1508	自然エネルギー必要です。	
1509	自然エネルギー良いと思います。	
1510	自然エネルギー利用に賛成である。	
1511	自然エネルギーを使ったすばらしい事業が下関でやってもらえるなんて大変光栄なことです	
1512	自然エネルギーを導入し、下関の発展につながらうと良いと思います	
1513	自然エネルギーを利用した発電所計画に賛成します	
1514	自然エネルギーを利用した発電で環境にやさしいので賛成 洋上なので風もうけやすく陸地につくるより効率的に発電できると思う。	
1515	自然エネルギーを利用して、下関市も努力していけばいいと思います。	
1516	自然エネルギーを利用する事に賛成です。	
1517	自然エネルギーを利用する発電は、地球温暖化防止に役立つので賛成します。	
1518	自然エネルギーを利用する風力発電は他の発電方法に比し、環境への影響は小さい印象。経済効果と環境保全の最適なマッチングを期待します。	
1519	自然界に悪いことのないような風力発電に賛成します。	
1520	自然開発エネルギー確保は必要だと思う。	
1521	自然環境にいいと聞いているのでいいと思います。	
1522	自然環境に配慮した発電事業に期待する。	
1523	自然を利用し、発電できるので今後の発展に通がるので賛成。	
1524	自然再生エネルギーに賛成します。	
1525	自然でエネルギーを作るため、良いと思う。	
1526	自然にやさしいのがいいです	
1527	自然のエネルギーで良いと思います。	
1528	自然のエネルギーの活用でCO2の削減になり良いと思う	
1529	自然のエネルギーは活用していくべきだと思います。	
1530	自然のエネルギーを活用することは環境を保持していくために、必要不可欠なことだと思います。	
1531	環境に優しい自然エネルギーなので、作って損はない。	
1532	環境に優しい自然エネルギーなので賛成	
1533	環境に優しい自然エネルギーなので賛成	
1534	環境に優しい自然エネルギーなので賛成。	
1535	環境にやさしい自然の力を利用しての発電事業は、これから大いに活用させるべきと思います。	
1536	自然の風の力を利用しての発電で、環境に優しいし、再生可能エネルギーなのでいいと思います。	
1537	自然の風の利用なので温室効果ガスを排出せず電気を作れるので環境に優しい	
1538	自然の風を利用してエネルギーをつくるのは環境に優しいと思います	
1539	自然の風を利用することが賛成。	
1540	自然の活動による再生可能エネルギーは地球環境への負荷も少ないため賛成します。	
1541	自然の資源を利用するシステムなのでエネルギーの安定供給確保になると思う。	
1542	自然の力で発電が出来ることは素晴らしいと思う。	
1543	自然の力により、40,000世帯の1年間の電力量がまかなえるのがすごい！	

1544	自然の力を生かした電力は大切です。 生かされている事を孫にも知って欲しい。賛成します	同　　上
1545	自然の力を活用したエネルギーの取得なので良いことだと思います。反対意見も色々ある様ですが、いずれも明確な根拠がある様に思えません。	
1546	自然の力を活用してのエネルギー利用は環境にやさしく大いに賛成である。	
1547	自然の力を活用する良い施設であると思います。賛成です。	
1548	自然の力を利用したエネルギーなので賛成	
1549	自然の力を利用した発電であり、トータルの電力を考えると良いことだと思う。	
1550	自然の力を利用して地球環境を守り、後世に伝える義務があると思います。	
1551	自然の力を利用し電力という人間が生きていく中で、重要なエネルギーを生み出すプロジェクトに反対する理由がみつからない。 大いに賛成である	
1552	自然の力を利用することで、温暖化防止につながるので良いことだと思う。	
1553	自然のままで電気が作れるなら良いと思う。	
1554	自然の無限の風力を活用する事は安全性等必要だと思います。	
1555	自然のものからエネルギー利用には賛成です	
1556	自然破壊や地球破壊になる恐れが有る原発 事故が起きてしまった例を見聞すると・・・・・・ 風力発電は賛成出来る事だと思います。	
1557	自然発電のため	
1558	自然への影響が少なく環境に優しいイメージ。	
1559	自然力を利用した発電には賛成。原発エネルギーに頼るよりは良いと思う。人に優しく街が躍動するならベター。	
1560	自然力を利用するエネルギーは増やして欲しい 賛成です	
1561	自然をエネルギーに変えられることに感動します。今後もこのような有効な取り組みが増える事に期待します。	
1562	自然エネルギー（再生可能エネルギー）は環境にも優しく、この事業の推進によって、地域活動への経済効果的な波及効果も期待できると思います	
1563	自然エネルギーの利用に賛成。 地震等の災害が起き場合の被害が少ないと思う。 C02削減として有効だ思います。	
1564	自然エネルギーは素晴らしい。これをきっかけに周辺の大学や専門機関での研究をすすめ、国内初のモデル地区になればいいと思う。	
1565	自然を利用して発電する。電力を得るのに、これが一番良いと思います。	
1566	全国的な流れからみても、これからはどんどん自然エネルギーについて考え、導入していくべきだと思います。 下関でもそうあってほしいです。	
1567	洋上風力は、効率的な自然エネルギーの最高峰だと思います。 海に囲まれた日本では特に有効であり日本のシンボルになると思います。	
1568	環境にやさしい自然エネルギーの開発は、太陽光発電と風力発電の導入が主に進められているようです。風力発電は、条件の良いところでは火力発電と同等レベルまで発電コストを下げることができるため、再生可能エネルギー導入拡大を目指す国家施策の後押しを受け、陸上風力発電は近年急速に普及拡大しているようです。安岡沖洋上風力発電事業も環境影響調査を十分にされ、人体及び周辺環境に影響が無いと判断できるのであれば、設置されることに問題はないと思います。	
1569	日本の将来の電力事情を考えると、自然エネルギーを利用した発電は必要である。一部に風力発電に反対する意見があるが、日本の国益を考えているのか疑わしい。下関市の為にも是非、実現して欲しい。	
1570	・自然エネルギーの活用でいい事と思う。	
1571	風力発電などの自然エネルギーは必要なので賛成です。	
1572	風力発電で反対派の意見として高周波による問題もあると聞きますが、自然エネルギーを活用する事には賛成なので、この計画が実現する事を望みます	
1573	風力への取組に関して自然のものとして長期に渡りエネルギー源として使用できると思います。 安心・安全を確保し導入して欲しいです。	
1574	風力発電は公害対策法の一つだと思います。自然エネルギーは環境面を考えると大変望ましく期待したいです。	

1575	風力発電のような安全な自然エネルギーを活用した事業を推進していく必要があると思う	同　　上
1576	風力発電事業ですが、私は賛成です。 理由としては、原子力発電のトラブルが発生した時を考えたら、風力のように自然の力を利用したほうが、環境トラブルが少ないように思います。	
1577	反対派の意見の多くは、騒音や低周波振動がデメリットとしてあがってますが、そのデメリットを無くすために、海上に建設しようとしているのだから、これ以上の良い方法はないと思います。 日常で欠かせない電力をみんな使っているのだから、電力不足を無くすためにいずれは必要になるし、自然のエネルギーを使って、なおかつ海上に設置することに対して大きなデメリットは無いと思います。	
1578	日常の生活で電力は欠かせないものであり、自然に対してこれからの地球の環境に対しても、風力発電事業を進めることはすばらしいと思います。風力発電騒音問題が取り上げられている今、自動車も騒音になりますが、今、電気自動車が出て静になってきているように、良い方向に変わろうと洋上風力発電を設置することに騒音問題はまったく問題ないと思います。 今の社会、低周波音や機械音なんて沢山あります。なので自然エネルギーを使った風力発電事業が進んで行くことは、人にも地球の環境にもメリットが多い。	
1579	電気は必要なものなので、風力発電等自然を利用した発電が好ましいと思う。	
1580	蓄電池を利用して安定供給できるようになれば自然エネルギーとして大いに役立つと思うので賛成。	
1581	説明を聞いたところ、体に害は無いと言う事でした。それならば、自然エネルギーによる発電は、とっても重要な事で有り賛成です。そのうえ下関市にできれば経済効果もたいへん多いのではないかと思います。直接に自分に関係が無いかもしれませんが、この事業は行うべきだと思います。	
1582	生活環境への影響を最小限におさえて自然エネルギーを大いに利用し、発電に事業の効果を期待します。	
1583	CO_2削減や自然エネルギーの利用の観点から賛成です。	
1584	下関市も自然エネルギーを取り入れていく努力をすべきだと思います。	
1585	次世代の未来のためにも、自然エネルギーに！	
1586	画期的な発電方法だと思う。自然エネルギー活用を進めるためにぜひ実現してほしい。	
1587	今の時代「発電」というものに関する関心は高まっていると言えるので、これから先どうやって発電をしていくのか、といったことについて考えてみると、やはり「自然に存在しているものを使用した」発電方法というものは、良いものなのではないかと思います。	
1588	安心して住める環境を作っていくためにも、風力発電のような自然エネルギーを活用した事業が必要であると思う	
1589	・地球に優しい自然エネルギーなので賛成。	
1590	・自然エネルギーを利用促進するのは大変良い事です。ぜひ推めて下さい。ただし原発を無くす為の努力も必要と思います。	
1591	・自然のエネルギーを使うので、賛成	
1592	風力は、自然エネルギーであり地球環境にやさしいものであり推進すべきである 我々漁業者の立場からいうと、漁場造成という側面を持ち下関外海の水揚げ増に寄与するものと信じている　経済上も下関の発展に貢献する。あきらめないでやってほしい。	
1593	この事業に賛成、賛同しています。 環境については、十分配慮していただきたいと思いますが、自然エネルギー事態が環境にやさしいものであることから、あらゆることでバランスのとれた推進は必要不可欠だと思います。 がんばって下さい。	
1594	・今後は自然エネルギーの活用が必要と思います。	
1595	安岡沖の風は季節により強弱に差が有るが、冬の風は強く、ある程度安定して風力が有るように感じる。逆に太陽光は冬には弱く、その補填の意味でも、風力発電はベストマッチと思われる。なによりも、自然エネルギーを電気に変換するのであるから、温暖化による災害をセーブする観点からも促進すべきである。さらに風力のみならず、潮力による発電にも安定した魅力を大きく感じる。 化石燃料をあまりもっていない日本では、将来を見据えて理想的な発電であると思う。	
1596	利用できるエネルギーはおおいに活用するべきだと思う。	
1597	将来のエネルギー問題の為、賛成します。	

1598	将来のエネルギー問題のため、賛成します。	同　　上
1599	将来のエネルギー事業として有望。下関より新エネルギー事業を発展していってもらいたい。	
1600	将来のエネルギー供給源として風力発電の果たす役割は極めて大きいと思います。	
1601	将来のエネルギー供給源として風力発電が果たす役割は極めて大きいと思っています。	
1602	エネルギー先進市になってほしい。	
1603	エネルギー先進市になってほしい。	
1604	エネルギー対策になるなら	
1605	エネルギーの再利用でエコなので賛成です。	
1606	エネルギーの自由化	
1607	エネルギーの多様化により地熱発電や風力発電は国と共にこれからもっと積極的にしていくべきだと思います。	
1608	エネルギー不足解消の為、自然エネルギーの活用は大変大事だと思います。	
1609	エネルギー変換率が高いという所が良いと思います。	
1610	エネルギー問題解消に向けた取り組みであり、賛成する。	
1611	エネルギー問題について子供に説明するチャンス。	
1612	エネルギー問題は、避けては通れない大きな問題だと思っています。事業をする上で反対がでるのは仕方ないことですが、これからも電力は必要になっていきますので、この下関でプロジェクトを成功させて頂きたいです。	
1613	エネルギーを自然の力を使って生み出す技術を進保させることは、日本のものづくりの力を示すことにつながる。付近の住民と協調してプロジェクトを進めて欲しい。	
1614	同じ再生可能エネルギーである太陽光発電は、夜間の発電が出来ないので、夜間を問わず発電が可能な風力発電はとてもいいと思います。 太陽光発電と風力発電が共に活用されることで安定供給が望まれることに期待します。	
1615	大いに賛成です。 環境に優しいと言われているし、自然の力を利用し、新たなエネルギーを作り出してほしいです。	
1616	エネルギーの海外依存の高さや原子力発電の縮小という課題を考えると、風力発電等の再生可能エネルギーの割合を高めていくことは国民的課題だと思います	
1617	エネルギーには、色々な種類が有ります。風力・火力・太陽光・原発これからは、安全な供給が第一であり、自然災害での深刻な破損（福島原発）などを考えると良い事案だと思います。これからは、自然の力からのエネルギー供給は大切だと思います。	
1618	エネルギー政策のため原子力発電が停滞しているので地球環境にやさしい太陽光発電や風力発電を推進して欲しい。	
1619	エネルギー資源に乏しい日本において、エネルギーの供給先の選択肢を増やす事は日本経済及日本国民の生活を守る為、必要な事項です。さらに、地球温暖化への対応（パリ議定書）などに日本として取組みを強化する為には再生可能エネルギー（風力、太陽光、海流、地熱）の利用を推進すべきと考えます。 推進の立場に立って、環境、地元と前向きな話し合いが必要です。	
1620	風力発電を日本の新しいエネルギーの核としていけば良い	
1621	これからは原発にたよらづ。何かあっても害のないエネルギーが必要だと思います。 C02削減のため大変有効だし賛成。	
1622	これからの環境、エネルギー問題にも大きく貢献できると思うので賛成です。	
1623	最近のエネルギー情勢を考えると、環境への負荷が少ない事業なので期待できる。	
1624	今後の日本の発展に資源エネルギーの活用は欠かせないと思うので、賛成である。	
1625	今後の地球上における環境を考えていくと、賛成である。今まで、自然を破壊し続けたのを、自然エネルギーで防いでいってほしい。	
1626	日本は資源の乏しい国だと言われないよう、海の再生可能エネルギーを開発、利用する国策が必要だと思います。下関市に経済効果をもたらすプロジェクトをぜひ実現して欲しいです。	
1627	日本はオセアニア大陸や太平洋に挟まれ、年間を通して風が吹いているので風力発電は新エネルギーとして適していると思う。	
1628	日本はエネルギー大量消費国でありながら、エネルギーの自給率は低く、ほとんどを海外からの輸入に頼っています。風力発電を設置し、エネルギー自給率の向上を少しでも計るべきだと私は思います。	

1629	日本はエネルギー自給率が低く、再生エネルギーを活用することで、これを補っていくことが可能。 風力発電はエコであり島国である日本では推進していくべき。	同　　上
1630	日本の未来を考えると必要かと思われます。	
1631	日本の発展の為のエネルギーとして風力による自然の力で発電が出来て大変すばらしいと思います。	
1632	日本の電力は原子力発電を除くとほぼ輸入原料に依存している。原発の危険性を考えると、水力、風力、太陽光地熱による発電の割合を上げていくしかない。山口県の日本海側は風力発電には最適の立地であり、推進に尽力して下さい。	
1633	日本のエネルギー自給率向上となる為とても良い事だと思います。	
1634	私たちの生活に欠かすことができない電力を、より環境に優しいエネルギーを使うことにとても好感を持ちました。また、市内、市外を問わず経済的にも良い影響をもたらすのではないかと思います。安心、安全なエネルギーとして、継続的に利用できれば将来の環境保全に役立つと期待しています。	
1635	息子、孫により良い環境を残していくことを考えたとき、わが国のエネルギー政策は見直すべきであり、持続可能性を優先したエネルギー転換が必要。現在とれる選択肢では、風力が最も既存環境に与える影響が少ないと考えられ、積極的な推進と検証を求めたい。	
1636	無限のエネエルギーを持つ風力（エネルギー）を電気エネルギーに転換するプロジェクトは英知を結集し進めて頂きたい。わが国のエネルギー問題の解決につながる事を期待したい。	
1637	風力発電は外観も損なわず、安定したエネルギー供給が出来ると思いこれからの未来のエネルギー源として良いと思います。	
1638	風力発電にすることによりエネルギー活用ができるのでよいと思う	
1639	次世代のために、地球を大切にするエネルギー大賛成です 目に見えるエネルギー再生。 使う事も大切にしそう。	
1640	京都議定書よりCO2の削減目標をクリアーできてない 現状で風力エネルギーなどECOエネルギーの推進を押し進めるべきである。	
1641	環境の影響については、海に係わる事前調査及び環境側面に留意され影響のない様、取り組んでほしい。 自然を利用した発電事業は、未来に向けてのエネルギーの有効な対策と思います。	
1642	以前、見学で若松の風力発電所のプロペラの真下に立った事があります。その大きさと働く“力”の大きさに驚いた事がありました。 原子力発電に頼るのは反対です。 何らかのエネルギー源が必要とされる中、「風力発電」は重要な一つなので賛成です。	
1643	今後の日本のエネルギー問題を解決する為にも、私はこの事業をぜひ進めてもらいたいと思っています。低周波が人体に与える影響が取り沙汰されていますが、この問題は調査により、安全だと保証されていると思います。国が風力発電事業を推進するからには、それなりの法律を定めておかないと、今後安岡以外での事業にもスムーズに取り組む為にも支障が出てしまうと思います。	
1644	エネルギー供給源の多様化及び自然エネルギーの活用策として是非建設して欲しい。	
1645	省エネとなり、是非共完成を願っています。	
1646	省エネの本命です。	
1647	化石燃料にかわるエネルギーとして、洋上で安定的に風がある洋上風力は推進すべきと考えます。	
1648	化石燃料には限りが有ります。ぜひ再生エネルギー活用の為にも山口県に導入して頂きたいと思います。	
1649	化石燃料には限りがあります。ぜひ再生エネルギーの活用を。	
1650	化石燃料によるエネルギーを減らし、再生可能エネルギーを増やす事に賛成。	
1651	化石燃料の枯渇が遠くない将来に訪れることはまちがいないので再生可能エネルギーの利用に大いに賛成します。	
1652	化石燃料はいずれ枯渇するため、永遠の原料である風力は魅力であり、環境に優しいので是非実施を望む。	
1653	化石燃料を使用しないで、エネルギーを作り出す手法として期待します。 設置に際しては地元の理解と地元や環境への配慮がされる事を望みます。	
1654	化石燃料を使わないのでエコロジー。	

1655	化石燃料を利用しなくなる為には、必要である	同　　上
1656	賛成です 新しいエネルギーに頼っていく時代の到来です。	
1657	・化石エネルギーから再生可能エネルギーへの転換を進める事は必要と思う。地球温暖化の抑制・原子力発電の依存度を下げる事	
1658	本件風力発電事業については、低周波等環境に悪い影響があるかのごとく喧伝されておりますが、環境影響評価準備書を拝見する限り、その様な悪影響はないものと思料します。化石燃料や原子力に頼らない、地球環境に優しい事業であると考えますので、本事業は是非とも実現させて頂きたいと思っております。	
1659	風力発電は化石燃料を消費しない（CO2を発生させない） 環境に優しい未来的な再生可能エネルギーとして有用・有益な発電事業だと思います。	
1660	火力、水力、原子力発電にかわるエネルギー発電として風力発電もいいと思います。	
1661	火力発電と違い、二酸化炭素を出さないから。	
1662	火力発電とは違い、CO2削減に貢献できるというメリットがあると思うので、有効に活用して頂きたいです。	
1663	火力発電などと違いエネルギー源が枯渇しない所が良いと思います。	
1664	火力発電のように大量の二酸化炭素も排出しないで事故が起きた場合も、ものすごく大きな被害はないと思うので良いと思います。	
1665	火力発電のように大量の二酸化炭素を排出しないし原子力発電のように広範囲に甚大な影響を与えないから。	
1666	火力発電や原子力発電の割合を少しでも減らし、自然力による発電に移行していく必要がある。特に原子力は福島のような事故がおこらない様な取り組みが大事である。	
1667	火力発電や原子力発電方法に比べて安全で環境にやさしいイメージがあるため、好ましい事業だと思います。陸上ではなく、洋上の風車をあまり見たことがないので、よい観光資源になるのではないでしょうか。プロジェクトＨＰ掲載の眺望CGもキレイで、ぜひ見に行きたいと思います。	
1668	火力や原子力に比べ、資源を使用しない、自然な発電方法のため。	
1669	石油を利用しない発電方法はもっと増やして欲しい 賛成です	
1670	石油や原子力発電より安全で資源に限りが無いので良いと思ってます。	
1671	石炭・石油に変わり、地球温暖化対策には大変有効であると思います	
1672	代替エネルギーとしては一番環境に優しいと思う	
1673	代替エネルギーを多く作り、将来は原子力に頼らない環境にもつながる取組だと思います。	
1674	太陽光や風力による恩恵は活用すべきと思います	
1675	太陽光はどうしても場所が必要だが、洋上ならば、その問題はない。どの程度数が立つのかも興味深い。	
1676	太陽光発電や水力発電等と同じように再生可能エネルギーを利用するので環境には優しく、人の住んでいないようなところで設置すれば良いと思います。 洋上であればコストやメンテにお金はかかるかも知れませんが、音や低周波もあまり気にならないのではないでしょうか	
1677	太陽光発電と違い、曇っていても発電できる。	
1678	太陽光の普及により、電力の安定、風力発電も重視されるべきでは。 平地・山間部に比べて、風力の安定が計れる。	
1679	「再生可能エネルギー」で、火力発電のように燃料を使わないので、枯渇の心配がないのがいいと思う。将来を考えると魅力的だと思う。	
1680	地震、津波により、原子炉がメルトダウンし原子力発電が将来不安である以上、何らかの発電所は必要であり、火力発電所は地球温暖化につながるため、風力発電も一つの方法として良いと思う。将来、他の発電方法が開発されればそれで良いと思う。 何でも反対、ゴミ処理場ができれば地域の人は反対、風力発電ができれば地域の人は反対、明確な反対理由がわからない。	
1681	事故が起きても原子力発電のように広範囲に甚大な影響を与えることがなく、火力発電のように大量な二酸化炭素を排出しないので環境に優しいという点で、風力発電に賛成します。	

1682	この前テレビで、「この発電所は何のエネルギーで発電しているか？」という問題(クイズ)が出ていました。てっきり火力発電所かと思ったら、風力発電所でした。日本全国色んな所に風力発電所があることを知り、意外と普及しているんだなと思いました。	同　　上
1683	現状、原子力発電の停滞により火力発電の比率が高くなってきており、温暖ガス等の環境保全対策の観点からもエネルギーの多様化は必要と考える。その中でも風力発電等の自然エネルギー増は好ましいと思う。	
1684	一番良い所は地球温暖化の原因となる温室効果ガスを排出せずに発電し、電力を供給できることです。その他良い所は、火力発電、原子力発電に必要な冷却水がいらないこと、風が吹けば24時間発電できること、などがあります。再生可能エネルギーを利用して発電することは環境に優しいので今後の効果に期待しています。	
1685	1.原子力・火力も当面必要だが、自然エネルギー（風、波、太陽光etc）を活用するのは当然。2.その中で太陽光についで風力を考えるのは有効な方法だと思う。3.環境保全検証の為にも早期に実現すべし。	
1686	地震大国の日本として、原子力発電は東北の例をみても大変危険と思う。それに変わる火力発電も地球の温暖化の要因となる現状としては、風力発電が新しい電力として必要なのではないかと思う。 原子力発電のように負の遺産にならないように、専門家の方々に分かりやすく詳細を求める。 子供達に負担のかからないような、開発をしてほしい。	
1687	私たちの生活には必要不可欠である電力は、火力発電や廃棄困難な原子力発電に比べ、自然エネルギーを利用した風力発電は有益な電力と考える。 環境にやさしく、CO2も排出しないことから、地球温暖化対策にも有効であり、この事業に賛成する。	
1688	洋上風力発電所や風力発電は火力発電や原子力発電と比較して二酸化炭素の排出量が抑えられるため、環境保全に適していると考えて良いと思います。	
1689	安岡沖洋上風力発電事業には大いに賛成です。 今、多くが火力発電で化石燃料を燃しCO2が発生し地球温暖化になり地球全体の気候が変化。 また、原子力発電は、地震等の災害で放射能汚染が発生し被害は、甚大である。 このことから、火力、原子力発電よりは、規模は小さいが、環境、人体の影響はほとんど無い為事業の推進に賛成です。	
1690	他の発電（火力、原子力）に比べ、環境にやさしい風力発電の事業には同意いたします。それに加え、雇用も多く見込まれ経済効果もあると考えられることから、本事業を進めていただきたいと思います。	
1691	風力発電は世界的にも注目を集めている事業で、尚かつ火力発電と違い二酸化炭素を排出しないので、温暖化に悪影響がないし、海に囲まれているので発電量も高いので適していると思う。	
1692	風力発電は原子力発電や火力発電にくらべCO2の排出量が抑えられるための環境にやさしい発電だと考えて良いと思います。 原子力発電と比べると断然風力発電の方が環境保全の面では優位にあると思います。 また、日本は国土がせまいため洋上も有効利用していくべきだと思います。	
1693	既在の原子力発電や火力発電を減らし、自然エネルギーの活用を進めていくべきだと思います。	
1694	将来に向けて火力、原子力発電への依存を減らして行くために、風力発電は大変有効な手段である。特に洋上風力発電は日本の国土に最適であり、技術開発を推し進める価値が十分にある。そのモデルケースに下関が選ばれたのは光栄である。確かに近隣に住んでいる方には様々な不安があるかもしれないが、騒音が届かないように離れているし、風車が稼働した際のメリットは計り知れないと考える。	
1695	・太陽光や水力発電と同様に再生可能エネルギーを利用しており、原子力発電や火力発電等と比べても事故の可能性が極めて低い。	
1696	事業推進については、賛成です。 環境に対する影響も、他の方法によるものに比べ極めて少ないものと思います。	
1697	風力発電は、発電時に二酸化炭素を排出せず、化石燃料と違い、枯渇を心配する必要がないと考える。	
1698	台風にも強い風が発電機が開発されると聞いています。いろいろな発電事業があっていいと思うので進められては。	

1699	市内山間部でも既に稼働している風力発電は、他の発電に比べ、安全で、また、夜間に発電が全くできない太陽光発電に比べ、風さえ吹けば、いつでも発電できる風力発電の方が、電力の安定供給ができ、地球環境にやさしい再生可能エネルギーという点で、事業推進に期待します。	同　　上
1700	エネルギー供給源の多様化及び自然エネルギーの活用策として是非建設して欲しい。	
1701	②石炭、石油、天然ガス輸入を減らす。	
1702	資源を大切にする考えは良いと思う	
1703	資源の乏しい日本には良い方向性の物である	
1704	資源の少なく、地震の多い日本では、風力発電 太陽光発電が有効だと思います。	
1705	資源の少ないわが国において　原子力発電に疑問符が付くようになった現在、風力発電の重要性も感じる。特に台風や地震などで大きな被害を被る地上と違う洋上発電事業には魅力を感じるとともに、海洋立国日本として早急に取り組む事業であると思う。	
1706	資源の少ない日本にとっては、風力発電は必要だと感じます。	
1707	資源の少ない日本において風力発電等の果たす役割は大きいと思う。またこのような大規模プロジェクトは地域の経済活性化にもつながるのでぜひ進めて欲しいと思う。	
1708	資源に乏しい日本で、再生可能エネルギーをもっと普及させてほしいです。	
1709	資源に頼ることなく有害物質も排出しない風力発電は環境に優しい発電方法だと思います。また、地震国日本において想定外の地震が発生したときの原発のリスクを考えると自然エネルギーを利用した風力発電は非常に安全性の高いものと思われます。以上のことにより発電所の設置に賛成致します。	
1710	資源が少なく、地震の多い日本では風力発電、太陽光が有効だと思います。	
1711	資源エネルギーの活用は、今後の日本にとって有効だと思う	
1712	資源エネルギーの確保は、わが国の生活・産業に大きく寄与することが期待されており、海上における発電事業は今後の発展が大きく見込まれ、賛成である。	
1713	この様な自然エネルギーが増えれば、原発なんか要らないし、自然体の生活が出来ると思うし、安岡地区に増えれば暴風対策にもなると思う。 資源活用が人生で一番だと思う。原発か風力発電で勝負してみよう。	
1714	水、風の利用は資源のとぼしい日本にとって、有効な利用方法であり、CO2の削減、原子力の様な危険性のない点においても、今後もっと発展して行く分野だと思います。	
1715	限りない資源こそ活用して頂きたい。	
1716	海洋から資源やエネルギーを得ることは今後の日本の発展を考えると必要だと思う。	
1717	日本には資源が少ないので、太陽光発電と共に風力発電も必要だと思います。	
1718	・資源のいらない発電方法は、今後増やしていかなければならないと思います。	
1719	・枯渇の心配がないエネルギー資源なので賛成。	
1720	＊限りある資源の節約となる	
1721	風が強い地域では、強風による負担がある一方で洋上風力発電でより多くのエネルギーを生みだせるのではないか 風のエネルギーが吸収されて強風による負担が減ることを願う。	風力資源は、枯渇しない為、化石燃料等に代わるクリーンなエネルギーとして、太陽光や太陽熱、水力、バイオマス、地熱とともに、導入・普及が促進されています。 本事業では、風の力を利用したクリーンなエネルギーを導入することで、温室効果ガスを削減することで「安全・安心の確保」への貢献、また、事業を通じて地域経済の発展及び活性化に資することで「産業力・観光力の増強」の面でも貢献したいと考えております。
1722	「風」という極めて環境に優しい力を利用しているため、事業の見通しも立てやすく、再生可能という点で大きなメリットを持っていると思う。風力発電事業を是非進めてもらいたい。	
1723	風が強く吹く日本海側に建てるのはいいアイデアだと思います。	
1724	風が吹いていない時が心配ですが、昼夜問わず使用でき環境にも優しいので、これからの環境・経済効果に期待出来そうです。見栄えも良く穏やかな街に見えると思います。	
1725	風が吹けば24時間いつでも発電できる。	
1726	風が吹けば２４時間発電できる点から、太陽光や原子力発電と比べ良いと思う。	
1727	風が吹けば２４時間発電できるので良いと思う。	
1728	風が吹けばいつでも24時間発電できるし、発電時に地球温暖化の原因となる温室効果ガスを排出しないので良い。	
1729	風が吹けばいつでも24時間発電できるの良いと思う。	
1730	風が吹けばいつでも発電できるのがよいと思います。	

1731	風という自然の力を利用して環境に優しい。風の力だけで電力を得ることができる。	同　　上
1732	風の力を利用し、燃料を燃やすことなく、二酸化炭素が排出されず地球温暖化防止に有効な点で賛成です。	
1733	風の力を利用しないのはもったいないと思います。	
1734	風の力を利用する風力発電は、燃料の枯渇の心配もなく、自然エネルギーで発電できますので推進すべきだと思います。 しかし、テレビや雑誌上で低周波による人間健康被害・騒音問題を目にします…？ 地域住民の方の安全性が確保されれば、事業推進に大いに期待をします。	
1735	風の強い関門の地に最適だと思います。前田建設工業、ガンバレ!!	
1736	風の強い地域なのでそのエネルギーを有効に活用してほしい。どうせ作るなら世界に誇れるものにしてほしい。	
1737	風のみの力で発電でき、一つ一つの施設が小さいというのは大きなメリットだと思う。	
1738	風はいつでも無料で吹いているので、ぜひ活用してほしい。発電することにより余計なものも排出しない風力発電はこれからの日本になくてはならない設備。	
1739	風を利用し、温暖化防止になると思います。又エネルギーは無限に利用可能だから半永久的に発電できると考えられますので、有効手段の一つと考えられます。	
1740	風を利用しているので外部（温室効果ガスなどの排出）からの影響を受けにくいので良いと思う	
1741	貴重な資源として、風の力を使って発電できるならいいと思う。	
1742	・風が吹けばいつでも発電できる。	
1743	風力を活用した取り組みに賛同します	
1744	下関は良く風が強いと言われてますが、その風を利用しないより利用したほうが良いのでは。	
1745	下関は風が強いので、メリットがあるのではと思います。	
1746	先日の原発事故により沢山の被害がでていますが、風力によるともし事故が起きても被害が少ないのではないかと思います。	
1747	安岡沖洋上風力発電事業については、海上は陸地に比べて風が強い、風力発電は風が吹けばいつでも２４時間発電できるので賛成です。	
1748	風力発電は、風の吹くところであればどこでも発電できるので魅力がある。	
1749	風力発電は、風の力を利用して電気を作り、自然への影響も少ない為、環境対策になるのでいいと思います。	
1750	風力発電は、風さえ吹いていれば昼夜を問わず発電することができる。	
1751	福島みたいな事のないためにも自然の風を利用した風力発電事業に大賛成します。	
1752	風力発電は風が吹けばエネルギーに変え昼夜なく出来る	
1753	風力発電には、風という尽きることのないエネルギーを利用しているという点や、発電をするにあたって、他国から燃料を輸入する必要がないというメリットがあると考える。	
1754	半永久的に尽きることのない風のエネルギーを電気エネルギーに出来る	
1755	他の発電とは違い、風を利用することで環境に優しいので良いと思います。海の近くに設置することで風を最大限に利用できると思います。	
1756	下関は山口県下で最も風が強く吹く事が多く、日本海側にある安岡は、その位置を利用し、環境に優しい電気が発電できる事に賛成します。ドイツでは何年も前より海上風力発電が数多くあり、日本もその点では遅れていると思います。	
1757	下関は風が強い町です。それを利用しないのはもったいないと思います。自然エネルギーに対して、下関市はもっと力を入れていいのではないでしょうか。 青い海に並ぶ白い風車を見てみたいと思います。	
1758	風力発電賛成します。風が吹けば24時間発電でき環境に優しいし、世界的に普及しているので安心です。 安岡は海があり風を受けるには適した場所ではないでしょうか。	
1759	・立地可能領域が広いので安定した風をえられると思います。	
1760	・風が吹けばいつでも24時間発電が出来るし環境に優しいのでエコにもつながる。	
1761	・風が吹けばいつでも24時間発電できるので発電効率に期待する。	

1762	・風が吹けば、いつでも24時間発電できるので良いと思う。	同　　上
1763	・発電量が少ないとゆうデメリットはありますが、風のみの「力」で発電できて、一つ一つの施設が小さいとゆうのは大きなメリットだと思うので賛成。	
1764	必要なのは、風の力だけで、燃料を必要としないので、いいと思う。	
1765	夜間でも発電できる事が魅力だと思います	
1766	風力発電事業は、今後とも注目するべきエコなまだまだ発展、展開してほしいと思っております。 福島原発の事故は今だに終息のめども見えない所で、３０年、４０年の廃炉への道のりがあります。そこに南海トラフの恐怖があります。そのかわりの電力として、風力はとても良いことだと思います。ただどの地域、場所が良いのか、またそこには反対の方もおられるでしょうが、最善の場所で近隣住民の方と良く話をされて、建設に向けて動いてほしいと思います。	
1767から1783	原発をなくすには、複合して再生可能エネルギーを利用する事が大事だと思うので賛成です。	日本は、平成28年に地球温暖化対策の新枠組み「パリ協定」を批准しております。今後、日本国内の温室効果ガスの削減目標達成にむけての努力が必要となります。そこで、再生可能エネルギーが注目されていますが、風力発電の導入目標として、総発電電力量の割合で、2030年までに現在の3倍超を目標とする基本方針を掲げており、山口県では2020年までに約10万kW増で現在の約2倍とする目標を掲げています。 平成25年3月発表（平成26年4月一部改定）の山口県の「山口県再生可能エネルギー推進指針」におても再生可能エネルギーは地球温暖化対策に有効であることなど「安全・安心の確保」の観点から貴重なエネルギー源とし、さらには「産業力・観光力の増強」の面からも導入促進は重要と述べられております。 本事業では、下関沖の恵まれた風力資源を活用した再生可能エネルギーを導入し、温室効果ガスを削減することで「安全・安心の確保」への貢献、また、事業を通じて地域経済の発展及び活性化に資することで「産業力・観光力の増強」の面でも貢献したいと考えております。
1784から1795	原子力に変わる発電方法としてよいと思うので作ってほしい。	
1796	原発をなくすには、自然の力を利用した再生可能エネルギーを使って欲しいと思うので賛成。	
1797	原発をなくすには、複合して再生可能エネルギーを利用する事が大事なので、賛成。 CO2削減(地球温暖化対策)として有効だと思う。	
1798	原発をなくすには、複合して再生可能エネルギーを利用する事が大事なので賛成。 人体に害が無い事が十分に分かったので賛成です。	
1799	原発をなくすには、複合して再生可能なエネルギーをなくすには利用する事が大事なので賛成です	
1800	原発をなくすには、他のエネルギー源が必要と思われる。人体に害が無いのであれば賛成です。	
1801	原発をなくすにはエネルギー利用に賛成	
1802	原発をなくすには再生可能エネルギーの利用は必要。	
1803	原発をなくすには再生可能エネルギー利用には賛成。	
1804	原発をなくすには必要だと思う。	
1805	原発をなくすには複合して再生可能エネルギーを利用すべきと考え賛成 CO2削減としても有効と思う	
1806	原発をなくすには複合して再生可能エネルギーを利用する事が大事	
1807	原発をなくすには複合して再生可能エネルギーを利用する事が大事なので賛成。 下関の活性化となるかも知れないので賛成。	
1808	原発をなくすには複合して再生可能エネルギーを利用する事なので賛成	
1809	原発をなくすには複合して再生可能エネルギーを利用する事なので賛成	
1810	原子力に代わるエネルギーとして必須。	
1811	原子力に頼らないエコなエネルギーが生まれることは日本の将来にとっても良いことだと思います。	
1812	原子力発電が自身の影響や人への害が大きいため、今後使われなくなるため、環境に優しい風力発電が必要だと思う。	
1813	原子力発電事業より風力発電事業の方が良いと思います	
1814	原子力発電所より良いと思います。	
1815	原子力発電所を無くすにはそれに代る発電施設が必要となります。現段階での風力発電システムはかなり有効な代替システムではないかと思います	
1816	原子力発電などよりも環境に優しいと思う。観光スポットになれば、活気も出ると思うので、期待している。	
1817	原子力発電に代わる発電として風力発電事業に賛成。	
1818	原子力発電に変わるものとして推進して欲しい。	
1819	原子力発電に頼らない電力の確保の為には、島国の我国では洋上風力発電が適していると思います。	
1820	原子力発電に頼らない発電。地元の産業発展の為。	
1821	原子力発電の危険性・大気汚染等を鑑みれば風力発電（洋上風力発電）は、人体・環境の為にも有益だと考えます。	
1822	原子力発電の危険性が指摘されている今、洋上風力発電等、自然のエネルギーを生かした事業を進めて頂きたいと思います。	

1823	原子力発電の危険性と、信頼性の衰退、火力発電のコストと外的要因の不安定さを考えると、国家戦略として風力発電の供給量は上げるべきだと思います。海洋資源を損なわないよう、地域住民とよく話し合いをした上で、推進させて頂きたいです。	同　　上
1824	原子力発電は「こわい」というイメージがありますが、風力発電は安全という話を聞き、これから先のエネルギー供給源として良いのではないのかと思います。	
1825	原子力発電より、安全!!	
1826	原子力発電よりは危なくないのでいいと思います。話を聞いてみないと解りませんが。	
1827	原子力発電よりは安全に電力を供給できるのかなと思います。しかし風力発電設置の近くに住まわれる方は、リスクがあるとの事で、反対される気持ちもわかります。	
1828	原子力発電よりは良いと思う。	
1829	原子力発電をできるだけ少なくし、再生可能エネルギーによる発電を増やす。	
1830	原子力より将来的に安全で子供達への影響が健康的で良いと思います	
1831	原発ではないので安心して利用できるのでよいと思います	
1832	原発なら反対しますが、風力発電なら安全だと思います。	
1833	原発に安全性が問われる中それに替わる電力が必要と思うので風力発電も大切だと思う。	
1834	原発に依存しがちの日本ですが、今後未来のことも考え、自然エネルギーは魅力的に思う。	
1835	原発に依存しない電力事業において、今後は自然エネルギーを有効活用した発電施設が重要になると思われる。そのためにも、風力発電施設の更なる充実を期待する。	
1836	原発に替わる、再生可能エネルギー利用に賛成	
1837	原発に替わるエネルギーを探していかないといけない 大賛成です！！	
1838	原発に代わる再生エネルギーとして期待している。早期着工を望む。	
1839	原発にかわる再生可能エネルギーとして期待している。	
1840	原発にかわる再生可能エネルギーとして期待している。	
1841	原発の稼働が厳しい現状で自然の再生エネルギーを活用するのは良いことだと思う。	
1842	原発のかわりとして再生可能エネルギーを利用することは必要だと思う。	
1843	原発の代わりとして必要と思う。	
1844	原発のかわりのエネルギーとなるので環境に良いのでいいと思います。	
1845	原発の危険性を回避するためにも洋上風力への期待は高い、経済効果を含めてそのメリットは計り知れない。	
1846	原発の減少の為にも風力発電は必要	
1847	原発の代替エネルギーとして、太陽光なども多く作られているが、多角化が不可欠であると考えます。 また各地にある風車は観光スポットである場所も多く、周辺の活性化も見込まれると思います。	
1848	原発の代替エネルギーになると思います。 地球温暖化対策としても、安全であると思います。 自然の風力を大いに活用してほしい。	
1849	原発の問題に対して、再生可能エネルギー源として有効かと思うので、賛成。	
1850	原発のような不安はないので安心できる。	
1851	原発廃止のひとつの助けになればよいと思います。	
1852	原発は怖いけど風力発電は安全なイメージがある	
1853	原発は事故、その後が大変なため、絶対ダメ しかし電気は絶対必要なため自然エネルギーにたよるしかない	
1854	原発は事故が恐いので安全な電力の方が良いです!!	
1855	原発はなくして、再生できるエネルギーの一つとして風力発電は活用すべきだと思います。	
1856	原発は反対なのでC02削減できる風力や太陽光発電に賛成です	
1857	原発は不安があるが、風力なら安全なので良いと思います。	
1858	原発反対　風力発電によるエネルギーが良い	
1859	原発反対のため賛成	
1860	原発被害が叫ばれて久しい中、実際に福島原発の実害は枚挙にいとまがない。風力発電では廃棄物もなく地震でもし倒壊しても汚染物質の流出はなく新エネルギーとして期待している。	

1861	原発不用が叫ばれている中、自然再生エネルギー確保は絶対に必要です。また、日本海側の強風を利用しない手はないと考えます。以上	同　　上
1862	原発への依存を減らす、その一環として	
1863	原発問題がこれだけ取り上げられている中、新たな電力を確保する為には、風力という可能性を考えるのも１つの案だと思う。	
1864	原発問題で今後（将来）の事を考えると、風力、太陽発電設備をもっと増やして行けばいいと思う。それに伴い、電気料金も安くなれば他にお金を消費して経済も良くなるのでは？	
1865	原発より安全だと思われる。観光名所となり、観光客が増える事は良いと思う。	
1866	原発より安全で良いと思う。	
1867	原発より安全なので。	
1868	原発より安全なので賛成	
1869	原発より安全なので賛成。 風の力で発電するので地球にやさしいと思う。	
1870	原発より自然エネルギーで良いと思います。	
1871	原発より全然風力の方がいい。 温暖化を防ぐためにも自然再生エネルギーが必要と思う。	
1872	原発よりは安全かもしれない	
1873	原発よりは安全だと思うし、エネルギーは絶対に必要ですから。	
1874	原発より風車のほうがいいと思う。	
1875	原発より風車のほうがいいと思う。	
1876	原発より風力の方が環境に良いので	
1877	原発より風力発電のほうが良い。	
1878	原発利用を少なくするために風力発電利用していくのも方法のひとつだと思うので	
1879	・原発をなくすには、複合して再生可能エネルギーを利用する事が大事なので、賛成。	
1880	［原発について］ ①廃炉費用が大変 ①最終処理場建設が不可欠（使用済燃料） ※再生エネルギー利用に賛成	
1881	◎原発をなくすには、複合して再生可能エネルギーを利用する事が大事なので賛成。 ◎再生可能エネルギー利用に大いに賛成。	
1882	原子力発電所を作らないのなら他の発電が必要。	
1883	原子力発電所が恐ろしい。	
1884	原発に替わるエネルギーを探していかないといけない大賛成です。	
1885	原発にかわる必要な事業だと思います。下関も活性化すると思いますので賛成です。	
1886	原発にかわる必要な事業だと思います。下関も活性化すると思いますので賛成です。	
1887	原子力発電に代わる風力発電にとても期待しています。	
1888	原子力発電にかわるものとして、環境にもやさしい風力発電も必要ではないかと思います。	
1889	原子力発電に代わるものとして期待！健康被害はどうなのか？地震列島の日本の発電は脱原発！地震後も汚染されない発電！安全な発電（？）かも・・・。	
1890	原発の移動が厳しい現状で、自然の再生エネルギーを活用するのは良い事だと思う。	
1891	原発の代替エネルギーとして、太陽光なども多く作られているが、多角化が不可欠であると考えます。また、各地にある風車は観光スポットである場所も多く、周辺の活性化も見込まれると思います。	
1892	原発の頼らない世界にするためには必要だと思う。	
1893	原発への依存を減らすため。	
1894	原子力エネルギーの代替として期待したい	
1895	原子力だけではなく様々な発電方法や施設があっていいと思うので期待している。	
1896	原子力と違って自然を利用したシステムが計画されることはうれしく思う。経済効果も期待できると思う。	
1897	原子力などの他のエネルギーにかわるものとして風力発電は利用できるものではないかと思います。環境に優しい新しい事業としてやっていただければと思います。	
1898	原子力に変わる、発電の方法が必要だと思うから	
1899	原子力に代わるエネルギーとして期待したい。自然と調和できることを期待したい。	

1900	建設予定の風力発電事業が起こすかもしれない環境への影響と石油系エネルギー、原発エネルギーが起因の環境への影響とどちらが大きいのか、広い視野をもって考える必要があるのではないか。 デメリットばかり取り上げて挑戦しないと、何も残らず発展もない。 ぜひチャレンジして欲しいと思う	同　　上
1901	現代、将来のことを考えるなら無限にある再生可能エネルギーしかないと考えます。大賛成	
1902	原発、CO2等の問題からみて賛成。	
1903	原発依存を減らして行く為には必要な設備だと考えます。	
1904	原発が危険である事は福島の件で周知されている事です。 代わりになる再生エネルギーには大賛成です。	
1905	原発がこわいので風力発電を賛成します。	
1906	原発が将来性の無い電源と判明した事により、二酸化炭素による地球温暖化対策として、必要なエネルギー源として、是非実現すべきである。	
1907	原発が少なくなる将来は、太陽光、風力発電が必要となると考える。その為にも安岡沖洋上風力発電は建設して頂きたい。	
1908	原発稼働問題もあり、電力供給量を確保するためにも有益な事業だと思います。	
1909	原発稼働率が低下しているため電力の安定供給につながる可能性があり、有益な事業ではないかと思います。	
1910	原発が減れば良いと思う	
1911	原発から自然再生エネルギーに変化すべきだと思うので、風力発電に賛成する。又、観光資源にもなり、地元の経済効果の貢献にもなる。	
1912	原発事故以来風力発電等の再生可能エネルギーの利用は、CO2削減にもなるので、今の子供達の為にも大いに賛成です。	
1913	原発事故があったので環境にやさしい風力発電は賛同します。	
1914	原発事故により国民の負担が増えており、その費用を考えると風力発電の方が良いかもしれない	
1915	原発事故を考えると、今後原発の新規計画は望めない、代替案として色んな方法があると思われるが、陸上での施設は場所の確保が難しい。今計画されている洋上風力は場所・住民に対する騒音などを解決できる方法と思われる。 完成時に電力で賄える世帯数は不明だが、将来を見越して前向きに検討を望みたい。	
1916	原発で恐ろしい経験をした我国では、これからは人や環境に優しい風力発電等の再生可能エネルギー利用をすすめた方が良いと思います。 安全を第一に考えて、再生エネルギー利用をすすめほしいです。	
1917	原発にかわる必要な事業だと思います。 下関も活性化すると思いますので賛成です。	
1918	原発に変わる風力発電に賛成	
1919	原発に代わるものとして、必要であるし、安全だと思います。 下関市の活性化を願います。	
1920	原発に比べ安全は保障されそうだから。	
1921	原発に頼らず代替電力として風力、太陽光等の自然エネルギーを有効利用によって地球に優しい方法だと思います。	
1922	原発にたよらない、再生可能エネルギー利用なので賛成です。	
1923	原発に頼らない世界。理想です。	
1924	原発にたよらない世界にする為には必要だと思う	
1925	原発に頼らない電力の供給を期待しています。	
1926	原発に頼るよりは、自然エネルギーを活用していく方が、今の時代の流れ化もしれません。	
1927	原発の安全性への不安、化石燃料による発電での地球温暖化を考えた場合、風力発電は重要な電源となる。	
1928	原発をなくし再生可能エネルギーを推進する為　風力発電は有効なので賛成します。	
1929	原発をなくして、再生できるエネルギーの１つとして風力発電は活用すべきだと思います。	
1930	原発をなくして再生可能エネルギーを利用する事で、地域温暖化対策にもなり、人体への害がないと言う事なので賛成です。	
1931	原発をなくすかどうかは抜きにして、再生可能エネルギーの比率を高めていくのは現在の日本における課題だと思います。 この事業が一助となるのを期待しています。	
1932	原発を無くす手段としては絶対に必要。	

No.	意見の概要	事業者の見解
2002から2009	地球温暖化対策	平成25年3月発表（平成26年4月一部改定）の山口県の「山口県再生可能エネルギー推進指針」におても再生可能エネルギーは地球温暖化対策に有効であることなど「安全・安心の確保」の観点から貴重なエネルギー源とし、さらには「産業力・観光力の増強」の面からも導入促進は重要と述べられております。 本事業では、下関沖の恵まれた風力資源を活用した再生可能エネルギーを導入し、温室効果ガスを削減することで「安全・安心の確保」への貢献、また、事業を通じて地域経済の発展及び活性化に資することで「産業力・観光力の増強」の面でも貢献したいと考えております。
2010から2015	地球温暖化対策として有効だと思います	
2016から2124	地球温暖化対策になる	
2125から2165	地球温暖化対策に有効	
2166から2218	地球温暖化対策のため	
2219から2286	温暖化対策	
2287から2300	風力発電は二酸化炭素が出ないで地球に優しいので、地球温暖化の為にも推進して欲しい。	
2301	地球温暖化ストップに貢献出来るのではと思う	
2302	地球温暖化対策として	
2303	地球温暖化対策としていいと思います。	
2304	地球温暖化対策として環境によいと思います。	
2305	地球温暖化対策としてとてもいいと思います。	
2306	地球温暖化対策としては、有効であるので、ぜひ実行して頂きたい。	
2307	地球温暖化対策として有効	
2308	地球温暖化対策として有効だと思うので、賛成。	
2309	地球温暖化対策にあるから	
2310	地球温暖化対策に期待し、事業推進を希望する。	
2311	地球温暖化対策につながればいいと思う	
2312	地球温暖化対策になり環境に優しいので、事業に期待する。	
2313	地球温暖化対策になる？	
2314	地球温暖化対策になるため	
2315	地球温暖化対策になるため	
2316	地球温暖化対策になる為	
2317	地球温暖化対策になる為	
2318	地球温暖化対策になると思うから	
2319	地球温暖化対策になるのでよいと。	
2320	地球温暖化対策になるのなら賛成	
2321	地球温暖化対策になれば良いと思います	
2322	地球温暖化対策には必要。	
2323	地球温暖化対策に必要（有効）であればよいと思う	
2324	地球温暖化対策に有効だと思います。	
2325	地球温暖化対策に有効であれば賛成である。	
2326	地球温暖化対策に有効と考えます	
2327	地球温暖化対策に有効な発電方法のひとつとして、理解しております。	
2328	地球温暖化対策のため推進賛成。	
2329	地球温暖化の対策として賛成。	
2330	地球温暖化の為、これ以上電力を作る必要性があまりないと思う為	
2331	地球温暖化の防止の為	
2332	地球温暖化の防止の為	
2333	地球温暖化の防止の為	
2334	地球温暖化防止	
2335	地球温暖化防止として	
2336	地球温暖化防止には、とても良いと思う。	
2337	地球温暖化防止には必要です。	
2338	地球温暖化防止にもつながるので賛成	
2339	地球温暖化防止にもつながるよいことだと思う	
2340	地球温暖化防止に有効。	
2341	地球温暖化防止の為、未来を背負う事業です。	
2342	地球温暖化防止のため。	
2343	地球温暖化を遅らせる為にも有効だと思います。	

2344	地球温暖化対策のためになるから	同　　上
2345	地球温暖化対策のためになるから	
2346	地球温暖化対策の為必要と思う	
2347	地球温暖化対策の為必要と思われる	
2348	地球温暖化対策のため風力発電は必要です	
2349	地球温暖化として有効だと思う。	
2350	地球温暖化など環境面で良い事と思います。	
2351	地球温暖化に対して少しでも役に立てば良いです。	
2352	地球温暖化について	
2353	地球温暖化について	
2354	地球温暖化	
2355	地球温暖化	
2356	地球温暖化	
2357	温暖化対策として有効だと思う。	
2358	温暖化対策にとって有郊	
2359	温暖化対策になる。	
2360	温暖化対策になる。	
2361	温暖化対策になるから	
2362	温暖化対策になるから。	
2363	温暖化対策にも適しており、環境にもやさしい事業になるのではと期待している。	
2364	温暖化対策にもなる	
2365	温暖化対策に有効。	
2366	温暖化対策のため	
2367	温暖化対策の為	
2368	温暖化対策やエネルギー問題の解決の１つになって欲しい	
2369	温暖化になるから	
2370	温暖化防止になるのでは。	
2371	地球温暖化が問題となっている今、再生可能エネルギーとして風力は大変良いと思う。	
2372	地球温暖化防止対策は喫緊の問題です。日本国内ヨーロッパ並みの取組みをやっていくべきです。 ぜひ導入お願いいます。	
2373	温暖化対策として期待している	
2374	温暖化防止や地球環境の為にも洋上風力発電は是非とも推進してほしいと思う。	
2375	洋上風力発電は地球温暖化対策に最も貢献する発電だと思います。是非！早く完成してもらいたいと思います。	
2376	地球の温暖化が盛んに話題になっている中で風力発電はすばらしいこととおもいます。	
2377	地球の温暖化が心配。 子供達の時代を考えると、なるべく地球の優しい環境を願います	
2378	地球の温暖化を防ぎ、自然災害をなくし、くらしやすい社会を作る。	
2379	地球温暖化・環境保護の観点から大型風力発電はとても魅力的なものがある。又、地震による津波・海の汚染（中国からの汚染浮遊物・越前クラゲ等）等安岡を含む山陰沿岸沿い住民を脅かすことに対する安心・安全保護設備も+α付帯設備として考慮されることより有効な事業になるのではと思います。（例：早期地震・津波警報設備・浮上浮遊物回収設備等）	
2380	地球温暖化が進行している今の地球にとって、風力発電は人間にも地球にも必要だと思います。	
2381	地球温暖化を防ぐため少しでも役に立つと思います 限りある資源を守るため未来に向けて努めてくださいますよう賛成致します	
2382	地球温暖より異常気象変化が起きているから	
2383	深刻な地球温暖化の為	
2384	私は風力発電による環境（特に地球温暖化対策）に必要だと思います	
2385	車の音の方がうるさいと思う。温暖化対策の為	
2386	洋上風力発電所であれば、人体に害もなく風が吹くことによって得られる風力という自然を活用するため、資源が枯れることもなく、地球温暖化も進まないので役に立つと思う。	
2387	電力確保のためには発電方法の多様化が必要 風力発電は地球温暖化対策としても有効であり、海に囲まれた下関の地域性にも合っている。	
2388	地球温暖化対策につながればいい。	

2389	周辺住民等に対してしっかりとした対策をとっていただければ、CO2の発生などない地球温暖化対策に有効なものだと思う。	同　　上
2390	次世代の子供達のためにも地球温暖化対策として風力発電に賛成です。	
2391	地球温暖化防止対策は喫緊の問題です。日本国内もヨーロッパ並みの取り組みをやっていくべきです。是非導入お願いします。	
2392	地球温暖化対策として良いと思う。	
2393	①地球温暖化対策上、非常に良い。	
2394	１．地球温暖化対策として有効である。	
2395	・地球温暖化対策としてよいと思う	
2396	北九州　下関と連携して、地球温暖化に積極的に取り組んで欲しい。	
2397	地球温暖化対策や、環境に良い取り組みだと思う。	
2398	地球温暖化対策のCO2削減に有効だと思う。	
2399	地球温暖化対策に有効、CO2削減	
2400	地球温暖化対策のために、CO2削減には大賛成です。それと、下関の活性化を進めるためにも、安岡沖洋上風力発電事業には、大賛成したいと思います	
2401	地球温暖化対策のために、CO2を発生しない風力発電は良いと思う。	
2402	発電時に地球温暖化の原因となる温室効果ガスを排出しないので良いと思う 風が吹けばいつでも発電できるので良いと思う 再生可能エネルギーを利用しているので良いと思う	
2403	発電時に地球温暖化の原因となる温室効果ガスを排出しないので良いと思う。	
2404	発電時に地球温暖化要因となる温室効果ガスを排出しない 大気汚染となる酸化物を排出しない 下関市の様に海に囲まれている地域では洋上風力発電は適していると思います。	
2405	地球温暖化が進む中、温室効果ガスを排出せずに電気を作れる方法はとても環境に優しいと思います。	
2406	地球温暖化が進んでいる中、CO2発生を少しでもおさえなければいけないと思います。対処のむずかしい自然災害が多いので、それらの原因となるものをできるだけ無くしていかなければならないと思います。	
2407	地球温暖化の原因となる温室効果ガスを排出しないことや、風が吹けば24時間発電ができること等、環境に優しい再生可能エネルギーなので、将来的にも風力発電は最適な電力発電であると思います。風力発電には賛成です。	
2408	地球温暖化の原因となる温室効果ガスを排出せずに発電できるのは良いと思う。	
2409	地球温暖化の原因にCO2増加によるものだから、CO2削減として有効だと思います。	
2410	地球温暖化を防ぐためにも、CO2を削減できるという所に魅力を感じました。	
2411	地球環境を守るためにCO2削減の手段としての風力発電は、とてもよいと思う。新しい名所となってくれることを期待する。	
2412	温暖化問題、CO2問題に貢献してくれる事を期待してます	
2413	安岡沖洋上風力発電事業については、今現在も地球温暖化が進んでいる中でこの事業は、発電時に地球温暖化の原因となる温室効果ガスを排出しないので、事業を進めていっても問題ない。	
2414	風力発電は風の力を利用するので、燃料を燃やすことなく、二酸化炭素が排出されないので地球温暖化防止には良いと思います。	
2415	燃料を使わず、風の力を利用する為、二酸化炭素が排出されず地球温暖化防止に有効だと思う。	
2416	今から必要なエネルギーになると思います 地球温暖化も究極の対策を求められているのでCO2削減の為にも風力発電は必要不可欠な手段だと思うので安岡沖洋上風力発電事業に賛成します	
2417	風力発電はCO2を発生させないため、地球環境に優しい発電方法であるので、地球温暖化対策のためにも推進して欲しいです。	
2418	①地球温暖化防止、CO2削減のため、自然エネルギーによる発電をすすめるべき。	
2419	・地球温暖化の原因となる温室ガスを排出せず、且つ大気汚染の原因となる酸化物も排出しない。	
2420	・二酸化炭素が排出されないので、地球温暖化防止には有効の為賛成。	
2421	(2)風力発電はCO2を発生させないため、地球環境に優しい発電方法であるので、地球温暖化対策の為に推進して欲しい	

2422	発電時に温室効果ガスを排出しないので良いと思う。	同　　上
2423	発電時に地球温暖化の原因となる温室効果ガスを排出しない。	
2424	発電時に地球温暖化の原因となる温室効果ガスを排出しないため、環境に優しい、賛成。	
2425	温暖化対策として効果的で下関の活性化となると思うので賛成。	
2426	発電時に地球温暖化となる温室効果ガス等を排出しないなど、自然を利用するので環境に優しいと思います。 しかし現在異状気象による台風の強大化等、耐久性の問題が発生するのではと思いますが、その点についてはどのように取り組んでいるのですか。	
2427	温暖化対策として効果的で下関の活性化となると思うので賛成。	
2428	温暖化対策として風力発電は有効だと思う。 また、今現在無い事業なので、新しい雇用の創出や仕事が増える可能性に期待しています。	
2429	温暖化対策として風力発電は有効だと思う。 また、現在無い新しい事業なので新規雇用や仕事の創出にも期待しています。	
2430	地球温暖化対策として、風力発電事業は大いに興味があります。また下関地区の経済活性化につながると考えます。大いに賛成します。	
2431	地球温暖化対策と、下関市産業振興のため。	
2432	風力発電を建設することに賛成です。 理由 1.原発がほぼ停止している為、それを補うように火力発電を盛んに行っている。 その為CO2削減が思うように出来ていない。 CO2削減を進めるためには、それを排出しない風力発電を積極的に建設するべきだと思う。 2.安岡海上沖に風力発電所を建設することにより、建設からメンテナンス・撤去までにかかる雇用が地域に見込める。 3.風力発電を建設することによりその基礎が漁礁のようになり、水産資源が増える。	
2433	発電の中で、再生可能エネルギーの普及が進められて、その割合が増えていくことは、二酸化炭素の増加させないことであり、温暖化対策として非常に重要なことであります。 下関市安岡沖の海上は風が安定的に確保できる場所であり、ずっと昔から、風力発電の設置には、適していると思っていました。 事業計画、環境への調査等、見てみますと、環境への配慮をよく検討されており、環境への影響もあまりないとなっており、特に気になっていた低周波についても、問題なくて安心しました。 地域振興にもなると考えられて、下関市、市民、関係者等とも一緒に協議検討されて、地域活性化の原動力になることを期待しますので早めの事業推進をお願いします。	
2434	地球温暖化対策の観点において、再生エネルギーとして有効と思う。	
2435	地球温暖化対策になるから、自然の力で夜昼に電気エネルギーを取り役に立つと思います	
2436	地球温暖化対策として自然エネルギーを活かした地球にやさしい事業と思います。	
2437	地球温暖化対策として風力発電等のエネルギーを使用することは、良い事だと思う。	
2438	地球温暖化対策になる自然エネルギーは大切	
2439	地球温暖化防止の為に再生可能エネルギーの利用が大事だと思う	
2440	地球温暖化防止のためにも自然の力を利用して発電したほうが地球のためだと思う。もっといろいろな場所にも風力発電や太陽光発電を設置したほうがいいと思う。	
2441	地球温暖化防止の対策には再生可能エネルギーの利用が大事だと思う	
2442	地球温暖化防止の対策には再生可能エネルギーの利用が大事だと思う。	
2443	地球温暖化防止の対策には再生可能エネルギーの利用が大事だと思う。	
2444	地球温暖化にストップをかけるには、風力・太陽光・水力・地熱などをどんどん活用すると良いと思うので、風力にも期待している。	
2445	温暖化対策が急がれている中、今だに火力発電所が作られたりしている。どんどん再生エネルギーを導入していったら良いと思います。賛成!!	
2446	温暖化対策が急がれる中、今だに、火力発電所が作られたりしている。どんどん再生エネルギーを導入していったらいいと思います。	

2447	温暖化防止の為、再生可能エネルギーの推進は必要と考えます。	同　　上
2448	地球温暖化の観点から火力発電、災害時の環境維持可能の視点から原子力など現在の発電主力事業には拭えない課題があり不安に思っています。 その点風力発電は、長いスパンで安全なエネルギー確保に有益になると信じており賛成です。	
2449	地球温暖化、原発問題を考えると自然エネルギー設備をもっと増やすべきと考えます。	
2450	地球温暖化が進む中、自然を用いてエネルギーを産出出来るのは風力発電のほかならない為。	
2451	地球温暖化の観点から脱化石燃料は必須であり、再生可能エネルギーの洋上風力発電事業は、活用したほうが良いと思います。	
2452	地球温暖化の原因となる温室効果ガスを排出せずに電気を作れる点、そして太陽光、水力発電と同じく再生可能エネルギーを利用し、環境に優しいという点はすばらしいと思います。今はデメリットの面もあるかもしれませんが、これからの地球そして子供達のためにも、設備がもっとよくなってほしいものです。	
2453	風力発電に賛成です。 エネルギー源（風）に枯渇が無く原子力発電のような危険も無いため安心、安全だから。 また、温暖化対策にもつながるため、将来の子供たちに安全で自然豊かな地球を残せる!!	
2454	風力発電（再生可能エネルギー）が増える事で温暖化を防ぐ事になり、海水温の上昇、藻場の破壊がなくなり漁場の環境が良くなると思う。	
2455	燃料を燃やすことなく、二酸化炭素が排出されないので地球温暖化防止に有効であり、燃料の枯渇もなく再生可能エネルギーであるという点は魅力的なことだと思います。	
2456	現在の地球温暖化は深刻ですので、自然エネルギーを使って対応できるのは、良いことだと考えます。	
2457	・地球温暖化対策の効果もあり、未来の為にも自然環境エネルギーを活用していくべきである。	
2458	地球温暖化対策として、とても有効だと思う。 原発をなくす為にも再生可能エネルギー利用に賛成します。	
2459	地球温暖化防止及び脱原発の観点から風力発電の推進は必要である。	
2460	地球温暖化対策として必要な事業です。 環境への影響が無い事を実証する為に発電事業と併設して魚類の養殖事業を行い、実証してみてはよいのではないでしょうか。	環境への影響については、事業実施前の環境調査結果を踏まえて、予測、評価を行い、環境保全措置を講じることで、自然環境への影響を可能な限り回避・低減するよう努めております。環境影響評価における予測手法は、科学的知見や、生態的特性等の知見に基づいており現段階での最新の知見に基づいた予測手法を用いております。
2461	地球温暖化対策として、温室効果ガスを排出せず電気を作れるので有効だと思います。しかし自然の力を利用する為、発電の調整が難しい事、又自然災（地震等）などで発電が停止しやすいので、これから考えていかなければならないと思います。	再生可能エネルギーは、災害に強い自立・分散型のエネルギーとしても期待されております。風車の故障・事故の要因としても主なものは落雷等の自然災害によるものですが、下関安岡沖では落雷が少ない地域であることに加え、レセプター（避雷針）の改善や、落雷時の対策等も図られており、事故の予防に努めております。
2462から2497	CO2削減として有効だと思う。	本事業の発電量としては、年間で約40,000世帯の電力消費量に相当する発電を行います。同等の発電量を火力発電量で発電する場合と比較して、年間約36,500kLの原油が節約されます。風力発電によるCO2削減効果は、73,500t-CO2/年となり、50年成長の杉が525万本吸収する量（年間）が削減効果となります。
2498から2505	CO2削減として有効だと思いますので賛成致します。	
2506から2518	CO2削減(地球温暖化対策)として有効だと思う。	
2519	CO2が減っていいと思います。	
2520	風力発電にする事により、CO2削減等、環境面において、良いと思う。	
2521	CO2削減に期待	
2522	CO2削減に大いに賛成です。	
2523	CO2削減に期待です。	
2524	CO2削減(地球温暖化対策)とて有効だと思うので。	
2525	CO2削減に大いに期待	
2526	CO2削減のため	
2527	CO2削減の為	
2528	CO2削減の為	
2529	CO2削減の為、必要だと思います。	
2530	CO2削減の為ね有効だと思う	
2531	CO2削減の方法のひとつでよいことだと思うので賛成。	

2532	CO2削減は良いことだと思う。	同　　上
2533	CO2の削減になってよいと思う。	
2534	CO2の削減になると思うので賛成。	
2535	CO2排除につながる。	
2536	CO2を出さないので環境に優しいのでいいと思う。	
2537	CO2を排出しないので賛成です	
2538	CO2削減	
2539	CO2削減	
2540	CO2削減	
2541	CO2削減	
2542	CO2削減でいいと思います	
2543	CO2削減と自宅の近くではないから	
2544	CO2削減としての有効性が大きいと思う	
2545	CO2削減として必要だと思う。	
2546	CO2削減として有効	
2547	CO2削減として有効	
2548	CO2削減として有効	
2549	CO2削減として有効だと思う 人体に害が無い事が十分に分かったので賛成	
2550	CO2削減として有効な事業だと思う。 早期着工を望んでいます。	
2551	CO2削減として良いと思う。	
2552	CO2削減に貢献できると思う	
2553	CO2削減に賛成	
2554	CO2削減に賛成します。	
2555	CO2削減につながればいいと思います。	
2556	CO2削減になると思うし、原発はない方がよいので。	
2557	CO2削減になると思うので賛成。	
2558	CO2削減になるので、地球にはいいのではないでしょうか。	
2559	CO2削減になるので良いと思う。	
2560	CO2削減になるのなら賛成	
2561	CO2削減には賛成です	
2562	CO2削減にはとても良いと思う。	
2563	CO2削減にメリットがある	
2564	CO2削減に有効	
2565	CO2削減に有効	
2566	CO2削減に有効だと思う。	
2567	CO2削減　安全であれば賛成	
2568	CO2削減したい。でも電気を使いたい、というのなら風力発電に賛成せざるを得ない。	
2569	CO2削減対策として有効だと思います。	
2570	CO2削減で 安全であれば賛成します。 電機代も安くなれば賛成します。	
2571	CO2削減として有効	
2572	CO2削減として有効だと思います。 この下関での風力発電をきっかけに全国的にふやされればいいと思います。	
2573	CO2削減には賛成	
2574	CO2削減に賛成します。	
2575	CO2削減に繋がればいいと思います。	
2576	CO2削減にはいいと思う。	
2577	詳しいことは専門家ではないので、よく解りませんが、CO2削減を目指す我が国には、必要だと思います。 　後は、有識者の正しい判断の元に進めていければ良いと思います。反対する理由が無いと思います。	
2578	詳しいことは専門がではないので、よく解りませんが、CO2削減を目指す我が国には、必要だと思います。 　後は、有識者の正しい判断の元に進めていけば良いと思います。反対する理由が無いと思います。	
2579	・CO2削減のため有効	
2580	二酸化炭素が排出されないのが良い。	
2581	二酸化炭素の削減に必要だと思う。	
2582	排出されるCO2を削減するのに有効だと思う	
2583	排出されるCO2を削減のためには良い方法だと思う	
2584	酸化物を排出しないので良いと思います。	

2585	・CO2が出ない。	同　　上
2586	CO2削減で自然破壊がなくなれば良い事だと思います。	
2587	風力発電を利用する事によってCO2が削減されると思いますので今回の案に賛成です。	
2588	北九州市も風力発電事業に取り組んでいます。 CO2削減への対策とそれによる地域事業の活性化が目的 下関でもぜひ実現へ希望する	
2589	国のCO2削減目標を達成するために、ぜひとも実施してほしい。	
2590	原発、CO2削減の問題から見て賛成。	
2591	推進 CO2が出ないので良いと思う。	
2592	夜間にも供給出来る風力発電は有力な電源となる。 CO2削減のためにも必要だ。	
2593	・風力発電は、火力発電と違い全く二酸化炭素を排出しないので、地球温暖化に悪影響を与えることがないのでCO2削減に有効だと思う。	
2594	詳しいことは専門家ではないので、よく解りませんが、 CO2削減を目指す我が国には、必要だと思います。 　後は、有識者の正しい判断の元に進めていければ良いと思います。反対する理由が無いと思います。	
2595	洋上風力発電の仕組がわからない。建設中、海に影響がないのか CO2削減では、賛成します。	
2596	風力発電で起こした電気により水素を発生させれば理想的なCO_2削減となると思います。	
2597	風力発電は、この先必要な事業だと思います。 騒音や環境にもほとんど影響がないと聞きました CO2削減になるし早く作ってほしいです。	
2598	風力発電になると少しでもCO2削減とし有効だと思いました。	
2599	風力発電自体はCO2削減などの問題解消につながるだろうから、期待しています。ただ、海上に設置、という面は、沿岸地域への影響など慎重に検討すべきかと思います。	
2600	発電に伴う排出物がなくCO2も出さない風力発電に賛成です。	
2601	省エネ（CO2等）効果が期待され、まだ日本では主流となっていない中で先進的な取り組みで興味深い。	
2602	各地の地理に合わせCO2排出の削減に向けた努力が必要。 山口県の場合、県央では太陽光、県北では風力、山口県で最大の市である下関市では何が適切なのか答えが、洋上の風力発電であればよいと思う。	
2603	海上を有効活用して風力発電を利用することはCO2削減として賛成。 音も静かなことが説明してもらい理解できたので問題ないと思う。	
2604	海上を有効活用して、風力発電を利用することはCO_2削減として賛成。音も静かなことが説明して貰い、理解できたので問題ないと思う。	
2605	温室効果ガスを減らそうという世界的な潮流は今後も続くと考えられる中で洋上風力発電は有意義なものだと思う。 ヨーロッパではすでに多くの洋上風力発電が稼働していると聞くので、日本でも推進してほしいと思う。	
2606	悪影響はないものと信じ、CO2を発生させないため地球環境に優しい発電方法であるので、風力発電事業は是非とも実施して欲しい。	
2607	CO2削減と環境問題への取組につながるので全国的に推進してほしい。 気になる騒音問題も大した影響がないと聞いて安心しました。	
2608	CO2削減としては、OKだと思いますが、住民の意見も？	
2609	環境に悪影響はないものと確信しているので、風力発電事業を推進して欲しい。 風力発電は、CO2を発生させない為、地球環境に優しい発電方法であるので、地球温暖化対策の為にも推進して欲しい。	
2610	風力発電でCO2削減で地球温暖化対策にもなるので良い事だと思います。	
2611	CO2削減により、地球温暖化対策として有効に活用してもらいたい。	
2612	CO2の削減の重要性は今後の地球温暖化対策において有効かつ必要性は高いと考えます。 また、原子力発電が見直される中、新たな自然エネルギーを利用した発電方法を開発していくことは、私たちの課題であり取り組んでいかなければならないことであります。	
2613	CO2の発生を削減できるので地球温暖化対策に有効だと思う。	

2614	CO2を削減し、地球温暖化対策として有効だと思いますし、原発をなくすためにも複合して再生可能エネルギーを利用する事が大事ですので賛成です。	同　　上
2615	CO2を発生させず、環境に悪影響はなく地球温暖化対策に有効のため事業推進を期待する。	
2616	CO2を発生させず、環境にやさしい事業なので、地球温暖化対策に有効であり、現在私の現住所付近の山に風力発電が存在するが、環境に悪影響はないと思うので、事業推進を期待する。	
2617	CO2を発生させず環境にやさしい事業なので地球温暖化対策に有効だと思う。	
2618	CO2削減（地球温暖化対策）として有効。	
2619	CO2削減（地球温暖化対策）として有効なので賛成	
2620	CO2削減させ、地球温暖化対策に大きく貢献する本風力発電事業計画の推進をおねがいしたい。	
2621	CO2削減で、地球温暖化防止	
2622	CO2削減で温暖化対策に有効だと思う	
2623	CO2削減（地球温暖化対策）として有効。	
2624	風力発電は、CO2をださない環境にやさしい事業なので、地球温暖化対策にも有効なので建設に賛成。	
2625	風力発電は、CO2を発生させない為、地球温暖化対策で有効であるので実施して欲しい。	
2626	二酸化炭素を発生させず、地球温暖化対策に有効だと思う。 また、漁業振興対策となると聞いているので、賛成。	
2627	・CO2削減（地球温暖化対策）として有効であると思う。	
2628	CO2削減の一つとして（地球温暖化対策）として有効だと思う	
2629	CO2環境にやさしい事業なので地球温暖化対策になると聞いているので賛成です。	
2630	CO2（地球温暖化対策）として有効だと思う。	
2631	CO2削減として有効だと思います。 下関の活性化になるかもしれないので賛成です。	平成25年3月発表（平成26年4月一部改定）の山口県の「山口県再生可能エネルギー推進指針」におても再生可能エネルギーは地球温暖化対策に有効であることなど「安全・安心の確保」の観点から貴重なエネルギー源とし、さらには「産業力・観光力の増強」の面からも導入促進は重要と述べられております。 本事業では、下関沖の恵まれた風力資源を活用した再生可能エネルギーを導入し、温室効果ガスを削減することで「安全・安心の確保」への貢献、また、事業を通じて地域経済の発展及び活性化に資することで「産業力・観光力の増強」の面でも貢献したいと考えております。
2632	CO2削減として有効だと思う。 下関の活性化となるかもしれないので賛成です。	
2633	CO2削減として有効だと思う。 地域の活性化となるかも知れないので賛成です。	
2634	CO2削減として有効だと思う。下関の活性化に期待します。	
2635	・CO2削減に有効 ・下関の活性化 上記のことで、賛成	
2636	賛成 環境にも良くCO2が出なくて良い。 下関の経済が良くなると思う。	
2637	CO2の削減になると思う。下関市の活性化を願う。	
2638	CO2削減のために、作るべきだと思う。風力発電によるエネルギー再生は良いと思う。	
2639	CO2削減のために、風力発電にするのは良いと思うエネルギー再生は大いにすべきだと思う。	
2640	CO2削減や自然エネルギーの利用の観点から賛成です。	
2641	CO2の削減が求められる中、原子力発電の安全性が疑問視されており、自然エネルギーの活用が必要であり、風力発電事業の推進を進めるべきと考えます	
2642	CO2の削減として大切だから賛成 再生エネルギーの利用に賛成 海の中立つ風車を見てみたいので賛成	
2643	CO2の排出や燃料の必要性がない再生エネルギーである風力の利用には賛成です。	
2644	CO2削減、再生可能エネルギー利用として有効。	
2645	CO2削減対策として有効であり、再生可能エネルギーの利用としても賛成出来ると考えます。	
2646	CO2削減としても環境に良いと思う。 人体に害が無いという点においてもそれによって再生可能エネルギーを作れるので環境エネルギー節約にもなり無害なので賛成	
2647	CO2削減に繋がる 再生可能エネルギー利用に賛成	
2648	CO2削減に有効と思うし、再生可能エネルギー利用は、これからは大切だと思う	
2649	CO2削減に有効と思うし、再生可能エネルギー利用はこれから大切だと思う。	
2650	CO2削減に有効と思うし、再生可能エネルギー利用はこれからは大切だと思う	
2651	CO2削減のために作るべきだと思う。風力発電によるエネルギー再生はよいと思う。	

2652	CO2削減の為に風力発電にするのはよいと思う。 エネルギー再生は大いにすべきだと思う。	同　　上
2653	CO2削減としても環境に良いと思う。人体に害がないという点においてもそれによって再生可能エネルギーを作れるので環境エネルギー節約にもなり、無害なので賛成。	
2654	安岡沖は年間を通して安定した風が吹き風力発電に適地だと思います。日本のエネルギー自給率の向上及びCO2等の温暖化ガスの削減にかなり期待できると思います。	
2655	風力発電のエネルギー活用はこれからの社会でCO_2削減の為に必要であると思うので、ぜひ完成させてほしい。新たな景観を楽しみにしています。	
2656	風力発電のエネルギー活用はこれからの社会でCO2削減の為に必要であると思うので、ぜひ、完成させてほしい。 新たな、景観を楽しみにしています。	
2657	将来的にみて風車はCO2削減にもなるし、自然のエネルギーを活用することに意義があると考えます。	
2658	二酸化炭素の排出もなく、環境にやさしいので大いに賛成いたします。	
2659	酸性雨や光化学スモッグなどの大気汚染の原因となる酸性物を排出しないから。	
2660	酸性雨や光化学スモッグなどといった大気汚染の原因となる酸化物を排出しないため、賛成。	
2661	・火力発電のように大量の二酸化炭素を排出しないですむ	
2662	風力発電なら二酸化炭素や放射性物質などの有害物質を出すこともなく、化石燃料のように資源が枯渇することがないので、これからの時代にはよいと思います。	
2663	地球環境を守るために、CO2削減の手段として風力発電はとても良いと思う。新しい名所となってくれることを期待する。	

No.	意見の概要	事業者の見解
2664から2701	漁業振興のため	風車基礎周辺に魚礁を設置する事により、豊かな漁場が生まれるとの理由で、山口県漁業協同組合関係者は下関市長に事業推進の要望書を提出しております。推進要望を提出し、かつ漁業補償契約を締結している山口県漁協の方々と具体的な振興策について話し合い、本事業を通じて漁業振興に貢献したいと考えております。
2702から2713	漁業振興の為、推進してほしい。	
2714から2719	漁礁が出来れば漁業にとってプラスだと思う。	
2720	漁業振興につながる	
2721	漁業振興になる	
2722	漁業振興になる。	
2723	漁業振興のため。またこの時代には風力発電は必要な物です。	
2724	漁業振興のためになる。	
2725	漁業振興のためにも推進。	
2726	漁業にも貢献するようなので実施してほしい。	
2727	漁業の活性化も期待できる。大いに賛成である。	
2728	漁業のためにもいいと思います。	
2729	安岡地区の漁業者は反対していますが、それ以外の漁業者は、漁業振興にも貢献することから、この事業には賛成しています。是非とも実施して欲しいです。	
2730	安岡沖洋上より長州出島に作った方が環境あるいは海のためにいいと思います。漁業振興の為。	
2731	安岡沖洋上より長州出島につくった方が環境あるいは海のためにいいとおもいます。漁業振興のため。	
2732	私は彦島の漁師です。安岡沖洋上風力発電が出来れば、そこが魚巣になり、稚魚が育ち、その周辺が良い漁場になると思っています。是非とも実現出来れば良いと思っています。	
2733	(3)地球環境にも優れ、漁業振興にも貢献することから、風力発電事業は是非とも実施して欲しい	
2734	漁業振興に貢献するので海上風力発電事業は是非とも実施してほしい。	
2735	漁業振興になるので安岡沖風力発電はつくることに賛成です。	
2736	漁業振興になるので安岡沖風力発電は推進してほしい	
2737	漁業振興になるので安岡沖風力発電は推進してほしい	
2738	・地球環境にも優れており、漁業振興にも貢献することから風力発電事業を実施すべきであると考える。	
2739	漁業への悪影響もないということで漁師さんたちも安心なのではないでしょうか	
2740	推進者の一人です、今後の（漁協）支店の運営には絶対必要な事業なのです。８支店の内７支店が両手を挙げて賛成しています。11月19日の説明会にも参加して、多数の反対者の意見を聞きました。立場が違えば、多少心配するかも？の質問ありましたが前田建設工業（株）様が被害等心配無いと思われているのならば自信を持って推進して下さい。成功を希望致します。	
2741	漁業振興の為。下関市の産業振興の為。	
2742	水産、特に地元の漁業者にはメリットがあると思う。 漁しょう効果にきたいします。	
2743	風車の基礎部に漁礁を設置することで、漁業振興への貢献も期待したいと思います。	
2744	(2)海底部分が漁礁として活用できる点は評価できる。漁業振興には寄与するものと考える。	
2745	漁礁が出来れば漁業にとって未来はあると思います。	
2746	漁礁が出来れば漁業にとって良いと思う	
2747	漁礁が出来ればプラスになると思う	
2748	漁礁が出来れば漁にとって良い事だと思います。	
2749	漁場の造成など賛成	
2750	・風車の根元に漁礁が出来るみたいなので多くの魚が集まることが期待されます。	
2751	漁礁が出来たら魚が増えると思うから、漁業にとってはいい事だと思います。	
2752	漁礁ができてプラスの面があると思う。	
2753	新しい漁場となることはうれしく思います。理由、洋上風力発電システムを設置することにより漁礁となり、大小の魚・貝類が生息するようになるため。	
2754	新しい漁場になるのではないかと思う。	
2755	新しい漁場になるのではないかと思う	
2756	魚が増えて釣りが楽しい	

2757	魚が増えて釣りが楽しみ。	同　　上
2758	魚釣りが好きな者として、環境破壊の懸念はありますが、風力発電の設置による新しい漁礁も期待出来るので、しっかりと考えて頂いて対応いただければいいと思います。	
2759	漁礁としての利用にも注目している。	
2760	漁礁が出来れば漁業にとっていいと思う。	
2761	私は漁師暦〇年の漁師です。（安岡漁協） 自分の意見は、最初から、今現在まで風力発電には賛成です。 現在は魚が激減しているため、人工漁礁はいいと思います。 被害については、前田さんを信じたいと思います。	
2762	風力発電については賛成です。 土台の石も漁礁となりこれからの漁業に良いと思うので期待してます。	
2763	環境に優しい事業なので地球温暖化対策に有効だと思う。環境アセスメントも十分にされているようでこの事業には賛成。ただ漁業への影響も考慮され漁礁の設置が計画されているようだが、投石ではなく、山口県も数多く導入している漁礁にして欲しい。	
2764 から 2776	地球環境に優れ、漁業の振興にも役になるのでこの事業をやってほしい。	現在の日本の主要なエネルギー源である石油・石炭などの化石燃料は、限りのある資源です。風力資源は枯渇しない為、化石燃料等に代わるクリーンなエネルギーとして、太陽光や太陽熱、水力、バイオマス、地熱とともに、導入・普及が促進されています。 本事業では、風の力を利用したクリーンなエネルギーを導入する事で、温室効果ガスを削減することで「安全・安心の確保」への貢献、また、事業を通じて地域経済の発展及び活性化に資することで「産業力・観光力の増強」の面でも貢献したいと考えております。また、風車基礎周辺に魚礁を設置する事により、豊かな漁場が生まれるとの理由で、山口県漁業協同組合関係者は下関市長に事業推進の要望書を提出しております。推進要望を提出し、かつ漁業補償契約を締結している山口県漁協の方々と具体的な振興策について話し合い、本事業を通じて漁業振興に貢献したいと考えております。
2777	漁業振興と環境に優しい。	
2778	漁礁が出来れば漁業関係者の生活が潤うと思う 化石燃料でなく自然の力をエネルギーに利用し温暖化をさけるべきです	
2779	漁業振興の為と環境に優しい。	
2780	漁業振興のためにも推進してほしい。これから自然エネルギーを使って発電する事をやって下さい。	
2781	地球環境に優れ、漁業振興にも貢献できると聞いているので、是非とも実施して下さい。	
2782	地球環境にも優れ、漁業振興にも貢献することから、風力発電事業は是非とも実施してほしい。	
2783	地球環境にも優れ、漁業振興にも貢献することから風力発電事業は是非とも実施して欲しい。	
2784	地球環境にも優れ、漁業振興にも貢献することから風力発電事業は是非とも実施して欲しい。	
2785	環境対策に優れ、漁業振興対策となると聞いているので、賛成。	
2786	環境対策に優れ、漁業振興対策となると聞いているので賛成。	
2787	環境対策に優れ、漁業振興対策となると聞いているので賛成します。	
2788	環境対策に優れ、漁業振興対策となると聞いているので賛成です。	
2789	・環境対策に優れて、漁業振興対策となると思うので賛成。	
2790	②環境対策に優れ、漁業振興対策となると聞いているので、事業推進を期待する。	
2791	漁業振興のためにも推進してほしい。自然エネルギーを使用した事業は良い事と思います。	
2792	漁業振興のため又次世代の為地球温暖化対策になると思うから	

No.	意見の概要	事業者の見解
2793から2848	経済効果を期待したい	平成25年3月発表（平成26年4月一部改定）の山口県の「山口県再生可能エネルギー推進指針」におても再生可能エネルギーは地球温暖化対策に有効であることなど「安全・安心の確保」の観点から貴重なエネルギー源とし、さらには「産業力・観光力の増強」の面からも導入促進は重要と述べられております。 本事業では、下関沖の恵まれた風力資源を活用した再生可能エネルギーを導入し、温室効果ガスを削減することで「安全・安心の確保」への貢献、また、事業を通じて地域経済の発展及び活性化に資することで「産業力・観光力の増強」の面でも貢献したいと考えております。
2849から2865	経済効果を期待しています。	
2866から2907	市の活性化となるかも知れないので賛成	
2908	経済効果があるとよい。	
2909	経済効果が期待でき、賛成です。	
2910	経済効果が期待できると思うので賛成です。	
2911	経済効果があるのでは？期待しています。	
2912	経済効果が期待でき、賛成です。	
2913	経済効果が期待できる	
2914	経済効果が期待できると思うので賛成です。	
2915	経済効果が期待できるのではないかと思う	
2916	経済効果がでると思う	
2917	経済効果が見込まれると思います	
2918	経済効果が見込める	
2919	経済効果等期待ができそうなので賛成です。	
2920	経済効果に関しては期待したいです。	
2921	経済効果に期待します	
2922	経済効果はあると思います。よろしくお願いします。	
2923	経済効果も含め期待しています。	
2924	経済効果を期待	
2925	経済効果を期待し、生活、産業等役立って欲しい。	
2926	経済効果に期待している。	
2927	経済効果を期待できるのではないかと思う。	
2928	経済効果に期待。	
2929	経済効果に期待したい。	
2930	経済効果を期待する。	
2931	経済効果を期待しております。	
2932	下関への経済効果を考えると必要です。	
2933	経済効果を待ってます。	
2934	下関の景気はかなり悪いです。風力発電でもり上げてほしい。	
2935	下関の経済活性化に期待出来る	
2936	下関の経済効果を期待したい。	
2937	下関の経済活性化に期待出来ると思う。	
2938	下関の経済の為に風力発電所建設は有効。	
2939	下関の経済効果を期待したいです。	
2940	これからの経済効果に期待したい。（日本全国）	
2941	規模の大きいプロジェクトなので、経済効果が期待できると思うので賛成です。	
2942	規模の大きいプロジェクトなので、経済効果が期待できると思うので賛成です。	
2943	景気のいい話なのでぜひ実現してほしい。これだけ大型の工事なら、工事にたずさわる多くの人とその家族を幸せにできる。風力発電をつくりましょう！	
2944	経済が少しでも良くなることを期待したい。	
2945	景色の良さと共に経済効果も上がると思います。	
2946	風力発電事業により、下関の経済効果が良くなることを期待したい。	
2947	風力発電事業は建設から解体撤去まで長期に至るプロジェクトであり、プロジェクト期間中の経済効果が期待できる。	
2948	賛成です。将来が楽しみです。もっと地元にも経済効果があらわれると思います。	
2949	下関市に経済効果が有る。	
2950	下関市の税収もアップするので大賛成。	
2951	経済効果を期待したい。 大型のプロジェクト計画はひじょうにうれしく思う。	
2952	設置や運用による経済効果を期待したい。	
2953	全面的に賛成です。ぜひとも行ってほしいです。経済効果に期待します。	
2954	山口県においても、北浦地区に既に風力発電はあり、今回洋上ではあるが、十分理解できると思っている。経済効果を含め期待している。	

2955	公共事業が増える事は地元にとっても経済効果が大きく影響すると思われます。	同　　上
2956	公共工事の予算が減少している現在、地元に本社を置いている港湾工事の専門業者従業員としては多いに賛成する所です。	
2957	電力を風車で発電させることは、これから先必要になると思う。下関で大型プロジェクトが行われるにあたって、地元の経済効果に反映されると思う。	
2958	下関これだけ大きなプロジェクトが計画されることをうれしく思います。経済効果を期待したいです。	
2959	本事業に関連する工事が増える事で、工事従業者の下関市内滞在者が増え、様々な業種(建設業、ホテル業、食品業）にとって利益をもたらすこと期待しています。本事業の実現を宜しくお願い致します。	
2960	風力発電設置工事に伴い、大掛かりな工事となるので地元企業への発注(受注)により、経済効果を期待したい。	
2961	後々の経済効果を期待した。	
2962	三方を海に囲まれる日本国内でも珍しい地形の下関、その利点を存分に生かした画期的な事業と思う。電磁波等、さまざまな諸問題はあるが、今後の調査に期待し、問題なく進めて行くことで、下関の国内・外へのアピール、経済効果へとつながる一大プロジェクトになるだろう。	
2963	具体的な経済効果は？	
2964	経済効果(発電量）は有効量望めるのか？ 費用対効果は望めるのか？ムダづかいになりませんか？ 塩害の心配はありませんか？（メンテにお金がかかりすぎるとか？）	
2965	住民の生活が安定しますか？（経済効果により）	
2966	完成後雇用は生まれるのか。	
2967	経済効果もあるのでしょうか	
2968	若い世代に浸透していない。 効果等知りたい。	
2969	経済効果はあるのか	
2970	経済効果に期待します。安全への配慮をお願いします。	
2971	風力発電による経済効果、地域の活性化に期待したい。	
2972	経済効果を期待する。下関に活気が出ることを期待する。	
2973	風力発電について賛否いろいろありますが、活気がなくなっている下関にこの大型プロジェクトにより、経済効果が出て観光スポットができて、下関という町が活性化できたらという望みがあります。	
2974	経済効果が期待できるのであれば、環境に配慮しながら是非取り組んでほしい。	
2975	経済効果を期待する。また、環境の面でも優しいエネルギーだと思います。	
2976	洋上風力発電という新しい試みが下関市で行われようとしていることを楽しみに思う。設置、運用と、経済効果、生活に役立つ事を願う。	
2977	下関の景気がよくない。経済効果の１つとして風力発電はよいのではないでしょうか。	
2978	経済効果を期待したい。（風力発電の建設工事、運用、メンテナンス等で）	
2979	経済的に活気が出ると良いと思う（雇用が生まれるので）	
2980	経済効果と地元の雇用改善に役立つと思います。	
2981	経済効果。多くの産業を誘致して雇用を増やす。下関の発展に役立つ。	
2982	経済効果も生まれ、雇用も増えうれしく思います。	
2983	環境対策や騒音対策にも充分に配慮された事業なのでとても賛成できます。 理由としては下関の経済発展にもなることだと思いますし、地域の雇用も増やすことにもつながるからです。 是非ともこの事業が進んで頂けたらと思います。	
2984	新たなエネルギー産業の普及や地域経済の利益にもなるので賛同いたします。	
2985	新たなエネルギー産業の普及や地域経済の利益にもなるので賛同致します。	
2986	賛成 自然エネルギーの活用で経済効果も期待できると思う。	
2987	推進。下関の経済に良いと思う。自然エネルギーの活用で良いと思う。下関の為に賛成です。	
2988	推進。下関におおきな仕事が出て良い事。CO2が出ないので良い事です。	

2989	今回、公開された安岡沖洋上風力発電事業の環境影響評価準備書を拝見したが、環境保全や住民生活への配慮が十分されている事が伺える。 また、国や地公体の定める環境基準及び目標等の維持・達成に支障を及ぼすものではない事から、本計画は十分評価できるものと考えられ、一層の前進を期待したい。 重要な再生エネルギーの供給として、また経済的な波及効果を含めて総合的に考えれば、下関市にとっても、安岡地域にとっても、重要な施設になるものと期待している。 また、下関市安岡沖は風力発電事業にとって日本でも有数の好適なロケイションであり、こうした自然的価値を再生エネルギーに変換・活用していく試みは2011年原発事故を経験した日本社会全体にとって、極めて意義深い取り組みであると大いに評価する。	同　　上
2990	人為的な被害とも言える東日本大震災での原発事故は、その凄まじさと恐怖を目のあたりにし、自然エネルギーが必要であることは認識する。一方、社会環境および海の恵みによる食の供給を担う漁業への影響などについて、説明責任をしっかり果たし、その必要性、有効性、公共性を認知してもらい、社会や地域住民に十分に理解を得て、広く社会に賛同を得るための手順を踏むことが非常に重要である。その上において地域産業の特性（漁業、農業）を活かした支援ができて、地域住民に社会貢献が出来れば互恵関係も成立すると思う。	
2991	・原発廃止論者の自分としては、環境に優しい風力発電に賛成であり洋上風力発電は環境都市下関のPRになると思う。 ・環境アセスメントを十分にやっていると思うが、まだ安岡地区住民の一部に反対があるように見えるので、十分説明したうえでプロジェクトを推進して欲しい。 ・経済効果が十分期待できる。 ・収益の一部を社会貢献できる事業も併せて検討した方が良いと思う。	
2992	新たなエネルギー産業の普及や地域経済の利益にもなるので基本的には賛同いたします。 但し、健康への影響等に不安をもっている地元住民の反対運動も理解できますので、今後この事業をすすめるにあたっては反対住民に対し納得を得られる様、丁ねいな説明努力を続けて欲しいと思います。 いずれにしても地域の皆さんが納得できる形で円滑に実現できることを願っています。	
2993	日本は四方海に囲まれ、風力を安定して得ることが出来る。安定して風を受けることが出来れば風力発電による発電量も高いレベルで安定させることが出来るのでは。地球温暖化に悪影響を与えることかない事の魅力より一層の経済効果を望む。	
2994	総発電量の中の風力発電の割合が高くなってきているということは、それだけメリットや長所、魅力があるからだと思う。風はいたるところで発生しているので、資源を利用すべき。経済効果を期待したい。	
2995	生活する上で必要不可欠な電力の確保を幾多に渡り準備する上で、今後は後世に地球に優しい方法を思案しなければならないと思う。その上で風力はとても有効ではないか？下関の経済効果にもつながるならばなおよいと思う。	
2996	風力発電は世界的に認められており恒久的エネルギーとして推進すべきです。 経済的にも下関市の財政に貢献します。また漁業振興にも貢献します。 完成することを期待いたします。	
2997	（下関）地域の皆さんの為、又、県の為に良い事と願う。	
2998	町の活性化の為、大きな工事が必要です。そして環境にやさしいエネルギーも必要です。	
2999	山口県全体の活性化になってほしい。	
3000	下関の活性化となれば賛成。	
3001	下関の活性化において賛成。	
3002	市の活性化につながるのなら賛成したいと思う。	
3003	下関の活性化となると思う。	
3004	下関の景気の底上げにつながると思う。	
3005	下関の活性化	
3006	下関の活性化が期待できる。	
3007	下関の活性化として賛成	
3008	下関の活性化となるかも	
3009	下関の活性化となるかもしれないので、良いのではないかと思う。	
3010	下関の活性化となるかもしれないので良いのではないかと思う	
3011	下関の活性化となる為、賛成	

3012	下関の活性化となる為、賛成	同　　上
3013	下関の活性化となるといいので賛成です。	
3014	下関の活性化となるので賛成	
3015	下関の活性化となるので賛成	
3016	下関の活性化となるので賛成します。	
3017	下関の活性化につながり、若い人が増えるとよいと思う。	
3018	下関の活性化につながるかもしれないので、賛成します。	
3019	下関の活性化につながるかもしれないので賛成します。	
3020	下関の活性化につながると思います。	
3021	下関の活性化につながると思うので賛成します	
3022	下関の活性化につながると思うので賛成です。完成が待ち遠しいです。	
3023	下関の活性化につながる様であれば、賛成致します。	
3024	下関の活性化につながれば良いと思う 賛成です	
3025	下関の活性化になりそうです。	
3026	下関の活性化になる。賛成	
3027	下関の活性化になるから	
3028	下関の活性化になる為	
3029	下関の活性化になると思うので賛成です	
3030	下関の活性化になるので大いに賛成します	
3031	下関の活性化になるので賛成	
3032	下関の活性化になるので賛成です。	
3033	下関の活性化になれば大賛成です。	
3034	下関の活性化にもなりうるかも知れないので賛成です。	
3035	下関の活性化の可能性に期待する	
3036	下関の活性化の為	
3037	下関の活性化の為になるのではないでしょうか	
3038	下関の活性化の為には必要だと思うので賛成です。	
3039	下関の活性化のためにも、是非実現して欲しい。	
3040	下関の活性化になるから	
3041	下関の活性につながるはずであるので風力発電事業に賛成致します。	
3042	下関の活性になると思う。	
3043	下関地区の活性化となるので賛成	
3044	人体に害がなく、下関市の活性化になると思われるので、この事業には賛成です。	
3045	下関の活性化が期待できる。	
3046	下関に幅広い分野で活性化が見込まれる事業だと考えております。	
3047	市内の活性化となると思うので賛成します。	
3048	下関市に活気が生まれるのを期待したい。	
3049	下関市にも活気が出来大変うれしく思います。	
3050	ランニングコストによる長期地域活性化に期待する	
3051	ランニングコストによる長期の地域活性の期待。	
3052	・下関の活性化に繋がる可能性があると感じます。	
3053	活性化につながるとよいと思う	
3054	活性化に役立ててほしいです。	
3055	活気が出ると良いなあと思う。	
3056	活気が出るとうれしい。	
3057	下関の活性化となるかも知れないので賛成	
3058	下関の活性化となるかも知れないので賛成 人体に害が無いことが十分に分かったので賛成	
3059	賛成 下関に大きなプロジェクトが出き、経済の活性化になり雇用がふえると思う。	
3060	賛成 下関に大きなプロジェクトが出きるのは経済が活性化され良いと思う	
3061	大きな風車が山陰の見所になれば下関の活性化につながるので良いと思います。	
3062	・下関の活性化に役立つかと思う	
3063	下関市の活性化となるかも知れないので再生致します。	
3064	地域の活性化に向けて実現させるべき事業である。	
3065	賛成しております。地域活性化の為。	
3066	賛成です。 下関の経済の活性化になると思う。	

3067	地元住民ですが、風車ができて安岡が活生化するのがたのしみです。	同　　上
3068	地元の活性化につながるとよいと思う	
3069	①下関の活性化に貢献となる	
3070	※下関の活性化となるかも知れないので賛成致します。	
3071	・下関の活性化となるかと期待している。	
3072	新しい発電施設が出来る事で地域の活性化に繋がればと思う。これを機に下関が発展していくことに期待したい	
3073	下関市が活性化される大型プロジェクトであります。是非実現できるように下関市長を筆頭に行政サイドの強力な推進をお願いしたい。事業計画を進めるにあたり、必ず反対する者がおります。粘り強く、説得するデータを明示し、一人でも多くの賛同者を得る努力が肝要です。一市民として、洋上風力発電の実現を期待すると共に、賛成運動にも参加します。	
3074	風力発電事業をぜひ実現させて欲しい。 地元の建設業界の活性化につながると思う。 大いに期待しています！	
3075	風力発電事業を行うことにより、下関の活性化（雇用など）につながっていくと思います。	
3076	賛成です。自然の力を大いに利用した産業に賛成します。 地元の活性化に多大な利益を生むと思います。	
3077	人が集まる。	
3078	住んでいる地域に活気が出て明るくなり、人が集まるようになるとうれしく思います。	
3079	地元が、開発予定地の近所なのですが、山陰の海は魚も美味しく自然豊かな所です。ですが下関の未来、発展を考えれば、風力発電を、是非実現してもらいたいと思います。	
3080	このような大型プロジェクトを実現させ、離れて行った若者たちが戻ってくると、進んでいく過疎化の対策にもなると思う。	
3081	・地域活性のためにも是非作って欲しい。	
3082	・町の活性化になるといい。	
3083	賛成　下関の活性化の為	
3084	地域の活性化になると思います	
3085	地域の活性化になると思う	
3086	地域発展に貢献できる事業だと思う	
3087	地域発展につながる事業だと思う	
3088	地域発展の手助けになることを期待したい。	
3089	地域活性化に期待しています。	
3090	地域活性化になれば良いと思います。	
3091	地域活性化の起爆剤となる大型プロジェクトを是非成功させていただきたい。	
3092	地域活性化の為	
3093	地域住民のことを考えて事業を進めていく姿勢が感じられました。 今後もそういった姿勢で進めて行ってもらいたいと思います。	
3094	地域住民のことを考えて事業を進めていく姿勢が感じられました。今後もそういった姿勢で進めていってもらいたいと思います。	
3095	地域全体の活性化につながればいいと思う。近くに野外ライブ会場があれば年に一回の野外フェスをその発電された電力を使用するなど。	
3096	下関市の活性化につながると思う。	
3097	下関市の活性化になるかもしれないのでこの事業に賛成します。	
3098	下関市の活性化になるかも知れないので賛成	
3099	下関市の活性化になるので大いに賛成致します。	
3100	下関市の活性化のために是非実現させてほしいです。	
3101	下関市の活性化に繋がると思う。	
3102	下関市の活性化につながると思うので賛成です。完成が待ち遠しいです。	
3103	下関市の景気の底上げにつながると思う	
3104	下関市の経済効果を期待したい。	
3105	下関市の経済発展に役立って欲しい。	
3106	下関市の諸事業の活性化という点で賛成。	
3107	※下関の活性化になるので賛成	
3108	下関が活性化されそうなので賛成	
3109	下関が活性化して、賑わうと思うので賛成です。	
3110	下関が活性化すると思います。	

3111	風力発電事業については賛成です。下関の地域活性化の一つとして役に立つ事業、そして施設だと思います。 環境保全としては、規定の条件をクリアできているのであれば、問題ないと思います。反対意見の方も多数いると聞いていますが、実現に向けて行動をしてほしいと思います。	同　　上
3112	市内で反対運動が目立っていますが、日本全国では多くの風力発電施設が建設され、今後も増えていく計画があると聞きます。過剰な反対運動が行われている事を不自然に感じます。 下関市の活性化にもつながると思いますので、是非進めていただきたいです。	
3113	下関の発展に繋がるので良い。	
3114	地元に活気が出る。賛成。	
3115	下関が発展する為には、良いと思います。	
3116	下関が豊になって、人が集まるとよいですね。環境と安全に配慮したものを作ってください。	
3117	下関が豊かになることを期待します。身内がいる会社なので頑張ってください。	
3118	下関経済の活性につながるので賛成。	
3119	下関経済の為に風力発電所建設は有効	
3120	下関市（地元）の発展の為に工事等の働く基盤がある事は良い事だと思う	
3121	下関市が活気付ければいいのではないでしょうか。	
3122	下関市の発展の為にいいと思います。	
3123	下関市発展の為には良いのではないかと思います。建設地近隣の方に被害のないよう進めていただきたいです。	
3124	下関市も活性化する事となる為、賛成	
3125	下関の将来の為	
3126	下関の為に賛成	
3127	下関のためになる事業だと思います	
3128	下関の為に利益になるなら大賛成です。	
3129	下関の発展、経済向上のシンボルになればよいですね。	
3130	下関の発展につながると思う	
3131	下関の名所になれば、地域活性化にも繋がると思う。	
3132	町の活性化のために大きな工事が必要だと思います。	
3133	町の活性化のために大きな工事が必要だと思います。	
3134	風力発電に賛成します。下関の活性化になればと思います。	
3135	風力発電がもっと発展していけば良いと思います。	
3136	下関経済の活性に繋がるので賛成。	
3137	賛同します。下関市発展の為。	
3138	工事にたずさわる人たちが下関の飲食店を利用して街が活性化されると良い。	
3139	下関の発展につながると思うので賛成	
3140	本プロジェクトの宣伝効果で下関が盛り上がると良い。	
3141	下関の活性化、地域経済の発展のため、本プロジェクトに期待しています。	
3142	賛成 経済効果が生まれ、下関が活性化されるので良いと思う。	
3143	地域が活性化するのでは？経済効果に期待する。	
3144	地域の活性化、経済効果が見込めるのではと思います。	
3145	新しい大規模な事業は、地域の活性化につながり、又、新しい雇用もうまれると思います。安岡沖洋上風力事業を第一歩として下関市から山口県、日本、世界中に風力発電をもっと増やして地球温暖化を防げると思います。	
3146	地域発展及び雇用増加を見込める	
3147	人口増加につながる。	
3148	人口増加につながる。	
3149	豊かになること、活気が出ることも大切ですが、それが続いていくように願っています。周辺地域への配りょ等、完成後のことも含めて私達共々考えていきましょう。	
3150	風速によって発電量が影響されるので、風力発電だけ頼るのは厳しい部分があるかもしれませんが、環境に良いのなら促進していくべきです。下関の活性化を願います。	
3151	説明会に参加してみて風力発電が実際に稼働した場合の騒音問題について、様々な角度からの検証をおこなっていることが分かった。 一連の風力発電の計画によって、地元経済の活性化に繋がると考えるので、人体への害が見られないのであれば、賛成です。	

3152	活性化となるかもしれないし、近くではないので健康にも心配はないと思うので	同　　上
3153	私は洋上風力発電に賛成です。私の実家近くにも陸上ですが風力発電がありますが、18年間住みましたが、何ら体に影響はありませんでした。みなさん何を心配されているのか分かりません。 それよりも、風力発電事業を通じて少しでも下関が元気になればと祈っております。	
3154	現在、全国的にCO2削減の為に環境にやさしい風力発電にとりくんでいます。又地域活性化の為にも必要と思います。	
3155	下関市の産業振興の為、地球温暖化対策のため。	
3156	下関市の活性化となるので賛成。 地球温暖化対策でいいと思う。	
3157	安岡沖洋上風力発電事業実現による地域経済効果に期待致します。建設による騒音などに十分配慮の上計画願います。	
3158	下関の活性化となるので賛成 事業開始の目途がついているのか知りたい	
3159	下関の活性化、再生エネルギー利用の為賛成です。	
3160	下関の活性化となるかもしれないので賛成 原発をなくすには、複合して再生可能エネルギーを利用する事が大事なので、賛成。	
3161	下関の活性化となるかも知れないので賛成。 再生可能エネルギー利用に大いに賛成。	
3162	下関の活性化となるので賛成 自然エネルギーが大切である。	
3163	人体に害が無く、地区の活性化になるのであれば、原発をなくす為にも再生可能エネルギーを利用する方が大事なので、賛成です。	
3164	風力発電にあまり馴染みがなかったが説明などを聴くにつれて再生可能エネルギーとして有効活用していければよいと思う。 下関の新たな活性化に期待している。	
3165	風力発電にあまり馴染みがなかったが、説明などを聞くにつれて、再生可能エネルギーとして有効活用していければ良いと思う。下関に新たな活性化に期待している。	
3166	地域の活性化となるかも知れないので賛成。 原発をなくすには複合して再生可能エネルギーを利用する事が大事なので賛成です。	
3167	下関が活性化するのであればとてもいいと思います。外部からの影響を受けにくい再生可能エネルギーは必要だと思いますので積極的に取り組んで欲しいです。	
3168	下関経済の活性化にもなるし再生エネルギーの拡充にもつながるので賛成	
3169	下関の発展及びエネルギーの有効利用	
3170	自然を利用し、発電できるので今後の発展につながるので賛成。	
3171	騒音も少ないようなのでエネルギー再生可能なことは大いに利用した方がよいと思う。 下関の地域発展の為に事業を成功させてほしい。	
3172	騒音も少ないようなのでエネルギー開発可能なことは大いに利用したほうが良いと思う。下関の地域発展の為に事業を成功させてほしい。	
3173	人体へ影響がないと十分調査されたなら、雇用も生まれ良いのでは。	
3174	人体への影響がないと十分調査されたなら、雇用も生まれて良いのでは。	
3175	近隣の住民の皆様への影響が指摘される中、騒音や健康被害が出ないと数字やデータで示されて、双方が納得出来たならば、再生可能エネルギーとしても、地元の雇用の促進を促すものとしても期待が膨らむと思います。	
3176	環境アセスがしっかりしていれば、事業効果に期待する。	
3177	環境アセスが確りとしていれば事業効果に期待します。	
3178	これだけの規模の民間投資は下関には滅多にないので良いと思う。	
3179	山口県の産業振興のため、将来世代の環境改善のため	
3180	山口県の地域振興に期待	
3181	工事することで、いろいろな業界に波及効果があると思う。	
3182	工事する事で、色々な業界に波及効果が有ると思う	

3183	景観保全も大切だが、限界都市化している下関にとって最も大切なのは新しい分野での産業促進、産業誘致だと思います。本当に20年後に下関市に住まう人たちに残すべきもの景観なんでしょうか？景観だけ残してもそこに人がいなければ何の意味もない。少なくとも限界都市の「何かが変わる」、「何かを変える」一旦としてこの事業に期待を寄せています。	同　　上
3184	国が推進している事業とのことなので、安心できる。 事業効果を期待します。	
3185	・風力発電は、風の運動エネルギーの約4割を電気エネルギーに変換することができ大型化すればするほどコストパフォーマンスに優れるので、事業効果に期待する。	
3186	下関の新しい観光スポットとなり、地域の活性化になるのではと期待しています。	洋上での風力発電機は、国内でも事例が少なく、新たな景勝地としての期待や自然景観と調和した新たな風景構築の可能性があるとの意見もあり、新たな景観価値の創出に期待されているプラスの面もあります。風力発電機の景観のマイナスの面を軽減するとともに、下関市の良好な景観形成を図り、地域の皆様と観光資源とならないか検討しプラスの面を創出できるよう努めます。
3187	下関市の観光の活性化に繋がると思う。	
3188	陸上観光ルートによる地域活性。	
3189	陸上観光ルートによる地域活性化に期待する	
3190	下関の海上観光ルートの期待。	
3191	下関地区等に、山陰地区の活性化につながると良いと思っています。 191から見る夕日と風車の景色が新たな観光名所になってくれればと思います。	
3192	下関地区、特に山陰地区の活性化につながると良いと思っています。 191号線から見える夕日と風車の景色が新たな観光名所になってくれればと思います。	
3193	賛成です。風力発電によりその町の活性化が期待できると思われます。観光資源として、利用できたり、さらに風力による発電は地球にとってやさしいことを進めて行けるから賛成します。	
3194	洋上風力発電は、観光資源や地域における関連産業への波及、さらに漁業振興などによって地域経済の活性化や雇用の確保に貢献することになると思います。	
3195	下関市の新観光地となる可能性があるので賛成 下関が発展するなら良い。	
3196	下関の活性化になると思います、海に立つ風車を見てみたい。	
3197	安岡地区の発展と活性化を必要とし又望んでおります。どの様な風景になるのかも期待している所です。 環境保全の見地からの意見は、特にございません。	
3198	景観が良くなることで地域の活性化につながると思います。	
3199	下関が豊かになり、地域が注目され活気が戻るとよいです。海に行くのが楽しみになるような景観になるとよいです。	
3200	未来にむけてエネルギー源の選択肢が増えることは良いことだと思う 合わせて風車の景観を利用した観光開発もできれば雇用や地域活性化など期待できると思う。 健康被害や漁獲高本当に影響がないかの追跡調査も行っていただければ安心です	
3201	大型プロジェクト推進により、雇用が生まれ経済効果が期待できる上、ゆくゆくは観光スポットになる。	
3202	賛成 下関に雇用が生まれ、下関に観光客がくる様になり、経済効果が大きいと思う。	
3203	下関市の人口減少が進んでいる中で、本件事業は、雇用の創出に伴う人口増加や観光スポット効果による交流人口の増加につながり、地域経済の発展が期待できる。	
3204	風車の建設に伴って、工事や保守作業などでの雇用が発生し、また、風車の景観が観光客誘致に一役買って、地元の活性化に繋がり経済効果が生じたらいいと思います。	
3205	下関のシンボルとなっていいとおもう。	
3206	下関の名前を有名にしてほしい。	
3207	下関の名物になるので。	
3208	下関市のシンボルになってほしい。	
3209	環境を汚さない施設になるとよいです。下関のシンボルになって人が集まるとよいですね。海を見に行く楽しみができます。	
3210	千畳敷、豊浦、平生をドライブしていると車内から見える風力発電に、今日は風車回ってるねとか、しっかり発電してるねとか、大きいね羽は何メートルぐらいあるんかねなど、あるある会話がでてくる。洋上の風車がたくさん立った景色は壮大で会話が弾みそう、地域シンボル、観光施設になるのではないでしょうか。	

3211	騒音に関しては、1.5km離れているので問題ないと考えられる。 景観に関しては、地域のシンボルとして、町おこしに利用していけばいいのでは。	同　　上
3212	山陰には海岸に風力発電機が設置されているが、決して景観を害すものではない。下関市のシンボルとして観光の一助にもなりうると思います。	
3213	下関のシンボルになる。この事業による経済効果が期待出来る。	
3214	雇用が生まれれば良い。	平成25年3月発表（平成26年4月一部改定）の山口県の「山口県再生可能エネルギー推進指針」におても再生可能エネルギーは地球温暖化対策に有効であることなど「安全・安心の確保」の観点から貴重なエネルギー源とし、さらには「産業力・観光力の増強」の面からも導入促進は重要と述べられております。 本事業では、この指針に沿って地域経済の発展及び活性化に資することで「産業力・観光力の増強」の面でも貢献したいと考えております。 工事計画の詳細は今後の検討となりますが、本事業では下関市の充実した港湾設備を利用し、工事、運営については地元企業の協力を得て本事業を推進し、地域への貢献を果たすことを目的としており、本事業を通じた直接的な雇用と、関連する新たな経済活動による雇用が期待されます。
3215	雇用が生まれれば良いと思う。	
3216	雇用拡大につながるのであれば期待したい。	
3217	雇用が創造される。	
3218	雇用が創造される。	
3219	雇用創出につながるのでは！？	
3220	雇用創出になるので早く工事を始めてもらいたい。必要な資材等は下関市内業者を利用してもらいたい。	
3221	雇用対策になればよいと思います	
3222	雇用の増加に期待します。	
3223	地元での雇用が多くなるとうれしいと思う。	
3224	地元に仕事があるように、重力式でお願いします。	
3225	地元の雇用拡大に期待する	
3226	地元の仕事が増えるのは賛成	
3227	若者の雇用が生まれるよう希望します。	
3228	大型プロジェクトには賛成、これにより雇用が生まれ色々と期待できると思う。	
3229	賛成 大きな工事等が生まれて雇用が生まれ下関の活性化につながると思う。	
3230	賛成 大型プロジェクトで雇用が拡大し活気が出て良いと思う。	
3231	下関の建設業界が仕事が増えるなら大賛成。又、市外、県外からの関連企業が関わる事になり、建設業以外でも、活性化につながる。	
3232	着工すれば、かなりの工事があると思います。地元企業を優先でお願いします。	
3233	雇用が生まれ、活気が出ると良いと思う。	
3234	雇用が生まれ、活気がでるとうれしい。	
3235	雇用が生まれ、活気が出ると期待している。	
3236	雇用がうまれ、下関がさらに発展していけることを期待したいと思います。	
3237	雇用が生まれ、地域が潤う事が出来ると良いと思います。	
3238	雇用がうまれ、地域が活性化すると良いなと思う。	
3239	雇用が生まれ活気が出る嬉しい	
3240	雇用が生まれ活気が出ると思う。	
3241	雇用が生まれ活気が出ると良いと思う	
3242	雇用が生まれ下関が活気があふれる街になればうれしいです。経済効果を期待します。	
3243	雇用が生まれて、地域に活気が出てくることに期待します。	
3244	雇用が生まれて、地域の活性化と経済効果を期待したい。	
3245	雇用が生まれて下関の活性化になるのでは。	
3246	雇用が増え、活気がでればと思い賛成。	
3247	雇用が増え、地域活性化につながる為賛成です。	
3248	雇用促進、活性化することに期待する。	
3249	下関に雇用が生まれ活気が出来ると思う。	
3250	下関に雇用が生まれ活気が出ると思う。	
3251	以前下関に住んでいたので、下関に雇用が生まれ活気が出ると良いと思います	
3252	完成して雇用が生まれ、地域の発展に繋がれば嬉しい。	
3253	完成して雇用が生まれ地域の発展につながればうれしい	
3254	賛成 地元が活性化され雇用も拡大する。	
3255	賛成 下関に雇用が生まれ、経済も活性化して良いと思う。	
3256	賛成 下関の為には良い事だし雇用も生まれ下関の活性化になると思う。	
3257	賛成。下関市に雇用が発生して、活性化される。経済的にうるおう。	

3258	下関市内に雇用が生まれ、活性化に役立つと思われます。人体に害は無いとの事で安心しております。	同　　上
3259	賛成 自然のエネルギー活用と下関の雇用拡大につながると思う。	
3260	年間を通して吹く下関沖の風を無駄にせず有効利用できる点で是非実現してもらいたい事業だと思います。就労人口も減少しているので新たな雇用の創出にも期待しています。	
3261	賛成 下関に大きなプロジェクトが出きれば雇用が生まれ経済が良くなると思う。	
3262	雇用が生まれ、経済効果を期待したい。	
3263	雇用が生まれ下関が活気にあふれる街になれば嬉しいです。経済効果を期待します。	
3264	大型プロジェクトなので、雇用が生まれる等の経済効果を期待し賛成します。	
3265	大型プロジェクトなので、雇用が生まれる等の経済効果を期待し賛成します。	
3266	大型プロジェクトは雇用も生むし良いと思う。プロジェクトが成功した結果、経済効果が出ればなお良いと思う。	
3267	賛成 雇用が生まれ経済の活性化になると思う。	
3268	賛同するが、経済波及効果が76億もあるのか？雇用が生まれることは良いことと思うが。	
3269	計画が実地されれば雇用が生まれ、周囲の経済が活性されると思われる。	
3270	電力の供給だけではなく、建設や解体にも雇用を生む為、かなりの経済効果が期待できそうで、街の活性化につながると思った。	

2.大気環境

No.	意見の概要	事業者の見解
3271	大気汚染等も4地点、四季別で計測し予測されており、基準を大幅に下回っているので問題ないと思います。	工事用資機材の搬入出に伴う大気汚染物質の寄与率は、ピーク時において二酸化窒素が3.4%、浮遊粒子状物質は0.2%となります。また、工事中の建設機械の稼動に伴う大気汚染物質の寄与率は、ピーク時において二酸化窒素が0.0～0.2%、浮遊粒子状物質は0.0%となります。環境保全措置を講じることにより、事業実施による大気汚染物質の影響は小さいものと考えております。
3272	工事用車両台数の平準化による大気環境の低減や民家までの距離を2倍にして騒音、影を低減する保安措置など、非常に多項目で基準のきびしさがわかります。事後調査の結果も、新たに生じる影響はなしとなっている。検討結果と同様に影響はないと思います。	
3273	低周波音等による健康障害 低周波音等の直接耳に聞き取りにくい、遠距離に届く振動「低周波・超低周波音による健康障害の問題点が、国内外での被害事例などにより、国による調査・研究が進められておりますが、洋上での対応、疫学的な明確な結論も出ておりません	風車騒音の調査、予測及び評価に関しては、風力発電施設特有の事象があるため、これらを十分に考慮した最新の科学的知見等に基づく手法の整備が求められてきました。環境省では、これらの背景を踏まえ、平成25年から「風力発電施設から発生する騒音等の評価手法に関する検討会」において、主として商業用に用いられる一定規模以上の風力発電施設を対象とし、現時点までの知見及び風車騒音の評価方法について検討を実施しております。 平成22年度から平成24年度には、環境研究総合推進費の公募型研究「風力発電等による低周波音の人への影響評価に関する研究」において、「風車騒音に関する物理的な実態の研究等」として、国内の風車騒音の実測調査（全国29の風力発電施設の周辺の合計164測定点）が全国規模で実施されております。また、「風車騒音の人への健康影響に関する研究」として、専門家による審査を経て医学会誌等に掲載された査読を経たレビュー（総説）論文やカナダやオーストラリア各国政府機関による報告等を整理し知見を得ています。これらの知見と、「風車騒音の聴感的な特徴」や「風車騒音に関する諸外国の基準等」、「風車騒音の評価の考え方、調査・予測、対応策等」についてとりまとめ、平成28年11月に、「風力発電施設から発生する騒音等への対応について」として公表されました。同資料によれば、「風車騒音は、20Hz以下の超低周波音の問題ではなく、通常可聴周波数範囲の騒音の問題としてとらえるべきであり、A特性音圧レベルでの評価を基本とすることが適当である」とされていいます。また、「一般的に騒音による影響には、聴力損失への影響（聴力影響）、会話を妨害される影響（会話影響）、睡眠を妨げられる影響（睡眠影響）、不快感/わずらわしさ（アノイアンス）等がある。風車騒音による影響については、風車騒音のレベルとわずらわしさ（アノイアンス）を感じる程度の間には統計的に有意な関連が複数の論文で報告されている。また、睡眠影響については、風車騒音のレベルとの直接的な関係性、またはわずらわしさ（アノイアンス）の程度が上がる結果としての間接的な関係性がある可能性を示唆する知見が報告されている。ただし、睡眠影響との関連の科学的根拠は現段階ではわずらわしさ（アノイアンス）に関するものよりも限定的である。一方、聴力影響、頭痛、耳鳴り、糖尿病、高血圧、循環器疾患等の健康影響については、統計的に有意な根拠は認められていない。以上の知見により、風車騒音は、わずらわしさ（アノイアンス）に伴う睡眠影響を生じる可能性はあるものの、人の健康に直接的に影響を及ぼす可能性は低いと考えられる。」と報告されています。風車騒音の評価の考え方として、この様な知見も考慮して「評価の目安となる値：残留騒音＋5dB」が適当であると報告されています。（以下、出典は「風力発電施設から発生する騒音等への対応について」（平成28年11月版）とする） 本事業では、これらの最新の科学的知見を尊重して事業を計画していきたいと考えております。
3274	近年、低周波音等の直接耳に聞き取りにくい、遠距離に届く振動、低周波音や超低周波音による健康障害の問題点が国内外での被害事例などにより浮上し、国による調査・研究が進められていますが、洋上での対応や疫学的な明確な結論も出ていません。	
3275	低周波音による健康障害について言われているなか研究結果も出ていないなか、安岡沖に十数基建設は考えられません。建設後に障害があったでは遅すぎます。 断固反対します	
3276	低周波音等による健康障害 近年、低周波音等の直接耳に聞き取りにくい、遠距離に届く振動「低周波・超低周波音」による健康障害の問題が、国内外での被害事例などにより浮上、国による調査・研究が進められておりますが、洋上での対応疫学的な明確な結論も出ておりません。	
3277	環境省の「風車騒音は聞こえない超低周波ではなく、聞こえる騒音の問題として扱う」（風車騒音の超低周波音領域は、すべて人間の知覚値を下回っている）とあるが、これは騒音計で調べただけのこと。人間は体の外（機械）でとらえる音と、体の中でとらえる音は異なっている。 〈理由〉①対外では分離していた各周波数が、体内で１つのリンパ液や振動細胞に集まり共振するから。 ②音の伝わる気導・骨導・軟骨導があるが、頭蓋骨が振動した時は、ドーム内で音が響く効果をもたらす。 ③又伝導された、かく経路の波動がハウリングを起こすことも十分考えられる。 ④皮膚の刺激細胞と耳の聴覚意識が同調して、よけいに敏感になることもありうる。 振動効果は人間にとって音と振動がその一部である。環境音の言与は大会の音だけであって、外界の振動や、その影響で生ずる体内の音については言与していない。よって環境省の「音」評価を根拠に、調査・判定・評価するのは誤りである。	
3278	低周波等による健康障害の問題が国内外で上がっています。国による調査・研究が進められておりますが、洋上（それも近距離）での対応、疫学的な明確な結論も出ておりません。 また、日本弁護士連合会による新たな法規制の設定などの意見書も提出されております。 この状況では事業を進められては困ります。 納得がいきません。	
3279	低周波音・超低周波音による健康障害が洋上での対応疫学的な明確な結論も出ていない為　反対します。	
3280	近年、低周波音等の直接耳に聞き取りにくい、遠距離に届く振動「低周波音・超低周波音」による健康障害の問題が国内外での被害事例などにより浮上、国による調査・研究が進められておりますが、洋上での対応、疫学的な明確な結論も出ておりません。 また　日本弁護士連合会による新たな法規制の設定などの意見書も提出されております。	
3281	近年、低周波音等の直接耳に聞き取りにくい、遠距離に届く振動「低周波音・超低周波音」による健康障害の問題点が国内外での被害事例などにより浮上、国による調査・研究が進められておりますが、洋上での対応、疫学的な明確な結論も出ていません 風力発電は反対です。	
3282	近年、低周波音等の耳に聞き取りにくい、遠距離に届く振動「低周波音・超低周波音」による健康障害の問題点が国内外での被害事例などにより浮上、国による調査・研究が進められておりますが、洋上での対応、疫学的な明確な結論も出ていない為反対します	

3283	近年低周波音に直接耳に聞きとりにくい、遠距離に届く振動「低周波音・超低周波音」による健康障害の問題が国内外での被害事例等により浮上。国による調査・研究が進められておりますが、洋上での対応疫学的な明確な結論も出ておりません また日本弁護士連合会による新たなる法規制の設定等の意見書も提出されております	同　　上
3284	低周波音等の直接耳に聞き取りにくい遠くまで届く「低周波音・超低周波音」による健康障害の問題が国内・国外での被害事例等により浮きぼりとなっています。調査・研究が進められている様ですが、疫学的に明確な結論は出ていません。	
3285	低周波音等の直接耳に聞き取りにくい、遠距離に届く振動「低周波音・超低周波音」による健康被害の問題点が国内外での被害事例などにより浮上、国による調査・研究が進められているが洋上での対応、疫学的な明確な結論もでていない。 日本弁護士連合会による新たな法規制の設定などの意見書も提出されております。	
3286	低周波音等の直接耳に聞き取りにくい、遠距離に届く振動「低周波音・超低周波音」による健康被害の問題が、国内外での被害事例などにより浮上、国による調査・研究が進められておりますが、洋上での対応、疫学的な明確な結論も出ていません。 日本弁護士連合会による新たな法規制の設定などの意見書も提出されています。	
3287	この先、生活していくうえで、直接耳では聞き取りにくい低周波音等による健康障害が心配です。国内外での被害事例などに国が調査・研究が行われている様ですが、明確な結論も出ていないとのこと。 不安のあるまま風力発電事業を行う事には反対です。	
3288	低周波音の人体への影響に対するエビデンスが確立されていない。	
3289	低周波音による健康障害の問題点が国内外での被害事例などにより浮上しており　国による調査・研究が進めれれておりますが洋上での対応　疫学的な明確な結論も出ておりません	
3290	人間の耳では聞き取れない低周波音による健康障害が問題となっており、調査・研究が進められておりますが洋上での明確な結論も出ておりません。	
3291	反対　低周波による健康被害がこわい。科学的に立証されていないと思うので健康について心配	
3292	反対　低周波による健康被害が立証されていないので、不安がある。	
3293	低周波音による健康被害は立証されていません。	
3294	低周波による人体への影響が立証されていない為	
3295	反対　健康被害との因果関係が科学的に立証されていない。	
3296	・騒音や低周波については、国内での明確な結果は出ていないとのことですが、そのような状況のままプロジェクトを推し進めてしまうことに不安を覚えます。	
3297	11月13日安岡沖洋上風力環境影響評価説明会に関する意見です。 本日、川中公民館での説明会に参加させていただきました。 個人的には風力など再生可能エネルギーの推進には賛成の立場です。ただ、環境影響などには細心の注意を払いながら事業を進めるべきと考えており、今回の説明会で最新のデータや知見に基づく意見交換がなされることを期待していました。ところが、一部の声の大きな反対派が「反対のための反対論」を繰り広げ、聞き苦しいヤジが飛び 交うなど、冷静な議論とは程遠い結果だったように感じます。可能であれば、データに基づく冷静な議論の中で、安全性などを確認したいと願っています。例えば、シンポジウム形式で色々な立場の学識者が今回のデータをもとに議論するセミナー等を開催していただけないでしょうか。その中で今回、反対派の人達が根拠に挙げていた「低周波の危険性を主張する医師」やそれとは別の立場の学識者等が議論する様子を客観的に聞いてみたいところです。なお、個人的には、今回開示された低周波のデータ（残留騒音等）を見る限り、特に健康被害が発生する数値とは思えませんので、被害が発生するという学識者（医師？）の根拠はぜひ聞いてみたいところです。真っ当な学識者であればゼロリスクなどは求めませんし、データを読み取れる人間が聞けば、本当のリスクがどの程度のものかイメージできると思いますので、ぜひ、前述のような「冷静な議論の場」を設けていただければと思います。 以上です。	

3298	健康への影響が科学的に解明されてからでも十分なのではないでしょうか。早急に実行する前にクリアすべき点があると思われます。	同　　上
3299	低周波音等による健康障害が心配、問題点の調査で明確な結論が出ていない	
3300	低周波音の健康被害に対して明確な結論を出し、地元住民の同意を得ずに進めるのは絶対に反対です。健康障害がおこってからでは遅いと思います。	
3301	低周波音・超低周波音による健康障害についての問題点が浮上しているにもかかわらず、その結論も出ていないため不安だけが残る。よって、風力発電設置には反対です。	
3302	風力発電による低周波音及び超低周波音による健康障害の可能性があります。明確に健康障害はないという結論がでていない以上、安岡沖洋上風力発電事業には断固反対です。	
3303	最近、低周波音等の直接耳に聞き取りにくい、遠距離に届く振動「低周波音・超低周波音」による健康障害の問題点が国内外での被害事例などが挙がっています。国による調査・研究が進められていますが、未だ結論が出ていない	
3304	直接耳に聞き取りにくい、遠距離に届く「低周波音・超低周波音」の振動による人体への影響についての安全性の、確保が不充分と思います。 　しっかりとした調査・研究の報告をお願いします。	
3305	直接耳に聞き取りにくい低周波音等の人体への影響の調査が不十分と思います。騒音としての対策だけでなく、低周波の人体への安全性について、しっかりとした科学的な研究や対策の結果を待って、安全性の有無を結論づけて頂きたい。	
3306	低周波音・超低周波音による健康障害の問題点が実際に国内、国外で浮上しており、その件に関してはまだ調査・研究がされており、いまだ明確に健康障害が全く起こらないとく結論が出ていません。 子育て世代の私達はこれからの将来を担っていく子供達の育成の中で少しでも健康障害が起こりうる可能性がある風力発電事業に賛成することは出来ません。断固として反対致します。	
3307	低周波音等による健康障害 低周波音　超低周波音による健康障害の問題点が国内外での被害事例のなどにより浮上している　国による調査、研究がすすめられているが洋上での対応、疫学的な明確な結論も出ておらず病院施設もあり健康障害を及ぼす影響が大きいのではと不安である 反対します	
3308	低周波音による健康障害が盛んにいわれている昨今　洋上での対応・疫学的な明確な結論も出ていない。建設をするのには反対です	
3309	低周波音等の健康障害が心配 明確な結論も出ていないので安心できません。	
3310	低周波音等の直接耳に聞き取りにくい、遠距離に届く振動による健康障害の問題点が国内外に被害事例が浮上、調査・研究が進んでいますが、明確な結論が出ていない現状では問題だと思います。	
3311	低周波音による健康障害に対して明確な結論が出ていない為、私見としましても、グレーではなく、白黒つけた後に改めて計画を見直す方が良いと考えます。 既存の風力発電が近隣の湯谷にもありますが知人宅に宿泊した際も夜中に響き渡る何ともいえない不快な音が耳に残り、寝付く事がなかなかできなかった事を体験しました。 不安を全て解消する事ができてこそ話しあいの余地が出てくると考えます	
3312	低周波による健康障害の有無の結論の出ていない状態のまま建設されると言う事は子育て中の親としては、とても心配です。 断固反対です。	
3313	老人施設が近くに有り、いずれ自分達もお世話になることもあると思いますが、低周波音による健康障害の被害等問題になっており対応、結論が出ていない状況なので不安感しかありません。	
3314	反対です。 健康障害に関する明確な結論が出ていない現状でのスタートは　あるべきではないと強く思います。目に見えない被害や、すぐには現れない被害が一番怖いのではないでしょうか。	
3315	患者様への健康面への影響が気になります。特に疫学的な結論も出ていないので周辺住民や近海の魚等への影響等も気がかりです。	

3316	安岡沖洋上風力発電建設には絶対反対です。 子供もまだ小さいですし、健康被害は立証されていないと言いますが、これだけ民家に近いと、すごく不安です！！ 建設会社の人達や推進している人達は、安心安全と言うならば、この付近に家を建てて、住んでみて下さい！！安心ならば住めるはずです。	同　　上
3317	多くの高齢者患者が入院している病院に絶え間なく続く低周波音・超低周波音は、健康弱者にとって有害であると思われる。 調査、研究結果がいつになるのかもわからずまた被害ありと答えが出た時には遅過ぎるけっかとなる。疑わしき物は作らない決意を持って欲しいものである。	
3318	低周波音による健康被害に不安があります 低周波による人体への影響がまだ調査研究段階の今、 一度大きな施設を建設してしまうと、後戻り出来ないと思います	
3319	風力発電のモーターによる騒音により 健康被害がないとの立証が出来ていないため 子供が長時間いる学校が近くにある為	
3320	①先ほど、環境省のガイドラインの件がありましたけれども、われわれ住民は経済よりも安全第一ということを一番大切にしています。環境省の出したガイドラインの件で、これは聞こえないで低周波等は今回検討しないというか、その中に入れないというような内容がありました。全国からいろいろな問題の声があって、環境省の方と意見交換をしようということで先々月ぐらいに東京のほうに集まりました。 状況としては、今回は研究されたチームの中には、医者等の方がいない等、また、いろいろな全国からの声が上がっていない、聞かれていないということで、環境省としてはそのような認識でした。全国からたくさん問題の声が上がっているのですが、そのような声を研究チームのほうは具体的な苦情がない、ということを環境省が聞いているという状況で、しっかりと聞いてください、ということで意見交換の場は終わりました。 そのような状況でできた案ということで、これは今一度しっかりと調査してくださいということで、今、意見を挙げている状況です。また、現地の方の声を聞いてほしいと思います。	
3321	民家から離れており、騒音は問題ないと考えられる。	平成22年の環境省が実施したアンケート調査結果（全国の風力発電事業者のうち186事業者、40都道府県から回答）によれば、継続している「苦情」は、風車から1,020mまでとなっています。本事業の風力発電施設から最も近い民家まで1,500mという距離は騒音の影響を低減するための十分な距離と考えております。また、「風力発電施設から発生する騒音等への対応について」（平成28年11月版）によれば、これまでに得られた知見として、20Hz以下の超低周波音領域は、すべて知覚閾値を下回っているため、「風車騒音は、20Hz以下の超低周波音の問題ではなく、通常可聴周波数範囲の騒音の問題としてとらえるべきものであり、A特性音圧レベルでの評価を基本とすることが適当である。」とされており、風車騒音の評価の目安として「評価の目安となる値：残留騒音＋5dB」が示されております。 本事業では、環境省が提案した目安の値を基に評価も行っており、「評価の目安となる値：残留騒音＋5dB」に収まっていることが確認されています。
3322	・騒音も少ないとのことなのでよいと思う	
3323	騒音問題とかが起こらなければ風力発電大賛成です。	
3324	先日、風力発電を近くで見た。風力発電＝騒音というイメージがあったが、実際はそんなにうるさくなかった。自分の家の前の道路のほうがよっぽどうるさい。	
3325	住宅地から離れた洋上なので騒音の問題がない。	
3326	安岡沖洋上風力発電の事業においては、騒音・水中への影響等、十分に対策ができている様に思われる。	
3327	洋上風力発電は陸上の風力発電に比べて居住地域から離れた洋上であることから発電設備（原動機）が目立つことがなく、騒音・公害の可能性も低いと考えられる。陸上に比べて強く安定した風が吹く海洋上の風力発電では、陸上の同規模の設備よりも大きな電力が得られ、発電において効率的である。	
3328	安岡沖洋上風力発電事業については、陸上への設置で騒音や、低周波振動の課題があり、海上に建設することで、周辺には大きく影響を発生させることなく、地球に対しても良いことだと思います。	
3329	騒音の問題がなければいいと思う	
3330	騒音問題がきになります。	
3331	どのくらいの音が聞こえるのか、不安です。	
3332	海上に建設するのは問題ないが、陸上近く、音、低周波等に動物が、山から住宅におりて来ているのが現状だと思います。もう少し考えるべきと思います。	
3333	騒音が心配です。	
3334	風車が回る音は気にならないでしょうか	
3335	風車からの低周波音や機械音が近隣住民の方々に影響しないのか心配です。騒音レベルが低くても、人が感じる音があれば、気になる人は出てくると思います。	
3336	騒音が近隣住民の迷惑になるのではないか。	
3337	日常生活に支障はないのか？　騒音被害は大丈夫なのか？	
3338	騒音被害を含め生活環境に影響はないのか？	
3339	騒音・低周波による影響は大丈夫なのか？	
3340	騒音問題は大丈夫か？	

3341	洋上風力発電は身近にありませんので、具体的にはよくわかりませんが、住民の方の騒音公害とか低周波による影響など（地上の物と同じなのか？）と…景観はどうか？ 自然に対しては？などなどまわりの生活の変化とかいろいろ考えて、ゆっくり話し合えばいいと思います。 エネルギーは必要ですので、みんながこれから考えていく問題だと思います。	同　　上
3342	騒音被害のでない、沖の方への設置を！！	
3343	海の近くに住んでいる　音とかさわがしくなって欲しくない	
3344	反対です。 この付近には病院、ホスピタルあり老齢の者は安らかな生涯をと願っています。目に見えない周波の為難聴に加え頭痛がおきる事は大変耐え難く是非ご一考下さい。。	
3345	絶対反対。 風車設置エリアから最も近い所に住み生活しています。低周波と騒音に絶対反対です。10kmはなせ！！	
3346	騒音が強い為	
3347	ペラが回る時音がやかましい	
3348	・川棚にある風力近くに住んでいる方は、音、振動を感じると聞きました（反対すればよかったと言われてます）	
3349	騒音がうるさそうだから	
3350	音が気になる	
3351	音が気になる為	
3352	15基全てが風速20mで回転しても環境基準を超えないでしょうか。環境基準を超えた時例はないのですか。基準値を超える事があれば、止めるのですか	現況の騒音調査結果においても一部で環境基準を超える事はあります。また、風が強くなるにしたがい、現況の騒音レベルが高くなり環境基準を超える恐れがあるのに比べ、風車からの騒音は定格風速11～12m/sの場合が最大となります。
3353	そう音被害や健康被害に大きな影響があるため	「風力発電施設から発生する騒音等への対応について」（平成28年11月版）によれば、「一般的に騒音による影響には、聴力損失への影響（聴力影響）、会話を妨害される影響（会話影響）、睡眠を妨げられる影響（睡眠影響）、不快感/わずらわしさ（アノイアンス）等がある。風車騒音による影響については、風車騒音のレベルとわずらわしさ（アノイアンス）を感じる程度の間には統計的に有意な関連が複数の論文で報告されている。また、睡眠影響については、風車騒音のレベルとの直接的な関係性、またはわずらわしさ（アノイアンス）の程度が上がる結果としての間接的な関係性がある可能性を示唆する知見が報告されている。ただし、睡眠影響との関連の科学的根拠は現段階ではわずらわしさ（アノイアンス）に関するものよりも限定的である。一方、聴力影響、頭痛、耳鳴り、糖尿病、高血圧、循環器疾患等の健康影響については、統計的に有意な根拠は認められていない。以上の知見により、風車騒音は、わずらわしさ（アノイアンス）に伴う睡眠影響を生じる可能性はあるものの、人の健康に直接的に影響を及ぼす可能性は低いと考えられる。」と報告されています。この様な知見も考慮して、「評価の目安となる値：残留騒音＋5dB」が提案されています。 本事業では、環境省が提案している、「評価の目安となる値：残留騒音＋5dB」に収まっていることが確認されており、人の健康に直接的に影響を及ぼす可能性は低いと考えております。
3354	小さい子供がいます。 一番は子供の健康が心配です。 また、病院勤務していますが、患者さん達が 騒音等で療養できないのではと心配です。	
3355	健康被害が予測されるため。 騒音防止！	
3356	健康被害が予測されるため。 騒音被害防止	
3357	反対 騒音による健康被害	
3358	騒音に依る健康被害	
3359	騒音がでたり、健康被害が出てくるから	
3360	・騒音や低周波などの人体への影響も話題になっているが、万が一健康被害に合った場合、どのようにして補償するのかわからないため、不安であり、責任ある対応を求める。	風力発電施設が原因で騒音・低周波音の被害が発生し、損害との合理的な因果関係が明確となった場合には、必要に応じて専門家の指導・助言を踏まえて適切な対応を講じます。
3361	風車の騒音、低周波音の影響です。結論は現状とほぼ変わりはない、影響はありませんということを言われております。それで風車から一番近い距離は、村崎の鼻1500mということです。この計算した結果というのは、風車15基からの騒音レベルの予測値ということで、ここでは37という数字なっております。環境審議会では今までの35というふうに報告をしております。そのときの音圧レベルが35は108、37が110dBということで変更になっております。それで、これを算出する予測式、これは決められております。配置しているそれぞれの風車から住宅地、村崎ノ鼻の距離。この距離によって、風車から出る音源の音から距離による減衰値、それからその距離に比例した空気の減衰値、これを差し引いて、1基ごとまず予測値を出します。そしてこれを合算した予測値というものが、先ほどの村崎ノ鼻、37dBということであります。それで問題と私が思っているのは、音源の音ですね。風車から出る音です。これを110dBというふうにしております。そしてこの風速が8mです。8mの風速で110dBです。110dBだけの数値を見ますと、これは車のクラクションと同じです。だから普通に考えれば、この風車の2列配置、15基の配置に車を全部置いて、一斉にクラクションを鳴らした音の合計が37dBという捉え	準備書作成前の平成28年8、9月頃に風車メーカーに提出をお願いし、入手しました。

	方です。そうすると考えてみても、そう大きな音には聞こえないはずです。だからそれをもって、低周波音、それから騒音も影響ありませんと、こう今説明をしているわけです。問題なのは、この予測式を使うには、4000キロワット出力の計画出力時のメーカーのデータ、これを基に音源の音を持ってきなさいと、こう決められているわけです。それを風速8mで110dBという数値を持ってきて、今計算しているわけです。風速8mがなぜ問題なのか。準備書に書いてありますけれども、定格出力が11から12mです。カットアウトの風速25mです。25mというはあくまでも平均で、瞬間的には30m、許容範囲は30m、瞬間的には吹くのだというと。これに対して、8mの風の110dBを持ってきて計算して、騒音、低周波音による健康被害はない、こう結論付けているわけです。非常に事業者にとって都合のいい数字を置いて計算していると、そういうふうに思っているわけです。それで、このメーカーのデータを、実測値を使いなさいと、こうなっているのに、本当にそのメーカーの実測値があるか、ないのか。あるとすれば、いつ入手したのか。	同　　上
3362	環境審議会で報告している108dBで35、予測値は35dBです。今、準備書では110dB、音源が110dBで37という数値を出していますけれども。この108dBの、音源108dBの予測値35dBという数値は、これは私が聞いている範囲では平成26年6月9日、安岡自治会連合会に来て説明しました。そのときの数値そのままです。そしてその同じ年の11月に第1回目の報告がありました。これも同じです。第2回目が昨年11月、これも同じです。 そうすると、メーカーからのデータもないときに、35、いわゆる環境省が調査委員会に調査を依頼して、それで24年度のまとめとして出した、平成25年3月の目標値、35dBを、もう早々と、平成26年6月の時点で、もう早々とクリアしていますと、こういう報告をしているわけです。メーカーからのデータがないときに、クリアします、していますと、そういう発言もしているわけです。そうすると、35dBというのはどうやって出てきたのか。私は前田建設さんに風車15基の2列配置の距離を聞きました。だから、正直に答えていただきました。それで計算しますと、108dBで数値を計算すると、34.975、35をクリアしています。それから今そこに書いてある37dBも、110dBに置き換えると36.975dBです。つまり音源を2つ増やせば、予測値も2つ増えると。単純なことです。 そういうことで、当初から計算した時点では、これは1500出力の風車の音とか、出力2000キロワットの風車の音とか、3000、4000キロワットの音とか、全く関係ないわけです。35dBをクリアするには音源の音は幾らですかということで出てきたものが、108なのです。そして後付けで、3000キロワット、4000キロワットに変更したとか。先ほど言った平成26年6月9日の連合自治会をしたときにだしたのですよ。3000キロワットでいいはずなのに、事業主さんが勝手に4000キロワットにします。当然、音源から出る音は変わってくるのです。それをいまだもって、4000キロワットにして、しかも4000キロワットの場合には風速が8mですと、こう言っているわけです。風速8mのメーカーのデータだろうと思うのです。では、定格出力4000キロワット時の本当の使われなければいけない音源の音は幾らですか。そうしましと、これは高さ10mのときの風速8mのときの、これはメーカーの実測値というところから取るということいいのですね。そのデータを準備書には添付していません。いわゆるこの110dBが、4000キロワットの風車から出た音であるという結び付きが、見る限りないです。	方法書審査終了後、騒音、低周波音へのご懸念を受け、ご指摘の通り、当時の技術的な知見に基づき提案された風車騒音35dB（環境省請負業務「平成24年度　風力発電施設の騒音・低周波音に関する検討調査業務」報告書　平成25年3月）以下となるよう、計画の見直しを行いました。風車出力を4,000ｋWとし、基数を減らす案です。108dBという値は、当時4,000kW風車の騒音データを計測中との理由で、風車メーカーから暫定値として報告を受けた値です。この値に基づき、風車騒音35dB以下となる配置計画の見直しを行いました。住宅地から最も近い風車を1,500m離す計画です。 準備書作成に当たり、知事意見、市長意見で述べられ、また説明会等でもお話してきたように最新の知見、データで評価することとしました。それが平成28年8月に環境省がパブリックコメント募集を行った「風力発電施設から発生する騒音等への対応について」での提案に対して評価することと考えました。また、準備書作成ということで風車メーカーから正式に4,000kW風車の騒音データとして準備書に記載しているデータ（ＬWA110dB）の提供を受けました。
3363	大事なことは、もう影響もない、問題もない、だから事後調査をしません、としています。普通風車の、こういう建設するときには、今までの事例からいくと、事後調査は付いて回っているのです。それを、問題がないからしません、というふうになっておるのです。では、実測したら本当に幾らなのかというのは分かるわけです。それが怖いのではないですか。それから、建てたら後のことは知りません。健康被害とか、そういうものを受け付けません。このことを言う人がいなければ、だまされた、で終わるのだと、極論からいけばそう感じるところもあるのですよ。だからここも審査というのは、環境審議会が、あるいはこの準備書、設計図を作るまでに、環境省や経済産業省に何回も足を運んで作ってきたはずなのです。そういう人たちが何も思わないのか。このまんま通ってしまって、できるという報告を聞いたとき、きょう私が言うのも最後の、前田建設さんと直接話をする最後の機会なのです。だから私は時間を取ってでも、こうやって話をしておるのです。だから私だけではなく、住民の皆が納得するような説明をきちんとしてほしいです。	事後評価につきましては、これまで1年以上行っている風車から最も近い住宅地での騒音、低周波音の計測を今後も継続して行い、現状の計測データを蓄積し、事後評価できるようにいたします。 準備書作成にあたりその内容について、関係行政と事前の打合せは行っておりません。

3364	騒音や低周波はどこでもあるはず。 風力発電だけを問題にするのはおかしいと思う。	「風力発電施設から発生する騒音等への対応について」（平成28年11月版）によれば、これまでに得られた知見として、20Hz以下の超低周波音領域は、すべて知覚閾値を下回っているため、「風車騒音は、20Hz以下の超低周波音の問題ではなく、通常可聴周波数範囲の騒音の問題としてとらえるべきものであり、A特性音圧レベルでの評価を基本とすることが適当である。」とされております。また、同資料では20Hz以下の音を「超低周波音」とし、それ以外の音（周波数が20～100Hzまでの音を含む）を「騒音」と区別した上で、「頭痛、耳鳴り等の健康影響については、風車騒音との統計的に有意な関係を示す知見は確認できなかった」とされております。超低周波音について、大きな音圧レベルでは健康被害が生じる可能性は認識しており、今回の調査でG特性での評価や超低周波領域での1/3オクターブ帯域毎の低周波音レベルを予測し、十分影響が小さい結果となっております。また、本事業では平成27年10月から平成28年9月までの1年間の風速、低周波音の観測結果（村崎ノ鼻）から、日常で風が吹いているときに生じる低周波音より風車からの低周波音が十分に小さいことも確認しております。なお、近年の医学的な研究から可聴域の低周波音（40～80Hz程度）は、音としてでなく振動として感じやすいとの知見があり、この周波数帯域を低く評価するA特性では低周波音が評価されにくいとの意見もあることから、準備書では100Hz以下の低周波音についても周波数別にフラット特性で予測を行い、評価にあたっては、「睡眠障害が現れ始めるとされる音圧レベル」、「建具等のがたつきが始まる音圧レベル」、「圧迫感・振動感を感じる音圧レベル」との比較を行い、いずれも低周波音の影響は小さい結果となっております。
3365	低周波のことをいわれていますが、我々が日常使っている漁船のディーゼルエンジンの方が身体に受ける低周波の影響は多いと思います。でも漁業者は問題なく生活してきています。	
3366	近くの民家からも1,500mは離れている為、騒音や低周波音による影響も問題無いと思います。	
3367	低周波による影響等問題無いことが証明されたようなので賛成です。	
3368	低周波による影響等問題ないことが証明されたようなので賛成です。	
3369	(1)低周波の問題が無いことが立証されれば、有効なエネルギー対策と考える。	
3370	低周波による健康被害が言われているが科学的根拠は無い。	
3371	私は風力発電の事は詳しくわかりません。でも、低周波が出るのならば周りの人は良い思いはしないと思います。 お互いによく話し合うしかないのではと思います。	
3372	低周波音等による健康被害が考えられる為	
3373 から 3379	低周波音等による健康障害	
3380	3.低周波による健康障害	
3381	③低周波音等による健康障害	
3382	低周波音等により健康障害があるので反対します	
3383	低周波音等により健康障害がおこるため　反対します	
3384	低周波音等による健康障害　反対します。	
3385	低周波音等による健康障害がある為	
3386	低周波音等による健康障害がある為	
3387	低周波音等による健康障害がある為　反対します	
3388	低周波音等による健康障害がある為、反対します。	
3389	低周波音等による健康障害がある為反対	
3390	低周波音等による健康障害があるため反対します	
3391	低周波音等による健康障害があるため反対です。	
3392	低周波音等による健康障害があるのか不安です。	
3393	低周波音等による健康障害がおこる為、反対します。	
3394	低周波音等による健康障害が考えられるため反対します	
3395	低周波音等による健康障害が気になります。	
3396	低周波音等による健康障害が心配される為	
3397	低周波音等による健康障害が心配だから	
3398	低周波音等による健康障害が心配です	
3399	低周波音等による健康障害が心配です。	
3400	低周波音等による健康障害が心配な為反対	
3401	低周波音等による健康障害が心配なため反対します	
3402	低周波音等による健康障害がとても心配の為、強く反対します。	
3403	低周波音等による健康障害が発生する恐れがある	
3404	低周波音等による健康障害が不安	
3405	低周波音等による健康障害が不安な為、反対します	
3406	低周波音等による健康障害が不安なため反対します。	
3407	低周波音等による健康障害が不安な為反対します。	
3408	低周波音等による健康障害が予想される為	
3409	低周波音等による健康障害など不安面があるため　風力発電設置に反対します	
3410	低周波音等による健康障害により　身体がどーなるか不安な為反対です	
3411	低周波音等による健康障害の影響が考えられるため、反対します。	
3412	低周波音等による健康障害の状況が言われているがどの程度か不明である。	
3413	低周波音等による健康障害のため	
3414	低周波音等による健康障害の為、反対します。	
3415	低周波音等による健康障害の為反対します	
3416	低周波音等による健康障害のため反対します。	
3417	低周波音等による健康障害のため反対します。	
3418	低周波音等による健康障害は本当に大丈夫なのか心配です	
3419	低周波音等による健康障害を理由とし建設反対	
3420	低周波音等による健康障害を理由として建設反対	

3421	低周波音等による健康被害が考えられるため	同　　上
3422	低周波音等による健康被害が考えられる為	
3423	低周波音等による健康被害が予測されている	
3424	低周波音等による健康被害に未来の子供達影響にとても不安を感じます	
3425	低周波音等による健康被害の恐れがあるため反対　します	
3426	低周波音等の健康障害が心配なため建設に反対します	
3427	低周波音等の直接耳に聞き取りにくい振動等健康障害が懸念されます	
3428	低周波音等の耳で聞き取りにくい音で健康障害の問題点があり、被害事例などもあるので、建設反対です。	
3429	低周波音などの直接耳に聞き取りにくい、遠距離に届く振動による健康障害の問題点がある	
3430	低周波音波による、健康障害が心配。	
3431	低周波音による健康障害	
3432	低周波音による健康障害	
3433	低周波音による健康障害、被害が出た場合はどうするのか、すぐに稼働中止してくれるのか。	
3434	低周波音による健康障害があると聞いている為、賛成できません。	
3435	低周波音による健康障害がおこる心配があるため反対します	
3436	低周波音による健康障害がおこる為反対します	
3437	低周波音による健康障害が心配	
3438	低周波音による健康障害の問題がおこる為　反対します	
3439	低周波音による健康障害の問題がはっきりしないところが心配です。反対	
3440	低周波音による健康障害の問題点があり。心配です	
3441	低周波音による健康被害があるため	
3442	低周波音による健康被害があるため反対します。	
3443	低周波音による健康被害が考えられる	
3444	低周波音による健康被害が考えられる	
3445	低周波音による健康被害が懸念される	
3446	低周波音による健康被害が心配です	
3447	低周波音による健康被害のため風力発電をやめてほしいです	
3448	低周波音による健康被害の問題があるため、反対します。	
3449	低周波音による健康被害は本当にないんですか？	
3450	低周波音による健康への被害が心配です	
3451	低周波音による健康面での心配や不安があるため　反対します。	
3452	低周波等、目や耳でわからない健康障害が、近りんで働く者として不安である。	
3453	低周波等による健康障害がある為反対します。	
3454	低周波等による健康障害がある為反対します。	
3455	低周波等による健康障害が国内外で問題になっており不安である	
3456	低周波等による健康障害が心配なため反対します	
3457	低周波等による健康被害	
3458	低周波等による健康被害が考えられる。	
3459	低周波等による健康被害の心配が解消されていない。	
3460	低周波等の健康障害などの心配があるので反対です。	
3461	低周波等の健康障害の問題点について解決していない為風力発電には反対します	
3462	低周波により、振動や耳なりなどの不快な物が造られるのはこまる	
3463	低周波により身体に健康被害が懸念される	
3464	低周波により住宅環境被害がおこる為	
3465	低周波による健康が気になる	
3466	低周波による健康障害がある。	
3467	低周波による健康障害があるため反対します	
3468	低周波による健康障害がある為反対します！！	
3469	低周波による健康障害があるので反対します	
3470	低周波による健康障害が不安であり、反対する	
3471	低周波による健康障害の可能性があり不安です。	
3472	低周波による健康障害のため　反対します	
3473	低周波による健康の障害	
3474	低周波による健康の障害がある為、反対します、	
3475	低周波による健康被害があるため	

3476	低周波による健康被害があるため、小さい子供を実家に連れてくるのが心配だから。	同　　上
3477	低周波による健康被害が考えられるので反対します	
3478	低周波による健康被害が心配。	
3479	低周波による健康被害が心配だから	
3480	低周波による健康被害が心配です	
3481	低周波による健康被害がゼロでない限り安心して生活する事が出来なくなる為反対します	
3482	低周波による健康被害が予想される為	
3483	低周波による健康被害のため反対します　安岡沖風力発電	
3484	低周波による健康被害や騒音の心配があるので、風車設置に反対です。	
3485	低周波音の健康被害	
3486	低周波等での健康被害	
3487	環境に優しい自然エネルギーなので、周囲の住民に害がなければ良い事業なのではと思います。	
3488	原発問題が未だに収束していない現在、風力発電はとてもクリーンな未来型発電だと思います。が、一方で騒音・低周波の問題を耳にします。これらの問題を何かしらの形で解決出来るのであればこれからの未来にとても必要なエネルギー供給源かと思います。	
3489	原子力発電の問題についてはやはりイメージが悪く、反対したいという気持ちがありますが、風力発電は期待できる未来方発電ではあると思います。しかしながら、騒音、低周波の問題において解決されなければならない点であると思います。	
3490	騒音問題ですが、確かに低周波による悪影響は問題と思います。 しかし技術的に解決できるでしょうし、技術の進捗の芽を最初から摘み取ってしまうような後ろ向きオンリーな意見はいかがなものと思います。	
3491	自然エネルギーを使用して発電することは良い事と思う。 風車の回転による超低周波による健康被害があるのか？	
3492	港湾土木の工事は少なく、早期着工をお願いしたい。 行政（下関市）がバックアップして頂き、工事着工の推進を図って頂きたい。北九州市と下関市がタイアップして、工事着工の推進を図ってみてはいかがでしょうか？ 低周波の問題があるのなら、沖側に２列設置から１列設置の検討をされてみてはいかがでしょうか？	
3493	自然エネルギーの活用は期待できますが、低周波による健康被害等も気になります。	
3494	以前、風力発電の低周波による健康被害についてきいたことがある。長期にわたるものなので、やはりその影響は大きいものだと考える。 人体への影響を考えると、漁場としての保全にも当然悪影響を及ぼすと思うので、風力発電には反対。電力使用を抑えていくなど、考えていく道は他にもあるのではないか。と思う。	
3495	国内最大規模の洋上風力発電を下関市に建設を進めようとすることは良いことだと思う。 昨今、火力発電、原子力発電などの環境破壊が懸念される発電よりは再生エネルギーとしての風力発電は非常に良い物だと思う。が、しかし　下関市豊北町　豊浦町の低周波騒音被害の実態があるなかでの建設は反対します。今のままでは安岡地域住民には納得できないと思います。 安岡沖以外に場所は変更出来ないのでしょうか	
3496	太陽光や風力など自然の力を利用した発電については賛成でした。ですがいろいろと調べていく中で、環境に優しいはずの発電が生態系への悪影響を与えていることを知りました。一番の不安は低周波による健康への影響です。愛媛県伊方町、愛媛県豊橋市では実際に・頭痛・めまい・動悸・抑うつ・脱毛・耳鳴り・ストレス等の症状が出ている事例も報告されており、半径2kmに影響が及ぶと言われているそうです。イギリスでは民家から5km距離をとるよう定められているという情報もありました。沿岸に住む人たちにとっては大変重大な心配事ですし、病院で療養されている人たちへの影響も大きいと思われます。近すぎるために万が一健康被害が出た場合、転居以外に治療法がないというのは困ります。5km以上離して建設していただくことを望むと同時に、絶対安全という明確な根拠を示していただいて安心したいです。	
3497	直接耳に聞き取りにくい、遠距離に届く振動「低周波音・超低周波音」による健康障害の問題があり、安岡病院という医療機関にとって、患者様に被害が及ぶ可能性が考えられます。よって、私は風力発電建設に反対します。	

3498	低周波音等による健康被害は前田建設側は大丈夫と言われていますが、他の風力発電がある地域では被害を訴えている人がたくさんいるように思います 私は安岡沖1.5kmの風力発電に反対します	同　　上
3499	低周波は目に見えないし、学校、病院が近く、頭痛や吐き気がおこると「やっぱり風力発電のせいだ！」となると思う　少し近すぎると思う。	
3500	風車から低周波音や機械音が発生し、近隣に騒音問題をおこすことがある。	
3501	風力発電のある地域では　稼働と同時に風車騒音、低周波音被害（目まい、耳鳴り、吐き気、体のだるさ）が発症し、地元住民が苦しめられることになると考えます 穏やかな日常生活がおくれなくなると心配です 風力発電には反対します	
3502	風力発電は環境に優しいと言われながらも　低周波音や機械音などを発生するデメリットもある様です。睡眠障害による頭痛、イライラ、不眠、肩こりなど。確かに普通に生活をしていても起こりうる症状ですが、これが風力発電があるがために強く起こりうる可能性があるならば避けるべきだと思います。特に安岡という地区は、病院や高齢者の方々の施設も多くあり、その中で生活されている方々に、もし健康被害がプラスされるならばこれは大きな問題です。仮にメリットがあっても健康に対してのデメリットが心配されるならば、この提案は拒否するべきです。断固反対を致します。	
3503	実際の風力発電の音・振動を体感してみないと　意見は言いにくいです。	
3504	風力発電を設置することで、低周波音による健康被害があるのに、何故、住宅地の近くに設置しようとしていることがわかりません。自然のもの（風）を利用して発電することは悪いことではありませんが、設置しようとしている地域住民の方に健康障害がおこるということは、とてもエコではないし、許せないことです。 地域住民の生活を脅かしてまで、設置しなくてはいっけないのでしょうか。	
3505	安岡沖洋上風力発電の設置は反対です。 健康の人でさえ低周波による健康被害が出るからです	
3506	安岡地区は、海、山、畑と自然環境に囲まれた場所であります。その為に市内の旧市内より病院等の移転なども含め多くあり、学校も高、中、小学校、幼稚園、保育所等も多くあります。その為に低周波音等による健康障害という事で多く患者また未来を任う大切な子供たちの命にもかかわる事だと思われます。またこの数年ベッドタウンとして住宅も増加しています。　風力発電を何のために計画するのか、その基となる私達生きている大切な人間の事を一番に考えて頂きたいと思います。	
3507	②低周波、超周波は低音で耳に聞こえにくく、周波が耳でなく、頭蓋骨より進入してリンパの流れの障碍を起こしが不定愁訴継続する。 治療方法は超低周波をさけること以外にありません。不定愁訴とは、頭痛、○○、めまい、倦怠感、吐気、食欲不振、肩こり、しびれ等、このような患者が次から次へと出現してきます。いちいち保障できますか。患者は多くなる一方です。	
3508	（１１月１９日海峡メッセ会場にて、安岡本町の方が、低周波が内耳内リンパ液に悪さをするという発言に続いて、以下発言しました。１１／１８書き出した意見書に次いで、提出します） 各地で風車の低周波による健康被害が顕著に起こっているのは、（聞こえない音）周波数が５Ｈｚ以下の振動波（超低周波）です。４Ｈｚになると、ここのその頑丈なドアですらガタガタ音をたてはじめます。とくに、１Ｈｚ前後となると音圧が高く人体への重篤な被害を与えるといわれています。 しかし、前田建設工業の準備書では、５Ｈｚ以下は消されています。 また、現在、風車からどれくらい離せば安全なのか、国は音源（施設）別に根拠あるものとして基準を出せていません。だから地元住民は不安なのです。被害は個別にさまざまに現れるといわれています（苦情を申し出ないさまざまな被害を受けている人達にもピーポイントを与えないと正確な反映もできない、風車の健康被害に詳しい医療関係者の動員も要します）。各地の被害の状況は、まだまだ正確に把握されいるという域に達していないと思います。 地元住民の不安は、容易に融けないでしょう。私は、自分たちの安全を確保するために、沖合１０km以上への引き離しを求めます。	
3509	（仮称）安岡沖洋上風力発電事業に反対します。 騒音の問題や低周波が人体に与える影響がこわいからです。	

3510	（仮称）安岡沖洋上風力発電事業に反対します。 低周波が気になるため。	同　　上
3511	◎音に対する対策はどう処理するのか	
3512	◎特に低周波に対する心と家の影響が風力発電の低周波音による健康被害が生じる風力発電のため日常生活が変わる為め　反対する	
3513	・健康被害が心配（特に低周波に寄るもの）	
3514	・人体への健康被害　低周波音　振動など	
3515	・近くには病院や福祉施設もあり健康被害の心配です。 ・騒音や低周波音でおびえて生活を送ることになり得るから反対です。	
3516	・低周波による健康被害が恐い。 海外で実際に健康被害が報告された例もあり、建てるのであれば10km以上は離して欲しい。1.5kmはあまりにも近過ぎる。	
3517	・低周波による人体への影響が考えられ、その具体的な対策　効果的な対策が不明なままである ・心理的な低周波への対策は難しく一度感じてしまった不快感は仲々取り外く事が出来ない ・個人差が大きくその理由すら解明されて居らず ・主な症状として睡眠障害、夜間の頻尿、頭痛、めまい、吐き気、視覚の変化など多類多数があげられる しかも科学的療法も不明なため対症の方法がない ・いかなるリスクも住民というだけで背負わされる理由にならず、計画そのものを白紙撤回される事を切望する。	
3518	・低周波による頭痛、吐き気等の健康被害への不安	
3519	・低周波被害がどの程度あるのか	
3520	・風車が設置されると、騒音・低周波の影響で健康被害が生じる。	
3521	・風車による騒音・低周波音等による健康障害	
3522	・風力発電による低周波音の人体への影響がどのような物なのか不安です。横野海岸の1.5km洋上はあまりに近すぎるのではないでしょうか	
3523	・風力発電の低周波について、健康被害が心配です	
3524	1.5kmと距離は非常に近く、低周波等の被害を受ける可能性がある為、10kmほどの距離に設置をしてほしい。	
3525	①低周波による健康障害（特に老人、子供達の事が心配）	
3526	②健康被害を蒙ります 海岸から2km離れたところに設置されるとのことですが桁違いではありませんか？目に見えない低周波音は人体に悪影響が必ずあると思います、海岸沿いには病院もあります、どうにも設置するなら10km以上離れたところにお願いします。	
3527	②現地住民が、低周波による人体への不安から、それを払拭する説明をくれという、唯一の要望にさえ答えてない準備書など無効である。	
3528	3.低周波音、超低周波音による健康被害が行りうると、国内外からの報告がある	
3529	③子供もまだ小学生のため低周波での 健康被害がとても怖いため反対	
3530	⑤風車による低周波、超周波は下関の場合人家の密集した場所で、ほとんど庭のない家が多く、吉見、安岡、綾羅木、垢田、川中…等の約6万人の密集地であることを、ご承知でしょうか？	
3531	以前、熊毛郡平生町に住んでいたこともあり、低周波音を一日中聞いており　頭痛や軽度の眩暈がありました。 初めはわからず、耳鼻科や神経内科等、通院しました。 自覚していなくても、実害を受けたと考えているため 洋上風力発電に反対します （平生町では　山上での風力発電でした。）	
3532	以前、安岡公民館で開催された集会で、すでに風力発電が行われている集落の方が、意見を発表されているのを聴きました。　村は低周波で、うつ病・頭痛を発症する人が増え、村を去ってゆく人が、増え村の人口が半分以下に減ってしまった。人体にい事は一つもないと訴えていました。 たいへんな事だなと思います。 こういう状態の町には、なって欲しくない！ 断固　反対します！	
3533	一番気になるのは低周波による健康障害である。低周波など目に見えるものではないため、気が付かない場合が多い。 しかしそれによる頭痛やめまいなど健康への被害が考えられ、この地域では病院、診療所も多く、患者だけでなく地域住民までも被害を受けることとなる。風力発電が立ってから被害が出たのでは遅すぎるため反対する	

3534	一番避けなければならない事は我々の健康被害である 長期間低周波音にさらされていると頭痛、イライラ、不眠、肩こり、動悸、耳鳴り、しびれ、だるさ、食欲不振などの不定愁訴がおきると言われています。低周波音のない環境に行くとうそのように症状が消えるといわれています立ってから、症状が出てからは遅いのです　現に静岡や愛知の住民は被害を訴えています。調べれば調べる程恐ろしい「低周波音被害」です	同　　上
3535	一番心配なのは、低周波による健康被害のあることです。	
3536	今、健康に感心のある方は大勢いらっしゃると思います。 まずは低周波音による健康被害（成人病等はとくに）すぐ側に風力発電がと思うと私達はもちろんお年寄り、子供達までも身の縮まる思いです。より良い環境で健康に未来の子供達の為にも声を大にして「反対」致します。	
3537	今のままでは低周波が人体に影響を及ぼす距離だと聞いています せめて今より少しでも遠い場所の建設をお願いしたい。	
3538	エネルギーの見地からみると良いと思うが 低周波音等による健康障害が起きると考えると賛成出来ない	
3539	遠距離に届く振動（低周波音、超伝周波音）により、健康障害の問題。	
3540	オリーブは高齢者（80代、90代）の人達の終の施設です。 余生を楽しく、何よりも健康で日々過ごしたいと思っています。 ですが、日本海のすぐ側で海風の強い日も多く夜中々眠れない、と云う人も何人も居ます、それに風力発電の音が加わると又今よりもまだ寝苦しい夜を過ごさないといけなくなり 健康上の理由で絶対、反対です。	
3541	海外では低周波、振動の身体に及ぼす影響を考慮し、居住地から約20km離れた場所に設置していますが安岡沖洋上風力発電は1.5kmと非常に近く、健康への影響はどのように考えているのか。	
3542	外国の広い土地に並ぶ風車を見て子供の頃は漠然と環境にやさしいんだと思っていました。大人になり九州の工場敷地内に並ぶ風車の下に立ってみて何とも言いがたい音を聞いてからは恐怖でしかありません。案の定、低周波音の健康被害があるとの事。携帯電話のアンテナと同じ、目に見えないうちに人々が被害にあっているのです。病気で苦しむ方達が入院している病院やどんどん新しい家が建っている場所に建設すべきではない事ぐらい誰が聞いてもわかります。海上に建てれば良いという訳ではありません。体に悪い事がわかっているのに賛成しますか？私は絶対に反対です！！！	
3543	かねてより、低周波は色々と問題になっているのに、なぜあえてリスクを承知に安岡沖（住宅に近い）に設置するのか理解に苦しむ、既に健康被害が起る事が明らかに素人でもわかるのに、なぜ住民の意見を聞き入れないのか、わからない、事が起こった場合、いつも言われるのが想定外と言うが、この様な言葉は絶対に言わせない。 何かあった時（必ず起る事）100%元に戻す自信がありますか？無いでしょう！！ 安全だとどうしても言うなら、安岡の3km以内に貴社の社宅建てて、会長以下全ての社員住んで下さい。できますか？	
3544	環境破壊をはじめ、低周波音による人被害など明確なデータが出ているのにかかわらず「病院」の前に建設する意味はなんでしょうか、人の健康より大切な発電など存在しないと思います。	
3545	血圧が高いため低周波による体の不調がでる事がとても心配です。 風力発電はやめて頂きたいす。	
3546	健康被害がとても心配でなりません。低周波音による被害事例等見る限り安心できる設備とは思えない。 もっと遠い距離のある所へ建てる事はできないのでしょうか？ 建設には反対します。	
3547	健康被害がないという根きょがない 低周波音被害は「転居」以外治療法がないといわれ 健康被害を受ける可能性がある為反対です	
3548	現在の洋上風力発電計画は、洋上といえども風車が居住地から1.5kmと近距離で、低周波音等による健康被害が、一番心配です。 建設には反対ですが、立地条件等でこの地域を選ぶなら欧米のように平均10km以上離れての建設を再検討すべきと思います。 居住地域のことを優先に考え、反対します。	

3549	現実的に、海の近くに居住しており、低周波の身体への影響等を考えると、他人事とは思えません。子、孫などへの長いスパンで考えても影響大だと思います。	同　　上
3550	建設反対　低周波音等による健康障害があるので	
3551	建設反対 低周波音等による健康障害が出る	
3552	建設反対します。 １、低周波音による健康障害の事例がある為 絶対反対です。	
3553	建設反対です。 低周波音など目に見えないものなのでとても怖いです。	
3554	高血圧なので低周波音による健康被害がとても心配です。 風力発電はやめてほしいです。	
3555	国内外でよく低周波被害をよく見聞きします 私達の生活している近辺で低周波が発生すると思うと とっても恐ろしく不安を感じます、又　建設反対は地元住民の総意となっております。 反対です。	
3556	子供がまだ小さいため　低周波音は健康障害となるため 反対する	
3557	子どもが安岡の保育所に行っており低周波による影響が気になるため風力発電に反対	
3558	これを読んだ人は、扇風機をひっぱり出して、実験して欲しい。扇風機の胴体を揺らせば、等速音だった扇風機の羽根切り音は耳ざわりなうなりを生ずる。おそらく風力発電もあの細くて長い胴体はしなり、揺れる。すると、やはり同じ様に胴体の振動によって、円形だったはずの、羽の周回軌道が変形して、うなり的な振動波が発生する。	
3559	今後のエネルギーとして風力発電に反対するわけではありません。 但し、今回の事業計画については反対します。 その理由は、設置場所と居住地との距離があまりにも近過ぎることです。低周波音の影響については、いまだ明確でなく、将来的に近隣住民の不安が残る計画には、反対せざるを得ません。よろしくお願い致します。	
3560	再度、ご検討をお願いします まず、低周波音などによる健康障害と今後の若者の定住不安による地域の発展が危惧されるに反対します。	
3561	資源の少ない日本にとって、自然の力で得られる風力発電は、貴重なエネルギー源の1つであると思います。 しかし、低周波音等による健康障害を考えると医療施設や住宅への影響が気になります。 住民、患者様の健康面を考えるとあまりに近くに風力発電を作ることは納得ができません。 私は、安岡沖1.5kmの風力発電に反対します	
3562	自然環境の破壊はもちろんの事、低周波音・超低周波音による健康障害は、大変大きな問題であり、許す事はできません。 高齢者や小さな子供に対する影響は大きく、断じて許されないと思います。	
3563	実際にまだ建築されていない風車から発する低周波をどのようにして計量的に推測して被害が無いと言えるのでしょうか。事前に計測することは不可能であるにもかかわらず、低周波は少なく、安全であると断言することはできないと思いますが。アセスの内容は殆んどが想像に基づいて書かれたものであり、全く信用できません。	
3564	持病があり低周波が心配なので	
3565	準備書は漁場や藻場への影響は少なく健康被害に不安「影響ない」大丈夫ということですが和歌山県立医科大学の武田教授の実験で20ヘルツの低周波音をマウスまた20人の人間で低周波音を聞かせ続けるとまったく動かなくなった。マウス人間は上から抑えつけられうずくまりたくなるような感、胸が締めつけられて心臓がどきどきするという反応が出た、それはストレスから生態を防御する副賢皮質ステロイドホルモンが分泌、24時間続くと頭痛・吐き気など体調不良を訴えることが明らかにされた。 ある開業医もどうよう健康被害について次のように低周波音は耳には聞こえないが頭蓋骨を振動させて能や耳に入ってくる、その時副賢皮質ステロイドホルモンが分泌され心臓の動悸が激しくなったり血圧が上がり眠れなくなり血糖値を上げ胃液が常時で続け胃潰瘍になる可能性もあり20ヘルツ以下の超低周波は3km以内は絶対だめ低周波音被害は「転居」以外治療法がないと言われている、健康被害を受ける可能性があるものを断じて認める事はできません ！！建設中止以外にない！！ 健康被害を受けた時は保証はしてもらえますか。	

3566	人体に影響のある低周波に関しては周辺に住んでいる私たしたちにとってとても懸念材料であり何よりも健康被害が心配です。風力発電がどこまで私たち市民に利益をもたらすのか、疑問に思います。無駄なお金を使うのならもっと市民にとって役に立てるようなものにお金を投資すべきだと思います。	同　　上
3567	絶対反対します。 低周波の害が及ぼす範囲以外の所（10km以上）に離すよう。	
3568	絶対反対します。低周波による健康被害を心配します。	
3569	絶対反対です 穏やかな町の生活を一変する風力発電は住民の健康を奪い安全な生活まで破壊する 先生方の研究からは低周波振動により頭蓋骨まで通り抜ける程の人体に及す被害は心身とも蝕み様々な症状を引き起こす発表がされている 住民の健康を日常生活の安全を守る為絶対に風力発電は建設させない	
3570	騒音低周波が一番の心配です。 精々5kmは離してほしい 安岡に親戚がありますがとても困っている これから先子供達が下関から出ていくのでは 親として寂しいし、市の人口も減るのでは 市民の皆が安心して住める町を希望します。	
3571	騒音や、低周波によるストレスや、健康被害を受ける人々の気持ちになってください。	
3572	騒音や低周波振動が原因で人への健康被害の影響が心配です	
3573	断固反対＝風力設置を許すと将来に亘って悔いを残す。陸地より最低10km以上離すか設置を中止を求めます。 設置後、低周波公害は昼夜を問わず健康な人の体を害し2年～5年、10年後体力のない老人や若い人でも体が弱って病院にいっても低周波公害が立証されずに病院治療を余儀なくされる事でしょう。多くの人が年数が経過して発病し第二のみなまた公害に似たような将来前途ある孫の代までつけがまわることでしょう。風力発電は意義があることですが、公害に発展するものは絶対設置を許しては10数年後に後悔するこでしょう。発病者が続出すれば遠く20km先に移転せだねばならないでしょう。この風力は設置規模が今までにない大きなもので影響がはかりしれない！	
3574	断固反対です 住民の日常生活の安全を奪う権利はない。 様々の実験結果、臨床医の診療からは人体を脅かすはっぴょうがされている。 目に見えない低周波音を人体に浴びる事は決して許されない。 風力発電は絶対に建設させない	
3575	地域住民（特に安岡周辺）の同意が、得られていない状況と目に見えない低周波音等による健康面の安全性が確かでない状況のままでの建設はいかがなものかと思います。 少なくとも、陸地からの距離を離してほしいと思います。	
3576	小さい子がいる為　低周波による体の影響がきになる為	
3577	超低周波音による健康障害が考えられるので反対します。	
3578	超低周波音による風力発電に反対です。人体に及ぼす健康被害を考えると納得できません。	
3579	超低周波による健康被害が浮上しているため	
3580	超低周波は身体に良くない。 風力発電には反対します。	
3581	低周波、騒音等による健康被害が予測される。 工事完了後に被害発生が起った場合は時すでに遅し、安岡川中地区一帯はまたたくまに風評被害が広まり、地区から人は去り、人口減少が起り、地区は衰退していくと思われる よって反対です。	
3582	低周波、超低周波音による健康障害には、不眠やめまい吐き気等の症状が見られると聞いています。 低周波が届く地域に住む人々やそこで働く人々に健康被害は及ばないと実証はできるのでしょうか？ 皆が安心して暮らせる環境を整えて欲しい。	
3583	低周波音、超低周波音による健康障害の問題点がある	
3584	低周波音、超低周波音による健康被害。 症状は、睡眠障害をもとに頭痛、耳鳴り、吐き気、抑うつ、不安、腹・胸部の圧迫感、肩こり、手足の痺れ、動悸、顎の痛み、脱毛、ストレス、脱力感など自律神経失調症状に似ている。これらの症状は　風車が止まったり、住んでいる場所から離れると消えてしまう	

3585	低周波音・超低周波音による健康障害がおきてしまうのではないかと思います。 私は安岡沖1.5kmの風力発電に反対します	同　　上
3586	低周波音・超低周波音による健康障害の被害が恐いです。 小さな子供を育てているため心配です	
3587	低周波音・超低周波音による健康障害の被害事例が出ていて反対です。子育てをこれからしていく私にとっては不安がいっぱいです。	
3588	低周波音・超低周波音による健康障害の被害事例がでているのにたくさんの患者さんのいる安岡病院沖の海上に風力発電をつくろうとするのはいかがなものか。また、建設反対の署名が100000筆近くに達しているのに強行に建設を進めようとするのは住民を軽視しているのではないか…。	
3589	低周波音・超低周波音による健康障害の問題があり子供や高齢者　地域住民に目に見えない形で身体に影響を与える可能性のあるものは賛成できません。また、地域住民の賛成を得られていない状態で作ったとしても健康障害が出るとわかれば地域の過疎につながると思いさらに賛成することができません	
3590	低周波音・超低周波音による健康障害の問題があるため	
3591	低周波音が健康障害になると思う為建設反対	
3592	低周波音等振動による健康障害が気になります。 反対する	
3593	低周波音等に対して、安全性が確保されていないと聞いている。	
3594	低周波音等により、年月を重ねるにつれ、健康障害があると言われているのに、実行しようとするのはおかしい。 子供や孫のことを考えると、賛成できない。	
3595	低周波音等により内耳のリンパ液が増えて耳なりの原因になると言われているので絶対反対です	
3596	低周波音等による、頭痛、めまい、不眠等健康被害があると言われています。健康被害につながる風力発電には反対です。	
3597	低周波音等による健康障害 睡眠障害、頭痛、耳鳴り、吐き気、抑うつ、不安、腹や胸部の圧迫感、肩こり、手足のしびれ、動悸、あごの痛み、脱毛、ストレス、脱力感などの症状が現れ、体調不良になってしまう例が過去に起こっており、安全を証明できるものや根拠がない。	
3598	低周波音等による健康障害など住民は泣く事になる 絶対反対！！	
3599	低周波音等による健康障害が不安である為 強く反対します	
3600	低周波音等による健康障害がどの程度影響するのか 将来の子供たちへの影響をふくめ明確なデーター等を開示し、もっと安全なものはないのか検討してほしい	
3601	低周波音等による健康障害が心配です 子供の未来のことを考えると建設に断固反対致します。	
3602	低周波音等による健康障害について 近年、低周波音等で耳が聞き取りにくくなった、遠距離に届く振動による健康障害の問題が上がっています。 きれいな海に風力発電が立つのも嫌なのに、この上健康被害が出るかもしれないと思うと、もっと嫌です。	
3603	低周波音等による健康障害の起こる危険性があるため安岡沖1.5kmに建設されることに、大きな不安を感じます。 私は安岡沖1.5kmの風力発電に反対します。	
3604	低周波音等による健康障害のおそれがあるため 反対です。	
3605	低周波音等による健康被害が心配されます。 子供たちを安心して海水浴に連れて行けなくなるので反対します。	
3606	低周波音等による健康障害が気になります。近くに病院もありますし、支障をきたすのではないかと不安に感じます。	
3607	低周波音等による健康障害の問題点があり、安全性が確保されていないので、風力発電（安岡沖）は、反対します。	
3608	低周波音等による健康障害の問題点が国内外で浮上しており安全性が確実でない。	
3609	低周波音等による健康障害の問題点について国内外で浮上していますが、もう少し遠方に建設できないのでしょうか？	
3610	低周波音等による健康障害が怖い TVで風車が立っているのを見るが、その周辺の人の健康状態は大丈夫なのでしょうか？ すぐに目に見えなくても、これから長く生きていく子供ら世代には無用な物ではないでしょうか 建ってしまっては終わりです。　要らない物に投資する必要なないと思われます。	

3611	低周波音等による健康への被害が一番気になります　半径何m離れていればいいと言う事ではないと思います　風の強弱によって違いがあるのでは・・・。一日中家にいる人にとっては“ストレス”となり大変だと思います（夜など静かな時は、特に気になる）	同　　上
3612	低周波音等の健康障害が心配なため 建設に反対します	
3613	低周波音等の直接耳に聞きとりにくい、遠距離に届く振動「低周波音・超低周波音」による健康障害の問題が、国内外での被害事例などにより浮上しているため、反対します。	
3614	低周波音等の直接耳に聞き取りにくい、遠距離に届く振動による健康障害が取り上げられていて　安全とは言い切れません 安全の保障がない時点での建設には賛成できません	
3615	低周波音等の直接耳に聞き取りにくいが遠距離に届く振動による健康障害が問題になっている、病院の近くに建設すると患者の健康被害が問題と思う	
3616	低周波音などの直接耳に聞き取りにくい、遠距離に届く振動「低周波音・超低周波音による健康障害が不安なので反対します	
3617	低周波音による健康障害が心配です。 陸からの距離をもっと離してほしいと思います。	
3618	低周波音による健康障害が出ることは（大小にかかわらず）同意できない大きな理由の１つです。 だれの健康も損ねてはならないと思います。 風力発電は、原発に比べると自然を活用した良いイメージを持つ人もいると思いますが、近隣住民が健康被害で苦しむという犠牲の上で作られた電力を気持ち良く使うことができるでしょうか。 私にはできません	
3619	低周波音による健康障害が問題になっており、不安なまま生活を送りたくない。	
3620	低周波音による健康障害で住民に大きな影響を及ぼすことは明確である（国内外で事例がでている）　住民がいなくなる恐れがあります 反対します	
3621	低周波音による健康障害の事例がある為 病院から近い位置に建設する事は　賛成できない。	
3622	低周波音による健康障害の問題集を国内外での被害事例を研修にて見聞きしています 作ってからでは遅いと思います 山陰地区が死のベッドタウンにならないためにも風力発電設置には反対です。	
3623	低周波音による健康障害の問題点が、国内外での被害事例など浮上しているので、100％健康被害がないと証明できないと心配。	
3624	低周波音による健康障害や自然破壊これからせいかつしていくなかで人事では済まされない状況になっていると思います これから自分達が取り組んでいく事は何かを考えないといけないと思います	
3625	低周波音による健康被害があると言われている今、その問題が解決していないまま建設するのはいかがなものかと思います	
3626	低周波音による健康被害についてが１番不安です。 安静にして治療する場である病院で、健康障害を引き起こすことになると、風力発電に賛成できない。	
3627	低周波音による体長不良が心配なため反対	
3628	低周波音によるものと思われる健康被害がもんだいとして取り上げられていますが、それに対する具体的な見知はあるのでしょうか。 問題がないとされる場合の具体的な判断基準がありましたらご開示頂ければと思います。	
3629	低周波音は遠距離に届く振動と言われている為健康障害が心配です　特に安岡住民にとっては・・・	
3630	低周波音は頭痛やめまい、イライラ、不眠が続き深刻な不定愁訴の症状が出る それに対する治療は現在はない。健康障害が出た場合どこに訴えればよいか、原因は波音なのか、否、わからないままに苦しむことになりかねないので反対します。	
3631	低周波音被害は「転居」以外治療法がないと言われ、下関の子供や高齢者、その他多くの人が健康被害を受ける可能性がある為、反対です。	
3632	低周波音や超低周波音により健康障害があるという事なので、地元に住んでいる者としては、賛成出来ません。	
3633	低周波音や超微振動による健康被害があると聞いています	
3634	低周波害の為　絶対反対	

3635	低周波が体に悪いから	同　　上
3636	低周波が健康障害と聞いています 反対します	
3637	低周波が人体に及ぼす影響を考えると、病院の近くという事もあり、設置場所の検討を望みます	
3638	低周波が長い年月に渡って人体へ及ぼす悪影響が懸念されるから	
3639	低周波気になる 福江に娘夫婦が家を建てるので困る。	
3640	低周波振動により健康に障害が出るように思う	
3641	低周波騒音の不安を解消するために、公開で現場調査を実施して欲しい。 低周波音の誤解を解くため、及び、風力発電建設に反対しる方々へ安心を与えるため、是非地域住民への公開による調査をお願いしたい。 併せて、エアコン室外機からの低周波騒音の発生状況を確認するため、比較試験（調査）もお願いしたい。 公開による調査を実施することにより、正確な情報の提供をお願いしたい。	
3642	低周波による健康被害が一番に考えられます 低周波は目に見えるものでは無く、身体への影響もすぐに出るものではない中、生活をする事は不安です 高齢者にとって環境の変化は　精神的に 負担になります	
3643	低周波による健康障害について安全性が不透明なため本当に大丈夫なのですか？音等も心配であり、設置場所も住宅や人の近い所で考えなければいけないと思います。	
3644	低周波による健康被害がとても心配です。 24時間プロペラは河道しているので これから、10年先、体にどの様に影響してくるのか、心配です。	
3645	低周波による健康被害や騒音の心配があるので、風車設置に反対です。健康被害が国内外で多数報告されているにも関わらず、どうしたら安全だといえるのですようか。 予定地周辺には多数の住宅に加え、病院や介護施設、幼稚園などもあり、その全員が安心できる調査報告が必要であると思います。	
3646	低周波による人体への影響が不明の為、今後の事が心配です	
3647	低周波による騒音が他の設置場所で問題になっている為、反対します	
3648	低周波の影響があるとわかっていてあなたはご自分の家族を安岡に住まわせますか？ 自分の事として考えて下さい 　私は安岡に子供も孫もいます 　風力発電絶対反対！！	
3649	低周波の影響が心配です・・・ 子供、孫に影響を及ぼす事が心配です 何か影響が出た場合の貴社の責任はどうとられるのですか？	
3650	低周波の音や振動による健康被害が問題あると思います。 絶対反対です。	
3651	低周波のからだへの影響、又、騒音の被害は本当に皆無なのでしょうか。私は平素から頭痛の持病があり、投薬を続けています。もし、低周波が影響するようであれば、今以上の苦しみに耐えねばならなくなる訳で、その点を最も心配しています。そもそも、何故、大きな病院や住宅の密集しているこの地区でなければいけないのですか。自宅前の道路が工事予定地となっており、家族全員断固として反対の意見は変わりません。再度、ご検討下さいます様よろしくお願いします。	
3652	低周波の健康被害が心配	
3653	低周波の人体への影響が心配です。	
3654	低周波の被害	
3655	低周波による健康に害がある為 知人がペースメーカーを植め込みをしている方がいるので影響を及ぼす為	
3656	低周波は海を汚染し、漁業資源の貝・魚・海そうなどが打撃を受ける。それを口にする人にも影響がある。また、睡眠障害・頭痛・耳鳴り・吐き気・抑うつ・脱毛・ストレス・脱力感など、さまざまな症状が出ることもある。人間だけでなく、ペットにも影響はある。 前田建設は簡単に20年間と言うが、自分達が住んでいないから風力発電をすすめるが「自分が下関に住んでいたら」「家族がすんでいたら」と考えたら、反対するのではないか！！	

3657	当後背地は、高齢者や、子供が増えています、風力発電は低周波音等の直接耳に聞き取りにくい、遠距離に届く振動「低周波音・超低周波音」による健康障害の問題点があり、被害事例があると聞いています　そのような理由より地域住民への健康被害が考えられる為　反対します	同　　上
3658	とても良い空気の良い所に住んでいるのに風力発電と云う空気が悪くなる様ものは、絶対反対です	
3659	反対　低周波音　安岡沖洋上風力発電建設反対　10km以上離す事	
3660	反対　低周波による健康被害がこわい。	
3661	反対　低周波被害が解決さえれていない。	
3662	反対　安岡沖洋上風力発電建設反対　低周波音被害　10km以上離す事	
3663	反対 安岡沖洋上風力発電建設反対 低周波音被害は絶対ある 10km以上離す事	
3664	反対 安岡沖洋上風力発電建設反対 低周波音被害は絶対である 10km以上離す事	
3665	反対 安岡沖洋上風力発電建設反対 低周波音被害は絶対ある 10km以上離す事 未来の子供達のために絶対反対	
3666	反対 安岡沖洋上風力発電建設反対 低周波音被害は絶対ある 10km以上離す事 未来の子供達のためにも反対	
3667	反対 安岡沖洋上風力発電建設反対。 低周波音による健康被害は絶対ある、10km沖にはなせ！未来の子供達にために絶対反対	
3668	反対！ 低周波音等による健康障害	
3669 から 3672	反対。安岡沖風力発電の建設に反対 低周波による健康被害があるから	
3673	反対。安岡沖洋上風力発電建設。低周波の被害のため。	
3674	反対します 低周波音等による健康障害	
3675	反対します 低周波音等による健康障害	
3676	反対します 低周波音等のために健康障害を起こす怖れが有る為に	
3677	反対します。 　低周波音等による健康障害 低周波音、超低周波音による健康障害の問題が国内外で聞かれている。病院や施設もあり健康障害を及ぼす影響が大きいと考えられる。	
3678	反対します。 低周波音等による健康障害	
3679	反対します。低周波による健康被害が不安です。	
3680	反対します。低周波による健康被害が不安です。	
3681	反対です 低周波音が体に悪い	
3682	反対です 低周波音による健康被害が心配です	
3683	反対です 低周波による健康被害が心配です	
3684	反対です 安岡沖風力発電の建設に反対します 低周波による健康被害があるから	
3685	反対です！ 健康被害が出る事が心配です 低周波音、超微振動と、目に見えないものであり 健康障害の有無も証明されていない今、 洋上に建設しても大丈夫なのでしょうか？	
3686	反対です！ 低周波音による健康障害が心配です	
3687	反対です。 低周波音等による健康障害が心配です。 大切な子供達の為に10キロはなしてほしいです。	

3688	反対です。 低周波音により健康被害が発生し、安岡やその周辺地域に人が住めなくなります。もし建てるのなら10km以上離してください。生まれ育った安岡がなくなるのは絶対に嫌です。検討よろしくお願いします。	同　　上
3689	反対です。 動物の生態系が（低周波により）変わり里に降りて来ている豊北町より豊田や豊浦町に能や鹿が多くなっている	
3690	病院には高齢者が多く低周波音等による健康障害があると思い、とても心配です。	
3691	病院や民家が近隣にあるため、低周波音等による健康障害が心配されます。計画より離れた場所もしくは、小さい風車に変更していただきたい	
3692	風車から低周波音が発生する	
3693	風車から低周波音や機械音が発生し、近隣に騒音問題を起こすことがある	
3694	風車は低周波発生装置であると思います。 海上に建てられると障害物もなく、直接被害があると思います。耳鳴り、めまいの持病があるものにとって耐えられると思いません。 仕事を失う可能性のある建設に対して 断固反対いたします。	
3695	風力の音により健康害があるため考えてほしい	
3696	風力発電、絶対反対します。低周波による健康被害をなくす為建設しないで下さい。 強くお願い致します。	
3697	風力発電が出来る事で低周波音・超低周波音によって起こりうる健康に対してふあんがある為	
3698	風力発電ができれば、環境が破壊され低周波における被害にあい、安岡で生活ができなくなるので絶対に風力発電は必要ない。	
3699	風力発電から低周波が出る事によって、人体の影響があると聞いています。実際には、耳には、聞こえませんが、将来的に、色々な症状が発生する事によって、住民、特に若い世代等の地域離れが心配になります。	
3700	風力発電事業に関して施工業者の御社の説明をその都度お聞きしましたが騒音被害は起きないように対策されているようですが、風車設置後低周波音症候群が発生したときに住民に対する対策が示されておりません。風力発電事業の運営会社がわからない状況でもし被害が発生したとき私達近隣の住民は転居もままならずどこに訴えてよいかも見当がつかず不安がつのるばかりです。	
3701	風力発電施設周辺では、「低周波音」による健康被害があると聞きます、海上であっても、病院から1.5kmのような、近くに建設するべきではないと考えます、	
3702	風力発電絶対反対 低周波被害を受けるのでやめて欲しい。孫の成長にも影響があると思うので	
3703	風力発電絶対反対。 低周波による人体被害が説明されてない	
3704	風力発電絶対反対。 低周波による動物（猪、鹿、猿）の被害人里に出て来て農作物を荒す。	
3705	風力発電に反対します。 理由：低周波による健康被害出現の可能性が高く、学校・病院を含む住宅密集地に近接する風力発電建設には反対します。	
3706	風力発電に反対です。 低周波音による健康被害と騒音による不眠など住民にとって良い事はなにもない。	
3707	風力発電により低周波音等による健康障害がゼロではなく、可能性がある為私は、安岡沖1.5kmの風力発電に反対します。	
3708	風力発電により低周波がおきると聞いています。低周波による頭痛、吐き気などをおこす方も多いとも聞きました。もっと人体への影響を明らかにすべきではないでしょうか。その点がクリアにならない限り反対です。	
3709	風力発電による健康被害を懸念します、特に低周波音や耳鳴り的な不快感を感じる場合もあると聞きます。そういった健康被害といった問題の解決があって初めて風力発電の価値があると思います。	
3710	風力発電による騒音、低周波音健康障害が心配です。小さい子供への影響、病弱なお年寄りが養生していることへの影響が大きいと思います	

3711	風力発電の建設に大反対です。 24時間365日連続して廻り続けることによる低周波音による健康被害及び騒音被害と体にあたえる影響が多大であると考える。絶対安全とは言えない！自分たちは住まないから関係ないとおもって簡単に建設を進めるやりかたに大反対する。	同　　上
3712	風力発電の建設には反対します。 低周波の影響がないという保証はなく不安です。 （職場が安岡です。）	
3713	風力発電の建設は大反対する 24時間連続して廻り続ける低周波、健康に被害があるからです。風力発電は大反対する	
3714	風力発電のための風車の騒音、低周波の状況が、2キロ沖15基配置した場合の安全性、人体に関わる影響について明示されていないため、安全性の具体的な確証のがありません。 内容総てが、2キロ沖15基配置した場合の影響について想定しているとは理解しがたいため、準備書は不十分と思います。	
3715	風力発電の低周波音の健康被害が明確になっていない状況での建設計画には反対です。 風力発電が建設されることによるメリットは住民には何もありません 安岡を含め、下関市に住む人が安心して生活ができるためにも風力発電は下関には必要ありません。	
3716	風力発電のメソットは風が吹けばいつでも24時間発電できる。発電時に地球温暖化の原因となる温室効果ガスを排出しないなどがあるが、デメリットは風車から低周波音や機械音が発生し、近隣に騒音問題を起こし健康被害が出る事です。 医療従事者として、健康被害が出るという事がわかっているのに風力発電事業賛成する事はできません。 私は安岡沖1.5kmの風力発電に反対します。	
3717	風力発電は現代の社会では必要なものだとは思いますが、低周波が、身体に与える影響が、とても不安な気持ちです。 医学的にどれほどのものか、わかりませんが、次世代の子供達に悪影響になったりしないだろうか？本当に深刻なことだと思います。	
3718	風力発電は自然にある資源を使ったクリーンな電力であることはわかってるつもりですが、自然の条件が整わないと十分なエネルギーを供給できないと考えます。低周波による健康被害が起きていることは事実で、住民をそのような危険にさらしてまで、行わなければならないほどの事業だとは考えられません・人に与える影響がどれほどかはっきりわからない限り私は、安岡沖風力発電の建設には反対します。	
3719	風力発電は自然のエネルギーで良いと思っていますが、過去の事例により低周波による健康障害が出ているのは事実です、巨大な風車が沖合わずか1.5kmに建設されると聞いています。 低周波による健康被害は必ずでてくると思います 沿岸部に暮らすものとしてそれはとても大きな問題です よって、私は安岡沖1.5kmの風力発電には反対したいと思います	
3720	風力発電はすばらしい技術ですが、騒音や低周波振動が原因で人への健康被害が発生すると聞きます。 安心であると確証がない限り、私は、安岡沖1.5kmの風力発電開発に反対します。	
3721	風力発電は低周波が出て身体に悪いと言うことなので反対です。	
3722	風力発電は反対します。 低周波による環境への（人体、自然）被害を恐れが有る為	
3723	風力発電風車の設置場所はヒトが住んでいない広大な土地があり、一定以上の風を受ける場所と書かれていました。 安岡沖にはたくさんの人達が住んでいます。 低周波や騒音による健康被害が実際に出ていると聞き　とても心配です 私は安岡沖1.5kmの風力発電に反対します	
3724	風力発電をつくることに対し、低周波などの健康被害や、近隣に騒音問題がおこるのでやめてほしいです 外国の方では風力発電をつくったことにより その町から人々が離れ、町がなくなったケースもあるので	
3725	風力反対　低周波は体に悪いからやめて下さい。美しい海にして下さい	
3726	風力を10km以上離してほしい。 もっと住民の声を聞いてほしい。 低周波の影響がこわい。	

3727	平成２５年１０月御社より出された「下関市長意見及び山口県知事意見に対する弊社の対応」を改めて読みました。２０１４年６月１１日付毎日新聞によると風車の位置を沖合に約７００メートルずらし風車を大型化して基数を２０から１５基に減らす計画にしたとあります。騒音対策は大型風車でほぼ解決（汐見文隆著左脳受容説より）するそうですが、低周波音被害の問題は解決しません。風車設置後何年ヶ後低周波音症候群になったとしても因果関係を証明することもできません、国策にたいして先祖代々住み続けている住民は移ることもできずがまんして下さいということでしょうか？	同　　上
3728	平成27年6月27日は横野風力発電（安岡沖洋上風力発電のこと）建設反対の会の資料によると建設予定地から3キロメートル以内の死のエリアに6万2400人住民が生活しています。騒音被害対策は考慮して計画されているようですが低周波音症候群対策は示されていません。平成27年6月23日は朝日新聞によると福島県いわき市の小名浜港で「浮体式、17000キロワットで沖合約20キロメートルの地点で発電するとあります。安岡沖洋上風力発電は当初の計画60,000キロワット15基1基当たり4,000キロワットになります。沖合1.5キロメートルとしても低周波音症候群の被害を過小評価しているとしか思えません。10キロメートル沖に設置するとか住民の納得いく解決策を考えて頂けませんでしょうか？	
3729	毎日気持ちよく綾羅木海岸の道を3,000歩余り程を歩いています、この豊かな自然環境のすばらしい沖合に国内最大出力となる洋上風力発電を着工すると言う事には絶対反対します。低周波被害は多くの地域で発生していると聞きなおさら反対します	
3730	南伊豆では200m程度離れていても、騒音・低周波音の影響で健康被害が出ているそうです。 豊橋でも海岸近くに設置されて、キスやボラの姿がなくなり浅い海では海中にまで影響があると聞きます。 設置には不安を感じています。 反対です	
3731	難しい事は分かりませんが、「低周波音レベルが増加する難点があるものの影響は少ないと予測されると判断する」とのことですが、最も近い位置に住む私達家族は、該当する地点ではないかと思います、もともと静かなところなので波の音や風の音は良く聞こえるので、おそらく設備が風を切る音も分かると思います、低周波音は人体に影響があると言われており、耳に入る音は気になる様になり、それがストレスになると思います。できてみないと分からない事ではありますが、出来てしまってからでは、間に合いません、「少ない影響」であっても身体に影響があるのであれば絶対に造って欲しくありません、私達は今のままの横野にこれからも住みたいのです、なので建設には反対です、	
3732	目に見えない低周波音に対する不安がとても大きい 国内外の被害事例を聴くと必要性を感じない 安心して生活できる環境を奪ってほしくない	
3733	安岡（横野）沖洋上風力発電建設反対 理由 低周波の健康被害があるので建設反対。10k沖合へと言うが、被害があるので絶対に反対します。不安のある生活はしたくありません。	
3734	安岡沖に風力が出来るのは大反対です。家の横です。振動、音が身体によくない影響があります。若い者は住めません	
3735	安岡沖風力発電建設には絶対反対。 少く共10km以上離してもらいたい。 低周波は困る。	
3736	安岡沖風力発電建設には絶対反対します。 少く共10km以上離してもらいたい。 低周波は困ります。	
3737	安岡沖風力発電事業を反対します。 私自身の勤務先が低周波の範囲である為 利用者や患者、そして私自身が健康被害を受ける事に納得できません	
3738	安岡沖風力発電は反対です ・超低周波により健康に害する可能性がある（不安） ・20km以上陸地から離すこと	
3739	安岡沖風力発電反対します 低周波は身体に良くない	
3740	安岡沖風力発電反対します。 騒音、低周波音による健康被害が起こりうる 幼稚園も近くにあり、子供たちは大丈夫でしょうか？ 100％健康被害は無いと言いきれますでしょうか？ もし、何かあった時は責任は？どうなりますか？ “科学的根拠がない”と言い逃れは絶対に認められません	

3741	安岡沖風力発電反対します。 超低周波は身体に良くない。	同　　上
3742	安岡沖風力発電反対します。 低周波は体に良くない。	
3743	安岡沖洋上風力発電　設置予定周辺には、住宅や病院があります。騒音・低周波振動問題をひき起こす可能性のある風力発電設置場所としては近すぎると考えます。 以上の事より、安岡沖風力発電事業に私は反対します。	
3744	安岡沖洋上風力発電機建設に反対します。（超低周波　健康被害を起すため）	
3745	安岡沖洋上風力発電機建設に反対します。（超低周波　健康被害を起すため）	
3746	安岡沖洋上風力発電機建設に反対します。（超低周波　健康被害を起すため）	
3747 から 3752	安岡沖洋上風力発電機建設に反対します。超低周波を発生し、健康被害を起こすため	
3753 から 3777	洋上風力発電機建設反対　超低周波を出し健康被害を起こすため	
3778 から 3786	洋上風力発電機の建設に反対します。超低周波を発生し、健康被害をおこします	
3787	洋上風力発電機の建設に反対します。超低周波を発生し、健康被害を起こす為	
3788	洋上風力発電機建設反対 超低周波を出し健康被害を起こすため 10km以上はなせ	
3789	洋上風力発電機建設反対です。超低周波を出すということですので子供たちの健康が心配です。	
3790	洋上風力発電機建設を反対します 超低周波を出し健康被害を起こすため	
3791	安岡沖洋上風力発電建設に「反対」します。 ①六連、蓋井島を入れ四方市民が近くに住んでいて、低周波による健康被害懸念されるし、又、一度建設（着工）すると後から被害がでても後の祭りである。よって、エコ！エコ！と走るのではなく、よく、市民としっかりと意見交換、又は、風力発電がすでに設置されている場所に出向き、そこの住人の意見（よかった事！まずかった事）を聞いてから、時間をかけて、双方の話し合いをしっかりとする	
3792	安岡沖洋上風力発電建設に反対します 低周波音による健康障害、目に見えないほど恐ろしいものはありません さまざまな所で低周波被害について語られるなか、黙認することはできません。	
3793	安岡沖洋上風力発電建設に反対です。 低周波音による健康被害（頭痛、めまい、吐きけ、不眠など） 体に影響を及ぼすことは、地元住民として 断固反対します。	
3794	安岡沖洋上風力発電建設は絶対に反対です。安岡沖洋上とはいいながら、近い所は民家からわずかに1.5kmの距離である。住民が望んでいる沖合に10km以上離してくれとの声には全く耳を貸さず事業者の営利目的だけの計画である。住民が一番心配している低周波音に因る頭痛、めまい、吐き気、不眠等の問題を小さな騒音問題として片づけてしまい真剣な検討の後も見えない。この健康被害の懸念については大多数の知識者が指摘しているところである。又、御社が主張している約40,000世帯一年間の電力量をまかなえる年間約36,500kl の原油の節約、更に50年杉525万本分相当のCO2を削減できるとは誠に滑稽な机上計算と言わざるを得ない。	
3795	安岡沖洋上風力発電建設反対 低周波音による健康被害は絶対である。絶対反対　10k離せ！	
3796	安岡沖洋上風力発電事業に絶対反対します。 洋上風力発電の振動（低周波）は家の中にいても身体に影響があるという。ましてや、海岸近くの畑で終日農作業をしている農家の我が家は生活がおびやかされます。建設絶対反対します。	
3797	安岡沖洋上風力発電事業に絶対反対します。 洋上風力発電の振動（低周波）は家の中にいても身体に影響があると聞いています。ましてや、海岸近くの畑で終日農作業をしている農家の我が家は生活がおびやかされます。建設絶対反対します。	

3798	安岡沖洋上風力発電事業に反対します。 理由は海上での風力発電の低周波音による健康障害をビデオで観ました。実家が風力発電建設予定地の近距離にあるため、家族の健康障害が心配です。	同　　上
3799	安岡沖洋上風力発電事業に反対します。低周波による健康被害が恐しいです	
3800	安岡沖洋上風力発電事業反対。 低周波による健康被害が心配 騒音がひどいという事が心配で反対です。 自分の事として考えてほしいですね。	
3801	安岡沖洋上風力発電事業を反対します いつも耳鳴りがしており低周波の健康被害が特に気になります、どうぞご一考願います。	
3802	安岡沖洋上風力発電に反対します。 低周波が人体に与える影響がこわいからです。	
3803	安岡沖洋上風力発電に反対します。 風力発電の運転に伴って発生する低周波が人体への影響、人の健康へのリスク大きく取り上げられて心配しています。将来、体調不良を訴えても風発との因果関係を特定するのは困難ではないか？また、巨大風車の回転によって発するブーンと低くて遠くまで届く音など永く健康に影響をおよぼす問題が発生すると考えられます。 漁業と農業を中心に発展した町で後方に山を控えた地形で海からの風の流れが一定していて年中、風力発電のリスクにさらされる。 近くに３つの学校と病院や老人ホーム、多くの医療施設があり、地域の住民と供に安全な生活を次の世代に引き継ぐためにもリスクのある洋上風力発電を建設するには適当ではないと考えます。	
3804	安岡沖洋上風力発電に反対です。 風車が建設されると、２４時間鳴り響くモーター音、風切り音に悩まされることになり、騒音、低周波音の影響で、眠れない日々を過ごし、多数の人が健康被害をうけると予想されるからです。 健康で過ごせてこそ、幸せな人生が送れると思います。その健康を失ってしまったら、誰がその人生の責任をとってくれるのですか？	
3805	安岡沖洋上風力発電建設に反対します。 ・低周波による健康被害があると聞きました。近くには病院や高齢者施設もあるので不安です。 ・風車がまわっているのを遠くで見ると良い景色ですが近づくとすごい音がします。毎日この音を聞かされる住民の方は心身がやすまらないと思います。又海の魚も逃げるのではないかと思います。	
3806	安岡海岸近くに住んでいるので、低周波による健康被害が相当大きいとゆう事を色々な資料を見たり集会で聞いたりしてとても不安、心配になり夜も眠れぬ程、すでに健康障害が出ております。絶対反対！！風力反対！！	
3807	安岡近辺に低周波の影響で夜間不眠等身体的に悪いと思うから	
3808	安岡住民の超低周波の健康被害の為、洋上風力発電事業建設を反対致します。	
3809	安岡の海岸から10km離れた場所に建設し、低周波音被害で、子供や、高齢者・その他多くの人々が健康被害を受ける事を認める事が出来ない為反対です。	
3810	豊北町には風車がありますが、低周波音による家畜への悪影響、健康障害などの話を聞いているため、この計画には反対します。	
3811	洋上風力発電機建設されますと超低周波により健康を害すと聞きおよんでおります。子供達のすこやかな成長によろしくないと思い反対させていただきます。	
3812	洋上風力発電建設断固反対！！ 目に見えない低周波音による人的被害の影響を考えるとまったく不必要なものである。	
3813	陸地より10km離して風力を立ててほしい。低周波の影響は人によって違うだろうしどんだ影響が出るかとても恐い。 もっと地もとの人達の意見をきいてほしい。	
3814	私が一番気になるのは、低周波音による健康障害です。長女が海側に（安岡本町３丁目）家を建てたばかりで、孫も三人います。 目に見えない、耳でも聞き取りにくいというのが一番恐いと思います。原因不明で発病しないか子供や孫達の健康や老人施設もあり将来のことを考えると　絶対に反対です！	
3815	私が反対する理由は　低周波による健康被害です。今は何もなくても年数がたつにつれて体に何らかのえいきょうがないとはかぎりません。これからの子供達が大人になった時に被害がでてくるかもしれません、すこしでもうたがいがあるのであれば中止すべきだと思います。	

3816	私の住む安岡地区には、老人施設や病院があります。 そこにはたくさんのお年寄りが生活されています。 風力発電から発する低周波は、頭痛や心拍の向上血圧の上昇などストレスと身体への影響が悪いです。お年寄りが元気で楽しく生活するために風力発電には反対いたします。	同　　上
3817	私は、10月に福岡から下関に転勤になり、風力発電の事を勉強しましたが健康被害があるという事、低周波音が発生するという事から、風力発電には反対です。	
3818	私は、原発によるエネルギー確保は可能な限り縮小していくべきと考えます。一方で、色々な再生エネルギーがあるわけで、その中の風力発電には大いに期待を持っています。しかし、まだ低周波音等による影響等解決すべき問題も少なくありません。その設置場所や方法等について、今回はまだまだ検討させる事が多く、反対致します。	
3819	私は、安岡沖1.5kmの風力発電建設された場合の低周波音による健康障害を心配しています。 安岡沖1.5kmの風力発電に反対します。	
3820	私は安岡沖に建設された場合の低周波音等による健康障害を心配しています。 安岡沖1.5kmの風力発電に反対します。	
3821	私はもともと偏頭痛持ちです。低周波音による健康被害が偏頭痛と言う型で出るのも聞きます。母子家庭で世帯主の私が仕事出来なくなったら、私達親子の生活が困ります。近隣住民の人々の生活までの保障はされるのでしょうか？もちろん自然エネルギーなり電力が必要なのは分かっていますが、暮らしの保障がされない安岡沖1.5kmの風力発電に反対です！！	
3822	低周波振動は体内の水分を揺らし、水分に浮かんだ細胞を揺らすというようなことを、私は書いたと思ったのですが。低周波振動で内耳内のリンパ液は振動します。耳石や三半規管のリンパ液は、頭を動かさないでも振動します。意識にはっきりしないものまで、その振動の強さに応じた段階があります。音の振動の一部のセンサーがつながっていることを、前田建設や県の意見で反映されないで、混同されて書いてあります。音としか書いてありません。それらを区別して扱ってほしいと思います。工事の搬入のデータがいろいろあったのですが、これらの海上工事のデータがないです。それから騒音の結果、影響が書いてあるのですが、これは年間平均のことですか。無風のときなども捉えているのでしょうか。ピーク、強い年のピークは示されていないですよね。1時間でもそういうピークがある場合には、それが示されていないですよね。また環境省の騒音等への対応については、音であって、振動ではないですよね。内耳で言えば、先ほどセンサーのことで、これしかいけないけれども。他の三半規管や耳石センサーは、内耳に満ちたリンパ液の浸透があります。だから耳の機能をはっきり分けて、低周波音と低周波振動という二つの言葉を使い分けていただきたいと思います。	
3823	風車を設置するとされている地域は、冬場かなり強い北風が吹きつけるところです。 ①その日、その日によって風力・風速・風向きが違うため、短期間の調査結果では不十分と考え、納得ができません。 ②また、耳に聞こえる音、耳に聞こえない低周波の影響について、乳幼児・学童・成人・老人それぞれの成長過程の人体についての影響と問題と安全性についての説明が不足していると思います。 ③現在は、犬や猫、鳥など、ペットも大事な家族の一員として生活している人も多いです。人間だけでなく、聴力や身体能力の高い動物に対しての低周波・騒音の問題と安全性の報告を具体的に求めます。 以上の①②③内容についての報告・回答を求めます。	
3824	毎日安岡沖の海を見て、この海の恵で生活をしている、海は毎日違う顔をもち私々の心に変化をもたらしてくれる。この自然豊かな海を子供や孫の代まで残したいと思う、又健康被害を懸念している。風車からでる低周波は目に見えないし60～80ｃｍのコンクリートの壁を通り抜ける。家にいても職場でも死ぬまで低周波を浴びることになる。頭痛、めまい、不眠症、耳なり、食欲不振、ストレスetc個人差はあるものの何が起きるかわからない 1km～3km圏内は保育園、幼稚園、小中高大学まであり日本を背負う子供から若者が学んでいる。目の前には安岡、野村、済生会、下関病院や個人病院も多く集中している。電力は足りている これは公共事業ではありません　この自然を破壊しないで下さい 断固反対します	

3825から3838	人体に害が無い事が十分に分かったので賛成	環境省においては、平成22年度から平成24年度にかけて、環境研究総合推進費の公募型研究「風力発電等による低周波音の人への影響評価に関する研究」において、国内の風車騒音の実測調査（全国29の風力発電施設の周辺の合計164測定点）が全国規模で行われています。これらの知見と「風力発電施設から発生する騒音等の評価手法に関する検討会」の成果として、平成28年11月に、「風力発電施設から発生する騒音等への対応について」（風力発電施設から発生する騒音等の評価手法に関する検討会）が公表されました。 「風力発電施設から発生する騒音等への対応について」（平成28年11月版）によれば、「一般的に騒音による影響には、聴力損失への影響（聴力影響）、会話を妨害される影響（会話影響）、睡眠を妨げられる影響（睡眠影響）、不快感/わずらわしさ（アノイアンス）等がある。風車騒音による影響については、風車騒音のレベルとわずらわしさ（アノイアンス）を感じる程度の間には統計的に有意な関連が複数の論文で報告されている。また、睡眠影響については、風車騒音のレベルとの直接的な関係性、またはわずらわしさ（アノイアンス）の程度が上がる結果としての間接的な関係性がある可能性を示唆する知見が報告されている。ただし、睡眠影響との関連の科学的根拠は現段階ではわずらわしさ（アノイアンス）に関するものよりも限定的である。一方、聴力影響、頭痛、耳鳴り、糖尿病、高血圧、循環器疾患等の健康影響については、統計的に有意な根拠は認められていない。以上の知見により、風車騒音は、わずらわしさ（アノイアンス）に伴う睡眠影響を生じる可能性はあるものの、人の健康に直接的に影響を及ぼす可能性は低いと考えられる。」と報告されています。この様な知見も考慮して、「評価の目安となる値：残留騒音＋5dB」が提案されています。本事業では、環境省が提案している、「評価の目安となる値：残留騒音＋5dB」に収まっていることが確認されており、人の健康に直接的に影響を及ぼす可能性は低いと考えております。 同資料では、風車騒音について、わずらわしさ（アノイアンス）に伴う睡眠影響に関する知見も考慮して、目安となる値を提案しています。本事業では、同資料の目安を基に評価も行っており、「評価の目安となる値：残留騒音＋5dB」に収まっていることが確認されています。したがって、わずらわしさ（アノイアンス）に伴う睡眠障害を考慮した上でも、影響は小さいと考えております。
3839から3845	人体に害が無い事がわかったので賛成	
3846	人体へ害がないので賛成	
3847	人体への悪影響が無いとのことなので賛成です。	
3848	人体への影響が無いことが証明されたので賛成です。	
3849	人体への影響が無いことが証明されたので賛成です。	
3850	人体への影響が無いということなので、賛成します。	
3851	人体への影響が無いという調査結果を信じ、賛成します。	
3852	人体への影響が無いという調査結果を信じ、賛成します。	
3853	身体に影響がないと思うので賛成です。	
3854	人体に影響が無いのであれば、今後のエネルギー調達方法として、非常に有効な手段だと思います。	
3855	人体に影響がないようなので賛成	
3856	身体に影響がなしと考えます。賛成致します。	
3857	身体に影響はないと思いますので賛成致します。	
3858	身体に影響はないと思いますので賛成致します。	
3859	人体に害がない事がわかったので	
3860	人体に害が無い事が分かったので良いと思う。	
3861	人体に害がない事に賛成	
3862	人体に害が無いので安心できると思います。	
3863	人体に害が無いので賛成します。	
3864	人体に害がないので必要。	
3865	健康被害がないとのことなので賛成です。	
3866	健康被害が無いとのことなので賛成です。	
3867	健康被害等気になっていましたが問題無いとの結果が出たようなので賛成です。	
3868	健康被害等気になっていましたが、問題ないとの結果が出たようなので賛成です。	
3869	健康被害などの心配はなくなったので賛成	
3870	人体に害がないのが良いと思います。	
3871	人体に害がないようで大賛成	
3872	人体に害が無い様なので賛成です。	
3873	人体に害が無ければ賛成します。	
3874	風力発電だと人体に無害であると思うから	
3875	健康・人体に害がない事が分かった為賛成	
3876	健康には影響なさそうなため。	
3877	・人体に影響はないと思う	
3878	・人体への影響が無い事が分かったので賛成	
3879	人体に影響がないことがはっきりしたので賛成	
3880	人体などに影響がでた場合、責任を取ってくれるのなら賛成。	
3881	人体、環境の悪影響がなければ、良いのではないでしょうか。	
3882	人体への影響はないという説明を受けて賛成	
3883	人体に有害で無い事が分かったので賛成	
3884	現在の計画段階での環境、人体等への配慮の説明を聞いて賛成です。	
3885	公共の利益となる計画を人体に害の無い事を確認の上実行するのであれば反対する理由はありません。	
3886	洋上なら低周波の心配もないだろうし、積極的に取組んでもらいたい	
3887	洋上なら低周波の心配もないだろうし、積極的に取り組んでもらいたい。	
3888	（賛成）。健康被害は考えられない。	
3889	体に影響がないならぜひ施工してほしい。	
3890	風力発電による騒音や低周波音の影響についてはさほど害のでるものではないと思います。 実際日常生活での音よりも小さな音ならば、誰も気には止めないと思われます。	
3891	風力発電には、騒音が発生する、低周波音が発生するなどの騒音問題を起こすといわれていますが、今回は洋上に建設するということで、この問題も少なくなるのでよいと思います。	
3892	反対意見があるようですが、心配される健康被害など聞いたこともなく問題ないのではと思います。（地元の鳥取県の海岸線にたくさん並んでます）	

3893	騒音や低周波振動が原因で人への健康被害の影響が発生する地上建設よりも海上建設の方が人的被害や森林伐採を気にしなくていいので賛成です。	同　　上
3894	説明会に参加させてもらい環境影響調査や低周波公害などにも配慮した事業計画だったので、建設するべきだと思います。	
3895	・騒音がどうかと思いましたが、風車が回るときは、風の音の方がうるさく風車自体の音は気にならないと聞いてなるほどと思いました。	
3896	反対する方の署名活動には、よく分からずに頼まれたから署名をしたという人がたくさんいる様です。 風車は現存のものにくらべ年がたってる分技術向上しているので音など影響は少なくなっていると思います	
3897	環境に良く、住民への悪影響もないと聞いているので賛成です。低周波音や機械音等の懸念がありましたが、説明会に参加させていただいた時に、人体への害もないと伺いましたので、ぜひ進めていただきたいと考えております。	
3898	洋上風力発電は。環境にやさしく、人体への影響も少ないと聞いておりますので、是非とも事業推進を進めていただきたいです。	
3899	本当に人体に害が無いのであれば、積極的に再生可能エネルギー利用をしたら良いと思う。	
3900	風力発電は人体の被害は無く、これからの再生可能エネルギーの中で非常に有効な発電システムたと思います。この風力発電は賛成です。	
3901	自然の力を利用しているため、人体への影響も少なく効率の良い発電ができるため賛成。	
3902	自然の力を利用して電力を起こすことで人体や環境に副作用が無いのが良いと思います。	
3903	環境や人体に対する影響は、限りなく少ないということは、理解できた。自然エネルギーの活用は、これから必要になってくると考えている。	
3904	一部住民の反対も有る様ですが、当初予定よりも離れた位置に風車を設置すると言う事で人体への影響にも配慮した計画になっており 原発に替わる再生可能エネルギー利用として早期着工を願います。	
3905	近隣住民に健康被害が出ないのであれぱ原発より良いのでは	
3906	現在、風力発電においても全く人体に無害とはいわれていないが、原子力発電に比べれば、はるかに人体・環境には優しいので風力発電には反対ではない。さらなる風力発電の開発に期待したいです。	
3907	健康被害があると言われているが、海上のため、影響があるのかは疑問。反対している人の根拠はなんなのか。	
3908	問題は一定承知していますが、これまで世界的にも日本でも風力発電は実績があり、その中でどのような人体への影響があるのかもかなりわかっていると思います。その中で、今回、どのような影響があるかわかると思うのですが、反対している方の意見を図りかねます。	
3909	風力発電は明らかにデメリットよりもメリットのほうが多いと思う。風力発電の低周波が体に悪いと聞いたことがあるが、それ以上に体に悪いものはもっと沢山あると思う。	
3910	低周波音の規制値は法律などで定っておらず、環境省では参考値として手引書に記載しているが基準値ではありません。このような現状の中、前田建設工業㈱は住民の意見に対応し、風力発電設備を当初計画より沖合に移動させている。ここまで譲歩しているのだから周辺住民はこの計画に賛同すべきである。	
3911	安岡沖洋上風力発電事業の環境影響評価準備書を拝見いたしました。 　調査については大変よく行われていると感じました。 　工事中は、現況よりもどうしても大気汚染等が発生することが考えられてくると思われるので、対策を確実に実施し、影響がより少ないものにしてほしいなと感じました。 　ただ、計画は先に述べたように十分と思われますので、風力発電事業を行っても構わないと思います。	
3912	事業での大気汚染や周辺環境への影響について、調査や対策等を十分に行われているのではと感じました。 　事業中はもちろんですが、地域住民にとっては、工事中の騒音・振動等が多大なストレスに感じられると思いますが、環境影響評価準備書等のとおりにしていただけたら問題ないのではと思います。	
3913	反対、賛成としてはまだ意見は出せませんが、健康や環境を考えたうえで取り扱ってほしいと思います。	
3914から3918	健康被害は本当にあるのか	

3919から3923	健康被害が心配	同　　上
3924から3929	健康障害があるので反対	
3930	健康障害があるためやめてほしい	
3931	健康障害がおこる心配があるため　反対致します	
3932	健康障害がおこる心配があるため　反対致します	
3933	健康障害がおこる心配があるため反対します	
3934	健康障害が心配な為反対します	
3935	健康障害が心配な為反対します	
3936	健康障害が心配な為反対します為反対します	
3937	健康障害が心配なので反対します	
3938	健康障害として不安です	
3939	健康障害について気になり風力発電設置に反対します。	
3940	健康障害についての問題点が気になる為　風力発電設置に反対します。	
3941	健康障害についての問題点が気になる為風力発電設置に反対します。	
3942	健康障害の心配	
3943	健康障害の為反対します	
3944	健康障害の問題もあり　子供達の為に反対します	
3945	健康障害反対です	
3946	健康被害	
3947	健康被害　反対です	
3948	健康被害、音など含め反対します。	
3949	健康被害ある為　反対します	
3950	健康被害ある為　反対します	
3951	健康被害ある為　反対します	
3952	健康被害があるため	
3953	健康被害がある為	
3954	健康被害があるため。	
3955	健康被害がある為反対！！	
3956	健康被害があると聞いたので反対です	
3957	健康被害があると聞きました、更に親の住居が強い影響を受けるという距離内に入っている為、反対します	
3958	健康被害があるので…	
3959	健康被害があるので…	
3960	健康被害があるので反対です。	
3961	健康被害が気になります。	
3962	健康被害が気になるため反対します	
3963	健康被害が懸念される	
3964	健康被害が心配　居住環境の被害	
3965	健康被害が心配。本当に問題無いことをしっかり調査して、それを公表するべき。	
3966	健康被害が心配あるとの情報もあるため反対です	
3967	健康被害が心配である	
3968	健康被害が心配です	
3969	・健康被害が心配です。	
3970	健康被害が心配な為	
3971	健康被害が心配なため　風力発電をもっと沖の方に。	
3972	健康被害が心配なので反対です。	
3973	健康被害がどうなのか？説明を聞きたい。	
3974	健康被害がないのであれば良いと思います。	
3975	健康被害が本当にあるのか心配です。	
3976	健康被害が本当にあるのかと思う。	
3977	健康被害が予測されるため	
3978	健康被害が予測されるため。	
3979	健康被害特に子供達に来るので反対いたします。	
3980	健康被害の安全性が確立していない。	
3981	健康被害のおそれがあるため、反対します	
3982	健康被害のおそれがある為、反対します	
3983	健康被害の恐れがある為反対。	
3984	健康被害のおそれがあるので反対します	
3985	健康被害の可能性が全否定されない以上、反対します	

3986	健康被害の危険性があると聞いたので反対	同　　上
3987	健康被害の事を考えると不安なので反対です。	
3988	健康被害の状況を具体的に知りたい。	
3989	健康被害の為	
3990	健康被害の為	
3991	健康被害の為　絶対！反対です！	
3992	健康被害のため反対	
3993	健康被害のため反対します。	
3994	健康被害の面	
3995	健康被害はあるのですか	
3996	健康被害は心配です。	
3997	健康被害は大丈夫なのですか？心配です。	
3998	健康被害はどうなのか。	
3999	健康被害はどれくらいなのか	
4000	健康被害は本当にあるのかどうか、気になります。	
4001	健康被害は本当にあるのですか？	
4002	健康被害は本当にないのか？	
4003	健康被害を受ける可能性が大きいため反対。	
4004	健康被害を及ぼす風力発電は反対です	
4005	将来の健康被害を防ぐためです	
4006	将来の健康被害を防ぐためです。	
4007	将来の健康被害を防ぐためです。	
4008	・健康面・環境面におよぼす長期的影響を明らかにしてほしい。	
4009	海外では自宅に風車を設置している家庭があり、日本でも風車の近くに住んでいても全く影響はないと言う話もありますが、実際はどうなのでしょうか。	
4010	北九州市若松地区など近隣で稼働している風力発電施設では何か問題が起きているのでしょうか？又低周波に関して、数値的にエアコンの室外機より低い日常レベルの低周波だと理解しておりますが、プラシーボ等思い込みによる精神影響以外に身体的な影響が起こりうるのでしょうか？	
4011	基本的には、賛成ですが環境問題（汚染）や健康被害が本当に何もないのか不安です。地域住民への説明も十分にしているのか、配慮などどのようにしていくのか気になります。	
4012	近隣住民の方への健康被害や風車の影響が出ないか気になります。	
4013	近隣住民の方への説明会は実施されているようだが、市民全体に詳細な説明が周知されていないため、効果や健康被害等わからない方が多いのではないかと思う。	
4014	健康に影響しないかどうかが気になります。	
4015	健康に害がないのであれば風力発電はとても良いと思います。	
4016	健康に支障はないのですか。	
4017	健康被害について気になる、実害があるかないかをはっきりしてほしい。	
4018	健康被害については明確なものがなければ計画は賛成です。	
4019	健康被害について理解したい 風力発電のメリット・デメリットの知識がなく意見できない。	
4020	健康被害や騒音がないなら良いと思う。	
4021	健康への影響はあるのでしょうか？	
4022	健康面での影響がなければ問題ないと思う！	
4023	健康面で問題なければいいと思う	
4024	健康問題に十分配慮したうえで事業を進めていただきたい	
4025	原発に頼るよりは良いと思う。 健康障害が気になる。電気代も上がるのか？	
4026	賛成ですが、孫や子孫に影響はないのか？	
4027	実際に風力発電で健康被害があった方の症状など詳しく知りたい。	
4028	市民に被害が出るのでは？	
4029	人体に影響があるとお聞きしていますが、そこが一番心配です。	
4030	地域住民の方の生活に何か影響はあるのでしょうか？	
4031	近場で例えれば、響難にあるものが思い付くが時折、立寄る場合と、常にその付近に居住されている場合とでは状況が異なるが、健康障害等に影響がなければよいとは思われるが。（確実性が必要と思われる）	

4032	低周波騒音において、実験データでは、ほとんど音も出ず人体の影響がないようですが、人体に影響が出た場合はどのような処置を取るのか？難しい問題ではありますが、気になる点ではあります。	同　　上
4033	低周波による健康被害が有ると聞いたことがるが、安全に暮らせるのであれば良いと思う。	
4034	ニュースでよく耳にする身体への影響はあるのでしょうか	
4035	風力発電については賛成ですが、健康被害と云う声もありますが実際のところどこまで健康被害があるものか	
4036	付近の方の健康被害や環境への影響が気になります。 きちんと調査して、評価していただきたいと思います。	
4037	本当に健康被害はあるのでしょうか？	
4038	よく聞く、低周波の影響等はあるのでしょうか	
4039	私の住居は、建設予定地から離れているため、そこまで意識はしていないが、もし近くに住んでいたら健康被害が未知数なので不安になると思う。	
4040	・健康被害の心配	
4041	・健康面の不安 ・必要性の意味がない	
4042	西安岡沖洋上風力発電建設　絶対反対・反対！！ あんな物が出来たら、身体が弱いのにますます弱って死んでしまいます。やめて！！　やめて！！	
4043	西安岡沖洋上風力発電建設は絶対反対・絶対反対 西安岡沖に建設しなくても別の場所にして！！子供から老人まで健康な人が不健康になりたくないので絶対ダメです。	
4044	発電による健康被害の影響がはっきりするまでは反対です。	
4045	反対　健康に良くないようなので反対いたします。	
4046	反対　少しでも被害の可能性の有る物は作らない	
4047	反対（健康に不安がある。）	
4048	反対（健康のため）	
4049	反対させていただきます 今までは余り気にしなかったのですが　このごろ電子力発電や色々な健康に被害があるという事を聴くようになって風力発電も身体に被害が出てからではと思って反対させていただきます	
4050	反対します 健康が悪くなる	
4051	反対します 健康に不安があります	
4052	反対します 健康に不安が有る	
4053	反対します 健康に不安があるから	
4054	反対します 健康に不安があるため	
4055	反対します 健康に不安があるため	
4056	反対します。 健康に不安があるため	
4057	反対します 健康に不安があるので　反対します	
4058	反対します 健康に不安です	
4059	反対します 健康に悪いと聞いている、子供達のため！	
4060	反対します 健康面に問題が生じると思われます。	
4061	反対します。健康被害があるかもしれないから	
4062	反対します。風車が近すぎて健康が不安です。	
4063	反対です 健康に悪い！！	
4064	反対です 健康被害がある為	
4065	健康への影響が心配な為	
4066	反対です 身体障害を心配します	
4067	反対です。 体に悪い影響をおよぼすから	
4068	反対　健康障害	
4069	反対　健康障害が心配	
4070	反対します。健康障害のため	
4071	反対します。健康障害のため	

4072	各地で風力発電事業による被害者が出ているのに、救済がされていないようです。 風車の寿命は17年しかないとも聞きますが、多額の資金を掛けて事業をおこす意味はあるのでしょうか。 反対です	同　　上
4073	人と健康。最近風車が健康を害するという話を毎日のように耳にする。病み上がりの自分には特に気になる。退院後は海からのきれいな空気を吸っていつまでもけんこうでありたいと思っていたのに・・。 いずれにせよ風車が送り込んでくる沖からの風が間違いなく人体に影響があるとするならば、絶対に阻止しなければならない。	
4074	病院のすぐ近くにたつのは私も患者さんも不安です。健康被害も身体の弱い方には特に出てくると思います。安岡沖洋上風力発電に反対します。	
4075	風車の健康被害から、自分達の暮らしを守るために、沖合10km以上へ移動して下さい。安岡沖洋上風力発電事業は絶対反対です！	
4076	風力発電が近くにあると健康被害のおそれがあるので反対します。	
4077	風力発電建設において、健康障害の問題が発生する可能性があるので、近隣住民の方々の意見は、大切にしていただきたいと思います。 病気療養されている方々には、もっと深刻です。 私は、安岡沖1.5kmの風力発電に反対します。	
4078	風力発電建設に反対します。 昨年心臓手術を受けて何とか生きている状態です。これ以上健康を害する事は心配でなりません。建設事業の中止をお願い致します。	
4079	風力発電事業が身近なことではなかった為 最初はピンときませんでしたが、健康にも影響があると知り、とても恐く感じています 持病がありながら仕事している為、体に不安がある人にとって、職を失う可能性が出てくるんではないかと、嫌でなりません。 絶対に　安岡沖洋上風力発電事業は反対です。	
4080	風力発電事業に反対します。 ・本事業が人体に害をおよばおさないことを証明してください。 ・地域住民特に将来を担う子どもたちが健康で安全な生活が送ることができるように。	
4081	風力発電絶対反対 職場が横野で健康被害のある範囲に居る事が多い	
4082	風力発電絶対反対 病院や学校があるのに健康被害の恐れがあるものを近くに建設するのは反対します。	
4083	風力発電絶対反対です 自宅が2km内にあるので健康被害がとても心配です。仕事も自宅で（整体）しています。患者さんの身体の調子を整えるのが仕事なのに、悪くなる様では患者さんに来てもらえなくなります。だから、風力発電絶対反対	
4084	風力発電は本当に人体に害はないのですか？	
4085	風力発電は良いことだと思うが、健康被害がゼロではないので、反対します。	
4086	風力発電反対！ 健康被害が心配です。	
4087	本当に健康被害はないのでしょうか？	
4088	難しい事は解りませんが 人体に影響を及ぼす事は良い事とは思えませんので反対致します。	
4089	安岡沖1.5kmの近隣住民や安岡病院に入院されている患者様、働いている私達の健康被害を予測される限り、反対します。 　私は、安岡沖1.5kmの風力発電に反対します。	
4090	安岡沖風力発電反対します 将来の子供　孫達の健康に悪影響を与える	
4091	安岡沖風力発電反対します。健康被害があるかも知れない。	
4092	安岡沖風力発電反対です。健康に害があるかもしれないから。	
4093	安岡沖洋上風力発電機建設に反対します。健康被害に起すため	
4094	安岡沖洋上風力発電建設に反対します。健康被害の恐れがあるため	
4095	安岡沖洋上風力発電絶対反対！！健康被害の責任を誰がとるのか！！	
4096	安岡沖洋上風力発電反対。全国的に風力発電による健康被害が拡大している。健康被害の責任者を明確にせよ！	

4097	安岡沖洋上風力発電を設置することで人体に影響をあたえるため、反対いたします。	同　　上
4098	洋上風力発電機の建設に反対します。健康被害をおそれています。	
4099	安岡沖洋上風力発電に対しては 人体への影響 環境への影響　が 不透明であり、行政による説明責任が果たされていないものと考えられるため反対を表明します。	
4100	安岡沖洋上風力発電には反対です 健康被害があります	
4101	私は安岡沖1.5kmに建設された場合の健康被害が住民に影響すると思います。 なので1.5kmの風力発電に反対します	
4102	自宅より近く、また施設からも近く身体への影響もあると聞いている為。	
4103	私は反対します。風車が近すぎて健康が不安です。	
4104	安岡沖風力発電に反対します 健康被害があると聞いているので賛成できません。	
4105	風力反対、反対です　身体によくない、反対です	
4106	風力発電反対致します （健康被害を考えます）	
4107	風力発電を建設すると身体に影響を及ぼす可能性があるので建設するのをもう一度考えた方が良いと思います。	
4108	風力発電は健康障害が出る事を知りました。 会社のすぐそばに風力発電が出来る事は、安心して仕事が出来ません！！ しかも自宅も健康障害の範囲内にあるので、24時間ずっと健康障害の範囲内に居る事は、ものすごいストレスになります。 健康な状態で仕事をしたいし、安心して生活したいので、風力発電の建設は絶対に反対します。 以上	
4109	風力発電は自然エネルギーで良いとは思いますが、健康被害があるのであれば反対します。 私は安岡沖1.5kmの風力発電に反対します。	
4110	風力発電は身体に与える影響が大きいと聞きます。長い時間掛けて健康被害を及ぼす可能性が有り下関安岡地区の安全・環境を真摯に考慮するべきと思います。	
4111	風力発電の健康被害は前から言われているのに建設するのは反対です。	
4112	風力発電の建設により人に及ぼす影響を考えると不安です	
4113	風力発電によって健康被害がおこるリスクがある為、反対します。 私は安岡沖1.5kmの風力発電に反対します	
4114	風力発電によって健康被害等様々な影響が考えられるので中止を願う	
4115	風力発電により、健康被害がでる恐れがあると思います。	
4116	風力発電による環境、健康被害があると聞いています。 反対します。	
4117	風力発電には絶対反対いたします。 健康被害の恐れがあることが反対の理由です。	
4118	風力発電には反対です 以前山陰地区に住み田園地帯、空気もおいしくて生活するには絶好の場でしたが風力発電が出来健康被害がないか一番の気がかりです	
4119	友達が安岡地区にすみ、健康のため絶対に反対します。	
4120	風力発電所ができることで周辺の住民に健康被害を受けることはあってはならないことだと考えます。そこで生活される住民の立場に立って環境を考える必要があります。それを無視する様な立場をろることは、決して許されないことだと思います。	
4121	地域の人々の健康被害の可能性ある為	
4122	小さい子どもがいるのでやはり健康被害などは気になります。	
4123	近いので健康被害が心配です	
4124	低周波音による健康障害の懸念がある為建設反対	
4125	テレビで耳鳴り等あると聞いたので反対です。	
4126	②健康に障害や被害が及ぶことは止めるのが本筋と思う	
4127	３ 自分の体の健康被害が心配な為 風力発電の建設に反対します	
4128	③のように健康障害についての問題点が気になる為　風力発電設置に反対します。	
4129	TVや雑誌でよく近くに住む方の言葉を耳にし、耳なりや頭痛がする事や、家のまどがゆれる等があるそうなので、反対意見です。	

4130	以前研修報告会で見た、外国の同様の内容の風力発電による人体への影響が本当ならば、心配と考えます。	同　　上
4131	健康被害がないと言えない職場で勤務している夫が不安です	
4132	10年位前になると思いますが、新聞の投書欄に『原因不明の頭痛や不眠を感じるが、思い当たるとすれば、近い所に風力発電ができた」とのことでした、不気味な話という印象でずっと自分の頭に残っていますそれが自分の身近で現実になると思うと恐怖を感じます	
4133	自然エネルギーである風力発電は、原子力に比べると素晴らしい技術だと思います。 しかし、風車から近いところに住む人たちに健康被害が出ているのも事実です、しかもこの被害は目に見えないもので、一人一人にあらわれ方が違っています。 私は安岡沖1.5kmに建設された場合の健康被害が住民に出るのを懸念しています。 沿岸には多くの家があります。健康被害が予測される限り、クリーンエネルギーとは言えないでしょう。 私は安岡沖1.5kmの風力発電に反対します。	
4134	どんなに弱い波長でも何かしら人間の体には影響があるのではないか心配 個人で病気に対し色々な症状もありどうすることも出来ない人も沢山いると思う。今病気でない人も病状が出てくる可能性もあるから　反対です。	
4135	何らかの形で健康被害が出た時が不安です。　反対します。 今までの色んな公害の時も、最初は心配ないという説明があって、でも最終的には健康被害が拡大して、今も苦しんでいる方が多いのではないでしょうか。それと同じ事が起こるかもしれないので反対します。	
4136	風力発電がもたらす人体への影響が心配だから、海上といっても岸から近く、影響がないとは思えないです。	
4137	風力発電は自然の風からエネルギーを作り出すという意味ではとてもすばらしいと思いますが、その設置場所によって人に影響を与え、健康被害が出ては何の意味もないと思います。あまりにも近すぎる1.5kmでの設置には反対します。	
4138	わが家には体調が悪い30年近く病院通いの娘がいます この上体に以上が出る事、毎日、心配又薬も多く飲用が切れる事なし、死ぬ迄なおらない為又点てきも市内で１病院しか利用出来ない状態、気分が悪い日は食事も取れない日が続く時もある。この風力の被害で毎日が変わり生活が出来ない事が多くなり絶対に反対、回りにも年よりが多い横野町全体が反対のアピール続けています。絶対に反対反対しかありません	
4139	私たちスタッフというよりも、患者様が少しでも不快に思う、感じてしまう事が嫌です。	
4140	今、あまり体調が良くない為、これ以上悪くなりたくない不安があります 絶対にだめです、反対・反対、反対	
4141	生まれ育った安岡の海を変えて欲しくないです。 健康への影響も心配です。　以上の理由で風力発電設置に反対します。	
4142	学生の身分であるため、詳しいことははっきりと理解しているわけではありませんが、これまでになかった風力発電所ができることにより地域の方々に健康被害がでてしまう危険性を考えると建設場所を見直す必要があるのではないかと考えてしまいます。 地域の方々の生活に悪影響がでてしまう以上、風力発電によって得られるものはメリットよりもデメリットの方が大きいと考え、僕は建設に反対したいと思います。	
4143	貴社が計画中の洋上風力発電基は、当町内より僅か一海里であり、地域住民は生涯にわたり、低周波騒音の危険にさらされ続けるため常々健康被害の心配をし続ける事となり結果として、それ以前に精神的に異常を来たす恐りがある。これ等を解消する唯一の方法として、現予定の位置より更、2海里以上沖合へ位動、変更されたり。それでも本般航路迄若干の余ゆうがあると思う。	
4144	健康障害（耳なりなど）などとても心配です。 他に健康について問題がありますか？ 風力発電設置することでメリット（利点）はあるのですか？ 下関がうるおうのですか？	

4145	原子力発電所については５年前の東北大震災での莫大な人的被害を考えると一基たりとも稼働させるべきでないと思います。でも電力は今の社会ものすごく必要なので風力発電はいいと思うのですが健康被害等、そこに住んでる地域住民に迷惑をかけてまで押し進めるべきではないと思います。 今回の場合、計画している所の近場にすでに何基かあるのでいろいろな面で都合が良いのでしょうが人的被害の及ばない場所で押し進めてもらいたいです。	同　　上
4146	建設予定地の近くに住んでいる人も多く、風力発電は山口（下関）のためだというのは分かるが、健康被害というのは仕事などをしている人たちにとってとても害があることにもなり、健康被害をおこしている人も増えれば住民も少しずつ減っていく原因にもなりえると思うので反対です。	
4147	この風力発電事業によって、健康被害が出ると聞きました。 まだ子供が小さいので、それがとても心配です。 もう少し沖に作れば、大丈夫とも聞きました。 これから先、何十年も安岡に住む予定なので、安心して暮らせる街にして欲しいと思います。よろしくお願いします。	
4148	自然エネルギーである風力発電は原子力に比べると素晴らしい技術だと思います。しかし、風車から近い所に住む人たちに健康被害が出ているのも事実です。その為クリーンエネルギーとは言えないと思います。私は安岡沖1.5kmの風力発電に反対します。	
4149	風力発電　初の大規模ということで、住民の方の健康被害を十分に検討する必要があると思います。住民の方に影響があれば、人口減少の懸念もあり、下関市の発展に支障が出る可能性もあると思います。	
4150	安岡地区に職場と家族があり、就労と生活の地域で様々な健康被害の実態のある風力発電が建設される事は強く不安を覚えます。 絶対的な安全というものは原発の例をみても（発電の方法として変わるものだとしても）保証できないのではないでしょうか。 地域住民、病院・施設入所者、児童・生徒達の安全な生活を妨害する要因を新たにつくりたいとは考えられません。	
4151	陸からの距離が近く健康障害の問題が心配です 絶対に大丈夫という明確な根拠を示していただきたいです。 反対の意見があるのになぜ建設を進めるのですか？	
4152	②健康障害　耳鳴、頭痛、眩暈等の症状が出ると聞いている	
4153	・健康障害の問題	
4154	健康被害が大きい。環境への影響。	
4155	健康に不安がある	
4156	私の友人夫妻で三半神径が悪く、滝部の風力発電の前を通るとご主人は耳に異常が起こり、友人はその日は頭痛がして吐き気もあるそうです。 海外では10km離れた場所に建設しているそうで健康被害に配慮するという事です。 又近くには病院があったり老人ホームなど高齢者にとってはつらい事だと思います。とても人事だとは思えない現状です。	
4157	・健康被害が一番気になります。 反対です！！	
4158	体に異変がおきそうなので賛成出来ません。	
4159	身体にえいきょうするので反対をします。	
4160	身体に影響は無いのでしょうか？騒音等の配慮はあるのでしょうか？	
4161	体に害を与える為、反対	
4162	体に悪い為反対です	
4163	体に悪いので反対です。 なくても困らない	
4164	体の健康に悪いため	
4165	身体の事を考えると寝ている時の影響を考えると心配 静かな生活今のままにして欲しい	
4166	環境や人体にどのような影響があるのかわからない物が出来るのは恐怖でしかないと思う	
4167	かんじゃ様にえいきょうがあると困るから。	
4168	患者様の健康被害のため	
4169	健康的に心配	
4170	健康と環境問題の観点からします	
4171	健康に悪影響等がないか心配 もう少し他の場所に設置する事は出来ないのだろうか？	

4172	健康に悪影響になる様に思います。	同　　上
4173	健康に害があるから反対です	
4174	健康に被害があるのであれば、それは、住民にとっては困る事なので、一番怖い健康被害が影響するのであればたてては、困る物であります。	
4175	健康に被害が及ぶ為　又　自然環境が悪くなる為です	
4176	健康に被害が及ぶため反対します	
4177	健康に不安がある	
4178	健康に有害な為反対です	
4179	健康に悪い影響があるため反対です。	
4180	健康のため	
4181	健康被害がありそうな為反対します	
4182	健康被害がありそうなので（近すぎる）反対します	
4183	健康への影響が心配だから反対します	
4184	健康への被害が心配なので、やめてほしい。	
4185	健康への被害を心配するので反対します。	
4186	健康面の不安	
4187	健康を害する恐れがある為	
4188	健康を害する物で有るなら断固と反対を致します	
4189	健康への被害が心配です。 私は安岡沖1.5kmの風力発電に反対します。	
4190	将来の子供、孫達の健康に悪影響を与える風力発電反対します	
4191	人体的被害においてとても不安である。 反対である。	
4192	人体に影響がありそうだから。	
4193	人体に影響があるのであれば望ましくないと思います。	
4194	人体に影響のあるような物は作ってはいけない。絶対にいらない物である	
4195	人体に影響を及ぼす可能性があるのではないか心配。	
4196	人体に影響を及ぼすから反対です	
4197	人体に及ぼす影響・健康障害の有無が明確であるかが不安に思える	
4198	人体の影響が心配だから	
4199	人体への影響が気になります	
4200	・人体の健康被害になる	
4201	・人体にもどのような影響がでるのか詳しい説明がない	
4202	・孫や子供の健康に被害が及ぶと聞き反対です。	
4203	身体への影響が不安なので反対	
4204	絶対反対　風力発電建設反対　絶対に健康被害はある。	
4205	頭痛がして、子供への影響が気になるので、反対します。	
4206	頭痛などの身体の影響があると聞き反対します	
4207	風力発電という再生エネルギーを利用する事はとてもすばらしい事ですが　私達が働いている安岡病院にわずか 1.5kmとあまりに近すぎる為　健康障害が心配となります 私は、安岡沖1.5kmの風力発電の建設に反対します。	
4208	一番気になる事が健康障害です。当病院の職員はじめ看者様に何らかの健康障害は必ずあるのではないかと思います。そこを明らかにしていただいた上での建設をお願いいたします。	
4209	・本当に健康被害がないかどうか確証がないので不安	
4210	◎近くに高齢者施設があり、健康被害があると聞きました	
4211	子供の頃から祖母の家のある安岡へよく遊びに行っていました。そんな思い出のある海岸に風力発電を作るなんて、やめて下さい。 地元住民が反対しているのに、作って良いことなんて絶対にないと思います。 健康被害、環境被害で訴えられて、責任とれるんですか？	
4212	環境に与える影響や健康に与える影響が子供や孫までに及ぶのではないかと心配です。	
4213	・本当に身体に影響がないと言えるのでしょうか。健康面が心配です。	
4214	健康と環境の影響が心配で、もう少しはなれた場所にしてほしい。話合いの時間はまだまだ必要と感じます。	
4215	②市民は健康被害への影響を心配しています。下関市は高齢率が高く少子化で若い世代の流入も難しい地域です。世代を超えて暮らしやすい市にするためには健康被害のない町にする必要があります 暮らし続けることができる町への思いの理解を求めます	
4216	・健康被害について。健常人は勿論、患者様の健康面に対する影響について懸念があるため	

4217	健康被害がありそうで、とても心配です。 万が一、風力発電の影響で体調が悪くなった方が出たら、すぐに止めてくれるのでしょうか。	同　　上
4218	健康被害がある可能性がある以上は賛成できない。 一度できてしまえば地域や近所の人達はその場所からはなれる以外に方法がなくなってしまう	
4219	健康への影響被害もはっきりしないままで、建設に賛成はできません 実際ヨーロッパではマイナスの要因と取り上げられていると調べました。問題は無いとしつつも後の影響は否定できないと言われます。 どちらも信用には値せず、あえてマイナスの可能性のある建築物が必要とは全く思えませんし、被害へのはっきりとした見解が示されるともいえません　はっきり解らないリスクをあえて取る理由は無しです。ので、反対です。絶対作ってほしくないです。意見を本気でつのるんならせめて封筒を用意されては？	
4220	上記事業に反対です 健康には悪影響与えると確任してることがあるので	
4221	症状が慢性化する事に不安がある為、反対します。	
4222	少しでも健康被害のおそれがあれば、心配です。設置が完了してからでは遅いと思います。	
4223	・風力発電による健康への影響、安全保障が理解出来ていない	
4224	安岡沖洋上風力発電を設置するのは絶対に反対します。 身体に悪影響がありますので、絶対に反対します。 安岡沖風力発電を設置すると、安岡病院は近隣にありますし、大切な入院患者がいらっしゃるし、入院患者を守る義務がありますので！ 絶対に反対します。	
4225	安岡沖洋上風力発電を反対します 健康面がやはり気になります　当事者がこの近辺に住んでいるのでしょうか？自分の住む地域ではないだとか思って建設していないですか？	
4226	子供達や未来の孫達の健康に影響があると聞きましたので安岡沖洋上風力発電の建設に反対します	
4227	子供の健康被害が心配です。	
4228	安岡沖風力発電については反対します 将来の子供・孫達の健康に悪影響を与える	
4229	私には4歳になる息子がいます。　安岡に住んでいる友人やその子供たちもたくさんいます。 風力発電は、原子力発電に比べて放射能被害も少ないと言われています。しかし少なからず何らかの健康被害をもたらすのではないでしょうか。安岡沖1.5㎞の風力発電に私は反対します	
4230	私は風車設置エリアから3㎞範囲内に住んでいます。 職場も同じく3㎞範囲内にあります。 子供が通う学校も同様です。 海のすぐそばの住宅で風車の風下になり、健康被害の恐れが心配されます。確実に安全が保障されるものでなければ納得出来ません。	
4231	安岡沖洋上風力発電事業に対して反対です。 健康に対して、絶対反対です。	
4232	私たち家族は風力発電の設置3㎞範囲に暮らしていますが、その3㎞範囲というのはオーストラリアＡＢＣ放送（日本のＮＨＫに当たる信頼性の高いテレビ放送）にてコメントのあった半径3㎞以内は“死のエリア”といわれています。 そういう健康被害の恐れのあるものはせっちしてほしくないので　この計画に反対します。	
4233	・安岡に息子や孫の家庭があるため　健康面に不安を感じます　反対です。	
4234	安岡沖洋上風力発電事業、建設に反対します。 人体に及ぼすであろう被害が長年続くと思うと、とても怖いです。安全が“絶対な物”でなければ容認する事はできないです。建ってからでは遅いのです。	
4235	安岡病院のスタッフとして、患者のリハビリ、患者の健康を一番さまたげるのではないかと不安に思う。看護する立場から反対に思う。 今後環境も良くなると患者も元気よく健康に過ごしてもらいたい。	
4236	安岡沖洋上風力発電建設に反対です。健康被害のリスクがある。民間企業の利潤のために、一般市民がなぜこの問題に頭を悩ませる必要があるのか。これを見ている貴方、仕事とはいえ、地域住民の生活の平穏を脅かすことについて自問自答していただきたい。貴方の人生人を困らせるためにあるのか。	

4237	安岡病院に勤めているのですが、病院のそばに健康被害が出る可能性が高い物が建設されるのは不安です。また、学校もある為将来的に考えても反対です。	同　　上
4238	私は建設予定地の近くに住んでいます。 この周辺は高齢者も多く新しく住宅を建て住まれている人々が増えています。 自分自身や子供達、高齢者等に健康障害の問題が予測されるならば建設してほしくはありません。 私は安岡沖1.5kmの風力発電に反対します。	
4239	安岡の海の近くには、小学校、中学校、高校と子供達の教育の場所があり、一番心身共に成長する時期に身体的被害のリスクが高くなり、健康を失うことがこわいです。 なので風力発電を安岡沖に作るのは反対です。	
4240	自分達の健康を維持する為には風力発電には絶対反対です 又これからの子供達、孫にも身体に影響する未来の人生を明るく楽しい町にしたいです	
4241	安岡の海が心配です。あんな大きな羽が回っている姿は“怖さ”を感じます。人体にも多大な健康被害があるとか。テレビでみました。 どうぞ建設をやめてください	
4242	医療・社会福祉法人松涛会グループの本部安岡拠点事業所には、入院患者・施設入居者等670人、職員650人合計1320人を擁する海に面した事業所です。 当社会福祉法人の特別養護老人ホーム・軽費老人ホーム・生活支援ハウス等の利用者は、この施設を終の住み家となる住居として入所され、余生を送っておられます。 生活環境の良さの一つは海の展望にありますが、健康障害の心配からマイナス要因となり動揺が広がっております。 この準備書では、医学的な根拠のある明確な内容がありません。 行政・環境審議会委員・一般市民等の入居者の居室・建物からの視点、目線に立った認識を頂き計画を断念してください。	
4243	何より日本で風力発電がうまくいっている場所があるのだろうかと思う。私の実家の豊北町（下関市）などは山の上に20基位立っているが、稼働していない事も多く、維持費がかかっていることの方が心配になる位だ、風力発電はエコなのでは思っていたが、説明会に参加してみて、健康被害について知り驚いた。 どちらにしても陸からわずか1.5kmの場所に設置されることで起こる目に見えない被害は、作ってしまってからでは遅いので考え直して欲しいと思う。	
4244	安岡地区並びに周辺地区住民に健康被害があるという、現在の計画のままでは絶対反対です。 設置場所を民家から10km以上離し、基数も減らす。これが容認できる条件です。	
4245	環境保全でなく、地元に住んでる住民として心身への悪影響を問題視しています。地元民に歓迎されない事業は継続できません。	
4246	・永住の地としての健康障害（低周波音）等による不安	
4247	建設反対です。 大きな羽が回ってるととても怖いです。人体にも良くないので心配してます。住民が不安で眠れなくなるので反対です	
4248	交通事故や自然災害も怖いですが、目に見えない恐怖に怯えるのはもっと怖いです	
4249	周辺の病院や学校への影響を考えると、安全が確認できない限り、風力発電については反対です。	
4250	風力発電による人的被害がどんなものかわかりませんが、被害が出てからでは遅いので賛同出来ません	
4251	昔から慣れ親しんできた地域が、ある日突然環境が悪化し、健康にも影響を及ぼし、暮らしにくい地域になってしまうことに賛同することはできません。	
4252	・健康被害が侵される	
4253	電力は必要と思いますが、健康面への影響が気になります。	
4254	街頭活動の際、油谷町、豊北町の方から「われわれは今、苦しんでいるんですよ。がんばってください」という話が何件か伝えてくれています。低周波の問題も含めてそうですが、われわれは、自分たちは年だから我慢はできます。先ほどから低周波の話が出ましたが、ただ、われわれは子どもや孫が20年の被害に遭ったら我慢できません。そのためにわれわれは活動しています。	

4255	私も3年反対活動をやっていますが、それは何のためかというと、一番の理由は住んでいる人の健康のためです。私は、データ上では低周波は人間の体には影響はないとありますが、今、山口県病院協会ならびに医師会の北浦班、から上の吉見方面の44の総合病院と個人病院は全て反対しています。 　先日は反対の会で医師の方が実際にどのようなことが起こったかということをヨーロッパを事例にして挙げていました。その事例というのは、女性には生理があります。それが建てた近くに住んでいると生理が不順になって、そこの会社の女性が全て辞めたということです。それから離れた所に行ったら皆さんそれが元に戻ったという話をされていました。 　また、低周波はどこに一番来るかというと、振動として耳の内耳に来ます。そうなったときに、私のような人がうつ病になるようなことはないでしょうが、1万4000人の安岡住民ならびに綾羅木地区上、そちらのほうで少しでもうつ病等の心の病になる方が増えていくことがもし発生するとしたら、そのような人を思うと、自分が、今、この耳で苦しんでいるのを見るとつらいのです。 　これは、低周波に対して被害はそれほど見てないのですが、私たちはそこを一番危惧しているところです。それと一緒に、私には子どもが2人います。しかし、もしこれが建った場合は、息子は自分と一緒に住みたいと言っていますが住まわすことはできません。そのため、家内の実家に近い所に住まわせます。私たちは常に24時間低周波を浴び続けるわけなので、体のどこに影響があるのか分かりません。病院の医者が反対しているということが、私は一番だと思います。人間の一人一人が集まって国が成り立っているわけなので、前田建設工業は企業利益が優先なのか、どのように考えていますか。	同　　上
4256	垢田町に住んでいる、お嬢さんを持つ、3人ほどお嬢さんがいる方のお母さんからメールが来ました。「お金がもうかること、経済が発展すること、それは大切なことだと思う。でも、子どもを安心して育てることができることのほうが、私は大切です」というふうに言われました。その辺のところも考慮していただきたいです。	
4257	和歌山県立の医科大学の教授が数年前にマウスの実験による低周波の調査を実際にしていてストレス性ホルモンが出ると言う結果が出ている。また、どこかの教授が実際に人に低周波を聞かせてどう思ったかというところを聞いているのですが、数値がだいぶ違います。約75%の人が不快に思い、25%の人が何も感じない。	
4258	今、前田建設さんのほうから、環境省のデータが公開されていると、今まさに言われましたのですけれども、どの程度把握されていますか。まず、私が住んでいるのは一の宮町で、今建設予定されている所からだいぶ遠い所にはいるのですけれども、子どもが安岡の幼稚園に通っています。その辺で友達が増えているので、実際は自分も安岡に住所変更したときに、この風力発電のことがあって、今私はそれはやめているのですけれども。今、すぐ答えていただけなかったように、どのぐらい把握しているのかということは、私たちにとってはかなり大事なことです。子どもを育てるとか、今後どういうことが起きるだろうかということが、誠実に回答していただいていないのです。3年か4年前に、綾羅木の本社の説明会にも行きましたが、かなりの人数の方がそのことについて、健康被害について質問していたことを覚えています。超低周波というものを環境省がどういうふうに捉えているかは置いておいて、私たちのように住んでいる人間としては、そのことがとても大事だと感じています。そのことを偉い方がすぐに分からず、専門の人にすぐ変わると。それはやっぱり、賛成と、事業としてやることなので賛成とは言わないですけれども。反対はしないだろうなと思うのですけれども。今の時点で反対せざるを得ないというふうに感じます。これを、きょうはどういう会なのかよく分かりませんが、このまま話が済んで帰ってしまうのか、住民の意見を取り入れた、聞いた、という会にするのか、その辺はどうなのですか。超低周波による健康被害がないと言い切れますか。私の質問は、健康被害がありませんか、という質問なのです。健康被害が出る可能性があるということですね。いや、そんな話はしていません。この事業で出ないかということです。では、万が一出た場合の話は、先の話だということですね。ありがとうございますと言いたいですが、何分、全く納得ができない回答でした。	
4259	クリーンエネルギーの必要性は感じますがこの町に影響のある施設を造って欲しくない、環境に与える影響はないとは考えられず結果として、ここに住む人々への生活と身体への影響は必ずあると思います。今の生活環境を変えないで欲しい。どうかご理解ください。	

4260	安岡沖洋上風力発電事業に絶対反対します。 再生エネルギー促進事業の一環としても人体に悪影響を及ぼすものは、何事たりとも一切受け入れてはならず、沿岸の住民として、全力で阻止します。少子化の現代、未来を担うこれからの子供達にあえて負の遺産を残してはならないのが、我々大人の最大の責務です。目の前の利益優先か、かけがえのない人の命が大切か、必ず将来結果が出ます。失敗は許されません。関係者の方々も、ご家族を持っておられると思います。冷静に御判断下さい。	同　　上
4261	風力発電事業を全面的に反対する訳ではないが、風評被害及び人体への悪影響が調査書には記載されていない、不確定さに苛立ちを感じる。風力発電により、悪影響を受ける地域及び人々に対し、無影響であるとする確固たる評価が出ないかぎり、建設に反対する。	
4262	発電事業の必要性はわかりますが、健康被害があると聞けば… 被害のないようしていただきたい。その被害が、又、目に見えないもので蓄積され、発病したとき、誰に？どこに言っていけばいいのでしょう？ 広範囲にあるのであれば、近ければ近いほどその場で生活している人は不安だらけです。 安全な場所（距離をはなし）建設すべきと思います。	
4263	健康被害が予測出来ない事を考えると、出てから反対をしても無意味と考えます、住民（安岡が特に）の方々が反対している以上事業を進める事は下関全体で考えるべき大切な生活だと思います 前田建設・プロジェクトの方々、あなたの家族が同様でも施行できますか？ 　建設は断じて反対！！	
4264	安岡病院の病室（特に緩和ケア病棟）から風力発電建設予定地を眺めてみて下さい。 看護部長として患者さんの療養環境を守る、そして働く職員の安全を守るためにも建設には反対です。 是非前田建設工業の幹部の方々、当院へご来院いただき、現場をみて下さい。 とにかくご来院ください。お願いします。 以上	
4265	10万人もの反対署名があり、風力発電がこの地域にとっていかに、マイナス面が多い事と理解されているか考えて欲しいと思います。私達はこの綾羅木が風致地区に指定されたので安心して永住出来ると思い家を建てました。 これから、ゆっくり、良き老後をと思っていたら、思いがけず健康被害の恐れがある距離に風力発電が建設されると知り驚きました。この地域は自然豊かな為、農業・漁業に従事している方も多く、又、沢山の学校（日本の将来の為学びは大切で重要です）病院等があります。どうぞそれらに関わり住んでいる住民の不安をあおるような風力発電建設を即、中止してください。 前田建設様も別の事業で社会貢献をされますよう、お祈りしてます。	
4266	地元地域の反対を強引に押しのけて建設し、健康被害が出ると分かっていながら健康被害が出た場合、一企業として地域ひとり一人の賠償責任をどう考えているのか？ その責任ある賠償金額を具体的に提示して欲しい。 果たしてその莫大な賠償金額が払えるのか？	風力発電施設が原因で各種問題が発生し、損害との合理的な因果関係が明確となった場合には、必要に応じて専門家の指導・助言を踏まえて適切な対応を講じます。
4267	意見： ★今回のような日本初の大規模な風力発電が成功するためには、『住民にも事業者にも共に益となる方法』をとることが不可欠であり、その方法はただ１つです。 風力発電の先進国である海外の前例を「事実」として検証し、低周波を主とする深刻な問題点を解決できる方法に沿って事業を進める事しかありません。 ●具体的には、欧州での常識となっているように、★『住宅地・陸地から少なくとも１０km以上離した（遠くの）海上に設置する』★ということです。この点が認められなければ、賛成はあり得ません。なぜなら、そうでなければ、住民が健康に住んでいられなくなるからです。もともとそこに住んでいた住民が、健康を害し、そこに住み続けられなくなる「環境にやさしい風力発電」など、ありえません。 ◎事業者側から「低周波の問題はない」といくら説明されても、日本各地での低周波被害の事実が、低周波による健康被害を実証しています。 ◎また、風力発電の低周波による健康被害によって３キロ四方の町自体がゴーストタウン化したという事例を含め、海外での多くの事例が、「（今前田建設が計画しているような）数キロ離れた程度では、低周波による健康被害が確実に出る」という事実を実証しています。	平成27年12月実施の地方公共団体における風車騒音に対処するための環境影響評価条例やガイドライン等の実態調査によれば、住宅地域からのセットバック距離の規制については、騒音及びシャドウフリッカー等の影響を考慮して設定されている国や地方があることが報告されております。法的に規制しているものと推奨値として定めているものとがあります。これらの値は概ね500m～1,000mの値となっており、スコットランドで2,000mという距離がありますが、数10kmという規定・推奨値を確認することは出来ませんでした。また、日本の地方公共団体においても条例でセットバック距離を定めているものがありますが、風車の高さを基準としているものが多く、距離にすると概ね500～600mとなっています（出典；風力発電施設から発生する騒音等の評価手法に関する検討会(平成28年5月24日、平成28年度第1回（第7回）、環境省）の資料２）。 　平成22年の環境省が実施したアンケート調査結果（全国の風力発電事業者のうち186事業者、40都道府県から回答）によれば、継続している「苦情」は、風車から1,020mまでとなっています。その後の調査研究結果を考慮しても本事業の風力発電施設から最も近い民家まで1,500mという距離は騒音・低周波音の影響を低減するための十分な距離と考えております。風車の陸からの距離や配置は、環境影響評価結果を踏まえて計画いたします。

	こうした『事実』に基づいて、住民と事業者両者にとって、現実的に可能な最善の方法を模索すべきです。 ★『住宅地・陸地からすくなくとも１０km以上離した（遠くの）海上での設置』―この方法がおそらく唯一、私達住民側が前向きに考えられる境界線です。 ●もし現状で前田建設にその技術がないなら、「すでに技術確立している海外事業者等との技術協力」を至急進めるべきです。 「低周波被害の測定方法すら確立していない日本の現状」で、たとえ形ばかりの環境調査を行い形式的な許可を得て、１０万を超える反対署名にもかかわらず、強引に陸地近くに設置しようとすれば、それはあまりにも常識と良識の範囲を逸脱したものです。 誰が聞いても到底認められるものではなく、日本中からの批判され続けることになります。 ●けれど、たとえ初期費用はある程度かかっても、地域住民の納得を得て、★『本当に人と環境にやさしい』風力発電を先駆けて作っていければ、事業者にとっても、それこそ高い好感度を伴った最大の宣伝効果となるだけでなく、今後日本中で進むはずの風力発電の中心的先駆者となれるはずです。 貴社の良心と大局に立った賢い判断に期待します。	同　　上
4268	現在計画中の安岡沖洋上風力発電建設に反対します。毎日の生活の安全と家族（年老いた両親）の健康に不安がある為、穏やかに暮らしている現在、不安な生活は苦痛あるのみです。10km以上陸地より離して下さい。	
4269	現在計画中の安岡沖洋上風力発電の建設に反対します。生活の安全及び健康の為10km以上陸地より離して下さい。	
4270	現在計画中の安岡沖洋上風力発電の建設に反対します。生活の安全及び健康の為10km以上陸地より離して下さい。	
4271	現在計画中の安岡沖洋上風力発電の建設は反対です。生活の安全の為10km以上陸地より離して下さい。	
4272	安岡の美しい海と、魚場としての豊かな環境を損なうため反対しています。 人的被害もあるとのこと、1.5km以上奥に設置できないのでしょうか	
4273	平成25年4月に初めて当地安岡沖洋上風力発電計画の説明会が有りその時点から今日（平成28年12月）迄－住民として不明点不信事項を持って反対行動をして来た。 理由の一つとして当時（平成26年6月28日）環境アセス方法書に関し（貴社作成）下関市環境審議会（会長　鷲尾圭司・水産大学校理事長）は、同年6/27日「評価の範囲が不十分」と中尾友昭市長に答申した。 県から地元自治体の下関市に意見照会が有り、市は環境審議会に諮問していた。答申では貴社が環境影響評価の範囲ついて事業区域から２キロとしたことを「不十分」と指摘。「見通しがよく、低周波音や景観に影響が及ぶ恐れのある地点」の追加を求めた、や低周波音振動について国内外の先行事例を調査して予測することや、景観について住民アンケートする事ことも要請した。付帯意見では「前例のない事業で住民への影響も未知数。アセスの手続に沿った検討だけでは不十分であることも考えられる」と記した、以上市は答申を受け山本繁太郎前知事に意見書を提出する。と当時の朝日新聞に搭載。この事は現在に至っても貴社からは明快な回答は出ていない。この度の貴社作成準備書内容説明会（平成28年11月30日）の時も鷲尾圭可・水産大学校（審議会会長）から平成25年の前述答申と同様「低周波振動で頭蓋骨が共鳴して影響が出る人もいる、その人数が少ないからといって切って捨てられない問題だ」と指摘された。「環境省の指針だけで是とするのはまだ難しく、低周波振動についても吟味をお願い」と述べられた。 この様に平成25年6月から今日に至っても一つも変わっていない、更に不信感は募っている。 貴社作成の準備書（P64)に依れば「調査・予測及び評価を行いました」と謳っているが、実測テストを行って結果を報告して欲しい。 例、テスト用実機（貴設置している実機で、2km、5km、10km以上）離し１年間（４季）の実測結果を準備書に追記して欲しい。低周波音、超低周波音の影響で健康被害が出ないという事は全く信用していません。 元々本事業計画を安岡沖に建設する事は間違っている。私は、決して再生エネルギー事業推進に反対しているわけでは無い、地域の住民が安心、安全に生活出来ることを切に望んでいます。よって現建設計画を10km以上離れた海域に変更する事を切望します。 以上	

4274	[反対] 1.5km沖合という近い距離による景観の破壊だけでなく、低周波による健康被害の発生が予想されます。 実際、海外では沖合3kmの風車による低周波で健康被害が発生し、住民が次々と町を去ることとなったという事例もあります。周辺地域には小学校や病院、介護施設もあり、子供から高齢者まで多くの人が暮らす地域として、多大な被害の予想される風車の建設は適切ではないと思います。	「風力発電施設から発生する騒音等への対応について」（平成28年11月版）によれば、これまでに得られた知見として、20Hz以下の超低周波音領域は、すべて知覚閾値を下回っているため、「風車騒音は、20Hz以下の超低周波音の問題ではなく、通常可聴周波数範囲の騒音の問題としてとらえるべきものであり、A特性音圧レベルでの評価を基本とすることが適当である。」とされております。また、同資料では20Hz以下の音を「超低周波音」とし、それ以外の音（周波数が20～100Hzまでの音を含む）を「騒音」と区別した上で、「頭痛、耳鳴り等の健康影響については、風車騒音との統計的に有意な関係を示す知見は確認できなかった」との考え方が示されており、風車騒音による健康影響については無いものと考えております。 本事業においては、主要な眺望点の他、身近な景観を保全するために、風力発電機の配置の検討にあたって、フォトモンタージュ法により予め景観の影響予測を行っております。配置については規則性に配慮し、色彩については周辺の景観との調和に配慮するなどの環境保全措置を講じることにより、実行可能な範囲で影響を低減するよう努めます。
4275	安岡沖洋上風力発電事業に私は反対します。 安岡沖（くるみの瀬）の美しい景観がそこなわれるため、風が強く海からの風に乗ってごう音がとどろき、夜は眠ることもままならないことは確かです。風の強弱によって変わるものか、知らないが、超音波やプロペラが回る音に対しても防止策ができていない一般の家庭や医療機器が超音波でおよぼす弊害をわかってほしいです。老人世帯の多いこの山陰地域において、すでに豊北町には設置してあるので、安岡・吉見地区は風力発電にはさまれた形になります、その中で暮らす、私たちの身にもなってほしいと思います。 風力発電の音は、生活音とはまた違った意味で私たちの体に影響を多大におよぼすことを理解してほしいです。	
4276	風力発電の是非については是。 しかし、風力発電稼働に伴い発生する振動が体に与える影響について十分な知識を持っていない為、情報を提示してほしい。	モノパイル式の基礎とことなり、杭を打設する方法ではないため、大きな影響を及ぼす振動は発生しないものとして環境影響評価項目としては選定しておりません。また、施設稼働時についても水中部には稼働部もなく影響はないものと考えております。なお、発電所アセス省令においても参考項目として選定されておりません。
4277	・風車による海中の振動で動植物が逃げる	
4278	・工事における振動で魚介類が逃げる	
4279	1.風力発電が近くに設置される事により振動発生し頭に悪い影響を与える。距離を大きく離す。	
4280	④羽の振動、胴体振動、基盤への振動、音も揺れもきっとある。水中ではソナーみたいに空気より敏感に伝わる。人間より敏感な魚やタコがどうして近くに住みつくのか？	
4281	震動がどこまで影響があるのか 工事の時に交通に影響がでるのか	建設機械の稼働に伴う建設作業騒音は38dB～56dBで、規制基準（特定建設作業に係る騒音・振動の基準）である85dBを下回っています。よって建設作業騒音の影響は小さいものと考えております。
4282	安岡沖の風力発電事業については、振動、騒音、美観に関して問題無いと考えられる。	
4283	振動等に関して問題ないと考える。	

3.水環境

No.	意見の概要	事業者の見解
4284	海流の変化等により漁場は失われ、海水浴の砂は沖合に流れ海浜が消失するから	海流の変化への影響については、調査結果を踏まえ、流向・流速への影響を適切に予測及び評価を実施し、実行可能な範囲で影響の回避・低減に努めております。流速の変化は、風力発電施設周辺で±1.0～3.0cm/sec程度の流速差が予測されますが、風車設置地点近傍の範囲に限られていること、風車設置エリアの東側に位置する浅瀬（魚類等の生育環境場）では±1.0 cm/sec未満であること、海水浴場の砂の移動への影響も小さいと考えられることから、地形改変及び施設の存在による流況に与える影響は小さいものと考えております。
4285	きれいな海岸が、海流の変化により汚くなる、自然ハカイは反対します	
4286	自然海岸に建設が進めば、海流等の変化により漁場が失われ海浜も消失する恐れがある	
4287	海流の変化等により　魚がいなくなったり海水浴もできなくなったり　自然環境が失われるのが困る	
4288	海岸に建設が進めば、海流の変化等により、漁場など自然環境にも被害がでてしまうと思う、	
4289	・自然環境・漁場等の喪失 　　自然海岸に建設が進めば、海流の変化に海の生態系が変わる。	
4290	風力発電反対 ・海流の変化により磯物や漁場が失われてしまう ・砂浜がなくなります	
4291	自然海岸に建設が進めば漂砂現象 海流の変化等により磯物の漁場は失われ 海水浴場の砂は沖合に流れ海浜が消失する	
4292	自然海岸に建設が進めば漂砂現象、海流の変化等により磯物の漁場は失われ、海水浴場の砂は沖合に流れ海浜が消失する	
4293	自然環境・漁場等の喪失が見込まれる 海流の変化等により、漁場が失われ、漁師などの仕事の場が少なくなる。	
4294	風力発電のため2キロ沖15基の風車を配置した場合の海洋の影響について、特に、海岸線に打ち上げられる浮遊物・ゴミの影響についての報告を求めます。 現在でも安岡・綾羅木を含む北浦の海岸線は、浮遊物・ゴミの漂着が多いところです。風車が回転することによる影響、風車設置そのものによる影響で海流の変化が起きることがなく、下関の住民が、北浦の海で遊んだり、釣りを楽しんだり、美しい環境を代々永遠に持ち続けることは、風力発電以上に下関の住民が求めるものです。 海岸線が汚れる→海が汚れるという風評レッテルは、低周波の問題以上に下関住民にとって死活問題です。	本事業では、流況への影響について、調査結果を踏まえ、流向・流速への影響を適切に予測及び評価を実施し、実行可能な範囲で影響の回避・低減に努めております。流速の変化は、風車設置地点近傍で南北での流速変化に限られおり、岸側には及んでいないため、浮遊物・ゴミの漂着を増長するものでは無いものと考えております。
4295	準備書の中に潮流の変化の記載がありますが、実際に風車が建った場合と実験結果が一致するとは限りません。我々漁師が実施に潜っている所にどのような影響がでるかはわかりません。 準備書は見ても素人の私達には全くわかりません。もっと簡潔にわかりやすく説明してほしいです。	海流の変化への影響については、準備書に記載のとおり、影響は小さいものと考えております。予測手法については、科学的知見に基づく数値計算手法であることから、不確実性の程度は小さいものと考えております。今後も環境影響において不安を解消し、地域の皆様にも理解をして頂けるよう、解りやすく正確な情報を発信してまいります。
4296	１、◎海水が汚れ漁ができない。	海水の濁りへの影響については、調査結果を踏まえ、海水の濁りへの影響を適切に予測及び評価を実施し、施工時に汚濁防止枠による濁り拡散の低減を図るなど、適切な環境保全措置を講じることにより、実行可能な範囲で影響の低減が図られているものと考えております。濁りの拡散範囲(海域における人為的に加えられる懸濁物質の基準(水産用水基準(2012年版))である2.0mg/L)は、施設の東側に位置する浅場（水深6.0m以浅)に及ばないと確認できております。さらに、施工時に汚濁防止枠による濁り拡散の低減を図るなど、適切な環境保全措置を講じることにより、実行可能な範囲で影響の低減が図られているものと考えております。
4297	１、◎海水が汚れ漁ができない。	
4298	海が汚れ漁が出来なくなる、死活問題になる	
4299	漁場が失われるから（海が汚れるので）	
4300	当海岸の自然豊かな海に建設されると海質の変化、漁場が荒れるし海水浴場へも安心して子供を連れて行けなくなる	
4301	当海岸の明媚な自然に建設が進めば、漂砂現象海流の変化等により、磯物の漁場が失われるから。	
4302	・漁場が荒廃する（工事中の海のにごり、海中の振動や低周波による影響など）	
4303	私たちの大切な海を、汚すことのないようにして下さい。	
4304	風力はぜったい反対だ きれいな海をよごさなれたくない 前田けんせつにぜったいはんたいだ 私たちもいっしょうけんめいがんばります	
4305	環境、主に海への影響を鑑み、個人としては反対致します。	
4306	③波は岸に向かっているから、工事ラインの内側にある藻場は全滅する。岸と平行に流れるなどとよくもまぁ平気で。	
4307	水中音の結果で魚にとって快適な音の強さや興味のある音あれば、と書いてあります。魚の気持ちは魚に聞いたのか。どこの誰が何をもって証拠として出してきたのか。準備書は作ることありき書かれた文書としか思えない。	水中の音圧レベルと魚類の反応についての出典は「水中音の魚類に及ぼす影響」（畠山ほか、1997)に記載された研究成果で、当社が調査したものではありません。

4.動植物・生態系

No.	意見の概要	事業者の見解
4308	人に対してだけでなく、動物等の生物にも影響があるのでは？	発電所アセス省令では、環境要素の区分として「生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素」として、動物、植物、生態系が挙げられております。本事業においてもこれらの動物、植物等の項目を対象に予測及び評価を実施し、これらに対して実行可能な範囲で影響の回避・低減に努めております。
4309	・私たちだけでなく動物にとって問題等考えるべきだと思う。	
4310	風力発電反対 動物もいなくなるのに、人間はほかにいけない、絶対に被害はある ないと言いきれるのか？	
4311	コウモリ類について 欧米での風力発電アセスメントにおいて，最も影響を受ける分類群として，コウモリ類と 鳥類が懸念されており（バット&バードストライク），その影響評価等において重点化され ている．このことを踏まえて本準備書に対して以下の通り意見を述べる． １）バットディテクターによるアブラコウモリとユビナガコウモリの同定根拠を現地調査で 記録したソナグラムを示して説明すること．同定根拠が曖昧な場合は種として記載しないこ と．同様にオヒキコウモリと同定した根拠を現地で記録したソナグラムに基づいて，近似種 との区別を明確に説明すること． ２）表 3.1.38 ではユビナガコウモリが，環境省 RL（2012）で準絶滅危惧種に指定されてい ると記載されている．本当であるのか． ３）コウモリ類の予測評価において，「周辺には迂回可能な空間が確保されていることから，（中略）事業実施による移動経路の遮断・阻害といった影響はほとんどない」と記載されて いる．それならば最初から調査など行う必要はないのではないのか？ また，コウモリ類の迂回可能な空間とはどれくらいなのか，知事意見による「環境配慮の実 施に当たっては，科学的な根拠及び合理的理由をもって行うこと」に従い説明すること． ４）評価の結果として，以下の「環境保全措置を講じることから影響はほとんど無いまたは 小さい」とされている． ①重要な種及び注目すべき種の飛翔ルートを考慮し，風車タワーの配列・位置を検討する． ②夜間照明による誘引リスクを低減させるため，夜間のライトアップは行わない． この点と３）を踏まえると，「評価の結果」は破綻している．すなわち，オヒキコウモリは「現地調査での確認状況から生息密度が低い」とされ，さらに「周辺には迂回可能な空間が確保されていることから，（中略）事業実施による移動経路の遮断・阻害といった影響はほ とんどない」と述べていることから，①の保全措置を講じることはできない．さらに②はそもそも設置する旨が記載されていないので保全措置として記述する必要がない． 従って，コウモリ類の環境保全措置は何ら行われないことから「実施可能な範囲内で回避， 低減が図られているものと評価する」は，「回避，低減も行われていないと評価する」では ないのか？ 以上．	１）調査前、調査中、調査後において日本及び山口県のコウモリ類の生態や音声に精通した有識者の指導の下、調査、種の同定を行っております。アブラコウモリについてはソナグラムにおける確認も行っておりますが、コウモリ類の研究、調査経験の豊富な者であればヘテロダイン式のバットディテクターにおいてもアブラコウモリ、キクガシラコウモリ、コキクガシラコウモリについては同定は可能です。また、ヘテロダイン式の場合FMコウモリについては同定は困難ですが、アブラコウモリとその他の例えばユビナガコウモリが同空間を飛翔していた場合、アブラコウモリと他の別種がいることの判別は可能であり、今回それに該当するFM音声は確認されておりません。なお、より確実性を高めるためバットディテクターはヘテロダイン式に加えタイムエキスパンション機能を持つ機種を併用しております。（MINI-3(Ultra Sound Advice社製)、D240、D980、いずれもピッターソン社製） ２）最新版のレッドリストでは指定されておりません。修正致します。 ３）今回風車間の距離は狭い所で400mであり、コウモリ類の飛翔能力（種によって異なりますが5mから10mの空間があれば飛翔、旋回可能）から考察すると飛翔空間としては十分であると思われます。調査の実施については、種相の確認に加え、音声の確認頻度によっては多数のコウモリ類が洋上を飛翔する可能性を考慮して実施した次第です。 ４）調査範囲は限られておりますが、日本及び山口県のコウモリ類の生態や音声に精通した有識者の指導の下、調査を行っております。現状、確認頻度から推察して影響が少ないとしておりますが、有識者の見解も同様となります。なお、現在コウモリ類の飛翔ルートは判明していない部分が多く、今回の事業地周辺における過去の確認例もありません。ライトアップについては、設備自体に安全等を目的としてライトが設置されると仮定し、そのライトについて継続的なライトアップは行わないことを意味しております。
	鳥類（特に海鳥類）について 欧米での風力発電アセスメントにおいて，最も影響を受ける分類群として，コウモリ類と鳥類が懸念されており（バット&バードストライク），その影響評価等において重点化され ている．このことを踏まえて本準備書に対して以下の通り意見を述べる． １）表 8.1.4.1.2 の現地調査における鳥類確認種一覧には主に海上をねぐらとするタイプと 陸上をねぐらとするタイプが分かる表記を加えること． ２）表 8.1.4.1.2 で分けた陸域生息種は「8.1.4 動物（陸上に生息する動物）」で記述し， 海域生息種は「8.1.5 動物（海域に生息する動物）」でそれぞれ記述すること． ３）定点調査における目視調査時の識別可能範囲，レーダー調査時の探索範囲を示すこと． また，レーダー調査結果を影響予測および評価に反映すること． ４）陸上から行った，定点（目視・レーダー）およびラインセンサス調査における高度別飛 翔調査は無意味である．結果も陸上および沿岸に偏っている．これは陸上（D 区分）で休息・ 採餌している個体を多くカウントしたものであり，洋上風力における影響評価とは関係がないデータだからである．少なくとも３）の範囲における陸域飛翔確認と海域飛翔確認に分けて結果を示すこと．	１)評価書作成の際に、ねぐらの場所等について記載致します。 ２)方法書の段階で、鳥類は動物（陸域に生息する動物）で掲載しております。方法書から構成を変更すると混乱をきたすことや、準備書の構成は予測評価の結果に影響を与えるものではありませんので、記述は変更致しません。 ３)評価書作成の際に、参考資料として記載致します。また、レーダー調査の結果も踏まえて予測評価を行っています。 参考までに、目視で鳥類が識別可能な距離は側線から概ね2～3km（気象、海象条件にもよりますが）ですので、陸上の定点、ラインセンサス、海上からの船舶トランセクトで事業実施区域をカバーしております。 レーダーの測定範囲は、設置場所から約2マイル（約3.6km）です。 ４)鳥類については、調査前に地元の有識者の意見を伺い、調査方法、調査時期を設定しております。また、調査中、調査後にも適宜指導・助言を受けながらデータ整理、予測評価を実施しております。 予測評価に際しては、対象種の生息場所や生態を踏まえて定性的に評価を行っています。ラインセンサスの結果には陸域も含まれますが、衝突確率の算定は、風車設置エリアを飛翔した個体のみを抽出しております。

4312	5）船舶トランセクト調査結果における，表 8.1.4.1.5 の鳥類確認種一覧，図 8.1.4.1.7 の 側線別確認状況および図 8.1.4.1.8 の飛翔高度区分には，1 年前の調査であるにもかかわら ず，なぜ秋季調査が側線ごとに図化されていないのか？不備な報告である．差し替えすれば 良いものではない．調査結果を揃えてから準備書を開示すべきである． 6）図 8.1.4.1.7 の縦軸及び図 8.1.4.1.8 の横軸の単位を示すこと． 7）「予測及び評価の結果」において，評価対象種の多くが「周辺には迂回可能な空間が確 保されている」と記述されている．それならば最初から調査など行う必要はないのではないの か？ 8）さらに，多くの種が「保全措置の実施により影響を低減できるものと予測される」とされているが，実施される保全措置は以下の①～⑥のとおりで，この影響予測は破綻している． ①地形等を十分考慮し，改変面積を最小限にとどめる． ②工事の実施に当たっては可能な限り，作業の効率化を図り，建設機械の稼働台数の削減 に努める． ③建設機械については可能な限り，低騒音・排出ガス対策型などの低公害型建設機械を使 用する． ④重要な種及び注目すべき種の飛翔ルートを考慮し，風車タワーの配列・位置を検討する． 特に，多くの水鳥の急速場所となる来留見ノ瀬周辺については留意する． ⑤ブレードへの彩色を検討し，視認性を高める工夫を行う． ⑥夜間照明による誘引リスクを低減させるため，夜間のライトアップは行わない．また， 高空障害灯には，鳥類を誘引し難いとされる白色閃光灯を用いる． なぜならば，①は海域生息種には意味がない．②③の稼働前の保全対策はバットストライク の保全にならない．④来留見ノ瀬周辺は別として，調査結果では陸上からの調査を基に衝突 高度（A 区分）の飛翔が少ないと記述されており，風車立地場所での日中の調査が行われて いない．⑤工夫ではなく具体的に効果のあるものを使用しないと意味がない．衝突死を確認 してからでは遅い．⑥そもそも設置する旨が記載されていない．また，レーダー調査におい て夜間の飛翔は少ないとの結果である． 従って，「保全措置の実施を行っても影響を低減できるか不明であると予測される」ではな いのか？ 洋上風力における適切な調査手法を用いて，再度調査を行うべきである． 9）事後調査についても保全措置等の一環として具体的な手法を記述すること． 以上．	5)評価書作成の際に修正し、記載致します。 6)評価書作成の際に修正し、記載致します。 7)予測評価については、地元の有識者の指導・助言を受けながら実施しております。風車間は狭い所で400m以上離れており、鳥類の飛翔能力から回避が可能であると考えられます。 8)前述のように、鳥類については、調査前に地元の有識者の意見を伺い、調査方法、調査時期を設定しております。また、調査中、調査後にも適宜指導・助言を受けながらデータ整理、予測評価を実施しております。 影響低減措置の①～③については、送電線を陸揚げする際に一部地形の改変が生じるため、それを意図したものとなっています。 ④については、船舶トランセクトの調査を実施しており、日中の調査結果に基づいた予測評価を行っております。 ⑤様々な影響低減措置を講じていますが、バードストライクの可能性をゼロにすることはできません。準備書作成後も最新の知見の入手につとめ、より効果があると考えられるものの採用を考えております。 ⑥風車タワーには、航空法に基づき航空障害灯の設置の義務が生じます。準備書の夜間照明とは、航空障害灯を意図したものです。 9)予測の不確実性は残るため、共用後も事後調査を行う予定です。共用後もデータの取得につとめ、衝突リスクが高まると考えられる気象・海象条件の場合は、一部の風車を止める等の弾力的な運用を考えております。 これまでに方法や調査結果等の相談をしてきている地元の有識者（鳥の専門家）の方々と、今後も協議を継続したいと考えております。
4313	自然環境、海の破壊の恐れがある為 これ以上、下関の海を破壊しないでほしいです 近年、魚など捕れなくなっている所に、洋上風力発電など作くれば、なおさら捕れなくなる。人工島の二の舞にならないようにしなければ、ならないと思う。水産都市　下関、 これ以上、自分達の海を自分達で守らなければならない	環境影響評価法では、環境に大きな影響を及ぼすおそれがある一定規模の事業を実施する際に、あらかじめ事業が環境に与える影響を、調査、予測、評価し、その結果に基づき適正な環境配慮を行う事が定められております。 本事業においても、環境影響評価の対象となっており、事業実施前の環境調査結果を踏まえて、予測、評価を行い、環境保全措置を講じることで、自然環境への影響を可能な限り回避・低減するよう努めております。漁場喪失の懸念として魚類への影響が考えられますが、事業の実施により生息環境が変化することによる影響については、風車タワー及びケーブル敷設によるものと、濁りの発生と拡散、建設機械及び施設稼働時の水中音によるものが考えられます。水の濁りについては、濁りの範囲は限定的であること、底質の変化については、有害物質等の影響は小さいこと、地形改変については風車タワーの設置範囲の縮小化、設置基数の削減により改変範囲を可能な限り狭くしたこと、水中騒音については、威嚇レベルの範囲が限定的であることから、生息環境への影響は小さいと予測されています。以上より、生息環境の変化による生息状況への影響は小さいものと考えられ、漁場が喪失する事はないものと考えております。
4314	●コウモリ類の同定根拠について オヒキコウモリ、アブラコウモリをバッドディテクターで固定しているが、科学的な同定根拠を述べよ。アブラコウモリとユビナガコウモリはソナグラムの形ではいずれもFM-CF型で類似している。事業者が同定したアブラコウモリについてユビナガコウモリの可能性はないと言い切れるのか？また、オヒキコウモリについてスミイロオヒキコウモリなど他種の可能性はないのか？	調査前、調査中、調査後において日本及び山口県のコウモリ類の生態や音声に精通した有識者の指導の下、調査、種の同定を行っております。アブラコウモリについてもヘテロダイン方式とタイムエキスパンション機能を併用しております。コウモリ類の研究、調査経験の豊富な者であればヘテロダイン式のバットディテクターにおいてもアブラコウモリ、キクガシラコウモリ、コキクガシラコウモリについては同定は可能です。ユビナガコウモリはソナグラムをみると下部が膨らみアブラとは形が異なります。なお、ソナグラムをみなくてもタイムエキスパンション機能を使用し、その場で音声を確認することでも種の判別は可能です。

	●コウモリ類の同定根拠について 図鑑などに記載されているコウモリのソナグラムは、特定の地域の事例に過ぎず、実際には地域変異もある上、さらに同一個体でさえ多様な声を出す。例えば複数個体のコウモリが同時に飛べば、コウモリは使用する周波数帯を変える。コウモリの音声による同定は可能な種、不可能な種があることを認識するべきであり、調査者の主観による同定は避けるべきではないのか？本事業の調査結果は、本来ならば、ヒナコウモリ科の一種（45khz前後）、オヒキコウモリ科の一種(15khz前後）などと記載し、該当の可能性がある種名または属名を記載するべきではないか？ ●バットディテクターの機種について 事業者が使用したバットディテクターの機種と台数、探知可能距離の記載がない。通常バットディテクターの探知距離は短く、地上または船上からでは、高空、つまり風力タービンの回転範囲の音声は探知できない。事業者が使用したバットディテクターは船上から風力タービンの回転範囲の高さを飛ぶコウモリを探知できるのか? ●バットディテクターの探知距離について 事業者の使用したバットディテクターの探知可能距離の記載がない。通常バットディテクターの探知距離は短く、陸上または船上から風力タービンの回転範囲の高さを飛ぶコウモリを探知できない。 そもそも事業者は使用したバットディテクターの探知可能距離を検証したのだろうか？ 検証したならばその結果を、していないならば至急検証し、使用したバットディテクターが高空、つまりブレードの回転範囲にいるコウモリを探知できるのか説明せよ。 以上	ヘテロダイン式の場合FMコウモリについては同定は困難ですが、アブラコウモリとその他の例えばユビナガコウモリが同空間を飛翔していた場合、アブラコウモリと他の別種がいることの判別は可能であり、今回それに該当するFM音声は確認されておりません。前述の通りバットディテクターはヘテロダイン式に加え、タイムエキスパンションを併用しております。（MINI-3、4台(Ultra Sound Advice社製)、D240、1台、D980、1台いずれもピッターソン社製） また、現在では種の判別のための音声データベースも研究者の間で構築されており、参考にしております。今回、コウモリ類の音声に関する調査研究の第一人者である有識者の協力の元調査を行っております。 収音距離はコウモリ類の発する声の音圧や、機器の感度、気象条件等により異なるので距離を明言することはできません。そのため、メーカーにおいても仕様には記載されておりません。以下は参考として記載させて頂きます。 ・MINI-3　～20m ・D240　～20m、～30m ・D980　～50m 小型コウモリは10～20mが平均的ですが、大型種は条件が良い場合は100mの距離でも拾う場合があります。
4315	●コウモリ調査日の風速や気温、天候の記載がない。 コウモリは通常、強風時や雨天では飛ばない。一方、弱風だと虫とともに高空に上がることが知られる。バットストライクのリスクが高いのは弱風時である。バットストライクの予測において気象条件は重要な要素だ。ではなぜ、事業者はコウモリを調査した日の風速や気温、天候などを記載しないだろうか。また、なぜコウモリが確認できた日とできなかった日の気象条件の違いを明らかにしないのか？ ●コウモリの予測結果について P573 に「生息密度が低いと考えられることから、事業の実施による影響は小さいものと予測される」とあるが、生息密度が低くともバットストライクは生じる。よって影響が小さいとは言えない。生息密度とバットストライクの発生確率をすり替えてはならない。 ●バットストライクによる影響について P574 に「オヒキコウモリに対する影響は小さいと予測される」とあるが、バットストライクによるコウモリ類への影響の「大小の基準」、つまり何個体までなら殺して良いなどという基準があるのか？また重要種以外のコウモリはいくらでも殺してもよいのか？仮にそうならば事業者が年間に殺すつもりのコウモリの個体数を具体的に数値で示せ。コウモリは害虫をたべるので人間にとって益獣である。重要種であろうと普通種であろうと、風力タービンで益獣のコウモリを殺さないで欲しい。 ●バットストライクの保全対策について バットストライクの保全対策としてはカットインスピードを上げることが欧米で行われている。P573 に事業者自ら、「本事業により（コウモリ類へ）ブレード・タワーへの接近・接触といった影響が及ぶ」と明記しているが、バットストライクが予測されるならば、なぜカットインスピードを上げる保全対策を実施しないのか？事業者の調査により洋上にコウモリがいること、年間を通じてコウモリが活動することが明らかとなった。事業者の収集したデータは陸上に比べて洋上の出現頻度が相対的に低いことを示すが、だからと言って洋上でバットストライクが起こらない、影響は小さいなどとは言えないのではないか？ 以上	全調査日程について悪天候はありません。一時的に小雨の状況や強風はみられましたが、強風、強雨の条件下では調査を行っておりません。また調査時間帯に小雨、強風の状況が確認された場合は調査時間としてカウントせず、延べ調査時間3時間以上としております。移動等も含まれますので概ね17時から22時までの3時間以上（時期によっては19時から23時程度)各定点にて調査を行っております。 生息密度というよりは利用頻度と言った方が適切かもしれません。利用頻度が低くてもバットストライクが起こる可能性はあります。今回の調査結果を有識者にも判断頂き、利用頻度は少ないとの判断から種全体に与える影響は小さいとしました。 なお、利用頻度が高いエリアでは例え高高度であっても縦横無尽に飛翔するため地上部において複数回の音声の確認があると考えられます。カットインスピードいついては最新の知見を収集します。 前述にもありますが、影響が小さいとした背景には今回の調査結果、県内の他のエリアにおける確認状況、有識者の見解などを総合的に踏まえて記載させて頂きました。
	●コウモリ類への影響予測について そもそも事業者は、コウモリ類の確認例数が1 晩あたり何回以上ならばバットストライ クがおこると考えているのか？予測の前提条件を示せ。 事業者は1 晩あたり3 時間の調査しかしていないが、日没3 時間後から日の出までの間にコウモリが飛ぶ可能性はないと言い切れるのか？日によって洋上のコウモリの出現場所は変わるのではないか？ 事業者は延べ12 日間のうち2日間で洋上のコウモリを確認した。単純に考えれば洋上における年間の通過個体数は60個体となる。しかしこれはあくまでも1 晩あたり3 時間の頻度なので、実際はもっと多いだろう。単純計算ならば、風力発電施設1 基あたり年間240個体が風力発電施設を通過するということだ。衝突確率が100%なら年間240 個体が死ぬ。衝突確率10%でも年間24 個体が1 基あたりで死ぬ。	確認が1回であっても複数回であってもバットストライクが生じる可能性はあります。定量的な計算結果はご指摘の通りです。日によって時期によって餌場を変えることは知られており、また半年に一回しか確認されない場合もあるため、一概に機械的計算で出現数を求めることも評価に際しては注意が必要です。夜間調査におけるコウモリ類の定量的な調査、特に個体数に関する調査は現在の技術では困難であります。また、音声の確認数＝個体数とはならず、様々な調査結果の状況から判断して音声の確認回数が多い場合はコウモリの個体も複数いる場合が多いということは傾向として言えます。偶来個体と記載した背景には他の確認地域での確認状況や飛来傾向を踏まえ音声の確認回数が少ないとしました（有識者の見解も同様であり結果に反映しております）。

4316	事業者は年間のコウモリの活動時間のわずか0.8%の時間しか調査をしていない。しかも、風力発電施設設置地点のうち、1地点のみだ。また高空、つまり風力タービンの回転範囲内については調査さえしていない。このような「ずさんな調査結果」をもって、バットストライクの予測をすること自体が不適切である。そもそも事業者が行った調査はコウモリ相を把握する調査であるので、バットストライクの予測はできないのではないか？「ブレードタワーへの接近・接触」について適切に調査するならば、風力発電施設全ての地点で、高空、つまりブレードの回転範囲の音声を、日没から日の出まで、毎日自動録音調査するべきではないのか。 ●コウモリ類への影響予測について P573 に「事業実施区域の周辺には迂回可能な空間が確保されていること（略）、から事業の実施による影響は小さいものと予測される」とあるが、迂回可能な空間を確保することよりバットストライクが回避されるという科学的根拠を示せ。仮に本当にコウモリが風力タービンを迂回できるならば、各地でバットストライクなど生じていないし、アセスメントで現地調査をする必要さえないだろう。本準備書に記載した予測結果は、予測というより妄想である。「まともな調査をしていないからバットストライクの予測はできません」と素直に書くべきではないのか。 以上	高空における自動録音についても、海上であることから色々課題があることは事実です。また、自動録音の場合風の影響によるノイズの問題、塩分の問題もありますが、仮に音声を録音できたとしても種相の把握となります。海上の調査地点が1地点であることについては、代表地点とし、環境に大きな違いが見られなかったことから1地点としました。昆虫類の動きによっては日々の活動エリアが変動する可能性がありますが、より効率的に採餌するため正の走行性を持つ昆虫類を採餌している場合が多く、近傍のライトアップされた箇所での確認もなかったことから利用頻度は低く、バットストライクによる種に与える影響は小さいと判断しました。
4317	●コウモリ類への環境保全措置について P801に記載した以下の環境保全措置（施設の稼働）では、バットストライクによる影響を回避・低減できない。 ①重要な種及び注目すべき種の飛翔ルートを考慮し，風車タワーの配列・位置を検討する. ②夜間照明による誘引リスクを低減させるため，夜間のライトアップは行わない. ①については、そもそも事業者はコウモリ類の飛翔ルートの調査をしていない。事業者が調査したのはコウモリがいるかいないかの調査である。コウモリ類について風車タワーの配置・位置の検討を行っていない。よってバットストライクは低減できない。 ②についてはコウモリが風力タービンに誘引されるのはライトアップだけが原因ではない。よってバットストライクは低減できない。 つまり事業者はコウモリ類について、まともに保全措置を実施しないつもりだ。にもかかわらず「環境保全措置を講じることから影響はほとんどないまたは小さい」と記載している。これは欺瞞行為ではないのか？ ●コウモリ類への環境保全措置について カットインスピードをあげることと弱風時のフェザリングは、コウモリ類への保全対策としてすでに海外で実績があり、事業者が唯一「実施可能」な方法である。事業者は自らのHP に「MAEDA 生物多様性行動指針」を定め、「生物多様性の保全と生態系サービスの持続可能な利用に努める」としている。夜間にたくさんの昆虫を捕食するコウモリを殺すのは生物多様性の保全と生態系サービスの持続可能な利用といえるのか？事業者はコウモリ類への環境保全措置としてカットインスピードをあげることと弱風時のフェザリングを実施するべきではないのか？ 以上	今回風車間の距離は狭い所で400mであり、コウモリ類の飛翔能力（種によって異なりますが5mから10mの空間があれば飛翔、旋回可能）から考察すると飛翔空間（迂回空間）としては十分であると思われます。現状、確認頻度から推察して影響が少ないとしておりますが、有識者の見解も踏まえた結果となります。なお、現在コウモリ類の飛翔ルートは判明していない部分が多く、その調査手法も確立されていない部分が多くあります。今回の調査や過去の事業地周辺における多個体の渡り等の確認例もありません。ライトアップについては、設備自体に安全等を目的としてライトが設置されると仮定し、そのライトについて継続的なライトアップは行わないことを意味しております。 カットインスピードをあげる、弱風時のフェザリングについては最新の知見を収集します。
4318	風力発電所建設に対してその事業者は生物多様性に及ぼす影響について、厳粛に認識し、かつ真摯に科学的根拠を持って予測評価しなければならない。風力発電用の風力タービンの建設が、野生生物に与える影響のうち最も深刻な影響は、風車ブレードが直接的に野生動物を殺戮していく重大な影響である。とりもなおさずこの影響を最も受けるのは飛翔動物、つまり日中であれば鳥類、夜間であればコウモリ類であり、これらが衝突することはバードストライク＆バットストライクと呼ばれ、近年国内外でその深刻な影響が認識されるに至った。 にもかかわらず、本準備書に示された内容は、コウモリ類へ与える影響について科学的根拠を持って予測評価するのに甚だしく不十分な調査手法および予測手法で塗り固められており、その評価に至ってはまったくの貴社の独善である。こんなものは環境影響評価準備書に値しない。生物多様性の保全の理念を軽視＆蔑ろにするものであり、CO2削減という錦の御旗の前には、絶滅の恐れのある希少生物であっても犠牲にしても構わないという貴社の企業倫理感の非常識さ＆非誠実さを疑う。問うが、貴前田建設工業株式会社の環境経営の方針あるいはスローガンである「MAEDA 環境方針」には、生物多様性行動指針として「生物多様性	調査前、調査中、調査後において日本及び山口県のコウモリ類の生態や音声に精通した有識者の指導の下、調査、種の同定を行っております。スミイロオヒキは薩南諸島での確認のみで、山口県周辺での確認はありません。オヒキコウモリとスミイロオヒキコウモリの周波数は極似とのことですが、異なります。（スミイロの方が高い周波数で混同の可能性は低い）またヤマコウモリやヒナコウモリなどの種とも周波数は異なります。（※他の種に比べると近い）オヒキコウモリの鳴声は直接耳で聞くことができます。ヤマコウモリ、ヒナコウモリなども直接聞こえることがありますが、コウモリ類の調査について十分な経験のある場合、総合的な条件（生息実態、鳴声の状況、環境等）により判別可能です。今回確認された鳴声はいずれも短時間であったため録音は行えておりませんが、音声に精通した有識者指導の下同定を行っていること、県内別箇所においてオヒキコウモリの音声確認を行った上で調査を実施しております。（鳴声及びソナグラムの確認）ヒナコウモリはソーシャルコールなど特別な場合のみ聞こえることがありますが今回確認されておりません。

	の保全」がまず第一義に何度も繰り返し掲げられているではないか？ しかし、本事業計画においてはコウモリ類へ与える影響を科学的には調べておらず、従って予測も評価も成立しない。すなわち貴社の経営方針である「生物多様性の保全」は実態のない空虚なスローガンであると言わざるを得ないがそれで宜しいか？ さらに適切な調査および予測評価が実行されていないのだから、もう1つのスローガンである「生態系サービスの持続可能な利用」とは、そこに希少な野生生物が存在すると判っていても科学的に根拠のある調査をせず、科学的に根拠のある予測をせず、独善的なまやかしの評価を行なって、事業を強行することと言うことになるがそれで宜しいか？ 本事業における生物多様性の保全、ここではとりわけ希少なコウモリ類が存在することが判っていながらも適切な調査も予測評価も行なっていないことを指摘しているが、「MAEDA環境方針」に照らし合わせ貴社のコウモリ類への影響と保全に対する考え方を事業者見解書にまず開陳していただきたい。 その上で、以下、本準備書の調査内容および予測評価手法の非科学性と不適切な部分を指摘する。 ●オヒキコウモリの同定根拠について バットディテクターを用いた現地調査により、オヒキコウモリを確認したとしているが、その同定根拠となるソナグラムを事業者見解書に示し、本種として同定した理由を説明すること。とりわけ極似した周波数とソナグラムを持つと考えられるスミイロオヒキコウモ リとの識別点について、さらには近似した周波数とソナグラムを持つヤマコウモリ、ヒナコウモリ、ヒメヒナコウモリとの識別点について明確に説明すること。同定根拠不十分ということはあり得ないはずだが、ソナグラムからの同定根拠を示せない場合には、事業者 見解書においてオヒキコウモリを確認したことを取り下げ、「コウモリ類の調査は不十分であるので追加調査を1ヶ年実施する」と明記すること。	
4319	●アブラコウモリの同定根拠について バットディテクターを用いた現地調査により、アブラコウモリを確認したとしているが、その同定根拠となるソナグラムを事業者見解書に示し、本種として同定した理由を説明すること。特に類似したFM-CF 型の超音波を発するユビナガコウモリとの識別点について明確に説明すること。同定根拠不十分ということはあり得ないはずだが、ソナグラムからの同定根拠を示せない場合には、事業者見解書においてアブラコウモリを確認したことを取り下げ、「コウモリ類の調査は不十分であるので追加調査を1 ヶ年実施する」と明記すること。 以 上	調査前、調査中、調査後において日本及び山口県のコウモリ類の生態や音声に精通した有識者の指導の下、調査、種の同定を行っております。アブラコウモリについてはソナグラムにおける確認も行っておりますが、コウモリ類の研究、調査経験の豊富な者であればヘテロダイン式のバットディテクターにおいてもアブラコウモリ、キクガシラコウモリ、コキクガシラコウモリについては同定は可能です。ユビナガコウモリはソナグラムをみると下部が膨らみアブラとは形が異なります。なお、ソナグラムをみなくてもタイムエキスパンション機能を使用し、その場で音声を確認することでも種の判別は可能です。ヘテロダイン式の場合FMコウモリについては同定は困難ですが、アブラコウモリとその他の例えばユビナガコウモリが同空間を飛翔していた場合、アブラコウモリと他の別種がいることの判別は可能であり、今回それに該当するFM音声は確認されておりません。バットディテクターはヘテロダイン式に加え、タイムエキスパンションを併用しております。（MINI-3(Ultra Sound Advice社製)、D240、D980、いずれもピッターソン社製） また、アブラコウモリは飛び方も特徴的であり目視確認も同定根拠要因の一つとなります。同時空間においてユビナガコウモリも飛翔していた場合、飛び方が異なり目視できた場合はある程度アブラコウモリとそれ以外の種がいることが判別可能です。今回は上記の通り目視、音声の両方で判別しております。
4320	●調査で使用したバットディテクターのスペックを示せ 現地調査で使用したバットディテクターの性能を明らかにすること。ヘテロダイン式のバットディテクターを使用しているのならば、任意に設定した周波数の反応しか得られないことになり、その場合の種の判断は調査員の主観によるものになる。言うまでもないが、これでは科学的に根拠の示せる調査結果になり得ず、客観的検証に耐えない。まず、事業者は使用したバットディテクターのメーカー名と機種名を見解書に示すこと（言うまでもないがヘテロダイン式はありえない。フリークエンシー・ディビジョン方式であったとしても大差はない。ソナグラムが得られる方式でなければ同定根拠は示せない）。 また、風力発電所建設における環境影響評価である以上、その最大の懸念は回転するブレードにコウモリ類が衝突すること（バットストライク）なので、バットディテクターの探知可能距離は、海面上からブレード回転範囲の天端まで達していなければならない。従って、バットディテクター の探知性能（探知距離）についての性能表を事業者見解書に示すこと。探知距離を示す必要がある周波数は、オヒキコウモリ、ユビナガコウモリ、アブラコウモリだけでなく、山口県および隣接する福岡県に生息するすべてのコウモリ類の周波数についてでなくてはならない。	バットディテクターはヘテロダイン式に加え、録音可能なタイムエキスパンションを使用しております。（MINI-3(Ultra Sound Advice社製)、D240、D980、いずれもピッターソン社製）各機種の性能については、以下のとおりです。 収音距離はコウモリ類の発する声の音圧や、機器の感度、気象条件等により異なるので週音距離を明言することはできません。そのため、メーカーにおいても仕様には記載されておりません。以下は参考として記載させて頂きます。 ・MINI-3　～20m ・D240　～20m、30m ・D980　～50m 小型コウモリは10～20mが平均的ですが、大型種は条件が良い場合は100mの距離でも拾う場合があります。 なお、ソナグラムについてはヘテロダインでもフリークエンシでも得られます。より分かり易くするためにタイムエキスパンション機能を仕様しております。高度については海上ということもあり調査方法が限られてきますが、多くは森林性コウモリであり、海上で活動する活動する可能性の種は限られ、オールシーズン海の上で活動する種はおりません。今回飛来の可能性がある種としてユビナガコウモリやオヒキコウモリを挙げておりますがその他の種につい

	なお、過去にバットディテクターのメーカーから性能表が公表されていないので示せないと事業者見解書に回答してきた悪質な事業者が見られたが貴社はそのようなことはないと信じたい。国内の他の風力発電事業ではバットディテクターの探知性能（探知距離）を各周波数それぞれ調べ上げ示している誠実な事業者もあることから、貴社だけそれができないと言うのは理屈として通らないと申し添えておく。 もし、この点で科学的根拠の得られる調査が行えていないのであれば、「コウモリ類の調査は不十分であるので追加調査を1ヶ年実施する」と明記すること。	ても周波数帯や音声は事前に把握しており、調査時に確認も行っております。
4321	●コウモリ類の同定根拠について 本準備書の調査ではコウモリ類の同定根拠が何に基づいているのか明確に示されていない。音声に頼っているのであればソナグラムを示す必要があるが、本準備書の内容を見ると調査員の主観によっているのではないか？ 例えばヘテロダイン式およびフリークエンシー・ディビジョン式のバットディテクターを用いて調査をしているのならば、その種同定根拠は調査員の主観によるものであり、科学的根拠は一切証明できない。よってこれらの方式のバットディテクターを使用しているなら、「コウモリ類の調査は不十分であるので追加調査を1 ヶ年実施する」と明記すること。例えソナグラムを得られるバットディテクターを用いたとしても、図鑑などに示されているコウモリ類のソナグラムは、その種のコウモリ類の発する超音波の一部に過ぎず、地域 変異の幅も大きく、同一個体であっても状況に応じて多様な声を発する。ソナグラムを得たとしてもこのような課題が残ることから、音声による種判別は慎重に行わねばならず、ましてや調査員の主観による種判別などあってはならない。客観的な根拠を示せないならば、その調査は意味を持たず、無効であるということに他ならない。本準備書におけるコウモリ類の音声による種判別についてどのような基準を設けて判断しているのか貴社の見解を事業者見解書に述べよ。また、目視でアブラコウモリを確認したとあるが、目視でアブラコウモリと種同定できる根拠も事業者見解書に示すこと。	調査前、調査中、調査後において日本及び山口県のコウモリ類の生態や音声に精通した有識者の指導の下、調査、種の同定を行っております。同定は目視、バットディテクターによる音声確認、直接聞く（オヒキコウモリ限定）といった複合的な方法により同定を行っております。バットディテクターはヘテロダイン式に加え、タイムエキスパンションを併用しております。（MINI-3(Ultra Sound Advice社製)、D240、D980、いずれもピッターソン社製）
4322	●コウモリ類の調査日の気象条件を示すこと コウモリ類は通常、強風時や雨天では飛ぶことが少ない。一方、風が弱い時には舞い上がる昆虫類を捕食するために高空にまで上がることが知られている。バットストライクのリスクが高いのは風が弱い時であることから、バットストライクの予測において最も重要な 要素は気象条件である。にもかかわらず、なぜ貴社はコウモリ類の調査をした日時の気象条件（天候、風速、風向き、気温、湿度、月齢など）を示さないのか？ これでは現地調査で確認されたオヒキコウモリやアブラコウモリと貴社が推測しているコウモリ類の出現傾向が、貴社の言うように本当に偶来個体や通過個体なのか、それとも本来は毎晩出現しているのにたまたま気象条件的に確認できなかった日が含まれるのか一切判断できない。これは極めて非誠実な準備書の記述方法である。あたかもコウモリ類が飛ぶ可能性が低い日も含めて調査日を設けて、数少ない飛来記録を偶来記録として処理してしてしまいたいという貴社の思惑が見え隠れしている。コウモリ類の調査日の気象条件を事業者見解書に整理すること。なお、言うまでもないが、コウモリ類が飛ぶ可能性が低い気象条件の日に調査を実施しているなら、その調査日は無効である。 以 上	調査日の気象状況については記録しております。強風、強雨などの悪天候時に調査は行っておりません。
4323	●専門家等の助言について 表6.1.1（P215） 専門家等の助言において哺乳類（コウモリ類）の専門家と称する学芸員は、イエコウモリを挙げている。これはアブラコウモリ（別名イエコウモリ）のことである。本準備書における種名の扱いについて本準備書は一貫性がない。コウモリ類の分類について貴社は十分な知識を有していないのではないか？ 種名の扱いは統一すること。	ヒアリング時の文言をそのまま使用しておりました。和名はアブラコウモリに統一致します。

4324	●調査時間について P-568において貴社はコウモリ類の調査時間を日没後3時間程度実施したと示している。コウモリ類は夜行性の動物なのでその活動時間は日没時刻から夜明け時刻まで続く。風力タービン（ブレード）が回転している時間は、無風もしくはブレードの回転を止めない限りコウモリ類が活動している全時間帯に該当する。従って、コウモリ類がバットストライクに遭う可能性は日没時刻から夜明け時刻までとなるはずだが、なぜ現地調査は日没後3時間程度で済まされるのか？ 深夜帯や夜明けに近い時間帯でもコウモリ類が衝突するリスクは当然あるが、なぜ日没後3時間の調査だけで十分と貴社は考えるのか？ 夜間の長さは季節によっても異なるが、コウモリ類の飛ぶ時間帯が夜間9～12時間あるとすると、日没後3時間の調査とは、夜間全体の1／3～1／4の時間帯しかコウモリ類の飛翔状況を確かめていないと言うことになる。深夜帯あるいは夜明けに近い時間帯にもバットストライクを生じる可能性があるはずだが、なぜ事業者はその時間帯のコウモリ類の飛翔状況調査（通過頻度調査）をしていないのか？ その理由を説明せよ。	調査前、調査中、調査後において日本及び山口県のコウモリ類の生態や音声に精通した有識者の指導の下、調査、種の同定を行っております。調査時間についてもコウモリ類に精通した学芸員及び有識者に確認の元実施しております。なお、コウモリ類の活動時間については日没後が活発でありますが、種によっては夜間や早朝に活発な時間帯も存在します。アブラコウモリについては行動範囲が狭く、生息の有無の把握、飛翔範囲の把握に際して時間帯により遠方に飛翔するという認識ではないためこの時間に設定しました。オヒキコウモリついては移動能力が高いものの個体数の把握は現状困難であり、利用の有無の確認が主となります。そのため、深夜、明け方に飛来する可能性はありますが、他の県内複数の飛来箇所の確認状況も踏まえ時間を設定しております。
4325	●オヒキコウモリの確認状況の考え方について 本準備書に示されたオヒキコウモリの確認状況は、冬季に福江地区で1個体の鳴き声が微かに聞こえたというもの、さらに春季に洋上において1個体の鳴き声が聞こえたと言うものである。この確認状況からは冬季および春季には3日に1度は貴社がオヒキコウモリと推測するコウモリ類が調査範囲に出現していることが証明されたと言うことだ。つまり冬季と春季が合わせて6ヶ月（180日）あるのだから、この期間にどんなに少なく見積もっても60回は調査範囲に出現していると言うことになる。同様に春季に洋上で1回確認されているということは、春季90 日）だけで検討しても30 回は対象事業実施区域に出現する可能性があると言うことだ。さらに現地調査は日没後3 時間程度しか実施していないのだから、実際の飛来頻度はその3～4 倍に達する可能性がある。にもかかわらず、本準備書の調査結果の記述内容は、あたかも偶発的な飛来に過ぎず、影響が及ぶはずがないと決めつけたいようだ。定性的な記述に終始しているが、定量的に考えれば6 ヶ月最低60 回、調査時間を考慮すれば180～240 回も飛来する可能性があることが、本準備書の内容から判断できる訳だが、この回数を見ても貴社はこれを偶発的な飛来と考えるのか？ 1 晩あたり3 時間の調査を3 日間実施し、貴社がオヒキコウモリと推測するコウモリ類の飛来が確認されたということは決して少ない飛来回数であるはずがない。この点を偶発的な飛来として処理しようとしている点で本準備書の内容は極めて悪質と言える（コウモリ類の調査および予測評価を適切に行える調査会社に調査を委託していないこと、あるいは貴社の生物多様性保全に対する姿勢の問題である）。事業者見解書において、オヒキコウモリの確認状況について定量的な視点を盛り込んで調査結果を訂正し、当然ながら予測および評価もやりなおすこと。言うまでもないが、オヒキコウモリは絶滅のおそれのある重要種である。 以 上	定量的な計算結果はご指摘の通りです。日によって時期によって餌場を変えることは知られており、また半年に一回しか確認されない場合もあるため、一概に機械的計算で出現数を求めることも評価に際しては注意が必要です。夜間調査におけるコウモリ類の定量的な調査、特に個体数に関する調査は現在の技術では困難であります。偶来個体と記載した背景には他の確認地域での調査経験や飛来傾向を踏まえたこともあります（有識者の見解も反映しております）。近傍におけるオヒキコウモリのねぐらは広島県において1箇所確認されておりますが、その他山口県内においても複数箇所で飛翔は確認されております。
4326	●偶来個体および通過個体の考え方 本準備書においては洋上で確認されたオヒキコウモリもアブラコウモリも偶発的に飛来した個体（偶来個体）または通過個体として扱われている。果たしてそうであろうか？偶発的に飛来した個体であることを証明するためには、対象事業実施区域に近づいてもすぐに立ち去る行動、あるいは飛来すること自体が稀であることを証明しなくてはならない。しかし、貴社の調査手法ではバットディテクターの探知性能（探知距離）が明らかにされていない。バットディテクターのスペックを明らかにするよう重ねて要求するが、貴社のコウモリ類の調査手法では「哺乳類（コウモリ類）調査地点」の近傍の超音波しか捉えられていないのではないか？（これについて反論するのであればバットディテクターの機種名と性能表を明らかにすること）。 バットディテクターの探知距離が狭く調査地点近傍の超音波しか捉えられていないのならば、探知されたコウモリ類の超音波は短時間で探知不能な場所に去ってしまうのは当然である。このようなバットディテクターの性能不足に起因する確認時間の短さを、偶発的に飛来したもの、あるいは通過個体と過少評価している可能性が高いことを指摘する。対象事業実施区域は南北3km以上、東西2km以上に達するが、洋上に設定した調査地点のバットディテクターは、このうち何％の範囲を調査できていたのか明らかにすること（平面での面積ではなく、立体空間として）。逆説的に問うが、それは対象事業実施区域の何％しか調査できていなかったということであり、なぜその程度の範囲しか調査できていないのに洋上に出現したコウモリ類が偶発的な飛来個体や通過個体だと判断できたのか、事業者見解書に説	現在のバットディテクターの機能は限度があり、一般的な調査手法、最適と思われる方法を起用しております。偶来と判断した背景には他の確認地域での調査経験や飛来傾向を踏まえたこともあります。また、偶来、通過個体ではなく、その周辺をエサ場として飛来、利用している場合、確実に複数回以上の音声の確認があると考えられます。3時間の調査で1回の確認を6か月に換算すると240回となりますが、オヒキコウモリの飛翔能力を考えるとこの頻度はどこにでも起こり得る頻度と考えられます。 長期音声録音、長期間現地調査、Xバンドレーダー調査は行っておりません。コウモリ類は鳥類に比べ小型であり、現在群れで渡りをする事実は確認されておりません。（沖縄など南方系の特定のコウモリは島内において群れで移動することが確認されておりますがユビナガコウモリについても単体の長距離移動の記録はあるものの群れでの移動の記録はありません。）そのため、予測には不確実性を伴うため事後調査を実施するの一文を加え、稼働後も引き続き調査を行い、データの収集に努める計画です。 ・MINI-3　～20m ・D240　～20m、30m ・D980　～50m 小型コウモリは10～20mが平均的ですが、大型種は条件が良い場合は100mの距離でも拾う場合があります。

	明せよ。飛来頻度を客観的に評価するためには、年単位の期間を通じた音声録音調査を終夜、全天候で実施していなければ不可能である。あるいはXバンドレーダーの活用である。いずれにせよ長期間音声録音調査もXバンドレーダーの活用も行なっていない以上、本準備書の内容では、対象事業実施区域におけるコウモリ類の飛来頻度および飛来する理由については何も把握できていないということだ。何もわかっていない以上、どのような影響が発生するか予測は不可能であり、その評価は事業者の独善あるいは科学を無視した創作話に過ぎない。コウモリ類へ及ぼす影響について客観的な根拠を持って予測評価するため、ソナグラムが得られるバットディテクターを用いた長期間高度別音声録音調査を追加調査する必要があると強く意見する。 以 上	
4327	●コウモリ類が洋上で採餌している可能性を検討せよ 本準備書の内容では、バットディテクターの性能不足の可能性があるにもかかわらず（初歩的な知見に基づく）生息環境嗜好性の観点から、洋上で確認されたオヒキコウモリもアブラコウモリも洋上は普段の生息環境ではなく、偶発的に飛来した個体や通過個体だと独断で決めつけている。これは暴論としか言いようがない。コウモリ類が食料とする小型のエサ昆虫は、沿岸から数kmと言うことであれば、風に吹き寄せられ洋上に集まっている時期や気象条件の日がある。言うまでもないが、コウモリ類は最も採餌効率の良い場所でエサを獲るため、採餌場としての環境嗜好性には陸上であろうと、洋上であろうと大きな違いはない。近年、コウモリ類が積極的に洋上で採餌している事例が見つかっている以上、洋上で音声が確認されたと言うことならば採餌場としての利用の可能性を検討する必要がある。 よって、そのような目的で洋上に出現するコウモリ類が風力タービンのブレードに衝突する「衝突リスク」を定量的に把握・検討する必要があると意見する。なお、性能が不足しているバットディテクターで得られた変換音や直接耳に聞こえる可聴音に、コウモリ類が採餌している時に発する特有の音声が含まれていなかったから洋上では採餌はしていないなどとする言い訳をするのであれば甚だ見苦しい。もし、それを言うのであれば、洋上の調査地点はバットディテクターを用いて対象事業実施区域の何%の空間（平面ではなく、立体空間として）を調査対象として網羅できていたのか説明せよ。洋上に出現したコウモリ類がどんな目的で洋上に出現していたのか推測できるほどの精度の高い調査は行われていないはずだ。 以 上	通常採餌場として利用されている場合エコロケーションコールの探知は困難ではありません。高高度であっても頻繁に移動しており音の探知がゼロということはありません。洋上で採餌している可能性はあります。但し、現在の調査能力では高高度の状況については把握が困難です。偶来、通過の可能性が高いと記載した背景には他の確認地域での調査経験や飛来傾向を踏まえたこともあります。また、偶来、通過個体ではなく、その周辺をエサ場として飛来、利用している場合、確実に複数回以上の音声の確認があると考えられます。採餌音の確認がなかったため洋上で採餌している可能性がないとは言えません。今回前述の通り、採餌している場合、昆虫もある程度存在し、音声が複数回以上聞こえると認識しております。採餌場は確認されておりません。
4328	●ユビナガコウモリに対する予測結果について① 表8.1.4.2.4（P573）の著しい不備を指摘する。まず、ユビナガコウモリは現地調査においては確認されなかったとしているが、アブラコウモリとの区別をどのように行なったのか、ソナグラムを示して明確に回答すること。ソナグラム波形は両種とも極めて類似したFM-CF型であり区別が難しい。もし仮にヘテロダイン式やフリークエンシー・ディビジョン方式のバットディテクターによる調査しか実施していないのであるならば、その変換音からユビナガコウモリとアブラコウモリの区別は不可能であるはずだ。アブラコウモリとして確認したものの中にユビナガコウモリが含まれていた可能性がないのかについてもデータを示して言及すること。根拠を示せないのであれば、重要種であるユビナガコウモリを確認するための適切な調査を欠いていたことを事業者見解書に明記し、追加調査を実施すること。	タイムエキスパンション機能により識別可能です。コウモリ類の調査研究の経験を有していれば、区別は難しくありません。ソナグラムによる確認も行っております。また、今回日本及び山口県のコウモリ類の生態や音声に精通した有識者の指導の下、調査、種の同定を行っております。ユビナガコウモリが飛来した場合、周波数は重なる部分がありますが、バットディテクターによるヘテロダイン、タイムエキスパンションのいずれにおいても再生音は異なります。
4329	●ユビナガコウモリに対する予測結果について② 表8.1.4.2.4（P573）の著しい不備を指摘する。ユビナガコウモリの生態的特徴として、群れの規模は数百個体などではない。国内でも数万頭規模のものが見られる。環境影響評価を行うためには最新知見を最大限集めるのが事業者の基本的な姿勢だと思うが、図鑑程度のものしか資料を収集せずに検討しているのではないか？ 貴社の生物多様性保全に対する姿勢を疑う。	ユビナガコウモリは繁殖期、冬眠気に群れを成すことがあります。その規模は単体から数百、数千、数万となります。それ以外の時期でも数百の群れは確認されております。近隣では県内でも少なくとも2か所の巨大なコロニーが確認されております。数百の群れも複数箇所で確認されております。過去の研究文献をみても巨大な群れで移動する報告はなく、不明な点が多いことは事実です。また。本種は単独、数個体で移動する場合が主であり、各地から集まって巨大なコロニーを形成します。季節的な大移動や巨大な群れを成して移動していると断言できるものではありません。

4330	●ユビナガコウモリに対する予測結果について③ 表8.1.4.2.4（P573）の著しい不備を指摘する。ユビナガコウモリの生態的特徴として、「稀に長距離移動を行うことが確認されている」とあるが、ユビナガコウモリの基本的な生態、特に季節移動について貴社が全く理解していないことを如実に露呈している。ユビナガコウモリに対する最新の研究成果を全く踏まえていない非常識極まりない記述と言え、この予測は全く根拠を持たない。このような知見しか有していないのであるならば、仮に調査範囲およびその周辺地域にユビナガコウモリが生息あるいは通過していたとしても、予測評価はもとより、現地調査で適切にその存在の有無を確認できているか非常に疑わしい。貴社はまず、ユビナガコウモリの国内における季節移動の実態について再度情報整理をし、さらに西日本（関西、中国、四国、九州地方）における本種の利用洞の分布とそれら洞穴間における季節移動について整理して事業者見解書に示すこと（ただし、重要種保護の観点から洞穴名は秘匿すること。西日本を概観できる縮尺の地図で示すこと）。これらを整理することにより当然ながら山口県の日本海側にユビナガコウモリの移動ルートが存在する可能性があることが理解できるはずだが、その場合の予測および評価は違ったものになるはずだ。ユビナガコウモリに対する予測および評価をやり直すことを要求する。	ユビナガコウモリは繁殖期、冬眠気に群れを成すことがあります。その規模は単体から数百、数千、数万となります。それ以外の時期でも数百の群れは確認されております。近隣では県内でも少なくとも2か所の巨大なコロニーが確認されております。数百の群れも複数箇所で確認されております。過去の研究文献をみても巨大な群れで移動する報告はなく、不明な点が多いことは事実です。また。本種は単独、数個体で移動する場合が主であり、各地から集まって巨大なコロニーを形成します。季節的な大移動や巨大な群れを成して移動していると断言できるものではありません。
4331	●ユビナガコウモリに対する予測結果について④ 表8.1.4.2.4（P573）の著しい不備を指摘する。ユビナガコウモリへの「影響予測」として、陸域の環境は改変されないこと、ねぐらとなる洞穴が存在しないことから影響はほとんどないと予測しているが、それは嘘である。ユビナガコウモリが洋上を飛ぶことを全く考慮に入れていない。1例をあげれば、近年伊豆大島ではユビナガコウモリが新たに確認された。これは本州から洋上を超えて渡ったものと考えられている。この事例を踏まえれば、沿海数km程度に位置する対象事業実施区域の範囲を季節移動時に通過している個体がいる可能性があるということだ。そのユビナガコウモリを確認するのに、十分に科学的な根拠を持つ精度で現地調査を行なったのか事業者見解書に説明すること。十分に科学的な根拠を持つ精度とは、フルスペクトラム録音が可能なバットディテクターで1ヶ年、終夜全天候下での飛来状況を録音し、ソナグラムを用いて本種の洋上における飛来状況を検討する水準のものでなければならない。それが実施されていないのであれば、ユビナガコウモリが現地調査では確認されていないと言い切ることは不可能である。 以 上	ユビナガコウモリは屋久島や南西諸島でも確認されております。季節移動で利用している可能性はあります。季節移動については調査の限界もあり、毎日の調査は現在のアセスメント手法においては一般的ではありません。繁殖期、冬眠期に群れを成すことがありますが、その規模は単体から数百、数千、数万となります。近隣では県内でも少なくとも2か所の巨大なコロニーが確認されております。過去の研究文献をみても巨大な群れで移動する報告はなく、不明な点が多いことは事実です。巨大な群れを成して移動していると断言できるものではありません。季節移動についても単体での移動が主であり、冬眠期や出産期に集まる傾向があります。調査はタイムエキスパンション機能を有する機種を併用しており、再生音やソナグラムによる種の判別も行っております。
4332	●ユビナガコウモリおよびオヒキコウモリに対する予測結果について① 表8.1.4.2.4（P573）においてコウモリ類に与える影響予測について極めてでたらめな、いかに貴社側に都合のいい影響予測が行われているかを指摘する。 本準備書の予測結果「生息環境の減少・喪失」について、①迂回可能な空間が確保されていること、②普段生息・採餌環境としている可能性が低いこと、③生息密度が低いことから、影響は小さいものと予測している。では貴社に問うが、①迂回可能な空間とはどの部分か？ 図示すること。さらに迂回する対象が風力タービン1基毎だとすると、コウモリ類が適切に迂回をするには風力タービン毎の間隔は何m空いていればコウモリ類は適切に迂回できるのか、研究実例を挙げて、安全とされる風力タービン間の距離を具体的な数値をもって示すこと。それが示せないのであれば、迂回できるという貴社の予測は何ら根拠を持たないものであり、この予測は貴社側に都合がいいことばかりを書いた悪意ある作文に過ぎない。また、重ねて聞くが、風力タービンの最もコウモリ類にとって脅威になる回転するブレード先端はコウモリ類に認識できるのか？ 海外の先行研究では、高速で回転するブレード先端はコウモリ類にとって探知不能だとしている。だとすると、迂回可能というのは何ら根拠がないのではないか？ 一方、迂回する対象が対象事業実施区域全体だとすると、まず対象事業実施区域のような広い範囲をコウモリ類が本当に外周を迂回するのか、実例を挙げての説明を求める。さらに、対象事業実施区域全体を迂回することにより、「障壁影響」としてコウモリ類の移動に余分なコストがかかる訳だが、そのことがコウモリ類へ与える影響を全く考慮していない。この点（障壁影響）についても影響は小さいとする理由を明確に説明せよ。②については普段生息・採餌環境としている可能性が低いかどうかなど、本準備書の調査水準からでは判断できないことは前述した。よってこの予測は破綻している。③については生息密度の調査は一切行われていない。よってこの予測も破綻している。以上の点について、県知事意見による「環境配慮の実施に当たっては、科学的な根拠及び合理的理由をもって行うこと」に従って、事業者見解書に科学的根拠を伴った説明を求める。	今回風車間の距離は狭い所で400mであり、コウモリ類の飛翔能力（種によって異なりますが5mから10mの空間があれば飛翔可能、鋭角での狭い空間でも飛翔可能です）から考察すると飛翔空間としては十分であると思われます。調査の実施については、種相の確認に加え、音声の確認頻度によっては多数のコウモリ類が洋上を飛翔する可能性を考慮して実施した次第です。海外の文献等においては風車のブレードは認識できないとの報告があります。また、その情報も事前に把握しております。偶発的な事故はゼロにはできません。突然横方向からくるブレードの動きについては認識確率が下がると考えられますが、風車本体やブレードをある程度認識することは可能と考えております。 専門家のヒアリング結果も踏まえ、採餌バズもきこえておらず採餌場として利用している可能性は非常に低いと判断しました。また、生息密度ではなく、利用頻度が低いと調査結果より判断しました。この結果は有識者にも確認いただいた上での結論となります。

4333	●ユビナガコウモリおよびオヒキコウモリに対する予測結果について② 表8.1.4.2.4（P573）においてコウモリ類に与える影響予測について極めてでたらめな、いかに貴社側に都合のいい影響予測が行われているかを指摘する。 本準備書の予測結果「移動経路の遮断・阻害」の内容が完全に根拠がなく破綻していることは前述した通りである。迂回可能な空間が確保されていると言うならば、風力タービン毎の隙間が何mあればコウモリ類は迂回可能なのか実例と数値を示して説明すること。対象事業地全体を迂回すると言うのであれば、同様にその実例と数値を示して説明すること。特に「障壁影響」がコウモリ類に与える不要なコストの点を踏まえて予測をやり直すこと。なお、生息密度が低いと予測しているが、その予測は根拠がないことは前述した。本準備書の内容からは最低でも年間180～240回は飛来する可能性があることが読み取れるが、では年間何回までであれば飛来頻度が少なく、影響は小さいと判断するのか回答せよ。また、本準備書の内容は定性的な調査のみであり、客観的に生息密度を示せる調査を実施していない。よって生息密度の観点からの影響予測は不可能である。よってこの予測も破綻（調査してもいないことを予測している）している。 以上の点について、県知事意見による「環境配慮の実施に当たっては、科学的な根拠及び合理的理由をもって行うこと」に従って、事業者見解書に科学的根拠を伴った説明を求める。	コウモリ類の飛翔能力（種によって異なりますが5mから10mの空間があれば飛翔可能、鋭角での狭い空間でも飛翔可能）は急速転回も可能であり、迂回に際して飛翔空間としては十分であると思われます。定量的な計算結果はご指摘の通りです。夜間調査におけるコウモリ類の定量的な調査、特に個体数に関する調査は困難であります。偶来個体と記載した背景には他の確認地域での調査経験や飛来傾向を踏まえたこともあります。仮に6か月で240回単体個体が飛来する場合、その数が多いか少ないかについては各種の総数の把握が必要になります。近傍におけるオヒキコウモリのねぐらは広島県において確認されておりますが、その他山口市内においても飛翔は確認されております。飛来回数は機械的（比例的に）に算出できるものではなく、他の地域や経験により主たる利用域ではないと判断しました。定性的な内容になっていることについてはコウモリ類の調査特性上個体数の科学的調査は困難であるとの認識です。（音声の確認で個体数の推測は難しい）なお、餌場等の利用域にしているのであれば高高度での活動であっても一定の高さのみを利用するわけではなく、複数回の音声確認があると思われます。
4334	●ユビナガコウモリおよびオヒキコウモリに対する予測結果について③ 表8.1.4.2.4（P573）においてコウモリ類に与える影響予測について極めてでたらめな、いかに貴社側に都合のいい影響予測が行われているかを指摘する。 本準備書の予測結果「ブレード・タワーへの接近・接触」では、ユビナガコウモリは生息が確認されていないので影響はほとんどない、オヒキコウモリは影響が及ぶ可能性があるが、迂回可能な空間が確保されること、生息密度が低いと考えられることから影響は小さいものと予測している。 これらの予測が科学的根拠を一切持たず、貴社の悪意ある創作に過ぎないことは前述した。科学的根拠を持たないと言うことは、環境影響評価において必要な手続きを無視し、勝手に省略していると言うことであり、これは極めて悪質な準備書の内容と言えるだろう。 ブレードやタワーに接近・衝突すること、これがまさにバットストライクの予測ということになるが、本準備書の内容はこの点でも全く根拠のない予測を行なっている。科学的根拠の得られる調査もしていないのに、「迂回可能な空間が確保されているので影響は小さい」などと予測できるのならば、そもそも最初からコウモリ類を調査する必要などないのではないか？ バットストライクが発生するかどうかは、「衝突頻度（衝突リスク）」を算出しなければ求められないはずである。にもかかわらず貴社は「衝突頻度」を求める努力を一切していない。「衝突頻度」を算出するためには、対象事業実施区域内における定量的な飛来頻度調査を実施していなければ不可能である。定量的な飛来頻度を調査するためには、フルスペクトラム録音が可能なバットディテクターを用いた年単位、全天候下、高度別でのコウモリ類の音声の長期間録音しか方法がないことは、欧米の先行研究が示している。貴社は欧米の風力発電所建設におけるコウモリ類の環境影響評価調査マニュアルを参照しなければならない。本準備書ではバットストライクが予測できるような調査を実施していないことを、事業者は素直に認め、「ブレード・タワーへの接近・接触」を予測するのに不足している内容を追加調査する必要があると強く意見する。 以上の点について、県知事意見による「環境配慮の実施に当たっては、科学的な根拠及び合理的理由をもって行うこと」に従って、事業者見解書に科学的根拠を伴った説明を求める。	仮に、フルスペクトラム録音が可能なバットディテクターを用いた年単位、全天候下、高度別でのコウモリ類の音声の長期間録音を行ったとしても、利用個体数に関しては定量的な分析は不可能と思われます。しかし、音声確認が多い場合には採餌場等として利用されている場合は多く、今回の調査結果では確認回数も少なかったことから、その可能性も低いと判断しました。結果については有識者の見解も反映しております。

4335	●ユビナガコウモリおよびオヒキコウモリに対する予測結果について④ 表8.1.4.2.4（P573）においてコウモリ類に与える影響予測について極めてでたらめな、いかに貴社側に都合のいい影響予測が行われているかを指摘する。 本準備書の予測結果「夜間照明による誘引」では、ライトアップを行わないので夜間照明による誘引の影響はほとんど無いと予測している。 ユビナガコウモリやオヒキコウモリがエサとしている昆虫類が正の走行性を持つものなのか説明を求める。夜間に飛翔している昆虫類は正の走行性を持つものだけでは無い。したがって、ライトアップを行わないのでバットストライクが発生することはほとんど無いなどと予測できるはずがない。 以上の点について、県知事意見による「環境配慮の実施に当たっては、科学的な根拠及び合理的理由をもって行うこと」に従って、事業者見解書に科学的根拠を伴った説明を求める。　以上	オヒキコウモリは比較的大型のが類を採餌しております。ユビナガコウモリについては、オヒキコウモリと比較するとカワゲラなど小さな昆虫類を採餌しております。オヒキコウモリについてはライトアップされた場所において多数個体が確認される場合が多く、暗闇で多数の声が確認された例は少ない現状があります。これはライトアップされた場所での確認が容易であるということも一因としてはありますが、多くの昆虫類は光に正の走行性を持っており、コウモリ類もより効率のよい採餌方法をとっていると考えられます。負の走行性を持つ昆虫類自体が少なく、それらを主としている可能性は低いと考えております。
4336	●破綻だらけの環境保全措置 P574の評価の結果、「環境保全措置を講じることから影響は小さいものと考えられ、実施可能な範囲で回避、低減が図られているものと評価する」とされている。 しかし、コウモリ類に対して講じるとされている環境保全措置は以下の2点に過ぎない。 ① 重要な種及び注目すべき種の飛翔ルートを考慮し、風車タワーの配列・位置を検討する ② 夜間照明による誘引リスクを低減させるため、夜間のライトアップは行わない ① について貴社はそもそもコウモリ類の飛翔ルートに関する調査は実施していない。貴社 が実施したのはコウモリが出現するか（いるorいない）どうかの調査だけである。飛翔ルートについて何も調べていない以上、コウモリ類の飛翔ルートを踏まえて風車タワーの配列や位置を検討することは不可能であり、保全措置は何も講じていないということだ。 ② については当初よりライトアップする計画は挙げられていない。やるはずのないことを あたかも環境保全措置として掲げるのは詐欺行為である。ここではっきり判るのは、懸念されるバットストライクを回避・軽減する環境保全措置を貴社は何も講じようとしていないことだ。実態のない環境保全措置を掲げ、コウモリ類への影響が回避、低減されていると評価するのは環境影響評価の論理として極めて破綻しており、これは欺瞞に満ちた詐欺の準備書だ。「回避も低減もしておらず、環境保全措置は何も講じない。よって重要なコウモリ類へのバットストライクは防げないので追加調査と予測、評価のやり直しを行う」と事業者見解書に明記すべきだと断固意見する。それが重要な生物に対する影響を全く蔑ろにしてきた貴社にとって、「MAEDA生物多様性行動指針」に則り、生物多様性の保全に対し真摯に、そして誠意ある態度に軌道修正できる唯一の選択肢であると意見する。	今回風車間の距離は狭い所で400mであり、コウモリ類の飛翔能力（種によって異なりますが5mから10mの空間があれば飛翔、旋回可能）から考察すると飛翔空間（迂回空間）としては十分であると思われます。現状、確認頻度から推察して影響が少ないとしておりますが、有識者の見解も踏まえた結果となります。 なお、現在コウモリ類の飛翔ルートは判明していない部分が多く、その調査手法も確立されていない部分が多くあります。今回の調査や過去の事業地周辺における多個体の渡り等の確認例もありません。ライトアップについては、設備自体に安全等を目的としてライトが設置されると仮定し、そのライトについて継続的なライトアップは行わないことを意味しております。
4337	●意見書は要約しないこと 意見書の内容は、事業者側で要約しないこと。要約することで事業者の作為が入る恐れがある。事業者見解書には、意見書を全文公開すること。また、各種委員会およびアドバイザーに示す資料も要約しないこと。 以 上	頂いた意見については原文をそのまま記載するように致します。
4338	２、潮の流れが、かわり魚、ウニ、たこ、とれない	海流の変化への影響については、調査結果を踏まえ、流向・流速への影響を適切に予測及び評価を実施し、実行可能な範囲で影響の回避・低減に努めております。流速の変化は、風力発電施設周辺で±1.0～3.0cm/sec程度の流速差が予測されますが、風車設置地点近傍の範囲に限られていること、風車設置エリアの東側に位置する浅瀬（魚類等の生育環境場）では±1.0 cm/sec未満であること、海水浴場の砂の移動への影響も小さいと考えられることから、地形改変及び施設の存在による流況に与える影響は小さいものと考えております。
4339	３、潮の流れがはやくなり魚、ウニ、たこ、漁ができない。	
4340	魚がとれなくなり自然に悪影響をおよぼすため	
4341	・風車に激突して鳥類が死亡する事故も頻発する為、自然動物への脅威にもなる。	鳥類への影響については、専門家のご意見を踏まえて、方法書段階より調査頻度を増やしております。本事業においては、これらの調査結果を踏まえ、鳥類への影響を適切に予測及び評価を実施し、鳥類に対して実行可能な範囲で影響の回避・低減に努めております。多くの鳥類は陸域に近い場所で確認されており、風車設置エリアでの飛翔は相対的に少ないことが現地調査で確認出来ました。飛翔ルートのほか、その空間の利用密度にも着目して予測しております。準備書に記載した環境保全措置により、影響を低減できると考えています。渡り鳥については、渡り時期に事業実施区域を通過する種のうち、資料調査等で影響が懸念されたのはハチクマ、サシバといった猛禽類でした。しかし、現地調査の結果、これらの鳥類については事業実施区域周辺では風車より高い高度（周辺の山と比較して400m以上と考えられる）を飛翔する事が確認されたため、事業実施の影響は小さいと考えております。
4342	・鳥が風力発電にあたって死んでしまう。	
4343	・渡り鳥の被害	

4344	漁場がせまくなり魚の住む場所がなくなり（減り）育たなくなります	漁へのデメリットを補うために魚礁の設置等プラス面を創出していきたいと考えております。
4345	風力発電建設に伴う健康への影響について多く取り上げられていますが、環境保全の見地としても疑問があります。 まず、直接的に周囲の海洋資源や鳥獣への影響はどのようなものがあるのでしょうか？他の地域の例を見ると、魚介類の減少や鳥獣類が住めなくなったという影響も出ているようです。 又、間接的には、それらの動物が減ることでの生態系への影響として住民への影響はどのような物があるのでしょうか？ できれば「恐らくこうなる」という形ではなく、統計等のデータでの裏づけも示していただきたいと思います。	発電所アセス省令では、環境要素の区分として「生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素」として、動物、植物、生態系が挙げられております。本事業においてもこれらの動物、植物等の項目を対象に予測及び評価を実施し、これらに対して実行可能な範囲で影響の回避・低減に努めております。したがって、住民への影響もないものと考えております。環境影響評価における予測手法は、科学的知見や、生態的特性等の知見に基づいており現段階での最新の知見に基づいた予測手法を用いております。
4346	・鳥や漁場の魚の被害があるのではと懸念しています。	
4347	風力発電機により動物の生態系も変わり 山の動物が街中に出てきている	環境への影響については、事業実施前の環境調査結果を踏まえて、予測、評価を行い、環境保全措置を講じることで、自然環境への影響を可能な限り回避・低減するよう努めております。　本事業は、洋上風力発電事業（洋上着床式）といった事業の特性上、海域に設置される特徴を有しております。したがって、建設工事、施設の稼働等については海域が主体となりますので、山中への直接改変は行いませんので、山中の動物への生息環境を悪化させるものではないものと考えております。
4348	安岡沖洋上風力発電には絶対反対です。 洋上とはいえ、民家に近すぎて、環境破壊、生態系に及ぼす影響が多大な物になってしまうと考えます。	
4349	・海洋生物の生態系の影響や渡り鳥やアサギマダラなどの生物への影響に対する不安	発電所アセス省令では、環境要素の区分として「生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素」として、動物、植物、生態系が挙げられております。本事業においてもこれらの動物、植物等の項目を対象に予測及び評価を実施し、これらに対して実行可能な範囲で影響の回避・低減に努めております。渡り鳥については、現地調査では事業実施区域において衝突が懸念される高度区分での飛翔は確認されておりません。アサギマダラは渡りをするとされているチョウで、事業実施区域周辺に飛来する可能性もあります。しかし、既往資料等から事業実施区域は主要なルートでは無いと考えられ、影響の程度は小さいと考えております。
4350	バードストライクがないようにしてもらえれば、最適だと思います。	
4351	魚や鳥など生態系への影響を回避できれば洋上風力発電は、再生可能エネルギーの柱になると思う。	
4352	当海岸の明媚な自然海岸に建設が進むと磯物の漁場は失われ、渡り鳥への被害、風車による環境破壊が考えられるので反対します	
4353	・海洋生物に悪い影響を及ぼす可能性がある	
4354	海洋生物の生息環境に十分考慮した施設にするべきだと思います。	
4355	風力発電をすることで、地域住民の生活が豊かになり、生態系に影響がでないことを望みます。	
4356	・送電ケーブルが海底に設置されれば海底の岩場は破壊され、サザエ、ウニ（他）いなくなる	海底ケーブルの敷設は、布設台船により海底約1mの深さに埋設します。埋設不可能な岩盤部は鋳鉄防護管の取り付けのみで岩盤の破壊は行いません。
4357	洋上風力発電の周辺に魚がつき、良い魚場になるのではないかと期待する。	風車基礎周辺に魚礁を設置する事により、豊かな漁場が生まれるとの理由で、山口県漁業協同組合関係者は下関市長に事業推進の要望書を提出しております。推進要望を提出し、かつ漁業補償契約を締結している山口県漁協の方々と具体的な振興策について話し合い、本事業を通じて漁業振興に貢献したいと考えております。
4358	将来は、漁礁のように魚も住みついて良い魚場となると思います。	
4359	海洋生物の減少と危惧されますが、出来た基礎部分が新たな人工漁礁の役割になり、生物が根付けばと思います。	
4360	海底を整備することで新たな漁礁が出来て魚類の良い漁場になるのではないでしょうか。	
4361	海の生物の新たなすみ家になることをキタイしています。	
4362	こんなことをしなくてもよいのではないか と思う　魚やとれない　ワカメもとれない 北浦の海をかえしてほしい 洋上ならどこでもよいというのでは 被害ができてからでは遅い　国や県、市どこをとってもよい政策とは思えない 各支所にもあるのですか？	漁場喪失の懸念として魚類（魚介類）への影響が考えられますが、事業の実施による水の濁りについては、濁りの範囲は限定的であること、底質の変化については、有害物質等の影響は小さいこと、地形改変については風車タワーの設置範囲の縮小化、設置基数の削減により改変範囲を可能な限り狭くしたこと、水中騒音については、威嚇レベルの範囲が限定的であることから、魚類・漁場への影響は小さいと考えております。
4363	③磯での海藻、貝類を食べる事が出来なくなる	
4364	安岡の風力発電　絶対に反対です いいところは一つもありません 子供も吉見沖で手間に漁をしています それも出来なくなります 建てることを止めて欲しいと思います	
4365	当海岸の明媚な自然に建設が進むと磯物の漁場が失われる。	
4366	①水産都市でなくなる。ご承知の通り、あの海峡メッセの塔よりも高く、広い基礎工事が15基作られると、魚類は逃げて行きます。	
4367	・漁師、釣り人等、魚の動きが変化することで困るのではないか	
4368	魚が少なくなる、自然環境が変わる。	

4369	今回の風力発電に漁師がすごく反対しているのを考えると15本の風車の支柱が埋められてたり工事をする事により潮の流れがかわり魚類などの生態系に影響を及ぼし魚場の喪失になるのではないですか	同　　上
4370	漁業への影響は？	
4371	漁への影響はないのでしょうか？	
4372	魚への影響は大丈夫が心配。	
4373	振動や周波数で魚へなどに被害がないか心配です。	
4374	海洋生物への影響が良くわかりません 一度影響すると、回復するのにかなりの期間が必要と聞きます。	
4375	植物や魚・解答生物の影響が無いか調査してほしい。 船舶の航路に安全は保てるのか？	
4376	海の生態系は崩れないのか？	
4377	環境保全の見地から海洋における生態系の悪影響 振動や周波数による生息している魚介類の影響 安全性に疑問（台風、地震等） メンテナンスが大変（即対応ができない）海上なので採算が合うのか？	
4378	海洋体系が、くずれないのであれば良いと思う。	
4379	建設予定地の水生生物に影響がないのであれば賛成	
4380	魚について説明されたが、回遊はしているけれども、住み着いているというふうにはおっしゃっていなかったですよね。説明のときに、建設後の風車に魚は回遊しているとおっしゃったのですが、居着いているというふうにはおっしゃっていなかったですよね。	NEDO新エネルギー成果報告会で、洋上風力発電実証機の環境影響調査において、風車基礎周辺に魚が集まっている写真をご紹介しました。
4381	安岡沖洋上風力発電事業の推進に賛成します。 地球温暖化対策の手段として、再エネ活用が叫ばれています。再エネの一環である洋上風力発電に下関が適しているのなら推進して欲しいと思います。下関の近海でもとれる魚が変わってきていると聞いていますし、下関ブランド１つである吉見のみかんも20～30年後にはできなくなるという話も聞きます。地球温暖化という大きなテーマには小さな一歩かもしれませんが、下関で出来ることはすぐにでも始めて欲しいと思います。※鳥類の調査は自然保護の観点でしか調査されていませんが、飛翔コースが変わることで、農業に影響があるのでは？ （風力がなくても、鳥類による農業被害は甚大ですが、農家の方々への視点も大切じゃないでしょうか？）	環境影響評価法では、環境に大きな影響を及ぼすおそれがある一定規模の事業を実施する際に、あらかじめ事業が環境に与える影響を、調査、予測、評価し、その結果に基づき適正な環境配慮を行う事が定められております。本事業においても、環境影響評価の対象となっており、事業実施前の環境調査結果を踏まえて、予測、評価を行い、環境保全措置を講じることで、自然環境への影響を可能な限り回避・低減するよう努めております。

5.景観・人と自然との触れ合いの活動の場

No.	意見の概要	事業者の見解
4382から4390	景観が損なわれる事はないと思う。	景観については、主要な眺望点のほか、生活圏での身近な景観として15地点を選定して予測、評価を行っております。また、冬季、春季、夏季、秋季といった季節変化の他、地点によっては、夕陽が見える夕方の景観、早朝の散歩といった海岸利用のある朝方の景観等に配慮しております。垂直見込角は、最も近傍の村崎の鼻（私有地）において6.4°、蓋井島航路船上において5.3°となり、「やや大きく見え、景観的にも大きな影響がある。架線もよく見えるようになる。圧迫感はあまり受けない（上限か）」に区分されますが、色彩について、支持部下方の警告色の選定及びグラデーションを含め、関係機関との協議の上、周辺の景観との調和に配慮するなどの環境保全措置を講じることにより、実行可能な範囲内で影響は低減されているものと考えております。なお、垂直見込角を用いた評価については、「国立・国定公園内における風力発電施設の審査に関する技術的ガイドライン」（環境省、平成25年3月）の送電鉄塔に関する記載を参考にしております。 垂直見込角の程度にかかわらず、響灘において、響灘の原風景を維持するため風力発電施設は不要との意見があります。一方で、新たな景勝地としての期待や自然景観と調和した新たな風景構築の可能性があるとの意見もあり、新たな景観価値の創出に期待されているプラスの面もあります。風力発電機の景観のマイナスの面を軽減するとともに、下関市の良好な景観形成を図り、地域の皆様と観光資源とならないか検討しプラスの面を創出できるよう努めます。
4391から4414	風車の完成した景観を見てみたい	
4415から4419	風車を見てみたい。	
4420	巨大な風車の姿を見てみたい。	
4421	きれいな景観を期待し、賛成します。	
4422	きれいな景観を期待し、賛成します。	
4423	きれいなふうしゃをみてみたい。	
4424	きれいに立ち並ぶ姿を写真に収めたい。	
4425	景観がよくなり、地元の方に悪い影響がないなら良いと思います。	
4426	景観が良くなるのではないか。	
4427	景観的にも楽しみです。賛成です。	
4428	景観的にも楽しみです。賛成です。	
4429	景観は損なわれないと思います。	
4430	風車の完成した景観が下関の新しい名所になるのではと期待しています。	
4431	風車の完成した景観には子供達も楽しみにしています。	
4432	風車の完成した景観には子供達も楽しみにしています。	
4433	風車の完成した景観を見てみたい（楽しみにしている）	
4434	風車の完成した景観を見てみたいので楽しみにしています。	
4464	風車の完成した景観を見てみたい。楽しみにしている。	
4465	風車の完成した景観を見てみたい。（楽しみにしている）	
4466	風車が完成したら見に行きたい	
4467	風車が完成した所を見たいので、賛成	
4435	風車の完成した景色を見てみたい	
4436	風車の完成した所が見たい	
4437	風車の景観を見たい	
4438	風車の景観を見てみたい	
4439	風車の景観を見てみたい	
4440	見てみたい。	
4441	見に行きたい。	
4442	新しい景観によって観光客の誘致になる。きれいにならべて立ててほしい。	
4443	完成した風車・景観を見てみたい	
4444	完成した風車の有る景観を見てみたい。	
4445	完成したら必ず見に行くと思います。	
4446	完成したらきっと家族で見に行くと思います。	
4447	完成したときの景色が楽しみ	
4448	完成したのを早く見てみたい、どこから見るのが一番いいか知りたい。	
4449	完成したのを早く見てみたい。どこから見るのが一番いいか知りたい。	
4450	風車のある景観が楽しみ	
4451	風車のある景観を見てみたい。	
4452	風車の色は、白がいいです。	
4453	風車の完成がみたい。	
4454	風車の完成が見てみたい	
4455	風車が立ったのを見てみたい	
4456	風車が立った風景を見てみたい。	
4457	風車が立ったら、ぜひ見に行きたい。	
4458	風車が立ったら、見に行きたい。	
4459	風車が出来上がった所をみてみたい。	
4460	風車ができた時の景観をみてみたいです どういう風にみえるのか楽しみにしています	
4461	風車ができると素晴らしい景観になると思うので賛成。	
4462	風車が早く見たいです。	
4463	ふうしゃが見てみたいです。	
4468	ふうしゃがうごいているところみてみたいです。	
4469	風車が美しい景色となればうれしい。	

4470	ふうしゃがかっこいいとおもう。	同　　上
4471	風景がよくなると良いです。周辺への影響がないと良いです。下関に活気が出ますように。	
4472	風力発電自体には反対ではありませんが、景観が、気になります。	
4473	いつ頃できるのか？夕陽をバックに写真をとりたいわ。	
4474	クリーンエネルギーの風力発電。風車のある風景を早く見てみたいです。	
4475	・風車の景観が楽しみである。	
4476	イメージ図でなく、出来あがったのが見たい。	
4477	大きい風車を見てみたい。	
4478	大きくてきれいな風車がみたいです。	
4479	大きな風車ができるのを楽しみにしています。	
4480	風力発電のファンはゆっくりでも大きなエネルギーを生み出せるのですね。早く回っている所を見たいです。	
4481	環境に配慮された風車が立ち並ぶ勇壮な姿を見たいと思う。	
4482	景観が損なわなければいいと思う。	
4483	景観よいので賛成です	
4484	山陰で風車を見たが近くで見てみたい 下関での風車が楽しみだ	
4485	山陰には海岸に風力発電機が設置されているが、決して景観を害するものではない。下関のシンボルとして観光の一助にもなりうると思う。	
4486	実物を見たことがないため、見ていたい。天気によってはとてもキレイなのではないか。	
4487	他区の風力発電の現場を実際にみましたが、とても壮大で美かんが素敵です。	
4488	角島大橋であったり、数あるドライブスポットの仲間入りが出来そう。是非とも完成した際には、見に行きたい。	
4489	出来上がった風車が見てみたい。	
4490	眺め渡す景色がすばらしいのでは…と期待する所です。	
4491	早く見てみたい。	
4492	陽の光を受けて輝く風車と煌めく波はとても美しいと思う	
4493	風車の見える広い休憩スペースが出来ると良いと思います。景観が良さそうなので。	
4494	風車はおしゃれな色使いにならないのでしょうか。夜は光って廻る、高速で廻ると何かしら「絵」が見えてくるとか。	
4495	風力発電は大きな建物もなく山陰沖に実在しているがとても美かんがいいです。	
4496	他の場所に設置されている風力発電の風車を何度か見たことがあります。自然エネルギーに好感を持っているので、風車がある景観は良いなと思いましたし、これからも増えていってほしいです。	
4497	むしろ景色もよくなると思われますので賛成です。	
4498	洋上施設で遠めにしか見れませんが、景色はよいと思われる。	
4499	ヨーロッパを旅行した時、風力発電装置（風車）が沢山建設されていたが、自然の中に溶け込んでいて違和感は感じなかった。建設されてみれば、下関の風景に溶け込むと思う。建設反対とか大騒ぎする必要も別段ないと思う。	
4500	よく下関に行くので、もし計画が実地されたら見てみたいです。	
4501	山陰線の海岸の景観がまた一つ、楽しみになる	
4502	・風車の完成した景観を見たい	
4503	近くに風力発電がありますが、景観がすごくきれいです。	
4504	風車の完成した景観は新名所になりそうですね。楽しみです。	
4505	風車の完成した景観を見てみたい	
4506	島根県益田市にたくさんありますが、その景観に子供は、テンションが上がっていました。	
4507	ドライブで風車を見てみたい。	
4508	自然を利用した発電の必要性も考えますが、景観が変わるのもどうかなぁと少し心配しています 出来てみれば、たのしい風景となるかも… 地球を大切にして行きたいと願っています。	
4509	子供達に見せてあげたい	
4510	子供達に見せたい	
4511	今まで通り、住民の皆様には丁寧に説明を続けて下さい。計画では風車は15基ですが、これを、10～5基にしても、出来るだけ大きな風車を作り世界一の風車を作って下さい。大きさは景観を凌ぐ事もあると思います。	

4512	そこまで気にならない	同　　上
4513	景観物として観光やドライブなどの目標となる上に発電で地域貢献になればいいと思う。	
4514	・海上に並ぶ風車の景観は珍しいのでそれを眺められる場所も同時に作って欲しいです。	
4515	・風車の見える景観として新しい事業への期待が持てると思う。	
4516	資料によると風車による圧迫感もないということだし、環境保全の意味でもよいことだと思う	
4517	青い海と空、緑の山々に囲まれた美しい景観を失ってしまうことは これからの未来に対しても良くない影響しか残さないのでは、と思います。 現在、日本の自然環境はどんどん破壊されているのが実情で 少しでもそれを防げる手が　あるのなら尽力すべきだと思います。	
4518	子供たちの未来のために、自然そのままの景観を残してあげたいから、風力発電には反対です。	
4519	風力発電設置位置は、昼間には北九州方面を望むことができ、夕暮れ時には夕陽を見ることが出来、景色がすばらしいです。県外からもカメラで撮影する人もおり、風力発電設置により環境破壊と考えられるのではないか。 反対します。	
4520	北バイパスから見える美し景観がそこなわれる事に残念	
4521	これまで地域に大切に愛されてきた海岸の美しい景観に人工的な建造物が入り込むことへの違和感が強いです。自然はできるだけ自然のままに、が、むしろこれからの社会には必要な事もあるのではないでしょうか？	
4522	夕日の沈む美しい風景が損なわれる為反対	
4523	反対します 景観が悪いから	
4524	私は毎日、ななまがりを往復しています。 気持ちの良い潮風を感じ、まっ赤な夕日に癒されて、心も身体も健康に過ごしています。 このすてきな景観に風力発電は必要なのでしょうか？ 私を含め、地域住民は同意していません。 私は安岡沖1.5kmの風力発電に反対します	
4525	下関北バイパスは海沿いにあり、よく使う道路で、これを走ると、安岡までの道が以前と比べてずい分と時間的に短縮されるようになりました。綾羅木を過ぎると前方に海が広がり見慣れた景色とはいえ改めて「きれいだな」と思います。この景色に人工的な風車が加わるのは、やはり異質的なものを感じます。果たしてこういうものを海に作る必要があるのだろうか？と疑問に思います。四季を通して折々に変わる景色をこのまま子どもたち、その先の子孫にも残して頂きたいと思います。	
4526	◎自然海岸の風景が損なうので	
4527	・美しい景観が守れないと思う	
4528	・景観が崩れる	
4529	・景観が崩れる。	
4530	・景観がわるくなる	
4531	・景観をそこなうおそれ	
4532	・安岡沖の美しい景観が失われる	
4533	・安岡沖の景観が失われる	
4534	・安岡の美しい景観が失われる	
4535	・景観が損なわれる。	
4536	②景観が悪くなる。沈んでいく夕日は他の場所では眺める事が出来ない	
4537	綺麗な景観が損なわれる為	
4538	景観がくずれるのが嫌です。安岡沖に風力を建設することは反対します。	
4539	景観を損ねるため反対。	
4540	景色が悪くなりそう	
4541	釣りのじゃまになるので反対	
4542	安岡沖の美しい景観が失われる	
4543	安岡沖の美しい景観が失われる。	
4544	安岡沖の美しい景観が失われる。	
4545	安岡沖の美しい景観が失われる。	

4546	安岡沖の景観がそこなわれる。	同　　上
4547	安岡の景観がそこなわれる	
4548	安岡の古しから続いている癒しと安らぎの景観を壊したくはありません。 風力発電には、反対いたします。	
4549	山口県の海水浴場は本当にすばらしいです。その自然海岸に建設されるのは大変残念です残すべきです。この影色はよろしくお願いします	
4550	安岡沖風力発電反対です。 海岸線の景観が損なわれる。	
4551	風力発電の良くない点としては、景観を破壊する危険性があるところです。発電の為とはいえ、強大な建造物である風力発電機を美しい夕日のみえる風景の中に設置することは、その美しい景観を損ねる原因になるでしょう。	
4552	せっかくの景観を損ねると思いますので 安岡沖の風力発電建設には反対します	
4553	安岡沖風力発電に反対します。 美しい海岸の風景をこわさないで下さい。	
4554	安岡沖風力発電絶対反対、 美しい海岸の風景をこわさないで！！	
4555	安岡沖風力発電建設に反対します 景観をこわさないで下さい	
4556	安岡沖風力発電反対します。 景観をこわすな	
4557	バイパスから眺む安岡のオーシャンビューは素敵です。 風力発電建設により、この素敵な景色が見れなくなると思うと残念な気持ちでいっぱいです。	
4558	安岡沖の通称「響灘」と呼んでいる海は、夕陽の美しい海です。その洋上に風力発電の風車が何基も据えられることは、異様な風景となります。目に見えない低周波の健康障害も確かにあるでしょう。電力はこのような異様な作り方をしなくても、他の方法を考えてほしいと思います。	
4559	目の前に大きな建物が建つと言う事は景観を損ねると同時に自然環境の破壊に繋がり自慢の夕陽がだいなしになってしまいます。	
4560	洋上風力発電反対　美観・景観をそこなう　風車病などおそろしい！	
4561	悪影響がない訳がないと思うので、反対　景観が悪くなる	
4562	〈反対〉安岡沖風力発電 我が子を含め、地域に住まう、又、これから移る未来ある子供達のために、少なからず身体への影響を考えれば不安要素をわざわざ造ることへ賛成する気持はありません。 難しい環境影響までは素人にはわかりえませんので専門の方へお願いすることになりますが、一般的に言っても、 朝・昼・夜・春・夏・秋・冬に見ることのできる美しい景観が損なわれることはとても悲しいです。 それが大きな理由だとして申し上げても表題の書面になりませんでしょうか。	
4563	子供の頃から毎日見てきた大好きな風景が変わってしまうことはとても悲しいです。美しい海と空に大きな人工物が建つのは嫌なので反対します。	
4564	山陰の美しい海岸風景を壊して欲しくないです。	
4565	朝と夕方愛犬を連れて安岡海岸を散歩する事を日課にしてます。 散歩してて特に夕日の出から沈む様子景観に感動しています。 実に素晴らしい風景、何んどみてもあきない。 岸壁では地元の人や県外の人（北九州・福岡）の人など親子ずれで魚つり、貝がらひろいで来てカメラ・携帯・スマホにおさめ感動して、又、来る友達を連れてくるという人に出合ます。 そんな所に15基の臣大風車が建設されるとせっかく綺麗な風景が見られなくなり、風車ごしにみる夕日感えられません！！ 自然の破壊・景観が破壊される事まちがいない。 安岡沖風力発電建設反対です。	
4566	プロジェクトの詳しい内容は、よくわかりませんが、すばらしい自然・景観などを破壊しないでほしい。	
4567	自然環境の喪失は地域の方々にとって不安をあたえる大きな原因となるため反対です 夕陽や美しい海は心のよりどころになる方々の希望をなくしてしまうので安岡沖への建設は反対です	
4568	自然環境の喪失は地域の方々にとって不安をあたえられる大きな原因となるため反対です 夕陽や美しい海は心のよりどころになる方々の希望をなくしてしまうので安岡沖への建設	
4569	海岸の美しい景観が失われる。	
4570	・景観をそこなう	

4571	①美しい自然の景観を損ないます 北浦海岸沿いは、下関市民が愛する美しい海辺です 特に海の彼方に夕日が沈む様は抜群、多くの人の心を癒す力があります、その景観の中に風車の鉄塔が何基も存在することになるのはどうしてもＮＯと云わざるをえません、考え直して下さい。	同　　上
4572	子供達の将来を考慮して、自然を破壊することは反対です。三方を海に囲まれた山口県では、海の恩恵を長年にわたり受けてきました。今後もその景観や海からの恵を大切に保持していきたい。	
4573	安岡沖の夕陽はとてもきれいです。このまま残してもらいたい。 自然をこわして欲しくないので反対します。	
4574	・安岡海岸から見る景観にはとても思い出があります。変わってほしくないです。 景観もそうですが、静かな海岸であってほしい	
4575	海水浴場から見る景観も悪いと思います。	
4576	・風車が建つことによる景観の破壊	
4577	この洋々たる美しい自然の景観に文明の進化〇〇やたら将来の事 〇〇造らないでいただきたいものです。	
4578	今の海のながめは最高に良い。それに自然環境がこわされて行く風景も一変します。 地震などの災害も多い中、居住環境の破壊となる危れが多くなると思います	
4579	“安岡沖風力発電”絶対反対です。 ・景観が悪くなるので反対！！ ・陸からの距離が近すぎるので反対！！ ・美しい夕日のジャマ！！	
4580	私の母は安岡病院のホスピスで最後の時を迎えました。 応接室から見る藍井島までの景色、夕日が沈んでいく景色は今も私の心に焼きついております。 どうか母と姉と三人で過ごした自然の景色を変えないでください。私母、今入院中の方、これから利用される方々にあの景色は心をいやしてくれるし勇気もくれます。 どうか私の思い出を洋上風力発電でこわさないで下さい。 お願い致します。	
4581	安岡沖洋上に風力発電事業を行うことで、さまざまな被害があるようですが、中でも自然環境の破壊は深刻だと思われます。豊かな漁業資源の喪失、美しい自然風景の喪失は下関市にとって大きな損害だと思います。 私も大好きな自然風景をずっと守ってほしいので、風力発電の建設に反対します。	
4582	下関は透きとおった海のきれいさ、景色の良さ いろいろ自慢するところがあります。 それが風力によって将来人も住めなくなり 下関の街を破壊していくことになることに絶えられません 絶対に造らないで下さい	
4583	横野沖風力発電建設絶体反対 “前田”の利益の為に先祖からのこの風光明美な海をけがすのはもっての他形あるものはいつかはこわれる、その時“前田”よどうしてくれる　私は知りませんではすまんぞ！！	
4584	反対 始め私達は何も知らされず自治会長が松涛会をとばして事を運んでいました。 他の地区より知る事となりそれで良いものか一度病院の病棟からどの様に見え”ガン”の末期の方、緩和ケア病棟の方々　最後を送る方々、見事な夕日を眺めることがいかに幸なことか考えてみて下さい 一度この近い海岸に病棟から見て下さい。	
4585	10度を超える地点はなしというように34、35ページに書いてあります。しかし、特に近い所は大体3度というようなところを超える所がほとんどです。3度を見ると、気になるとなっています。圧迫感は受けないが気になります。 　そのため、これは遠くも書いているのですが、これは3度がほとんどです。安岡、綾羅木地区は気になります。 従って、この辺りも何とか遠い所も入れて、あまり気にならないような書き方をされていますが、地元の人は気になると思います。	
4586	景観に配慮した配置を要望する	
4587	よくわからないが、景観をわるくしないよう作りにしてほしい。	
4588	景観に配慮した、配置を希望します	
4589	海岸の景観を損なわれないか？	

4590	それから本当に茶番みたいなもので、これは様式どおりにやらなければならないからやっているのですが、景観の話であったり、大の男が平気でやっています。この前、景観審議会でそんなことを言われている人もおられると思いますが。例えば下関においても、関門海峡の目の前に住んでいる私の友達がマンションに住んでいましたが、そのマンションの真ん前に、海を遮るマンションができました。そんなことから比べれば、海に風車があろうがなかろうが、全く問題がないのです。 　私は犬と毎日、最近は違いますが、毎日朝、風車が見えるはずの海を、今ここに書いてある海を、毎日歩きました。それまでは、土日は港湾が休みですから、少し客船がこちら側に見えましたけれども、今は人工島ができて、港湾がそれからこちら側に移った、何だかんで、目障りな船がおりますけれども。それから比べれば、風車が見える、見えるなんていうのは、皆さんも分かっていると思いますが、茶番です。それは主観の相違ですから。その中にこの前、環境審議会の方も皆さんおっしゃっていました。そんな主観に関することをここで論ずるよりも、これほど地元の人が不安がって、やめてくれと言っている。	同　　上
4591	①景観は2列だと密集して見えると答仲しているのに1列にして、間を縮めてより密着させても解決にならない。	
4592から4605	海に立つ風車をみてみたい。	洋上での風力発電機は、国内でも事例が少なく、新たな景勝地としての期待や自然景観と調和した新たな風景構築の可能性があるとの意見もあり、新たな景観価値の創出に期待されているプラスの面もあります。風力発電機の景観のマイナスの面を軽減するとともに、下関市の良好な景観形成を図り、地域の皆様と観光資源とならないか検討しプラスの面を創出できるよう努めます。
4606	・洋上風力の完成を見てみたい。	
4607	普段は山に行かなければ見れない風車を関門港湾で見れるとなると嬉しいです。	
4608	風力発電は安全なエネルギーとの認識です。発電機が海上に並んでいる姿は壮観で新たな観光スポットとしても期待できるのでは？と考えています。景観を損ねるといった印象はありません。	
4609	海に立つ風車が見たい！！経済効果がありそう。	
4610	海に並んで立つ風車は観光スポットになると思うので並行で海沿いに公園を造って欲しい。	
4611	海の上に風車があるのはおもしろいと思う。眺めがよければ見に行きたい。	
4612	海の上の風車なんて見てみたい	
4613	海の景色は、素晴らしいものになると思います。名所になってほしい。大賛成です。	
4614	海をバックに風車を近くから見てみたい。	
4615	洋上風力発電の景観楽しみです 孫のためにと考えます	
4616	海外では見たことあるが、国内で、また山口で、洋上風力発電ができるなら見に行きたい。	
4617	海上に風車を設置した光景がきれいだと思う	
4618	海上に風車を設置した光景がきれいだと思う。	
4619	海上の風車を見てみたい。	
4620	洋上に浮かぶ風車を見てみたい。	
4621	洋上に広がる景色が楽しみ	
4622	夕陽と重なりきれいにみえる！	ご意見のとおり、当該地域は夕景が素晴らしい場所であることも踏まえ、本事業ではこれらの景観への影響を適切に予測・評価し、実行可能な範囲で影響を低減するよう努めます。
4623	夕陽と重なりキレイに見えるのでは？	
4624	夕陽と重なりきれいに見えるのでは？	
4625	夕陽と重なりきれいに見えるのでは？	
4626	夕日にたち並ぶ風車のシルエットを写真に収めたい！	
4627	夕陽を重なりきれいに見えるのではないか	
4628	夕日が沈む水平線に、力強くそびえたつ風力発電は絶景になりそう。その日あった辛いことや嫌なことを吹き飛ばしてくれそう（風力発電だけに）	
4629	非常に納得いかないのが景観に関するアンケートです。一番近い地元の声を聞いてもらいたいです。安岡、綾羅木地区は約5万人弱の人口が住んでいます。この510件の中で、約300件が確かインターネットによるアンケート、そして、200件程度が対面によるアンケートということでした。これはインターネットも対面も地元住民はいつやったか、いつする等はほとんど知りません。インターネットの人では300件は地元の人は何人いるのかと思います。対面の人は、地元の人は何人いるのか、たまたまその辺りに遊びにきた人たちにどうか聞いても見せる写真によってはこのような状況になるのかと思うところもあります。今、ご存じのように約10万人弱の反対の地元署名が集まっていて、まず、綾羅木、安岡地区だけ5万人いる中で、500件という約1パーセントにも満たないアンケート数でこの住民の意見はこうだと言われても到底納得できません。地元住民のアンケートや意見を再度取ってもらいたいと要望します。	アンケートの方法は、市長意見において「広範な住民へのアンケート」と述べられております。本事業における風力発電施設の建設に賛成・反対等の意見とは無関係に、景観について、中立的な立場から見た場合にどのように感じるかを第三者に委託して調査したものです。

4630	アンケートの所は、下関在住の者、あるいは下関市内に観光地を訪れた人。これを長門市の人に聞いても、長門市からここへ来た人に聞いても、別に関係ないではないですか。これは、やはり地元の人に聞いたアンケートをすることのほうが、望ましいのではないかと思います。	同　　上
4631	『景観の意識調査結果』について異議を申し立てます。 1.　該当箇所 ・準備書＜要約書＞Ｐ71の表5.1.1（15）「調査、予測及び評価の結果の概要（景観4/5）」 ・2）評価の結果　①ミティゲーションの観点 ・景観の意識調査 ・「好感を持てる・やや好感を持てる」の好印象を示した解答は、35～41％ 2.上記1.最終行アンダーライン部（35～41％）について （1）この調査結果は、安岡地区の住民意識からかけ離れすぎている。私は、自治会連合会の関係者で住民の声を直接耳にしているのでこの調査結果に疑問を禁じ得ない。安岡地区の住民の意見が反映されているとは、とても思えない。安岡住民はほとんどが建設ＮＯであり、景観悪化や健康被害を憂慮している。 （2）質問 ①この景観意識調査は、いつ、誰を対象に実施したものか。安岡住民のサンプル数は何人か。その調査対象総数に占めるウエイトはどうか。 ②毎日景色を目の当たりにする（せざるを得ない）安岡住民の意見を最大限反映させるようなウエイト配分をすべきでないか。 ③安岡住民に対しては、サンプル調査でなく、悉皆調査を行ってもらいたい。この要請に対し、「調査は統計学上の標本抽出理論に基づいたものであり、母集団の推定量としは問題ない」などといった回答は無用である。なぜなら、安岡地区は人口16千人、5千世帯程度なので、悉皆調査も可能である。自治会連合会が調査に協力することも可能。	
4632	横野海岸で去年の夏ですが、カメラを持って夕日を撮っている方がいました。どこから来たかと聞いたら、広島から来て、3日間ここで撮っているということでした。そのぐらいわれわれからしたら景観も大変なことです。当初は高さが220メートルあったものが、同じ4000キロワットで、今は152.6メートルに下がりました。来留見の瀬。それもよく見えます。それが1キロ少しの所です。　白島の辺りに日が沈みます。日が沈むのを皆さまが遠くから写真を撮られています。海岸から見たら、152.6メートルもあれば邪魔であるに決まっています。そのようなことはやめてください。	本事業において計画している風車が220mという話は、当社の計画資料では全く使用しておりません。正確な情報発信を継続してまいります。
4633	地元への有効な対処があれば協力的になれる。景観のメリットデメリットも考慮した対応を御願いしたい。	地域の皆様のメリットとしては、税収の増加や工事等による雇用の創出等が考えられ、事業を通じて地域経済の発展及び活性化が期待されております。一方で、漁場が狭くなる、風景が悪くなるとの意見も頂いております。漁場の面では、それを補うために魚礁の設置等プラス面を創出していきます。また、景観については、洋上での風力発電機は国内でも事例が少なく、新たな景勝地としての期待や自然景観と調和した新たな風景構築の可能性があるとの意見もあります。デメリットに対しては影響を低減するとともに、プラス面を創出できるよう努めてまいります。
4634	日本海の素晴らしい景色、下関の自慢のブルーラインの景観の破壊につながるので反対します。 陸から1.5kmに海峡ゆめタワーよりも大きな風車が15基たったときの恐怖、圧迫感が心配なので反対します。 実際に住んでいる市民１人１人の意見を聴き、又、説明していただきますよう要望します。 何故反対されているのかよく考えていただきたいと思います。	本事業においては、主要な眺望点の他、身近な景観を保全するために、風力発電機の配置の検討にあたって、フォトモンタージュ法により予め景観の影響予測を行っております。配置については規則性に配慮し、色彩については周辺の景観との調和に配慮するなどの環境保全措置を講じることにより、実行可能な範囲で影響を低減するよう努めます。 本事業においては、地域の皆様の反対があることも理解しております。方法書段階の当初計画では、風力発電機から最も近い民家までの距離は約760mであった事から健康影響への懸念や、景観的な圧迫感への懸念があったものと考えております。準備書段階では、最も近い民家までの距離は約1,500mとなるように変更しました。最も近い民家までの距離を可能な限り離す事、及び候補の中で最も少ない基数とする事により、騒音や風車の影の影響の低減など、環境影響の程度を極力抑えることが出来る様、検討を行っております。
4635	まず地元の安岡地区のみなさんが反対している事、海の景観を損なう事。環境に良いと言う話は聞いた事が無い。	
4636	⑤風車の大きさの見え方は、説明写真や動画よりも、動作の模型の方が実態をよく現している。1500ｍで152.6ｍの高さ。30ｃｍの定規に3.04ｃｍ爪楊枝をセロテープで貼りつけて、片端から片目に当てて景色を見るだけ。1500ｍは住宅地だから、海辺はその3/4.1125ｍそこからだと、定規の目盛りを22.5ｃｍにしないといけない。まったく大きさが異なります。あの写真は願望イメージですね。「なんということでしょう。」写真に目をくっつけても実際より小さく表示してあるのです。	

4637	・海水浴場の喪失	本事業では、流況への影響について、調査結果を踏まえ、流向・流速への影響を適切に予測及び評価を実施し、実行可能な範囲で影響の回避・低減に努めております。流速の変化は、風力発電施設周辺で±1.0～3.0cm/sec程度の流速差が予測されますが、風車設置地点近傍で南北での流速変化に限られおり、漁場、海水浴場への影響は小さいものと考えております。
4638	安岡沖洋上風力発電設備工事を行う際、安岡バイパス等近くの道路が渋滞しないか心配	工事期間中、工事関係車両の交通量について、海岸清掃などの日程把握、工事関係車両の走行台数低減をはじめとする環境保全措置を講ずることからその影響は小さいと考えております。

6.その他

No.	意見の概要	事業者の見解
4639	風力発電には、賛同いたします。 ただ、反対住民の皆さんの不安が解消されるまで、努力が必要だと思います。	貴重な意見として承り、今後の検討に活かしたいと考えます。今後も環境影響において不安を解消し、地域の皆様にも理解をして頂けるよう、解りやすく正確な情報を発信してまいります。
4640	個人的に非常に興味ある事業なので、住民の納得する形で実現する事を願う	
4641	個人的に反対はしませんが、地域住民の意見によく耳を傾けて決定してほしいと思います。	
4642	地元の不安がなくなるよう？？？お願いします。	
4643	工事によって環境や騒音が問題になるとしても、その後完成してから得る対価は大きいと思う。風力発電自体に理解、関心が足りていない人も多いと思うので、近くの住民や関係者に十分な説明が必要。	
4644	洋上風力発電のことはテレビ、新聞などで知っています。私は２０年前高知県の室戸で陸上にある風力発電を見ました。その時は羽根が風を切る音がすごく大きくて驚きました。 最近は技術も進んで音も静かになっているようです。音は静かになっているのですが、低周波音の事よく言われていますが、説明会などでは造る側から心配ないと言っていますが、それでも地域の人は信用しないと思います。下関に造る予定の洋上風力発電に似た地域の人に説明会にきていただいて、講演をしてもらったらいかがでしょうか。	
4645	くわしく聞くと、むつかしい話しが多いので、分かりやすい説明を、その機会をつくってほしい。	
4646	海外の様子などが分かるように宣伝して下さい。	
4647	地元の方々のご意見を見ていると、騒音・低周波・電磁波等々、様々な不安を抱えていらっしゃる方が多い様に感じます。 私が説明会に参加した際に受けた印象と致しましては、難しい専門用語や、英語などを用いて「一気に説明」され、訳の分からない内にどんどん話が進んで行ってしまう様なイメージがありました。 そういう空気感に疑問を感じ、納得して良いのかどうかを悩む方が多いのでは無いかなと感じました。 全ての方に納得して頂くことは大変難しい事ではありますが、やはり、そこに実際に住んでいらっしゃる方々とじっくり向き合い、不安要素をひとつずつ取り除いていく事が大事なのではないかと思います。 説明会で質疑応答時間は確かに設けられていますが、本当に地元の方の疑問に答えられているのかどうかを考えたとき、まだまだ不十分では無いかと感じました。 私は地元住民ではありませんが、説明会でのお話しを聞く限りでは、風力発電そのものに何も問題は無さそうに思います。 ここのところ、日本全国で地震が多発しており、原発の恐ろしさを改めて痛感しておりますので、私個人的には風力発電には賛成です。	
4648	安岡に風力発電を設置する話は聞いていますが、近辺の方々は害をおよぼすのではと心配しています。	
4649	本当の所、良いのか悪いのかわからないので一回機会があれば話を聞いてみたいと思う。	
4650	事故がないように願います	
4651	・風力発電は再生エネルギーとして良いと思うが既存期間が、20年間で取り壊すのは、どうかと思う。	
4652	エネルギー自給率向上の為に導入して電気代の高騰を抑えてほしい。健康面での調査をしっかりして建設してほしい。関連工事や雇用、その他すべて地元から施工採用してほしい。	
4653	環境への負荷の少ない、最も現実的な選択と思う。 環境アセスをしっかり行い、また周辺住民への周知を丁寧に行い、推進していただきたい。	
4654	環境に対して、どれほど影響があるのかわかりませんが、地元周辺の方に迷惑がかかるのであれば、幾度も足を運び、話されてはどうでしょうか。	
4655	風力発電においてのメリットは、環境に優しい。 事故が起きても原子力の様に甚大な影響を与えないといったところであるがデメリットとしては、発電量が安定しないとか台風に対して耐久性を求められることが言える。 又、落雷での故障低周波音による健康被害等を考え行う必要が有ると思う	

4656	先般、海峡メッセでの説明会を見聞きしました 会社側、住民側ともに自己の主張を述べあうだけで全くかみあわず建設的な説明会とは思えませんでした。 　要するに、住民側は会社がどのような詳しい説明をしても、それでも不安であり、何か事故があったらどうしてくれるのか、という一点にしぼられる。 会社側は種々のデータを示しているのに、どうして判ろうとしないのか、ということでしょう。 陸地からのキョリを何kmにすれば、会社が利益をあげられるのか。住民は何kmあれば安心なのかつまり、どれだけ距離をとれば双方納得できるのか。 これを先づ話しあい決定しなければいつ迄たってもすれちがうのではないですか。	同　　上
4657	地元の人が納得するならいいと思う	本事業においては、地域の皆様の反対があることも理解しております。方法書段階の当初計画では、風力発電機から最も近い民家までの距離は約760mであった事から健康影響への懸念や、景観的な圧迫感への懸念があったものと考えております。これらの懸念から方法書についての意見書や方法書についての説明会においては多くのご意見・ご指摘を頂きました。 本事業では、方法書に記載した事業計画に対する環境保全の観点並びに住民等、国、関係自治体の意見を踏まえ、風力発電機の配置に当たっては、施設の供用に伴う騒音や低周波音、漁場、鳥類、景観等に対する環境負荷低減を図るとともに、漁船等の船舶航行安全に配慮した配置としました。方法書段階では、風力発電機から最も近い民家までの距離は約760mでしたが、準備書段階では約1,500mとなるように変更しました。最も近い民家までの距離を可能な限り離す事、及び候補の中で最も少ない基数とする事により、騒音や風車の影の影響の低減など、環境影響の程度を極力抑えることが出来る様、検討を行っております。今後も環境影響へのご懸念については、地域の皆様にも理解を頂けるよう正確な情報を発信してまいります。
4658	大きく注目を集めている事業であり、今後のエネルギー問題、経済効果を含めて、取り組んでいただきたい。 一方、賛否が分かれている状況に懸念しており、丁寧な説明、地元住民の十分な理解が不可欠であると思慮します。	
4659	地球の温暖化において風力発電は必要だが地元の意見に耳をかたむけて同意の元に実現してほしい。	
4660	新たなエネルギー産業の普及が、地域経済の利益にもなるので基本的には賛同いたします。 但し、健康への影響等に不安をもっている地元住民の反対運動も理解できますので、今後この事業をすすめるにあたっては反対住民に対し納得を得られるよう、丁ねいに説明努力を続けて欲しいと思います。 いずれにせよ地域の皆さんが納得できる形で、円滑に実現できる事を願っています。	
4661	風力発電には賛同いたします。ただ、反対住民の皆さんの不安が解消されるまで努力が必要だと思います。	
4662	先般開催された説明会に参加させていただきました。目的・趣旨には賛同します。実施期間も20年と決められており、エネルギー事業のみならず観光面で経済効果も期待でき、地域の活性化にも寄与すると思います。地域住民の方々に根気強く説明し、ご理解いただく事を期待します。	
4663	基本的には賛成ですが、地域住民の方に期待していただく努力をお願いしたいと思います。	
4664	経済効果を期待したいが、近隣住民に被害が及ばないよう、配慮して欲しい(風力発電の羽が回転する時の騒音、観光地化した時の車やバイクの騒音についてしっかり対策を立てて欲しい)	
4665	風力発電に伴う騒音について、予想される数値を算出のうえ、地域の住民の方と第三者（専門家）を含めた協議を行い導入を進めることが望ましいと考えます。風力発電のエネルギー多様化からの異議はあるかと思いますが地域の方々の受容できるレベルでの技術を伴うことが望ましいのではないでしょうか。	
4666	原発の代替案としては多いに賛同できるが、地域住民のコンセンサス無しでは成立しない	
4667	日頃から風力を有効に使って発電できれば良いと考えていたので、ぜひ成功すれば良いと考えている。ただ、地元安岡地区の反対があることを憂慮している。	
4668	基本的には賛成ですが、安岡地区の方が心配されている影響が良くわからない	
4669	地域住民への理解及び説明を行うことが大切であるが事業内容に関しては賛成である	
4670	近隣地域への影響度はしっかり示してもらいたい。事業内容としては経済効果が見込まれる	
4671	地域住民への理解をしっかり得て事業を行うべきだと思うが事業内容に関しては賛成である	
4672	原発に代わる何かに頼っていかないといけないと思うので風力発電もありだと思う。住民との話し合いをしっかり行い、すすめて行くべきだと思います	
4673	東日本大震災以降、日本においては原発の危険性が完全否定できなくなった今、自然エネルギーによる発電はさらに重要になると思います。建設費用がけっこうかかるときいていますが、安全性に替れるものはないと思います。一方で、近隣住民の方には低周波による健康被害を訴える人もいるときいているので、その辺はどのように解決していかれるのか気になるところです。	
4674	地域住民の方が納得のいく方向で工事を進めていただければいいと思います。	
4675	私は原子力発電に反対なので、それに変わるものの一つとして風力発電が考えるのではないでしょうか。しかし発電所の近くに住まわれる方や漁師さんなどとよく話し合いの場を持っていただきたいと思います。	

4676	下関市内に洋上風力発電という件は、立地に適した良案だと考える。しかし、現在安岡地域に住んでいる住民たちと、話し合いを重ねて、細やかな事までつめていくことが重要になっていくだろう。	同　　上
4677	地元に風力発電のシステムが導入できるのは個人的には良い事だと思いますが、賛成派、反対派の意見をとりれて、それを参考に導入するか、しないかを判断するべきだと思います。	
4678	事業が始まることで、周辺の地域が納得してみんなで協力して完成させたらいいと思う	
4679	風力発電事業で、周辺の地域に活気がでれば良いと思う。反対意見をしっかりうけとめて、理解をしてもらったうえで、事業を始めてほしいと思う。	
4680	安岡の住人が賛成しているなら良いと思う	
4681	若者が興味を持ってくれてばいいと思う	
4682	発電所が増え、節電の風潮に歯止めがかかるのでありがたい。 反対があるのは、必ず変な風評がおきることなので、そのことについて完ぺきな情報を流せば、周りの人は安心できると思う。	
4683 から 4690	住民の同意が得られていない。	
4691 から 4695	反対 住民の同意が得られていない	
4696	住民の同意が得られていない、下関市、前田建設はしっかりと住民へ説明をおこなうべきだ。	
4697	住民の同意が得られていないから反対	
4698	住民の同意が得られていないから反対	
4699	住民の同意が得られていないから反対	
4700	住民の同意が得られていないから反対	
4701	住民の同意が得られていない為　反対します。	
4702	住民の同意が得られていない為反対	
4703	住民の同意が得られていないので反対	
4704	住民の同意が得られていないので反対	
4705	住民の同意を得られていないので反対します。	
4706	◎住民の同意が得られていません	
4707	・住民意見が反映されていない	
4708	・住民からの同意が得られていない	
4709	・住民の同意を得ないままの計画への不信感	
4710	・まず地域住民の理解が得られない事には反対です	
4711	住民の同意が得られておらず、健康被害についてデータが（これまでの設置地域）出されてないと思うので反対です。	
4712	住民の同意が得られていないし、納得のいく説明もされていないので 反対します。	
4713	住民の同意が得られてなく、漁場や環境の破壊になる	
4714	住民の同意を得られない上に自然環境　人体への健康被害も考えられるというのに建設へは賛成出来ません。	
4715	住民の同意を得るのが先だと思う 自治会を集めての説明会をして、理解を求めることが必要。	
4716	反対 住民の同意がない！	
4717	反対 住民の同意がない！！	
4718	・建設反対 ・住民の同意が得られていない	
4719	建設反対 理由：住民の同意を得られていないため	
4720	建設反対署名が97400筆に達しているにもかかわらず、住民の同意なしに建設を進めるのは　なぜですか	
4721	建設反対の署名が10万近くに達しているとお聞きしており、下関市に宛てた陳情書も多く提出されていることから、住民の同意が得られていないものと思料します。反対です	
4722	子供達への健康の影響　住民の同意も得られていないの理由で反対します	

4723	地元住民の同意が全く得られてない状況下において建設を進めるとくことは言語道断だと思う 反対	同　　上
4724	地元の漁民・自治会などの同意が全く得られてないので反対します。	
4725	地域住民や地元漁民、地元自治会、医療機関等からの同意が得られない状況での設置は納得できない。	
4726	同意を得られないまま事業を進行することは信頼関係の悪化につながり双方への不信感に発展してしまう。	
4727	反対！！ 住民の同意が得られていないし、漁場が失われそうなので。	
4728	反対します。 沿岸部の住民・法人等の同意が得られていない。 建設予定されてる場所と住民等の距離が1.5kmと非常に近く、健康被害を受けると思われます。 居住環境の悪化による　地域の衰退が懸念されます。	
4729	反対です いろいろなとこで見たり聞いたりするのですが、反対の声をよくききます。住民の同意がきちんと得られてから事業をすすめていただきたいです。 漁場など自然の喪失があり、いろいろな影響がでてくると思いますのでその辺をしっかり考えていただきたいです。	
4730	風力発電の建設による住民への健康障害についての講演を以前聞く機会がありました。特に安岡地域には、ご高齢の方が多く住んでおり、建設した際には多くの人に影響が出ると知りました。また、住民の同意も得られていない中、建設に賛成することはできません。メリットはもちろんあると思いますが、まず住民の意見や健康面を考慮した上で建設を考え直すことが必要ではないかと思います。	
4731	安岡周辺の海が汚染される心配があり それによる健康の被害等 住民の同意が得られていないのに、建設を 推し進めていくのは、どうかと思う。	
4732	私、こちらの職場についてまだ、1ヶ月ちょっとなので、あまりよくわからないのでまわりの他の方々と同意見にいたします。	
4733	既に、建設反対署名は97,374筆に達しており 下関市議会の「安岡沖洋上力発電事業の反対に関する請願」決議を始め、下関市長への建設反対陳情書を提出。 建設反対は地元民の総意となり、同意は全く得られていない状況です。　風力反対です。	
4734	地域住民の同意が全く得られていないにも関わらず、発電事業を進めていることに憤りを覚えます。風力発電は風が吹けばいつでも24時間発電できるなどメリットがあり、将来的には必要な電力の一つだと思います。しかし、その風力発電を何故、海上に作る必要があるのか、山側やもっと広く住宅地から遠くにできないのかと思ってしまいます。海上につくる、かつ安岡沖につくる必要が何故あるのかという事をもっと具体的に説明してほしいです。	
4735	原子力や火力に比べ安全な面はわかりますが、リスクが0ではないので、設置するのであれば住んでいる地域住民の同意が得られていないのであればおかしいと思います。	
4736	既に、建設反対の署名は97,374筆に達しており、下関市議会の「安岡沖風力発電事業の反対に関する請願」の決議を始め、下関市長当ての建設反対陳情書は、地元の漁民、地元自治会、近郊の医療機関等から逐次提出されて、建設反対は地元民の強い総意となり、同意は、全く得られていない状況にあります。	
4737	安岡沖洋上風力発電事業は地元漁民 地元自治会　医療機関等各職場からの同意が全く得られていません その為市議会の決議、下関市長宛の陳情書名は97,374筆にも達しており建設反対は地元民の総意です	
4738	日々地元の人々が建設の反対を街頭や書面などで訴えている。地元民のみならず、自治会や医療機関などからも建設反対の声が上がっている。この声を無視して建設すべきではない。	
4739	環境影響について地元の意見をしっかり聞くことが大切である	
4740	建設反対　住民の同意が得られていない	
4741	地元民の同意が得られていないので建設反対である。	
4742	下関市議会の「安岡沖洋上風力発電事業の反対に関する諸願」の決議を始め、建設反対署名は97374筆に達しており 建設反対は地元民の同意は得られていない状況です　安岡沖洋上風力発電建設　絶対反対します	

4743	1.風力発電建設反対の署名が約10万人。建設予定地の海岸線に約8万人の地域住民が居住しており、大多数が建設反対の意思を表明されている。このような状況で地域への貢献を果たして行くと記述されている。地元の反対意見を無視して、果たして地域貢献が出来ると本当に思っておられるのだろうか？理解できません。	同　　上
4744	反対！！ 住民の同意が得られていない！	
4745	住民の同意が得られていない 　騒音による睡眠障害など、地域住民に不快感を与え、健康被害の可能性があります。	
4746	これだけ多くの反対署名があるのにもかかわらず、強行での建設はいかがなものかと思います	
4747	建設に対する説明不足のため反対します。	
4748	反対します （理由） 住民合意が得られていないこと 環境に対する影響が不明なこと 以上	
4749	・住民意見が全く反映されていない。	
4750	確かにエネルギーの確保というのも大事ではありますが、それは地域での安全性、環境への影響をきちんと整備した上で進めるべきであると考えます。しかし、今回の事業ではその辺りの検討が不十分であり、地域との相互理解が得られていない為、現状で行うべきではないと考え、反対させていただきます。	
4751	地域住民の皆さんの合意なしに計画を進める事は厳しいと考えます。話合いを重ねていく事が重要と考えます。	
4752	・地元の漁民や自治会　医療機関等から反対　同意されていない	
4753	安岡沖洋上風力発電事業の件は知っていましたが、住人の仲間われで気まずい空気になるとしたら反対します。20k位沖に建設し※中出来ないのかお互い話し合い一段と理解度を高める為再度話（何回でも）※※をはらう	
4754	地域住民を対象として訴訟が３件ほど行われています。また、地域住民の方は、現在、街頭活動や反対署名を一生懸命集めています。本当に自分たちの生活や命がかかっているので、東京から来た人たちとは違うのです。われわれはここに住んで生活をして、これから子や孫に代を引き継ぎという大きな命題があるので人ごとではありません。東京の人はしょせん帰ります。20年間運営して撤去します。トヨタでさえ、20年間絶対に存続すると言えるはずがないのです。世界のどの企業を見ても20年間絶対に存続して、吸収合併はしない、されないということをなぜ言えるのかと非常に疑問だらけです。私は数値による根拠は一切信用していません。それは環境省や経済産業省が出しなさいということから出しているだけ。これだけ地域住民が反対しています。われわれはたとえ10万筆なかったにしても、例えば、5万筆だったとしても、これだけの人が反対をしていることに対してまず同意を得ることが県知事や市長からも皆さまに与えられた最初の命題だと思っていますが、それについてはいかがですか。資料はとても信頼できないし、ごり押しで行政から言われた最低限の説明をクリアして粛々と次に進むという魂胆が見えているので、私は反対を貫き通します。	
4755	われわれ住民は反対しているのですが、10万人の署名に対しての思いと、例えば、下関市長が反対を表明したらあなたたちは計画をやるのかということを聞きたいです。山口県知事がやめてくださいと言えばやめるのでしょうか。	
4756	前田建設の企業としての考え方に疑問を感じます。10万票の反対、病院が近く、又小学校にも近いそのような場所に建設しなければならないのか？まして、下関市議会も反対しているはずである。もし建設して、事が起こった場合その責任は誰がどうとるのか。企業としてのモラルは住民を無視し住民を犠牲にして成り立つものではない。住民に喜ばれて初めて成り立つものではないでしょうか。安岡地区6000戸と6000人の反対署名は大変重いものです。今回の風力発電は早期中止すべきです。	本事業においては、地域の皆様の反対があることも理解しております。署名については、重く受け止めており、反対意見を踏まえて風力発電機から最も近い民家までの距離を1,500m以上離す内容に計画を修正しております。また、国内外の最新の知見を重視し、「風力発電施設から発生する騒音等への対応について」等、これらに沿った計画にしております。低周波音等についての十分な説明を今後とも継続しつつ、理解を頂けるよう正確な情報を発信してまいります。 　風力発電施設が原因で各種問題が発生し、損害との合理的な因果関係が明確となった場合には、必要に応じて専門家の指導・助言を踏まえて適切な対応を講じます。

4757	一般的に風力発電の利点は、環境負荷を発生させない再生可能エネルギーである点ですが、その一方で、洋上風力発電施設の場合、漁業との調和と環境全般への十分な配慮が必要です。 このたび、公開された（仮称）安岡沖洋上風力発電事業「環境影響評価準備書」においては、漁業に対する十分な配慮を含めて、景観・自然環境等に対する総合的な配慮対策が計画されているものであり、山口県漁業協同組合は次のとおり評価します。 1. 下関市景観計画の景観形成方針等に適合していると認められる点。 2. 洋上沖1.5キロに２列配置とする等、地域住民、景観、海流、漁業等に対する十分な配慮が認められる点。 3. 騒音については、調査地点の殆どで影響が認められない点。（影響が認められる地点においても、1～2db程度とその影響は極めて微細である） 4. 施設搬入等に際して、窒素酸化物、騒音、粉塵、振動等について十分な配慮が計画されている点。 5. 建設工事については、騒音発生、振動発生、海水汚濁等、漁業や関係海域の環境保全に対し、十分配慮した工法を採用予定としている点。 山口県漁業協同組合は（仮称）安岡沖洋上風力発電事業を積極的に支持します。一刻も早い事業推進を期待しています。	平成27年7月発表の経済産業省の「長期エネルギー需給見通し」においては、「電力の需給構造については、安全性、安定供給、経済効率性及び環境適合を同時達成する中で、省エネ、再生可能エネルギーの最大限の導入、原発依存度の可能な限りの低減」が基本方針となっており、風力についてはコスト低減を図りつつ、国民負担の抑制の観点も踏まえた上で、大規模風力の活用等により最大限の導入拡大を図るとされています。また、平成26年4月改定の「山口県再生可能エネルギー推進指針」においては、再生可能エネルギーは地球温暖化策に有効であることなど「安全・安心の確保」の観点から貴重なエネルギー源とし、さらには「産業力・観光力の増強」の面からも導入促進は重要であると述べられております。 この様な背景を踏まえ、本事業では下関沖の恵まれた風力資源を活用し、下関市の充実した港湾設備を利用し、工事、運営については地元企業の協力を得て本事業を推進し、地域への貢献を果たすことを目的としております。 本事業においては、環境影響評価の対象となっており、環境について事業実施前の環境調査結果を踏まえて、予測、評価を行い、環境保全措置を講じることで、環境への影響を可能な限り回避・低減するよう努めております。引き続き、地域の皆様のご理解・ご協力を頂きながら、地域への貢献を目指してまいります。
4758	環境配慮や騒音問題も考えられた事業なので、私は賛成です。 この事業で下関の経済発展や建設事業による地域の雇用も増えれば下関市にとってもいいことだと思います。	
4759	賛成です。 いろいろなデメリットも挙がっていますが、永い目で見れば良いことの方があると思うから。 景観も良くなるからいいと思う。	
4760	このプロジェクトにより下関の約1/3にあたる１年間の電気量をまかなえるというのは良い事だと感じますが、やはり地域住民の方は騒音、漁業への影響が気になる点だと思います。 騒音については、1500m離れた所に設置するため風車からの音は小さいということですが、住民の方は「本当か？」と思うのが本音だと思います。漁業についても同様の意見を持たれている方は多いと思います。 個人的には、今度の下関市の発展に大きく影響するこのプロジェクトには好印象です。	
4761	何度か説明会に参加させていただいて、風力発電事業じょ説明を受けたが、その上で、環境問題、騒音、漁業者達が心配している漁場の問題など、何度も検証し、すべてクリアしているとあった。 反対している者は、マイナスの事ばかりを指摘し、その事ばかりにこだわっているが、逆にプラスになる事もあるのではないかという点に目を向けるべきであると思う。時代は進化して、最先端の事業、技術、思考、取り入れる事によって、得るものもあるのだから、古い、時代遅れの事ばかり固くなにこだわっているようでは、だめだと私は思う。	
4762	要約書を拝読しました。調査の細やかさ、手間、経費を想像するに大変なのだなと実感しました。沖合に風力発電施設を計画することで日常生活に影響を及ぼしにくいことなど、地域に十分配慮した事業である事、また、自然の生態系維持、環境維持のため影響を最小限に抑える、もしくは守るための配慮もなされている事を理解しました。あらたなエネルギーとして注目される風力発電事業の早期実現をお祈りいたします。	
4763	説明会に参加致しました。工事の際に出てくる騒音・振動・排ガスなどに関してはどの事業を行うにあたっても生じるものであることから、使用する機械において規制が守られている機械であれば問題ないと思います。また、可能な限りの防音・遮音がなされていれば良いと思われます。 完成後の風車騒音に関しても、現在山の上に設置されている風車より騒音・振動は防げるのではないかと思われ洋上設置案に賛成です。下関におけるエネルギーを化石燃料に頼らず、自然エネルギーでどう補っていくかというと各所に現在設置されつつある太陽光発電と共にこの提案されている洋上風力発電がこの下関では有効であると思われ、地元安岡の海で設置されるのは光栄に思い、応援したいと思います。	
4764	低周波対策は計画変更も行ない十分考えられている。景観はむしろプラスに評価できる。漁業対策もプラスに働く様に考えられている。理解を深める努力を継続すれば、問題ない。	

4765	安岡沖洋上風力発電事業においては、騒音や美観、振動に関して問題無いと考えられる。	同　　上
4766	原発を考えた時に、確かに自然エネルギーを利用した風力発電はクリーンなイメージがあり、環境にも優しく事故もおこりにくくリスクも少ないとは思いますが、この度の洋上風力発電においては、海への影響、海洋生物等への影響というのがどうなのでしょうか？風車から低周波音や機械音が出ると聞いていますが、それによっての影響（生物への）は大丈夫なのでしょうか？人間だけにとっての策ではなく、海、生物とうまく共存して行くべきではないかと思います。	
4767	騒音や低周波音、漁場、景観等に対する負荷低減が図られており、環境への影響は抑えられていると思う。	
4768	騒音や振動は離れているので問題なく、新たに漁礁を作るということなので、漁業にも特に問題は出ないのではないかと思う。	
4769	騒音や漁業への影響などの心配が解消されれば問題ないとおもいます。	
4770	洋上風力発電は陸上風力発電に比べて目立たないし、居住地域から距離があるので、騒音公害も少なく賛成です。	
4771	洋上風力発電は人体や環境に害が無いというのですばらしいと思います。賛成です！	
4772	豊浦町の山の上に風力発電がありますが何か、環境に悪影響を与えているのでしょうか？ 洋上、陸から3km～5kmと聞いています　人に影響は無いと思います。 原発石油に頼らないもの自然を利用した風力、潮流発電を推進してほしいと思います。	
4773	私が住んでいる場所への影響はまるでないと思われますが、この事業の重要性を考慮した上で準備書を拝見しました。騒音、低周波音、景観等の生活環境への低減等の計画を拝見しました。 調査もしっかり行われているし、環境への影響も少ないように思われますので、この事業に賛成させていただきます。	
4774	私が住んでいる場所への影響はまるでないと思われますが、この事業の重要性を考慮した上で準備書を拝見しました。騒音、低周波音、景観等の生活環境への影響への低減等の計画を拝見しました。この事業に賛成させていただきます。	
4775	風力発電事業を行うにあたり、環境保全としまして、まず騒音、鳥、海等さまざまな点に関して調査を行っており、影響がないことが実証されているので、問題ないと思います。また、見た目等につきましても、イメージ図を拝見しましたが、問題ないと思います。 このことから、風力発電事業には賛成の意見です。	
4776	騒音・景観・漁業等、懸念されるべき問題に対して十分に考慮されていると思いました。今後の下関市の発展を望む立場として計画の推進を支援したいと思います。	
4777	騒音、景観等十分に配慮を講じられ、問題無いと考えられる。	
4778	住宅と風力発電設置場所の距離は、当初計画より２倍以上も離され、騒音などの影響低減もしっかりとなされたことを評価する。また、景観についても大きな問題はない。工事期間中の作業も環境保全措置が適切に実施されると判断した。ぜひ計画を推進してほしい。	
4779	事業にある騒音、低周波音、景観等の生活環境への影響への低減等の計画を拝見しましたが、十分に計画が練られているのではないかと感じましたので、この事業に賛成させていただきます。	
4780	現在、何もない海に風車が建設されると、大変美しい光景になると思う。また、下関にこれだけの大型事業が興せるのを反対する理由はない。風車はすでに2000基以上が建設されており環境に何の問題も出てナイ。	
4781	・人体や魚の影響のない事と漁業の問題ない事がわかったので賛成です。	
4782	福島第一原発の事故を受け、今日本中が原子力の撤廃を求め、再生可能エネルギーに移行していこうという気運にあります。 その中、風力発電は、地球温暖化の原因となる温室効果ガスを排出しない、また、酸性雨や光化学スモック、PM2.5といった大気汚染の原因となる酸化物を排出しない等、環境に優しい、事故が起こりにくい、リスクの少ない発電方法である。 風力発電にも少なからずリスク（騒音、低周波振動等）はあると思いますが、環境アセスで安全性が確保されれば積極的な推進が望ましいと考えます。	

4783	これまで、説明会等に参加させてもらって、洋上風力発電事業の意義やメリットを知ることができた。説明会での資料等で人体に影響がないことや、当初の予定より離れたところに設置することでより安全に留意されていることなどがよくわかった。 再生可能エネルギーの利用は、将来の地球環境のためにも積極的に進めていかなければならないことだと思っているので、この計画に賛成。	同　　上
4784	地元の同意が得られるなら再生可能エネルギーなので良いのでは	
4785	風力発電は太陽光発電と並んで再生可能エネルギーの代表であり、しかも天候等の条件を受けにくい、安定したエネルギーである。特に、海に囲まれている日本では、地形に左右されにくい安定した風を得ることが出来るために、最も安定したエネルギーの一つであると考える。 　石油や天然ガス等、外国に依存する化石燃料と異なり、風力発電の原料となる風は純国産エネルギーであり、地球環境に悪影響を及ぼす危険の最も少ないエネルギーである。 　欧米の各国では、すでに風力発電の占める割合が大きくなりつつあり、最も進んだエネルギーであると認められている。 　狭い国土の割に広大な領海を有する我が国では、発電施設の立地スペースもほとんど無限であるといえる。しかも漁業振興と結び付けることで地域産業の活性化にも貢献が期待される。 　環境省が定める環境アセスメントをクリアしていることが明らかであるので、健康に与える影響を懸念する必要はないと考える。	
4786	洋上風力発電は、再生可能エネルギー導入拡大の原動力になるものだと思う。そのために環境影響については調査、分析が必要で、生態系への影響を回避、極力低減しなければならないと思う。	
4787	地元民から騒音等を懸念する声を聞くが、沖から一定の距離を保っている為、影響もほとんどないと思われる。また、再生可能エネルギーを利用しているため、環境に対しても優しく地球温暖化対策にもつながるので、風力発電の事業効果に期待したい。	
4788	近隣の住民の皆様への影響が指摘される中、騒音や健康被害が出ないと数字やデータで示されて、双方が納得出来たならば、再生可能エネルギーとしても、地元の雇用の促進を促すものとしても期待が膨らむと思います。	
4789	・この事業に賛成しています。再生可能エネルギーは、どんどん推進すべきと考えます。早期着工の実現に向けて更なる推進活動に協力します。 ・工事が始まった時は、工事用車両による渋滞、騒音、海上の汚泥流出には十分注意をお願いします。	
4790	山口県再生可能エネルギー推進指針の導入目標が平成32年末で220,000ｋｗが掲げられているので、将来、山口県の地域貢献ができるのであれば、ぜひ支持します。また、風力発電事業を計画することで住民の方達に配慮した計画であることも理解しました。工事の騒音についても配慮していると感じました。景観については、個人的には観光スポットとしての魅力があるのではないかと思います。	
4791	自然にやさしい風力発電人体に害がない CO2削減として、有効だと思う 風車は、見た目も良い、自然のエネルギー利用にたいして、大いに賛成 地球にもやさしいと思う 人体にも害がないのが一番だと思う。	
4792	自然の風を利用して再生エネルギーを作るのに何ら反対する理由はない。まして市民に健康被害もなく、観光的にも、遠くの海に風車がみえて、若い人達があつまってくる様になり、名所の一つになると思う。一企業が350億も投資して下関市内の経済的波及効果も出てくると思う。大賛成である。	
4793	自然の力により発電できたら効率が良いと思うので魅力的だなと思いました。また、風車が観光スポットとなり、地域発展につながればなと思います。	
4794	自然の力を利用してつくるのだから、人体にも影響もあまりないと言うので、私は風力発電に賛成します。それに、安岡地区はそれによって地域が発展して、良いのでは	

4795	私が安岡に住んでいたとしたら、また考えは違うのかもしれませんが、ニュース等で見ても、自然エネルギーで、風力発電とはいいのではないかと思っています。建設等にあたり、人口が少しでも増加したり、街に活気づくのであれば大変うれしく思います。 健康被害を心配する声をよく聞くので、そこをわかりやすく説明されてはどうかと思います。	同　　上
4796	風車の完成した景観は楽しみにしています。 景観を楽しめる展望台の設置等を希望します。 再生可能エネルギーの事は良くわからない　環境に良くてクリーンならあってもいいと思う。 風車建設を観光スポット的に生かせるものにしてほしい。	
4797	特に風力発電による低周波音等、人体、環境被害を及ぼすとは考えにくいと思う。逆にこの風力発電はクリーンなエネルギーで火力発電のように大量の二酸化炭素（温室効果ガス）等も排出しない。又事故が起きても原子力発電のように広範囲に甚大な影響を与えることはないというメリットが有る。 この海岸線の景観を利用し、観光スポットとして何か考えられてはどうでしょうか。	
4798	環境に優しく、景観も美しいと思うので楽しみにしている。	
4799	再生可能エネルギーは積極的に利用するべき。 風車の完成した景観を見たい。	
4800	再生可能エネルギー利用大いに賛成です。 風車の完成した景観は新名所になりそうですね。楽しみです。	
4801	再生可能エネルギー利用賛成。風車の景観がステキ!	
4802	再生可能エネルギー利用に大いに賛成です。 風車の完成した景観を見たいです。楽しみにしています。 下関の活性化となるかも知れないので賛成です。	
4803	再生可能エネルギー利用に賛成 風車の完成した景観が観光にきよする	
4804	国道191号線沿いの景観と環境にやさしい自然エネルギーに期待します。	
4805	風力発電をぜひ推進して下さい。 自然エネルギーの活用は今後ますます必要となります。 景観云々と言いますが、福島の原発事故では数キロに渡り汚染され、汚染水タンク群・・・ また漁業者が云々は現在漁業に従事の方は数名程度です。 また日本はパリ協定にも賛同しています。	
4806	どの様な景観になるか期待しています。自然の力を利用してエネルギーを得るという事も色々な利点があると思います。	
4807	賛成 自然エネルギーの活用で良いと思う。 CO2が出なくて、景観も良くなると思う。	
4808	地元出身として（横野） ・風力のある風景が楽しみ ・再生可能エネルギー　賛成	
4809	エネルギー問題は、現代社会に於いて死活問題となっている。化石燃料に替わる発電手段を我々の子孫の為に常に模索していかなければならない。 当地がそのプロジェクトの候補地に選定されているのであれば非常に喜ばしいことである。 CO2問題、化石燃料の枯渇問題等々、必ず環境にプラスになる事業だと思われる。 景観についてマイナス意見もある様だが、海に浮かぶ風車の群れは新しい観光の目玉となりうる可能性を秘めていると思う。	
4810	風力発電は害がないのであれば賛成です。 エネルギー利用できるのでよいと思う。 景観が楽しみ。	
4811	風がよく吹く安岡にてきした発電だと思う また、景観を損なわずに良い地域の活性化につながる計画だと思う。	
4812	風を活かした発電なので枯渇する心配が無くCO2削減に貢献できる素晴らしい方法だと思う また、洋上への設置なので景観も今まで以上の良い景観になると思う。	
4813	風力発電となると景観も良いし、原発に頼る割合が少しでも減ると良いと思う。騒音が少なくなっているようですし、自然の力で発電できるのは良い事だと思います。	
4814	原発に反対なので、自然エネルギーを利用するのは大変良いと思います。景観も良い事ですし。	

4815	現代社会においてエネルギーの確保は急務であり、原発の安全性が問われる今、再生可能エネルギーの導入を考えるのは当然の事と思う。この安岡沖洋上風力発電事業は景観にも十分配慮されており、また最大の関心事である騒音も環境省の基準を下回るようなので、建設に反対する要素はないと思う。	同　　上
4816	原発よりも良く、音や景観、漁業にも問題ないよう。経済効果、電力量ともに将来的にもメリットが多いようなので、下関の発展の為にも支持したいと思います。	
4817	沖洋上風力発電事業については、再生可能エネルギーを利用しているので、外部からの影響を受けにくい。環境にも良い上、見ために関しても、問題ないし写真をとったり、観光スポットとしても良いため、地域活性化にもつながると思います。	
4818	原発事故の問題あるし、原子力よりは風力のほうが安全だとは思います。詳しい事は、わかりませんが、反対派は代案を考えてから？（代案は出ているかもしれません）個人的には将来的なことを考えて、賛成です。求人が少ない下関で雇用も生まれると思います。主観で書いたので、違ってるかもしれません。	
4819	原発に代わる何かに頼っていかないといけないと思うので風力発電もありだと思う。 住民との話し合いをしっかり行い、すすめて行くべきと思います。	
4820	長期的に原発ゼロを目指すには、再生可能エネルギーを活用することが不可欠であります。また、観光資源としての観点からも可能性を秘めており、下関の活性化の為にも有効であると考えられますので、賛成です。	
4821	・風力発電が、水産業（漁業者）にとって、具体的にどういったメリット、デメリットがあるのかよくわからないのが本音です。 ・この事業によって、海の生態系が変わり、漁に影響があるようでは問題だと思います。 ・しっかりと環境基準が満たされ、CO2の削減や環境保全、水産業の振興になれば良いことと思います。 ・こういった事業が行われる場合、必ず反対の立場を取る人々がいますが、事業側と住民とがよく話し合い、事業を推進していくことが大事だと思います。 ・漁業者の中でも意見がわかれているようですが、同志として人間関係が壊れるのが心配です。 ・円満に事業が遂行されることを望みます。	
4822	地球の温暖化の事を考えると、実現してほしい。 地元の方の同意の元に実現を願う。	
4823	地球温暖化対策として賛成です。 周辺地域の住民の方々や漁業関係者の方々の合意形成をせつに願います。	
4824	現在、地球温暖化や環境破壊が進む中で、COP21等で明示されているように、自然エネルギーを活用した循環社会の実現は急務の課題になっていると考えます。その中で、島国である日本で有用と期待される洋上風力のモデルケースとして、本事業の実現は意義があると考えています。 　現時点では、日本国内の洋上風力は普及前の段階であり、地域環境・住民への説明等の配慮など、様々な課題があります。本事業がCO2削減を掲げる国際目標に合致し貢献することは明らかですが、地元である下関市へ地域レベルでの貢献（経済効果）等をより明確にできると望ましいと考えています。経済恩恵をはじめ、地域との共生を実現することが本事業の成功に繋がると考えているためです。 　再生可能エネルギーの普及が先進国と比較して遅れている日本にとって、本事業が日本の洋上風力のモデルケースとして普及への足掛りとなることを期待しています。	
4825	地球温暖化の有効対策としては今から必要な手段だと思います 海上という立地を利用することにより近隣住民の方々の騒音被害も最少限におさえられるのではと思います	
4826	風力発電は、自然界の風を利用して発電するので、安全的なエネルギーの供給ができ、また、地球温暖化を考えるとCO2を排出しないなど環境負荷低減の観点からも良いと思います。ただ、現計画位置において、低周波振動が本当に健康に影響があるのか疑問です。	
4827	賛成。自然エネルギーの活用で地球温暖化に効果がある。国内にすでに2000基あり、健康被害は報告されていないと聞いている。	

4828	風力発電も再生可能エネルギーでの地球温暖化防止対策の一つで有効な対策の一つであると思い設置については賛成です。 しかし半面、設置に対して低周波に対しての周辺住民の心配や野鳥等の接触被害等についても聞こえます。設置に際してはこれらへの配慮を十分に行われる必要が有ると思います。	同　　上
4829	CO2を発生させず地球温暖化対策に有効であれば、すばらしく自然にやさしいと思います。また、景観的にも気にならない程度だと思います。	
4830	風力発電を建設することに賛成です。 理由 1.CO2を排出しない風力発電は地球温暖化防止に大変いいとおもいます。 2.風車の観光スポットになると思う。出来れば夜ライトアップしてほしいです。	
4831	賛成。CO2が出ないので良い。景観がかえって良い。	
4832	安岡沖に新たな景観が楽しみ CO2削減の為に風力発電はよいと思う 騒音も気にならない程度であれば賛成	
4833	安岡沖に新たな景観が楽しみ。CO_2削減の為に風力発電は良いと思う。騒音も気にならない程度であれば賛成。	
4834	風車を見てみたい CO2削減にいいと思う。	
4835	CO2削減(地球温暖化対策)として有効だと思います。 風車の完成した景観を見てみたい。 (楽しみにしています。)	
4836	CO2削減・地球温暖化対策には有効な設備だと思います。 また遠くに風車の見える景観も期待しています。	
4837	ライフラインの内、特に電気は24時間使用0の時間は考えられません。ガス、水道は一時止まっても生活は出来ます。 1.地球温暖化防止にもCO2の削減は必要です。 2.風車を観光資源等に活用したら如何でしょう。	
4838	賛成です。地球温暖化で風力発電や太陽光発電が必要とされてきているので良い事業だと思う。観光の目玉にもなるのではないかと思う。	
4839	現在、地球温暖化が進んでいるため、その対策として今回の安岡沖洋上風力発電事業はとてもいいと思います。そして下関での観光名所がまた増えると、観光客も増え、もっとたくさんの人にも下関の事を知ってもらえる機会になると思うのでいいと思います。	
4840	風力発電は地球温暖化対策の面において最も有効であり、また広く一般的な環境配慮の面においても、最も21世紀的で優れたエネルギー源であると考えています。 現在、安岡地区に計画されている発電施設は、1500メートル沖の海上に設置されるものであって、騒音、景観への影響等に対する一定の配慮がなされているものと評価できます。 また、漁業との関係においては、本体工事期間中の影響度合いは未知数ですが、反対活動家が声高に主張するような悪影響はないものと考えられますし、設置施設自体は「漁礁」の効果が期待できると聞いています。漁業との共存が期待できる事業だと考えています。 また、景観に関しては、個人的な見解はそれぞれでしょうが、私個人としては、安岡沖のロケーションにおいては「海と洋上風力施設」が調和した新たな「今日的景観」が生み出されるのではないかと考えています。 経済面においては、様々な波及効果が期待できる事業と思います。 積極的な事業展開を多いに期待しています。	
4841	経済効果と北バイパスから見える夕陽と風車に期待。	
4842	下関の景観が良くなり、経済効果の一つとして風力発電は良いのではないでしょうか。	
4843	ある新聞には、低周波の問題が取り沙汰され豊北町の方では反対運動が叫ばれておりますが、そこまで人体に影響があるとは思いません。経済効果の面、海に立つ風車のある景観の面と是非風力発電事業に賛同いたします。	

4844	地球温暖化問題や化石燃料の不安定な価格や生産動向の中、我々にとって再生可能エネルギーが将来のエネルギーの中でももっとも重要なエネルギーであると考える。 山口県においては、各地に太陽光や風力発電が多数点在しており今後も増加していくものと思われる。特に風力発電は安定した電力であり、現在も環境に悪影響があるとの情報は特にどこからも聞こえてこない状況にあることから、環境調査等十分に行い事業のもたらす効果を市民全員で享受することこそ市民として必要であると考える。 安岡の風力発電は、景観等に配慮し計画変更を行ったうえでの事業計画であり今後の下関の雇用の創出や事業の発展に貢献するものと期待していることから、早期着工を推進することを強く要望する。	同　　上
4845	経済効果に期待したい。 大気汚染の原因となるものを排出しないので環境には良い所。 騒音問題が気になる所。	
4846	下関の経済が良くなり、風車のある風景、有名になるとよいですが、にぎわうことでゴミが出たり近隣に迷惑がかかることのないよう願いたいです。後々のことも含めて地域開発だと思うので。	
4847	景気停滞の下関をそのプロジェクトで少しでも上向けば、地域住民の理解を求めつつ進めて行ってほしい。	
4848	健康被害もなく、経済効果をもたらすならいいかと思う。	
4849	健康被害は気になるが、プロジェクトの20年間という区切りがミソだと思う。現市長がこれに代わる規模の経済効果があるものを持って来れないので進めるべきだと思う。是非地元民にての出資の運営会社を作ってほしい。	
4850	健康被害及び漁業への影響などに問題ないか十分検証された上で、問題なしであれば、これからの電力需要等を考えても、原発だけでなく新電力にも期待されると思われますので、経済効果的にも推進されるべきと考えます。	
4851	海上に建設する風車は基礎部は漁礁に成り、新たな漁種も増える！ 風景においても海外で観る海上の風車は景観からも美しく、下関市の名所の一つに加わるのでは？海に角島大橋、安岡沖風車と全国的にもアピールが出来ると思う！	
4852	風車の完成した景観を見てみたいですし、原発をなくしたいので賛成です。	
4853	風車の完成してまわりの景色にとけ込んでいるといいな 地球温暖化対策（CO2削減）になると思う	
4854	下関が注目されるとよいですね。どんな風景になるのか楽しみです。安全や、人々の健康を考えるのは当然のことだと思います。未来の人達に残せるものになると良いですね。	
4855	地元に住んでおり、響灘に沈む夕日の素晴らしさを知っているものとしては、景観的な面で多少複雑な思いはあるが、将来的なエネルギー事情を考えると自然エネルギーの普及は大事なことだと思う。	
4856	・環境評価書を拝見させてもらいましたが、様々な見地より検討がされいることに安心しました。 ・完成後の景観に非常に興味があります。壮大でかつ未来を担う子供たちにも関心が集まることでしょう。 ・人には影響はないと思っています。魚類にも・・・。鳥類にも。 ・20年後には撤去する計画に少々驚きました。	
4857	安岡の海を見に行くのが楽しみになるようなものができると良いです。健康に害のない安全なものを作っていただけたらよいです。作られる方も、ご安全に。	
4858	地元の雇用創出につながるので歓迎したい。 地域住民の騒音や電波障害の問題もあるが、今後の協議で解決できると思う。	平成22年の環境省が実施したアンケート調査結果（全国の風力発電事業者のうち186事業者、40都道府県から回答）によれば、継続している「苦情」は、風車から1,020mまでとなっています。その後の調査研究結果を考慮しても本事業の風力発電施設から最も近い民家まで1,500mという距離は騒音・低周波音の影響を低減するための十分な距離と考えております。また、「風力発電施設から発生する騒音等への対応について」（平成28年11月版）によれば、これまでに得られた知見として、20Hz以下の超低周波音領域は、すべて知覚閾値を下回っているため、「風車騒音は、20Hz以下の超低周波音の問題ではなく、通常可聴周波数範囲の騒音の問題としてとらえるべきものであり、A特性音圧レベルでの評価を基本とすることが適当である。」とされており、風車騒音の評価の目安として「評価の目安となる値：残留騒音＋5dB」が示されております。 本事業では、環境省が提案した目安の値を基に評価も行っており、「評価の目安となる値：残留騒音＋5dB」に収まっていることが確認されています。
4859	近隣の住民の皆様への影響が指摘される中、騒音や健康被害が出ないと数字やデータで示されて双方が納得出来たならば再生可能エネルギーとしても、地元の雇用の促進を促すものとしても期待が膨らむと思います。	
4860	騒音などがなければ問題ないと思います。（発電には経済効果があるかもしれない）	
4861	経済効果があれば嬉しく思うが、騒音や安全面は大丈夫なのか不安	
4862	経済効果が期待できる。騒音等、近隣住民の被害はないのでしょうか？	
4863	大型のプロジェクトが計画される事で地域に雇用が生まれ、それにともない経済効果も期待される一方で騒音や振動により問題について対策もきちんとしてほしいと思います。	

4864	環境に優しいのは、良いと思う。ただ騒音などの問題で近隣に迷惑にならないか心配されるところです。	同　　上
4865	原子力エネルギーの問題がかなり大きく、また地球保護の観点からしても、自然エネルギー導入にシフトしなくてはならないのは、すでに皆が招致している所なので、是非前向きに進んでいただきたい。但し、ファンの回転音、海の環境、大型タンカーへの配慮等大小問題もクリアしないといけない事が出てくるでしょう。	
4866	風力発電に関しては、騒音の苦情しか聞いた事しかありません、原子力に比べるといいでしょう	
4867	地元住民の意見や騒音リスクなどの問題がクリアになるなら、良いと思う	
4868	福島原発の惨事を見聞きするにつけ、後世にその付けを残すのは反対です。その代替として自然エネルギーを活用することにはやぶさかではありません。しかし、立地上強風が起こりうる海域での騒音被害は心配しています。	
4869	風力発電は、音がうるさいと聞いたことがあるが、水上なのであまり影響は、ないのではと思いますが。	
4870	私的には、良い事だと思うが、振動や、音などの影響が、漁業や人にどの程度あるか分からないので、しっかりした説明とデータを示してほしい。	
4871	HPの景観CGを見た。夏場はきれいかもしれない。 冬場は音がきこえると不気味に感じるかも。	
4872	人体に害がないということなので地球温暖化対策として良い事なので賛成します。	「風力発電施設から発生する騒音等への対応について」（平成28年11月版）によれば、「一般的に騒音による影響には、聴力損失への影響（聴力影響）、会話を妨害される影響（会話影響）、睡眠を妨げられる影響（睡眠影響）、不快感/わずらわしさ（アノイアンス）等がある。風車騒音による影響については、風車騒音のレベルとわずらわしさ（アノイアンス）を感じる程度の間には統計的に有意な関連が複数の論文で報告されている。また、睡眠影響については、風車騒音のレベルとの直接的な関係性、またはわずらわしさ（アノイアンス）の程度が上がる結果としての間接的な関係性がある可能性を示唆する知見が報告されている。ただし、睡眠影響との関連の科学的根拠は現段階ではわずらわしさ（アノイアンス）に関するものよりも限定的である。一方、聴力影響、頭痛、耳鳴り、糖尿病、高血圧、循環器疾患等の健康影響については、統計的に有意な根拠は認められていない。以上の知見により、風車騒音は、わずらわしさ（アノイアンス）に伴う睡眠影響を生じる可能性はあるものの、人の健康に直接的に影響を及ぼす可能性は低いと考えられる。」と報告されています。この様な知見も考慮して、「評価の目安となる値：残留騒音＋5dB」が提案されています。 本事業では、環境省が提案している、「評価の目安となる値：残留騒音＋5dB」に収まっていることが確認されており、人の健康に直接的に影響を及ぼす可能性は低いと考えております。今後も環境影響において不安を解消し、地域の皆様にも理解をして頂けるよう、正確な情報を発信してまいります。
4873	人体に害がなく、さらに地球温暖化対策にも有効だと思うので，賛成。	
4874	人体に害が無く安全なので賛成 地球温暖化対策として有効で、再生可能エネルギーとして利用できるので賛成	
4875	人体に害が無い手段で複合して再生可能エネルギーを利用する事が大事なので、賛成します。	
4876	人体に害が無い手段で複合して再生可能エネルギーを利用する事が大事なので、賛成します。	
4877	人体に害が無い事が十分に分かったので賛成です。 再生可能エネルギー利用に賛成です。	
4878	人体に害が無い事が一番だと思います。 下関の活性化となる事に期待しています	
4879	人体に影響がないことを理解でき、かつ原発をなくすには欠かせないエネルギー源だと思うので賛成します。又、子供が風車が完成するのを楽しみにしています。	
4880	人体に悪影響がないようだし、再生可能エネルギーを利用することは大切なことだと思う	
4881	人体に悪影響か無いのであれば非常に良い発電システムだと思います。 洋上に設置されるとなれば景観も期待できそうなので下関市の活性化にもつながると思います。 利用期限が決まっているのは、なぜでしようか？ 良いものならもっと長く使用すればいいと思うのですが。	
4882	人体に(耳・地鳴等も含め)影響が無いのなら原発を少なくする為にも再生可能エネルギーに賛成です。	
4883	人体被害は無い効率のいい発電システムだと感じます。未来に残せる再生可能エネルギーを利用することは賛成します。	
4884	人体被害がない事がわかったので、下関の活性化・原発廃止ができればいいです	
4885	人体の害や騒音が無い事が分かり、下関の活性化にもなると思うので賛成	
4886	人体には害がないとのことでしたので賛成です。 また、原子力発電が稼働されるのが難しい状況の中で、害のない風力発電は必要不可欠なものだと考えます。	
4887	人体に害がない方法で複合して再生可能エネルギーを利用することが大事なので賛成します。風車の完成した景観も見てみたいです。	
4888	人体に害がないのであれば、24時間風が吹けば電力をつくる事ができる風力発電は効率的だと思います。	
4889	人体に害がないので、再生可能エネルギーを使用できれば良い事だと思う。	
4890	人体に害がないだけでなく風車が完成した景色をみてみたいし、楽しみである 原発はいろいろな事があり不安でもあり人体にも害があるので賛成できない	
4891	騒音の事で人体に影響が出るのではないかと心配していましたが、人体に害が無いことが分かり、風力発電という再生可能エネルギーの利用に大いに賛成です。 完成した風車を見るのも楽しみにしています。	

4892 から 4895	反対 漁場が失われる	環境影響評価法では、環境に大きな影響を及ぼすおそれがある一定規模の事業を実施する際に、あらかじめ事業が環境に与える影響を、調査、予測、評価し、その結果に基づき適正な環境配慮を行う事が定められております。本事業においても、環境影響評価の対象となっており、事業実施前の環境調査結果を踏まえて、予測、評価を行い、環境保全措置を講じることで、環境影響を可能な限り回避・低減するよう努めております。 漁場喪失の懸念として魚類への影響が考えられますが、事業の実施により生息環境が変化することによる影響については、風車タワー及びケーブル敷設によるものと、濁りの発生と拡散、建設機械及び施設稼働時の水中音によるものが考えられます。水の濁りについては、濁りの範囲は限定的であること、底質の変化については、有害物質等の影響は小さいこと、地形改変については風車タワーの設置範囲の縮小化、設置基数の削減により改変範囲を可能な限り狭くしたこと、水中騒音については、威嚇レベルの範囲が限定的であることから、生息環境への影響は小さいと予測されています。以上より、生息環境の変化による生息状況への影響は小さいものと考えられ、漁場が喪失する事はないものと考えております。一方で、風車基礎周辺に魚礁を設置する事により、豊かな漁場が生まれるとの理由で、山口県漁業協同組合関係者は下関市長に事業推進の要望書を提出しております。推進要望を提出し、かつ漁業補償契約を締結している県漁協の方々と具体的な振興策について話し合い、本事業を通じて漁業振興に貢献したいと考えております。
4896	反対 漁場が心配	
4897	反対 漁場が心配	
4898	反対です 漁場が失われるから	
4899	反対 反対 漁場が失われたら困ります	
4900	反対　反対　反対 漁場が失われる	
4901	反対です 住民の同意がない	
4902	漁場が失われ、資源の損失、漁場・環境を守る為、反対致します。	
4903	・漁場が失われる	
4904	漁場がうしなわれる	
4905	漁場に悪影響を与えるため反対します　安岡沖風力発電	
4906	・漁業に影響がある	
4907	漁場がなくなる為、反対	
4908	・環境変化に伴う漁業等への影響	
4909	環境保全の見地からは漁師の私としては実際に漁をしている所に建設するので全く影響がないと実験だけでどうしてわかるのですか？実際に建設して影響が予想よりも遥かに大きい可能性もありますよね。その場合、漁師が生活できなくなって環境を破壊して何が環境に優しい再生エネルギーですか？今まで岩礁帯に建てたことはあるのですか？	
4910	若い漁師の少ない中、親の代を引き継ぎ、これから一生懸命、仕事をしようと思っているのに、風力が出来ると収入は無くなるし、将来性が見えない・・・ 誰れが保証してくれるのか、安岡以外で風力を作ればいい	
4911	子どもの頃から魚つりをしたり、タコ取りをしたりして親しんだ海に、風力発電が出来るのはとても残念なことです。大切な資源や環境を後世にずっと残して欲しいと思います。	
4912	反対します 自然環境、漁場等の喪失	
4913	自然環境・漁場等の喪失	
4914	自然環境、漁場等の喪失	
4915	自然環境や漁場が失われるおそれがある為反対します。	
4916	安岡の自然環境、漁場の喪失。漁業にえいきょうする為	
4917	人体、および自然環境、漁場等の喪失などの影響をおよぼす、安岡沖洋上風力発電事業には反対します。	
4918	・自然環境・漁場の消失	
4919	①自然環境、漁場の喪失　自然破壊	
4920	自然環境・漁場等の喪失	
4921	自然環境や漁場等の喪失につながる為　私は反対します。	
4922	自然環境破壊や漁場等の喪失につながる為 反対します	
4923	自然環境、漁場等の喪失の為反対します。	
4924	自然環境・漁場等の喪失	
4925	自然環境・漁場等の喪失	
4926	自然環境・漁場などの喪失に繋がるので、風力発電反対です。	
4927	・建設に反対します ・自然環境・漁場等の喪失になるから	
4928	自然環境　漁場等の喪失	
4929	・自然環境・漁場等の喪失	
4930	・自然環境・漁場への影響	
4931	・漁場や自然環境への影響	
4932	・自然環境・漁場等の喪失	
4933	自然環境・漁場等の喪失 海岸に建設すると建設中の汚染物質などが海へ流れたり、海の中の魚などにも汚染物質付着したりして魚が食べれなくなったり、海の中で死んだりすると思いますので建設に反対します。	
4934	自然環境、漁場の喪失がある為、反対します	

4935	何よりもこの美しい風光明媚な自然を壊さないで欲しい、せっかくこの美しい海と山とに囲まれたふるさとに汚点を残したくない	同　　上
4936	御社は何故洋上風力発電事業を安岡沖に必要と思われるのでしょうか？私は子孫に残すべく自然を壊して欲しくないと意見します	
4937	1.風光明媚な自然が人工物によりなくなる	
4938	環境被害が懸念されるので安岡沖洋上風力発電事業に反対	
4939	・自然環境・漁場等の喪失 自然のものが食べづらくなる、安全性	
4940	安岡海岸沖は自然に恵まれた漁場があり、環境破壊のリスクのある風力発電建設に断固反対です。もし魚介類が獲れなくなった場合住民にとって不利益が生じるだけでなく健康への影響が懸念されます	
4941	自然環境・漁場等が失われる可能性がある為	
4942	目に見えない低周波による健康被害があることや、それによる自然環境や漁場等の喪失、更に居住環境の破壊・資産価値の減少による地域の衰退が見込まれ、不利益な点が多いと考える為、風力発電の建設に反対至します。	
4943	安岡沖洋上風力発電に反対します。 自然環境、漁場等の悪影響も気になるし、目に見えない低周波音による健康面が心配である	
4944	自然破壊により漁業のえいきょうも出てくると考えられ、漁師の生活問題や低周波音による健康被害も出てくる可能性もあり、反対です。	
4945	自然環境・漁場等の喪失及び健康障害が心配な為 建設に絶対反対いたします	
4946	建設反対です。すぐ近くに漁場もあり、漁師の方の死活問題にもなります。自然環境にも障害が出てきます 反対です	
4947	安岡沖洋上風力発電事業には　反対します。理由は、工事の際に、海底が荒れて、魚の産卵場所が無くなる等被害が考えられるからです。	
4948	ＣＯ2等の温暖化ガスを大幅に削減できるのは良いと思いますが、漁業の事を考えると複雑な思いもあります。	
4949	風車の騒音で近隣住民の迷惑になったり、魚が逃げて漁業に影響がでる可能性があるので、そこの対策をとった上でしてほしい。	
4950	化石燃料を使用しないクリーンエネルギーであり、洋上であれば低周波の影響も最小限で済むはずであり、推進してもらいたい。漁業への影響は他地域のデータ等でしっかり示してもらいたい	
4951	風力発電の建設で下関市民の電気代が安くなればいいなと思う。 建設によって漁師達の仕事に悪い影響を与えるのであれば、漁師達の納得いくような環境整備をしつつ、建設すればイイと思う。ＷＩＮ、ＷＩＮの関係であれば大賛成です。	
4952	地元漁師の反対の人が多いが、漁業に影響がないのかが聞きたい。	
4953	海（魚場）、風車の音、低周波問題、周り環境は大丈夫か。	
4954	安岡沖洋上風力発電によっての自然破壊や漁業への影響、健康被害などが心配です。	
4955	・自然環境の喪失	環境影響評価法では、環境に大きな影響を及ぼすおそれがある一定規模の事業を実施する際に、あらかじめ事業が環境に与える影響を、調査、予測、評価し、その結果に基づき適正な環境配慮を行う事が定められております。本事業においても、環境影響評価の対象となっており、事業実施前の環境調査結果を踏まえて、予測、評価を行い、環境保全措置を講じることで、自然環境への影響を可能な限り回避・低減するよう努めております。なお、これらの結果は環境影響評価準備書としてまとめ、下関市、山口県、経済産業省の審査会や顧問会等において審査頂くことになっております。
4956	・自然環境の喪失	
4957	・自然環境への影響	
4958	環境が悪くなる	
4959	環境に影響があり、安心出来ない	
4960	環境に悪いから	
4961	環境に悪いと思うので反対	
4962	環境の影響から見て反対します。	
4963	環境破壊	
4964	環境破壊となるような事業には賛成いたしかねます。何の為の施設なのでしょうか…人間本来の生活について考えてみた方が良いと思います。	
4965	環境破壊につながる	
4966	環境破壊につながるため反対	
4967	環境破壊につながるので反対	
4968	環境破壊につながるので反対します	
4969	環境破壊につながるので反対します！！	
4970	建設反対！！環境破壊につながる	

4971	自然環境・漁場等の喪失が心配なため、反対します。	同　　上
4972	自然環境が悪くなる為	
4973	自然環境が悪くなる為悪くなるため反対です。	
4974	自然かんきょうが悪く健康に悪えいきょうです。	
4975	自然環境並びに漁場等の喪失につながり当抵容認する事が出来ません	
4976	自然環境に影響が出て、下関の魚は美味しいといわれている意見に悪影響がおよぶと考えられる。	
4977	自然環境に害がある為	
4978	自然環境の喪失	
4979	自然環境の喪失を理由とし、建設反対	
4980	・自然環境への悪影響	
4981	自然環境の破壊が気になる為	
4982	自然環境の破壊になると思うので反対します	
4983	自然環境破壊がある為、反対します	
4984	自然破壊になるから風力発電に反対です。	
4985	自然破壊反対です。	
4986	・自然が破壊されそうである。	
4987	自然環境がそこなわれる	
4988	自然環境の喪失	
4989	下関全体的に環境が悪くなる	
4990	節電に心がければいい事。自然破壊による影響は大きい。必要ない	
4991	反対 環境破壊が心配	
4992	環境破壊に繋がるのではないか	
4993	反対 かんきょうはかいが心配だから	
4994	反対 建設が進められる事により、自然環境に大きく影響が及ぼされると思います。	
4995	反対する、自然を破壊	
4996	反対です 環境の破壊が心配	
4997 から 5002	反対です 自然環境の破壊が心配です	
5003	風力発電が作られることにより、下関の豊かな自然が破壊されるおそれあります。そのような観点から反対です。	
5004	風力発電は自然破壊するだけで、何もメリットがないと思います。	
5005	風力発電は良いことだと思いますが、安岡地域に住む住民としては環境に影響があります 風力発電に反対します（安岡沖1.5km）	
5006	風力発電をたてる事で、海岸の自然環境が悪くなるのではないかと思います。	
5007	安岡に人が住めなくなるから（環境影響で）	
5008	安岡風力発電は反対です。 自然破壊の為	
5009	・自然環境への被害　磯物の漁場や海水浴への被害豊かな自然が破壊される	
5010	反対です。昔から知っている海　自然環境が変わるのは嫌です。 大きな風車、音、近くに住んでいる小さな子どもたちは驚くのではないでしょうか。小さな子どもから老人まで安心で安全な生活を	
5011	安岡沖風力発電反対します。 海の自然環境に良くない為。	
5012	自然環境の変化による、動物、食物、人間への影響が心配です	
5013	自然破壊に依る　悪影響が多大であると思います。 漁師の方々の生活問題もかかわりが多いと思い反対致します。	
5014	・環境汚染になる（海や山など）	
5015	まず自然破壊が問題です。人間の生活のため電力をおこすため自然を　破壊して電力をおこすことに反対です。 今まで大事にされてきた安岡沖がわざわざ工事や設置ではかりしれない悪影響がおこるとおもわれますし、絶対ないとは、誰も言えません。私達の子孫たち、未来のために自然をそのまま残すことは、使命であり、必然です。	

5016	安岡地域は昔から漁業、農業で生計を立てている住民が多く、風力発電事業による環境破壊により、それら住民の生活が困難になることが容易に考えられる。 代々この安岡の土地で暮らしてきた住民の生活を、一企業の利益追求のため奪うことは絶対に許されることではない。	同　　上
5017	・環境被害 ・周りに住んでいる住民被害 があるのではないか 反対	
5018	安岡の海側には、めずらしい魚がいっぱいいます。 ダイビングが趣味で　たくさんの海を見てきました。 自分の地元の海は、とても、じまんできる！！ ですが、人間のかってな、理由で海をよごしたり環境をこわすのは、残念でなりません	
5019	環境にどの程度の影響があるか明らかではないし、詳しい説明もない。地元の方は非常に不安ではないだろうか、	
5020	環境への影響、近隣住民への影響が多大ではないか。	
5021	環境や健康に与える影響があるのでやめてほしい。	
5022	下関のきれいな海が消失するようで反対です	
5023	今のままで現状維持で良い　海自然を残してほしいです。	
5024	・建設予定地に岩場はないのか？（かんきょうはかい）	
5025	安岡沖に風力発電は必要ない。各家庭で太陽光発電で十分と思う。子供達の未来のためにこれ以上自然破かいはやめて下さい。	
5026	安岡沖風力発電絶対反対 近くに病院等など沢山有り環境に悪い	
5027	風力発電の設置により、何らかの影響があるのでは？自宅近くにあんな物が出来ると目障りです。（反対！！）	
5028	私は、風力発電のための開発によって大切な故郷の自然を破壊され、自分たちの利益のために後世に負の遺産を残したくありません。私たちはこれ以上の欲を出してはいけない時代にいると思います。風力発電建設に反対します。	
5029	環境保護の重要性は全国/世界的に叫ばれている昨今、あきらかに環境影響が多大な事が明確な建設をすすめる必要はないと考えられる	
5030	環境や漁業への悪影響のない建設を期待しています。	
5031	環境への影響はどうですか。	
5032	実生活の中でどの程度の環境に問題が出るのかわからないが少しでもがいがあるなら反対。	
5033	環境問題、安全、健康に問題ないか。	
5034	環境、人に対する影響をもっとしりたい。	
5035	環境に問題はないのか	
5036	風車出力や設置数は計画については分かったが、どこの電力会社に行き、消費者にメリットはあるのか、環境にどのくらいの影響があるのか、詳しい情報を１回で知りたかった。	
5037	環境にあたえる被害を十分に検討してほしい。自然の景観が一番美しいはずです。エネルギー問題は考えていかなければならないことですが、本当に不足しているのか、これから20年先のエネルギー対策はどうなのか等一部の見識にとらわれず判断してほしい 建設されてからとりもどせないものは、たくさんあると思いますので	
5038	人的被害を含めて、現在の環境が著しく損なわれるのであれば反対である。	
5039	環境面には、きちんと配慮してください。	
5040	地元住民を犠牲にして、生活、漁業環境を壊す悪質な事業を断固反対する。前田建設は作ったら別の会社に渡して後は何の責任もとらないと聞いている	事業者として、開発、建設、運営と一貫して責任をもって対応いたします。メンテナンスにおいては、計画に基づき実施しますが、万が一事故が発生した際には、速やかに原因の分析と復旧を行います。
5041	・事故発生時、水質汚染が心配です。	
5042	・地元漁師の繁栄に結びつかない。	漁へのデメリットを補うために魚礁の設置等プラス面を創出していきたいと考えております。
5043	３、漁場が狭くなり漁が出きない。	
5044	２、漁場が狭くなり漁が出きない。	
5045	・漁場の邪魔になる。	
5046	居住環境の破壊	本事業は、洋上風力発電事業（洋上着床式）といった事業の特性上、海域に設置される特徴を有しております。したがって、建設工事、施設の稼働等については海域が主体となりますので、風力発電施設設置等の直接改変は行いませんので、居住環境を悪化させるものではないものと考えております。
5047	居住環境の破壊	
5048	居住環境の破壊の為反対	
5049	居住環境の良さで発展した地域なので、環境が悪くなれば、人が減り地域の衰退を招いてしまうと思う。	
5050	反対 居住環境の破壊	

5051	・居住環境　若い人が住めなくなる　子や孫への身体影響長い年月かけて影響してくるので地域の衰退への影響があると思われる	同　　上
5052	・地域の方が住みにくくなる	
5053	風力発電による電力補給は意義のある事だと思われますが、現実風力風車を設置している地域は今までの生活エリアを放棄し居住元を去ってしまう事を耳にします。最終的には地域をゴーストタウン化してしまう、建設には断固反対いたします。	
5054	安岡沖洋上風力発電事業に反対します 現住居地離れられないため	
5055	居住環境の破壊、資産価値の減少、地域の衰退	平成22年の環境省が実施したアンケート調査結果（全国の風力発電事業者のうち186事業者、40都道府県から回答）によれば、継続している「苦情」は、風車から1,020mまでとなっています。本事業の風力発電施設から最も近い民家まで1,500mという距離は騒音の影響を低減するための十分な距離と考えております。景観については、配置は規則性に配慮し、色彩については周辺の景観との調和に配慮するなどの環境保全措置を講じることにより、実行可能な範囲で影響を低減するよう努めます。したがって、本事業が地域の資産価値を低下させる直接的な原因とは結びつくものではなく、地域の衰退に影響を及ぼすようなものではないと考えております。一方で、本事業における経済的な効果、地域の活性化にも期待されている面について、その一助となるよう事業を推進してまいります。
5056	居住環境の破壊、資産価値の減少、地域の衰退を招く為、建設に反対します。	
5057	住居環境の破壊に資産価値の減少、地域の衰退があるので反対します。	
5058	住居環境の破壊に資産価値の減少、地域の衰退などの理由から反対します。	
5059	・居住環境の破壊、資産価値の減少、地域の衰退	
5060	・居住環境、破壊、資産価値の減少、地域の衰退	
5061	・自宅の資産価値の減少も迷惑です	
5062	③安岡に住んでいるので不動産の価値が下がるのではないかと不安	
5063	・子供達の大切な資産価値がさがると大変です、反対します。	
5064	自治体等の理解が得られておらず建設は時期尚早と考える。 また、資産価値の低下等すでに実害が出ており、その補償も明確にしていく必要がある	
5065	安岡横野地区を中心とした地域の資産価値が減少するため、建設を反対します。	
5066	・安岡に子供の不動産があり資産価値の減少や居住環境破壊のため　反対です	
5067	資産価値の減少を理由とし建設反対	
5068	仕事柄　建築にたずさわっていますので土地価格の下落に供い建築物が建つのが少なくなるのが問題だと思う	
5069	・地域性の資産価値のダウンの不安	
5070	◎風力で風の通り道が変わり農業等に害がある	風車は風のエネルギーを吸収してしまい風車後流の風が弱くなることが考えられますが、「風力発電ガイドブック」（NEDO（独立行政法人　新エネルギー・産業技術総合開発機構）、2008年2月改定第9版）によれば、「風車の風下に形成される風況の乱れた領域はウェーク領域と呼ばれ、（中略）風下方向に10D程度であることが、実験や実測により確かめられている。」とあります。（D；ロータ直径、計画では130m）本事業では、風車間隔を3D以上とることで谷間風の影響を小さくする、また、住宅地まで10D(1,300m)以上離すことで、乱れの影響をなくすよう計画しております。
5071	原発の代替として自然エネルギーである風力発電を積極推進すべき。（洋上はさらに推進すべき） 低周波や電磁波の影響はイメージ先行にせず、客観データーに基づいた継続的かつ分かりやすい情報開示をお願いしたい	送電線を地下に埋設した場合、地上1.0mでの電磁波の予測値は10μT以下という結果でした。我が国の電磁界の規制値は200μＴであり、それを大きく下回っています。また、10μTという値は「送電線等の電力設備のまわりに発生する電磁界と健康」（経済産業省商務情報政策局、平成27年度版）によると電気カーペットの上にいる状態とほぼ同じ値です。
5072	環境にやさしい自然エネルギーの開発が下関で実施される事に大変期待をしています。新たに産業の誘致、雇用の創出、観光地としての効果等がある反面住民が心配している電磁波、騒音等の不安要素も残っています。それらの調査結果を市民に分かりやすく説明していただいて下関全体で推進できるプロジェクトになればと思います。	
5073	原子力発電と比べ事故が起きた際の被害は極めて小さく、魅力的ではあるが、電波などの影響が心配です。	
5074	風力発電による電磁波の影響がどの程度かわからないので、反対です。また、漁業への影響もわからないので	
5075	洋上風力発電は絶対に反対する。 安岡病院、済生会下関総合病院他、電磁波による被害がある。	
5076	電磁波の影響が心配なので反対する	
5077	先日、読売新聞の下関版によれば既に風力発電の建設が既成の事業の如く進められているようですが安岡住民の意見も反対の方も多く、私も自身ペースメーカーにて生活しておりますので何かと不安に感じて居ります。電磁波も少ないとの発表でしたが、何を基準にしているのかあの発表では不安を感じざるを得ません、私共は僅か残りの人生ですが孫達の先を考える時に今一度再考して頂ければと思って居ます	

5078	風力発電から送電線が安岡病院の前を通り、私達の住んでいる住宅街の中を通って埋め立てられようとしています。子供達の通学路であり、生活道路です。地下に埋設した電線が私達の身体に影響がないはずはありません。安岡洋上風力発電事業に反対します。	同　　上
5079	高齢者の患者様でペースメーカーの方もいらっしゃるのでリスクが多い	
5080	海中の漁やさざえ色々なしぜんをこわし家の前を電線が通り電波や病人の人には、色々とわざわいがおこり、自然をはかいして、そんなに、とくになる事はないと思いゼッタイに反対します。はんたいです、風力発電をはんたいします、反対	
5081	電磁波等の影響が気になります。	
5082	・電磁波による人体への影響が心配	
5083	はっきり電磁波が出る事が判っている事を容認できない 自然破壊や健康被害を出してからではおそい 子や孫たちが　安全に安心して生活できる下関の地の景色、景観を人の手で壊さないでほしい！！	
5084	海の景観が悪くなり、電磁波の影響が心配なので反対	
5085	当海岸の明媚な自然海岸に建設が進めば漂砂現象海流の変化等により、磯物の漁場は失われ、海水浴場の砂は沖合に流れ海浜が消失する、渡り鳥の被害、また市民自慢の夕陽は、風車によるシャドーフリッカーにより、耐えがたい風景に一変すると聞きましたので反対します	既存資料の整理の結果、フリッカー効果は発電機ローター直径の10倍以内でのみで発生するとされています。本事業の場合、住宅地と風力発電機との距離をローター径（130m）の10倍となる1300m以上とることにより、シャドーフリッカーの影響が回避可能であると考えられています。本事業における洋上風力発電機単機の基数は15基であるが、それぞれの発電機から1,300m以内に家屋はないため、シャドーフリッカーによる人への重大な影響は無いと考えております。 環境への影響については、事業実施前の環境調査結果を踏まえて、予測、評価を行い、環境保全措置を講じることで、自然環境への影響を可能な限り回避・低減するよう努めております。本事業においては、地域の皆様の反対があることも理解しております。署名については、重く受け止めており、反対意見を踏まえて風力発電機から最も近い民家までの距離を1,500m以上離す内容に計画を修正しております。また、国内外の最新の知見を重視し、「風力発電施設から発生する騒音等への対応について」等、これらに沿った計画にしております。
5086	当海岸の明媚な自然海岸に建設が進めば漂砂現象海流の変化等により磯物の漁場は失われ、海水浴場の砂は沖合に流れ海浜が消失する、渡り鳥の被害、また市民自慢の夕陽は風車によるシャドーフリッカーにより耐え難い風景に一変してしまいます。	
5087	自然海岸に建設が進めば海流変化等により磯物の漁場は失われ海水浴場の砂は沖合に流され海浜が消失する、渡鳥の被害、また、市民自慢の夕陽は風車によるシャドーフリッカーにより耐え難い風景に一変するとおもうからです	
5088	以下の理由により建築に反対します。 自然環境・漁場等の喪失 当海岸の明媚な自然海岸に建築が進めば漂砂現象、海流の変化等により、磯物の漁場は失われ、海水浴場の砂は沖合に流れ海浜が消失する、渡り鳥の被害、また、市民自慢の夕陽は、風車によるシャドーフリッカーにより耐え難い風景に一変します。 低周波音等による健康障害 近年、低周波音等の直接耳に聞き取りにくい、遠距離に届く振動「低周波音・超低周波音」による健康障害の問題点が、国内外での被害例などにより浮上、国による調査・研究が進められておりますが、洋上での対応、疫学的な明確な結論も出ておりません。 また、日本弁護士連合会による新たな法規制の設定などの意見書も提出されております。	
5089	風力発電はいくつかの環境影響をもたらすことが指摘されている。風力発電所の一般的な事業特性から、環境要素の中でも、騒音、超低周波音や動物（鳥類）、景観、シャドーフリッカーが特徴的な課題として挙げられている。風力発電所の近隣を中心に、地域住民が健康被害の苦情等を訴える問題が生じていることを考えると、地域住民としては、人体へ与える影響、自然環境の喪失が懸念され、安心して生活を送ることができないため、安岡沖洋上風力発電事業の反対を願います。	
5090	・光の点滅現象で体調不良（頭痛）を起こす事があるのでは・・・現にわずらわしい事がある	
5091	安岡沖洋上風力発電事業反対です。 低周波による健康被害が懸念される。日本国内、世界各国で報告される健康被害が起こらないと言い切れるのか？ 反対を押し切って建設してまでの価値があるのか？ 羽の影（ストロボ効果、シャドーフリッカー）の影響は無いのか？ 前田建設の関係者の方々ご本人や大切な家族が風車設置エリアから最も近い民家にお住まいになると仮定されて「影響がない。安心して暮らせます。」と思われますか？他人の住んでいるところだから、仕事だからと考える前にもう一度考えて欲しいです。	
5092	自然の海岸に建設が進めば海流の変化等により磯物漁場は失われます。また海水浴場も消失します。夕陽も風車によるシャドーフリッカーにより耐え難い風景に一変します。 私は安岡沖1.5kmの風力発電に反対します。	

5093	住民の同意が得られずすでに、建設反対署名は97,374筆に達しており、下関市議会の「安岡沖洋上風力発電事業の反対に関する請願」の決議を始め、下関市長宛ての建設反対陳情書は、地元漁民、地元自治会、医療機関等の各職域から逐次提出されて、建設反対は地元民の総意となり、同意は、全く得れれていない状況にあります。 また、自然環境、漁場等の喪失により当海岸の明媚な自然海岸に建設が進めば漂砂現象、海流の変化等により、磯物の漁場は失われ、海水浴場の砂は沖合に流れ海浜が消失する、渡り鳥の被害、また、市民自慢の夕陽は、風車によるシャドーフリッカーにより耐え難い風景に一変します。反対します	同　　上
5094	自然環境 自然エネルギーである風力発電は原子力に比べるととっても素晴らしい技術だと私は思いますが当海岸に自然海岸に建設が進めば自慢の夕陽が風車によるシャドーフリッカーにより耐え難い風景に変わって来ます。悲しい事に磯物、魚が失われます 私は安岡沖1.5kmの風力発電に反対します。	
5095	安岡沖に洋上風力発電事業が行われる事により自然が失われ漁場は失われ風車によるシャドーフリッカーにより耐え難い風景に一変してしまう。	
5096	当海岸は西に開けたもので、西よりの風が多く海の風や波の音が多く陸上によせる。また、夕陽などの風景も風車によるシャドーフリッカーにより耐え難い風景へと変化する。さらに遠距離に届く、低周波音や超低周波音による健康障害の問題点が子や孫に至る影響ははかりしれない。当後背地やこれに隣接する地域への不動産売買のストップや若い人の転出などによる資産価値の低下などは、下関市街地や北九州への職場への通勤圏として、ここを永住の地と定めた人々にとっては、大変耐えがたいことで有る。	「風力発電施設から発生する騒音等への対応について」（平成28年11月版）によれば、これまでに得られた知見として、20Hz以下の超低周波音領域は、すべて知覚閾値を下回っているため、「風車騒音は、20Hz以下の超低周波音の問題ではなく、通常可聴周波数範囲の騒音の問題としてとらえるべきものであり、A特性音圧レベルでの評価を基本とすることが適当である。」とされております。また、同資料では20Hz以下の音を「超低周波音」とし、それ以外の音（周波数が20～100Hzまでの音を含む）を「騒音」と区別した上で、「頭痛、耳鳴り等の健康影響については、風車騒音との統計的に有意な関係を示す知見は確認できなかった」との考え方が示されており、風車騒音による健康影響については無いものと考えております。既存資料の整理の結果、フリッカー効果は発電機ローター直径の10倍以内でのみで発生するとされています。本事業の場合、住宅地と風力発電機との距離をローター径（130m）の10倍となる1300m以上とることにより、シャドーフリッカーの影響が回避可能であると考えられています。本事業における洋上風力発電機単機の基数は15基であるが、それぞれの発電機から1,300m以内に家屋はないため、シャドーフリッカーによる人への重大な影響は無いと考えております。 平成22年の環境省が実施したアンケート調査結果（全国の風力発電事業者のうち186事業者、40都道府県から回答）によれば、継続している「苦情」は、風車から1,020mまでとなっています。本事業の風力発電施設から最も近い民家まで1,500mという距離は騒音の影響を低減するための十分な距離と考えております。また、景観については、配置は規則性に配慮し、色彩については周辺の景観との調和に配慮するなどの環境保全措置を講じることにより、実行可能な範囲で影響を低減するよう努めます。したがって、本事業が地域の資産価値を低下させる直接的な原因とは結びつかないものと考えております。
5097	◎住民の同意が得られていない ◎風車によるシャドーフリッカーにより耐え難い風景に一変する 住民が住みやすい環境にし地域の景観を守る必要があるのではないか	
5098	自然エネルギーはよいことだと思いますし、多少の犠牲は考えられるものの、住民の同意が得られていないままでの建設には大反対です。　また低周波への不安、シャドーフリッカー　景観の破壊などを考えれば、居住地のみならず病院や施設の近くに建設を予定することそのものがおかしいと思います。 弱者にやさしい企業であって下さい	
5099	風上発電建設により、低周波音等の人が聞こえにくい低周波音と超低周波音によって、健康障害の問題があると言われています。国内外での健康事例などにより国による調査はされていますが、確実な結論がでていないという事が、医療人である側にとって、とても不安です。また、住民自慢の夕陽は、風車によるシャドーフリッカーにより耐え難い風景に一変すると思います。	
5100	風力発電機の稼働による低周波や超低周波、晴天時のシャドーフリッカーによる視覚や聴覚へのストレス、またそれに伴う健康被害のリスクがある為、近隣住民への十分な説明、配慮が必要だと思います。	
5101	リスク・コミュニケーションにおいては「正確な情報を共有し、安全対策や許容できるリスクについて相互の意思疎通、共通認識の構築、合意形成を図ることが期待される。」と辞書にあったが、前田建設が意見書と主観と偏見で選別して、ホームページにのせているので、地域住民同士でさえ他の意見が見落としになり、相互の意思疎通が可能となっていない。 又、前田建設の意見書の回答は『問題ないと考えています。』だけで、根拠が全く示せてなく、いいかげん。事業主体の責任能力がない。	頂いた意見については原文をそのまま記載するように致します。また、意見の総数、意見に対する事業者の見解も含めて、審査会等の資料として閲覧可能となります。
5102	一つ聞きたいのは、意見書を提出とありますが、それを取りまとめて、概要を官庁に報告するということですが、取りまとめというと大体どのようなことをするのですか。私の意見としては、何通意見書が出て、賛成が何通で、反対が何通で、住所氏名を書いているから、どの地域のものがどうだったか等、そのようなことをしっかりと報告することは難しいことではないと思います。それをお願いします。それは閲覧ができるのですか。	
5103	福島の原発、東電と大問題です。国もいいかげんです。 風力発電でトラブル発生時誰がどの様に責任を取られるのかはっきりと書面にて証明をお願いしたい。	貴重な意見として承ります。地域の皆様からの信頼を得て理解をして頂けるよう、正確な情報を発信してまいります。
5104	・最初からのやり方が汚ない	

5105	・漁協の幹部と業者だけで事が進められている。	同　　上
5106	・金の流が何かおかしいかんじがする。	
5107	・色々の問題に対しての責任の取り方がはっきりしない。	
5108	・問題が起きた場合しっぽ切りの用意をしているように見える	
5109	会社が信用できない。風力反対	
5110	先日、前田建設は、環境調査が終了したと云っているが、海、我々漁師に何の影響もないなど、とんでもない報告である。風車が立ってないのに机の上の数字だけで、問題ないなどあまりにも無責任な調査である。第一に、地元の住民、漁師の意見も、聞こうとしない、この様な会社は今まで聞いたことも、見たこともない。環境調査をするまえに、共励会の会長が、安岡の漁師に対して、納得のいく様な説明をしなければいけない。そして、納得がいくまで何度でも安岡に出向いて、まとめなければいけないでないか、自分がまとめきれなくして、こういう結果になっている、それを、我々に反対をするなとか、あきれて物が云えない。環境調査の結果など、だれも信じる人は１人もいない。	貴重な意見として承り、今後の検討に活かしたいと考えます。環境影響評価における予測手法は、科学的知見や、生態的特性等の知見に基づいており現段階での最新の知見に基づいた予測手法を用いております。なお、予測手法については方法書記載のとおりで、方法書は各種審査会等で諮っていただいております
5111	先ほどご説明もあった環境審議会で使用した写真なのですけれども、捏造いううわさが、ちょっと聞いたことがあります。それが本当に、果たして実際どうなのかということです。	景観審議会にて使用したパネル写真は、2か所の説明場所での風車の大きさを直接比較するための資料ではなく、各説明場所からの風車の見え方を理解していただくために用意した資料です。見え方をご理解いただくための資料としては、手前の土地や、背景の島、山並みの風景等との比較をしていただくことが重要であると考え、写真を大きく見やすくするためにパネルに合わせて拡大しました。背景との対比で風車の高さをイメージしやすい写真を提示することに主眼をおいた写真を提示したにすぎず、写真捏造の事実は存在しません。
5112	みなさまは景観審議会は知っていますか。前田建設工業株式会社が出された資料のねつ造の話しは一切なかったがその根拠はやどのようにだまそうとしたのか。距離が異なる所から見た風車の大きさをCGで出します。手違いで間違った資料を提出したというのが中にあるのかと思ったのですがそれがありません。	
5113	11月9日朝日新聞の記事によれば準備書を経産省に届け、その中で低周波による健康被害、漁場への影響は少ないと結論づけているが「会社第一主義」の主張で不正確な評価ではないでしょうか。 平成25年4月7日(日)安岡公民館での第一回説明会以来反対意見は出尽くしており、御社には届いていないのでしょうか。聞く耳を持たないのでしょうか。住民の声を真摯に受けとめるべきで、何が何でも建設ありきの考えを改めることが重要です。 昭和52年豊北町に中国電力の原発建設計画が発表され、激しい反対運動により中止となっており現在の上関へとつながっているのです。 歴史は繰返すことになるでしょう。	本事業においては、地域の皆様の反対があることも理解しております。方法書段階の当初計画では、風力発電機から最も近い民家までの距離は約760mであった事から健康影響への懸念や、景観的な圧迫感への懸念があったものと考えております。これらの懸念から方法書についての意見書や方法書についての説明会においては多くのご意見・ご指摘を頂きました。本事業では、方法書に記載した事業計画に対する環境保全の観点並びに住民等、国、関係自治体の意見を踏まえ、風力発電機の配置に当たっては、施設の供用に伴う騒音や低周波音、漁場、鳥類、景観等に対する環境負荷低減を図るとともに、漁船等の船舶航行安全に配慮した配置としました。方法書段階では、風力発電機から最も近い民家までの距離は約760mでしたが、準備書段階では約1,500mとなるように変更しました。最も近い民家までの距離を可能な限り離す事、及び候補の中で最も少ない基数とする事により、騒音や風車の影の影響の低減など、環境影響の程度を極力抑えることが出来る様、検討を行っております。なお、これらの結果は環境影響評価準備書としてまとめ、下関市、山口県、経済産業省の審査会や顧問会等において審査頂くことになっております。
5114	①現地調査が不完全な準備書など無効である。	現地調査は、全ての項目において完了しております。実施時期については、準備書に記載しております。調査の実施・方法は準備書に記載されているとおりで、科学的根拠に基づいて国が定めた調査方法・測定器で実施しております。
5115	調査がすべて終わったのか疑問である。一つ知っているのは借りていたところのびんビール箱の上に小さな設備がなされていた。そこでしていたのは見ています。こんな小さな装置でこんな大きな計画ができるものなのかという大きな疑問があります。	
5116	③環境保全の見地から、現地人として、意見をもらいたいのはこちらである。	環境影響評価法に基づき、手続きを進めております。
5117	・規模が大きすぎるのではないか。	現在、日本国内においては洋上風力発電所の計画が13カ所で計画されており、出力合計は190万キロワットとなります。本事業における計画が必ずしも、大きすぎる計画というわけではありません。
5118	②風車の故障による漁場の心配	風車の故障・事故の要因としても主なものは落雷等の自然災害によるものですが、下関安岡沖では落雷が少ない地域であることに加え、レセプター（避雷針）の改善や、落雷時の対策等も図られており、事故の予防に努めております。万が一事故が発生した際には、速やかに原因の分析と復旧を行います。
5119	・各地で風力発電の羽根が折れる時の事故が起きているが、この近距離で対応できるのでしょうか？	
5120	安岡沖洋上風力発電事業に反対します その場所に発電施設を建築する必要性につい全く共感することが出来ません	我が国のエネルギー政策、山口県の方針を踏まえ、本事業では下関沖の恵まれた風力資源を活用し、下関市の充実した港湾設備を利用し、工事、運営については地元企業の協力を得て本事業を推進し、地域への貢献を果たすことを目的としております。引き続き、地域の皆様のご理解・ご協力を頂きながら、地域への貢献を目指してまいります。

5121	・環境アセスメントをすることについて利害関係のない第三者機関が実施するのでしょうか、建設会社がした場合、信憑性に欠けると思われます	風力発電に限らず、事業者が委託した建設コンサルタントによって環境影響評価が実施されます。
5122	2.3年前に安岡海水浴場に検査機を設定するのも地区の許可無に設定する所を見たので注意したのにもかかわらず無視された。そうゆう人間性のかけらもない人のする事に許す事は出来ない。反省せよ反省せよ この平和な安岡地区に殺人機を建てたのはもっての他絶対に許す分にはいかない断固反対！！断固反対！！断固反対断固反対断固反対 いいかげんにしろ！	貴重な意見として承ります。
5123	魚は日本人にとって主食でもあります。安全第一に考えるべきだと思います。今、豊洲市場の問題もあるので、食べ物に関しては、安全を守ってほしいものです。私は、サザエ、海老などが、大好きです（ちなみに）	
5124	将来に渡る保証がない。もし事故がおこった時の対応が解らない、絶対と言う言葉は、ありえない、この世にはそん在しない。	事業の継続性や撤去の保証については、各種許認可（各官庁、金融機関、保険会社等）の手続きの段階で十分に審査されることとなります。メンテナンスにおいては、計画に基づき実施しますが、万が一事故が発生した際には、速やかに原因の分析と復旧を行います。
5125	④事業者の撤退、廃業又は倒産による発電設備の処分はどうするのか（公的資金の投入は反対する）	
5126	③電波障害はないのか（九州からのテレビ放送の映り具合等）	九州からの放映は福岡県北九州市にある皿倉山（北九州中継所）からの電波利用となります。「構造物障害予測技術（地上デジタル放送）」（NHK受信技術センター編、2003年）では、「送信点が見通せる場合、直接波が強いため透過波の位相と強度の変化による影響は少なく、受信電界の変動は無視できる（障害なし）。」とされております。本事業では、洋上風力発電という海面（平坦）に設置する特性上、送信点が見通せる条件であるため、影響はないものと考えております。
5127	④北九州に風力発電があります。 風車の前は会社の倉庫のようだし、人家はなさそうです。北九州を是非御参考にして下さい。一度是非北九州市の現状を調べるのも一方法です。	貴重な意見として承り、今後の検討に活かしたいと考えます。平成22年の環境省が実施したアンケート調査結果（全国の風力発電事業者のうち186事業者、40都道府県から回答）によれば、継続している「苦情」は、風車から1,020mまでとなっています。本事業の風力発電施設から最も近い民家まで1,500mという距離は騒音の影響を低減するための十分な距離と考えております。
5128	2.各種数値等は、概略設計段階のもので確定した数値ではないということだが、評価準備書が概略数値で良いのですか？（どのようにでもできるのではないか）	ご意見のように数値は概略設計段階のものではありますが、準備書作成段階での最も可能性の高い計画で環境影響評価を実施しており、環境影響の予測・評価結果に影響を及ぼすほどの大きな数値の変更が生じる事はありません。
5129	3.環境影響評価の結果概要で何度も環境保全措置を講ずることで、いろいろな影響を軽減できるとしている。しかも、その措置とは可能な限り陸域から離隔した水域に風力発電を設置するとして影響を小さいものとするとしていますが、民家至近距離760m→1500mにしたことが、可能な限り離隔した距離かどうか、保全措置とはこの程度なのか、極めて理解しがたい。（当初からの出来数値ではないのか）	本事業は、対象事業実施区域の中でのみ事業が可能となっております。そのエリア内で実行可能は範囲内での検討となっております。
5130	・ただ建設するだけでなく、建設後も地域住民や生物に対してどのような影響を及ぼすのか良く考察してほしい	予測の不確実性の程度が大きい項目について環境保全措置を講じる場合などは、事後調査を実施するようにしており、本事業では鳥類、水中音の事後調査等を計画しております。建設前、建設中、稼働後も含め、施設の騒音・低周波音の状況を把握する為、風力発電施設近傍の村崎の鼻付近においてモニタリング（環境監視）を行います。騒音・低周波音については、科学的知見に基づくNEDO式（風力発電のための環境影響評価マニュアル（第2版））による方法で予測を行っております。

5131	・建設反対陳情書は地元責任者、自治会、医療機関、各職域から提出され、地元民の総意となるも同意が全く得られていません ・建設が進めば海岸の風景、海流の変化による漁場、生物の被害などはなり知れない ・被害事例、国内外で浮上、遠距離に届く振動、低周波音による健康障害など問題となっている ・居住環境破壊、ベットタウンとして発展してきた地域が風力発電事業計画が発表されて資産価値の減少し下落が見込まれ、地域の衰退を招く事態となっております 沢山の問題が生じ、市民の苦慮するところです。 洋上での対応、疫学的な明確な結論も出ていません。	本事業においては、地域の皆様の反対があることも理解しております。方法書段階の当初計画では、風力発電機から最も近い民家までの距離は約760mであった事から健康影響への懸念や、景観的な圧迫感への懸念があったものと考えております。準備書段階では最も近い民家までの距離は約1,500mとなるように変更しました。最も近い民家までの距離を可能な限り離す事、及び候補の中で最も少ない基数とする事により、騒音や風車の影の影響の低減など、環境影響の程度を極力抑えることが出来る様、検討を行っております。 流速の変化は、風力発電施設周辺で±1.0～3.0cm/sec程度の流速差が予測されますが、風車設置地点近傍の範囲に限られていること、風車設置エリアの東側に位置する浅瀬（魚類等の生育環境場）では±1.0 cm/sec未満であること、海水浴場の砂の移動への影響も小さいと考えられることから、地形改変及び施設の存在による流況に与える影響は小く、漁業・漁場への影響は小さいものと考えております。 「風力発電施設から発生する騒音等への対応について」（平成28年11月版）によれば、これまでに得られた知見として、「頭痛、耳鳴り等の健康影響については、風車騒音との統計的に有意な関係を示す知見は確認できなかった」とされております。 鳥類への影響については、専門家のご意見を踏まえて、方法書段階より調査頻度を増やしており、これらの調査結果を踏まえ、影響を適切に予測及び評価を実施し、鳥類に対して実行可能な範囲で影響の回避・低減に努めております。 平成22年の環境省が実施したアンケート調査結果（全国の風力発電事業者のうち186事業者、40都道府県から回答）によれば、継続している「苦情」は、風車から1,020mまでとなっています。本事業の風力発電施設から最も近い民家まで1,500mという距離は騒音の影響を低減するための十分な距離と考えております。また、景観については、配置は規則性に配慮し、色彩については周辺の景観との調和に配慮するなどの環境保全措置を講じることにより、実行可能な範囲で影響を低減するよう努めます。したがって、本事業が地域の資産価値を低下させる直接的な原因とは結びつかないものと考えております。
5132	安岡沖洋上風力発電事業については、反対署名は97,374筆に達しており、建設反対は地元民の総意となり、同意は全く得られていない状況にあります。　安岡の海岸の明媚な自然海岸に建設が進めば漂砂現象海流の変化等により、海場が失われる、海水浴場の砂が沖合に流れ海浜が消失する。また市民自慢の夕陽は、風車によって耐え難い景色となってしまいます。美しい風景がみれなくなってしまいます。 　何より心配なのは健康被害です。私は安岡病院で働いており、一日の8～10時間程度過ごすことになります。また入院・入所されている患者様・入居者様・職員なにより住民の皆様へ遠距離に届く振動「低周波音・超低周波音」による健康障害が起きる可能性があり、建設にはんたいします。	
5133	安岡の美しい海岸に建設がすすめば、海流の変化がおこり豊かな漁場は失われます。 また海岸の砂は沖合に流され、海浜が消失するといわれています。 渡り鳥もバードストライクにあい命を落としてしまいます。 美しい景観を損なうだけでなく低周波による健康被害も問題です。 美しい海と命と　私達の健康をぜひ守っていただきたいと思います。	
5134	海がよごれ、漁が出来なく北浦の魚が食べられなくなり低周波音により身体に悪影響を受け、又後世の人達に美しい自然を残さなければ申訳ない	
5135	安岡沖洋上風力発電建設に絶対、反対します。 私の家は風力発電建設予定の2km圏内にあります。絶対、絶対、絶対、反対です。 なぜ、遠浅のなだらかな海に建設するのですか？ 静かで景観の良い海をそっとしておいて下さい。 建設によって海流が変わり、海岸が汚れていくのが耐えられません。 又、低周波音により、健康障害があると聞きます。生涯を健康で静かに暮らしたいと、この地に家を構えたのに、とても残念で許せません。 この先もず一っと安心して、住み続けて行ける様、子供や、孫達が健康で幸せに過ごして行ける様に願うばかりです。 風力建設、ヤメて下さい。	
5136	わずかの低周波音でも健康に障害が出るのではと心配です。又、海流の変化等により、磯物の漁場が失われ市民自慢の夕日が観られなくなるのが残念です	
5137	低周波音等の直接耳に聞き取りにくい振動による健康障害の問題が近年おこっています。 また海岸に建設が進めば、海流の変化等により、海水浴場の砂は沖合に流れ海浜が消失したり、風景もそこなわれます。 よって、安岡沖洋上風力発電建設に反対です。	
5138	今回の安岡沖洋上風力発電事業について私は反対の意見です。医療人として、健康障害の可能性がある事業に賛成することはできません。低周波音により多くの人々に影響を与えて、住みにくい町になるのは嫌な気持ちです。また、安岡と言えばきれいな海というイメージがありますが、風力発電によりその風景が悪くなることにも抵抗があります。磯物の漁場を失ったり、海浜消失、渡り鳥被害など安岡以外から訪れる人々にも影響を与え、様々なうわさも広がっていくと思うので、先々のことも考えながら決めた方がいいと思います。	
5139	環境や人体にストレスを与える事業に反対します。 海上に建設することで海流が変わり、魚類等に多大な影響があるとききます。造船等で寂れゆく下関をこれ以上淋しくしないで下さい。「空気、海がきれい、魚が美味しい」これがなくなると今後の下関はどうなるのでしょう。環境や人にやさしく、住み良い下関を守って頂きたいです。	

5140	低周波音・超低周波音による健康障害の問題点が明確な結論なしでは不安です。 風景の変化や渡り鳥の被害も気になりますので、風力発電の建設に反対します。	同　　上
5141	当海岸に建設が進めば、海流の変化等により漁場は失われ、海水浴場の砂は沖合に流れ海浜が消失する、渡り鳥の被害、また自慢の夕陽は風車により耐え難い風景に一変します。	
5142	自然海岸に建設が進めば、磯物の漁場は失われ、海水浴場の砂は沖合に流れ海浜が消失し、耐え難い風景になってしまいます。	
5143	風力発電は、自然・景観・生態系等周辺環境に多大なる弊害を与えることが世界中で報告されており、騒音被害、とくに耳で聴こえない低周波音は住民（人体）に深刻な健康被害をもたらしています。風車騒音は“聞こえる”環境騒音ととらえるべきものではなく、“聞こえない”低周波音の問題ととらえるべきものです。私たち住民には、健康で平穏な日々の生活を営む権利がある。（特に、これからの日本を背負っていく、子や孫たちのために）地元住民の同意もなく、健康被害をもたらす恐れのある「安岡沖洋上風力発電事業」には断固反対します。	
5144	今回の安岡沖洋上風力発電事業は、地元民の同意が、得られていない状況である。 その理由として、周辺には、病院、学校、多くの地域住民の住居があり、低周波音による、健康被害に多大な影響を及ぼすという問題がある。 又、自然環境　漁場等の喪失により、現在の絶大なる夕陽の景観も失われることとなる。 この状況での建設により　失われるものが多い。その中での建設には断固、反対である。	
5145	自然環境・漁場の喪失、低周波音などの騒音や健康被害、居住環境の破壊がある為。	
5146	風力発電の設備を行うことで、「自然環境や景観が壊れる」「健康に悪い」「自分自身の暮らしがきけんになる」「鳥が衝突する」などデメリットがたくさんあります。 風力発電は、自然エネルギーを利用するもので、日本にとって必要という考えもあるかもしれませんが、上記のデメリットのことを考慮すると、風力発電の設置を賛成することができません。	
5147	風力発電が建設されると海流が変わるので魚や鳥が減ると思います きれいな夕陽は風車のせいで見苦しくなります、低周波音・超低周波音による健康への悪影響もあるときいています、イライラしたり、集中出来なくなったり、気分不良になると日常生活に支障が出ます、風力は8.2km以内に住んでいる人はみんな影響を受ける可能性があるようです、半径3km以内に入る学校は安岡小・中、川中小・中、水産大があり、4～5kmは山野田・西・南・下商の全部入ってます、今回の計画がコスト重視で住民を軽視した計画であることがよくわかります、土地資産価値は1252億円も下落が見込まれているようです。マイナス面が沢山ありすぎるうえ、住民の同意が全く得られていないので建設に反対です。	
5148	風車の立つ区域の海産物の生態系が影響を受ける可能性があり、それにより漁業へのダメージを及ぼす可能性があると考えられます。また、すぐそばにある安岡病院からの景観にも影響し、患者様への心的負担も考えられます。低周波音により周辺住民に健康被害をもたらすのみならず、畑や田への影響も考えられ、それによる風評被害により安岡町やその周辺の地域の人口減少へつながってしまうおそれもあります。	
5149	・住民の理解が得られていない ・岸からあまりにも近い ・低周波の安全性が確保出来ていない ・漁師の生活権が保障さえていない ・海流の変化による砂浜の流出が不安 以上の事から安岡沖に風力発電を建設することには反対します。	
5150	魚がいなくなるのではないか、景観が損なわれる、超低周波音による健康被害が考えられる	
5151	風力発電が建つことにより、魚の減少の可能性もあり、漁業の方はとても困るのでは、安岡は漁業の方が多くその方たちの生活がおびやかされると思う 陸から近い位置に建設予定のため低周波音などによる健康被害も懸念されており、とても不安だ 又、美しい景観が変わってしまうことが残念、昔から守ってきた景色を残していただきたいと思う。	

5152	安岡沖に建設する事により、漁場環境が変わったり、景観が崩れる恐れがあります。美しい今の海の環境を継続していく為には風力発電を反対致します。 また　低周波音があることが示唆されていることもあり、この地で暮らす住民の健康問題となる可能性があるので反対します。	同　　上
5153	風力発電反対！ 建設に対して地元民の同意は全く得られてない 自然環境の破壊につながる。	
5154	風力発電反対　陸地から離れた場所へ健康被害や安岡の美味しい魚が食べれなくなるし美しい海に建てるな。	
5155	健康被害が本当なのかはわかりませんが、再生可能エネルギーによる発電には期待しています。	「風力発電施設から発生する騒音等への対応について」（平成28年11月版）によれば、これまでに得られた知見として、「頭痛、耳鳴り等の健康影響については、風車騒音との統計的に有意な関係を示す知見は確認できなかった」とされております。平成25年3月発表（平成26年4月一部改定）の山口県の「山口県再生可能エネルギー推進指針」におても再生可能エネルギーは地球温暖化対策に有効であることなど「安全・安心の確保」の観点から貴重なエネルギー源とし、さらには「産業力・観光力の増強」の面からも導入促進は重要と述べられております。 本事業では、下関沖の恵まれた風力資源を活用した再生可能エネルギーを導入し、温室効果ガスを削減することで「安全・安心の確保」への貢献、また、事業を通じて地域経済の発展及び活性化に資することで「産業力・観光力の増強」の面でも貢献したいと考えております。工事計画の詳細は今後の検討となりますが、本事業では下関市の充実した港湾設備を利用し、工事、運営については地元企業の協力を得て本事業を推進し、地域への貢献を果たすことを目的としており、本事業を通じた直接的な雇用と、関連する新たな経済活動による雇用が期待されます。
5156	健康被害が実際あるのかどうかはわかりませんが、原発や火力発電に比べ環境にやさしい発電方法ではないかと思います。	
5157	自然エネルギーとなる為、健康被害が少ない気がします。ただ騒音、漁獲高の影響がどの程度のものなのか、気になります。	
5158	健康被害の問題が解消されれば、エネルギー不足解消の一助となると思われるため、賛成です。	
5159	環境保全と発電という非常に難しい問題だが後世に遺恨を残さない為にも、原発は絶対に駄目だし地球温暖化の問題からも、化石燃料発電も減らしていかなければいけない。おのずと自然エネルギー発電を主体にしていくしか生き残る道は無いと思います。地域住民の健康被害が出ないまでの距離まで洋上風力発電施設を離すのがベストだと思う。(建設コストは上がるだろうが長い眼でみれば安上がりです！	
5160	二酸化炭素による温暖化や原子力発電による放射性物質の汚染が地球環境を破壊している現在、風力発電のような再生可能エネルギーは必要と思います。諸外国は沖合から10km離して支柱を埋めています。住民の健康被害を考慮していると思われます。沖合から1.5kmで低周波被害がおこらないという医学的根拠はあるのでしょうか。何故、遠くに支柱を埋めないのでしょうか。	
5161	原発に頼るエネルギー対策は既に陰りが見え、将来に渡って、持続可能な自然再生エネルギー政策に一刻も早く切り替える時。健康被害について、検証可能な限り科学的実証と、魚場被害等、経済保障、環境アセスメント等をクリアできれば是非賛成したい。観光的にも経済効果シュミレーション（試算）してみては！	
5162	・健康に害を及ぼさないということが大前提 ・風力発電事業について ・火力発電等に比べて、環境にやさしいこと。 ・観光および事業の両面から経済効果が期待できること 以上より、停滞気味の県内経済の起爆剤として期待したい。	
5163	健康被害もなく、下関が経済効果により活性化するのであれば何よりのプロジェクトだと思います。	
5164	地元なので健康被害があるかどうかは正直気になります。そこは明確にして欲しいと思います。雇用が増え、経済効果もありとメリットは大きいし、なにより電気がないと生活できないので、健康被害がなければ建設には賛成です。	
5165	健康被害がなければ、経済効果に期待したい。	
5166	健康面が心配ですが、経済効果には期待している。	
5167	健康被害があるのか等、問題視していることについて十分な開示がされた上で発電事業をすすめてほしい。 雇用が生まれることや経済効果に期待したい。	
5168	健康被害があまりないと証明されるのであれば経済効果や観光スポットとして期待したい	
5169	風力発電は原発や火力に比べ安全なエネルギー供給源だと思いますので地域住民の方に健康被害等の情報を明確に示しておけば地域経済の活性化に繋がると思います。	
5170	健康被害がなければ、ぜひ計画を進めてほしい。経済・雇用の活性化を期待します。	
5171	健康被害はあるのかどうかがよくわかりませんが、下関で大型プロジェクトが計画されるのは雇用等期待できると思います。	
5172	既に風力発電のある地域の健康被害に関する調査結果をわかりやすく説明し、問題がないことが理解されれば反対意見もなくなるのではないかと思う。地元の利益になるようであれば是非実現してほしい。	
5173	大型プロジェクトで地元雇用拡大を期待する。 反対の方々に健康被害に関する説明を十分に行い理解を求め着工願いたい。	

5174	大型プロジェクトの為多方面に雇用や経済効果は期待がもてると思う。またそれによって今までになかった活気が出ることも期待している。景観的にも美しいと思う。しかし健康被害だけはよく調査してクリアにして欲しい。	同　　上
5175	下関に雇用が生まれるのであればいいのでは 健康被害と言われているが、本当にあるのか？	
5176	雇用が生まれ、下関に活気がでるととても嬉しいが、よく聞く健康被害は心配だ。	
5177	下関にあっては、公共事業の少ない中で貴重なプロジェクトであり、建設雇用が増える。 喫緊の課題であるCO2削減に大きく寄与する 万が一の健康被害が発生した場合事業者は誠意を以て対応する事	
5178	私の意見としては賛成。 雇用が生まれ下関が活性につながる。 ただ下関に住んでいてもあまり耳に入ってこないし、実際健康被害は大丈夫かどうなのかをもっと知りたい。	
5179	下関の活性化になると思いますが、人体に影響を及ぼすか心配です。	
5180	・人々の健康に害がないこと ・下関市、山口県に活気が戻ること ・事故・人災なく完成することを望みます	
5181	下関の発展につながればよいと思います。 人々の健康や環境をこわさないことが、大切だと思います。	
5182	反対される方（医療関係等の車等）をよく見かけますが、マイナスとなることがあるのでしょうか？（音がうるさい等）　私は活気が出るのでは・・・と期待しています。	
5183	豊北町の風力発電を何度かみて、きれいだし個人的には賛成です。 安岡は海に立つ風車という事で夕陽と重なりさらにきれいな景観になる事と思いますが、健康被害等も懸念される事と思いますので地元の方の意見を十分に聞く必要があると思います。	
5184	景観が美しくなるのではと言う期待と同時に健康被害の面で心配がある。	
5185	海に風車が立つのは景色が良くていいと思いますが聞いた話では健康被害が出てるとの事を聞いた事があります。健康被害が心配です	
5186	観光スポットになるのであれば良いと思う。 健康被害とはどのようなものなのかが知りたい。	
5187	本当に健康被害や騒音が無いのであれば、景色がきれいな観光スポットになるのでは・・・。下関の海がきれなのは有名かもしれませんが、さらに人を呼びこむことができればよいと思います。反対派の方もいらっしゃるようですが、その理由はきちんと対話して聞いて、不安要素があれば排除した上で進められればベストではないでしょうか。	
5188	・本当に健康被害があるのかどうか？ また、建設費だけではなくランニングコストも含めいて果たしてペイできるのか？ 一企業の利益だけではなく市民に広くどう言ったメリットがあるのか？またデメリットを含めて説明が必要では。	
5189	自然・景観・生態系・伝統・地域の農業や林業を破壊し、騒音被害、汚染を拡散し、住民に深刻な健康被害をもたらしている。一番心配なのは低周波音によるめまいや吐気、メニエル病などの病状である。今後安心して住めない。電波障害も、電気がつく、テレビがつかなくなるなどのことが起きる可能性もあるのではないか。健康被害の補償のことも考えているか。住民のことも考えて再検討して頂きたい。	「風力発電施設から発生する騒音等への対応について」（平成28年11月版）によれば、これまでに得られた知見として、「頭痛、耳鳴り等の健康影響については、風車騒音との統計的に有意な関係を示す知見は確認できなかった」とされております。風力発電施設が原因で騒音・低周波音の被害が発生し、損害との合理的な因果関係が明確となった場合には、必要に応じて専門家の指導・助言を踏まえて適切な対応を講じます。 山口県内のＮＨＫ・民放放送局の電波は、下関市の火の山（下関中継所）からの電波利用となります。住宅地と洋上風力発電施設の対象事業実施区域の位置関係から、電波を阻害するものでは無く影響はないものと考えております。
5190	風力発電はメリットがありますが デメリットで ・風速によって発電量が影響される。 ・落雷による故障のリスクがある。 ・地震で発電停止することが多い ・風車のプレート部分に鳥が巻き込まれてしまうことがある。 ・風車からの低周波音や機械音が発生し、近隣に騒音問題を起こすことがある。	風力発電施設に対する安全性に関しては、東日本大震災クラスの地震も考慮し、最新の手法を使って行うよう指導されております。風車の故障・事故の要因としても主なものは落雷等の自然災害によるものですが、下関安岡沖では落雷が少ない地域であることに加え、レセプター（避雷針）の改善や、落雷時の対策等も図られており、事故の予防に努めております。 鳥類への影響については、専門家のご意見を踏まえて、方法書段階より調査頻度を増やしており、これらの調査結果を踏まえ、影響を適切に予測及び評価を実施し、鳥類に対して実行可能な範囲で影響の回避・低減に努めております。

5191	・建設反対は地元住民の総意であり、住民の同意は全く得られていない。 ・明媚な自然海岸の環境が破壊される。 　市民の自慢の夕陽が風車によるシャドーフリッカーによって無残な風景となる ・低周波音による健康障害が懸念される。 ・環境の悪化により資産価値が減少し、地域の衰退を招く。 以上の理由により、建設に断固反対する。	本事業においては、地域の皆様の反対があることも理解しております。方法書段階の当初計画では、風力発電機から最も近い民家までの距離は約760mであった事から健康影響への懸念や、景観的な圧迫感への懸念があったものと考えております。準備書段階では最も近い民家までの距離は約1,500mとなるように変更しました。最も近い民家までの距離を可能な限り離す事、及び候補の中で最も少ない基数とする事により、騒音や風車の影の影響の低減など、環境影響の程度を極力抑えることが出来る様、検討を行っております。 環境への影響については、事業実施前の環境調査結果を踏まえて、予測、評価を行い、環境保全措置を講じることで、自然環境への影響を可能な限り回避・低減するよう努めております。既存資料の整理の結果、フリッカー効果は発電機ローター直径の10倍以内でのみで発生するとされています。本事業の場合、住宅地と風力発電機との距離をローター径（130m）の10倍となる1300m以上とることにより、シャドーフリッカーの影響が回避可能であると考えられています。本事業における洋上風力発電機単機の基数は15基であるが、それぞれの発電機から1,300m以内に家屋はないため、シャドーフリッカーによる人への重大な影響は無いと考えております。 「風力発電施設から発生する騒音等への対応について」（平成28年11月版）によれば、これまでに得られた知見として、20Hz以下の超低周波音領域は、すべて知覚閾値を下回っているため、「風車騒音は、20Hz以下の超低周波音の問題ではなく、通常可聴周波数範囲の騒音の問題としてとらえるべきものであり、A特性音圧レベルでの評価を基本とすることが適当である。」とされております。また、同資料では20Hz以下の音を「超低周波音」とし、それ以外の音（周波数が20～100Hzまでの音を含む）を「騒音」と区別した上で、「頭痛、耳鳴り等の健康影響については、風車騒音との統計的に有意な関係を示す知見は確認できなかった」との考え方が示されており、風車騒音による健康影響については無いものと考えております。平成22年の環境省が実施したアンケート調査結果（全国の風力発電事業者のうち186事業者、40都道府県から回答）によれば、継続している「苦情」は、風車から1,020mまでとなっています。本事業の風力発電施設から最も近い民家まで1,500mという距離は騒音の影響を低減するための十分な距離と考えております。また、景観については、配置は規則性に配慮し、色彩については周辺の景観との調和に配慮するなどの環境保全措置を講じることにより、実行可能な範囲で影響を低減するよう努めます。したがって、本事業が地域の資産価値を低下させる直接的な原因とは結びつかないものと考えております。
5192	海は誰のもの？犬を飼ってます。朝夕散歩に反田川～梶栗川間の浜を早鞆のグランドの土手を、横野の防風林から福江の浜辺を美しい静かな海を楽しんでます。多くの犬友もいます。美しい夕日をカメラに収めている人も多くいます。絵で展覧会に出品されている人もいます。犬の方が聴覚が勝っていますが、人間だけが被害を受けるのではありません。10万の署名を無視して企業優先の政治を許しません。健康被害他があっても泣ねいりは絶対いやです。10万人に犬達に100％の責任をどのようにとるか先に言って下さい。この美しい自然は神からの贈り物です。 原発と同じで安全と言うなら一番需要の大きい東京のど真中に作り、政治家も企業人もそこに住むのが条件でしょう。住民がNO！と言っているのです。	本事業においては、主要な眺望点の他、身近な景観を保全するために、風力発電機の配置の検討にあたって、フォトモンタージュ法により予め景観の影響予測を行っております。配置については規則性に配慮し、色彩については周辺の景観との調和に配慮するなどの環境保全措置を講じることにより、実行可能な範囲で影響を低減するよう努めます。 「風力発電施設から発生する騒音等への対応について」（平成28年11月版）によれば、これまでに得られた知見として、「頭痛、耳鳴り等の健康影響については、風車騒音との統計的に有意な関係を示す知見は確認できなかった」とされております。風力発電施設が原因で騒音・低周波音の被害が発生し、損害との合理的な因果関係が明確となった場合には、必要に応じて専門家の指導・助言を踏まえて適切な対応を講じます。
5193	私の職場は安岡地域にあります。就職を決めた理由は安岡沖の大きな夕陽と広がる海の景観でした。今回の風力発電の建設によってその美観が完全に失われてしまいます。また、豊富な漁場としての機能は損なわれてしまい、海の水質、環境等も大きく変わってしまうのではないでしょうか。 10万票近くの反対票があるにも関わらず、これを推し進める姿勢に強く反対します。	環境への影響については、事業実施前の環境調査結果を踏まえて、予測、評価を行い、環境保全措置を講じることで、自然環境への影響を可能な限り回避・低減するよう努めております。 漁場喪失の懸念として魚類への影響が考えられますが、事業の実施による水の濁りについては、濁りの範囲は限定的であること、底質の変化については、有害物質等の影響は小さいこと、地形改変については風車タワーの設置範囲の縮小化、設置基数の削減により改変範囲を可能な限り狭くしたこと、水中騒音については、威嚇レベルの範囲が限定的であることから、漁業への影響は小さいと考えております。 景観について、配置は規則性に配慮し、色彩については周辺の景観との調和に配慮するなどの環境保全措置を講じることにより、実行可能な範囲で影響を低減するよう努めます。今後も環境影響へのご懸念については、地域の皆様にも理解を頂けるよう正確な情報を発信してまいります。
5194	風力発電事業により、海流の変化　豊富な磯物の漁場の喪失など自然環境の被害への不安は、近隣住民だけでなく、下関市民が感じる事と思います　療養施設や民住環境への景観への影響も心配されます	
5195	美しい自然海岸に建設が進めば 漁場と海水浴場もなくなり 生態系が壊される恐れがあると思われるため	

5196	方法書の時、説明会はサービスだといったが、方法書7条では説明会を開催しなければならないと言っている。義務では無かったのか。前田建設工業が信頼できない。	ご指摘の説明会は、平成25年6月に行なった住民意見を開示する報告会のことだと思われますが、方法書説明会の実施後に出された住民意見についての説明会であって、環境影響評価法の法律上要求されている説明会ではありませんでした。その後も、住民に広く理解してもらう機会を設けるために説明会を開催しております。
5197	騒音、低周波音の被害について、被害が出た場合、補償を約束してくれという意見が出た。前田はわからないことはできないと言っている。わからないからこそ補償してほしい。これを解決するにはためには建設を中止するしかない。	風力発電施設が原因で騒音・低周波音の被害が発生し、損害との合理的な因果関係が明確となった場合には、必要に応じて専門家の指導・助言を踏まえて適切な対応を講じます。
5198	調査はすべて終了したのか？調査ができなかったと解釈している。いつ実施したのか明記して欲しい。	現地調査は、全ての項目において完了しております。実施時期については、準備書に記載しております。
5199	2.漁場や海水浴場もなくなっていく	本事業では、流況への影響について、調査結果を踏まえ、流向・流速への影響を適切に予測及び評価を実施し、実行可能な範囲で影響の回避・低減に努めております。流速の変化は、風力発電施設周辺で±1.0～3.0cm/sec程度の流速差が予測されますが、風車設置地点近傍で南北での流速変化に限られおり、漁場、海水浴場への影響は小さいものと考えております。
5200	・住民の同意が得られていないのに進めていくのはいけないと思う。 毎日見れる市民が好きな海と夕日がだいなしになる。	本事業においては、主要な眺望点の他、身近な景観を保全するために、風力発電機の配置の検討にあたって、フォトモンタージュ法により予め景観の影響予測を行っております。配置については規則性に配慮し、色彩については周辺の景観との調和に配慮するなどの環境保全措置を講じることにより、実行可能な範囲で影響を低減するよう努めます。 本事業においては、地域の皆様の反対があることも理解しております。方法書段階の当初計画では、風力発電機から最も近い民家までの距離は約760mであった事から健康影響への懸念や、景観的な圧迫感への懸念があったものと考えております。準備書段階では、最も近い民家までの距離は約1,500mとなるように変更しました。最も近い民家までの距離を可能な限り離す事、及び候補の中で最も少ない基数とする事により、騒音や風車の影の影響の低減など、環境影響の程度を極力抑えることが出来る様、検討を行っております。
5201	風力発電のメリットとデメリットを考えるとデメリットの方が多いのでは？ 住民の同意が得られていない中での強行突破は反対です。 個人的に安岡～綾羅木にかけての夕陽が見える景色がとても好きなので、景観が損なわれるのも嫌です。	
5202	風力発電反対！ ・市民の同意が全く得られてない ・市民自慢の夕日がみれなくなる	
5203	地元住民の同意が得られていない 景観が損なわれる　自然環境が損なわれる	
5204	地元漁民、地元自治会　医療機関等の各職域から建設反対の陳情書が多く出されている中、同意が得られていない状態です。そんな中で強行されてよい内容であるとは思えません。この安岡の海はとても景観が良いと考えます。 景観をそこね、地元の反対の中、進む事は絶対反対です	
5205	・事業を行なう前に住民への説明と同意がなかった ・安岡沖の景観が失われそうで不安 以上、安岡沖洋上風力発電事業に絶対反対します！	
5206	建設反対署者が行われ周辺住民の同意が得られていない。 また自然環境の破壊、漁場の喪失、景観をそこなう等の影響が考えられるため反対する。	
5207	安岡沖風力発電反対します。 理由として、海岸線の景観が損なわれ、不快に思う。 将来の子供、孫達の健康に悪影響を与える事もあるので、陸地から20km以上離すことを充分に考慮し、悪影響０、絶対安心、反対者０を目指して欲しい。 風力発電の2km内に数年住んでの立証できることを明らかにし、利点ばかりでなく、解決しなければならない事を直視し、住民の事を考えて欲しいから。	
5208	巨大な建築物が出来ることで景観を破壊してしまうのではないでしょうか。 装置の破損による安全はどうなっているのでしょうか 飛散する距離によっては周辺に影響が出るのではないでしょうか。	
5209	安岡地区は居宅環境（自然、景観など）の良さが魅力ですが、風力発電を進めることでそれらが失われ地域の衰退を招く可能性があります。その為、再度調査（健康被害など）を行って頂き、住民が納得できる方法を希望します。	環境影響評価法では、環境に大きな影響を及ぼすおそれがある一定規模の事業を実施する際に、あらかじめ事業が環境に与える影響を、調査、予測、評価し、その結果に基づき適正な環境配慮を行う事が定められております。本事業においても、環境影響評価の対象となっており、事業実施前の環境調査結果を踏まえて、予測、評価を行い、環境保全措置を講じることで、自然環境への影響を可能な限り回避・低減するよう努めております。今後も環境影響へのご懸念については、地域の皆様にも理解を頂けるよう正確な情報を発信してまいります。
5210	騒音や、潮の流れの変化等、いろいろあると思うが、現地の方に悪影響になるのなら、始めるべきではないと思う	
5211	・環境面について。海に対して影響がどのくらいあるのか、又、騒音や景観が壊れる心配があるため。	
5212	自然環境　景観が悪くなる　居住環境も悪くなる	ご意見のとおり、当該地域は景色が素晴らしい場所であることも踏まえ、本事業ではこれらの景観への影響を適切に予測・評価し、実行可能な範囲で影響を低減するよう努めます。環境への影響については、事業実施前の環境調査結果を踏まえて、予測、評価を行い、環境保全措置を講じることで、自然環境への影響を可能な限り回避・低減するよう努めております。
5213	風力発電は見た目も悪く、自然環境の破壊や健康被害の可能性が有るため、建設に反対です。	
5214	・美しい環境　沈む夕陽　きれいな砂浜　に変化がおこり自然豊かな安岡がなくなるのはつらい	

5215	・建設位置が陸地から近く景観や生態系にどのような影響を与えるか分からないことが多く、また、その影響が悪いものであった場合、どういう形で復元、補償していくかも分からないことが多く、無責任である。	景観について、配置は規則性に配慮し、色彩については周辺の景観との調和に配慮するなどの環境保全措置を講じることにより、実行可能な範囲で影響を低減するよう努めます。環境への影響については、事業実施前の環境調査結果を踏まえて、予測、評価を行い、環境保全措置を講じることで、自然環境への影響を可能な限り回避・低減するよう努めております。風力発電施設が原因で各種問題が発生し、損害との合理的な因果関係が明確となった場合には、必要に応じて専門家の指導・助言を踏まえて適切な対応を講じます。
5216	景観が損なわれるように思われるし、漁業被害が出るのではないか？良い景色とは到底思えない！	本事業においては、主要な眺望点の他、身近な景観を保全するために、風力発電機の配置の検討にあたって、フォトモンタージュ法により予め景観の影響予測を行っております。配置については規則性に配慮し、色彩については周辺の景観との調和に配慮するなどの環境保全措置を講じることにより、実行可能な範囲で影響を低減するよう努めます。 漁場喪失の懸念として魚類への影響が考えられますが、事業の実施による水の濁りについては、濁りの範囲は限定的であること、底質の変化については、有害物質等の影響は小さいこと、地形改変については風車タワーの設置範囲の縮小化、設置基数の削減により改変範囲を可能な限り狭くしたこと、水中騒音については、威嚇レベルの範囲が限定的であることから、漁業への影響は小さいと考えております。今後も環境影響へのご懸念については、地域の皆様にも理解を頂けるよう正確な情報を発信してまいります。
5217	景観が損なわれる気がします。漁業に影響があると、その仕事にたずさわる方達は困ると思います。今の景色が下関らしくて良いと思います。	
5218	風力発電用風車の建設により　美しい安岡沖の景観が著しく損なわれ、漁場としての豊かな海の環境を破壊する可能性のある　風力発電事業ご地元住民の同意もなしに推し進める事は如何なものかと思います。	
5219	風車が立つことによって磯物の漁場は失われてしまうと失業者が増えたり、せっかくバイパスができてきれいな風景を見ながらドライブができる場所　何機も立てられると耐え難い風景に一変してしまう。	
5220	景観を大きく損なうのみならず、漁業にも大きな打げきとなる。 現に地域住民からの賛成も得られていない 風力発電は反対である。	
5221	周りに海もあり山もある、のどかな地域なので大きな建物が何度も立つのは反対です。 ましてや人・動物たちにも害があるとなると身体への影響が強くでると思います もう一度考えなおして頂きたいです	環境への影響については、事業実施前の環境調査結果を踏まえて、予測、評価を行い、環境保全措置を講じることで、自然環境への影響を可能な限り回避・低減するよう努めております。　本事業は、洋上風力発電事業（洋上着床式）といった事業の特性上、海域に設置される特徴を有しております。したがって、建設工事、施設の稼働等については海域が主体となりますので、山中への直接改変は行いませんので、山中の動物への生息環境を悪化させるものではないものと考えております。
5222	きれいなひびき難に大型機械を数十基も建て、景観への悪影響はもちろんのこと、魚の水揚げ量も低迷している下関に建てることは問題ではないのかと思う。食の安全を唱えられている今の世の中で、不安しか感じられない。	景観について、配置は規則性に配慮し、色彩については周辺の景観との調和に配慮するなどの環境保全措置を講じることにより、実行可能な範囲で影響を低減するよう努めます。 漁場喪失の懸念として魚類への影響が考えられますが、事業の実施による水の濁りについては、濁りの範囲は限定的であること、底質の変化については、有害物質等の影響は小さいこと、地形改変については風車タワーの設置範囲の縮小化、設置基数の削減により改変範囲を可能な限り狭くしたこと、水中騒音については、威嚇レベルの範囲が限定的であることから、漁業への影響は小さいと考えております。
5223	下関北部地域であり、住み良い環境の良さから発展していく地域ですが「安岡沖洋上風力発電事業」の計画が発表されてから、不動産売買の取引ストップ、磯物の漁場は失われ、渡り鳥の被害、若い人の転居など、地域の衰える事態を招いています。	平成22年の環境省が実施したアンケート調査結果（全国の風力発電事業者のうち186事業者、40都道府県から回答）によれば、継続している「苦情」は、風車から1,020mまでとなっています。本事業の風力発電施設から最も近い民家まで1,500mという距離は騒音の影響を低減するための十分な距離と考えております。景観については、配置は規則性に配慮し、色彩については周辺の景観との調和に配慮するなどの環境保全措置を講じることにより、実行可能な範囲で影響を低減するよう努めます。したがって、本事業が地域の資産価値を低下させる直接的な原因とは結びつくものではなく、地域の衰退に影響を及ぼすようなものではないと考えております。 漁場喪失の懸念として魚類への影響が考えられますが、事業の実施による水の濁りについては、濁りの範囲は限定的であること、底質の変化については、有害物質等の影響は小さいこと、地形改変については風車タワーの設置範囲の縮小化、設置基数の削減により改変範囲を可能な限り狭くしたこと、水中騒音については、威嚇レベルの範囲が限定的であることから、漁業への影響は小さいと考えております。 鳥類への影響については、専門家のご意見を踏まえて、方法書段階より調査頻度を増やしており、これらの調査結果を踏まえ、影響を適切に予測及び評価を実施し、鳥類に対して実行可能な範囲で影響の回避・低減に努めております。
5224	海流の変化によって漁場が失われ海浜も消失してしまう。住民からの同意は全く得られていません。	海流の変化への影響については、調査結果を踏まえ、流向・流速への影響を適切に予測及び評価を実施し、実行可能な範囲で影響の回避・低減に努めております。今後も環境影響において不安を解消し、地域の皆様にも理解をして頂けるよう、正確な情報を発信してまいります。

5225	海水浴場の砂が流れ　海浜が消失する。 風景が変わる。 自然が消失する。　　以上の理由で反対です。	海流の変化への影響については、調査結果を踏まえ、流向・流速への影響を適切に予測及び評価を実施し、実行可能な範囲で影響の回避・低減に努めております。本事業においては、主要な眺望点の他、身近な景観を保全するために、風力発電機の配置の検討にあたって、フォトモンタージュ法により予め景観の影響予測を行っております。配置については規則性に配慮し、色彩については周辺の景観との調和に配慮するなどの環境保全措置を講じることにより、実行可能な範囲で影響を低減するよう努めます。
5226	当海岸の明媚な自然海岸に建設が進めば漂砂現象海流の変化等により、磯物の漁場は失われ、海水浴場の砂は沖合に流れ海浜が消失する。風車により耐え難い風景に一変します。	
5227	「人が暮らす生活圏での風力発電の設置に反対します。」 反対理由 １．低周波電磁波による心身への影響 ２．騒音による心身への影響 ３．自然景観破壊による心への影響 当方は風力発電そのものに反対しているのではなく、生活圏にはふさわしくないと思っているだけの者です。上記３点のうち、１と２については多くの人からも意見が有ると思われるので、当方は３の景観について私見を述べさせて戴きます。 景観の問題については、自治体によっては景観条例を定め強力に推進しているところも有るが、日照権ほどには権利として確立していないようにも思われます。が、だからと言って住民の意向を軽く見られて良いのでしょうか。御社が積水ハウスやパナホームのような個人を相手にする会社であったとしても、ここまでも住民の気持ちを無視して続けられるでしょうか。御社本店も都会ではまずまずの環境の中に建っているようですが、その玄関前に大きく違和感の有る風車が建ち並ぶとなったら如何でしょうか。電力の最大消費地・東京の責任もあるし、原発を減らすことにもなるのであればと苦渋の決断で賛成をされるのでしょうか。準備書の中に有る「自然景観資源が確認されていない」とはどう言うことでしょう。 観光客を呼べる場所、事業として成立している施設が無ければ、特に気に掛けることも無いとなるのでしょうか。安岡地区は下関・北九州のベッドタウンでもあり、多くの人の生活が息づいている場所でもありますが、何故にそこが風力発電に適した場所となったのでしょうか。「安岡で問題ない」の説明は有っても、「安岡が良い」との理由が見えません。対岸の北九州にも既に建っており今後の計画もあると聞きますが、そこには既に大きな工業地帯が広がっており生活の場ではありません。安岡は生活の場です。また準備書の中に海岸の利用者が少ないとのデータも有り、人のいない海岸なら景観問題も関係ないのでは言わんばかりですが、それは違います。３６５日海のそばに暮らし海に愛着を持つ住民であっても、特に用が無い限り長いこと浜辺に出たりはしません。だからと言って、人のいない僻地では無いのです。そして準備書の随所に「環境保全措置を講じることで影響の軽減」と記されていますが、何をするのか新しい提案も無いに等しく言葉だけで終わっていませんか。 １．陸からの距離：目障りにならない程度に離して戴けますか？ ２．設置の規模：まとめて15基は結構な数だと考えますが減らせますか？ ３．設備の色：全国津々浦々同じに見えますが、画期的なものでも有りますか？ 変更の余地が無いのであれば、措置を講じると書かないでください。 以上、住民の生活圏にふさわしくない風力発電は中止して戴くよう切に願います。 但し前記３件、特に１に関して大幅な改善が見られればその限りでは有りません。	「風力発電施設から発生する騒音等への対応について」（平成28年11月版）によれば、これまでに得られた知見として、20Hz以下の超低周波音領域は、すべて知覚閾値を下回っているため、「風車騒音は、20Hz以下の超低周波音の問題ではなく、通常可聴周波数範囲の騒音の問題としてとらえるべきものであり、A特性音圧レベルでの評価を基本とすることが適当である。」とされております。また、同資料では20Hz以下の音を「超低周波音」とし、それ以外の音（周波数が20～100Hzまでの音を含む）を「騒音」と区別した上で、「頭痛、耳鳴り等の健康影響については、風車騒音との統計的に有意な関係を示す知見は確認できなかった」との考え方が示されており、風車騒音による健康影響については無いものと考えております。 景観については、主要な眺望点のほか、生活圏での身近な景観として15地点を選定して予測、評価を行っております。また、冬季、春季、夏季、秋季といった季節変化の他、地点によっては、夕陽が見える夕方の景観、早朝の散歩といった海岸利用のある朝方の景観等に配慮しております。垂直見込角は、最も近傍の村崎の鼻（私有地）において6.4°、蓋井島航路船上において5.3°となり、「やや大きく見え、景観的にも大きな影響がある。架線もよく見えるようになる。圧迫感はあまり受けない（上限か）」に区分されますが、色彩について、支持部下方の警告色の選定及びグラデーションを含め、関係機関との協議の上、周辺の景観との調和に配慮するなどの環境保全措置を講じることにより、実行可能な範囲内で影響は低減されているものと考えております。垂直見込角の程度にかかわらず、響灘において、響灘の原風景を維持するため風力発電施設は不要との意見があります。一方で、新たな景勝地としての期待や自然景観と調和した新たな風景構築の可能性があるとの意見もあり、新たな景観価値の創出に期待されているプラスの面もあります。風力発電機の景観のマイナスの面を軽減するとともに、下関市の良好な景観形成を図り、地域の皆様と観光資源とならないか検討しプラスの面を創出できるよう努めます。
5228	安岡沖洋上風力発電 反対　理由①設置場所が近すぎる。少なくとも5km以上離す事 ②騒音がひどい、又低周波による健康被害が心配される ③景観が極めて悪くなる。 以上　絶対反対です。	
5229	現予定地での建設に反対します。 低周波による健康被害、騒音問題、景観等、給合的見地により、安岡沖での洋上風力発電に反対します。	
5230	低周波による騒音が他の設置場所で問題になっている為、反対します健康被害が問題、不安でならない。自然海岸は失われ、漁も出来なくなってしまう。景観もそこなわれてしまう。	

5231	風力発電建設には色々と問題があり 低周波音はヒトの聴覚では基本的には感じないといわれるが共鳴による不定愁訴として健康に悪影響があるのではないか。自然海岸に建設が進めば漁場が失われ、砂浜はどうなるのか。 風景は一変し損なわれる　自然破壊も砂浜も破壊 断固として建設に反対する	同　　上
5232	反対！！ 低周波音の健康被害がおこるし、もし、健康被害が出た時に、前田建設は住民や、病院、介護施設の利用者に対して、損害賠償責任がある事を自覚しており、全責任をとってくれるのか？！！！ 海に沈む夕陽などの美しい景観もなくなるし、 下関の豊かな漁場を壊される事を分かっているのか？？？ 自分たちは安岡に住んでいない…では済まされない問題です！！	
5233	騒音の発生 景色の破損　　反対	
5234	自分の里（横野）の景観がそこなわれるのは、辛いです。 低周波を浴び続けて、人体への影響はどうなのでしょう？	
5235	自然エネルギーを反対しているわけではない。ただ対岸から近いと低周波による人体への影響が心配される。10km以上離せ！ 安岡沖の美しい景観を壊すな！ あなたたちが下関で生活してみろ！賛成できますか？	
5236	ご高齢の患者様が入院されており 低周波による健康障害が不安です また海岸よりの美しい景観が失われるのではないか心配しています	
5237	低周波音時による健康障害 多数の設備を設営することによる自然の景観が損ねられる	
5238	低周波音時による健康障害の問題や多数の設置を設営するため、自然の景観が損ねられる	
5239	低周波音時による健康障害の問題や1基の設置ではなく多数の機械的な設置を設営する事により　自然の景観が損ねられる	
5240	低周波音時による健康障害の問題や1基の設置ではなく多数の設備を設営する事により自然の景観が多数の機械的な設置によって損ねられる	
5241	・景観の問題や、低周波音の影響が住民に与えるインパクトは非常に大きいものだと思います。 建設計画には反対いたします。	
5242	建設反対 ・低周波の影響は子供、孫の代迄引継がれる ・長年、地元住民は昔から海岸の景観を見て育ってきた ①安岡から綾羅木迄続く松林 ②夕暮れ時の景観→全てが失われこれからの生きがい迄奪われる 高齢者の楽しみを奪うな！よって建設には反対反対	
5243	低周波音等による健康被害が最も気になる所です 又景観が損なわれてしまう事も心配です 地元住民の同意が得られる迄は反対です	
5244	低周波音等による健康被害が最も気になります 明確に問題はないと結論が出るまで反対です また知人、親せきが安岡に居住しており、景観が損なわれるのではとの懸念を持っています 住民の同意が得られていない現況では反対です	
5245	安岡沖洋上風力発電建設に反対します。 ・低周波音等による健康被害の為 ・景観をそこなう為	
5246	建設予定地が海岸から1.5kmとのことで　低周波による健康被害を考えると不安です 　又、響灘の美しい風景がそこなわれるのは許しがたいことです その２点から風力発電の建設に反対します	
5247	美しい景観が損なわれるうえに、騒音問題や低周波による健康被害がでることがあると聞いています。 又、風車が回転する振動に常にさらされている状態では、知らないうちにストレスを抱える事になるのではないかと思うので、風力発電事業には賛成しかねます。	

5248	貴社が建設計画中の（仮称）安岡沖洋上風力発電事業の洋上風力発電機建設に反対します。 超低周波が心身に及ぼす影響について、安全性が保障されていません。（北九州市に設置されている風力発電機の見学に言ったとき、モスキート音のような音のうねりに気分が悪くなった人がいました）健康に及ぼす被害だけでなく、住んでいる地域の美しい海に、風力発電機がそびえたっているというその心理的抑圧についてもご考慮下さい。綾羅木～吉見にかけての海に沈む夕日は、他県からも観賞に来るほどです。きれいな風景に洋上風力発電機は不要です。 計画の撤回をお願いします。	同　　上
5249	安岡沖洋上風力発電事業に反対します。低周波による健康被害が恐しいですから、自然の景観をこわすから	
5250	低周波による健康被害を防ぐため、将来をになう子供達を守るため、美しい安岡の海の景観を保持していく為安岡沖洋上風力発電を反対いたします。	
5251	低周波による健康への影響を心配します。風力発電建設による自然破壊が懸念されます。風車により、自然美観が損なわれます。以上の理由により安岡沖洋上風力発電事業を反対します。	
5252	風力発電による騒音の問題は勿論のこと、直接耳には聞こえなくても骨伝導による人体の影響が心配される「低周波振動」の問題をしっかり考えて頂きたいと思います。住宅地から、わずか1.5kmのところに建設計画があり、その近くに住む私達は人体実験にさらされているようなものです。風力発電は景観も損なわれます。私達には夕日の美しい安岡の海を守り、そして次世代に残していく責務があります。以上のような理由から、私は安岡沖洋上風力発電事業に反対します。	
5253	安岡（横野）沖風力発電建設絶対反対 理由 １、建設位置が近いため低周波による健康被害が発生する、10km以上離すこと ２、風車の騒音が発生し健康被害が発生する ３、夕日の美しい景観が破壊される…	
5254	風力発電絶対反対 低周波の被害が心配です。景観もそこなわれます	
5255	第一に健康被害が心配です。低周波音による住民の体調の変化が取り返しのつかない事態を引き起こすことを危惧します。また下関の海岸線のすばらしい景観の破壊は許すことができません。	
5256	風力発電の低周波音について人体への影響がはっきろとわかっておらず、影響がないことはありえないと思います。自然の景観も悪くなりますし、下関市にとってプラスにはならないと思います。	
5257	大きくて見た目も良くない。音もうるさそう。	
5258	私は地元の海が好きです。風車を建設すると距離も近く景観が損なわれる為反対します。 夏になると多くの人が海水浴に来ます。海浜が消失するようなことがあれば泳ぐことができなくなるので反対します。 安岡にはたくさんの高齢者の方もおられ低周波音などの健康障害も考えられる為反対します。	
5259	風光明媚な景色がそこなわれるだけでなく、低周波音、超低周波音による健康被害が心配です。	
5260	私は安岡病院に勤めており、入職の決め手の１つが院内から見えるキレイ海でした。患者様からも好評で「この海を見ると元気が出る、風力発電ができたら島も海も見えなくなるのが嫌だ」と言われてしまいました。私も気に入っているこの風景が見れなくなる風力発電建設に反対です。 また、仕事で毎日来る場所で低周波を受け続けることはどれほど体に負担がかかるのか…健康被害が出てからでは遅いので心配でなりません。	
5261	自然海岸の風景が一変し低周波音等の健康障害の被害の問題が心配です。	
5262	・風光明媚な環境を損なう ・低周波音による体の被害 以上の理由により安岡沖洋上風力発電に反対します	
5263	洋上建設において低周波音の被害は少ないと言われていますが、国内外からの被害事例に健康被害が上げられており、全く影響ないという事はないです。住民や病院・介護施設の患者・施設利用者・家族から不安の声もあり、建設に反対します。健康被害だけでなく自然景観もうばってしまうものを建設して欲しくありません、断固反対です	
5264	超低周波音による健康被害が問題になってきます。景観だけではなく、見えない部分での影響が心配になります。	

5265	低周波音等の耳に聞きとりにくい、遠距離に届く振動で健康障害の問題点など心配です。 景観もそこなわれると思います。	同　　上
5266	低周波音による環境被害が心配です。 海水浴場から見る景観も悪くなる。	
5267	私は、安岡沖洋上風力発電に反対します。 これからの子供達の為にも　健康第一に考えたいのでやはり目にみえない　低周波音　による健康障害はよくないと思います。 もう一つは、山陰は海の景色がよい所、風景が変わるのは絶対に嫌です。	
5268	安岡海岸に風力発電建設が進めば、景観が失われ、耐え難い風景に一変します。また、低周波音等による健康障害の調査・研究が進められていますがまだ明確な結論も出ていません。 よって風力発電建設に反対します。	
5269	低周波等による健康被害については、患者にどのくらいの影響があるか分かりませんが、風力発電を建設することにより響灘の景観を損なうと思います。響灘の夕陽を楽しみにしている患者もおられると思います。風力発電建設に反対します	
5270	日本海の景観がそこなわれ 低周波により身体に悪影響を及ぼす様な気がします 後の人々に美しい自然を残してほしいです	
5271	低周波音による、頭痛、めまい等の健康被害の影響が生じる可能性があります。 自分の居住、職場という毎日の生活エリアで不安です。 　海・夕日が沈む　景観を損ない、いやしや、安らぎを失います。 　漁場も失われそうです。 風力発電建設に断固反対です。	
5272	風力発電は自然エネルギーでメリットが大きいと思っていましたが調べて見ますとデメリットも多いように思います 景観を損なう、低周波による周囲の住民の健康被害等 安岡沖洋上風力発電設置に反対します。	
5273	風力発電から発生する超低周波音の健康障害 人には聞きとることができない超低周波音（20ヘルツ以下）、聞こえないが耳に影響し意識下で刺激することで動悸・イライラ感・不眠・ストレス等諸々の健康被害を与え、それらが距離2km以内に高圧電力6万ｋｗのものが全国最大20基から排出される超低周波音は、風力発電装置のメーカー,風の速度出力、地形、風車の数により違ってくるという、安岡地区は高い山も無く、日本海の海が広がり遮るものがないところなので、素人考えでは直接人体に影響するように思われる 環境の変化（破壊） 国道191号線は海岸に沿って走っていて、日本海に沈む夕陽を撮影するために、多くのアマチュアカメラマンが集まります、また私たち事業所の利用者・来訪者が「ここは眺めがいいね」と言われ、その時々の海の変化により季節を感じています、特に認知症の方にとっては、環境の変化は心に重大な影響を与えます、以上のような理由で風力発電に反対します	
5274	風光明媚な海岸からの景観が失われる事は残念です。夕焼けの日没の写真を毎朝撮っており、自然破壊であり、全く同意出来ません。低周波音の健康障害生活の安心が失われ、安眠が不安です。施設の利用者様は生活の場となっており、健康が心配になります。 反対です。	
5275	反対です！ 安岡地区の景観が崩れると供に、地域の方々の精神的・経済的な苦痛を伴うこの計画は即刻撤回して頂きたい。 近隣には私の務めている老人介護施設もあり、低周波による健康被害も懸念されます。利用者の方々の快適で安心な暮らしの為にも風力発電の建設に反対致します。	
5276	安岡に生まれ海に沈む夕陽など美しい姿に癒されていましたが、それが破壊され子供達に残してあげれないのが残念です なににしても、低周波による健康を損なうことから絶対に反対です	
5277	低周波の健康被害の可能性があるため、風力発電の設置に反対します。 また、安岡の海の景観が失われてしまうことをすごく残念に思います。その為、建設には絶対反対です。	
5278	小さな子供達に低周波による健康被害が起きる事は望みません。 日本海の景観に人工的な建設物はいりません 日本の風景を壊さないで欲しい	

5279	反対します ・健康面で不安がある（低周波による健康被害を受けたくない） ・景観的に好ましくない（特に夕方は夕日を浴びる形となるので、眼にも良くない）	同　　上
5280	・騒音、低周波音により、頭痛、耳なり、吐気、健康を害します。 ・海の自然の景観が失われる！！ 風力発電反対します	
5281	海水浴場が消失、風景が一変し、低周波音等の健康障害の問題があり反対です	
5282	安岡風力発電の建設により、低周波音による健康障害が考えられます。安岡近隣の住人は漁場を失うことになり、更に自慢の夕陽が耐え難い風景となることは想像がつきます。	
5283	自然を利用した風力発電は、ＣＯ2を発しない地球にやさしいエネルギーであることは誰もが知っている。しかし、設置場所によっては、人にとって、低周波や振動による重大な健康被害等を被ると、国内外の学者・専門家が言っている。私達は建設そのものに反対している訳ではない。設置する場所を、人家から、専門家等が言っているように少なくとも10km以上離すこと。また、景観を損なわないよう、海と空に融合するよう色も白から薄青緑色にして欲しい。 貴社の、現在の計画のままでは、到底容認できるものではない。猛反対である。これは、先祖伝来の土地家屋を有し、被害を受けても他に転居することもできない、安岡・横野周辺地域住民の真の気持である。是非とも再考いただきたいものである。	
5284	安岡（横野）沖風力発電建設絶対反対 理由 １、低周波に依る健康被害の恐れをどうしてくれますか。 ２、5km範囲に被害が及ぶとのこと、10kの遠くにして下さい。 ３、それが出来なければ建設はＮＯ。 ４、子や孫の代に不安を残したくない。 ５、美しい海岸の景観が失われてしまいます。	
5285	美しい海岸の風景が損なわれる、又、低周波音等による健康障害も心配です。病院も近くにあるし子供達が長期間に渡り影響が出るのではと危惧します	
5286	①健康被害が心配（低周波、超微振動） ②町から近い　もっと遠くであれば良いと思う ③美感（環境も含め）景観的に悪い 以上が気になるところです。	
5287	私の家から風力発電のためのプロペラが見えます。 山のあちらこちらに立ち、景観も悪く、不気味に思います。 これが山陰の海に立つと思った時、プロペラを見ながら、海のそばを走るのは「嫌」と感じました。気持ち悪い。 あと、プロペラの周囲は、低周波音で眠れない、耳鳴りなどからストレスが増加しているとも聞いています。ふだんから、めまい、耳鳴りがある私にとっては、体に影響があるのでは、と心配です。 私は、下関で生まれ、住んでいます。小中学生の時にすごした安岡の土地、大好きな下関に住むことで健康に心配しながらすごすのは納得いきません。あなた方の住む、家族の住む町に、風力発電ができるとなったら、「ぜひ、つくって下さい」って言えますか？	
5288	安岡沖の景観を大きく損なうので安岡沖洋上風力発電建設は反対である。 また、低周波音等による健康障害の問題による地域住民の不安があり建設反対署名が下関市長宛陳情が提出されており、住域住民の建設反対運動が無くならない限り安岡沖洋上風力発電事業は、実施してはならないと考える。	
5289	安岡沖上の風力発電による健康被害への不確かさや安岡の景観を損ねてしまう事から風力発電事業に反対します。	
5290	知人が近くの病院に関係しています。 窓から見える響灘に暮れる夕日の風景を心の支えにしている方が多くおられます。その風景が人工建造物で壊されるのは耐えがたいことです。 健康被害の心配がある中、安心して暮らせる、療養できる環境を守って頂きたいと思っています。	
5291	①自然環境の損失　せっかくの海の景観をなくさないで下さい ②健康被害を考えると、これからの若い人のためにも絶対に作ってほしくありません	

5292	いつも晴れた日にはとてもキレイな夕日を眺める事のできる海岸に大きな建物が複数立ち、外観がそこなわれるのは悲しいです。 又、子供を含め健康に対する被害など十分な結果が出た上でのご検討をお願いしたいです	同　　上
5293	安岡沖洋上風力発電を反対します。観光地でもある海に15基もあると景観が台無しです。また、健康被害がでてくることもあると聞きました。被害が出てからでは遅いと思います。直ちに撤退して下さい。	
5294	○反対します 1.健康に不安がある（安心して暮らせるように） 2.景観が悪くなる	
5295	反対します ・健康に不安がある ・景観が悪くなる ・すぐ近くに建つから	
5296	安岡は、海と山に囲まれ、自然豊かな場所です。 その自然が大好きで、この地に家を建て、根をおろしています。 園芸センターの上から見える景色は、憩いの瞬間で、その景色が風力発電機によりそこなわれる事には反対です。 また子供も幼いため、健康に害が及ぶことも困ります。 どうか、私達から、自然や健康をうばわないでください。 作ってしまってからは遅いのです。	
5297	風力発電により、健康障害が気になる為反対します。 小さい時にあそんでいた、海が失われるのは嫌だし、ずっと今のまま、きれいな夕陽をのこしていたいので反対！！	
5298	安岡の海岸の景観が変わってしまう事、 又　人体への影響を考慮して頂きたいと思います	
5299	綺麗な夕日が沈む景色を見て、癒される事の多い響灘の景観が風力（風車）によって壊されてはいけないと思います。また、病院から1.5kmしか離れていない場所での建設は、患者様、利用者の健康被害を軽視しているとしか思えません。私は安岡沖1.5kmの風力発電建設に反対します	
5300	私は安岡の町から見える海が大好きです。遠くまで続く水平線に大きな風車がいくつも建つことで私の大好きな風景がこわされます。風力発電は健康被害が出るといわれています。健康や環境に良い影響がないものは不用なのではないでしょうか。私は安岡沖1.5kmの風力発電に反対します。	
5301	住民の同意なしに計画を推し進めるのには賛成できない。 風景が損なわれるのも悲しい。 病院には患者がいるため健康被害もあっては困る。	
5302	安岡の美しい景観が失われる 人体にもどのような影響が出るか説明がない	
5303	・その近辺地域の景観が失われる ・人体への影響が心配	
5304	建設されることにおいて　景観が損なわれ、療養環境も悪くなる　　健康上にも悪影響を及ぼすため反対します。	
5305	安岡で生まれ育ち、またこの地で子育てをして現在に至っているが、この響灘の景色を大変誇りに思うと同時に、この景色を子孫に残したいと思う、自然そのものの景色を人工的な景色に変えてしまうことは、許しがたい。 健康被害に対する「絶対安全である」という確証もなく地域住民が反対しているものを　このまま事業を進めていいのか？ 風力発電に頼らなければならないほど、下関は困っているのか？　この事業を進める意義、特に環境健康面のメリットを明確にしてほしい	
5306	住民の健康被害が考えられる為 景観もそこなわれたりする為	
5307	国内外での被害事例しか聞いてないが、被害になる物はやはり作ってほしくない。日本海のすばらしい景観を失いたくない	
5308	風力発電をつくることにより健康被害や環境被害が起こるのでやめてほしいです。 また景色も悪くなるので、反対です。	
5309	・健康に影響を及ぼす為 ・景色が悪くなってしまう	
5310	健康に、害がある様です。 けいかんが悪い	

5311	下関市外にある私達の住むこの地に降ってわいた様な建設工事が行われるかも知れないという近年の騒騒にとても悩まされている者の１人です。理由として①健康を害する起因になる事②自然破壊③景観を害する④静かな環境が一変する、などなど、私達に害はあっても益などさらさら考えられないこの計画に、賛成出来るはずがありません。日の出を拝み、美しい夕日に心いやされていた私達の生活を壊されたくありません。住民の事を考えず会社の営利だけを求めるこの計画に断固反対です 自分の立場になって今一度、ご再考をお願いしたいと思います。	同　　上
5312	安岡沖風力発電反対します 将来の子供、孫達の健康に悪影響を与える。 海岸線の景観が損なわれる。	
5313	・子供達の影響（安全に健康な環境保全のため） ・美しい安岡の海の景観をほじしたいため 安岡沖洋上風力発電を反対いたします	
5314	あなた方は、前田建設株式会社は、地元住民の生活を脅かしています。地元漁業者の極めて良好な漁場や、自然景観を、健康を、壊そうとしています。それが、地元住民に与えている不安や反発の要因です。 そこが、経済的に優れた立場だから選んだと言われますが、国や行政の同意を得られそうだと示されていますが、忘れています。私たち地元住民の同意を得られそうだと思われますか？ あなた方の経済的魅力と、私たちの被害への重みが、釣り合うと思いますか？釣り合うとお思いなら、それは傲慢です。人間の尊厳を脅かしています。企業の社会的責任なんて持ち合わせていないのでは、と。 私たちの被害への不安には科学的根拠がないとお思いかも知れない。では、被害を与えないという科学的根拠をお持ちなのですか？国や政策のお墨付きをたとえ得られたとしても、将来、人為的に与えた行為が確かに公害を与えたと科学的医学的に認定されたとき、失われた時を巻き戻せますか？あなた方は全国で起こっている風車要因の健康被害や自然破壊を直視していないのでは、ありませんか。 わたしは、自分達の安全を確保するために、沖合１０km以上への引き離しを求めます。	
5315	・健康被害の不安、景観がそこなわれる。	
5316	健康被害、美観被害　反対します	
5317	健康被害の心配 環境美観の心配 以上の理由で風力発電事業に反対します。	
5318	反対 一番危険ゾーンに住んでいます。 健康被害　景観・・・色んな事がある日突然ふりかかってきました。　弱者で一番底辺にいる者達が泣いています。どうか立てないで下さい。	
5319	風力発電に反対します。景観が悪くなる。体への悪影響の心配。	
5320	安岡病院の病室から（緩和ケア病棟など）風力発電建設予定地をながめて欲しい 是非　前田建設工業の幹部の方々、ご来院いただきたい とにかくご来院下さい　お願いします 以上	
5321	健康被害を憂慮し、子孫代々に恵まれたこの風景を守り続けたい。覆水盆に返らずの例え通り、元には戻らない	
5322	横野（安岡）沖洋上風力発電建設に絶対反対！！ ①、低周波による健康被害が懸念される 他県でも現実に被害が出ている（県内（油谷町・豊北町・他）でも頭が痛い、眠れない、吐き気がする、もう此処には住めない等の情報あり）※自分は先が知れてるからまだ我慢できると思が…20年間も苦痛を…“子供や孫達”のために、とても建てさせるわけにはいかない！！ ②、景観が悪くなる（昨年夏、横野海岸に広島から夕日の撮影に来た人が今日で三日頑張っているが最高の写真を撮るため、もう１日頑張るとのこと…、風車建設の話をすると絶対に建てさせたらいけん！もうこれん様になる！！ ③、安岡の漁師の死活問題になる ④、どうしても建てたいなら10km以上離してください	「風力発電施設から発生する騒音等への対応について」（平成28年11月版）によれば、これまでに得られた知見として、「頭痛、耳鳴り等の健康影響については、風車騒音との統計的に有意な関係を示す知見は確認できなかった」とされております。 景観について、配置は規則性に配慮し、色彩については周辺の景観との調和に配慮するなどの環境保全措置を講じることにより、実行可能な範囲で影響を低減するよう努めます。 漁場喪失の懸念として魚類への影響が考えられますが、事業の実施による水の濁りについては、濁りの範囲は限定的であること、底質の変化については、有害物質等の影響は小さいこと、地形改変については風車タワーの設置範囲の縮小化、設置基数の削減により改変範囲を可能な限り狭くしたこと、水中騒音については、威嚇レベルの範囲が限定的であることから、漁業への影響は小さいと考えております。
5323	自然環境、漁場の喪失がおこり、 低周波による、聴力障害や、ストレスが増加します 景観が損なわれるという点もあります	
5324	反対意見 ・魚が寄りつかなくなる（音で逃げる） ・低周波が心配 ・景観が損なわれる	

5325	風力発電設置に伴い「健康被害」「自然破壊」に繋がり人口減に発展する「景観破壊」にも繋がる	同　　上
5326	景観がそこなわれる上に健康被害が心配である 海の生態の自然破壊にもつながる為反対である。	
5327	反対です！！ 騒音・低周波音健康被害を受ける上に 強風・台風・落雷などで破損する事が多く　その費用は税負担？放置され景観の破壊にすぎない。	「風力発電施設から発生する騒音等への対応について」（平成28年11月版）によれば、これまでに得られた知見として、20Hz以下の超低周波音領域は、すべて知覚閾値を下回っているため、「風車騒音は、20Hz以下の超低周波音の問題ではなく、通常可聴周波数範囲の騒音の問題としてとらえるべきものであり、A特性音圧レベルでの評価を基本とすることが適当である。」とされております。また、同資料では20Hz以下の音を「超低周波音」とし、それ以外の音（周波数が20～100Hzまでの音を含む）を「騒音」と区別した上で、「頭痛、耳鳴り等の健康影響については、風車騒音との統計的に有意な関係を示す知見は確認できなかった」との考え方が示されており、風車騒音による健康影響については無いものと考えております。 　メンテナンスにおいては、計画に基づき実施しますが、万が一事故が発生した際には、速やかに原因の分析と復旧を行います。
5328	風力発電は、ＣＯ2や使用済み燃料の処理などもしなくてよいので地球環境にやさしいエネルギーとは思いますが、地域住民には低周波音による健康被害があると聞きます。 又、風がある一定量吹く所に設地されるので、台風などの風が強すぎて風車が壊れて住民被害などこおむるような危険なことはないのでしょうか？	
5329	建設することによって　自然が破壊され　海の魚も取れなくなるし、低周波音が出て健康障害もおこるし建設反対です	「風力発電施設から発生する騒音等への対応について」（平成28年11月版）によれば、これまでに得られた知見として、20Hz以下の超低周波音領域は、すべて知覚閾値を下回っているため、「風車騒音は、20Hz以下の超低周波音の問題ではなく、通常可聴周波数範囲の騒音の問題としてとらえるべきものであり、A特性音圧レベルでの評価を基本とすることが適当である。」とされております。また、同資料では20Hz以下の音を「超低周波音」とし、それ以外の音（周波数が20～100Hzまでの音を含む）を「騒音」と区別した上で、「頭痛、耳鳴り等の健康影響については、風車騒音との統計的に有意な関係を示す知見は確認できなかった」とされております。超低周波音について、大きな音圧レベルでは健康被害が生じる可能性は認識しており、今回の調査でG特性での評価や超低周波領域での1/3オクターブ帯域毎の低周波音レベルを予測し、十分影響が小さい結果となっております。また、本事業では平成27年10月から平成28年9月までの1年間の風速、低周波音の観測結果（村崎ノ鼻）から、日常で風が吹いているときに生じる低周波音より風車からの低周波音が十分に小さいことも確認しております。なお、近年の医学的な研究から可聴域の低周波音（40～80Hz程度）は、音としてでなく振動として感じやすいとの知見があり、この周波数帯域を低く評価するA特性では低周波音が評価されにくいとの意見もあることから、準備書では100Hz以下の低周波音についても周波数別にフラット特性で予測を行い、評価にあたっては、「睡眠障害が現れ始めるとされる音圧レベル」、「建具等のがたつきが始まる音圧レベル」、「圧迫感・振動感を感じる音圧レベル」との比較を行い、いずれも低周波音の影響は小さい結果となっております。 　環境への影響については、事業実施前の環境調査結果を踏まえて、予測、評価を行い、環境保全措置を講じることで、自然環境への影響を可能な限り回避・低減するよう努めております。
5330	低周波音による健康障害が有り自然環境にもなるため反対です	
5331	低周波音による健康障害や居住環境の被害 自然環境の破壊これから生きていく子供たちの為にやめてほしいと思います	
5332	自然環境が失われるし　低周波音も出るし　身体にも　健康障害が　おきるから反対です	
5333	反対理由として ・自然環境が失われると思っています。 ・低周波音による健康被害も心配です。	
5334	反対です！ 低周波音等による人達への健康被害や障害が懸念されると考える 自然が多く残っている中で、環境が破壊されこれまで守ってきた物がなくなってしまう事への恐怖感がありリスクが大きすぎる	
5335	住所又は病院等への施設で生活している際に風力発電の低周波等による被害がとても恐いと思っています。いつの間にか知らない間に自分の健康が損なわれていくことは本当に嫌です。 又、自然も損なわれ、漁業にも影響が出てくるのではないか不安です。　　反対！	
5336	自然環境の喪失や不安を与える要因にて反対します 低周波音による健康障害があると思いますので反対です	
5337	反対理由・自然環境・漁場等の喪失 　　・低周波音等による健康障害	
5338	心のなごむきれいなこれまでの景色が失われるのは困ります。渡り鳥が風車の羽根に巻き込まれ、命を落とすのもかわいそうです。低周波音のわずらわしさと健康被害の心配も避けたいです。漁場や生態系への影響も許されないことです。以上のことから、この洋上風力発電の設備は設置されない方がよいと思います。	
5339	自然環境の破壊や低周波音等による健康被害の問題があると思いますので同意できない。	
5340	低周波音・超低周波音による健康障害 又環境破壊等がとても気になります	
5341	自然の破壊と低周波の人体への影響が心配です	
5342	海の環境が破壊される 目に見えない、聞こえない低周波音はこわい 身体が悪くなっからでは遅いので 風力発電は絶対反対	
5343	海岸の自然環境変化や低周波音による健康障害等あるため同意できません。	
5344	私は風力発電事業には反対の意見です。 低周波音等による健康被害もはっきりとした情報もなく、不安です。　又　自然環境破壊で地域住民の環境が変化し、今後の日常生活に多大な悪影響を及ぼすと考えます。 これからの未来の子供達の為にも健康被害を思えば断固として安岡沖洋上風力発電事業の建設には反対します。	
5345	低周波による健康障害が問題になっています。また自然環境が失わらると考えます。海岸から10kmと近いところでの建設に不安でなりません。 以上の理由で反対します。	

5346	低周波音が身体にどのような健康被害がみられるかとても心配である。きれいな安岡の海が失われるのがとても残念である。	同　　上
5347	低周波による健康への影響が一番心配です。 　また、風力発電建設をしたところで、建設費や修理費にお金がかかり、利益がとりにくいとも伺いました。 　設置することで自然破壊にも繋がりかねない風力発電。 　メリットがあまりないような気がします。	
5348	低周波音による健康被害・障害が国内、国外で多く聞かれていますが、人体調査はきちんと行われているのでしょうか。 又、自然環境についても漁場が失われる、海水浴場の砂も少なくなり生活するための収入が減ったり家族や友達との夏の楽しみもなくなると聞いています。 住民が皆賛成している訳ではないという事実をきちんと理解して下さい。　もっと沖に設置して下さい。	
5349	私は安岡小学校、安岡中学校の卒業生です。 小学校の入学は吉母小学校で10才の時に安岡小へ転向しました。私の心の原風景は響灘から水平線を望む海の風景です。大海原の向こうに思いをはせながら幼少期を過ごした自分の心の原風景をさえぎる洋上の建造物を容認することは出来ません。低周波が生物に及ぼす影響は既存の風力発電ですでに明白です。地域の人々にとってのふるさとをそのまま子や孫へ伝えていく事はそこに暮らす人々の使命です。環境破壊はもとより、健康被害の恐れのある所に、あなたは家族と一緒に住めますか？	
5350	風力発電による低周波音が生物に悪影響をあたえる危険性が高いし、半径5km内に住む住民の人体にも、頭痛、目まい、吐き気、精神異常などの症状が出る可能性が高いと聞きました。 　安岡沖洋上に風力発電を建設すると、周辺の海洋生物への悪影響だけでなく、近くに住んでいる私たち人間にも健康被害があるかもしれないので　風力発電の建設に反対します。	
5351	山陰の　自然が　風車によりそこなわれるという 地域活性化に影響があると心配されます 低周波であることで気づかないうちに体への影響が心配されます	
5352	騒音の影響、環境の影響、プラスな事が考えられないので安岡沖洋上風力発電事業に反対です。	
5353	風力発電による低周波音によって健康被害に悩むのではないかとても心配です。 風の力がなければ、電力を作れないので、環境に優しいかも知れませんが　十分に電力を作ることができるのかも心配です。私は安岡沖1.5kmの風力発電に反対します	
5354	低周波音により健康を害する。 自然環境を破壊する。	
5355	安岡の浜よりみえる自然の風景が子供達の時代にも今のままで引き継ぎたいです。 人体に影響する低周波も心配です。	
5356	低周波音等による健康障害や、自然環境・漁場等の喪失も気になります。住民の同意がないままたてるのは反対です	
5357	当海岸の自然海岸に建設が進めば、海が汚れ、魚や鳥に悪影響をおよぼし、低周波や音により健康障害をおこすのではないか？	
5358	目に見えない耳で聞こえない低周波等の健康障害が心配です。　漁場も失われる。	
5359	住民の同意が得られていない上に自然環境に影響を与えることに反対します。 低周波音等による健康障害が生じる可能性が有る為、反対します。	
5360	低周波による健康被害や　自然環境の破壊が考えられると思うので　反対します	
5361	低周波音等による健康障害があり、住民の同意も得られていないため風力発電事業に反対します。	
5362	周りに海・山ともにあり、のどかな地域なため風力発電開発に反対である。 なぜなら人・自然に対して害があり、低周波音の被害が健康問題に害をきたすからでさる。 もう一度風力発電を考えて頂きたいと思う。	
5363	自然環境が喪失するだけではなく、低周波音等による健康障害も否定はできないため反対します	
5364	安岡沖風力発電事業に反対 　自然の破壊や、低周波による健康被害など多くの問題を抱えるのではないでしょうか。	

5365	低周波による健康障害が心配です。 　自然にも悪影響な為、子供達の遊び場も気になる	同　　上
5366	自然環境の破壊もあるし 低周波による健康被害も甚大である。 医師による反対活動も行われている。	
5367	反対です。 低周波音による健康被害が気になります。 もう少し遠くに作って欲しいです。 きれいな海を守っていきたいです。	
5368	すでに山中に建設されている所では、野鳥などの飛来が減少していると聞きます。海上でもさまざまな問題が明らかに発生します。低周波音等の直接耳に聞き取りにくい「低周波音・超低周波音」によっておこる健康障害の問題点が被害事例などにより浮上、国による調査・研究が進められておりますが、洋上での対応、疫学的な明確な結論も出ておりません。	
5369	安岡沖風力発電に反対します。 海の自然環境に良くなく、超低周波音が体に良くないから。	
5370	今年の４月に帰郷した者です。豊北町の山に風力発電が設置されて猪や鹿などがいなくなったと聞いております。低周波で眼に見えないものであり短期間の評価で大丈夫といわれても安心できません。将来大丈夫といわれていたことがそうでないことが多くでてきてるので。	
5371	低周波の問題がある。漁場、自然の問題がある。 自然にいた生き物などがいなくなっているのです。 生かすも殺すも人間ではないのでしょうか。	
5372	安岡沖に１５基もの風車が建つ事で低周波と言うのは決して良い事ではないし、海の中に建てて風と潮による風車への影響は測りしれないのではないですか？サビやメンテナンスはどの様になるのか？建てるだけで終わりなのか？が心配になります。	
5373	自然環境の喪失。健康障害の問題等。	
5374	風力発電が出きる事により環境にも良くなく、健康にもよくないと思います。漁業も出きなくなります。風力発電は、反対です。	
5375	健康被害や自然破壊に繋がる可能性が高いので反対です	
5376	健康の悪影響、自然への悪影響へのリスクの懸念点があるため	
5377	健康被害、豊かな環境破壊を守る為 風力発電の建設には反対致します。	
5378	健康障害の問題点が明確でない、又、自然破壊につながるのではないかと思います。	
5379	自然環境が悪くなったり健康に被害が及ぶ為、反対します。	
5380	自然環境も悪くなり健康にも障害の恐れがあるので建設には反対します。	
5381	自然環境や健康面に対して反対	
5382	風力発電事業によって、自然環境や居住環境が破壊され、健康障害も出てくるのであれば、反対です。 ただ、どのように破壊されるのか、どのような健康障害が表れるのか、もっとくわしく、明確にわかるように説明してほしいと思います。	
5383	風力発電による人への健康への影響がどの程度あるのか不安がある。 海上に大量に建設した場合　環境にどのような影響を及ぼすかわからない。	
5384	風力発電による人への健康への影響がどの程度あるのか不安がある。 海上に大量に建設した場合、環境にどのような影響を及ぼすかわからない。	
5385	自然環境が失われることも気になりますが　何より　住民の健康が損なわれることは許せません。地元はお年寄りも多い地域なので影響をより受けやすいと思います。 洋上風力発電絶対反対です。	
5386	自然環境や居住環境に大きな影響をあたえる為	
5387	安岡のきれいな環境が損なわれるのは嫌です 健康被害も考えられ　絶対に反対します	
5388	自然環境、人体に悪影響を及ぼす為、反対します。	
5389	・自然環境や漁場・農業　住民の生活が心配です。 ・なによりも健康障害の事が心配です。 賛成できません	
5390	健康障害　自然環境　破壊！！ 子供達の将来　今後の日本のあり方を考えるべき 無駄なお金を使うべきではないと思う 人間が人間の生活環境を壊してほしくない	

5391	健康被害や騒音等　利用者の身体に影響を及ぼすことが心配で有り反対です 海も自然の形でできたら行って欲しいと思います、漁港の人又海の中の生物 私達が口にする物も有り今のままでいって欲しい 利用者の健康被害が一番心配です	同　　上
5392	世界的にも風力発電積極的な国はなく低周波を始めとする良くない人への影響は計り知れないし、又効率から見てもとても積極的に進める要因はないと思う。したがって環境面、人体の影響を考えた場合絶対に反対すべきと思います。	
5393	安岡地区に居住して20年以上経ちますが、住み始めた頃に比べて、商業施設、病院施設、病院、山陰線の駅の増設、バイパス開通と、アクセスや生活環境がとても充実されてきました。身内や親せきはいませんがこの場所を離れる理由は今の所ありません。だからこそ、今の生活環境や自然環境を変えて欲しくないと強く思います。人体への影響も心配です。以上の理由にて、私は安岡沖洋上風力発電施設を反対します。	
5394	風力発電が建設されると自然が破壊され、さまざまな健康被害を招くことになるので、今まで築いた安岡の環境を守るためにも建設には反対です。　安岡地区には高齢者も多く、長年暮らしている方が半数以上だと思うので、その人らしい生活を尊重することを第一に考えるべきだと思います。	
5395	今現在、私たちの生活より、何年何十年先の子供達の未来を考えると、恵まれた海やこの自然、そして何より健康的安全な生活が送って毎日が過ごせるようなそんな“下関”を残してあげたいので、人体や環境に悪影響な風力発電は反対です。	
5396	低周波により、漁業等への悪影響が考えられるため反対です。	「風力発電施設から発生する騒音等への対応について」（平成28年11月版）によれば、これまでに得られた知見として、20Hz以下の超低周波音領域は、すべて知覚閾値を下回っているため、「風車騒音は、20Hz以下の超低周波音の問題ではなく、通常可聴周波数範囲の騒音の問題としてとらえるべきものであり、A特性音圧レベルでの評価を基本とすることが適当である。」とされております。また、同資料では20Hz以下の音を「超低周波音」とし、それ以外の音（周波数が20～100Hzまでの音を含む）を「騒音」と区別した上で、「頭痛、耳鳴り等の健康影響については、風車騒音との統計的に有意な関係を示す知見は確認できなかった」との考え方が示されており、風車騒音による健康影響については無いものと考えております。 　漁場喪失の懸念として魚類への影響が考えられますが、事業の実施による水の濁りについては、濁りの範囲は限定的であること、底質の変化については、有害物質等の影響は小さいこと、地形改変については風車タワーの設置範囲の縮小化、設置基数の削減により改変範囲を可能な限り狭くしたこと、水中騒音については、威嚇レベルの範囲が限定的であることから、漁業への影響は小さいと考えております。 　鳥類への影響については、専門家のご意見を踏まえて、方法書段階より調査頻度を増やしており、これらの調査結果を踏まえ、影響を適切に予測及び評価を実施し、鳥類に対して実行可能な範囲で影響の回避・低減に努めております。
5397	超低周波音が健康障害の問題はないのか？ 漁場は大丈夫なのか	
5398	低周波による身体の影響を考えると心配です。漁場の変化も気になります。	
5399	現在の自然環境が損なうことは明らかだと思う 漁場の変化、自然豊かな風景も一変してしまうこと、健康面に関しても低周波音などにより　問題点も浮上してくると思います。 不安を持って生活を考えたくないです。 今の自然をこわさず、このままであってほしいです。 反対です。	
5400	自然環境が変化すると、せっかく良い漁場が失われて漁師の生活が守れなくなる。 それと低周波音等によって健康に障害がでると思うのでやめてほしい。	
5401	自然環境の破壊　漁場等の喪失・常に音があることでのストレス、低周波による健康被害も考えられる	
5402	風力発電による漁業への影響、超低周波音による健康障害がゼロではないと思っている為、反対です。　環境のいい、この街を今のまま、住みやすい街のままにしておいて欲しいと思います。	
5403	漁業される方の収入減少、低周波音が健康障害につながる為　建設反対します。	
5404	反対です 環境の変化による漁業への影響や、騒音等による人体への影響があり不安です。	
5405	以前より安岡沖洋上風力発電には反対しております 一番の理由は低周波音等による健康障害です テレビなどで見る限りで実際よくわかりませんが出来上がってからではどうにもなりません、安岡と垢田も近いのでとても恐い思いをしております（被害が出てからでは遅い）自然環境、漁場等の喪失のためにも何とぞ中止して下さい、よろしくお願いします。	
5406	私自身も耳が悪いので低周波による超音波による健康障害が不安であります。 又、漁業が出来なくなったり、海水浴等が出来なくなったら困ると思います。 又、外国では遠くに風力を立てていると思います 安岡は近すぎると思います。 なので反対します。	

5407	自然環境や漁場の喪失・景観も変わってきます 低周波による健康被害の調査・研究は進められてはいますが、まだはっきり結論もでていない状況で、健康障害の問題も大きいです。 10万人近い人　建設反対の署名があり、それほどまでの反対をおしきっての建設は何のメリットがありますか？	同　　上
5408	風車が建設されると　24時間鳴り響く、モーター音や風切り音に悩まされることになる。実際そのような地域に住む人からは、騒音・低周波音の影響で眠れない日々を過ごし、多数の人が健康被害を訴えていると言われている。 病院が近くにあり、漁業で生計を立てている人もいる場所なので、人の迷惑を考えて建設はやめてほしいです。他に適切な場所を探してください。よろしくお願い致します。	
5409	患者様の健康被害が心配です。 魚が減ってしまうのではないか（漁師さんが困ると思う）	
5410	漁業関係の被害が大きくなり、食生活にも影響を及ぼす。 それにより健康も脅かされるのではないかと考える。 以前より署名を出しているが、同意が得られているのか、もう一度考えてもらいたい。	
5411	風力発電により、豊かな自然環境の破壊や漁場の喪失、なりより健康被害があるため反対です。 子どもの健康を守りたいです。	
5412	・既存の風力発電設置場所の近隣住民の方々に健康を害する被害が報告されていると聞きました、人体に害があるような事業はやめてもらいたいと思います。 ・漁業にも何らかの悪影響があるのではないかと不安です。	
5413	・健康への影響が不明である為、不安 ・生態系への影響が不明である為、不安	
5414	健康への目にみえない恐ろしさに安心してすごすことはできない、精神的なダメージが大きい。 自然環境を守るため自然をこわさないでほしい。 豊かな漁場が失われ風車により耐え難い風景に変わる。	
5415	健康によくないと思います 魚がとれなくなる	
5416	現在地域住民の賛同が得られていない中での事業着工には反対です。また安岡沖は豊富な漁場となっており、工事による自然環境の破壊は漁業で生計をたてている方が多い安岡地区の生活基盤の破壊にも繋る。 人体に対する影響は現在明確な根拠は示されていないも、安全であるとも示されていない。医療機関や高齢者施設が隣接しているなか、研究が不十分な状態で事業を進めるのは納得ができない。 まずは調査・研究により明確な結論が出て地域住民と議論すべきであると考える。	
5417	漁場が少なくなるし、網が破れる これだけ安岡が反対しているのだから、他の場所に風力を作ればいいと思う。場所的に病院や住民がすぐそばにいるのに・・・海の上に立てるのなら島周りでもよいのではないか。それか、他の場所（安岡を除く）に作って欲しい。 他の組合は、自分達の場所ではないから不満はないと思うが、仮に自分達の場所に風力が出来れば、どう思うのか・・・	
5418	健康被害、安岡沖の漁場への被害などを考えると、建設を反対します。	
5419	漁場での環境での破かい。健康障害で先が不安です。風力発電反対です	
5420	風力発電事業では、一番の不安は、低周波の影響です 今まで、何もなかった所に建てた事で、私達人間に害はないのでしょうか？耳鳴りであったり　不眠になったり　今まで建設した所でそういった事はなかったのでしょうか？魚などへの影響はないのでしょうか？今まで、たくさんとれていた魚などがとれなくなったりとかはないのでしょうか？とても不安な事だらけです。必ず安岡地区に建設しなければいけないのでしょうか？賛成している方の地域に建設すれば良いのでは？	
5421	・人体への悪影響の懸念（低周波） ・環境への影響（魚業・海洋生物）の懸念 安岡沖洋上風力発電の建設は反対です	
5422	安岡沖洋上風力発電は反対です 私は、メネエール病があるので低周波はこわいです音もきこえないのに24時間365日海では、しんどうで魚もすめなくなります長州出島がいいみほんです。垢田の海がいいみほん　ワカメ、ヒジキなど近くの人がたくさんとりにきていたのに今年は、ワカメもできていませんでした 絶対洋上風力反対です	

5423	安岡沖洋上風力発電は、病院など入院されている患者に脳波などに影響があるので止めてほしいです。 音がうるさい、安岡の海や魚に影響があるのでやめて欲しいです。	同　　上
5424	建設反対です。 目に見えなくても、人体、魚等色々な所で影響が出てくると思います 近くに祖父母も住んでいます 静かな老後で良い環境で長生きしてほしいです 住民がこんなに不安に思ているのに建てないで下さい お願いします。	
5425	娘夫婦が安岡在住です。人体、環境、生活に支障をきたすような事はこのましくないと思っております。海と云う大自然を相手に漁業界やその他にも何らかの悪影響をきたすことはよくないと思っています。それでなくても地球は今ヒメイを上げています。	
5426	自然環境の破壊　漁場等の喪失　常に音があることで魚資源に対する影響大。 又低周波による被害も浮上してきており不安は大きなものである。 海上にあっても、風向きによっては、地域住民への影響は必然となる　絶間なく続くというのは非常に耐え難い。	
5427	安岡沖に洋上風力発電を設置するにあたり、美しい景観がそこなわれ、漁場や環境への影響があり、地域住民の生活や（低周波等）健康面への不安や影響が出てくると思います。 不安が取りのぞけない以上は反対です。	
5428	風力発電は騒音、低周波音による人体への健康被害などの問題が考えられる為 洋上に風力発電が設置される事により　魚や鳥などの生態に変化が生じる不安があるためです	
5429	1.海洋生物の生態系の崩壊 2.騒音障害における住民の健康被害の増大 以上２点の理由により安岡沖洋上風力発電事業に反対致します。	
5430	低周波の振動や健康障害が本当にないのか。 漁場が本当に失われるのか 風力発電をする事により、市民へのメリットはあるのでしょうか？	低周波による健康被害、漁場の喪失等の環境への影響は回避・低減に努めております。 　地域の皆様のメリットとしては、税収の増加や工事等による雇用の創出等が考えられ、事業を通じて地域経済の発展及び活性化が期待されております。
5431	反対　低周波被害が解決されてない。漁業保障がされてない	「風力発電施設から発生する騒音等への対応について」（平成28年11月版）によれば、これまでに得られた知見として、20Hz以下の超低周波音領域は、すべて知覚閾値を下回っているため、「風車騒音は、20Hz以下の超低周波音の問題ではなく、通常可聴周波数範囲の騒音の問題としてとらえるべきものであり、A特性音圧レベルでの評価を基本とすることが適当である。」とされております。 　山口県漁業協同組合と漁業補償契約を締結しており、事業についても協力して頂く事になっております。
5432	海上に風力発電を建設することは景観を損なう事と、周辺住民の健康被害や漁業等農産物や水産物に重大な被害が出るので反対です。オーストラリア南西部の町でも住宅近くに風力発電が建設された事で、低周波の影響による、人々への健康状態が悪くなった事や、麦などの農産物が育たなくなり、人々が離れゴーストタウン化しています。当病院も40年近く安岡で事業を展開していますが、強引に建設されると患者様の行き場がなくなるとともに、職員の雇用等にも重大な被害が出ると容易に想像されます。 建設には絶対反対です。	オーストラリアの件については一時そのような情報が発信されましたが、その後の調査によりそのような事実が確認できず、その後は一切報道もありません。
5433	海外の事例で、オーストラリアの風車が立っている所で3キロ以内の町に人がいなくなったということは前も何回か説明をしましたけれども、そのような事実が海外である中で、なぜ1.5キロ以内にそれを建てるのかと思います。 われわれはモルモットではないです。	
5434	オーストラリアの映像ですね、これがでっち上げだと言われました。ABC放送に確認を取ろうとは思っています。 それが本当に危険だということ。もちろん、いいですよ。 クリーンエネルギーというのは大切なことなのです。もう住んでいる所の人が、離れた所であれば問題はないということなのです。	

5435	地域住民の同意を得られていないのに建設は可能なのでしょうか 低周波はとても気持ちの良い物ではないと思います。 建設側の方のご自宅が近くにあっても建設には賛成されますか	「風力発電施設から発生する騒音等への対応について」（平成28年11月版）によれば、これまでに得られた知見として、20Hz以下の超低周波音領域は、すべて知覚閾値を下回っているため、「風車騒音は、20Hz以下の超低周波音の問題ではなく、通常可聴周波数範囲の騒音の問題としてとらえるべきものであり、A特性音圧レベルでの評価を基本とすることが適当である。」とされております。また、同資料では20Hz以下の音を「超低周波音」とし、それ以外の音（周波数が20～100Hzまでの音を含む）を「騒音」と区別した上で、「頭痛、耳鳴り等の健康影響については、風車騒音との統計的に有意な関係を示す知見は確認できなかった」とされております。超低周波音について、大きな音圧レベルでは健康被害が生じる可能性は認識しており、今回の調査でG特性での評価や超低周波領域での1/3オクターブ帯域毎の低周波音レベルを予測し、十分影響が小さい結果となっております。また、本事業では平成27年10月から平成28年9月までの1年間の風速、低周波音の観測結果（村崎ノ鼻）から、日常で風が吹いているときに生じる低周波音より風車からの低周波音が十分に小さいことも確認しております。なお、近年の医学的な研究から可聴域の低周波音（40～80Hz程度）は、音としてでなく振動として感じやすいとの知見があり、この周波数帯域を低く評価するA特性では低周波音が評価されにくいとの意見もあることから、準備書では100Hz以下の低周波音についても周波数別にフラット特性で予測を行い、評価にあたっては、「睡眠障害が現れ始めるとされる音圧レベル」、「建具等のがたつきが始まる音圧レベル」、「圧迫感・振動感を感じる音圧レベル」との比較を行い、いずれも低周波音の影響は小さい結果となっております。 本事業においては、地域の皆様の反対があることも理解しております。方法書段階の当初計画では、風力発電機から最も近い民家までの距離は約760mであった事から健康影響への懸念や、景観的な圧迫感への懸念があったものと考えております。準備書段階では、最も近い民家までの距離は約1,500mとなるように変更しました。最も近い民家までの距離を可能な限り離す事、及び候補の中で最も少ない基数とする事により、騒音や風車の影の影響の低減など、環境影響の程度を極力抑えることが出来る様、検討を行っております。今後も環境影響において不安を解消し、地域の皆様にも理解をして頂けるよう、正確な情報を発信してまいります。
5436	住民の同意が得られていない。 環境被害が大きい 低周波による健康被害	
5437	洋上風力発電が建設されることにより、低周波音による住民への健康被害が懸念される。低周波の影響を受けるとされている圏内には病院や学校もいくつか含まれており、子供やお年寄りへの被害も考えられる。 また、この事業に対しては既に9万以上の住民からの反対の署名が集まっており、市民からの同意が十分に得られていないため、このまま建設を進める横暴ではないかと考える。	
5438	・住民の同意が得られていない ・低周波音等による健康被害	
5439	・反対のデモが起きている等　住民の同意を得られていない ・低周波音・超低周波音による健康障害の問題点が解決されていない	
5440	近年低周波による健康被害が報告されている。地元住民の同意も得られていない中での建設には反対である。	
5441	住民です。祖父の代からこの土地で暮らしています。 この地域の住民は高齢者、障害者が多く、病院や施設も建っています。低周波音による健康障害が起これば、皆簡単に生活の地を移すことはできません。近所の方は家を建てた後に風力発電の話を知り、土地、家を売ろうとしましたが価値が下がり、買い手も見つからずに断念したと聞きました。 電力は必要ですし、経済の面でも風力発電施設を建てることは有効かもしれません。しかし、それは地域の方々と十分な話合いをしないまますすめて良いものなのでしょうか？そこで働く人は夜になればこの地域から出て過ごせますが、住んでいる方、まして病院に入院している動けない方々は行き場がありません。 以上の理由で、風力発電の建設には反対です。	
5442	低周波音等による健康障害の問題点があると思います。 住民の同意が得られていない事が問題かと思います。	
5443	住民の同意が得られていない事が問題かと思います。 又、低周波の健康障害について、地域の人に関わる事が、とても気になります。	
5444	近くに老人施設もあり　小さな子供たちもいます 低周波音による健康被害が起こる可能性がある以上建設を望みません これだけの反対意見があるのに本当に必要なものなのでしょうか？ 地球の温暖化を始め、自然の中に人工物を作るのは反対です。	
5445	反対します 住民の同意がない 低周波の健康障害	
5446	反対します 住民の同意がない 低周波の健康障害	
5447	反対します ・住民の同意がない ・低周波音の健康障害	
5448	反対します 住民の同意がない 低周波音の健康障害	
5449	安岡沖洋上風力発電の建設に反対！！ 1.地元の同意が得られていない事。 2.低周波が入院中の方達や、高齢者等に多大な健康障害を無視しての強硬姿勢	
5450	安岡沖洋上風力発電に対して多くの方の同意が得られていない状態です。環境への影響について考えてもらいたい。 低周波音・超低周波音による身体への影響も国内で被害事例もあがっています。	
5451	地域住民の同意が得られていない状態である上に低周波音による健康障害に対しての明確な結論も出ていない現状で反対する以外の選択肢がありません。 地域住民を無視した計画は断固反対です。	

5452	安岡沖洋上風力発電建設に反対します。 地元の方々の同意を得ていない事 低周波による健康障害、近くには病院等があり被害は大きいと思います	同　　上
5453	安岡沖洋上風力発電建設反対します。 ・住民の同意が得られていない ・自宅の目の前に予定されており低周波音等による健康障害の問題があるため	
5454	風力発電については低周波音等による健康被害の事例があると聞いています。そのため住民の同意が得られないままの建設には反対です	
5455	当海岸は、海水浴場や磯物の漁場としても利用されており、近隣住民の十分な賛成を得ていないにもかかわらず、工事をすすめるのは、いかがなものでしょうか。　低周波音等による健康障害についても、十分な説明もないままで、不安でたまりません。	
5456	・住民の同意が得られていない状態にある ・健康障害。気になります	
5457	健康障害の問題があり、住民の同意が得られてない。 市民生活を脅かす安岡沖風力発電の設置に反対します。	
5458	健康障害の問題が浮上し、住民の同意が得られていないのに建設するのは納得がいきません。	
5459	地域住民の同意が得られてなく、健康障害の心配もあるので再度の見直しお願いします	
5460	地元民の同意が得られていない状況で、今の条件で建設ができるのでしょうか？ やはり目に見えない健康障害が一番心配です	
5461	まず第一に風力発電事業の目的は何かを考えて頂きたいと感じます。”風力発電”にはたくさんの利点がありますが、建設の場所・環境・地元民の同意全てをふまえても建設することによっての利点がうわまわるのかを考えていただきたく思います。実際に健康障害、漁場等の喪失など問題点が挙がっております。何かをするときにでる問題点を再度考えていただきたいです。	
5462	私達家族は安岡に住んでいますが、これからも住み続けていく上で、外観・身体への影響・住民が納得していない。それらを考えて不安が残ります。	
5463	健康被害、自然環境の喪失など多くの理由はあるが、住民、地域の同意が得られていない所に問題を感じる。建設はまずは住民の為に行われるべきであると考える為、同意のない建設は行われるべきではないと考える	
5464	近隣からの反対が多く、合意が得られていないこと、また、反対される方が不安視している健康被害について明確な回答が示されていない現状から、電力発電としての安岡沖洋上の風力発電に対しては反対いたします。	
5465	健康被害の懸念がある中、近隣住民の合意も取らずに事案を進める事に甚だ疑問を感じます。クリーンエネルギーというイメージが先行し、リスクに対する認識もまだまだ足りていないと思います。	
5466	・低周波音等による健康障害 ・自然環境、漁場の喪失 ・住民の同意が得られていない 以上により反対します。	「風力発電施設から発生する騒音等への対応について」（平成28年11月版）によれば、これまでに得られた知見として、20Hz以下の超低周波音領域は、すべて知覚閾値を下回っているため、「風車騒音は、20Hz以下の超低周波音の問題ではなく、通常可聴周波数範囲の騒音の問題としてとらえるべきものであり、A特性音圧レベルでの評価を基本とすることが適当である。」とされております。また、同資料では20Hz以下の音を「超低周波音」とし、それ以外の音（周波数が20～100Hzまでの音を含む）を「騒音」と区別した上で、「頭痛、耳鳴り等の健康影響については、風車騒音との統計的に有意な関係を示す知見は確認できなかった」との考え方が示されており、風車騒音による健康影響については無いものと考えております。 漁場喪失の懸念として魚類への影響が考えられますが、事業の実施による水の濁りについては、濁りの範囲は限定的であること、底質の変化については、有害物質等の影響は小さいこと、地形改変については風車タワーの設置範囲の縮小化、設置基数の削減により改変範囲を可能な限り狭くしたこと、水中騒音については、威嚇レベルの範囲が限定的であることから、漁業への影響は小さいと考えております。今後も環境影響へのご懸念については、地域の皆様にも理解を頂けるよう正確な情報を発信してまいります。

5467	低周波音による健康被害が心配される。環境省「風力発電設置に係る騒音・低周波音の実態把握調査」では風車から1000m以内で発生しているものが苦情が継続しているとの事ですが、苦情が改善した例ではどれ位の距離なのか分からない。ということは1.5km離れていても、苦情が起こる可能性があるのでは？また、事業企画では環境アセスメントを一般の方々などから意見を聴き、よりよい事業計画を作り上げる、となっているが、反対署名は97,374筆となっており、意見を聞いていると言えるのか？もっと地域住民に理解を得ようとする努力が必要ではないのか。	平成22年の環境省が実施したアンケート調査結果（全国の風力発電事業者のうち186事業者、40都道府県から回答）によれば、継続している「苦情」は、風車から1,020mまでとなっています。その後の調査研究結果を考慮しても本事業の風力発電施設から最も近い民家まで1,500mという距離は騒音・低周波音の影響を低減するための十分な距離と考えております。 本事業においては、地域の皆様の反対があることも理解しております。署名については、重く受け止めており、反対意見を踏まえて風力発電機から最も近い民家までの距離を1,500m以上離す内容に計画を修正しております。また、国内外の最新の知見を重視し、「風力発電施設から発生する騒音等への対応について」等、これらに沿った計画にしております。今後も環境影響へのご懸念については、地域の皆様にも理解を頂けるよう正確な情報を発信してまいります。
5468	自然海岸に建設が進めば漂砂現象、低周波音等の健康障害の問題等が発生する可能性があり風力発電の建設を反対します。	「風力発電施設から発生する騒音等への対応について」（平成28年11月版）によれば、これまでに得られた知見として、20Hz以下の超低周波音領域は、すべて知覚閾値を下回っているため、「風車騒音は、20Hz以下の超低周波音の問題ではなく、通常可聴周波数範囲の騒音の問題としてとらえるべきものであり、A特性音圧レベルでの評価を基本とすることが適当である。」とされております。また、同資料では20Hz以下の音を「超低周波音」とし、それ以外の音（周波数が20～100Hzまでの音を含む）を「騒音」と区別した上で、「頭痛、耳鳴り等の健康影響については、風車騒音との統計的に有意な関係を示す知見は確認できなかった」との考え方が示されており、風車騒音による健康影響については無いものと考えております。 流速の変化は、風力発電施設周辺で±1.0～3.0cm/sec程度の流速差が予測されますが、風車設置地点近傍の範囲に限られていること、風車設置エリアの東側に位置する浅瀬（魚類等の生育環境場）では±1.0 cm/sec未満であること、海水浴場の砂の移動への影響も小さいと考えられることから、地形改変及び施設の存在による流況に与える影響は小く、漁業・漁場への影響は小さいものと考えております。
5469	事業、建設に反対します。 ・漂砂現象、海流の変化等で漁場が失われる。 ・低周波音による健康障害が考えられる。	
5470	遠距離に届く振動「低周波、超低周波音」による健康障害や海水浴場の砂は沖合に流れ海浜が消失され風景が一変するなど問題点が多いようなので反対です	
5471	・遠距離に届く振動低周波音による健康障害 ・海流の変化による磯物や漁場の被害 これらについての心配があります	
5472	海岸に建設が進むと、海流の変化等によって磯物の漁場が悪くなり、海水浴場の砂は沖合に流れて海浜がなくなってしまう。 自然への被害、低周波音等からの健康障害の問題点があげられています	
5473	長期に渡る低周波による健康被害や建設による海流の変化による漁場が失われるなどの負の現象が考えられる	
5474	低周波音等には健康障害を引き起こす実例が発表されているものを、賛成することは出来ません。 又、すばらしい環境破壊、潮の流れ（海流）に漁場の喪失療養生活を送られる患者に安心で安全な環境を提供したいと思います。	
5475	環境への影響がないか十分に調査し、無いことが確認出来てから工事をすること。今まで聞いた中では、低周波による人体や魚への影響があること、又、工事施工時の海水の汚れによる藻や魚への影響、海中に埋めた柱等による潮流の変化による影響等数多くあり、これらの心配事を解決し、安心して漁が出来ることを確認して欲しい。	
5476	同じ海岸沿いに住んでいる者として海が汚れる様な気がするのと低周波の被害が気になる	工事中の濁りの拡散範囲(海域における人為的に加えられる懸濁物質の基準(水産用水基準(2012年版))である2.0mg/L)は、施設の東側に位置する浅場（水深6.0m以浅）に及ばないと確認できております。さらに、施工時に汚濁防止枠による濁り拡散の低減を図るなど、適切な環境保全措置を講じることにより、実行可能な範囲で影響の低減が図られているものと考えております。 「風力発電施設から発生する騒音等への対応について」（平成28年11月版）によれば、これまでに得られた知見として、20Hz以下の超低周波音領域は、すべて知覚閾値を下回っているため、「風車騒音は、20Hz以下の超低周波音の問題ではなく、通常可聴周波数範囲の騒音の問題としてとらえるべきものであり、A特性音圧レベルでの評価を基本とすることが適当である。」とされております。また、同資料では20Hz以下の音を「超低周波音」とし、それ以外の音（周波数が20～100Hzまでの音を含む）を「騒音」と区別した上で、「頭痛、耳鳴り等の健康影響については、風車騒音との統計的に有意な関係を示す知見は確認できなかった」とされております。

5477	私達が風力発電機で一番問題視しているのは、この発電機から発生する超低周波振動による健康被害です。これは耳に聞こえない領域の音波です。 因果関係が認められています。 又、風力発電機により発生する超低周波による健康被害（不定愁訴等）は汐見医師による疫学調査により証明されています。 又、我が国で最近建設される洋上風力発電装置は、10km以上離れた場所に建設又は計画されているようです。 これらのことから、安岡沖洋上風力発電建設に反対します。 どうしても必要であれば、横野地区から10km以上離れた場所にしてください。 先祖から引き継いだ素晴らしい横野地区を、子孫に引き渡すため横野沖における洋上風力発電建設はやめてください。お願いします。　それから海底の工事ですが、以前海上保安庁の方から聞いた話ですが、海底に工作物を作ると必ず海流が変わり、魚の住む場所が変わり元に戻らないと聞きました。従って安岡の漁師さんは、生活が出来なくなります。一言申し添えます。	「風力発電施設から発生する騒音等への対応について」（平成28年11月版）によれば、これまでに得られた知見として、20Hz以下の超低周波音領域は、すべて知覚閾値を下回っているため、「風車騒音は、20Hz以下の超低周波音の問題ではなく、通常可聴周波数範囲の騒音の問題としてとらえるべきものであり、A特性音圧レベルでの評価を基本とすることが適当である。」とされております。 海流の変化への影響については、調査結果を踏まえ、流向・流速への影響を適切に予測及び評価を実施し、実行可能な範囲で影響の回避・低減に努めております。
5478	私達が風力発電機で一番問題視しているのは、この発電機から発生する超低周波振動による健康被害です。これは耳に聞こえない領域の音波です。因果関係が認められています。 又、風力発電機により発生する超低周波による健康被害（不定愁訴等）は汐見医師による疫学調査により証明されています。 又、我が国で最近建設される洋上風力発電装置は、10km以上離れた場所に建設又は計画されているようです。 これらのことから、安岡沖洋上風力発電建設に反対します。 どうしても必要であれば、横野地区から10km以上離れた場所にしてください。 先祖から引き継いだ素晴らしい横野地区を、子孫に引き渡すため横野沖における洋上風力発電建設はやめてください。お願いします。　それから海底の工事ですが、以前海上保安庁の方から聞いた話ですが、海底に工作物を作ると必ず海流が変わり、魚の住む場所が変わり元に戻らないと聞きました。従って安岡の漁師さんは、生活が出来なくなります。一言申し添えます。	
5479	安岡沖洋上風力発電事業に反対いたします 住民も反対している理由として、自然が失われる（海水浴場の砂が沖合に流れてしまい浜がなくなってしまう）事、低周波音等による健康被害が起きてくるという事です。 安岡病院にはたくさんの患者が入院されています。又、たくさんの職員も働いています　健康障害が起きるような病院に入院したい人なんていないと思います。 又、健康障害が起きるような病院で働きたい人もいるわけがありません。そして、安岡に住んでいる人々の居住環境の破壊も怖いと感じます　地域を衰退させない為にも　安岡沖洋上風力発電事業に反対です。　よろしくお願いいたします。	本事業では、流況への影響について、調査結果を踏まえ、流向・流速への影響を適切に予測及び評価を実施し、実行可能な範囲で影響の回避・低減に努めております。流速の変化は、風力発電施設周辺で±1.0～3.0cm/sec程度の流速差が予測されますが、風車設置地点近傍で南北での流速変化に限られおり、漁場、海水浴場への影響は小さいものと考えております。 「風力発電施設から発生する騒音等への対応について」（平成28年11月版）によれば、これまでに得られた知見として、「頭痛、耳鳴り等の健康影響については、風車騒音との統計的に有意な関係を示す知見は確認できなかった」とされております。 本事業は、洋上風力発電事業（洋上着床式）といった事業の特性上、海域に設置される特徴を有しております。したがって、建設工事、施設の稼働等については海域が主体となりますので、風力発電施設設置等の直接改変は行いませんので、居住環境を悪化させるものではないものと考えております。したがって、本事業が地域の資産価値を低下させる直接的な原因とは結びつかないものと考えております。
5480	低周波音による人への影響や海中の水中音が水産資源へ影響するのではないかと心配します。このような心配事を払拭するよう十分に調査し、人や下関自慢の海の資源を守ることを第一に考えてほしい。	施設の稼働による水中音の予測結果は、「威嚇レベル」（140～160dB：魚が驚いて深みに潜るか、音源から遠ざかる反応を示す）までの減衰距離は5.0m程度と短いこと、風力発電機から約25m以遠では「誘致レベル」（110～130dB；魚にとっては快適な音の強さ）の範囲内に収まることが考えられ、魚類等へ及ぼす影響は小さいものと考えております。 「風力発電施設から発生する騒音等への対応について」（平成28年11月版）によれば、これまでに得られた知見として、「頭痛、耳鳴り等の健康影響については、風車騒音との統計的に有意な関係を示す知見は確認できなかった」とされております。

5481	自然環境、漁場の喪失　低周波音などの騒音や、健康被害、居住環境の破壊がある為	「風力発電施設から発生する騒音等への対応について」（平成28年11月版）によれば、これまでに得られた知見として、「頭痛、耳鳴り等の健康影響については、風車騒音との統計的に有意な関係を示す知見は確認できなかった」とされております。環境への影響については、事業実施前の環境調査結果を踏まえて、予測、評価を行い、環境保全措置を講じることで、自然環境への影響を可能な限り回避・低減するよう努めております。 漁場喪失の懸念として魚類への影響が考えられますが、事業の実施による水の濁りについては、濁りの範囲は限定的であること、底質の変化については、有害物質等の影響は小さいこと、地形改変については風車タワーの設置範囲の縮小化、設置基数の削減により改変範囲を可能な限り狭くしたこと、水中騒音については、威嚇レベルの範囲が限定的であることから、漁業への影響は小さいと考えております。 平成22年の環境省が実施したアンケート調査結果（全国の風力発電事業者のうち186事業者、40都道府県から回答）によれば、継続している「苦情」は、風車から1,020mまでとなっています。本事業の風力発電施設から最も近い民家まで1,500mという距離は騒音の影響を低減するための十分な距離と考えております。また、景観については、配置は規則性に配慮し、色彩については周辺の景観との調和に配慮するなどの環境保全措置を講じることにより、実行可能な範囲で影響を低減するよう努めます。したがって、本事業が地域の資産価値を低下させる直接的な原因とは結びつかないものと考えております。今後も環境影響へのご懸念については、地域の皆様にも理解を頂けるよう正確な情報を発信してまいります。
5482	（仮称）「安岡沖洋上風力発電事業」に対し環境保全の見地から、以下に反対理由を述べる。 1.住民の同意が得られていない―既に93,374筆の反対があがっていること 2.響灘の自然環境の破壊と漁場等の喪失―建設計画区域はアワビ、タコ、鰆の好漁場で着工により区域内の漁業が不可能となり　漁業関係者は失業を余儀なくされること。 又、工事により生じた土砂などで、周辺海域の環境を悪化させること。 3.低周波音等による健康障害をひき起こすこと―周辺には病院、学校等、公共施設が多々存在し、患者、学童ら関係者の健康維持を妨害するおそれが大であること。 4.一般居住環境を破壊させること―風車設置距離があまりにも近すぎ、一般民家住民の居住環境を著しく悪化させる。（例え、風車からの距離があったとしても、洋上建設事体を廃止してほしい！） 以上、1～4に加え、下関市議会、山口県病院協会、山口県保健医協会、山口県漁協ひびき支店、山口県宅建協会下関支部の既に反対意見を表明ずみであることを付記致します。	
5483	住民の同意が得られていない、自然環境・漁場等の喪失、低周波音等による健康障害が危惧される中での洋上風力発電事業を進める事には反対致します。	
5484	風力発電は健康被害（低周波、超微振動等）が報告されている 豊かな自然環境を破壊します、安岡の漁民は漁場を失います 資産価値も減少します 上記等の理由で反対します	
5485	病院との距離が近く低周波音の健康障害があると思われるので、反対します。又、居住環境悪くなり資産価値が下がるので反対します。	
5486	反対します。 低周波の影響が心配です。山中にある風力発電のまわりでは、動物が逃げ出したと聞きました。動物も逃げ出す様な風力発電を建てても大丈夫ですか？そのうえ、日本海は風が強く、もし故障でもしたら、修理は大変で、海上のゴミになりませんか！補修工事なども大変だと思います。それでも建設しなければならないのなら、体に影響のすくない様に10km沖にして下さい。地元で生活する市民のこと考えて下さい！！	本事業は、洋上風力発電事業（洋上着床式）といった事業の特性上、海域に設置される特徴を有しております。したがって、建設工事、施設の稼働等については海域が主体となりますので、山中への直接改変は行いませんので、山中の動物への生息環境を悪化させるものではないものと考えております。 風車の故障・事故の要因としても主なものは落雷等の自然災害によるものですが、下関安岡沖では落雷が少ない地域であることに加え、レセプター（避雷針）の改善や、落雷時の対策等も図られており、事故の予防に努めております。 平成22年の環境省が実施したアンケート調査結果（全国の風力発電事業者のうち186事業者、40都道府県から回答）によれば、継続している「苦情」は、風車から1,020mまでとなっています。その後の調査研究結果を考慮しても本事業の風力発電施設から最も近い民家まで1,500mという距離は騒音・低周波音の影響を低減するための十分な距離と考えております。
5487	海洋生物の生態系への悪影響 風力発電の運転音、低周波による不快感など	発電所アセス省令では、環境要素の区分として「生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素」として、動物、植物、生態系が挙げられております。本事業においてもこれらの動物、植物等の項目を対象に予測及び評価を実施し、これらに対して実行可能な範囲で影響の回避・低減に努めております。 「風力発電施設から発生する騒音等への対応について」（平成28年11月版）によれば、これまでに得られた知見として、20Hz以下の超低周波音領域は、すべて知覚閾値を下回っているため、「風車騒音は、20Hz以下の超低周波音の問題ではなく、通常可聴周波数範囲の騒音の問題としてとらえるべきものであり、A特性音圧レベルでの評価を基本とすることが適当である。」とされております。また、同資料では20Hz以下の音を「超低周波音」とし、それ以外の音（周波数が20～100Hzまでの音を含む）を「騒音」と区別した上で、「頭痛、耳鳴り等の健康影響については、風車騒音との統計的に有意な関係を示す知見は確認できなかった」とされております。
5488	風力発電を作ることにより、漁業環境破壊などが出る恐れがあります。漁業を営んでる方には多大な被害影響が出ると思います。 低周波により、人間だけでなく、生態系にも被害が出るため反対します。	

5489	４．　風車の騒音、低周波音の影響 ⑤ 「風車騒音に関するこれまでの知見と評価の考え方（案）」では、風車から発生する低周波音は、すべて人間の知覚閾値を下回っているとする。低周波症候群（風車病）の発症が、知覚閾値と深い関わりがあるのなら、これですべての苦情を門前払いできそうである。だが事態はそう単純ではない。知覚閾値を下回る低周波音レベルでありながら、発症して苦痛（苦情）を訴える人々の多くあることが過去の研究で明らかになっている。この人たちは永久に救われないことになる。知覚できないものには何の生理作用もない、との思い込みは技術者の浅慮である。相手は部分ではなく、まるごとの人間だ。ＣＤの音域設定でもかつて同様な過ちを犯した。閾値にこだわり続けたことが、低周波症候群の解明を妨げ遅らせてしまった。たとえどんなに 微弱であろうと、低周波音の存在そのものが原因なのだ。聞こえる、聞こえないが問題なのではない。 閾値を決める実験は短時間で終わるが、風車音の暴露は長期間続く。弱い刺激であっても、持続によって感覚が鋭敏化することがあるようだ。低周波でも数ヶ月、数年の潜伏期間を経て発病した例が報告されている。この点ではアレルギー反応と共通する。誰もが風車音の被害者になりうるのだ。 閾値の測定実験には純音が使用されるが、風車からの低周波、とくにウインドファームにあっては、複合・干渉・変調などによって波形が複雑に変化し、自然界の音とはその生理作用が大きく異なることが考慮されなくてはならない。人も動物も長い長い時をかけて自然音に順応した聴覚器官をもつにいたった。新参の異質な人工音と自然音は区別されなくてはならない。 ⑦ 逆転層について 逆転層の成因については放射冷却のみが取り上げられているが、それ以外にも種々の型がある。当地下関における逆転層生成の実態について調査されたことがおありだろうか（たとえば下関気象台に照会するなど）。逆転層の生成は、地形や気象など環境条件に複雑に依存して単純ではない。海では放射冷却は起こりにくいとしているが、この夏は早朝に船の汽笛が驚くほど近く大きく聞こえたことがしばしばあった。音源がどこだかも分からない。風車が大洋のど真ん中にあるなら別として、本件のように陸地のきわめて近くに風車ができるとなれば、低周波のみならず、一般騒音源としても大いに考えざるをえない。 その他 青森県津軽半島の龍飛崎には現在４　基の風車が稼働中である。一時は20基あったと聞いている。撤去された理由をご存じならば、本件との関連を含めてお尋ねしたい。またほかに建設→ 撤去の例があれば、合わせてお聞かせ願いたい。 以上	「風力発電施設から発生する騒音等への対応について」（平成28年11月版）によれば、「一般的に騒音による影響には、聴力損失への影響（聴力影響）、会話を妨害される影響（会話影響）、睡眠を妨げられる影響（睡眠影響）、不快感/わずらわしさ（アノイアンス）等がある。風車騒音による影響については、風車騒音のレベルとわずらわしさ（アノイアンス）を感じる程度の間には統計的に有意な関連が複数の論文で報告されている。また、睡眠影響については、風車騒音のレベルとの直接的な関係性、またはわずらわしさ（アノイアンス）の程度が上がる結果としての間接的な関係性がある可能性を示唆する知見が報告されている。ただし、睡眠影響との関連の科学的根拠は現段階ではわずらわしさ（アノイアンス）に関するものよりも限定的である。一方、聴力影響、頭痛、耳鳴り、糖尿病、高血圧、循環器疾患等の健康影響については、統計的に有意な根拠は認められていない。以上の知見により、風車騒音は、わずらわしさ（アノイアンス）に伴う睡眠影響を生じる可能性はあるものの、人の健康に直接的に影響を及ぼす可能性は低いと考えられる。」と報告されています。この様な知見も考慮して、「評価の目安となる値：残留騒音＋5dB」が提案されています。本事業では、環境省が提案している、「評価の目安となる値：残留騒音＋5dB」に収まっていることが確認されており、人の健康に直接的に影響を及ぼす可能性は低いと考えております。 逆転層については、沈降性逆転及び前線性逆転の事例があると認識しておりますが、発生する高度の違いにより風車音の伝搬に対する影響は小さいと考えております。青森県やその他の風力発電事業の撤去事例等は解かりかねます。
5490	②逆転層について、夏でもあらわれるから、工事中だとしたら、騒音・排気ガスで大変なことになる	
5491	現時点で、風力発電建設反対の署名が、97,374筆に達しています。 また、下関市議会の「安岡沖洋上風力発電事業の反対に対する請願」の決議や地元漁民、地元自治会、医療機関等の各職域から下関市長宛てに建設反対陳情書を逐次提されています。建設反対は、地元民の総意となり、同意は全く得られていない状況にあります。建設予定地では、渡り鳥が通る可能性があり、風車で鳥が引っかかり、海に落ちる可能性があり、それにより被害が出る可能性があります。近くに病院があり、低周波音により、健康被害がうまれ、病気に影響が出る可能性も考えられます。低周波音による健康被害の問題は、国内外で報告されており、国による調査・研究が進められていますが、明確な結論は出ておりません。風力発電が出きたことにより、引っ越しをしたという事例も聞きます。このようなことより、風力発電の建設に反対いたします。	「風力発電施設から発生する騒音等への対応について」（平成28年11月版）によれば、これまでに得られた知見として、「頭痛、耳鳴り等の健康影響については、風車騒音との統計的に有意な関係を示す知見は確認できなかった」とされております。 鳥類への影響については、専門家のご意見を踏まえて、方法書段階より調査頻度を増やしており、これらの調査結果を踏まえ、影響を適切に予測及び評価を実施し、鳥類に対して実行可能な範囲で影響の回避・低減に努めております。今後も環境影響へのご懸念については、地域の皆様にも理解を頂けるよう正確な情報を発信してまいります。

5492	私の父の山に風車が建っておりますが、5km範囲でも慣れない私には耳鳴りがしたり、夜間の睡眠の妨げになっております。又、鹿やイノシシ等の動物も風の強い日には動きが多い様に思います。 人間に対しての被害と動物や農作物への影響も考えられますので、再度検討して頂きたいと思います。	本事業は、洋上風力発電事業（洋上着床式）といった事業の特性上、海域に設置される特徴を有しております。したがって、建設工事、施設の稼働等については海域が主体となりますので、陸上への環境影響を低減する面で優れていると考えております。また、平成22年の環境省が実施したアンケート調査結果（全国の風力発電事業者のうち186事業者、40都道府県から回答）によれば、継続している「苦情」は、風車から1,020mまでとなっています。その後の調査研究結果を含めて、本事業の風力発電施設から最も近い民家まで1,500mという距離は騒音の影響を低減するための十分な距離と考えております。
5493	洋上風力発電には反対します 近海では四季の変化により、風向風力供に変化が時に強風にさらされる事もあり、風力発電には不向きであると思います。 又、渡り鳥等の衝突も考えられます。 よって自然による発電を考えるのならば潮流発電をされてはいかがでしょうか。	風況に関しては、村崎の鼻にポールを設置して、1年間の観測を行っており、風力発電事業を行うにあたり十分な風力資源となることを確認しております。 渡り鳥については、渡り時期に事業実施区域を通過する種のうち、資料調査等で影響が懸念されたのはハチクマ、サシバといった猛禽類でした。しかし、現地調査の結果、これらの鳥類については事業実施区域周辺では風車より高い高度（周辺の山と比較して400m以上と考えられる）を飛翔する事が確認されたため、事業実施の影響は小さいと考えております。多くの鳥類は陸域に近い場所で確認されており、風車設置エリアでの飛翔は相対的に少ないことが現地調査で確認出来ました。飛翔ルートのほか、その空間の利用密度にも着目して予測しております。準備書に記載した環境保全措置により、影響を低減できると考えています。
5494	風速によって発電量が影響 落雷による故障 地震で発電停止することもある 鳥が巻き込まれたり 近隣に騒音があり色々とリスクも多く海岸に建設されるのは大変残念です	
5495	低周波等で新鮮な魚も取れなくなるし、小動物等にも影響があり、農作物にも被害があります。 自然環境が破壊されることは人間の生活にも悪影響です 絶対に反対です	発電所アセス省令では、環境要素の区分として「生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素」として、動物、植物、生態系が挙げられております。本事業においてもこれらの動物、植物等の項目を対象に予測及び評価を実施し、これらに対して実行可能な範囲で影響の回避・低減に努めております。
5496	騒音・低周波・振動が問題になり、夜に眠れなくなり眠れない事でストレスがたまり、体調不良をおこす。 鳥類が風車に激突して死亡したり、人工島を作る事でその海域の生態系に異常をきたす可能性がある。	「風力発電施設から発生する騒音等への対応について」（平成28年11月版）によれば、これまでに得られた知見として、20Hz以下の超低周波音領域は、すべて知覚閾値を下回っているため、「風車騒音は、20Hz以下の超低周波音の問題ではなく、通常可聴周波数範囲の騒音の問題としてとらえるべきものであり、A特性音圧レベルでの評価を基本とすることが適当である。」とされております。また、同資料では20Hz以下の音を「超低周波音」とし、それ以外の音（周波数が20～100Hzまでの音を含む）を「騒音」と区別した上で、「頭痛、耳鳴り等の健康影響については、風車騒音との統計的に有意な関係を示す知見は確認できなかった」との考え方が示されており、風車騒音による健康影響については無いものと考えております。 鳥類への影響については、専門家のご意見を踏まえて、方法書段階より調査頻度を増やしております。多くの鳥類は陸域に近い場所で確認されており、風車設置エリアでの飛翔は相対的に少ないことが現地調査で確認出来ました。飛翔ルートのほか、その空間の利用密度にも着目して予測しております。準備書に記載した環境保全措置により、影響を低減できると考えています。なお、本事業において人工島の建設は全く予定しておりません。
5497	自分は生まれた時から、この地区に育ち、多くの海産物の恵みを受けていました。今予定されている建設地には、このあたりの魚たちの産卵場となり、また、さざえ、あわびなどの生息地のなっています。それらが失われるのではと、心配しています。 今、下関市内には、人工島が作られ、工業用地として整備されています。道路等も、完成されており　地上のこちらではだめなので海の上に建設しなくてはならないのだろうかと疑問に思います。素人判断ではありますが、低周波等の心配がないのならば、人工島も視野に入れて欲しいと思ってしまいます。低周波の不安があるのならば、こちらの沖も、近いので、自分は、建設をして欲しくはありません。　等々風力発電建設について、再考をよろしくお願い致します。	漁場喪失の懸念として魚類（魚介類）への影響が考えられますが、事業の実施による水の濁りについては、濁りの範囲は限定的であること、底質の変化については、有害物質等の影響は小さいこと、地形改変については風車タワーの設置範囲の縮小化、設置基数の削減により改変範囲を可能な限り狭くしたこと、水中騒音については、威嚇レベルの範囲が限定的であることから、魚類・漁場への影響は小さいと考えております。 「風力発電施設から発生する騒音等への対応について」（平成28年11月版）など、これまでに得られた知見を参照とし、沖合に建設することで環境への影響を回避・低減出来ているものと考えております。人工島での建設は検討しておりません。

5498	前田建設による安岡沖洋上風力発電建設に「反対」である。その主な理由は以下のとおりである。 （１）本風力発電建設は近隣の住民が最も懸念している「低周波による健康被害」についてまともに回答していない。極めて近くに（住宅地に最短１・５キロ）、国内最大規模（１基出力４，０００ＫＷを１５基建設）の洋上風力発電計画である。多くの医療関係者、日本弁護士連合会等はその危険性を指摘している。一方、前田建設はその危険性を否定している。私は、危険性を指摘する主張を信用する。もし建設後、実害が発生した場合、その対応に膨大な時間と費用がかかり原状回復は不可能となってしまう。下関市でも建設予定現場から離れた人は他人事と思っている。極めて近いから強く反対しているのである。 （２）「漁場の喪失」本風力発電建設により、好漁場である本建設予定海域に回復不能の損害を与え、漁師の漁業行使権が侵害されてしまうため、現在漁師は漁場を守るため工事差止めの裁判を提起している。私はこの漁師の行動を支持する。	「風力発電施設から発生する騒音等への対応について」（平成28年11月版）によれば、これまでに得られた知見として、20Hz以下の超低周波音領域は、すべて知覚閾値を下回っているため、「風車騒音は、20Hz以下の超低周波音の問題ではなく、通常可聴周波数範囲の騒音の問題としてとらえるべきものであり、A特性音圧レベルでの評価を基本とすることが適当である。」とされております。また、同資料では20Hz以下の音を「超低周波音」とし、それ以外の音（周波数が20～100Hzまでの音を含む）を「騒音」と区別した上で、「頭痛、耳鳴り等の健康影響については、風車騒音との統計的に有意な関係を示す知見は確認できなかった」との考え方が示されており、風車騒音による健康影響については無いものと考えております。 風車基礎周辺に魚礁を設置する事により、豊かな漁場が生まれるとの理由で、山口県漁業協同組合関係者は下関市長に事業推進の要望書を提出しております。推進要望を提出し、かつ漁業補償契約を締結している県漁協の方々と具体的な振興策について話し合い、本事業を通じて漁業振興に貢献したいと考えております。
5499	それから風車設置の水深は15メートルぐらいあるみたいですが3、4年前ボーリングしたということになっているのですが。その写真がありましたが。そういう15年前ぐらいの漁船で見えるものでしょうか。	ボーリング調査は事業計画海域内で代表調査地点を決め、平成24年に実施しております。
5500	⑥3年か4年前の第1回の環境影響評価準備書には、ボーリング調査を名打って、工事用建設パイプで四角く組み立てて、ブルーシートで囲った洋上基地がはるか竜王山を望む海域（風発建設予定地）に作られていて、ボーリング調査をしたことになっていたはずが、これには疑義があります。 １、あのブルーシートのヤグラの写真はインチキではないかということ ２、あのころ漁師と話をしたら、「あんたどこで見た？」と聞くのです。ということは、漁師仲間全員がそれを見ていないと思われます。 ３、ところが自分は、山口国体の直前に吉見の七曲りの国道から、手がすぐに届く浅瀬で見たのでした。国道の拡幅の調査かなとその時は思ったので、よく覚えているのです。 ４、それに台船も無く、クレーンもなく、ここいらの小さな漁船数隻4～5mばかりの建築工事用パイプを水深10～15mに波にゆられながら設置出来ますか？	
5501	風力発電事業を行う事には反対ではないが、生態系、環境等にどれくらい影響が出るのかが不安である。当然調査を行った上で設置場所の計画がなされているのだろうが、想定外の影響が出るケースがあるかもしれない。 現状の計画より、もう2km沖合に設置することは出来ないのであろうか。それが可能ならば、陸上での影響はほぼ出ないだろうし、近隣住民の不安も少なくなるのではないか。	平成27年12月実施の地方公共団体における風車騒音に対処するための環境影響評価条例やガイドライン等の実態調査によれば、住宅地域からのセットバック距離の規制については、騒音及びシャドウフリッカー等の影響を考慮して設定されている国や地方があることが報告されております。法的に規制しているものと推奨値として定めているものとがあります。これらの値は概ね500m～1,000mの値となっており、スコットランドで2,000mという距離がありますが、数10kmという規定・推奨値を確認することは出来ませんでした。また、日本の地方公共団体においても条例でセットバック距離を定めているものがありますが、風車の高さを基準としているものが多く、距離にすると概ね500～600mとなっています（出典；風力発電施設から発生する騒音等の評価手法に関する検討会(平成28年5月24日、平成28年度第1回（第7回）、環境省）の資料２）。 本事業では、方法書段階では、風力発電機から最も近い民家までの距離は約760mでしたが、準備書段階では約1,500mとなるように変更しております。これらの距離と比較しても十分に離隔した距離となっているものと考えております。平成22年の環境省が実施したアンケート調査結果（全国の風力発電事業者のうち186事業者、40都道府県から回答）によれば、継続している「苦情」は、風車から1,020mまでとなっています。その後の調査研究結果を考慮しても本事業の風力発電施設から最も近い民家まで1,500mという距離は騒音・低周波音の影響を低減するための十分な距離と考えております。風車の陸からの距離や配置は、環境影響評価結果を踏まえて計画いたします。
5502	風力発電設備について、反対致します。 海の生き物の居場所をなくす感じもありますし、 頭痛などの健康被害が出ると聞いたこともあり、 生物や人体に影響を及ぼす可能性があるので、 近距離での風力発電には反対です。	
5503	風力発電に反対してる訳ではなく、住宅地より1.5kmという近距離に建設することにより、健康被害と環境被害、長年安岡に住んでいる方と供に反対します。 建設場所を考えて！！	
5504	反対します １、健康に不安がある ２、すぐ近くにたつから	
5505	ぼくはこのちかくにすんでいます。 けんこうですごしたいのでけんせつには、はんたいです。	

5506	今現在安岡地区に住んでおります　これからもこの街でくらして行こうと思い家を購入したのに、安岡沖洋上風力発電で資産価値の減少や健康被害など色々な問題がおきてくるのがわかってて同意することは絶対出来ません。 風力発電に関して反対する訳ではありません。 再度、場所を変更してもらえたら幸いです。	同　　上
5507	原発問題を考えたとき、風力発電は必要不可欠だと思われるが　健康に害があると言われる距離で建設するのは反対である	
5508	住民に対する十分な周知、同意のないまま建設することを前提にして物事が進められているのではないか。 健康被害、自然環境・漁場等の喪失が多大に危惧されていることに明確な回答がされていない。	「風力発電施設から発生する騒音等への対応について」（平成28年11月版）によれば、これまでに得られた知見として、「頭痛、耳鳴り等の健康影響については、風車騒音との統計的に有意な関係を示す知見は確認できなかった」とされております。 環境への影響については、事業実施前の環境調査結果を踏まえて、予測、評価を行い、環境保全措置を講じることで、自然環境への影響を可能な限り回避・低減するよう努めております。今後も環境影響へのご懸念については、地域の皆様にも理解を頂けるよう正確な情報を発信してまいります。
5509	私は30年以上も環境の良いこの場所に住んでいますが風力発電が建つ事により風評被害や人体被害を心配しています。私の周囲にはのどかな田園風景で下関特産のネギや色々な野菜を農家の方々が一生懸命作っています。病院もたくさん建っています。風力発電が建つ事により人体、農作物等、様々な被害がない様にまず住民の意見を無視せず決められたルールを守って頂きたいと思います	
5510	・美しい景観を損なう ・健康被害が出る可能性がある ・騒音の可能性がある できてから症状等が出てからでは遅いので、絶対に反対です。	「風力発電施設から発生する騒音等への対応について」（平成28年11月版）によれば、これまでに得られた知見として、「頭痛、耳鳴り等の健康影響については、風車騒音との統計的に有意な関係を示す知見は確認できなかった」とされております。騒音について、本事業では、環境省が提案した目安の値を基に評価も行っており、「評価の目安となる値：残留騒音＋5dB」に収まっていることが確認されています。 景観について、配置は規則性に配慮し、色彩については周辺の景観との調和に配慮するなどの環境保全措置を講じることにより、実行可能な範囲で影響を低減するよう努めます。
5511	健康への影響が気になる。目に見える物でもない為、障害が出るのに時間もかかると思う。そんな心配をしながら暮らしたくはない。 又、工事等で海が汚れると思う。海水浴場もあるので汚さないでほしい。	「風力発電施設から発生する騒音等への対応について」（平成28年11月版）によれば、これまでに得られた知見として、「頭痛、耳鳴り等の健康影響については、風車騒音との統計的に有意な関係を示す知見は確認できなかった」とされております。 工事中の濁りの拡散範囲(海域における人為的に加えられる懸濁物質の基準(水産用水基準(2012年版))である2.0mg/L)は、施設の東側に位置する浅場（水深6.0m以浅）に及ばないと確認できております。さらに、施工時に汚濁防止枠による濁り拡散の低減を図るなど、適切な環境保全措置を講じることにより、実行可能な範囲で影響の低減が図られているものと考えております。
5512	今、問題になっている民家から風車の距離が人体に悪影響をあたえると医学的に立証されているのにかかわらず建設側の利益、利権ばかり優先させないで今、生きている人々の事を考えて欲しい。 人間は健康で精神の安定で有意義な生活を日々送っています。 10km離れた場所であれば、このように問題は大きくなっていないのでは？ 中国電力だけでは、補なえほど電力が不足しているのですか？　もう少し時間をかけて反対してる人々に納得が出来るようにして欲しい！！	平成22年の環境省が実施したアンケート調査結果（全国の風力発電事業者のうち186事業者、40都道府県から回答）によれば、継続している「苦情」は、風車から1,020mまでとなっています。その後の調査研究結果を考慮しても本事業の風力発電施設から最も近い民家まで1,500mという距離は騒音・低周波音の影響を低減するための十分な距離と考えております。 電力の供給面、節電の必要性などの議論はあるかと理解しておりますが、現在の日本の主要なエネルギー源である石油・石炭などの化石燃料は、限りのある資源です。風力資源は枯渇しない為、化石燃料等に代わるクリーンなエネルギーとして、太陽光や太陽熱、水力、バイオマス、地熱とともに、導入・普及が促進されています。
5513	メリットがわかりません。 自分の働く地域に風力発電が建つことでの健康障害の問題が解決されていない。 風力発電が建設されることでの、自然環境の変化への対応は誰がどうとっていくのか。	地域の皆様のメリットとしては、税収の増加や工事等による雇用の創出等が考えられ、事業を通じて地域経済の発展及び活性化が期待されております。 「風力発電施設から発生する騒音等への対応について」（平成28年11月版）によれば、これまでに得られた知見として、「頭痛、耳鳴り等の健康影響については、風車騒音との統計的に有意な関係を示す知見は確認できなかった」とされております。 環境への影響については、事業実施前の環境調査結果を踏まえて、予測、評価を行い、環境保全措置を講じることで、自然環境への影響を可能な限り回避・低減するよう努めております。

5514	体調に悪い事は反対します 医者代を保証ナシ反対します	風力発電施設が原因で各種問題が発生し、損害との合理的な因果関係が明確となった場合には、必要に応じて専門家の指導・助言を踏まえて適切な対応を講じます。また、意見の総数、意見に対する事業者の見解も含めて、審査会等の資料として閲覧可能となります。
5515	低周波被害についての裁判結果を待たずして、このプロジェクトが進められる事に疑問を感じずにいられません。 数字の上では安全でも、何か実際人体に起こった時は一切責任は持ちませんというスタンスの企業に誰が賛同するでしょうか？ お金儲けが出来る前田さんからすると、数人の健康被害など、取るに足らない問題でしょうね。 この意見書も、ファイリングして形式上で終わりでしょうか？？ 田舎者の住人をあまり蔑ろにせず、誠実な対応をみせて下さいね。	
5516	《風力発電建設に絶対反対します》 ・理由①私の家は発電機より1.5km以内にあり低周波による健康被害が計り知れないこと。（最低15km離れている必要がある ・理由②前田建設の考え方は漁業者には補償金及び迷惑料を払えば良い一方地域住民の感情は無視で最終的には市長を『うん』と云わせれば良いという考えが見え見えである。 （低周波の健康被害については地元の医者が言っているように大なり小なり必ずあり、これに対する補償はない⇒『因果関係がはっきりせず』と一蹴）	
5517	反対　低周波被害が解決さえれていない。近隣住民は風力発電を建設することでメリットは無い。健康被害に対する保証もない。	
5518	風力発電は環境保全やエネルギー資源節約にとって負の面が大きすぎる凶器ではと思います。化石燃料の無駄遣いと自然破壊・健康被害が多きいと思います	風力資源は、枯渇しない為、化石燃料等に代わるクリーンなエネルギーとして、太陽光や太陽熱、水力、バイオマス、地熱とともに、導入・普及が促進されています。風の力を利用した発電は、地球温暖化の原因となる温室効果ガスを排出せずに電気を作れることから、環境に優しい発電方法と言われています。
5519	風力の発電量は風がない時は、発電できず、電力需要量に応じた供給が不可能、風速に応じて変動する為、周波数や電圧に変動がある、寿命も17年ぐらい、洋上にあるためメンテナンスがじずらい。安岡地域は普段も台風並みの強風があり、破損しやすいのでは、又、健康体の人も低周波被害がでており、高齢者が入院する施設が半径2km以内にあり、建設時海が汚染し、魚、貝類に被害があるため建設に反対します。	風況に関しては、村崎の鼻にポールを設置して、1年間の観測を行っており、風力発電事業を行うにあたり十分な風力資源となることを確認しております。洋上の場合のメンテナスは、陸上と比較して荒天等によるアクセス性に課題はありますが、海外では多くの実績もあり、計画的に実施してまいります。風に関しては、土木学会の風力発電施設支持物構造設計指針および建築基準法に従って設計いたします。風車の耐風性能は、10分平均で風速50m/ｓ、瞬間風速70m/ｓ～80m/ｓで、通常の日本に来る台風については十分耐えうるものとして設計いたします。 低周波被害、水質、魚類については、環境影響評価の項目としており、事業実施前の環境調査結果を踏まえて、予測、評価を行い、環境保全措置を講じることで、環境への影響を可能な限り回避・低減するよう努めております。
5520	多額の建設費用に対して、安定した発電量が得られるとは考えられません。 また健康被害が伝えられています。少しでもその可能性があるようなものを建設するというのは、誰のための発電所ですか？と考えると、建設すべきではないと強く思います。	
5521	風力発電は温室効果ガス削減、原発等と比較した安全性から、注目されているかも知れません。ただ、低周波音による健康被害が指摘されております。また、発電を充分にするには強い風が吹き続けなければならない等の条件があると思います。諸外国のように健康被害に問題のない陸地から離れた所に建てるのならば別ですが、健康面、発電効率の面から建設に反対します。	
5522	二酸化炭素の排出量が少ないのは、いいと思うが、出力が気候に変動されるのが気になる。	風力発電についてはご意見の通りの課題は有りますが、そのデメリットよりも温室効果ガスを排出しない発電方法は有効と考えております。風車は平均風速25m/s以上の強風時は、風車の回転を止めて風の力を逃がし、発電を停止します。
5523	原発にたよらないエネルギーとして自然エネルギーは必要と思うが、風力は強風では発電しないと聞いている。安岡沖の海上には強風と思われるし、風を切る音が人間には害を及ぼすかもしれない。環境面をもう少し慎重に調査の必要があるのではと思う。	
5524	①風力発電の主柱に、プレジャーボードなどが衝突したときの対策をしてほしい ②風力発電所が出来た時に、海図には明記されるのですか。 ③100%の賛成はあり得ません。今日の発言は反対の為の発言であって、全く意味がない。多少の反対があっても事業は進めるべきです。 ④低周波による被害は実際におきていますか。これは詳しく発表出来ればいいですが。 ⑤耐震は、どうなのか知りたいです ⑥漁場は工事終了後、３年後くらいから回復します。これは私の経験からです。 以上	船舶の衝突を回避するために周辺に目印となる浮標を配置します。風力発電所などの建設物ができた場合は海図に記載されるものと理解しております。低周波については先述しているとおりです。風力発電施設に対する安全性に関しては、東日本大震災クラスの地震も考慮し、最新の手法を使って行うよう指導されております。

5525	当地背地は下関の北部地域に位置しています。 急速にベッドタウンとして発展した地域であり、事業計画の説明も十分にされないまま、計画が進んでいる事に対して、住民の意思が尊重されていない事に対して反対したいと思います。	環境影響評価の途中経過、事業計画について、下関市環境審議会（公開型）や説明会で説明を行い、ホームページで情報公開してきた他、タウン誌への折り込み広告（市内全域約10万3千世帯）等で事業に関する情報をお届けしました。広報の方法については、今後も検討し情報発信を継続したいと考えております。
5526	逆転層のことも専門家が綾羅木に住んでいて学べた。副知事に会った時、低周波はあまり影響はないと聞いている、と言われ、本当にそう思っているのか、と言った。本当にいいものであるというなら、もっと正確な情報を住民に出して説明してください。	
5527	①国外からも時代の流れとしても自然エネルギーの活用は求められていると思います。しかし必ずしもそれを押し進める地域住民の理解が得られるとは言いがたい面があります。市民のレベルにあわせた丁寧な説明は必要と思われます。	
5528	当院の後背地は、下関市の北部地域に位置しており居住環境が良いため近年急速にベッドタウンとして発展した地域であります。事業計画が発表されることで低周波音・超低周波音による健康障害が生じ地域住民の転居や不動産売買の取引がストップすることで1,252億円もの土地資産の下落となり、地域衰退の要因になると思われます。	平成22年の環境省が実施したアンケート調査結果（全国の風力発電事業者のうち186事業者、40都道府県から回答）によれば、継続している「苦情」は、風車から1,020mまでとなっています。本事業の風力発電施設から最も近い民家まで1,500mという距離は騒音の影響を低減するための十分な距離と考えております。また、景観については、配置は規則性に配慮し、色彩については周辺の景観との調和に配慮するなどの環境保全措置を講じることにより、実行可能な範囲で影響を低減するよう努めます。したがって、本事業が地域の資産価値を低下させる直接的な原因とは結びつかないものと考えております。一方で、本事業における経済的な効果、地域の活性化にも期待されている側面について、その一助となるよう事業を推進してまいります。
5529	近隣の民家や病院関係者への健康障害の被害を考慮すると不安感が募る。現在の居住環境の崩壊で、住民の地域離れが加速し、近隣地域の過疎化も考えられる。 安心して毎日を過ごすことができている現在の環境を維持して、更には発展させていく働きをすべきだと思っている。	
5530	豊北町・周南の地方にも山中に風力発電が出来ております、当初はとても良い事の如く言われて居りましたが建設されてよりこれが生物にとって有害である事が当初の代表者の意見からも伺えました、安岡では６萬Ｖという強力な発電から静電気による公害が広く懸念されております。広く生物学者の意見も聞きましたが人間にとっても脳神経がおかされます、過疎化が進む下関に於て環境を絶対に悪くしてはなりません、健康障害が出た場合（耳鳴、不眠症等々）前田建設はそれらの保障は確約出来ますか、約束出来ますか！　私達は下関市民の生活環境を守ることに一生懸命なのです。	本事業は、洋上風力発電事業（洋上着床式）といった事業の特性上、海域に設置される特徴を有しております。陸上における風車騒音・低周波音等の問題が低減できるものとして、国の政策においても推進されている方法であると理解しております。 「風力発電施設から発生する騒音等への対応について」（平成28年11月版）によれば、これまでに得られた知見として、「頭痛、耳鳴り等の健康影響については、風車騒音との統計的に有意な関係を示す知見は確認できなかった」とされております。 風力発電施設が原因で各種問題が発生し、損害との合理的な因果関係が明確となった場合には、必要に応じて専門家の指導・助言を踏まえて適切な対応を講じます。
5531	自然エネルギー利用は大変良い事ですが、それ以前に環境破壊してまで、風力発電が必要であるのか？ 失う物が大きいと思われます 自然を大切に　一度失った物は元には戻りません 特に砂浜などは、次世代に残したいと思います 私は反対します	環境への影響については、事業実施前の環境調査結果を踏まえて、予測、評価を行い、環境保全措置を講じることで、自然環境への影響を可能な限り回避・低減するよう努めております。工事を実施する場合には、安全対策を関係機関と協議し、確実に実施いたします。静かな町に歓迎しない騒しさが発生するとの意見の一方で、本事業における経済的な効果、地域の活性化にも期待されている側面もあります。引き続き、地域の皆様のご理解・ご協力を頂きながら、地域への貢献を目指してまいります。
5532	環境保全の見地からの意見ということでは、良く分からないが、今まで存在しなかったものが、（海底、海中に）新たに出来るわけだから、何らかの環境変化は生じることは避けられないと思う。 工事に着手すれば、往来する工事関係車両が増加し、完成後も人の出入りが増加する、静かな町に歓迎しない騒しさが発生する。横野地区は沖合施設に最も近い位置にあり人体への影響も少なからず生じる。経年し老朽化した施設が放置されないかと不安もある。クリーンエネルギーの必要性は感じるが、この町の沖合であって欲しくない。	
5533	風力発電は日本に合っていないと思います。土地のせまさから住宅街に近く健康被害も叫ばれ、ヨーロッパなどの他国ほど風量も得られず形骸化した風力発電施設も良く見ます。 デメリットほどメリットが得られるとは考えられず経費のみ膨らみ下関市の予算を圧迫するのではないかと思います。	風況に関しては、村崎の鼻にポールを設置して、1年間の観測を行っており、風力発電事業を行うにあたり十分な風力資源となることを確認しております。メンテナス費用および撤去費用などは、発電により得られる収入で運営します。公共事業とは異なりますので、公的資金が使われることはありません。また、事業の継続性や撤去の保証については、各種許認可（各官庁、金融機関、保険会社等）の手続きの段階で十分に審査されることとなります。

5534	以下は、環境省の風力発電施設の騒音への対応について(案)に対するパブリックコメントと環境省からの返答を３つ抜粋したものです。 http://www.env.go.jp/air/noise/wpg/04_publiccomment_kangaekata.pdf 参考にされ下記の■３つの質問に答えて下さい。 【意見】医学的な知見が不足していることを理由に対策を怠り、地域住民を実験台にするようなことはすべきでない。（同旨３件） 【環境省】睡眠影響との間にも一部の研究では関連があるとの結果が得られています。風車騒音の影響等については、今後も知見の集積を図ることとしており、新たに知見が得られた場合は、必要に応じて評価の方法等を見直していく予定です。 【意見】睡眠影響により健康に影響が出る可能性があるのではないか。（同旨８件） ・睡眠影響により生活習慣病を引き起こすと考えられることから、予防・対策のために厚生労働省の関与が必要である。 【環境省】ご意見のとおり、睡眠を妨げられる可能性があることは重大な影響だと考えており、今般の風車騒音に関する検討に当たっても、睡眠影響に関する知見も考慮して、目安となる値を提案しています。 【意見】中間とりまとめや本報告書（案）の公表は、事業者に便宜を 図るものではないのか。（同旨４件） ・報告書（案）の公表により、風力発電の導入低減を招くのではないか。（同旨２件） 【環境省】本報告書（案）は、風車騒音の調査、予測及び評価等において、風力発電施設の設置事業者、製造事業者、行政、地域住民等の関係者の参考となるよう取りまとめたものです。報告書（案）により、風車騒音の影響の低減が図られるとともに、関係者間のコミュニケーションが促進されることを期待しています。 ■私からの質問①： 睡眠不足は健康被害にもつながるものと考えられる。知見が得られていないからと言って、低周波振動で影響が出る人が出たららどのように、責任をとって頂けますか？ ■私からの質問②： 今、安岡に家を建築しています。説明会にて、副社長が健康被害が起きる可能性は考え難いと発言されましたが、万が一、健康被害に遭うことになり引っ越しを余儀なくされた場合、どのように生活の補てんをして頂けるのか？残っている住宅ローン払ってくれますか？ ■私からの質問③： 環境省は報告書（案）の数値は、関係者間のコミュニケーションを促進させ風車騒音の影響の低減が図る為の参考と位置付けている。知見が得られていないという文言も多々ある。環境省が出した数値以下だから良いといった考え方は間違いである。 健康被害が出た場合、環境省の報告書（案）の数値以下にしたまでと言って逃げますか？ それとも、事業主として住民に対して補償をしてくれますか？ 以上3点　住民が安心して暮らせる為にもお答えください。	「風力発電施設から発生する騒音等への対応について」（平成28年11月版）によれば、「一般的に騒音による影響には、聴力損失への影響（聴力影響）、会話を妨害される影響（会話影響）、睡眠を妨げられる影響（睡眠影響）、不快感/わずらわしさ（アノイアンス）等がある。風車騒音による影響については、風車騒音のレベルとわずらわしさ（アノイアンス）を感じる程度の間には統計的に有意な関連が複数の論文で報告されている。また、睡眠影響については、風車騒音のレベルとの直接的な関係性、またはわずらわしさ（アノイアンス）の程度が上がる結果としての間接的な関係性がある可能性を示唆する知見が報告されている。ただし、睡眠影響との関連の科学的根拠は現段階ではわずらわしさ（アノイアンス）に関するものよりも限定的である。一方、聴力影響、頭痛、耳鳴り、糖尿病、高血圧、循環器疾患等の健康影響については、統計的に有意な根拠は認められていない。以上の知見により、風車騒音は、わずらわしさ（アノイアンス）に伴う睡眠影響を生じる可能性はあるものの、人の健康に直接的に影響を及ぼす可能性は低いと考えられる。」と報告されています。この様な知見も考慮して、「評価の目安となる値：残留騒音＋5dB」が提案されています。本事業では、環境省が提案している、「評価の目安となる値：残留騒音＋5dB」に収まっていることが確認されており、人の健康に直接的に影響を及ぼす可能性は低いと考えております。 風力発電施設が原因で騒音・低周波音の被害が発生し、損害との合理的な因果関係が明確となった場合には、必要に応じて専門家の指導・助言を踏まえて適切な対応を講じます。
5535	安岡沖洋上風力発電建設に反対します。 そもそもいったい何の為、誰の為に建設しようとしているのですか。これだけ地元住民が反対しているのに無視して、押し進めようとしている姿勢が理解出来ません。企業の莫大な利益の為に何故住民が犠牲にならなくてはいけないのですか。 健康被害が出た時、全て保証するという覚悟はあるのですか。	地球温暖化防止のため、COP21等で日本も世界に、温室効果ガス排出量の削減を約束しております。また、山口県といたしましても、2020年までに22万キロワットまで風力発電事業を増やしたいと、公表をしています。この様な背景のもと、再生可能エネルギー事業の推進に貢献したいと考えております。一般的に、公共施設にはメリットとデメリットがありますが、デメリットに対しては影響を低減するとともに、メリットには付加価値をつけることによってより良い施設へと出来るものと考えております。本事業については、事業主として安定した運営のために、一定の利益を得ることは必要ですが、その中から、魚礁設置による豊かな漁場の創出、漁場、操業への悪影響はない等、事業推進の要望が出ている漁業振興への貢献も考えております。事業を通じて地域経済の発展及び活性化に資することで「産業力・観光力の増強」の面で貢献出来るものと考えております。地域の皆様からの信頼を得て理解をして頂けるよう、正確な情報を発信してまいります。
5536	・なぜ風力発電なのですか。風力でなくては駄目ですか。 ・地元の人が嫌がっていることをどうしてするのですか。 ・地元の理解なしには出来ないことです。 よくよく考えていただきたい。特にこの地域は若い人が多く、病院など多数あり、将来的なことを考えると建設は難しいのではないですか。	
5537	風力発電による地域へのメリット・デメリット色々と調べるとデメリットが多い様に考えております。海上風力発電については海洋への影響等が大きく建設については理由と安全性が確立するまで、開発は中止すべきと考えております。	

5538	貴社は、下関市安岡沖の洋上に国内最大級となる総出力６万キロワット（１基出力４千キロワット・１５基）の洋上風力発電事業を進めておられます。 その事業計画対象エリアは、下関市安岡地区住宅地から僅か１．５キロメートルの近さで建設され、５キロメートル以内の下関市安岡・川中・吉見・勝山地区等の市街地には７９，６００人の人口を擁するという、国内はもとより、海外でも例をみない非常識な立地条件となっております。 ちなみに、洋上風力発電発祥の地である欧州では、陸域より１０キロメートル以上離すのが一般的であります。 当法人の本部安岡拠点事業所は、実施区域より至近距離に位置し、現在の入院患者・施設入居数668人、職員数654人、合計1322人を擁する事業所であり、緩和ケア等の難病・末期の方の病棟、終の住み家等の施設を有しており、病室・居室等からの海への視界の開けた展望を勘案すれば、長期的療養施設として真に最適であり、この計画の無謀性が認識できます。 この度提出された「環境影響評価（アセスメント）準備書」は、事業者自身が作成した自画自賛の欠格アセスメントの内容、ただ手続きを踏んだ内容に過ぎず、更に、地元反対を押し切り、知事・市長・市議会の「地元了解」を無視した行為であり、疫学的な健康障害等の解明もされておらず納得できません。 当法人は、下記理由により今後の企業存亡に係る事業計画と判断して、地元住民と同一歩調の建設反対運動を展開して行く所存です。 貴社におかれましては、この様な地域住民の了解の得られない、地域貢献の出来ない状況をご賢察の上、社会的責任に基づいた早期の事業計画の中止をお願い致します。 １　住民の同意が得られていない 既に、建設反対署名は98,000筆に達しており、下関市議会の「安岡沖洋上風力発電事業の反対に関する請願」の決議を始め、下関市長宛ての建設反対陳情書は、地元漁民、地元自治会、医療機関等の各職域から逐次提出されて、建設反対は地元民の総意となり、同意は、全く得られていない状況にあります。 ２　自然環境・漁場等の喪失 当海岸の明媚な自然海岸に建設が進めば漂砂現象、海流の変化等により、磯物の漁場は失われ、海水浴場の砂は沖合に流れ海浜が消失する、渡り鳥の被害、また、市民自慢の夕陽は、風車によるシャドーフリッカーにより耐え難い風景に一変します。 ３　低周波音等による健康障害 近年、低周波音等の直接耳に聞き取りにくい、遠距離に届く振動「低周波音・超低周波音」による健康障害の問題点が、国内外での被害事例などにより浮上、国による調査・研究が進められておりますが、洋上での対応、疫学的な明確な結論も出ておりません。 また、日本弁護士連合会による新たな法規制の設定などの意見書も提出されております。 ４　居住環境の破壊、資産価値の減少、地域の衰退 当後背地は、下関市の北部地域に位置する、居住環境の良さから近年急速にベッドタウンとして発展した地域でありますが、事業計画が発表されるや否、当後背地での不動産売買の取引がストップ、若い人の転居などにより資産価値が減少する、山口県宅建協会下関支部の試算によれば1,252億円もの土地資産の下落が見込まれ、地域の衰退を招く事態となっております。	本事業においては、地域の皆様の反対があることも理解しております。方法書段階の当初計画では、風力発電機から最も近い民家までの距離は約760mであった事から健康影響への懸念や、景観的な圧迫感への懸念があったものと考えております。準備書段階では最も近い民家までの距離は約1,500mとなるように変更しました。最も近い民家までの距離を可能な限り離す事、及び候補の中で最も少ない基数とする事により、騒音や風車の影の影響の低減など、環境影響の程度を極力抑えることが出来る様、検討を行っております。 漁場喪失の懸念として魚類（魚介類）への影響が考えられますが、事業の実施による水の濁りについては、濁りの範囲は限定的であること、底質の変化については、有害物質等の影響は小さいこと、地形改変については風車タワーの設置範囲の縮小化、設置基数の削減により改変範囲を可能な限り狭くしたこと、水中騒音については、威嚇レベルの範囲が限定的であることから、魚類・漁場への影響は小さいと考えております。 「風力発電施設から発生する騒音等への対応について」（平成28年11月版）によれば、これまでに得られた知見として、「頭痛、耳鳴り等の健康影響については、風車騒音との統計的に有意な関係を示す知見は確認できなかった」とされております。 平成22年の環境省が実施したアンケート調査結果（全国の風力発電事業者のうち186事業者、40都道府県から回答）によれば、継続している「苦情」は、風車から1,020mまでとなっています。本事業の風力発電施設から最も近い民家まで1,500mという距離は騒音の影響を低減するための十分な距離と考えております。景観については、配置は規則性に配慮し、色彩については周辺の景観との調和に配慮するなどの環境保全措置を講じることにより、実行可能な範囲で影響を低減するよう努めます。したがって、本事業が地域の資産価値を低下させる直接的な原因とは結びつくものではなく、地域の衰退に影響を及ぼすようなものではないと考えております。一方で、本事業における経済的な効果、地域の活性化にも期待されている面について、その一助となるよう事業を推進してまいります。

5539	安岡沖洋上風力発電の建設に反対です。 海外で低周波音による健康障害がでているにも関わらず、明確な結論がでていません。 その為、地元から建設反対運動が起きています。 もしも、健康被害が無いのであれば、地元の反対等が起きるでしょうか？ 同様に海の生き物、空の生き物に関して多大な影響があると思います。 発電がエコロジーでも、環境破壊や地元住民に影響が出るものを建設して、本当にエコロジーでしょうか？ 自然を使った発電が自然を壊して良いのですか？ 他の風力発電でも、落雷等で修理にコストがかかり過ぎ壊れたままの無様な姿をさらしている記事を見ます。 景観等に関しても資料をホームページで見ましたが、巨大な廃棄物が海上に建っている姿が最終的な景観になる可能性はないのですか？ これを建てて本当にメリット・デメリットを真摯に公開し地元民の協力理解のもと建設されないのであれば、一部の人間のエゴでしかないと思います。 建設される方々に良心があると信じています。	「風力発電施設から発生する騒音等への対応について」（平成28年11月版）によれば、これまでに得られた知見として、「頭痛、耳鳴り等の健康影響については、風車騒音との統計的に有意な関係を示す知見は確認できなかった」とされております。 風況に関しては、村崎の鼻にポールを設置して、1年間の観測を行っており、風力発電事業を行うにあたり十分な風力資源となることを確認しております。風車の故障・事故の要因としても主なものは落雷等の自然災害によるものですが、下関安岡沖では落雷が少ない地域であることに加え、レセプター（避雷針）の改善や、落雷時の対策等も図られており、事故の予防に努めております。万が一事故が発生した際には、速やかに原因の分析と復旧を行います。
5540	風力発電のメリットもあると思いますが、安岡沖周辺には、数多くの住宅もあり、風車から低周波音や機械音が発生すると騒音の問題があると思います。 風の強弱を調節ができないので、安定性がないのではないのではないでしょうか？ 地震で発電停止することが多いとも言われており、現在、地震余震などは増えているので今後も心配する中、発電停止は十分困ります。	
5541	風の力で発電している為、風速により発電量に影響が出る事があり、風が弱ければ当然電量は落ち、また台風のような強い風では危険な為発電する事が出来ず、落雷によって故障するリスクも高い。 また低周波音や機械音、等　近隣地域の騒音問題がある。	
5542	風力発電の騒音について一番懸念しています 睡眠障害から頭痛、耳鳴り、抑うつ等に悩まされている方々が多数おられると聞きます 風力発電事業は環境にやさしいクリーンな事業だということですが、まず住む人々にやさしくなくてはいけないと思います 台風などで毎年プロペラが折れてしまう事故のことも聞きます　なぜ諸々の問題が解決していないまま（しているのなら説明を）進んでいっているのか、理解に苦しみます	
5543	低周波による健康障害が懸念される。 又、電力買い取り価格の下落により、風力発電を前田建設が撤退した時、現状復帰されない可能性がある。	「風力発電施設から発生する騒音等への対応について」（平成28年11月版）によれば、これまでに得られた知見として、「頭痛、耳鳴り等の健康影響については、風車騒音との統計的に有意な関係を示す知見は確認できなかった」とされております。電力買取価格は、固定買取制度となっています。また、事業の継続性や撤去の保証については、各種許認可（各官庁、金融機関、保険会社等）の手続きの段階で十分に審査されることとなります。
5544	1.下関市市議会本会議にて全会一致で「安岡沖洋上風力発電建設反対」の議案に対し「賛成」があり、かつ反対署名数10万筆を超えるのになぜ建設しようとするのか？ 2.風力発電で最も怖いのは「低周波音」。動物実験や人体実験をしたデータが過去にあるが、安岡沖でも低周波音による健康被害はないと言えるのか？ 3.地元住民と前田建設工業。お互いにwinwinの関係が築けるのであれば教えてほしい。 乱筆で失礼しました。	本事業においては、地域の皆様の反対があることも理解しております。方法書段階の当初計画では、風力発電機から最も近い民家までの距離は約760mであった事から健康影響への懸念や、景観的な圧迫感への懸念があったものと考えております。準備書段階では最も近い民家までの距離は約1,500mとなるように変更しました。最も近い民家までの距離を可能な限り離す事、及び候補の中で最も少ない基数とする事により、騒音や風車の影の影響の低減など、環境影響の程度を極力抑えることが出来る様、検討を行っております。 地球温暖化防止のため、COP21等で日本も世界に、温室効果ガス排出量の削減を約束しております。また、山口県といたしましても、2020年までに22万キロワットまで風力発電事業を増やしたいと、公表をしています。この様な背景のもと、再生可能エネルギー事業の推進に貢献したいと考えております。一般的に、公共施設にはメリットとデメリットがありますが、デメリットに対しては影響を低減するとともに、メリットには付加価値をつけることによってより良い施設へと出来るものと考えております。本事業については、事業主として安定した運営のために、一定の利益を得ることは必要ですが、その中から、魚礁設置による豊かな漁場の創出、漁場、操業への悪影響はない等、事業推進の要望が出ている漁業振興への貢献も考えております。事業を通じて地域経済の発展及び活性化に資することで「産業力・観光力の増強」の面で貢献出来るものと考えております。引き続き、地域の皆様のご理解・ご協力を頂きながら、地域への貢献を目指してまいります。
5545	風力発電事業によるメリットは何でしょうか？ 低周波音による健康への影響をどのように解決するのでしょうか？又、洋上に建設することにより、漁場に変化が起こり、漁業への影響は大きいものとなると思います。	
5546	安岡沖洋上風力発電建設を反対します。 近隣地域におけるメリットがあると思えない。 環境及び人的影響に対する明確な安全性が保障されていない。 貴社の説明、資料からは、一般的な意見のみであり、信用を得ることができません。	

5547	生活環境、景観、その他について当該風力発電は絶対保全出来ないとの立場で意見を述べたい。初ず理由として①漁場の件である、御社は計画の当初から漁場については漁業組合と漁業補償について契約さえすれば他の住民及び景観の事等眼中になかった事、又、11月13日の準備書に関する説明会で弁護士が漁業権は漁師個人になく、県漁協にあると発言したが、それは承知しております。だがそれを錦の御旗のように掲げ地元漁業組合を門前払いとした事、全く法の理念を無視した発言である。確かに一義的には県漁協が県知事より許可を得ているが、地元漁協組合の権利を除外したものではないと解すべきである。ましてや他の地区の漁業者は該建設により影響を受けず補償金のみ受け取る立場であるから反対はしないと考えるのが常識ではなかろうか？更に県漁協が主張する風車の土台が漁礁になるなら将来の投資として、御社から費用の請求も可能ではないか。②同じく11月13日の住民からの建設するメリットはとの質問に対し返答は会社の利益のみを数点行った③海外の状況、例えば10ＫＭ以上離す等住民の健康や、景観について非常に神経を使っているとの発言に対し全くデタラメとの情報であると一笑に付したこと④方法書に添った一年間を通じ11ヶ所定点による調査はこれに基づく方法でやれなかった事（調査の途中で、アクシデントがあった事によるものと理解出来るが）その後の調査は場所は公にしない事等、種々検証すればとても環境保全は不可能であると言わなければならない、又、その為の真剣に対応する姿勢も感じられない。従って安岡沖洋上風力発電建設に絶対反対します。	風車基礎周辺に魚礁を設置する事により、豊かな漁場が生まれるとの理由で、山口県漁業協同組合関係者は下関市長に事業推進の要望書を提出しております。推進要望を提出し、かつ漁業補償契約を締結している県漁協の方々と具体的な振興策について話し合い、本事業を通じて漁業振興に貢献したいと考えております。引き続き、地域の皆様のご理解・ご協力を頂きながら、地域への貢献を目指してまいります。 地球温暖化防止のため、COP21等で日本も世界に、温室効果ガス排出量の削減を約束しております。また、山口県といたしましても、2020年までに22万キロワットまで風力発電事業を増やしたいと、公表をしています。この様な背景のもと、再生可能エネルギー事業の推進に貢献したいと考えております。一般的に、公共施設にはメリットとデメリットがありますが、デメリットに対しては影響を低減するとともに、メリットには付加価値をつけることによってより良い施設へと出来るものと考えております。本事業については、事業主として安定した運営のために、一定の利益を得ることは必要ですが、その中から、魚礁設置による豊かな漁場の創出、漁場、操業への悪影響はない等、事業推進の要望が出ている漁業振興への貢献も考えております。事業を通じて地域経済の発展及び活性化に資することで「産業力・観光力の増強」の面で貢献出来るものと考えております。 風車のセットバック距離については、数10kmといった距離の規定・推奨値が無いものと理解しております。平成27年12月実施の地方公共団体における風車騒音に対処するための環境影響評価条例やガイドライン等の実態調査によれば、住宅地域からのセットバック距離の規制については、騒音及びシャドウフリッカー等の影響を考慮して設定されている国や地方があることが報告されております。法的に規制しているものと推奨値として定めているものとがあります。これらの値は概ね500m～1,000mの値となっており、スコットランドで2,000mという距離がありますが、数10kmという規定・推奨値を確認することは出来ませんでした。また、日本の地方公共団体においても条例でセットバック距離を定めているものがありますが、風車の高さを基準としているものが多く、距離にすると概ね500～600mとなっています（出典；風力発電施設から発生する騒音等の評価手法に関する検討会(平成28年5月24日、平成28年度第1回（第7回）、環境省）の資料２）。 本事業では、方法書段階では、風力発電機から最も近い民家までの距離は約760mでしたが、準備書段階では約1,500mとなるように変更しております。これらの距離と比較しても十分に離隔した距離となっているものと考えております。現地調査は、全ての項目において完了しております。実施時期については、準備書に記載しております。一部、民地を借用しており、現在の事情を考慮し、場所の公表をひかえさせて頂いております。
5548	安岡洋上風力発電事業に反対します。 理由1.かつて低周波の出るネズミ捕り器を使用したところ、原因不明の頭痛に悩まされました。使用を止めると治まった。私は低周波に弱い体質のようだから、体調不良となり、命が脅かされる危険がある。故に大反対だ。 理由2. 貴社は決して利益追求主義ではなく「公共貢献」という高い理念でもって風車を建設しようとプロジェクトされたと思います。だったらなぜ、こんなに住民が反対しているのに中止されないのですか？ 住民の健康や幸福を壊してまで建設する価値があるのですか。 山口県は電力は足りています。先祖代々ここに住んでいる我々や町を、東京の貴社に侵されるのは全くもって心外です。怒り心頭に達します。 どうしても建設したいのなら、コスト高になっても住民に影響のない高い山の上とか、沖に変更して頂きたい。 貴社が「もうけ主義」の企業でないことを信じています。 以上	地球温暖化防止のため、COP21等で日本も世界に、温室効果ガス排出量の削減を約束しております。また、山口県といたしましても、2020年までに22万キロワットまで風力発電事業を増やしたいと、公表をしています。この様な背景のもと、再生可能エネルギー事業の推進に貢献したいと考えております。一般的に、公共施設にはメリットとデメリットがありますが、デメリットに対しては影響を低減するとともに、メリットには付加価値をつけることによってより良い施設へと出来るものと考えております。本事業については、事業主として安定した運営のために、一定の利益を得ることは必要ですが、その中から、魚礁設置による豊かな漁場の創出、漁場、操業への悪影響はない等、事業推進の要望が出ている漁業振興への貢献も考えております。事業を通じて地域経済の発展及び活性化に資することで「産業力・観光力の増強」の面で貢献出来るものと考えております。 「風力発電施設から発生する騒音等への対応について」（平成28年11月版）によれば、これまでに得られた知見として、20Hz以下の超低周波音領域は、すべて知覚閾値を下回っているため、「風車騒音は、20Hz以下の超低周波音の問題ではなく、通常可聴周波数範囲の騒音の問題としてとらえるべきものであり、A特性音圧レベルでの評価を基本とすることが適当である。」とされております。また、同資料では20Hz以下の音を「超低周波音」とし、それ以外の音（周波数が20～100Hzまでの音を含む）を「騒音」と区別した上で、「頭痛、耳鳴り等の健康影響については、風車騒音との統計的に有意な関係を示す知見は確認できなかった」との考え方が示されており、風車騒音による健康影響については無いものと考えております。
5549	1.安岡沖洋上風力発電事業（建設）については「反対」します。 （１）住民無視のまま、計画されている本建設は、一企業の営利目的であり、本事業が予定海域に回復不能の損害を及ぼすことは明白である。 （２）本事業は、住民に対して「低周波による健康被害」についても詳細な納得できる回答をしていない。 ～以上のことから本事業（建設）については、反対します。	

5550	反対です！ ・電力消費減少への取組みが重要課題であり、そもそも発電事業が本当に必要なのか　人類全体の問題としてまず検討する必要がある。 ・低周波音による健康被害や環境破壊など発電事業によるデメリットの方が大きいと思われる。	同　　上
5551	風力発電が建設されることにより、自然環境は失われると思います また、海上に作られるため、万が一壊れてしまった場合でも、すぐに対応できず　そのままにされてしまう可能性もあるかと思います 低周波音等により　見えない部分での　健康障害にも不安を感じています 居住環境の破壊により　資産価値の減少により土地資産の下落が見込まれることで地域が衰退していく可能性あり 全ての事を考えても　マイナス要素ばかりと思うので　反対したいと思います	環境への影響については、事業実施前の環境調査結果を踏まえて、予測、評価を行い、環境保全措置を講じることで、自然環境への影響を可能な限り回避・低減するよう努めております。 風車の故障・事故の要因としても主なものは落雷等の自然災害によるものですが、下関安岡沖では落雷が少ない地域であることに加え、レセプター（避雷針）の改善や、落雷時の対策等も図られており、事故の予防に努めております。万が一事故が発生した際には、速やかに原因の分析と復旧を行います。 「風力発電施設から発生する騒音等への対応について」（平成28年11月版）によれば、これまでに得られた知見として、「頭痛、耳鳴り等の健康影響については、風車騒音との統計的に有意な関係を示す知見は確認できなかった」とされております。 平成22年の環境省が実施したアンケート調査結果（全国の風力発電事業者のうち186事業者、40都道府県から回答）によれば、継続している「苦情」は、風車から1,020mまでとなっています。本事業の風力発電施設から最も近い民家まで1,500mという距離は騒音の影響を低減するための十分な距離と考えております。景観については、配置は規則性に配慮し、色彩については周辺の景観との調和に配慮するなどの環境保全措置を講じることにより、実行可能な範囲で影響を低減するよう努めます。したがって、本事業が地域の資産価値を低下させる直接的な原因とは結びつくものではなく、地域の衰退に影響を及ぼすようなものではないと考えております。
5552	国内外で風力発電における低周波音の被害事例やその他の問題が起き、その調査・研究結果が出ていないにもかかわらず、安岡沖洋上風力発電においては、あたかも問題が起きないかのように言われている。風力発電による問題は、テレビ等でも広く知られているところであり、結論が出ないうちから推進・設置するのは、周辺で暮らす人々や働く人々の生活を軽んじているに他ならない。また不動産価値の低下は周辺地域の衰退を招くものであり、ひいては下関全体の衰退にも繋がるのではないか。よって、安岡沖洋上風力発電事業には反対をする。	
5553	安全性が確立しないまま、設立が進むと環境への危惧が高まり、住民・人口の減少にもつながりかねず、まずは安全性を確保した根拠を示すべきである	
5554	・安岡地区で新築予約がキャンセルになった等、健康被害による人口減になり、下関産業が停滞するのではないかと不安です。 断固反対します	
5555	風力発電にはリスクも少なく賛成ですが設置場所次第だと思う。	本事業は、洋上風力発電事業（洋上着床式）といった事業の特性上、海域に設置される特徴を有しております。したがって、建設工事、施設の稼働等については海域が主体となりますので、陸上への環境影響を低減する面で優れていると考えております。また、平成22年の環境省が実施したアンケート調査結果（全国の風力発電事業者のうち186事業者、40都道府県から回答）によれば、継続している「苦情」は、風車から1,020mまでとなっています。その後の調査研究結果を含めて、本事業の風力発電施設から最も近い民家まで1,500mという距離は騒音の影響を低減するための十分な距離と考えております。
5556	個人的にはエネルギー自給率を高めることは重要で、その中でもCO2等温暖化ガスを削減できる風力発電はもっともっと普及拡大してほしいと思っている。お願いしておきたいのは、風力発電の設置に関して長所と短所を隠さず公表してほしい。今まで設置された地域で問題になった事等。又騒音や、電磁波の影響や津波対策なども知りたいところだ。	
5557	市民としては観光スポットのような場所になれば嬉しく思いますが、もし自分が近隣住民だったら・・・と考えると正直不安もあります。 何かあったとき・・・東北の震災の原子力発電のような・・・また、あの時から続く対立を目にするには、つらいし心苦しい気になります。建設する前に、良い所、悪い所を明確にしてほしいと思います。	
5558	風力発電建設については、反対しています。 まず騒音問題、近くに病院等があるため必ずしも騒音がしないとは限らない。音だけでなく揺れはないのか・・・等も気になります。 また、建設からしばらくは、経済効果は見られないと思う 海に設置するとなれば、腐食は必ずおこります。そのメンテナンスに市の税金が使われるのではないですか。 そのような面々が解決していないように思われる。 反対します。	騒音については、本事業では、環境省が提案した目安の値を基に評価も行っており、「評価の目安となる値：残留騒音＋5dB」に収まっていることが確認されています。 経済的な効果として、下関市の税収の増加や工事等による雇用の創出等が考えられます。また、漁業振興や地球温暖化防止など、様々なプラス面があり、本事業の推進が期待されている面もあります。 洋上の場合のメンテナスは、陸上と比較して荒天等によるアクセス性に課題はありますが、海外では多くの実績もあり、計画的に実施してまいります。メンテナス費用および撤去費用などは、発電により得られる収入で運営します。公共事業とは異なりますので、公的資金が使われることはありません。
5559	私は彦島在住ですが、もし近くに風力発電設備が建設されるとなれば反対致します 騒音問題、低周波による健康被害、安岡地区は高齢者が多く、病院・施設も多くありますので悪影響を及ぼす可能性が高いと思われます。 発電量の供給に関しても　天候に左右される為安定性が低いといわれていますし、海洋生物が生息できなくなれば死活問題にもなります　デメリットだけではないと思いますが、人体等への影響が一番ですのでせめて設置路離を遠方にしてはいかがでしょうか	「風力発電施設から発生する騒音等への対応について」（平成28年11月版）によれば、これまでに得られた知見として、「頭痛、耳鳴り等の健康影響については、風車騒音との統計的に有意な関係を示す知見は確認できなかった」とされております。 風況に関しては、村崎の鼻にポールを設置して、1年間の観測を行っており、風力発電事業を行うにあたり十分な風力資源となることを確認しております。 漁場喪失の懸念として魚類への影響が考えられますが、事業の実施による水の濁りについては、濁りの範囲は限定的であること、底質の変化については、有害物質等の影響は小さいこと、地形改変については風車タワーの設置範囲の縮小化、設置基数の削減により改変範囲を可能な限り狭くしたこと、水中騒音については、威嚇レベルの範囲が限定的であることから、漁業への影響は小さいと考えております。

5560	風速によって、発電が影響され、また、落雷による故障のリスクがある。地震で発電停止、故障、津波などによる２次的被害が考えられる。風車プレートの部分に鳥が巻き込むこともある。低周波音による健康への影響、騒音も考えられる。船舶、航路に影響を与えないか。 以上により反対します。	風況に関しては、村崎の鼻にポールを設置して、1年間の観測を行っており、風力発電事業を行うにあたり十分な風力資源となることを確認しております。 風車の故障・事故の要因としても主なものは落雷等の自然災害によるものですが、下関安岡沖では落雷が少ない地域であることに加え、レセプター（避雷針）の改善や、落雷時の対策等も図られており、事故の予防に努めております。 鳥類、騒音、低周波音については、環境影響評価の項目としており、事業実施前の環境調査結果を踏まえて、予測、評価を行い、環境保全措置を講じることで、環境への影響を可能な限り回避・低減するよう努めております。
5561	低周波音による健康障害は、疫学的な部分に関して明確な結論は出ていないかも知れないが、安岡沖の美しい景観と自然形態は確実に破壊されると思われる。増して漁場としての能力は著しく失われるであろう。そもそも何故、安岡沖でかつ予定地が対岸から程近い場所なのか。エネルギー開発とは人間が生き長らえる為にする事なのに、これでは長生きと自殺を同時に求めているのと同じだと考える。絶対に反対する。	「風力発電施設から発生する騒音等への対応について」（平成28年11月版）によれば、これまでに得られた知見として、「頭痛、耳鳴り等の健康影響については、風車騒音との統計的に有意な関係を示す知見は確認できなかった」とされております。 景観、魚類については、環境影響評価の項目としており、事業実施前の環境調査結果を踏まえて、予測、評価を行い、環境保全措置を講じることで、環境への影響を可能な限り回避・低減するよう努めております。
5562	賛成－山口県内の風力発電所がどのくらいの規模でどのくらいの発電量があるのか知りたい。	風況の良い山口県内では、下関市、長門市、平生町で計55基の大型風力による発電事業が行われており、発電出力の合計は約11万kWとなっております。

No.	意見の概要	事業者の見解
5563から5568	観光スポットになると思います。	平成25年3月発表（平成26年4月一部改定）の山口県の「山口県再生可能エネルギー推進指針」におても再生可能エネルギーは地球温暖化対策に有効であることなど「安全・安心の確保」の観点から貴重なエネルギー源とし、さらには「産業力・観光力の増強」の面からも導入促進は重要と述べられております。 本事業では、この指針に沿って地域経済の発展及び活性化に資することで「産業力・観光力の増強」の面でも貢献したいと考えております。 洋上での風力発電機は、国内でも事例が少なく、新たな景勝地としての期待や自然景観と調和した新たな風景構築の可能性があるとの意見もあり、新たな景観価値の創出に期待されているプラスの面もあります。風力発電機の景観のマイナスの面を軽減するとともに、下関市の良好な景観形成を図り、地域の皆様と観光資源とならないか検討しプラスの面を創出できるよう努めます。
5569から5574	観光スポットになればいいなと思います	
5575	下関の観光スポットになればいいと思う。	
5576	下関の観光スポットの一つにはなると思います。	
5577	観光スポットが増えて良いことだと思う。子供と見に行ってみたい。	
5578	観光スポットとして下関が有名になると思う。	
5579	観光スポットとして良いと思います。	
5580	観光スポットとなり、集客につながれば良いのでは！	
5581	観光スポットに最適。	
5582	観光スポットになってほしいです	
5583	観光スポットになってほしいです。	
5584	観光スポットになり、良い思う	
5585	観光スポットになりそう。	
5586	観光スポットになると思います。完成したら見に行きたいです。	
5587	観光スポットになるのか。	
5588	観光スポットになるのであればしてほしい。	
5589	観光スポットになるのでは。	
5590	観光スポットになるのでは？	
5591	観光スポットになるのでは？	
5602	観光スポットになるのでは？	
5592	観光スポットになるのでは？見に行ってみたい	
5593	観光スポットになるような工夫を考えて欲しいです。たとえば展望台があればよいと思います。	
5594	観光スポットになる様にしてほしい。	
5595	観光スポットになれば良い	
5596	観光スポットの一つになることを期待し、賛成します。	
5597	新しい観光スポットになってほしい。	
5598	新しい観光スポットになって欲しい。	
5599	観光スポットになったら良い。	
5600	観光名所としても活用出来ると思うので良いと思います。	
5601	観光スポットになりそうなので、良いと思います。	
5603	観光スポットになれば良いです。	
5604	観光スポットになればと思います。	
5605	観光スポットの一つになることを期待し、賛成します。	
5606	風車が立つことで、観光スポットになると思う。	
5607	風光明媚になる。観光スポットになる。	
5608	遠くから見て楽しめるとても良い観光スポットになると思います。	
5609	下関の新たな観光スポットになり良いと思う。	
5610	海の風車はめずらしいので、観光スポットになるのでは。	
5611	賛成 観光スポットになると思う。大きな仕事が増えると思う。	
5612	賛成 観光スポットにもなり下関の経済にも良いと思う。	
5613	風力発電は陸上では見たことがあります。日本は、海に囲まれているので今後も自給の燃料として洋上風力発電ができることは、環境、騒音他、利点は多いと思います。福岡在中ですが、山口方面には年に数度出掛けます。海にそびえ立つ風力発電も観光スポットの一つになりそうです。	
5614	周辺環境や人の生活への影響を調査・予測・評価、環境保全の良い計画だと思う。アクセスもよく観光スポットとして活気が出るとうれしく思う。	
5615	山陰・北浦のように観光スポットの一つになるのであれば建設した方が良いと思います。	
5616	あまり下関に行きいませんが見に行きたいと思いました。観光スポットになると思います。	
5617	観光スポットとして整備できるのであれば、魅力的に感じる。下関市街地と角島を結ぶ沿線に観光客が増える事が期待できると考える。	
5618	海上に並んだブレードが風に吹かれ、ゆっくりとまわる様子をみてみたいと思います。完成すれば一つの観光スポットになるかも知れません。	

5619	風力発電だけではなく、海沿いに設置することでちょっとした観光スポットとして人が集まるのではないか。	同　　上
5620	またひとつ観光スポットができそうで非常に楽しみである。	
5621	洋上風力発電は見てみたい。観光スポットですか?	
5622	・下関の観光の目玉になるかも	
5623	・下関の観光スポットとなるといい。	
5624	新しいデートスポットとなると思う。	
5625	新しいデートスポットになると思う	
5626	洋上風力の設置に伴い、新たな漁礁が設置され、漁業にはプラスになると同時に、観光スポットも増加し、下関市にとってはいい事業になると思う。	
5627	賛成。 景観が良くなると思います。 地球環境に優しい再生エネルギーなので、将来的にもメリットがあると思います。 下関は風もあるので適しているのではないでしょうか。	
5628	観光スポットになり、活気がでると嬉しい。	
5629	観光スポットになり、経済効果があるのではないか。	
5630	観光スポットになり観光客が増え、下関の発展につながるのでは…。	
5631	観光スポットになり観光客が増え下関の発展につながるのでは・・・	
5632	観光スポットになると思うので良いと思います。安岡地区の地域発展につながることを期待します。	
5633	賛成 経済効果を期待している。 海に立つ風車も観光スポットになるのでは。	
5634	賛成 下関が活性化され経済が良くなると思う。 観光スポットにもなるかも。	
5635	風力発電は地域の活性化や観光スポットの見どころ等いろいろな恩恵をもたらしてくれると思う。これといったデメリットは見当たらない。	
5636	発電だけでなく、観光スポットになり地元のほうへ少しでも経済効果があることを期待したいです。	
5637	賛成 下関の経済が活性化され、観光スポットにもなると思う。	
5638	賛成 下関に経済効果が生まれ、観光スポットにもなると思う。	
5639	経済効果があり、観光スポットにもなるのではないかと期待しています。	
5640	観光スポットが増えることにより、活気や経済効果を期待したい。	
5641	風力発電が出来ることにより、風車を見にくる観光客が増えたりすると思うので良いと思います。 また建設業者への工事の受注等も増加すると思います。	
5642	海外では風力発電が観光スポットになっている国もあります。 安岡沖洋上風力発電事業が実現すれば、新しい観光名所になると思います。また地域に多大な経済効果をもたらす為、早く進めてほしいと思います。	
5643	海に立つ風車の景観を見てみたい。観光スポットになるのでは。	
5644	海に立つ風車はきれいだと思うので、観光スポットになるのではないでしょうか。	
5645	海に立つ風車はめずらしいと思うし、観光スポットになると思う。	
5646	観光スポットになればうれしい。海に立つ風車を見れるとうれしい。	
5647	下関の海の景観が良くなり観光スポットの一部になるかも？	
5648	今まで見たことのない絶景が期待される。下関の新観光名所ができると嬉しい。	
5649	私個人的には、環境面での問題がなければ景観的に素晴らしい観光スポットになると思います。テレビで、オランダやイギリスの洋上風力発電の映像を見ましたが美しいです。	
5650	観光スポットになりそうで良いと思う。原発より安全だから安心できる。	
5651	下関に名所になると良い。エネルギー再生利用できるのであれば、活用していくのが良い。騒音も少ないとのことなので、よいと思う。	
5652	クリーンエネルギーの象徴として、風力発電事体が観光スポットになっている地方もあります。そのような新しい観光スポットになるのではないかと楽しみに思います。	

5653	クリーンエネルギーの象徴として、風力発電自体が観光スポットになっている地方もあります。そのような新しい観光スポットになるのではないかと楽しみに思います。	同　　上
5654	賛成 自然エネルギー活用で良いと思う。 観光客も来るかもしれないと思う。	
5655	賛成 自然エネルギーで活用なのは良いと思う。 観光スポットにもなるかもしれない。	
5656	風力発電は再生可能エネルギーの象徴であり、非常に良いと思う。風車が見える丘や山が観光スポットになると良いと思う。	
5657	観光名所としての期待と自然エネルギー活用としてすごく期待しています。	
5658	観光名所としての期待と自然エネルギー活用としてすごく期待しています。	
5659	下関の観光名所が増えてうれしい。早く完成し景色を見たい。	
5660	下関の名物になればいいと思います。	
5661	下関の名物になれば良いと思う。	
5662	観光地として期待している。	
5663	観光名所になって良いと思う。	
5664	観光名所になると思います。	
5665	観光名所になれば良いと思う。	
5666	観光等で訪れてみたい	
5667	観光に際してもクリーンなイメージを与えられると思う。	
5668	洋上風力発電で観光してみたいです。	
5669	安岡沖洋上に風力発電を作ることに賛成です。下関の名所になるといいです。	
5670	安岡沖洋上に風力発電を作ることに賛成です。下関の名所になると良いです。	
5671	角島など山陰方面に行く途中に新たな観光名所ができると嬉しい。	
5672	これから観光名所の一つになってくれればいいんじゃないでしょか。	
5673	何か観光とか副次的要素を大いに活用してほしい。	
5674	ドライブに行って風車があるとすてき。	
5675	渡船渡って観光できたり釣りができたりするとよいと思います	
5676	洋上風力発電は大変珍しく、観光名所になると思う。	
5677	見晴らしが良く風量発電が出来たら観光名所にもすごく良いと思います	
5678	・海岸とのコントラストにより新しい名所になれば観光客が増えるかも。	
5679	・下関の名所になるとよい	
5680	風車の立つ姿を見にくる人が増え、観光の名所となるのではないかと期待したい。	
5681	出張でよく山口へ行くので新しい名所ができると思う。	
5682	風力発電所をもっと増やして、電気代が安くなればいいと思う。下関に新たな観光名所が出来て良いと思う。	
5683	下関の海上観光ルートに期待する	
5684	風車の完成を楽しみにしている　町に近く海洋観光のスポットして、見学コースを設置してツァーなどあればおもしろい。 　出来れば見学コース自体は格安でお願いしたい。	
5685	・風車の完成した地域が観光コースになると良いと思う。	
5686	見学会等があれば、見学ツアー等があれば参加したいと思います。	
5687	飲食店との併用によりドライブスポットなどになるとうれしい。下関市の知名度向上になってくれることを期待します。	
5688	観光の資源の一つになればと期待している。	
5689	観光の面からも建設した方がよいと思います。	
5690	風車の完成で、第２角島のような観光資源として下関目玉した取り組みで考えて下さい。	
5691	響灘の白島と並んで、観光資源として活用出来るのではないでしょうか。	
5692	観光資源としての有効活用が進めば、それに付随する産業にも良い影響があると思います。	
5693	観光資源となる	
5694	観光資源の一つになると思う。	
5695	観光資源の一つになると思う。	
5696	新しい観光資源としても利用できると思います。	

5697	『日経新聞』社説『洋上風力伸ばす法整備を』という題で意見が述べられていました。反対の方も多いようですが、この事業に大変賛成しています。下関市に経済的なメリットも多いですし、自然エネルギーを進めるということは素晴らしいと思います。それからやっぱり建て方にもよるとは思いますけれども、観光資源にもなると思っていますので、前田建設さんには頑張っていただきたいと思っています。まだ法整備が進んでいないところもあると思います。	同　　上
5698	洋上の風力発電は陸上に比べて住民の健康被害も少ないと思われ、たくさんの設置が可能であろうと思われるので、良いと思います。観光資源にもなりうるので！	
5699	観光の目玉の一つになれば良い 再生可能エネルギーは必要だと思う	
5700	風力発電の眺望CG（予現景観）をインターネットでみてみました。日本では、あまり見られない景観で観光資源となるのではないかと思います。原発依存のエネルギー利用からの脱却はいずれ来ますから、早期の実現を望みます。賛成	
5701	観光名所となり経済効果が出るのではないかと思う。	
5702	観光名所となり経済効果が出るのではないかと思う	
5703	観光スポットになり、経済効果になればいいと思います。	
5704	経済効果を期待したい。観光スポットになり、活気が出ることを希望します。	
5705	賛成 下関の為、観光にも経済にも良いと思う。 CO2が出なくて良い。	
5706	(推進) 経済が上向く。自然エネルギーの活用。景色が良くなる。観光化できる。	
5707	洋上風力発電という新しい試みが下関市で行われようとしていることを楽しみに思う。設置、運用と、経済、観光、生活に役立つことを願う。	
5708	風力発電は、害がないのであれば賛成です。エネルギー利用できるのでよいと思う。景観が楽しみ。	
5709	経済効果で地元周辺地域に出る事を期待したい。 海洋環境への影響がどれくらいあるのか気になる 風光明媚なイメージが確立され観光スポットになることが期待される	
5710	風車ができて観光船がでたりするのでしょうか	
5711	・海上の景観が大事だと思いますので海と風車が絵になる必要あり。	

No.	意見の概要	事業者の見解
5712	1.はじめに 　この度の公告･縦覧した準備書は、前田建設工業（以下事業主という)が作成したものである。つまり事業者が自分に都合の良いように作ったものであり、決してこれを鵜呑みにすることは出来ない。　準備書の中身は、環境審議会や環境省及び経済産業省が、それぞれの立場で責任を持って精査･検証していくべきものと考えるが、準備書作成までの経緯を見ると、とても真剣に対応してきているとは思えない。そもそも、今の環境アセスメントは建設を前提とした『事業容認型』である。ご承知の通り、本事業は最初から地域住民が反対しており、現在まで１０万筆に及ぶ反対署名を集め下関市長に提出しているが、これに対し、事業主は自社の営利目的のために平然とことを進めており、住民を説得する義務があるにもかかわらず、環境アセスを妨害したとして、反対する会の代表者（４名)を相手に損害賠償を求める訴訟を起こす等して、形振り構わず一方的且つ強引に建設しようとしている。一事業者の思い通りになるのか、地域住民の反対意見が通るのか、これは“民主主義の根幹に関わる問題”と受け止めており、以下に準備書に対する意見を具体的に申し述べる。　因みに、私は平成２２年度～２６年度までの５年間を横野町自治会長、そして平成２４年度～２５年度の２年間は安岡自治会連合会の会長を務めており、責任ある立場の一人として住民に成り代り意見を申し述べる。 １．騒音･低周波音に関する意見 　騒音･低周波音の予測値を算出する上で、基礎になる最も重要な数値が『音源の音Lw』である。この数値次第で後の予測値（騒音レベル、低周波音、残留騒音）はいかようにもなる。　事業主は、準備書ではこの数値Ｌｗを【１１０ｄＢ】としている。これを基に風車から最も近い１５００ｍ地点の『村崎の鼻』では、１５基分を合わせた騒音レベルを【３７ｄＢ】と予測している。　この数値【３７ｄＢ】は、今まで環境審議会での報告では【３５ｄＢ】、音源の音Ｌｗは【１０８ｄＢ】であった。風車の配置が同じなので距離に変動が無いため、距離減衰値と空気減衰値は同じであり、音源の音を２ｄＢ増やせば当然予測値も２ｄＢ増えることになる。メーカーが実測したデーターを基に予測した数値であるはずが、環境省が提示した目標値が変わると、それに合わせて数値が変わるのは、誠におかしな話である。 そもそも、事業主が４０００Ｋｗ出力の風車に変更した時点で、最初に 「環境省の調査委員会が平成２５年３月の報告書で提案した騒音レベルの目標値【３５ｄＢ】をクリアーする」と報告したのは、平成２６年６月９日の安岡自治会連合会の自治会長会議の時である。　その後の同年１１月６日、翌２７年７月９日の環境審議会でも、全く同じことを報告してきたが、その時点までは肝心のメーカーの実測データーが無いのに、「３５ｄＢクリアー」を堂々と宣言していたのである。メーカーからの実測データーは、昨年の平成２７年７～８月頃に入手したと、先月１１月の海峡メッセでの住民説明会で答えている。音源【１０８ｄＢ】は、事前に机上計算で算出した音圧レベルである。 《別表－２》 そして、この度の準備書では、今年の平成２８年８月に環境省の目標値が 『残留騒音からの増加量を５ｄＢに収める』 に変わった途端に、音源の音圧レベルと予測値を簡単に変更している。　この最も重要である音源の数値は、準備書の Ｐ．１７とＰ．３３４ に記載しているが、これはメーカーが実測したデーターではなく、それを基に事業主が計算して算出したＡ特性音圧レベルである。　つまり、何をもって音源Ｌｗを【１１０ｄＢ】としたのか、それを裏付ける肝心のメーカーの実測値の記載が無いのである。 そこで、『 ＪＩＳＣ１４００－１１：２００５ 』に定められいる計算式で、メーカーの実測値を試算（音源１１０ｄＢを基に逆算)すると、《別表－１》の通り、ハブ高さから７７ｍ下の鉛直方向で【６１ｄＢ】、風車から風下１４２ｍ先の傾斜方向で【５５ｄＢ】という数値が推測できる。しかし、この音圧レベルが「定格４０００Ｋｗ出力時に測定したメーカーの実測値」としては、とても信用できる数値ではない。事業主が都合よく勝手に作った数値としか思えない。 風力発電機のカットアウトは、風速〔平均２５ｍ／Ｓ〕としているが、音源が【１１０ｄＢ】で間違いないと言うのであれば、カットアウトは“風速ではなく音圧レベルにするべき”である。とにかく、今までの経緯から見ても、最も重要な音源の音圧レベルの提示の仕方を見ても、事業主が言っていることを信用することは出来ない。	１．騒音・低周波音に関する意見 　方法書審査終了後、騒音、低周波音へのご懸念を受け、ご指摘の通り、当時の技術的な知見に基づき提案された風車騒音35dB（環境省請負業務「平成24年度　風力発電施設の騒音・低周波音に関する検討調査業務」報告書　平成25年3月）以下となるよう、計画の見直しを行いました。風車出力を4,000ｋWとし、基数を減らす案です。108dBという値は、当時4,000kW風車の騒音データを計測中との理由で、風車メーカーから暫定値として報告を受けた値です。この値に基づき、風車騒音35dB以下となる配置計画の見直しを行いました。住宅地から最も近い風車を1,500m離す計画です。 準備書作成に当たり、知事意見、市長意見で述べられ、また説明会等でもお話してきたように最新の知見、データで評価することとしました。それが平成28年8月に環境省がパブリックコメント募集を行った「風力発電施設から発生する騒音等への対応について」での提案に対して評価することと考えました。また、準備書作成ということで風車メーカーから正式に4,000kW風車の騒音データとして準備書に記載しているデータ（ＬWA110dB）の提供を受けました。

	２．騒音･低周波音の事後調査に関する意見 　事業主は準備書（Ｐ．８１２）に、『施設の稼動後は、騒音･低周波音の事後調査を実施しない』と記載している。 その理由は、「騒音･低周波音の予測の不確実性の程度は小さい。 また、基数の軽減や可能な限り陸地から隔離しているため」としている。随分身勝手な言い分であり、激しい憤りを感じる。 　風力発電は、“不確実性が多いから事後調査を実施する”ことが通例となっている。特に洋上の風力発電は陸地と比べて環境や気象条件に大きく左右される。予測式は、単純に距離減衰（無風状態で拡散する幾何学的理論）と空気減衰だけで予測値を算出している。現実には《別表－２》のように様々な現象によって音の伝播が変わってくる。その例を示すと、 　a)海面に向って伝播する音は１３度以上は反射する。厚い雲がかかっ時も音は跳ね返って減衰しない。 　b)１５基の風車が同時に回るので、共鳴の振動で音の振幅がより大きくなる。 　ｃ)海上から陸地に向けて吹くフォローの風に乗って、音は住宅地の遠くまで届く。 　ｄ)さらに、低周波音は回折して人体に（長期曝露によって)健康被害をもたらす。 　e)地表と上空の温度差によって音は屈折して、逆転層の現象が生じ、音が遠くまで届く。　…等 　事業主が、“事後調査を実施したくない”とする本当の理由は何か、次のように思慮する。 　①音源の音を【１１０dBA】として予測値を提示しているが、実測すれば本当の数値が分かるから。 　②建設したら後のことは知らない。低周波音による健康被害を訴えてきても相手にしない。 　③準備書に“事後調査はしない”と書いているので、住民が気が付かずに反対意見が出なければ了解したものとする。　…うがった見方をすればこのように考えられる。 　住民の反対を無視するだけでなく、こうした一面からも事業主が住民を“ないがしろにしている”ということが、うかがい知れる。	２．騒音・低周波音の事後調査に関する意見 　騒音の予測につきましては、Nord2000を用い距離と空気減衰に気象条件を加味した予測を行いました。事後評価につきましては、これまで1年以上行っている風車から最も近い住宅地での騒音、低周波音の計測を今後も継続して行い、現状の計測データを蓄積し、事後評価できるようにいたします。
5712	３．景観に関する意見 　事業主は、「圧迫感が無ければ景観に問題ない」としている。これも随分勝手な言い分であり、とんでもない思い上がりである。初期の段階から、漁業組合を相手にして“海を金で買える”と思っている安易な考えが、そもそもの間違いである。 　海は、“地域に住む人達皆の共有財産”である。海を生活の糧とする漁師はもとより、豊かな自然と共に生活している地域住民の了解が得られなければ、“よその家に土足で上がり込む”ようなものである。 平成２６年３月に、安岡自治会連合会が全会員５２９０世帯を対象に賛否を問うアンケートを実施した。その結果、７３％に当たる３８６８世帯から回答があり、その中で７２％の２８０４世帯が反対をしている。　特に、風車に近い海岸沿いの5つの自治会（横野町、横野新町、西安岡町、安岡本町、安岡東町)は８３％～９５％の住民が反対している。このことは、事業主にも通知しており、十分承知のはずである。 また、平成２５年10月に“反対する会”が立ち上がり、反対署名の運動を起こして、現在は１０万筆を超える署名が集まった。これに対して、事業主は準備書で、５１０名からアンケートを取り「反対する人は僅か２１～２６％である」と言って、ささやかな抵抗をしている。おかしくて話にならない。こうした独自のアンケートは、住民の感情や反対意見を全く無視しており、「何が何でも安岡沖に風力発電を建てる」という“執念の表れ”である。　１５００ｍ先にある高さ１５０ｍの風力発電は、目の前の１０ｍ先では高さ１ｍに相当する。目の高さよりは下で事業主が言う“圧迫感は無い”が、地域住民にとっては“景観を損なう、目障りで邪魔な存在”であり、且つ“超低周波音を発生する脅威の構造物”なのである。	３．景観に関する意見 　本事業においては、主要な眺望点の他、身近な景観を保全するために、風力発電機の配置の検討にあたって、フォトモンタージュ法により予め景観の影響予測を行っております。配置については規則性に配慮し、色彩については周辺の景観との調和に配慮するなどの環境保全措置を講じることにより、実行可能な範囲で影響を低減するよう努めます。 アンケートの方法は、市長意見において「広範な住民へのアンケート」と述べられております。本事業における風力発電施設の建設に賛成・反対等の意見とは無関係に、景観について、中立的な立場から見た場合にどのように感じるかを第三者に委託して調査したものです。

４．おわりに

我々は、風力発電建設そのものに反対しているのではない。前田建設工業㈱の『安岡沖洋上風力発電の建設』に反対しているのである。それは、あまりにも住宅地に近いからである。そのため景観の問題や、低周波音による健康被害を心配して、多くの住民が反対しているのである。低周波音は巷に溢れている。環境省はこれらを一律に規制することが出来ないのが実情であろう。そのため、色んな場所で苦情が発生している。『低周波音による健康被害がある』のは明らかである。安岡沖に風力発電が建設されれば、地域住民がモルモットにされる。

原発の安全神話が崩れ去った今、それに代わる太陽光発電や風力発電等の代替エネルギーは必要である。だからと言って、“安岡沖に洋上風力発電は必要である”とは言えない。　最後に、「前田建設工業さん、やりたければ、よそで（迷惑のかからない場所を探して）やって下さい」と言いたい。

以　　上

【別紙添付】

《別表－１》　ＪＩＳＣ１４００－１１：２００５規定の『音響パワーレベル〔ＬＷＡ．Ｋ〕の算出式』

《別表－２》　平成２７年７月 前田建設工業の環境審議会への第２回中間報告に対する意見

5712

音響パワーレベル（$L_{WA,K}$）の算出式 … JISC1400－11：2005規定　《別表－1》

$$L_{WA,K} = L_{Aeq,c,k} - 6 + 10\log\left[\frac{4\pi R_1^2}{S_0}\right]$$

$L_{Aeq,c,k}$：基準条件のもとで、音響基準風速(6～10mの各整数)において暗騒音補正した等価騒音レベル

R_1：ローター中心(ハブ)からマイクロホン(測定地点)までの傾斜距離

S_0：基準面積で、$S_0 = 1m^2$

-6：地表設置板上で音のレベル測定時に生じる音(音圧dB)を考慮

上記式を変換すると

$L_{WA,K} = L_{Aeq,c,k} - 6 + 10\log 4\pi + 10\log R_1^2$

$L_{WA,K} = L_{Aeq,c,k} - 6 + 11 + 10\log R_1^2$

$L_{WA,K}$に 110 [dB]、R_1 に鉛直距離(ハブ87m－測定地点10m＝) 77 を、代入すると

$110 - 10\log 77^2 - 11 = LAeq,c,k - 6$

$\therefore\ LAeq,c,k - 6 = 61$ [dB]

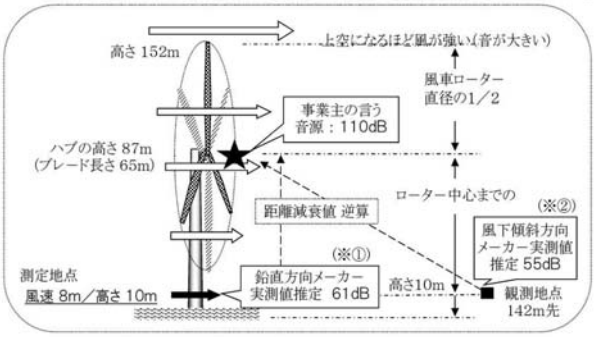
従って、4000Kw定格出力時の風力発電機の真下で、10mの高さで風速が8m／sの時にメーカーが測定した等価騒音レベルは【61dB】ということになる。(下図 ※①)

また、風下傾斜距離 R_1 161.5mでの実測値は、更に小さい【55dB】となる。(下図 ※②)

〔風下傾斜距離 R_1 161.5m $= \sqrt{142^2 + 77^2}$〕 … 水平距離142m＝77＋65

こうした音を日常生活で例えれば、【61dB】は『ファミリーレストランの店内、デパートの売り場騒がしい事務所の中、乗用車の車内(100Km／h)』、【55dB】は『役場の窓口周辺、会話』ということになる。因みに、音源【110dB】は『自動車の警笛(2m)』と同じ音である。

◎ はたして、この程度の音が本当に、『4000Kw定格出力時に測定したメーカーの実測値』であるのか？　事業主は、メーカーの実測データーが無い当初から“目標値をクリアーする”と言ってきた。データーは辻褄合わせに後付けした可能性が高く、到底信じることは出来ない。



前田建設工業㈱の『環境審議会への第2回中間報告』に対する意見(総括表)　《別表－2》

平成27年7月17日(修正)

前田建設工業の報告要旨

【騒音・低周波音について】

① 現在計画している出力4000KW×15基は、陸地から1.5Km以上離すことによって『目標値 35dBA』をクリアーする。

② また、夜間の騒音基準45dBAも、現状の実測値(最小)を基に計算するとクリアーする。

③ 低周波音については、現状の実測値の範囲内であり殆んど影響はない。

【景観について】

風車の高さは海面から150mで、1.5Km先では仰角5°であり、特に威圧感は無い。

反論意見

1) 騒音について

予測値が35dBAになるように、数字(音源108dBA)を先に決め、理由を後付け(風車メーカーからのデータで、風速は12m/s、音源は変わらない)して、「目標値をクリアーしています」と言っている。それが環境アセスの調査結果と言えるのか。ごまかしもいいところである。

2) 低周波音について

音圧(騒音)レベルは現状と変わらない。つまり「聞こえなければ健康被害はない」と、どうして言えるのか。

新たな低周波音の発生装置によって、20年間にわたり曝露することで健康被害が出る。それが問題なのである。

3)景観について

仰角5°で威圧感が無ければ、市民の共有財産に何を建てても良いのか。1.5Km先の高さ150mの風車は、10m先では1mの高さに相当する。景観を大いに損なう。

4)環境影響評価の問題点

現状は、『評価は箇素化し、建設後に事後調査を実施』の2つがセットになっている → いわゆる《事業容認型》

・距離減衰式は、非現実的な無現状態での幾何学的理論であり、風車の評価には適さない。

・問題が起きても対策が実施困難。

風車は洋上、高い、遠い。止めるしかない。

・許可されれば、住民がモルモットにされる。

懸念材料

【北九州市の響灘エネルギー基地構想の影響】

環境省が「国の洋上風力発電推進モデル地域」に指定

・洋上風力発電5000Kw×140基を建設等

環境アセスを簡略化(合理化、短縮)する

・調査内容・期間、住民説明会などが形式的に実施

下関市もこの構想に同意している(可能性が大)

・環境審議会の対応に影響も

審査が甘くなるのでは

予測値の算定根拠と問題(※)

【計算式】

1式　$Ln = Lw - 10\log(r^2+h^2) - 8 - \alpha(r^2+h^2)^{1/2}$

音源の音　距離減衰　空気減衰

Ln :n番目の風力発電機から水平距離r[単位:m]離れた地点での騒音レベル[dBA]

Lw :風力発電機のパワーレベル[dBA]…音源は108dBA

r :風力発電機から騒音予測地点までの水平距離[m]

h :風力発電機のブレード中心までの高さ[m]

α :定数(dB／m) … 5/1000

2式　$Lp = 10\log(10^{L1/10} + 10^{L2/10} + \cdots + 10^{Ln/10})$

Lp :予測地点における騒音レベル[dBA]

Ln :n番目の風力発電機による騒音レベル[dBA]

3式　$L = 10\log(10^{Lp/10} + 10^{Lb/10})$

L :風力発電施設稼動後の将来の騒音レベル[dBA]

Lp :風力発電機による騒音[dBA]

Lb :現地調査によって得られる暗騒音[dBA]

15基の風車の1基毎について、予測地点(1.5Km先)の音圧レベル[dBA]を算出。予測値Ln＝音源108dBA－距離・空気減衰値

算定値

風車n	1基	2基	3基	4基	5基	6基	7基	8基
距離r	1500	1643	1833	2061	2278	2479	2699	1862
減衰値	-79.0	-80.6	-82.4	-84.6	-86.6	-88.3	-90.1	-82.7
予測値 Ln	29.0	27.4	25.6	23.4	21.4	19.7	17.9	25.3

風車n	9基	10基	11基	12基	13基	14基	15基
距離r	2024	2263	2528	2768	3024	3247	3478
減衰値	-84.3	-86.4	-88.7	-90.9	-92.7	-94.5	-96.2
予測値 Ln	23.7	21.6	19.3	17.1	15.3	13.5	11.8

注)距離rと予測値Lnは事業者からの

予測値 Lp　35

音源 107dBA → Lp 33.975

〃 108dBA → Lp 34.975

〃 109dBA → Lp 35.975

〃 110dBA → Lp 36.975

15基全部の音圧レベルを合算する。1.5Km先の音圧が35dBAとなるには、音源が108dBAでなければならない。(※↓)音源を置き換えれば、予測値Ln

予測値 L　45

実測値 40dBA → L 41.193

〃 41dBA → L 41.973

〃 44dBA → L 44.515

この対数計算式を使えば、無風状態の実測値(最小)が44dBF以下であれば、それより下の35dBAを合算すると、必然的に夜間の環境基準45dBAをクリアーする答えになる。

【音源の音が逆算できる理由】

a)15基の配置(距離)が決まれば減衰値が決まる

①建設場所の範囲(エリア)が決められている。

②15基の配置は必然的に決まってくる。

③当然、1式の減衰値(距離・空気減衰)が決まる。

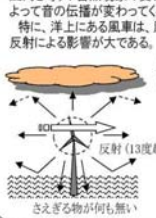
b)音源の音を置き換えて試算ができる(※↑)

①1.5Km先予測地点の15基合計の音圧レベルが、35dBAになるには、音源が108dBAでなければならない。それ以上はオーバーする。

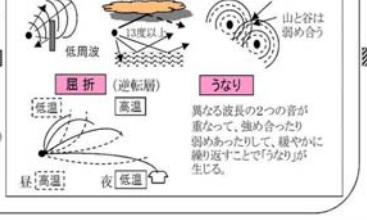
②風力発電メーカーのデータでは、風速12m/sの音である。(理由は後付け)

予測値の算定基準に含まれていない自然現象

風があるから風車が回る。現実は気象条件(風速・気温・風向き等)や自然現象の変化によって音の伝播が変わってくる。特に、洋上にある風車は、風と反射による影響が大である。



気象条件等によって変化する音の伝播



環境審議会への要望

第1回目と第2回目の中間報告を傍聴して感じたことは、いづれも事業者からの一方的な報告に終始しており、委員からの突っ込んだ質問や追及は殆んど無く、傍聴者は事業者の言うことを真に受けた(本当と思った)のではないだろうか。

こういう形で環境審議会の審査が行われるのであれば、不信の念を抱かざるを得ない。

事業者は、現状の環境影響評価(基準)で押し通そうとしており、これに対して、地域住民の大半は反対している。

このギャップを環境審議会の委員(特に専門家の先生)はしっかり認識して頂き、傍聴している住民が納得する審査をお願いしたい。

別紙 1

新聞広告_2段3/4

お知らせ

「環境影響評価項目」に基づき、「（仮称）安岡沖洋上風力発電事業　環境影響評価準備書」を作成いたしましたので、左記の縦覧及び準備書説明会の開催についてお知らせいたします。

一、事業者の氏名及び住所

名称　前田建設工業株式会社
代表者　代表取締役社長　前田　操治
住所　東京都千代田区富士見二丁目十番一号

二、対象事業の名称、種類及び規模

名称　（仮称）安岡沖洋上風力発電事業
種類　出力　最大六万キロワット

三、対象事業が実施されるべき区域

山口県下関市安岡沖

四、関係地域の範囲

山口県下関市

五、縦覧の場所、期間及び時間

縦覧場所
下関市役所　本庁舎新館
下関市役所　環境部庁舎
下関市役所　安岡支所
下関市役所　吉川中支所
下関市役所　彦島支所

縦覧期間
平成二十八年十一月二日(水)から
同年十二月二日(金)まで
（ただし、土曜日・日曜日・祝日を除く）
縦覧時間は午前八時半から
午後五時十五分まで
（ただし、下関市役所環境部庁舎は午前八時十五分から午後五時まで）

電子縦覧
縦覧期間中は、左記のウェブページにて
縦覧いただけます。
http://www.maeda.co.jp/yasuoka/

六、意見書の提出

環境影響評価準備書について、環境保全の見地からのご意見をお持ちの方は、書面に住所・氏名・意見（意見の理由を含む）をご記入のうえ、縦覧場所又は準備書説明会会場（当日に限る）に備え付けております意見書様式に投函ください。記載の上、平成二十八年十二月十六日(金)までに左記の提出先へ郵送（当日消印有効）、ファックス、電子メールのいずれかによりご意見をお寄せください。

提出先
〒七五〇―〇〇六六
山口県下関市東大和町一―四―一十八
前田建設工業株式会社
下関プロジェクト準備室
ファックス　〇八三二―二六―一一二六
メールアドレス
yasuoka-assess@jcity.maeda.co.jp

七、準備書説明会の開催を予定する場所及び日時

川中公民館（下関市伊倉町一一一一）
平成二十八年十一月十三日(日)
午前十時から正午
（駐車場に限りがございます。公共交通機関等をご利用願います。）

海峡メッセ下関　十階　国際会議場
（下関市豊前田町三―三―一）
平成二十八年十一月十九日(土)午後二時から
午後四時

八、問い合わせ先

前田建設工業株式会社　下関プロジェクト準備室
山口県下関市東大和町一―四―一十八
電話　〇八三二―二六―一一二六〇
（土曜日、日曜日、祝日を除く、午前九時から午後五時まで。）
メールアドレス
yasuoka-assess@jcity.maeda.co.jp
担当：三輪

日刊新聞に掲載した公告　（山口新聞、毎日新聞）

別紙２

平成28年 (2016年) 11月 2日
環境政策課

山口県の環境影響評価（環境アセスメント）制度について

○山口県の環境アセスメント制度

（１）環境アセスメント制度とは

環境影響評価（環境アセスメント）とは、大規模な開発事業の実施前に、事業者自らが事業による環境影響について調査、予測及び評価を行うとともに、その結果を公表し、住民等の意見を聴き、環境保全に配慮しようとするための仕組みであり、環境の保全を図る上で、極めて重要なものです。

山口県では、平成９年に「環境影響評価法」が施行されたこと等を契機に、平成１０年１２月に「山口県環境影響評価条例」を制定し、平成１１年６月から制度を運用しています。

（２）対象事業

次の事業の種類のうち、その内容・規模により、環境影響評価法又は山口県環境影響評価条例の対象（第１種事業又は第２種事業※）となります。

環境影響評価の対象となる事業の種類

道路	ダム等	鉄道、軌道	飛行場
発電所	廃棄物処理施設	工場又は事業場	下水道終末処理場
スポーツ施設等	水面の埋立て又は干拓	土地区画整理事業	住宅団地の造成
流通業務団地の造成	工業団地の造成	鉱物又は岩石の採取	複合開発整備事業
港湾計画			

○山口県内で現在手続き中のアセス対象事業

（１）環境影響評価法に基づくアセス対象事業

(仮称)安岡沖洋上風力発電事業

名称	事業者	事業の種類	実施場所	規模	アセスの手続状況	備考
(仮称)安岡沖洋上風力発電事業	前田建設工業株式会社	発電所の設置	下関市安岡沖	最大６万キロワット	準備書縦覧中	準備書縦覧期間：H28.11.2～H28.12.2

◇公告・縦覧
前田建設工業株式会社HP

◇参考
・知事意見の内容について
（仮称）安岡沖洋上風力発電事業に係る環境影響評価方法書（知事意見）（PDF：222KB）

西沖の山発電所（仮称）新設計画

名称	事業者	事業の種類	実施場所	規模	アセスの手続状況	備考
西沖の山発電所（仮称）新設計画	山口宇部パワー株式会社	発電所の設置	宇部市大字西沖の山	１２０万キロワット	方法書手続終了	知事意見提出日：平成２８年４月１３日

インターネットによるお知らせ　山口県のウェブサイト

別紙 3-1

インターネットによるお知らせ　下関市のウェブサイト①

別紙 3-2

インターネットによるお知らせ　下関市のウェブサイト②

別紙 4-1

インターネットによるお知らせ　前田建設工業株式会社ウェブサイト①

別紙 4-2

「(仮称)安岡沖洋上風力発電事業に係る環境影響評価準備書」の縦覧及び準備書説明会について

「環境影響評価法」に基づき、「(仮称)安岡沖洋上風力発電事業　環境影響評価準備書」(以下「準備書」という。)及びこれを要約した書類(以下「要約書」という。)を作成いたしましたので、以下の通り縦覧及び準備書説明会の開催についてお知らせいたします。

事業者の氏名及び住所	
名 称	前田建設工業株式会社
代表者	代表取締役社長 前田 操治
住 所	東京都千代田区富士見二丁目10番2号
対象事業の名称、種類及び規模	
名 称	(仮称)安岡沖洋上風力発電事業
種 類	風力発電(洋上着床式)
規 模	出力 最大6万キロワット
対象事業が実施されるべき区域	山口県下関市安岡沖
関係地域の範囲	山口県下関市
縦覧場所	下関市役所　本庁舎新館 下関市役所　環境部庁舎 下関市役所　安岡支所 下関市役所　川中支所 下関市役所　吉見支所 下関市役所　彦島支所
縦覧期間及び時間	平成28年11月2日(水)から同年12月2日(金)まで (ただし、土曜日・日曜日・祝日を除く) 縦覧時間は 午前8時半から午後5時15分まで (ただし、下関市役所環境部庁舎は 午前8時15分から午後5時まで)
電子縦覧	縦覧期間中は、下記のウェブページにて縦覧いただけます。 http://www.maeda.co.jp/yasuoka/
意見書の提出	環境影響評価準備書について、環境保全の見地からのご意見をお持ちの方は、 書面に住所・氏名・意見(意見の理由を含む)をご記入のうえ、縦覧場所又は 準備書説明会会場(当日に限る)に備え付けております意見書箱にご投函くださるか、 平成28年12月16日(金)までに下記の提出先へ郵送(当日消印有効)、ファックス、 電子メールのいずれかによりご意見をお寄せください。 提出先 〒750-0066 山口県下関市東大和町1－4－28 前田建設工業株式会社　下関プロジェクト準備室 ファックス　083－261－2261 メールアドレス　yasuoka-assess@jcity.maeda.co.jp
準備書説明会の開催を予定する場所及び日時	川中公民館(下関市伊倉町2－1－1) 平成28年11月13日(日)午前10時から正午 (駐車場に限りがございます。公共交通機関等をご利用願います。) 海峡メッセ下関　10階　国際会議場　(下関市豊前田町3－3－1) 平成28年11月19日(土)午後2時から午後4時
問い合わせ先	前田建設工業株式会社　下関プロジェクト準備室 山口県下関市東大和町1－4－28 電話　083－261－2260 (土曜日、日曜日、祝日を除く、午前9時から午後5時まで。) メールアドレス　yasuoka-assess@jcity.maeda.co.jp 担当:三輪

インターネットによるお知らせ　前田建設工業株式会社ウェブサイト②

別紙 4-3

インターネットの利用による縦覧　前田建設工業株式会社ウェブサイト③

別紙 4-4

サービス&ソリューション | 実績紹介 | 技術紹介 | 企業情報 | IR情報 | CSR | 採用情報

トップページ > ニュース > 2016年 > (仮称)安岡沖洋上風力発電事業 環境影響評価準備書及び要約書の訂正につきましてNew

ニュース

- 2016年
- 2015年
- 2014年
- 2013年
- 2012年
- 2011年
- 2010年
- 2009年
- 2008年
- お問い合わせ

2016年11月28日

(仮称)安岡沖洋上風力発電事業 環境影響評価準備書及び要約書の訂正につきましてNew

(仮称)安岡沖洋上風力発電事業 環境影響評価準備書及びこれを要約した書類の一部内容につきまして、データ誤入力にともなう記載の誤りがありましたので、訂正いたします。
このような訂正を発生させたことにつき、深くお詫び申し上げます。

なお、データ誤入力が判明した後、念のため他にも同様の誤りがないか確認を行いましたが、それ以外の記載の誤りは発見されませんでした。また、今回の誤りは評価に影響を与えるまでのものではなく、訂正にともなう環境影響評価の変更はございません。

訂正箇所を示し、訂正箇所のページをファイルしたものを縦覧箇所に追加設置するとともに、当社ホームページに掲載させていただきます。
今後は、同様の誤りが発生することのないよう十分注意いたします。

「(仮称)安岡沖洋上風力発電事業 環境影響評価準備書」の電子縦覧はこちら

前のページに戻る

このページのトップへ

インターネットの利用による縦覧　前田建設工業株式会社ウェブサイト④

別紙 4-5

インターネットの利用による縦覧　前田建設工業株式会社ウェブサイト⑤

別紙５

（仮称）安岡沖洋上風力発電事業　環境影響評価準備書

ご意見記入用紙

「（仮称）安岡沖洋上風力発電事業　環境影響評価準備書」について、環境保全の見地からのご意見をお持ちの方は、この用紙あるいは書面、電子メールに住所、氏名、ご意見とその理由をご記入のうえ、縦覧場所に備え付けております意見書箱にご投函いただくか、以下の提出先に郵送、ファックス、電子メールのいずれかによりお寄せください。

【提出先】

①郵送　〒７５０-００６６　山口県下関市東大和町１－４－２８
（当日消印有効）　前田建設工業株式会社　下関プロジェクト準備室
②ファックス　０８３－２６１－２２６１
③メールアドレス　yasuoka-assess@jcity.maeda.co.jp

【意見書の提出期限】　平成２８年１２月１６日（金）投函の場合は午後５時まで

・・・